

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図

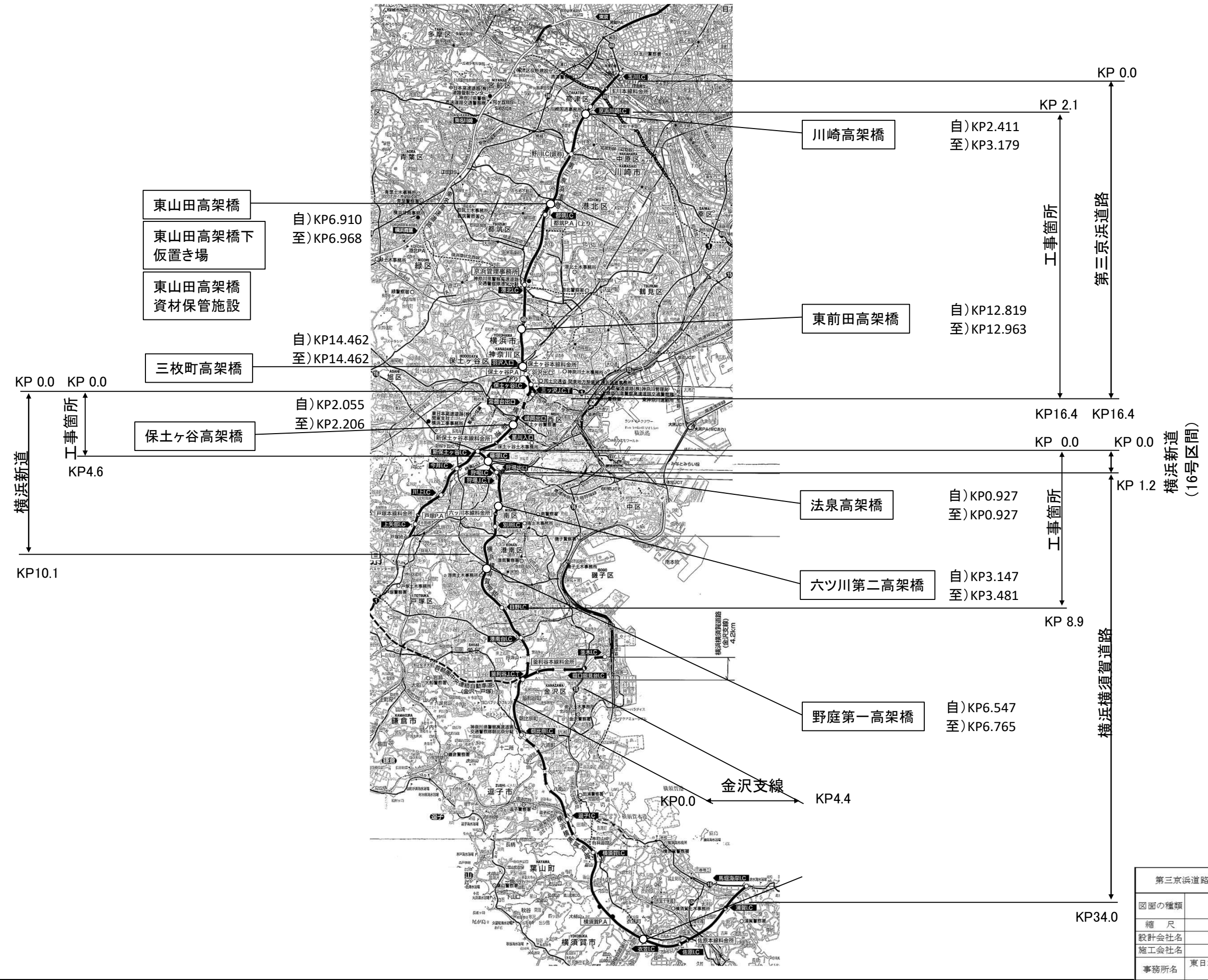
令和 6 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目次

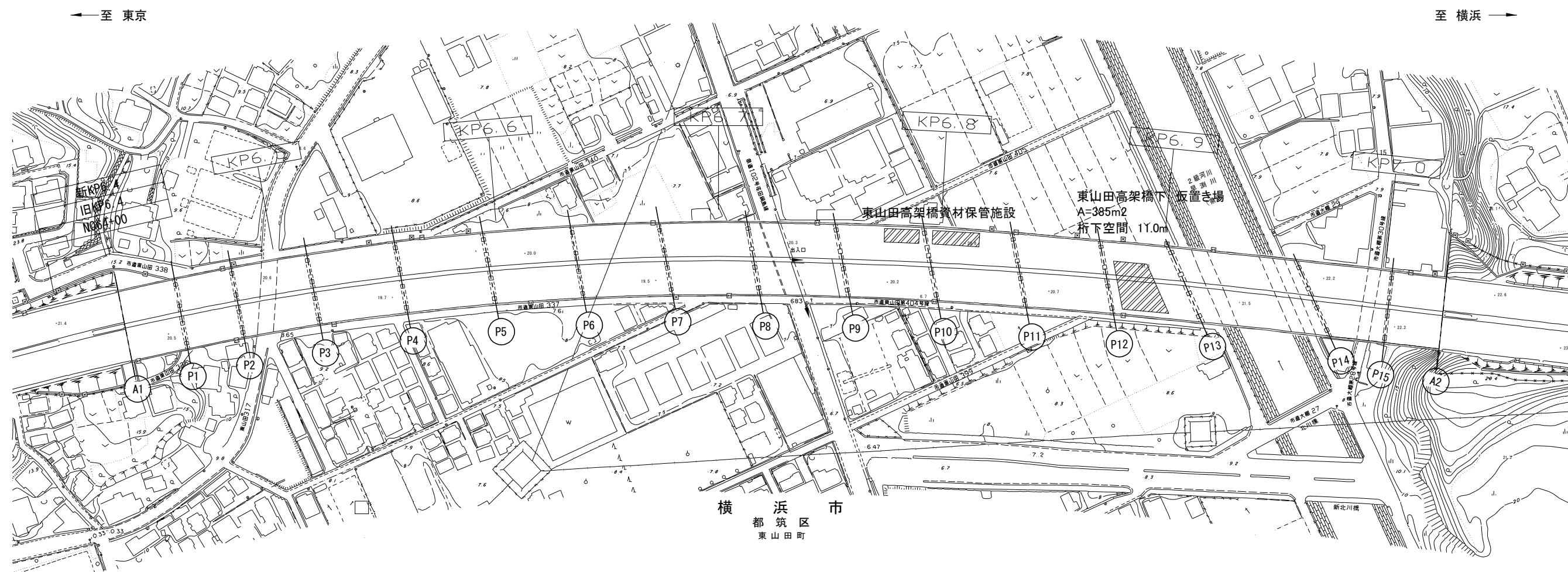
[illegible][illegible]

位置図 (1)



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事	
図面の種類	位置図 (1)
縮尺	図面番号
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所

位置図 (2)



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	位置図 (2)		
縮尺	—	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

数量総括表(1)

橋梁名	上下線 区分	橋脚	11-(4)	15-(10)		15-(11)	16-(22)	17-(1)		17-(10)	17-(11)								
			検 査 路	防護柵撤去設置工		立入防止柵 撤去設置工	車線分離標 撤去設置工	伸縮装置取替		縁端拡幅工M	落橋防止構造								
			B	Gr-C-4E	Gr-C-2E	一 般 型 非積雪地用	ポ ー ル (H=650mm) (夜)	E(S=50mm) (夜)	E(S=60mm) (夜)	鋼製ブラケット A(夜)	C1-490	C1-606	C1-1396	P1-1996 (250)	P2-325 (500)	P2-430(500)	P2-782(600) (夜)	P2-1224 (600)(夜)	鋼製ブラケット
			kg	m	m	m	基	m	m	t	本	本	本	本	本	本	本	本	t
川崎高架橋	上	P75			6.0	6.0										10			
	Bランプ	P75												6					
	上	P76							3.555									9	
		P77				6.0						8							1.856
	下	P75													10				
	Cランプ	P75												6					
	下	P76							3.555								12		
		P77'																	
	上	P111	1,041.0	8.0															
P114		2,032.0	8.0							12								1.224	
東山田高架橋	上	P13	2,345.0										4						1.599
		P14	2,322.0										4						1.648
	下	P13																	
		P14																	
東前田高架橋	上	A1									6								0.618
		A2				6.0					6								0.618
三枚町高架橋	上	A2				10.0													
	下	A2																	
保土ヶ谷高架橋	下	P6					2		18.1										
		P18																	
		P19					2	21.1											
		P18～P19																	
法泉高架橋	上	P4																	
	下	P4																	
六ツ川第二高架橋	上	A1																	
		P3																	
		A2																	
	下	A1																	
		P3																	
		A2																	
野庭第一 高架橋	上	A1																	
		A2																	
	下	A1																	
		A2																	
合計			7,740.0	16.0	6.0	28.0	4	21.1	18.1	7.110	12	12	8	8	12	20	12	9	7.563

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の題頭	数量総括表(1)		
縮尺	図 示	図面番号	/
図面会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

数量総括表(2)

橋梁名	上下線 区分	橋脚	17-(11)				17-(12)								17-(13)			17-(29)	
			落橋防止構造				段差防止構造M								横変位拘束構造M			断面修復工	
			アンカー工 φ48・580 (下方向)	アンカー工 φ51・625 (下方向)	アンカー工 φ61・775 (下方向)	アンカー工 φ61・1275 (水平方向)	鋼製ブラケット A	鋼製ブラケット B	鋼製ブラケット C(夜)	鋼製ブラケット D	鋼製ブラケット E(夜)	アンカー工 φ39・445 (下方向)	アンカー工 φ35・385 (水平方向)	アンカー工 φ35・635 (水平方向)	アンカー工 φ45・785 (水平方向)	鋼製ブラケット A	鋼製ブラケット B	アンカー工 φ61・775 (下方向)	A1-2
			本	本	本	本	t	t	t	t	t	本	本	本	本	t	t	本	L
川崎高架橋	上	P75																	
	Bランプ	P75																	
	上	P76							2.912		5.945								
		P77			64			1.554		1.746					60				
	下	P75																	
	Cランプ	P75																	
	下	P76							3.256		6.600								
		P77'						1.883		2.107					56				
	上	P111					1.014	0.523		0.524		18		12					
P114			48			1.591	0.842		0.844		36		24						
東山田高架橋	上	P13				43	1.427				64				0.825	1.564	24		
		P14				42	1.443				64				0.827	1.564	24		
	下	P13					1.522				64								
		P14					1.395				64								
東前田高架橋	上	A1	36					1.190		1.170			30						
		A2	36																
三枚町高架橋	上	A2																	
	下	A2																	
保土ヶ谷高架橋	下	P6																	
		P18																	
		P19																	
		P18～P19																721.0	
法泉高架橋	上	P4																	
	下	P4																	
六ツ川第二高架橋	上	A1																	
		P3																	
		A2																	
	下	A1																	
		P3																	
		A2																	
野庭第一高架橋	上	A1																	
		A2																	
	下	A1																	
		A2																	
合計			72	48	64	85	8.392	5.992	6.168	6.391	12.545	310	30	36	116	1.652	3.128	48	721.0

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表(2)		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

橋梁名	上下線 区分	橋脚	17-(32)	19-(1)			19-(2)							特-(1)					特-(2)
			表面保護工	交通規制工			交通保安要員							上部工補強工					撤去設置工
			コンクリート 表面被覆工B	路肩規制 Ⅰ×Ⅰ	車線規制 Ⅲ×Ⅰ×0× 2・A1(夜)	車線規制 Ⅲ×Ⅰ×0× 3・A1(夜)	交通監視員 A	交通監視員 A1(夜)	交通誘導 警備員 A	交通誘導 警備員 A(夜)	交通誘導 警備員B	交通誘導 警備員B(夜)	列車見張員A (夜)	A	A(夜)	B(夜)	C	D	検査路B
			m2	回	回	回	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	人・日	t	t	t	t	t	kg
川崎高架橋	上	P75									50			0.056					
	Bランプ	P75																	
	上	P76										81	16		3.401	8.943			
		P77									51								1,375.0
	下	P75								41				0.056					
	Cランプ	P75																	
	下	P76										83	17		0.035	8.426			
		P77'									13								1,899.0
	上	P111									16								
P114										45									
東山田高架橋	上	P13							46	4	6						1.074		
		P14									41					1.173	2.562		
	下	P13																	
		P14															2.562		
東前田高架橋	上	A1									21								1,297.0
		A2									16								
三枚町高架橋	上	A2									9								
	下	A2																	
保土ヶ谷高架橋	下	P6		1	2	1	1	9											
		P18									34								
		P19																	
		P18～P19	10.3																
法泉高架橋	上	P4									35								
	下	P4																	
六ツ川第二高架橋	上	A1																	
		P3									12								
		A2									15								
	下	A1																	
		P3																	
		A2																	
野庭第一高架橋	上	A1																	
		A2		1			1												
	下	A1																	
		A2																	
合計			10.3	2	2	1	2	9	46	4	405	164	33	0.112	3.436	17.369	2.247	5.124	4,571.0

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表 (3)		
縮尺	図 示	図面番号	/
図示会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

数量総括表(4)

橋梁名	上下線 区分	橋脚	特-(2)	特-(3)					特-(4)	特-(5)			特-(6)				備考
			撤去設置工	撤去工					鋼桁補修工	塗膜除去工			仮設段差防止構造				
			検査路B(夜)	既設鋼部材 A	既設鋼部材 A(夜)	既設鋼部材 B	既設鋼部材 C	検査路B	A	A	A(夜)	B	A	B	C	D	
			kg	t	t	t	t	kg	箇所	m2	m2	m2	箇所	箇所	箇所	箇所	
川崎高架橋	上	P75		0.013						13.5							
	Bランプ	P75								4.1							
	上	P76	3,725.0		1.503						80.7						
		P77								6.6							
	下	P75		0.013						13.5							
	Cランプ	P75								4.1							
	下	P76	3,917.0		1.674						78.0						
		P77'															
	上	P111				0.430		710.0									
P114					0.428		1,153.0		3.6								
東山田高架橋	上	P13		0.007				785.0									
		P14		0.001				790.0									
	下	P13					0.241										
		P14															
東前田高架橋	上	A1				1.555											
		A2															
三枚町高架橋	上	A2											5				
	下	A2											5				
保土ヶ谷高架橋	下	P6															
		P18							1			0.166					
		P19															
		P18～P19															
法泉高架橋	上	P4												5			
	下	P4												6			
六ツ川第二高架橋	上	A1													4		
		P3													8		
		A2													4		
	下	A1													4		
		P3													8		
		A2													4		
野庭第一高架橋	上	A1														4	
		A2														4	
	下	A1														4	
		A2														4	
合計			7,642.0	0.034	3.177	2.413	0.241	3,438.0	1	45.4	158.7	0.166	10	11	32	16	

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数量総括表(4)		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【川崎高架橋 P75～P77】

令和 6 年 1 0 月

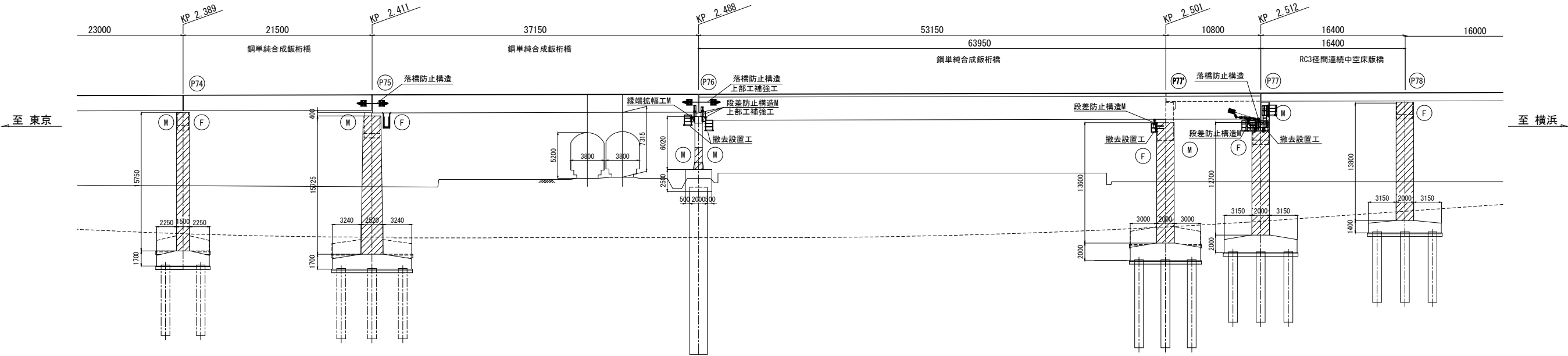
東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目次

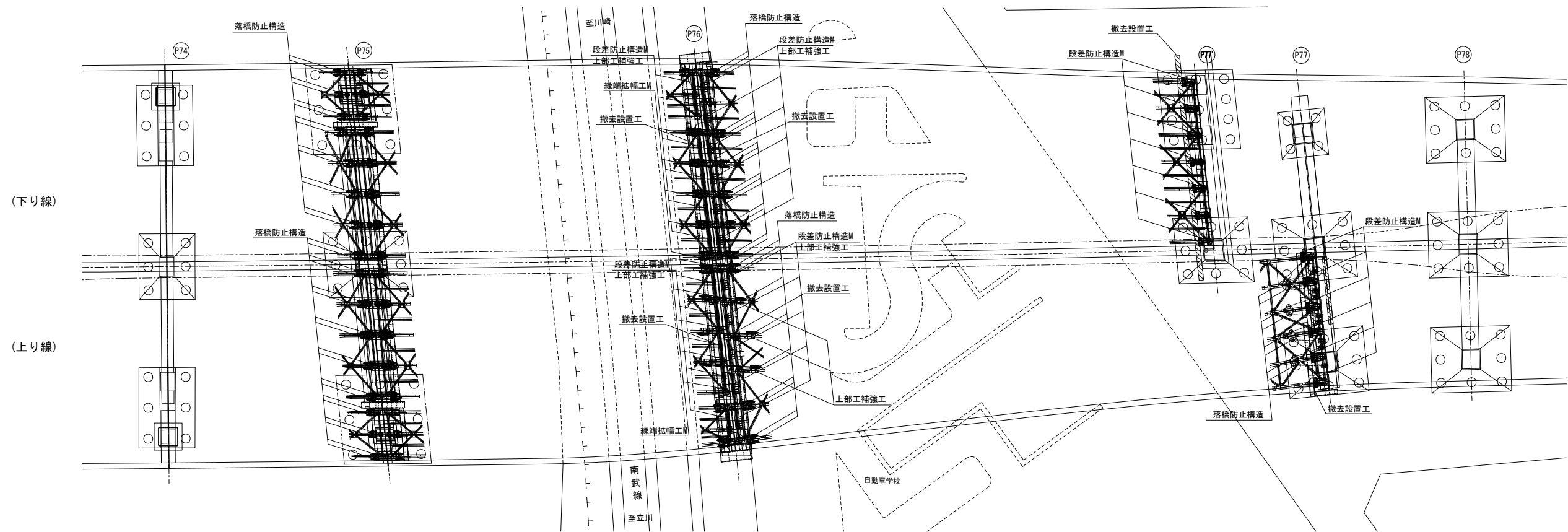
番号	設計図名称
1	川崎高架橋 P75～P77 耐震補強一般図
2～3	川崎高架橋（上り線）P75橋脚落橋防止システム配置図（その1）～（その2）
4～5	川崎高架橋（上り線）P76橋脚落橋防止システム配置図（その1）～（その2）
6～7	川崎高架橋（上り線）P77橋脚落橋防止システム配置図（その1）～（その2）
8～9	川崎高架橋（下り線）P75橋脚落橋防止システム配置図（その1）～（その2）
10～11	川崎高架橋（下り線）P76橋脚落橋防止システム配置図（その1）～（その2）
12～13	川崎高架橋（下り線）P77' 橋脚段差防止システム配置図（その1）～（その2）
14～17	川崎高架橋（上下線）落橋防止構造詳細図（その1）～（その4）
18～19	川崎高架橋（上り線）落橋防止構造詳細図（その5）～（その6）
20	川崎高架橋（下り線）落橋防止構造詳細図（その7）
21	川崎高架橋（上り線）落橋防止構造詳細図（その8）
22～24	川崎高架橋（上下線）段差防止構造詳細図（その1）～（その3）
25	川崎高架橋（上り線）段差防止構造詳細図（その4）
26	川崎高架橋（下り線）段差防止構造詳細図（その5）
27	川崎高架橋（上下線）鋼製縁端拡幅詳細図
28～29	川崎高架橋（上り線）上部工補強工詳細図（その1～その2）
30	川崎高架橋（上下線）上部工補強工詳細図（その3）
31	川崎高架橋 附帯工
32	川崎高架橋（上り線）既設端対傾構撤去図（その1）
33	川崎高架橋（下り線）既設端対傾構撤去図（その2）

[illegible]

側面図

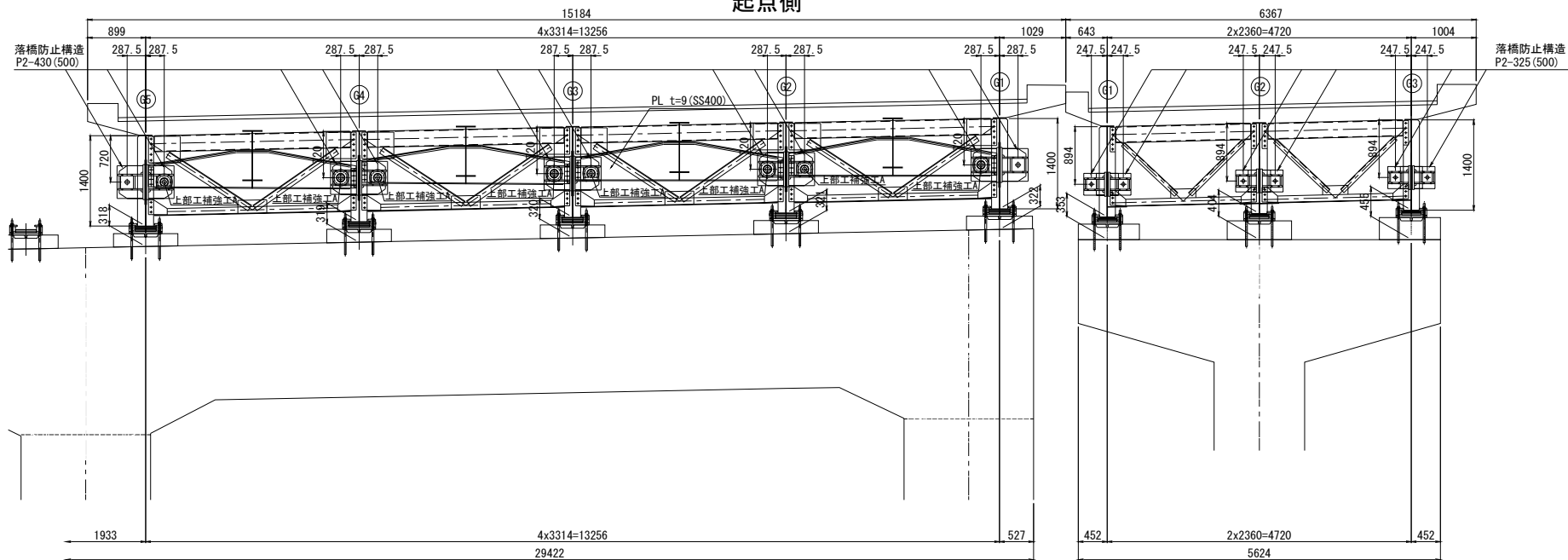


平面図

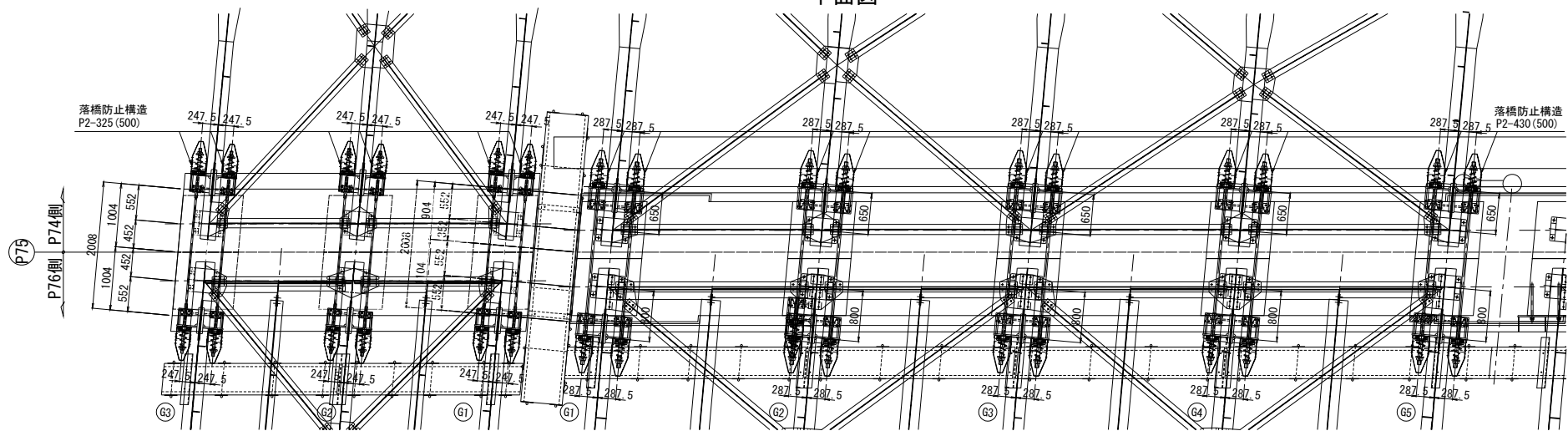


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 P75～P77 耐震補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

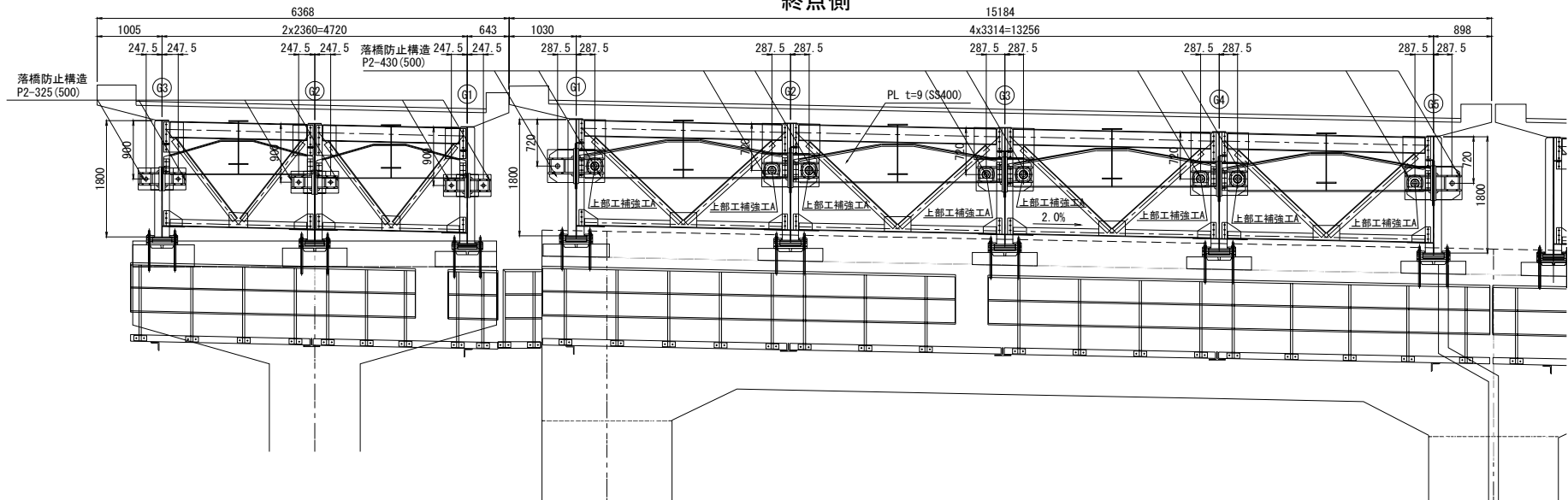
正面図
起点側



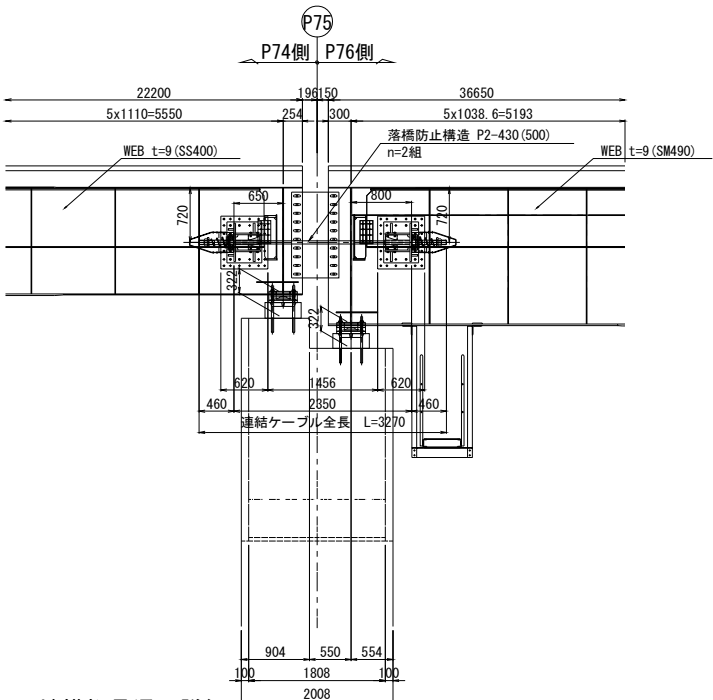
平面図



正面図
終点側



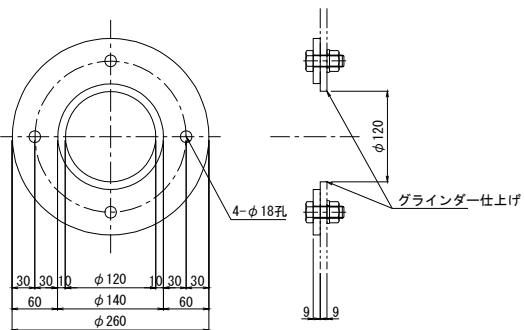
側面図
G1桁



端横桁貫通孔詳細

上部工補強工A
撤去工 既設鋼部材A

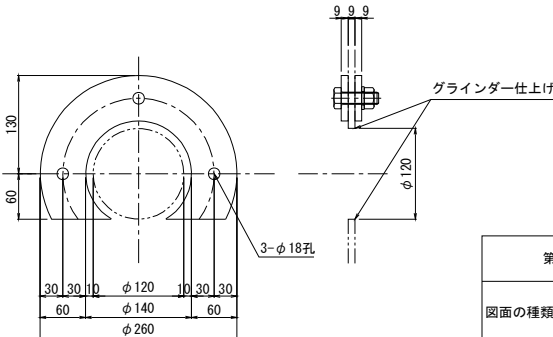
起点側及び終点側
G4桁G5側, G3桁G4側, G2桁G3側, G1桁G2側



貫通孔1箇所当り(製作数:8箇所)
1-PL φ260x9 (SS400)
4-BN M16x45 (SS400)

撤去材料1箇所当り(撤去数:8)
1-PL φ120x9 (SS400)

起点側及び終点側
G5桁G4側, G4桁G3側, G3桁G2側, G2桁G1側

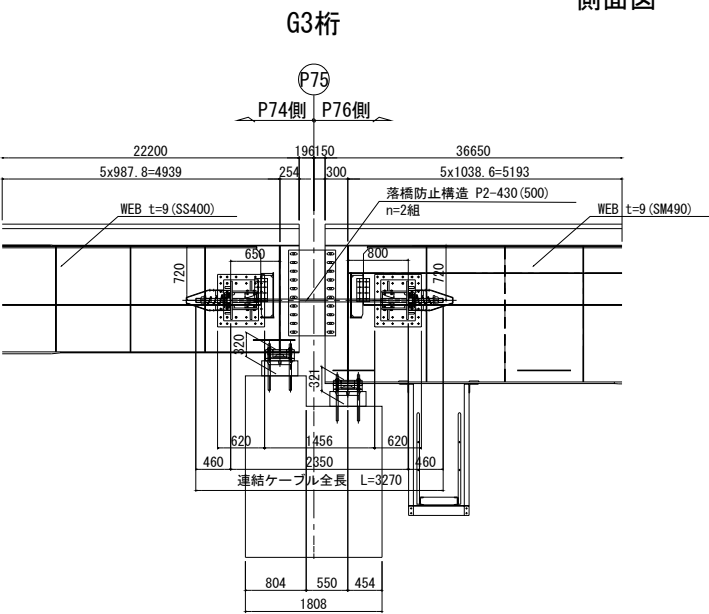
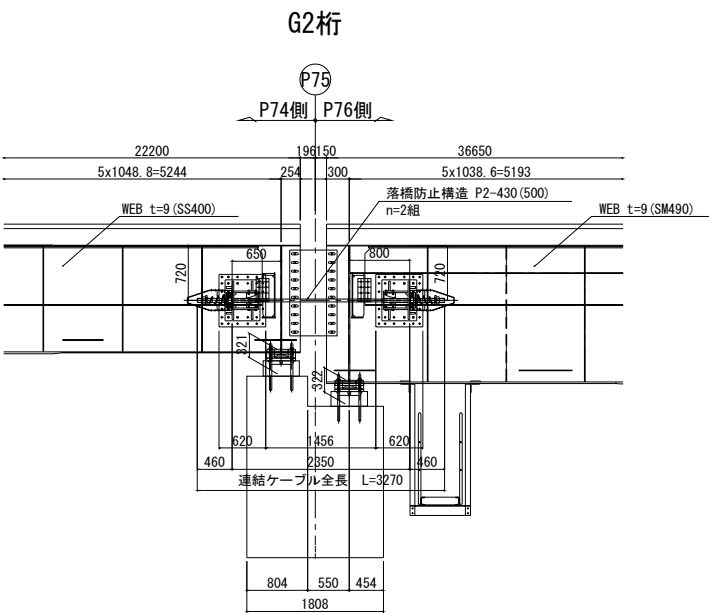


貫通孔1箇所当り(製作数:8箇所)
2-PL φ260x9 (SS400)
3-BN M16x50 (SS400)

撤去材料1箇所当り(撤去数:8)
1-PL φ120x9 (SS400)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P75橋脚落橋防止システム配置図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

側面図



落橋防止構造 数量表 AP75

項目	単位	数量	摘要
P2-430 (500)	本	10	

落橋防止構造 数量表 BランプP75

項目	単位	数量	摘要
P2-325 (500)	本	6	

上部工補強工 数量表 AP75

項目	単位	数量	摘要
A	t	0.056	

塗膜除去工 数量表 BランプP75

項目	単位	数量	摘要
A	m2	4.1	

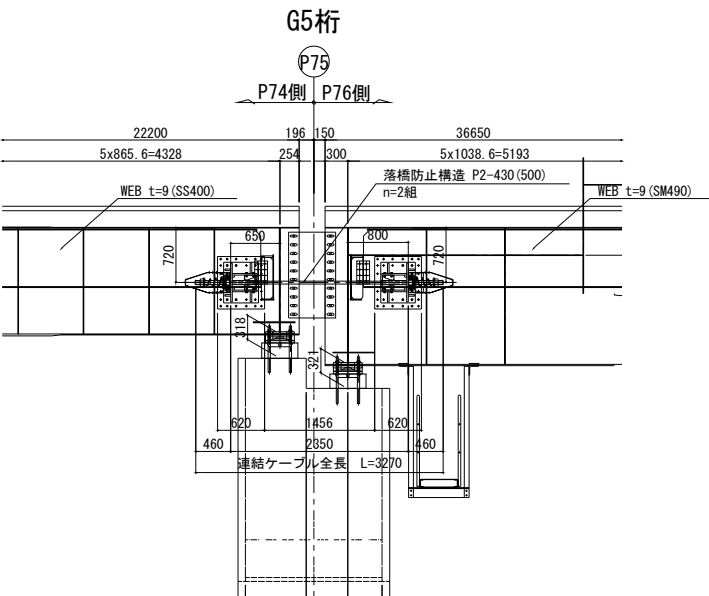
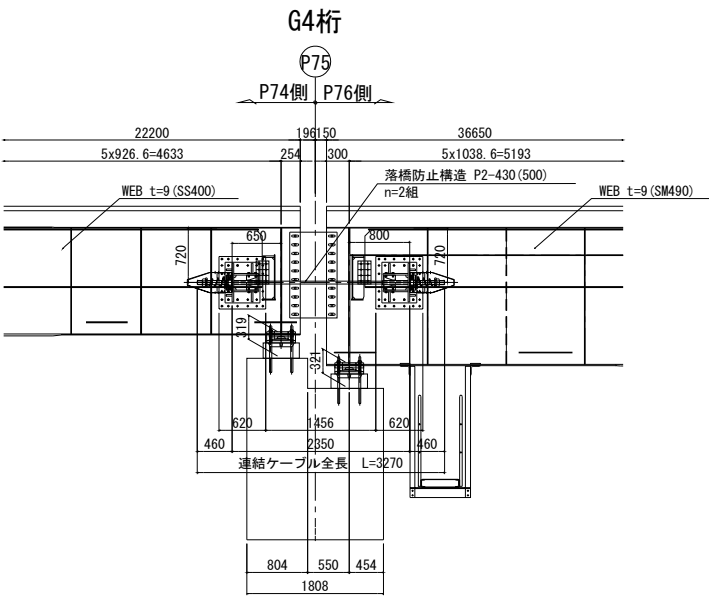
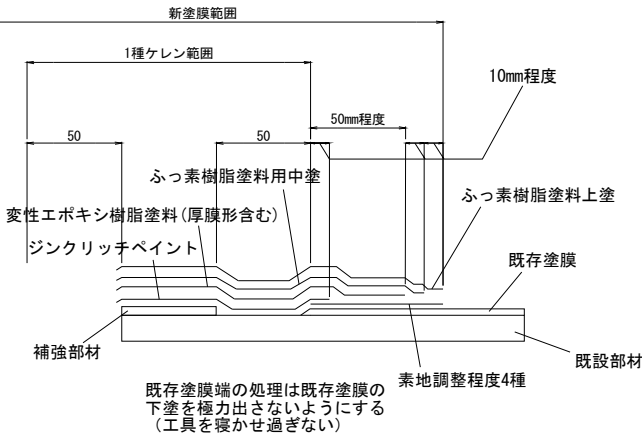
撤去工 数量表 AP75

項目	単位	数量	摘要
既設鋼部材A	t	0.013	

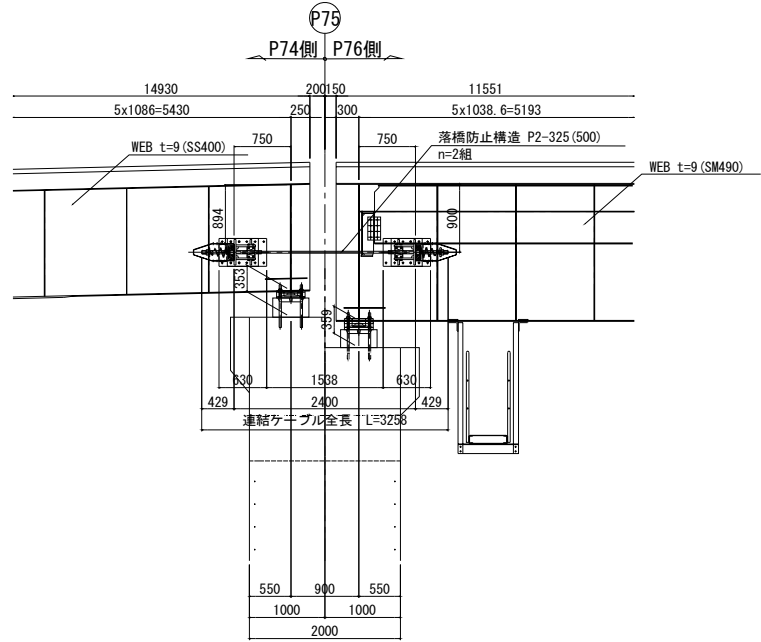
塗膜除去工 数量表 AP75

項目	単位	数量	摘要
A	m2	13.5	

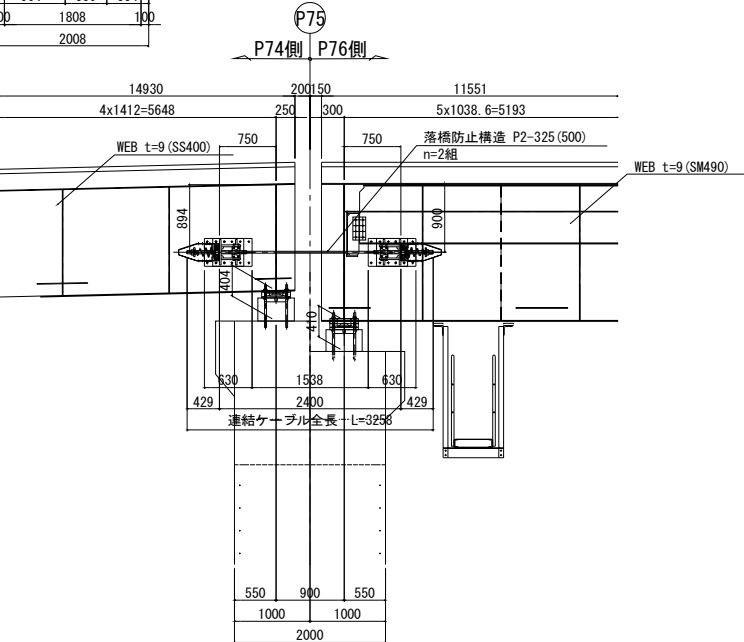
塗装境界部詳細図 S=1:4



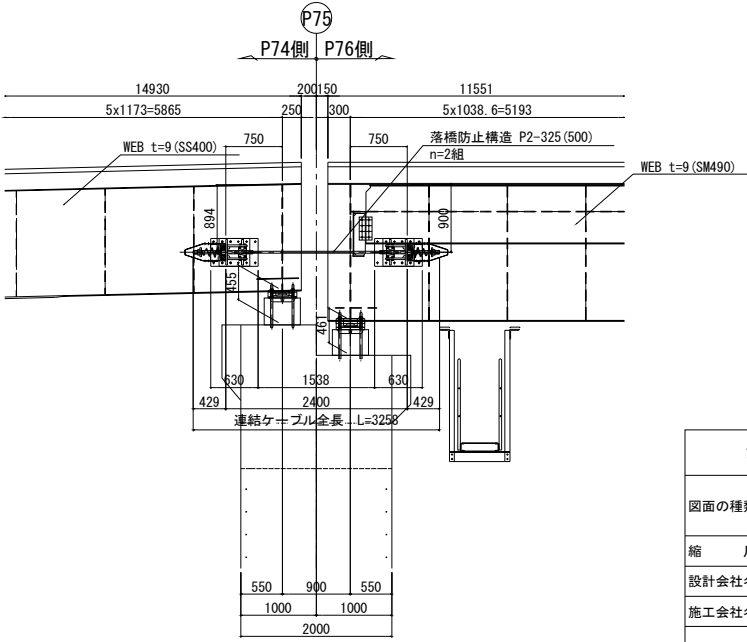
ランプ橋 G1桁



ランプ橋 G2桁

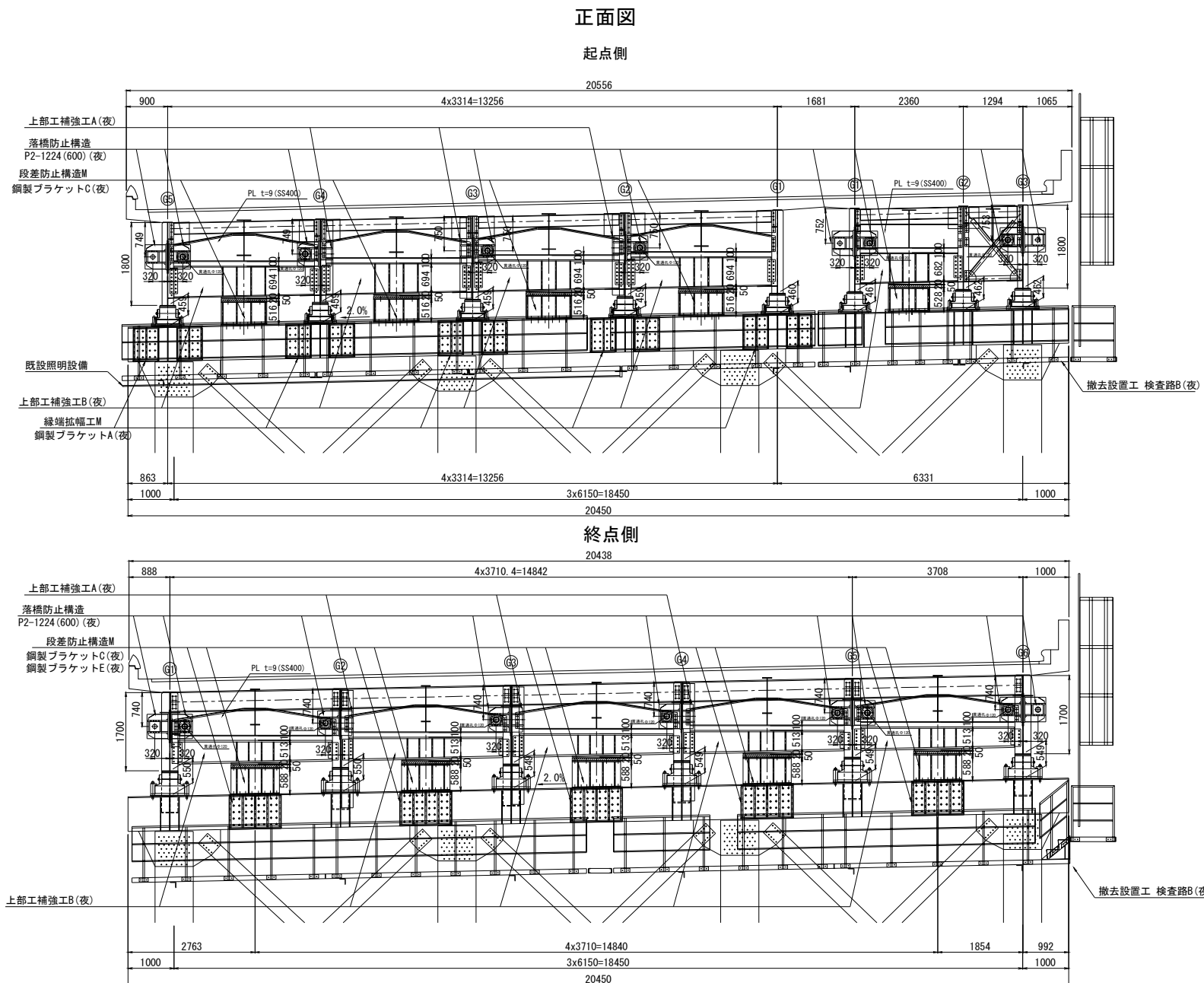
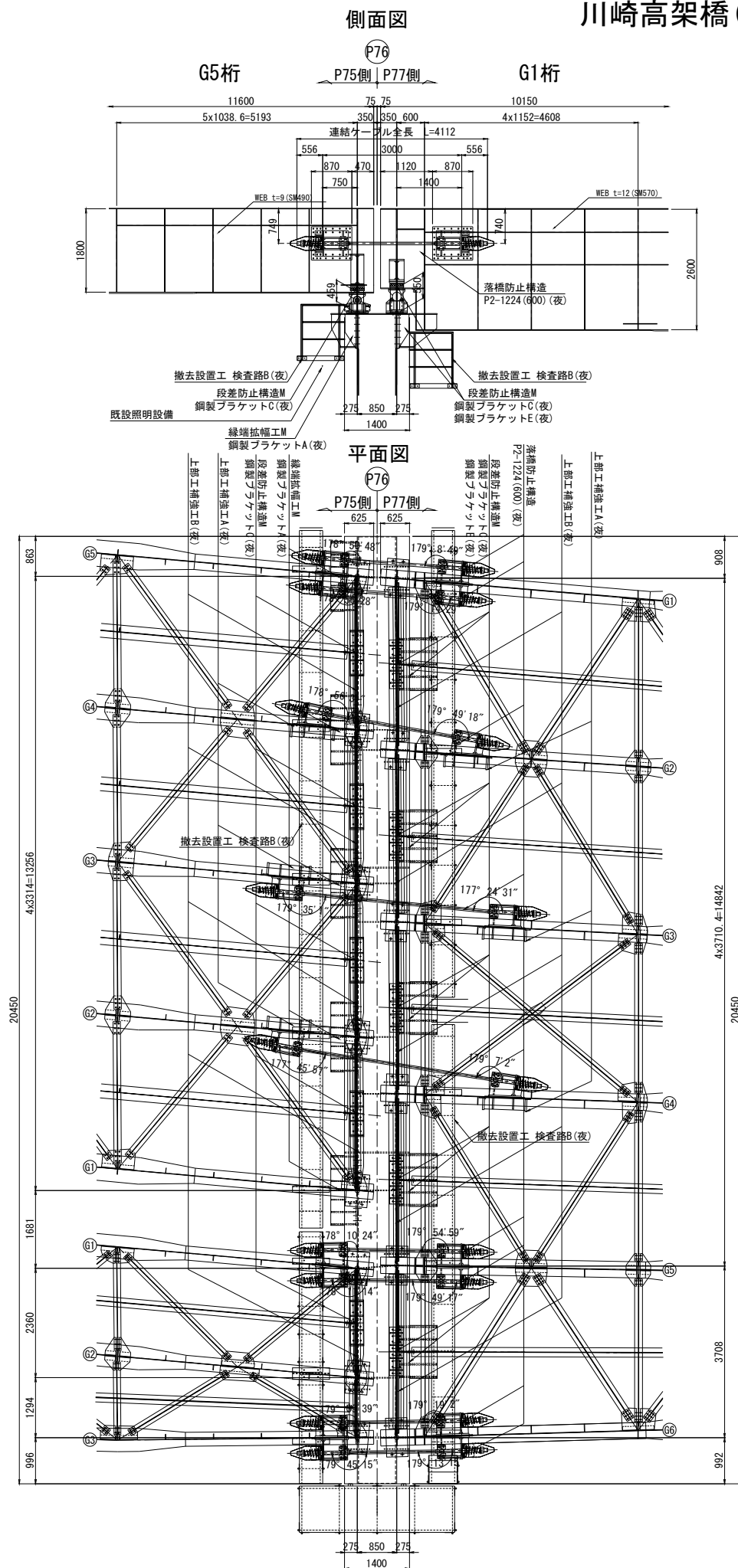


ランプ橋 G3桁



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P75橋脚落橋防止システム配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

川崎高架橋(上り線) P76橋脚落橋防止システム配置図(その1) S=1:125



端横桁貫通孔詳細

上部工補強工A(夜)

撤去工 既設鋼部材A(夜)

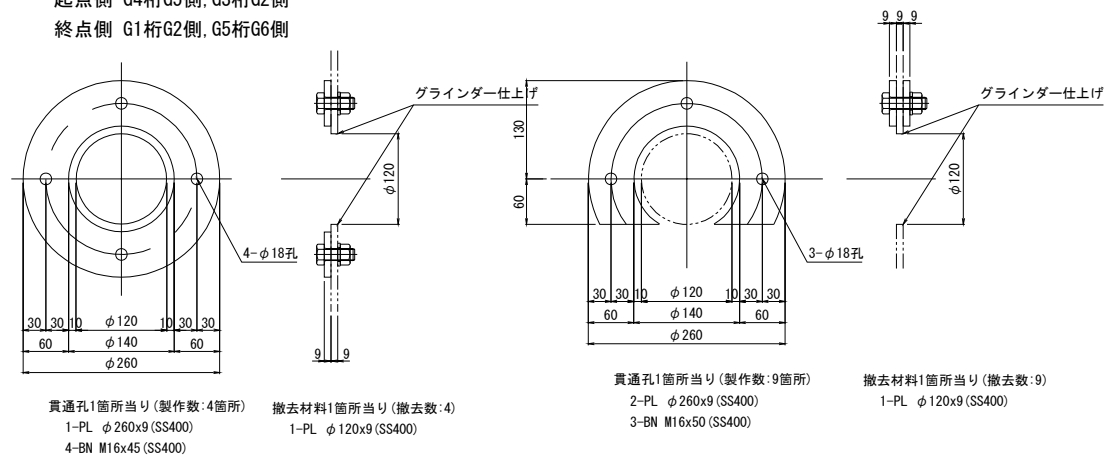
起点側 G4桁G5側, G3桁G2側

終点側 G1桁G2側, G5桁G6側

S=1:10

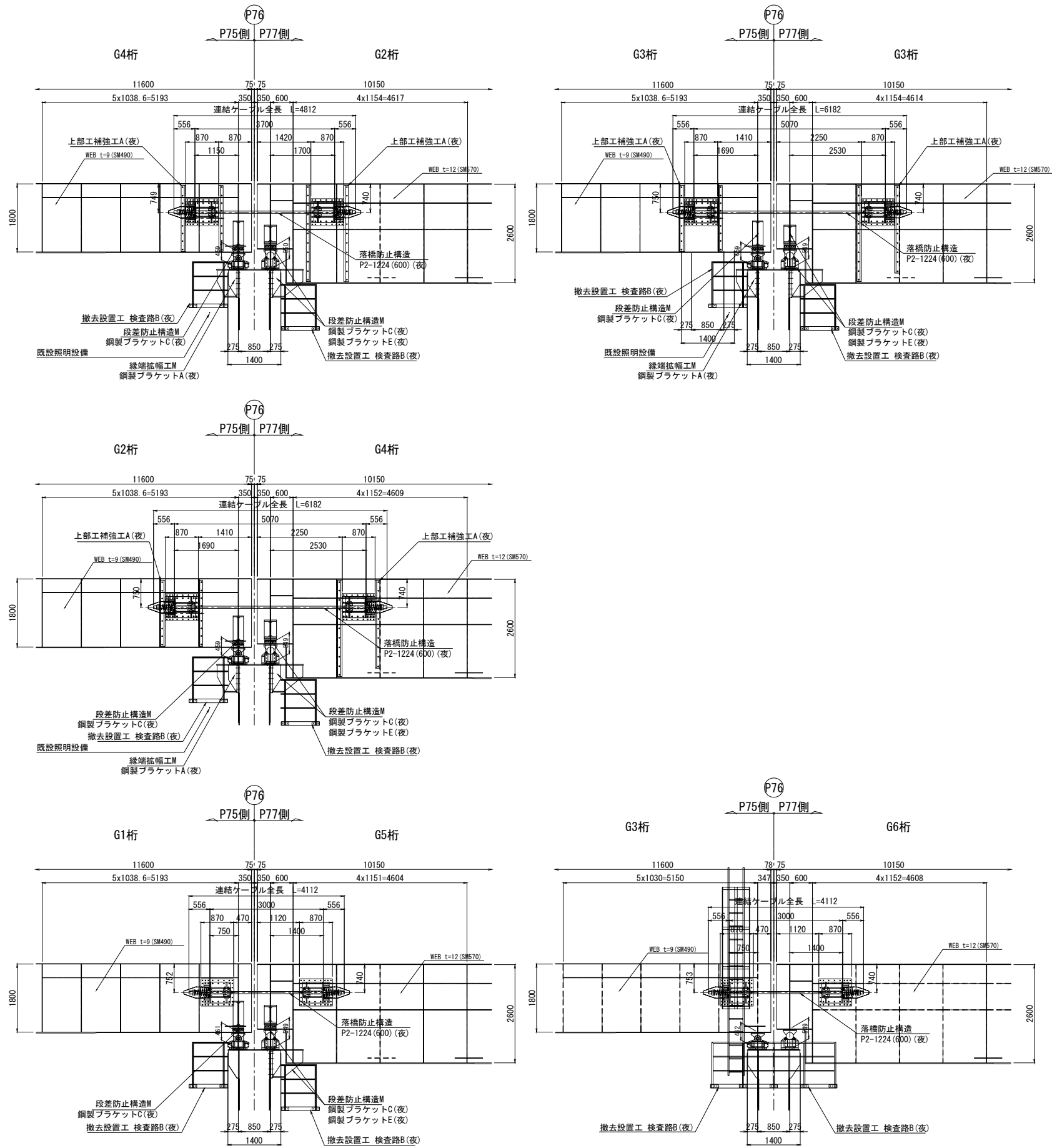
起点側 G5桁G4側, G3桁G2側, G2桁G1側, G1桁G2側

終点側 G2桁G1側, G3桁G2側, G4桁G3側, G5桁G4側, G6桁G5側



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P76橋脚落橋防止システム配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

側面図



緑端拡幅工M 数量表 AP76			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットA(夜)	t	3.555	

落橋防止構造 数量表 AP76			
項目	単位	数量	摘要
P2-1224(600)(夜)	本	9	

段差防止構造M 数量表 AP76			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットC(夜)	t	2.912	
鋼製ブラケットE(夜)	t	5.945	

上部工補強工 数量表 AP76			
項目	単位	数量	摘要
A(夜)	t	3.401	
B(夜)	t	8.943	

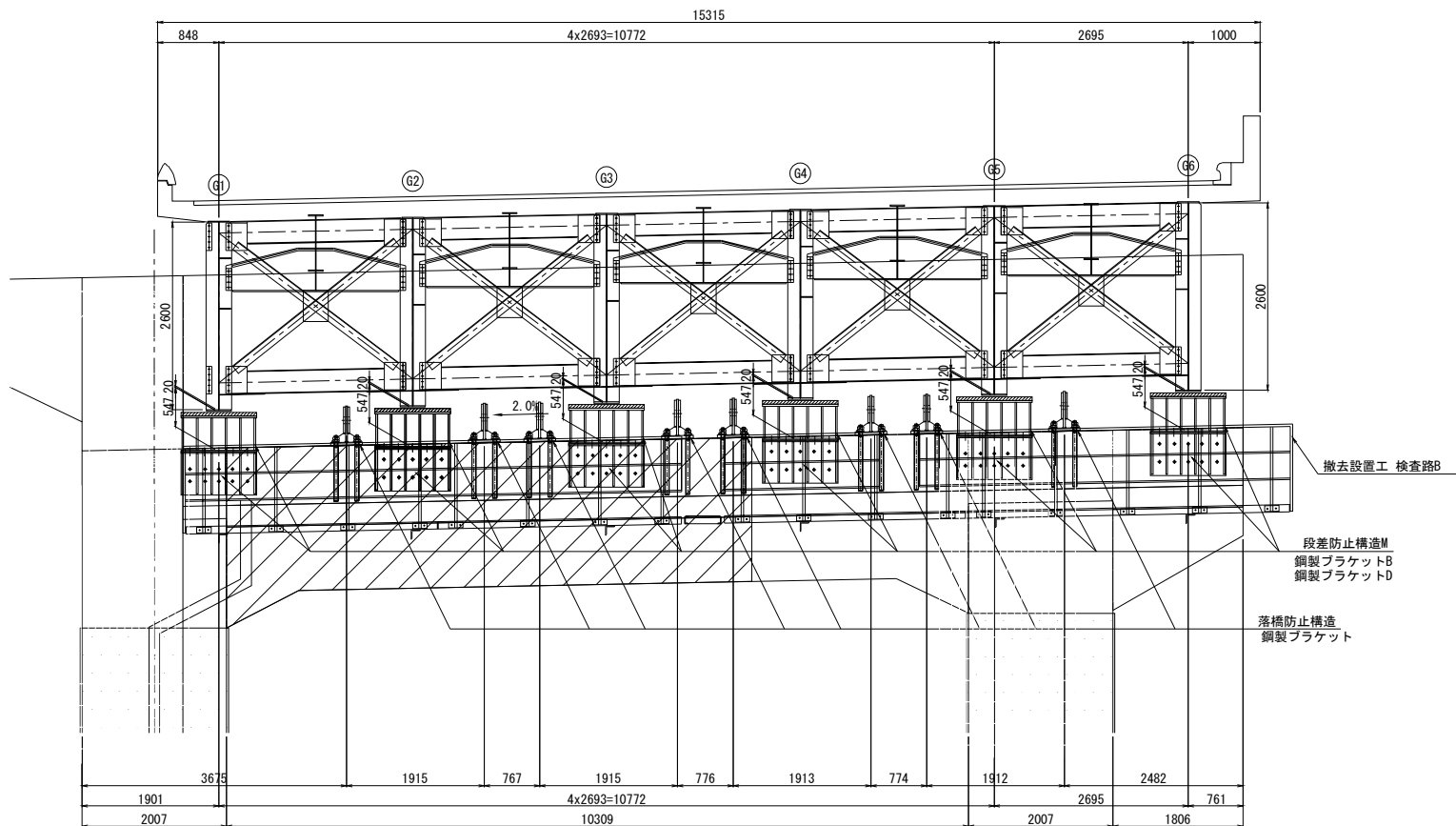
撤去工 数量表 AP76			
項目	単位	数量	摘要
既設鋼部材A(夜)	t	1.503	

塗膜除去工 数量表 AP76			
項目	単位	数量	摘要
A(夜)	m2	80.7	

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P76橋脚落橋防止システム配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

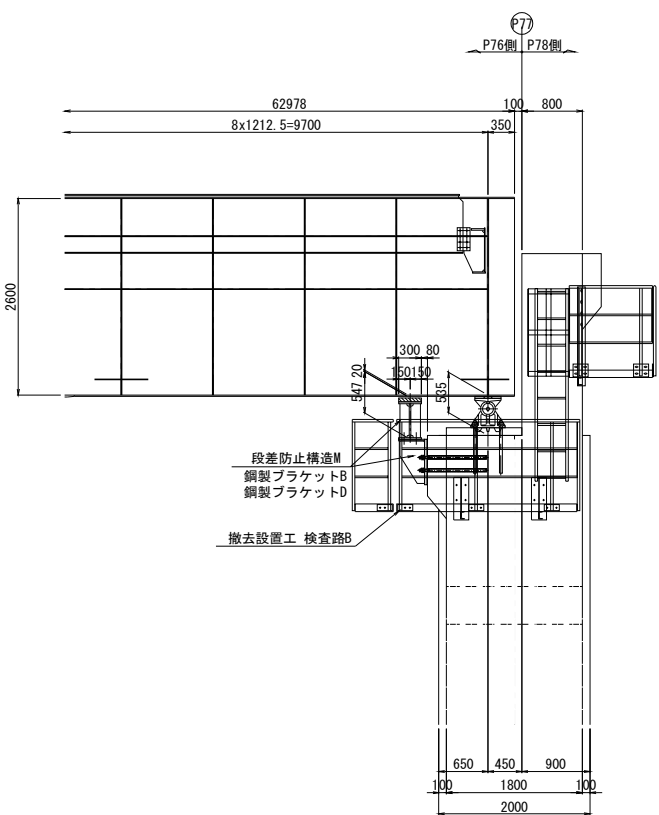
正面図

起点側

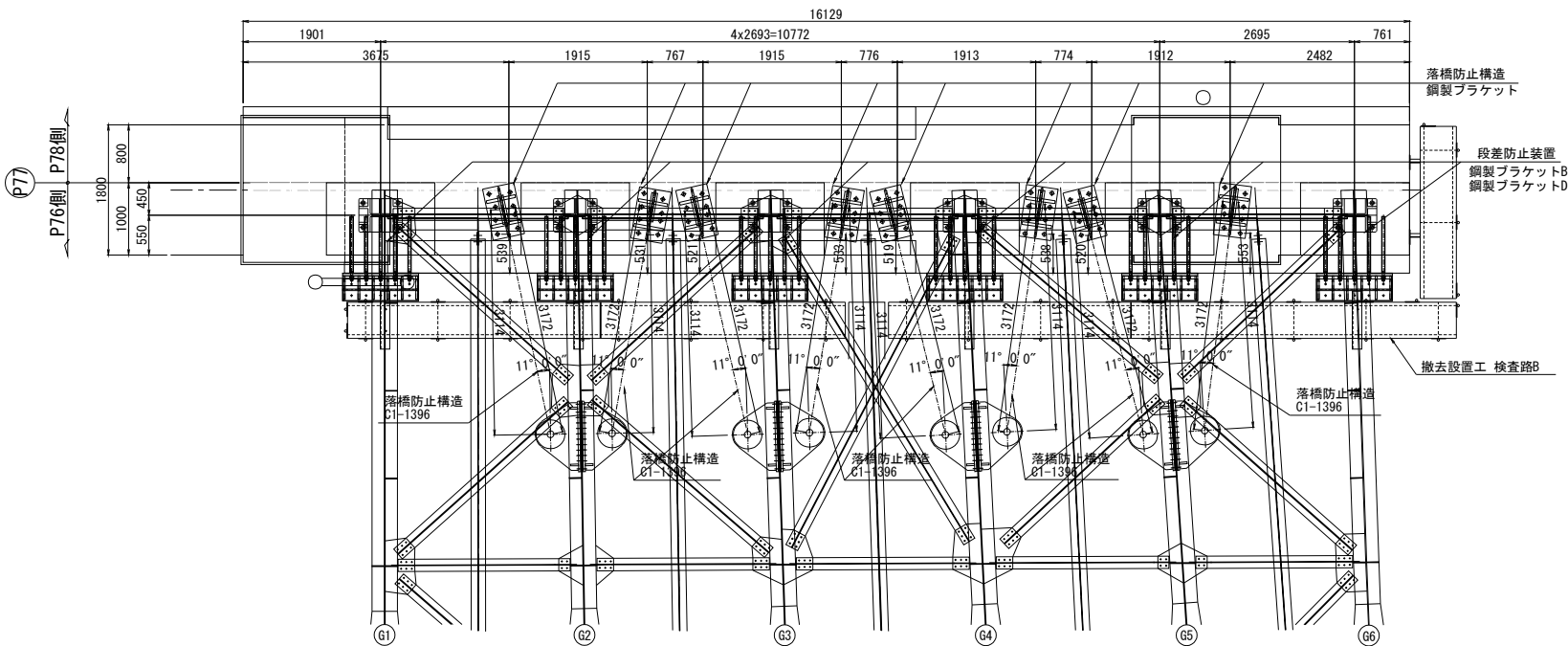


側面図

G1桁



平面図



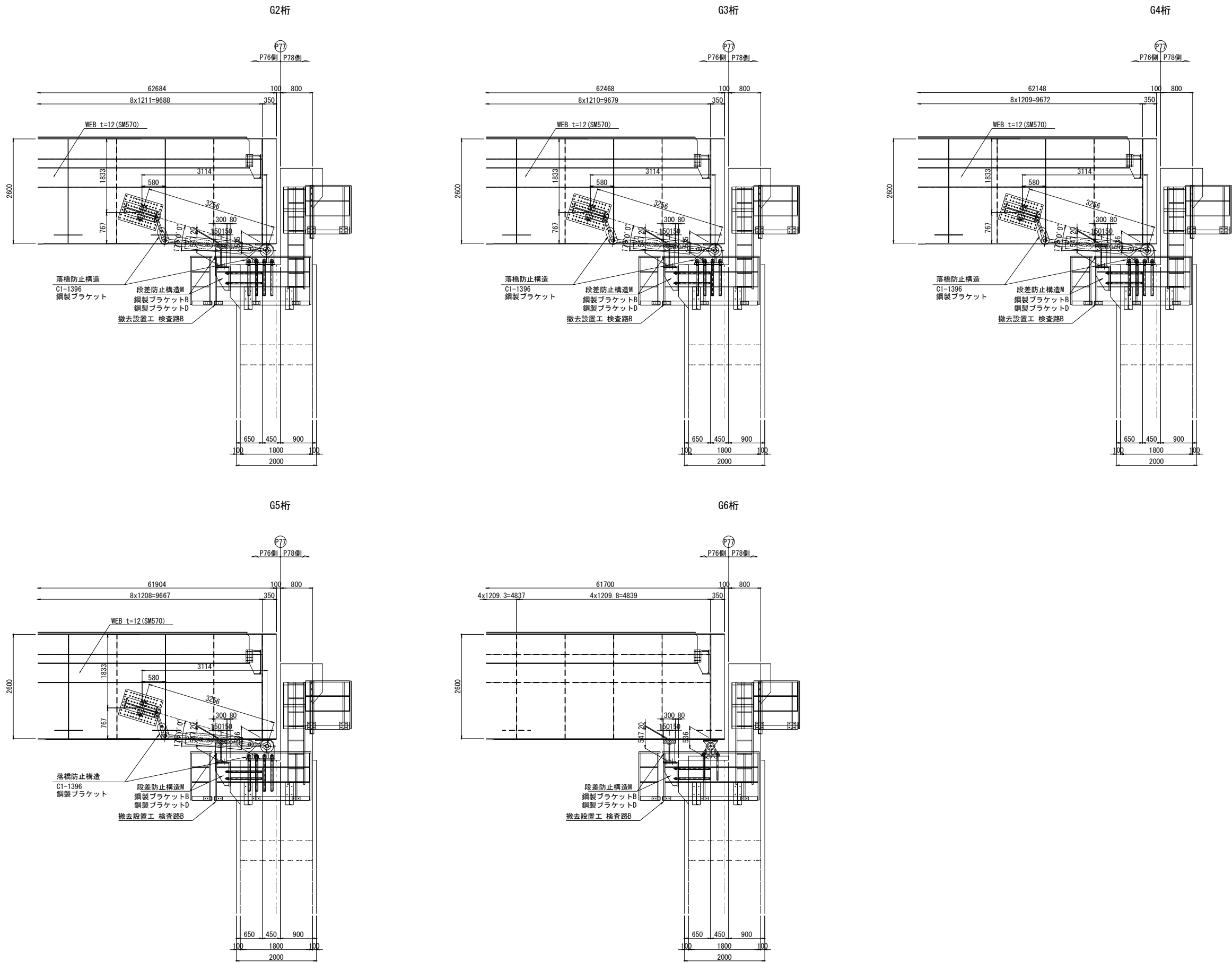
落橋防止構造 数量表 AP77			
項目	単位	数量	摘要
C1-1396	本	8	
鋼製ブラケット	t	1.856	
アンカーエφ61・775(下方向)	本	64	

段差防止構造M 数量表 AP77			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットB	t	1.554	
鋼製ブラケットD	t	1.746	
アンカーエφ45・785(水平方向)	本	60	

塗膜除去工 数量表 AP77			
項目	単位	数量	摘要
A	m2	6.6	

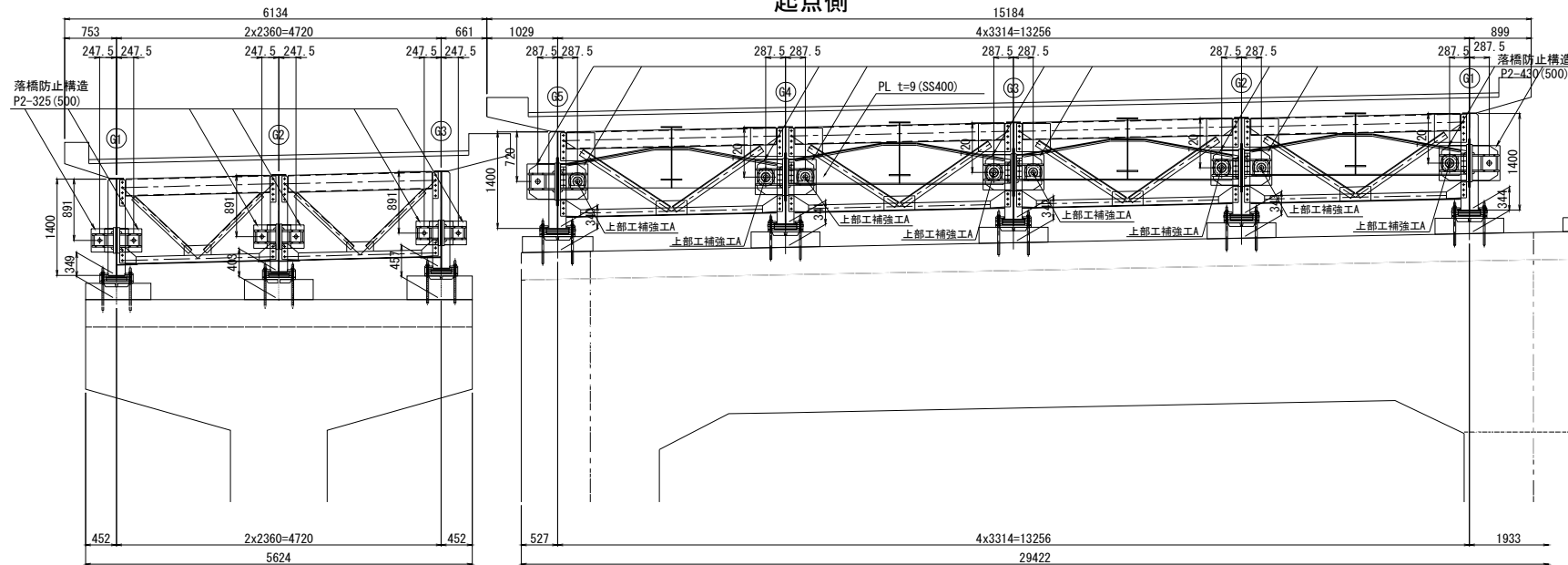
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P77橋脚落橋防止システム配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

側面図

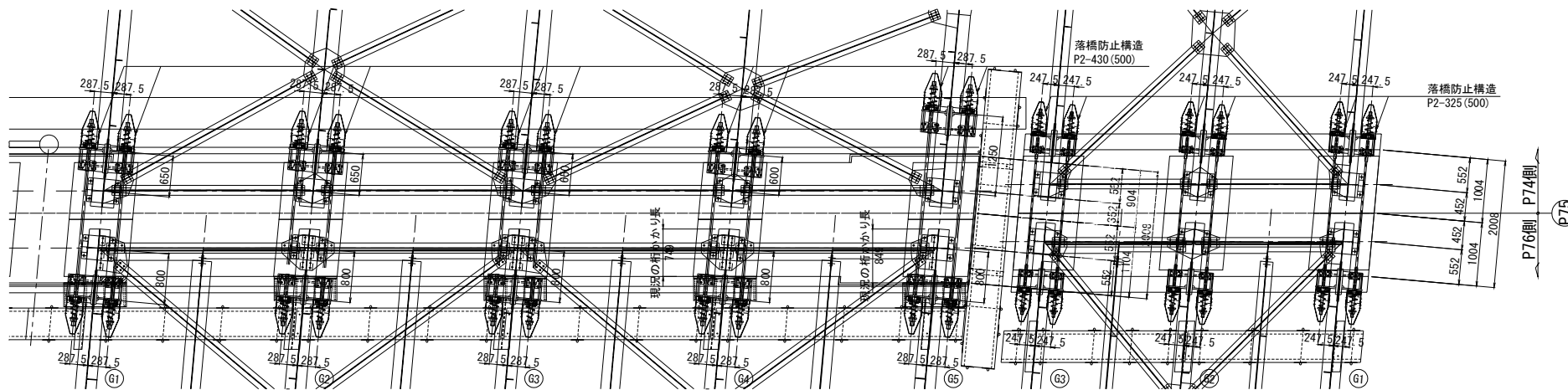


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P77橋脚落橋防止システム配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

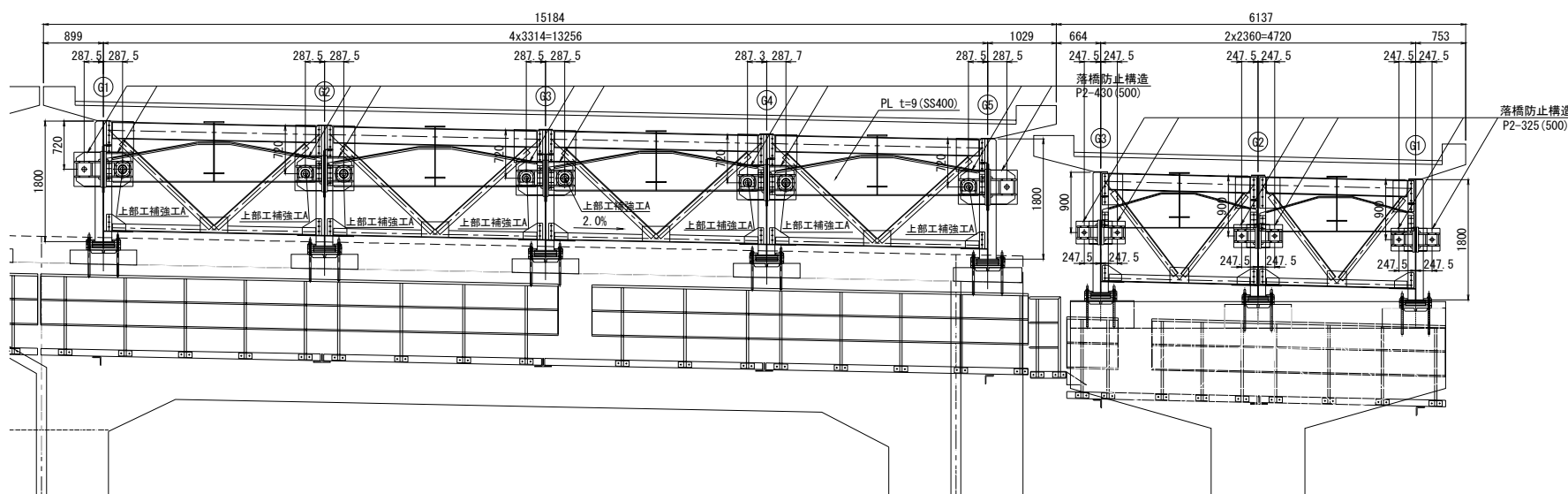
正面図
起点側



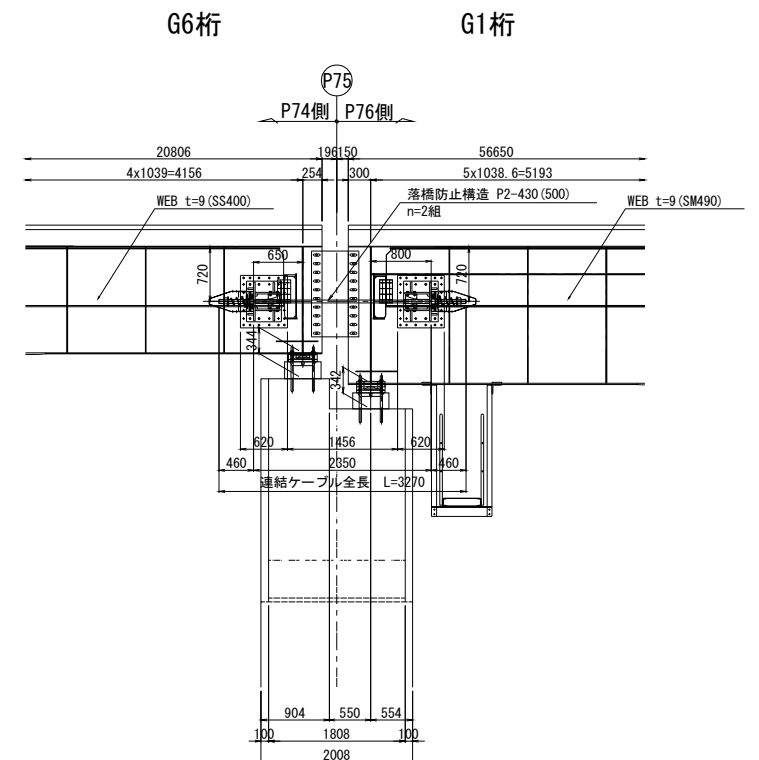
平面図



正面図
終点側



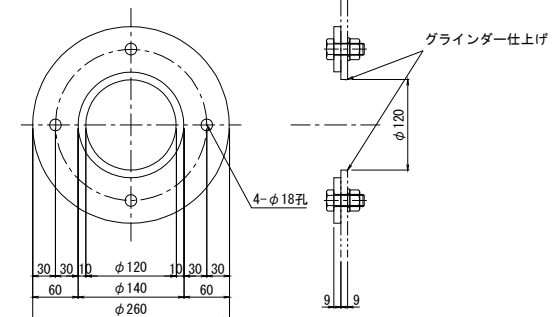
側面図



端横桁貫通孔詳細 S=1:10

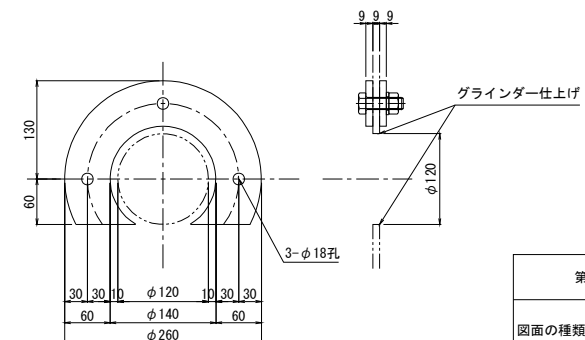
上部工補強工A
撤去工 既設鋼部材A

起点側 G4桁G5側, G3桁G4側, G2桁G3側, G1桁G2側
終点側 G4桁G5側, G3桁G4側, G2桁G3側, G1桁G2側



貫通孔1箇所当り(製作数:8箇所) 撤去材料1箇所当り(撤去数:8)
1-PL φ260x9 (SS400) 1-PL φ120x9 (SS400)
4-BN M16x45 (SS400)

起点側 G5桁G4側, G4桁G3側, G3桁G2側, G2桁G1側
終点側 G5桁G4側, G4桁G3側, G3桁G2側, G2桁G1側



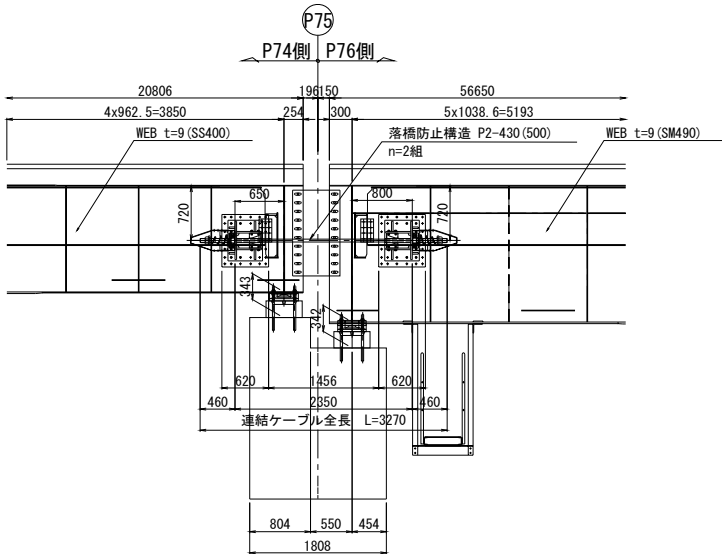
貫通孔1箇所当り(製作数:8箇所) 撤去材料1箇所当り(撤去数:8)
2-PL φ260x9 (SS400) 1-PL φ120x9 (SS400)
3-BN M16x50 (SS400)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) P75橋脚落橋防止システム配置図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

側面図

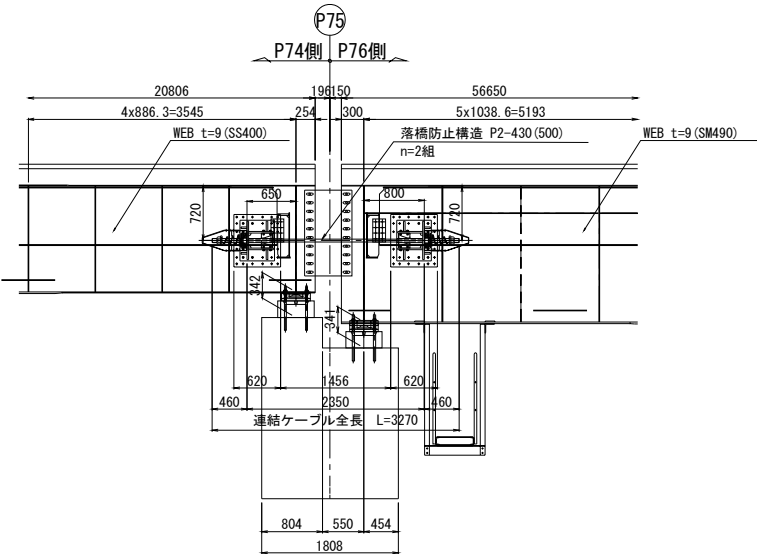
G7桁

G2桁



G8桁

G3桁



落橋防止構造 数量表				BP75
項目	単位	数量	摘要	
P2-430 (500)	本	10		

落橋防止構造 数量表				CランプP75
項目	単位	数量	摘要	
P2-325 (500)	本	6		

上部工補強工 数量表				BP75
項目	単位	数量	摘要	
A	t	0.056		

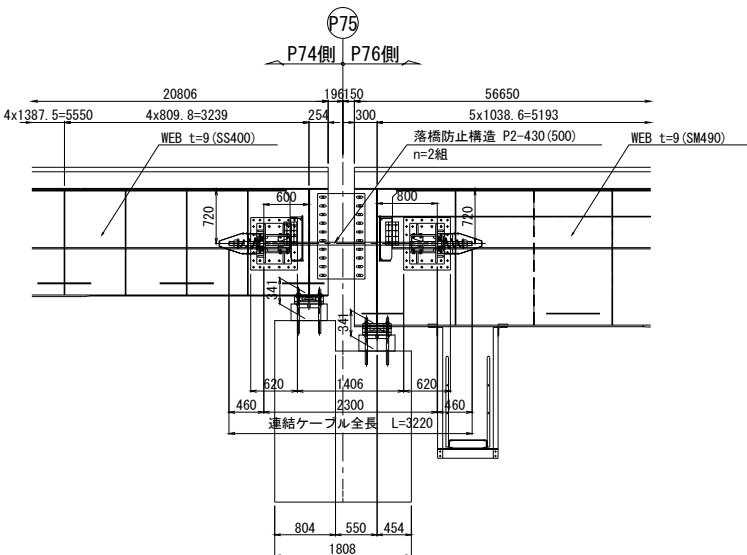
塗膜除去工 数量表				CランプP75
項目	単位	数量	摘要	
A	m2	4.1		

撤去工 数量表				BP75
項目	単位	数量	摘要	
既設鋼部材A	t	0.013		

塗膜除去工 数量表				BP75
項目	単位	数量	摘要	
A	m2	13.5		

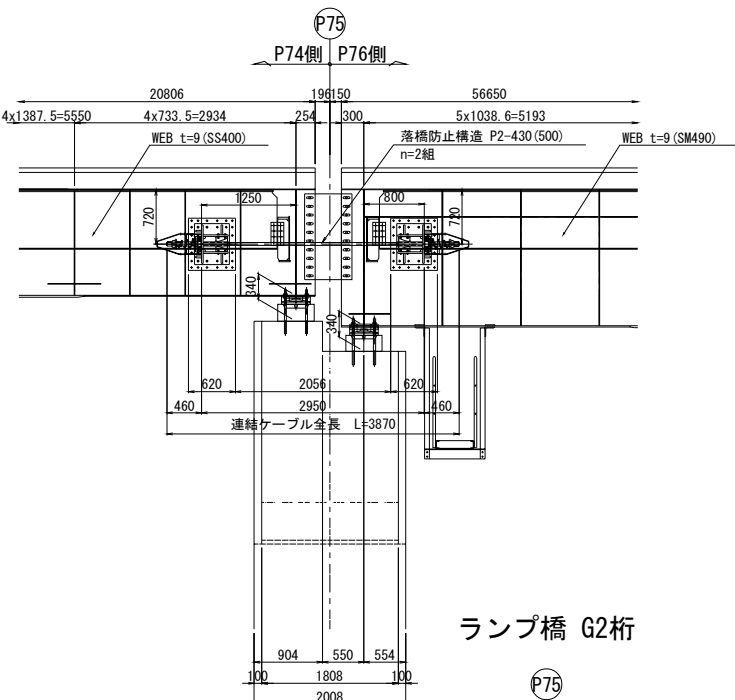
G9桁

G4桁



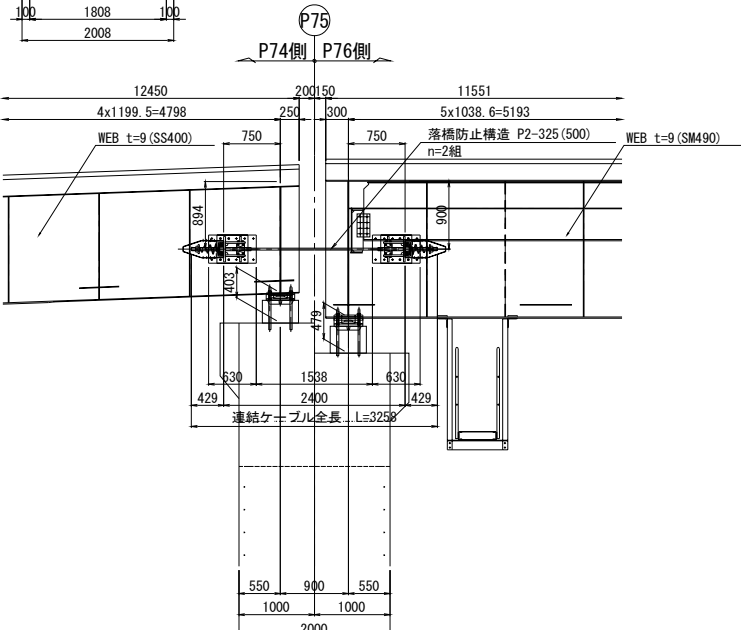
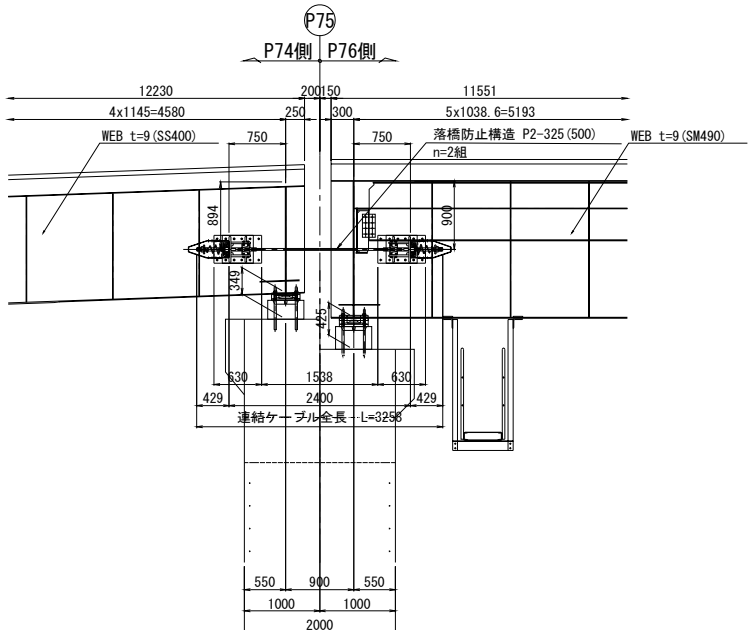
G10桁

G5桁

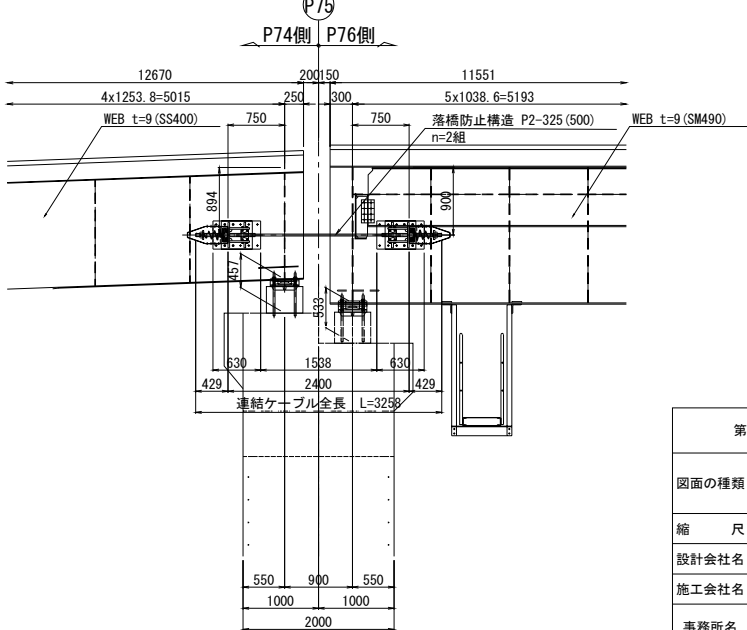


ランプ橋 G1桁

ランプ橋 G2桁

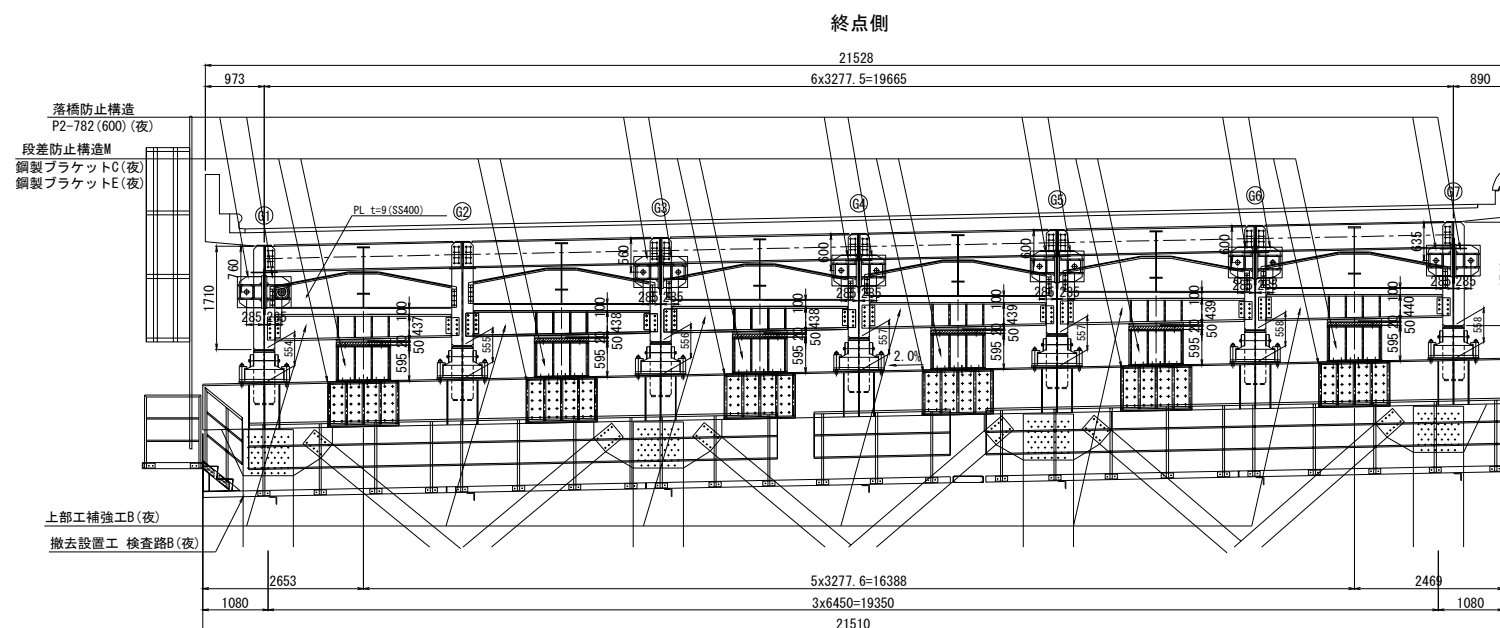
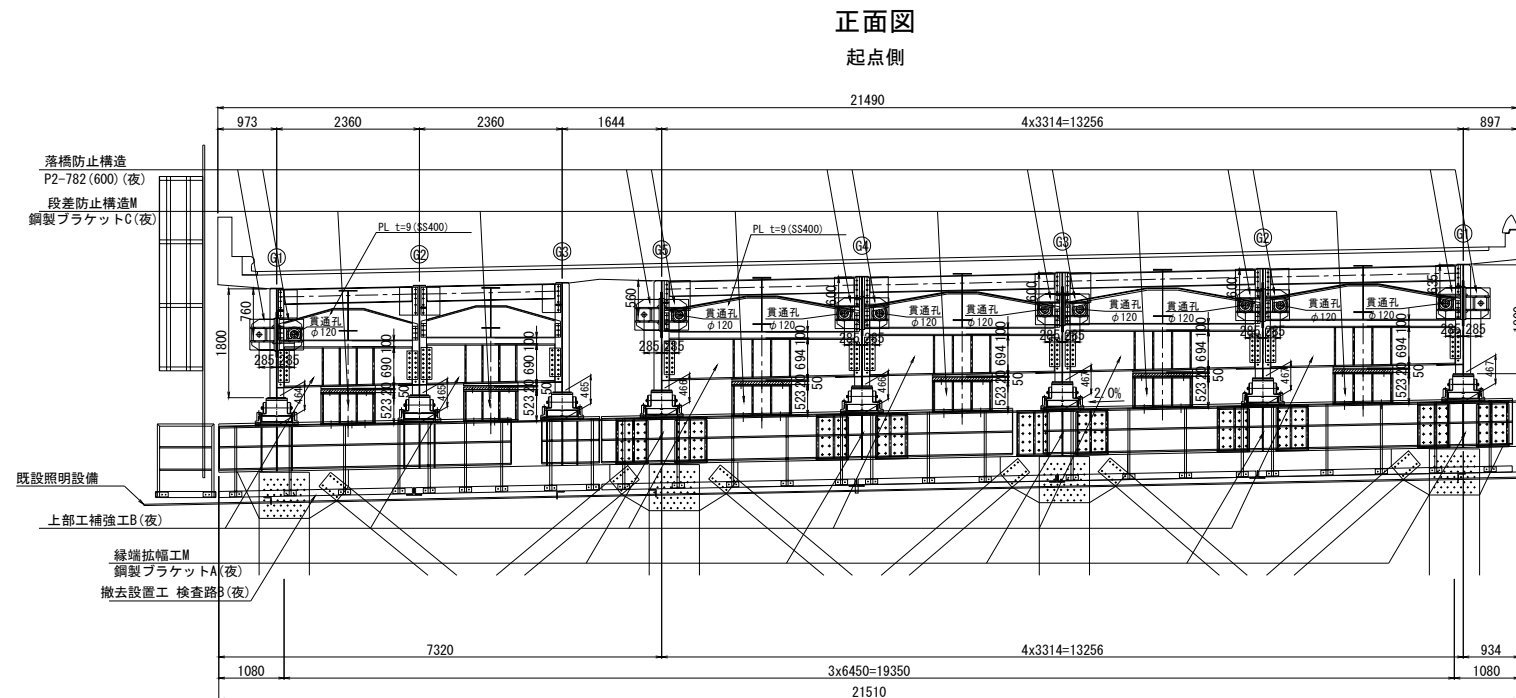
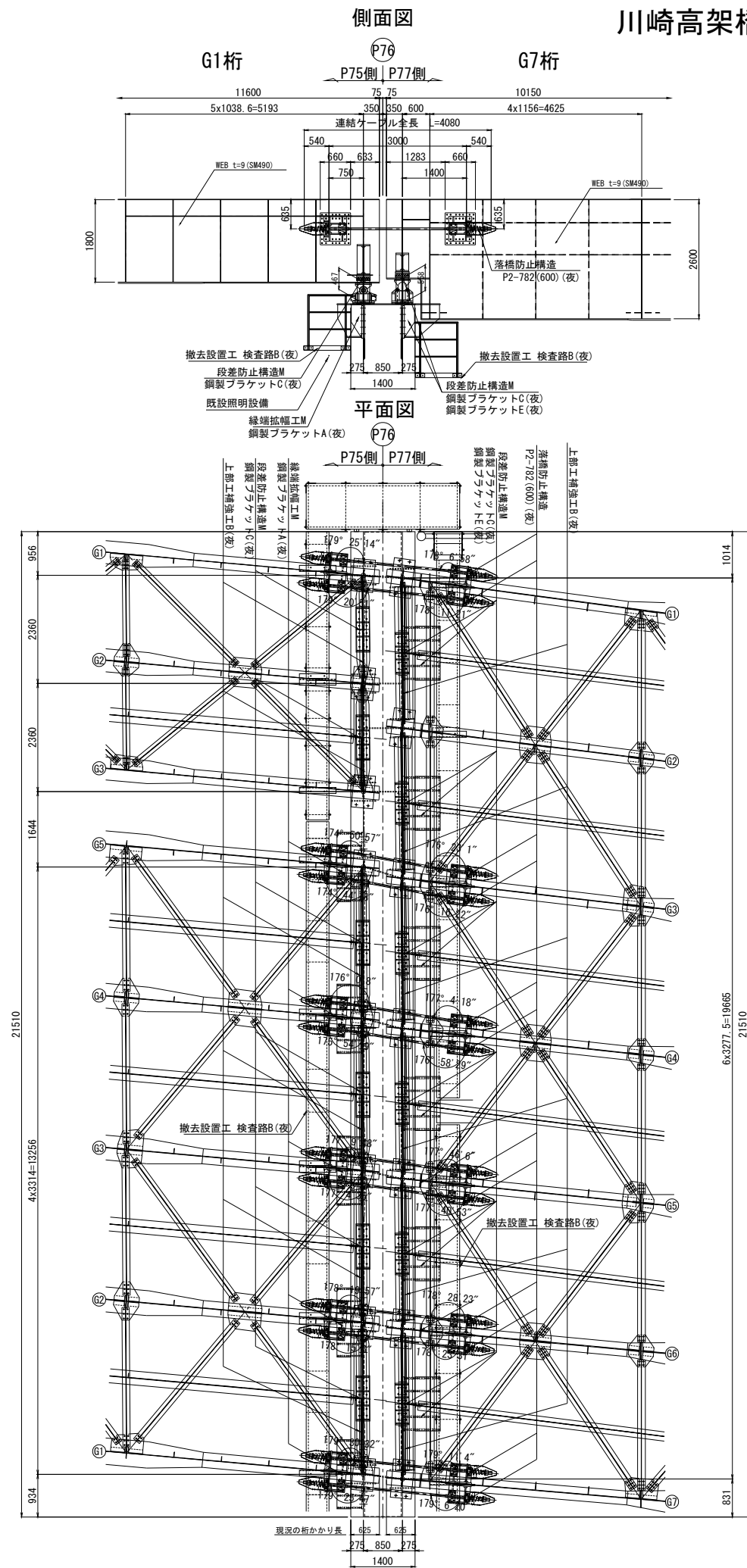


ランプ橋 G3桁



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類	川崎高架橋(下り線) P75橋脚落橋防止システム配置図(その2)			
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

川崎高架橋(下り線) P76橋脚落橋防止システム配置図(その1) S=1:125



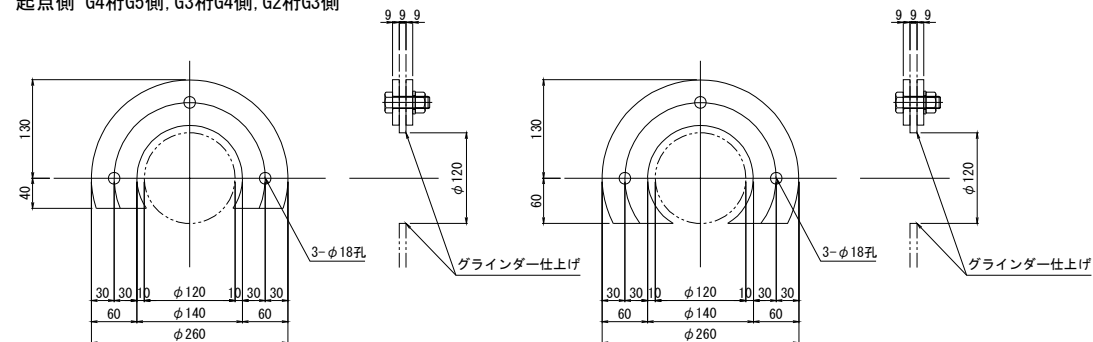
端横桁貫通孔詳細 S=1:10

上部工補強工A(夜)

撤去工 既設鋼部材A(夜)

起点側 G4桁G5側, G3桁G4側, G2桁G3側

起点側 ランプG1桁G2側, G5桁G4側, G4桁G3側, G3桁G2側, G2桁G1側, G1桁G2側
 終点側 G1桁G2側



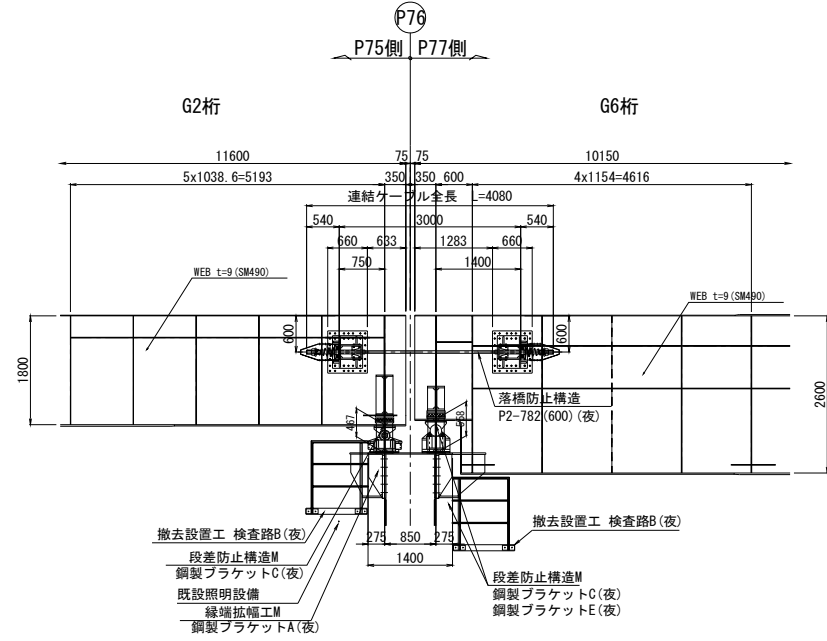
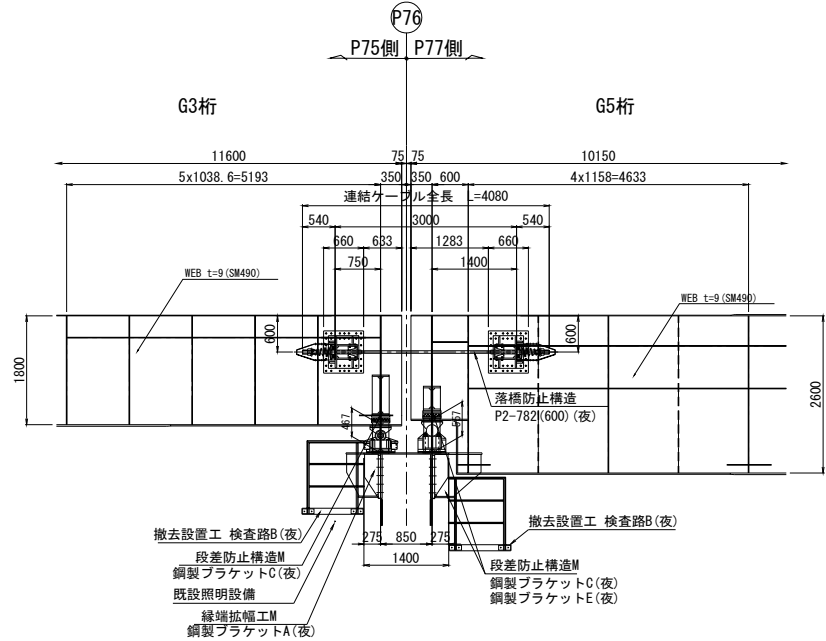
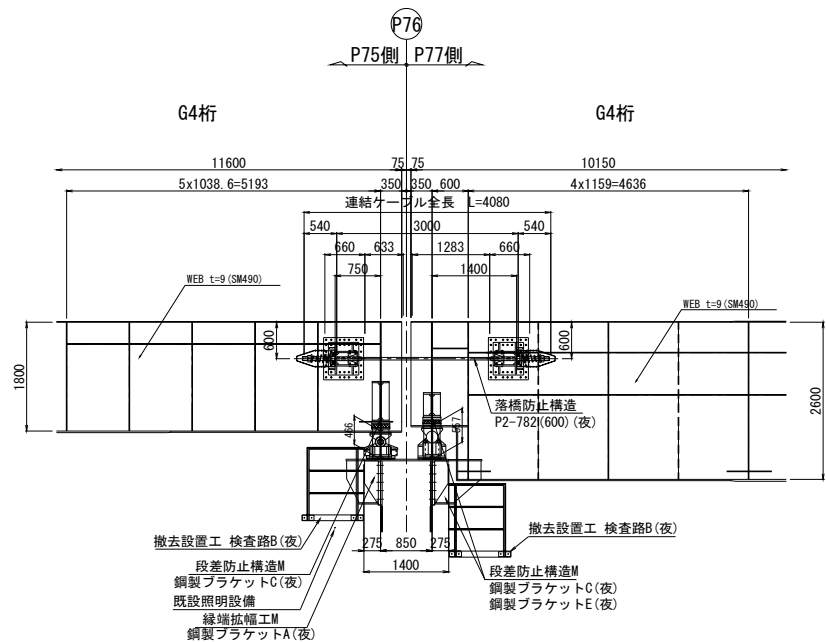
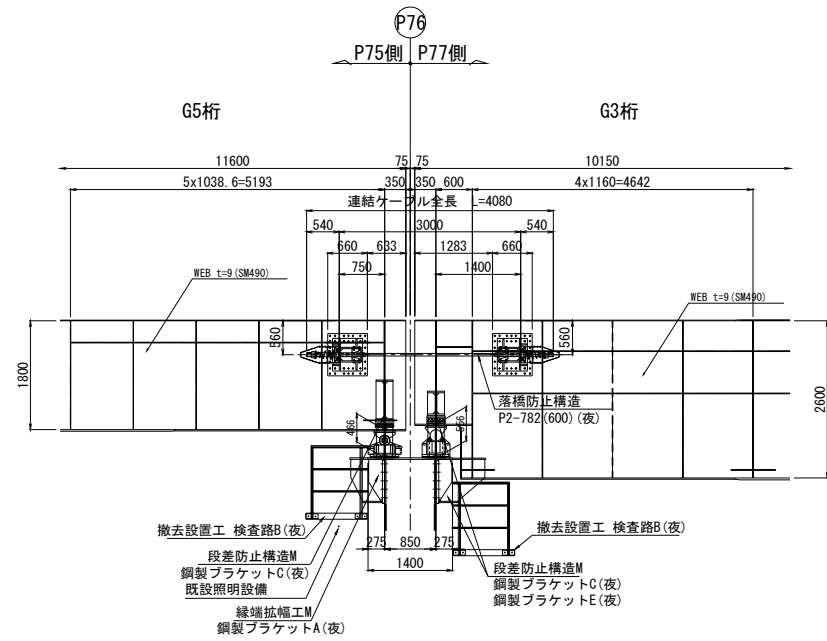
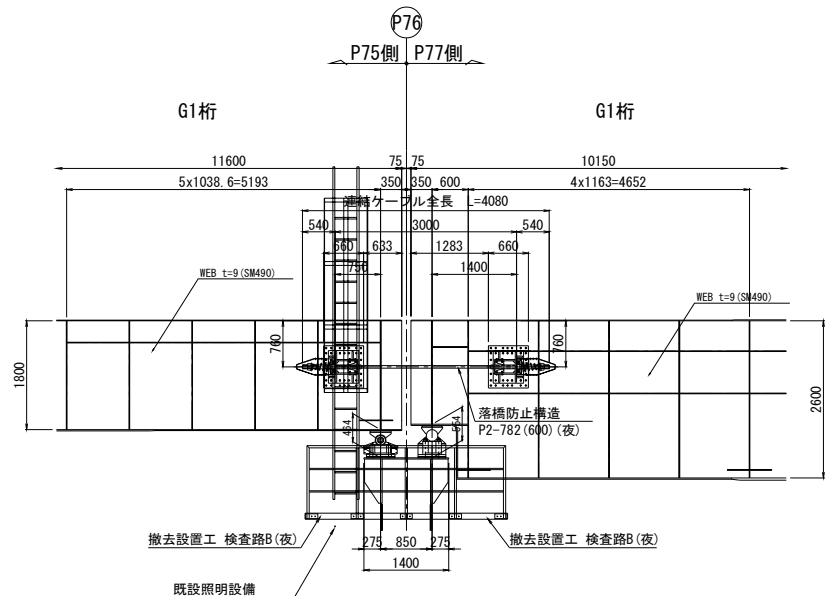
貫通孔1箇所当り(製作数:3箇所)
1-PL $\phi 260 \times 9$ (SS400)
3-BN M16x50 (SS400)

撤去材料1箇所当り(撤去数:3)
1-PL $\phi 120 \times 9$ (SS400)

貫通孔1箇所当り(製作数:7箇所)
2-PL $\phi 260 \times 9$ (SS400)
3-BN M16x50 (SS400)

撤去材料1箇所当り(撤去数:7)
1-PL $\phi 120 \times 9$ (SS400)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類	川崎高架橋(下り線) P76橋脚落橋防止システム配置図(図1)			
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所			



縁端拡幅工M 数量表 BP76			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットA(夜)	t	3.555	

落橋防止構造 数量表 BP76			
項目	単位	数量	摘要
P2-782(600)(夜)	本	12	

段差防止構造M 数量表 BP76			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットC(夜)	t	3.256	
鋼製ブラケットE(夜)	t	6.600	

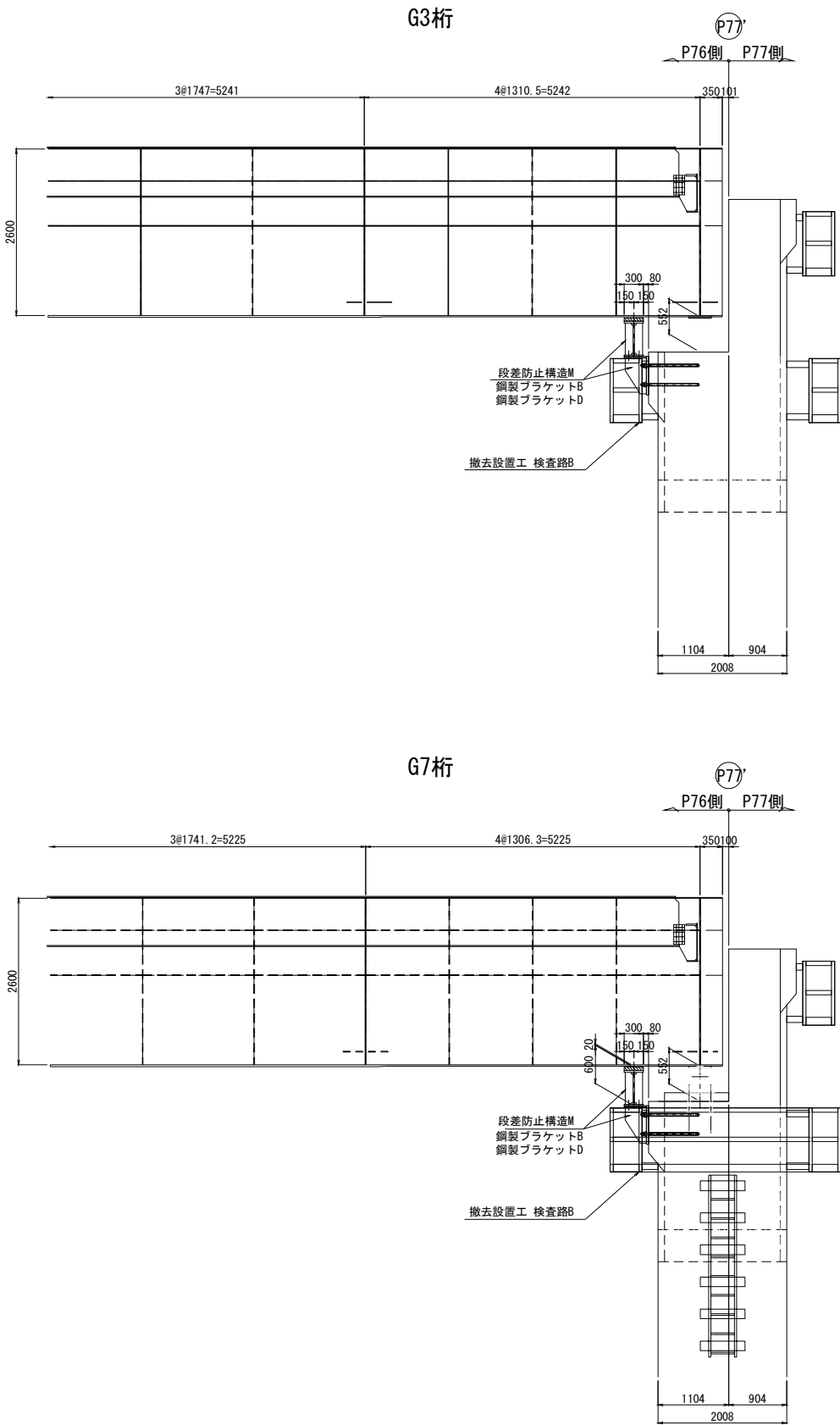
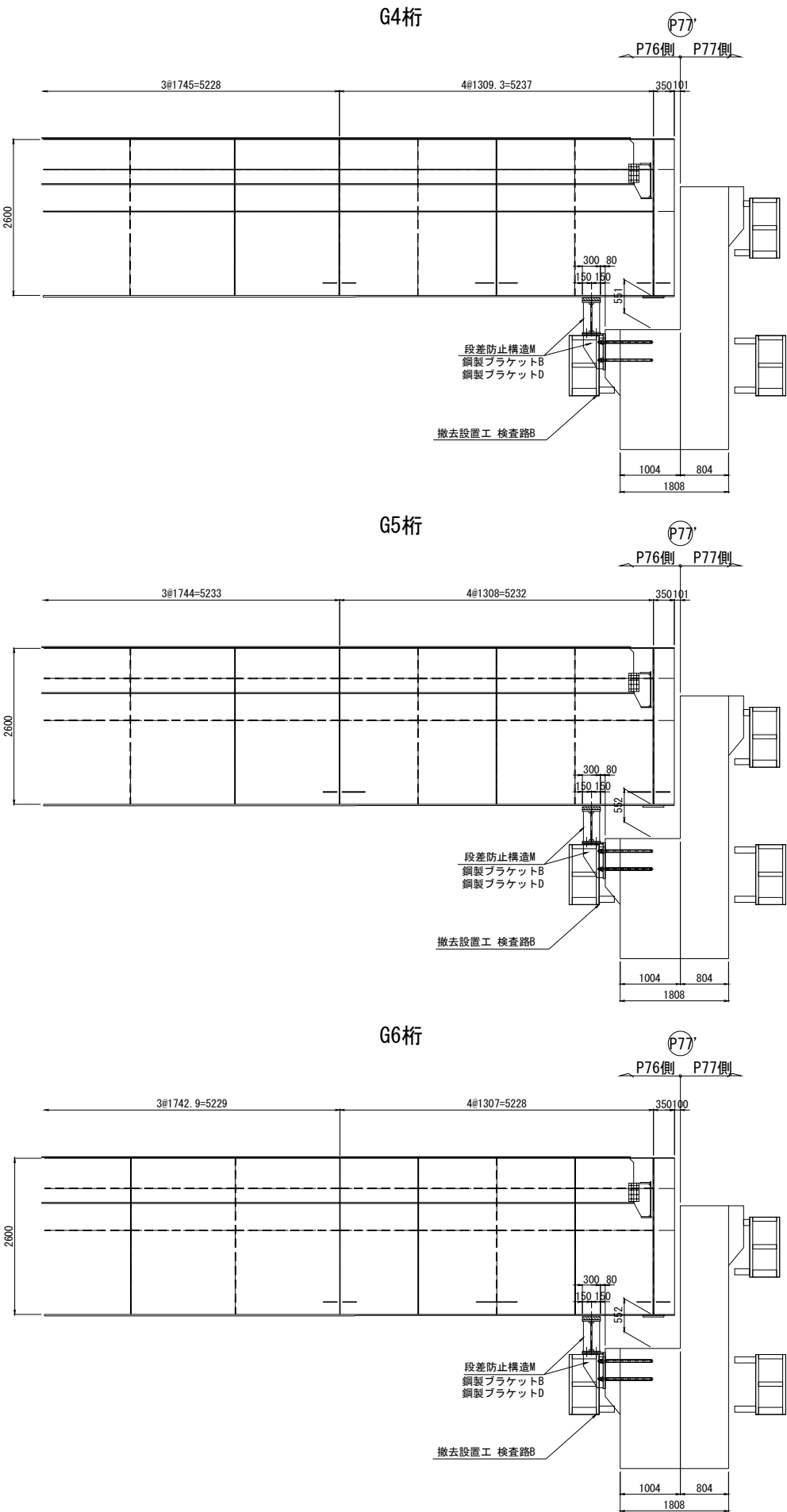
上部工補強工 数量表 BP76			
項目	単位	数量	摘要
A(夜)	t	0.035	
B(夜)	t	8.426	

撤去工 数量表 BP76			
項目	単位	数量	摘要
既設鋼部材A(夜)	t	1.674	

塗膜除去工 数量表 BP76			
項目	単位	数量	摘要
A(夜)	m2	78.0	

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) P76橋脚落橋防止システム配置図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

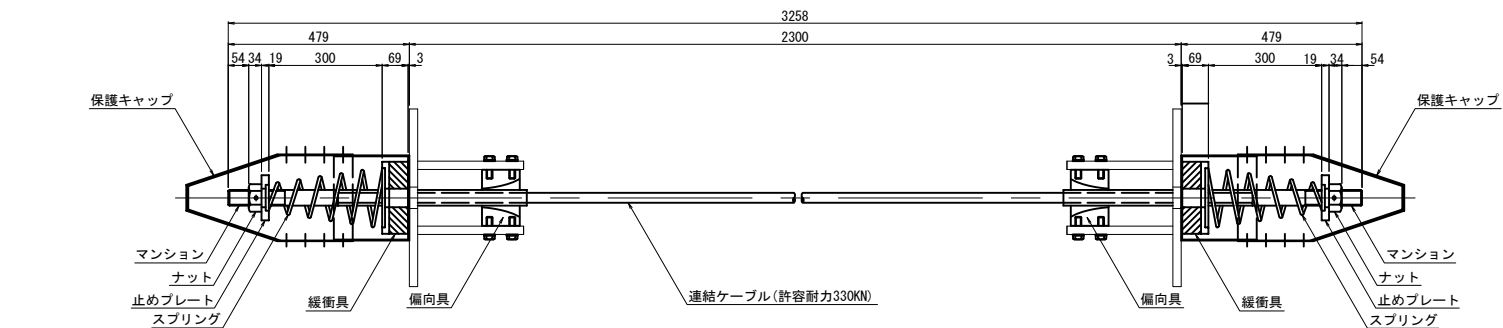
側面図



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) P77' 橋脚段差システム構造配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

P75橋脚 P2-325 (500) (参考図)

取付詳細図



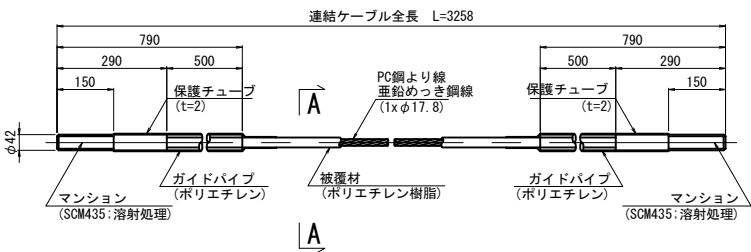
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

全12組

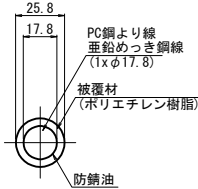
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル	許容耐力330kN L=3258mm	本	1	PC鋼より線、亜鉛めっき鋼線、ポリエチレン被覆
(マンション)	許容耐力330kN 標準	個	2	SCM435:亜鉛アルミ溶射処理、ねじきり標準 <ケーブルに組込>
(ガイドパイプ)	許容耐力330kN 500mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	許容耐力330kN	個	2	S45C:亜鉛めっき (HDZ55)
止めプレート	許容耐力330kN	個	2	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	許容耐力330kN L=450	個	2	SW-C:亜鉛めっき、クロメート処理
緩衝具	許容耐力330kN	個	2	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	許容耐力330kN	個	2	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	許容耐力330kN	組	2	ポリエチレン:8-止めビス付

設計地震力	325kN
設計遊間量	500mm
許容耐力	330kN

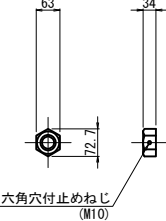
連結ケーブル



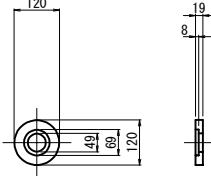
A-A断面図 S=1:4



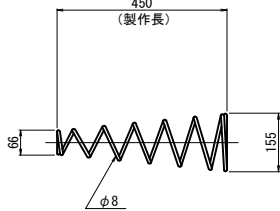
ナット (S45C:亜鉛めっき)



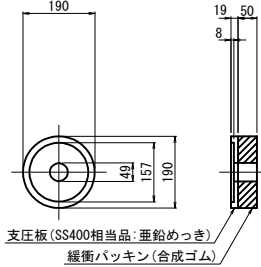
止めプレート (SS400相当品:亜鉛めっき)



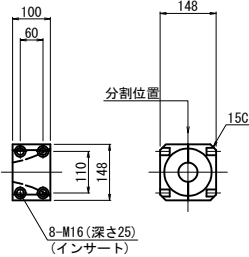
スプリング (SW-C:亜鉛めっき、クロメート処理)



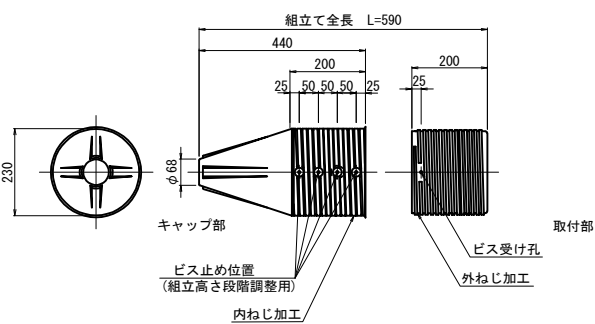
緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



偏向具 (ポリエチレン)



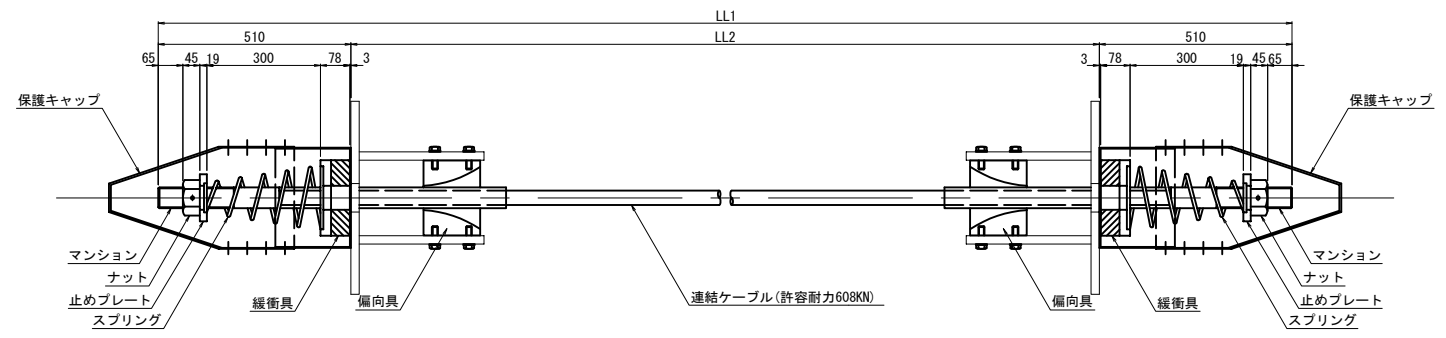
保護キャップ (ポリエチレン)



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 落橋防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上下線 P75橋脚 P2-430(500) (参考図)

取付詳細図



材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

全20組

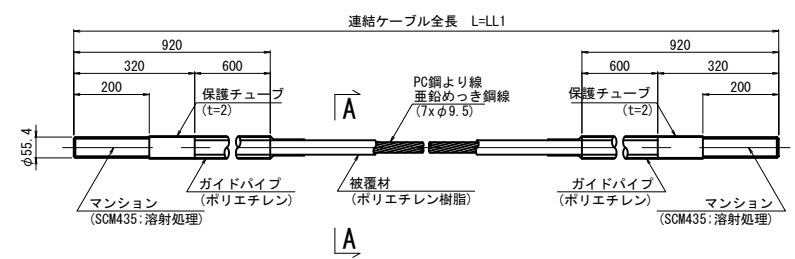
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション)	許容耐力608KN L=LL1mm	本	1	PC鋼より線, 亜鉛めっき鋼線, ポリエチレン被覆
(ガイドパイプ)	許容耐力608KN 標準	個	2	SCM435:亜鉛アルミ溶射処理, ねじり標準 <ケーブルに組込>
ナット	許容耐力608KN 600mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>
止めプレート	許容耐力608KN	個	2	S45C:亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	許容耐力608KN L=450	個	2	SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理
緩衝具	許容耐力608KN	個	2	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	許容耐力608KN	個	2	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	許容耐力608KN	組	2	ポリエチレン:8-止めビス付

上り線	LL1	LL2	組
G1~G5	3270	2250	2

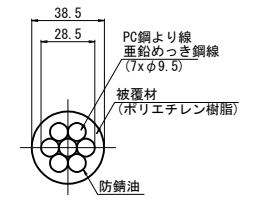
下り線	LL1	LL2	組
G6-G1	3270	2250	2
G7-G2	3270	2250	2
G8-G3	3270	2250	2
G9-G4	3220	2200	2
G10-G5	3870	2850	2

設計地震力	430kN
設計遊間量	500mm
許容耐力	608kN

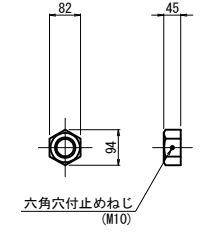
連結ケーブル



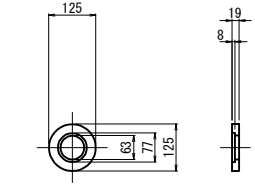
A-A断面図 S=1:4



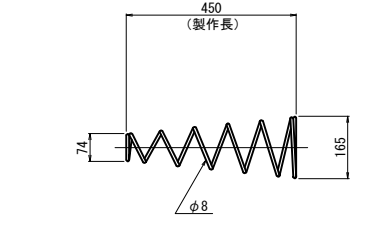
ナット (S45C:亜鉛めっき)



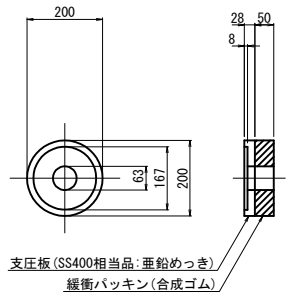
止めプレート (SS400相当品:亜鉛めっき)



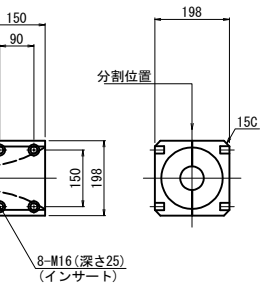
スプリング (SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理)



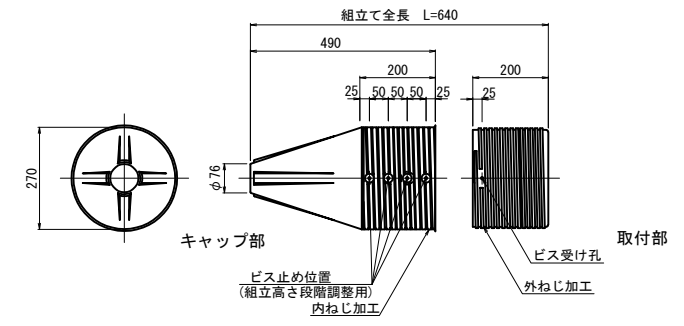
緩衝具 (支圧板+緩衝パッキン)



偏向具 (ポリエチレン)



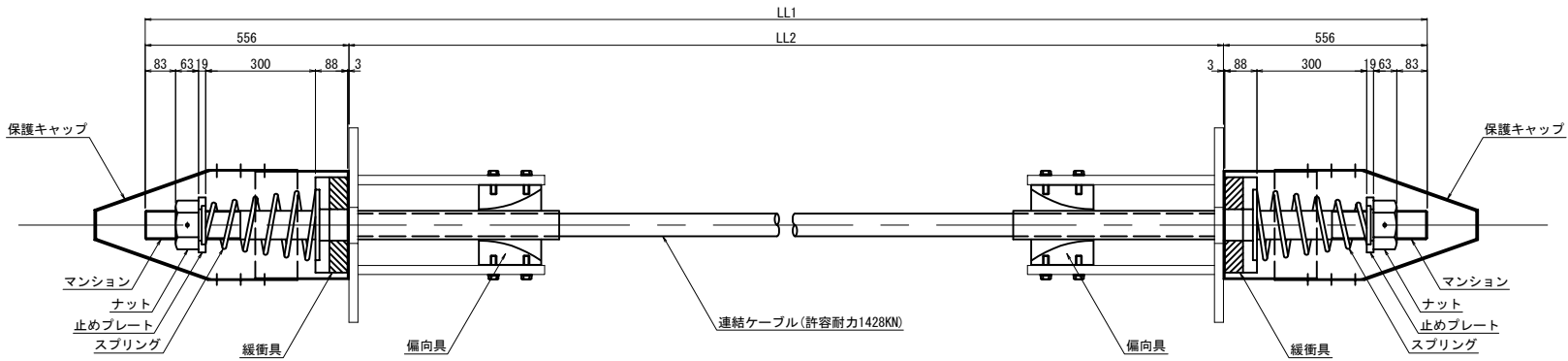
保護キャップ (ポリエチレン)



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 落橋防止構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線 P76橋脚 P2-1224 (600) (夜) (参考図)

取付詳細図



材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

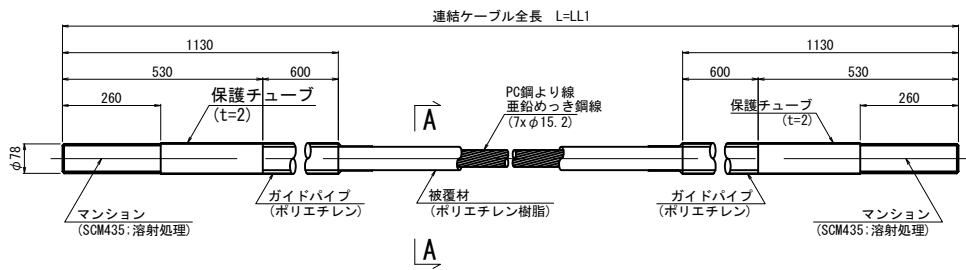
全9組

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション)	許容耐力1428KN L=LL1mm	本	1	PC鋼より線, 垂鉛めっき鋼線, ポリエチレン被覆
(ガイドパイプ)	許容耐力1428KN 標準	個	2	SCM435:垂鉛アルミ溶射処理, ねじり標準 <ケーブルに組込>
ナット	許容耐力1428KN 600mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>
止めプレート	許容耐力1428KN	個	2	S45C:垂鉛めっき (HDZ55)
スプリング	許容耐力1428KN L=450	個	2	SW-C:垂鉛めっき, クロメート処理
緩衝具	許容耐力1428KN	個	2	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	許容耐力1428KN	個	2	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 1W付	本	32	SS400相当品:垂鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	許容耐力1428KN	組	2	ポリエチレン:8-止めビス付

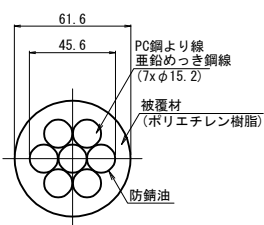
	LL1	LL2
G4-G2	4812	3700
G3-G3	6182	5070
G2-G4	6182	5070
G1-G5	4112	3000
G3-G6	4112	3000

設計地震力	1224kN
設計遊間量	600mm
許容耐力	1428kN

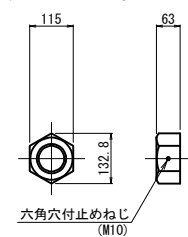
連結ケーブル



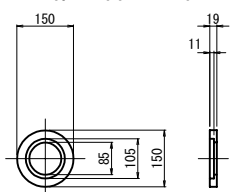
A-A断面図 S=1:4



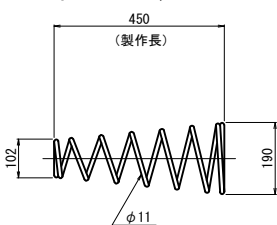
ナット
(S45C:垂鉛めっき)



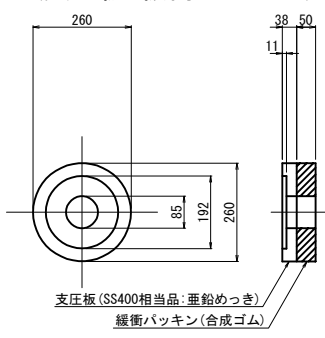
止めプレート
(SS400相当品:垂鉛めっき)



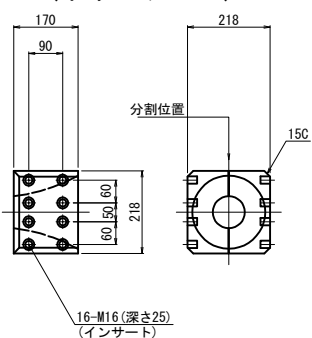
スプリング
(SW-C:垂鉛めっき, クロメート処理)



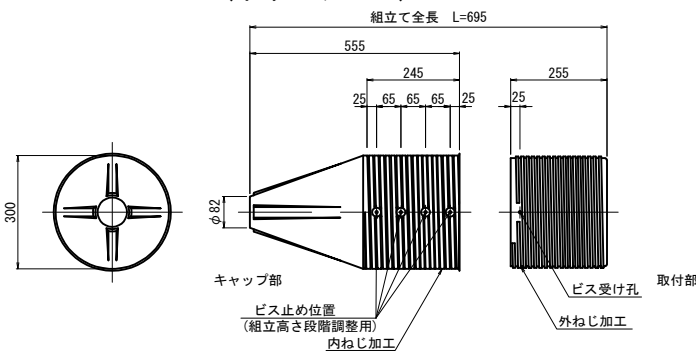
緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



偏向具
(ポリエチレン)



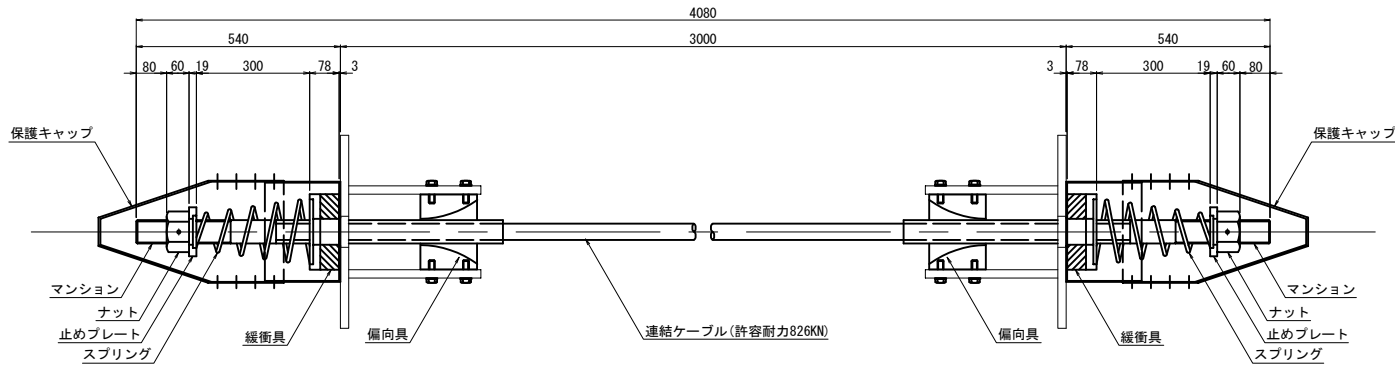
保護キャップ
(ポリエチレン)



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図(その6)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

下り線 P76橋脚 P2-782(600)(夜)(参考図)

取付詳細図



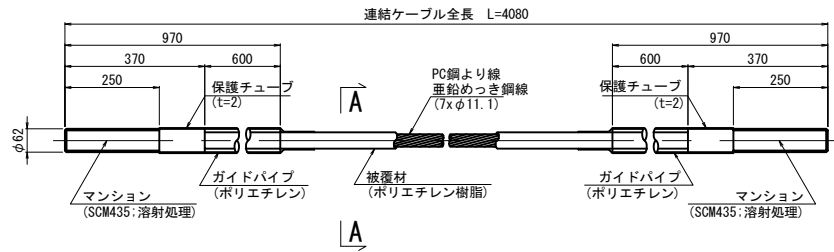
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

全12組

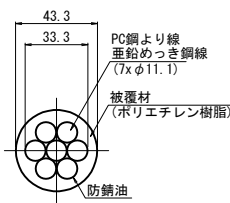
名 称	規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション)	許容耐力826KN L=4080mm	本	1	PC鋼より線, 亜鉛めっき鋼線, ポリエチレン被覆
(ガイドパイプ)	許容耐力826KN 標準	個	2	SCM435:亜鉛アルミ溶射処理, ねじり標準 <ケーブルに組込>
ナット	許容耐力826KN 600mm	本	2	ポリエチレン <ケーブルに組込>
止めプレート	許容耐力826KN	個	2	S45C:亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング	許容耐力826KN L=450	個	2	SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理
緩衝具	許容耐力826KN	個	2	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	許容耐力826KN	個	2	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x50 1W付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
保護キャップ	許容耐力826KN	組	2	ポリエチレン:8-止めビス付

設計地震力	782kN
設計遊間量	600mm
許容耐力	826kN

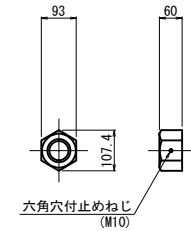
連結ケーブル



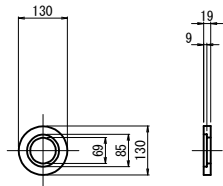
A-A断面図 S=1:4



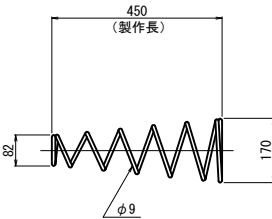
ナット
(S45C:亜鉛めっき)



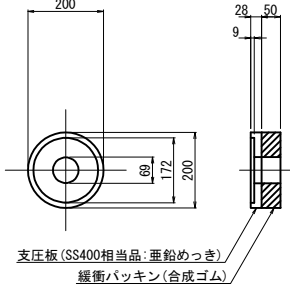
止めプレート
(SS400相当品:亜鉛めっき)



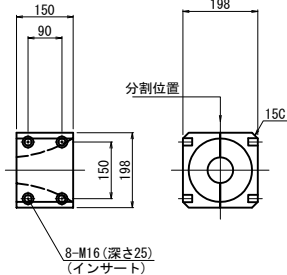
スプリング
(SW-C:亜鉛めっき, クロメート処理)



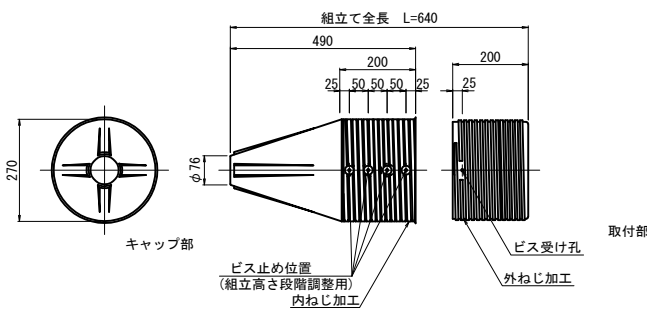
緩衝具
(支圧板+緩衝パッキン)



偏向具
(ポリエチレン)



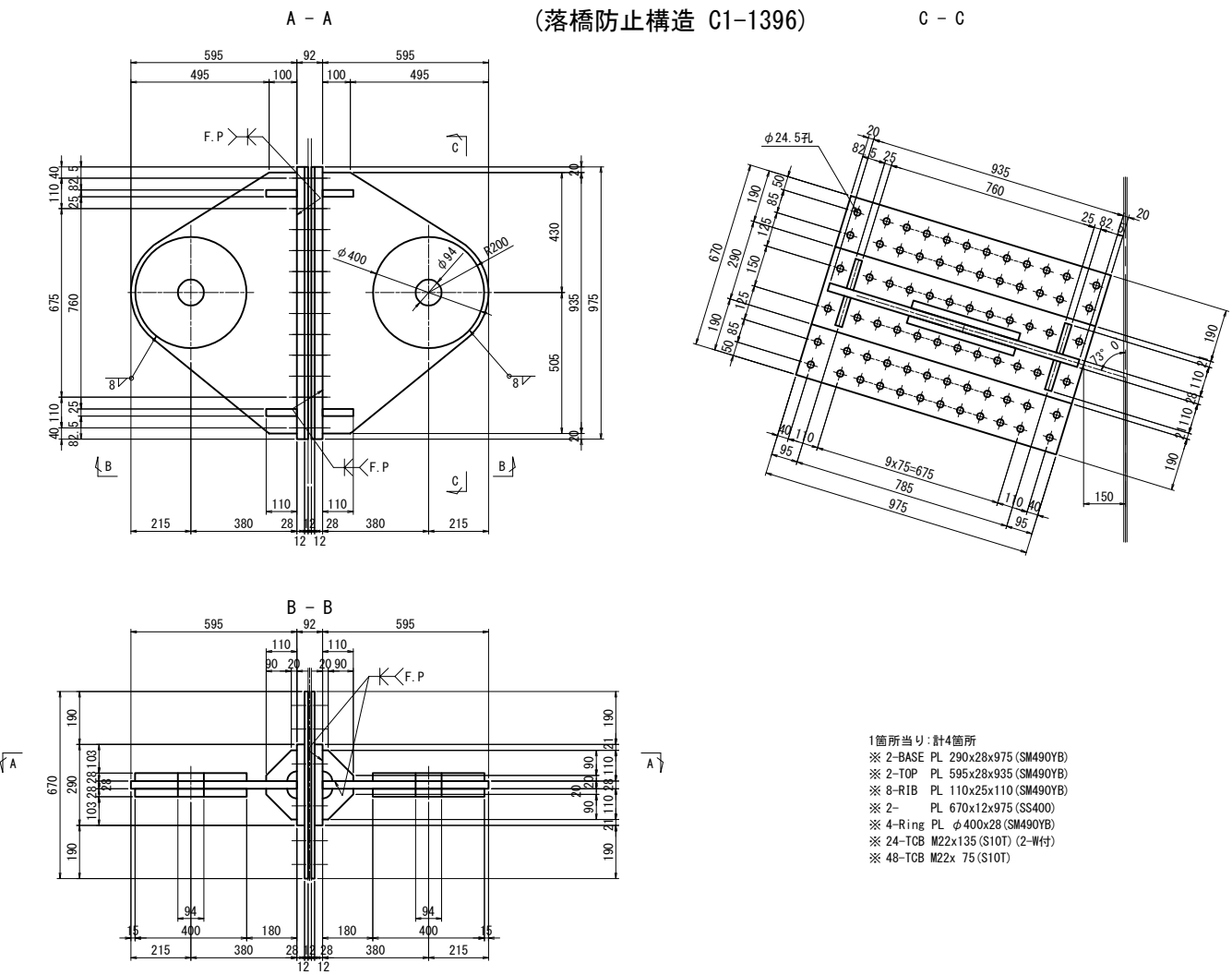
保護キャップ
(ポリエチレン)



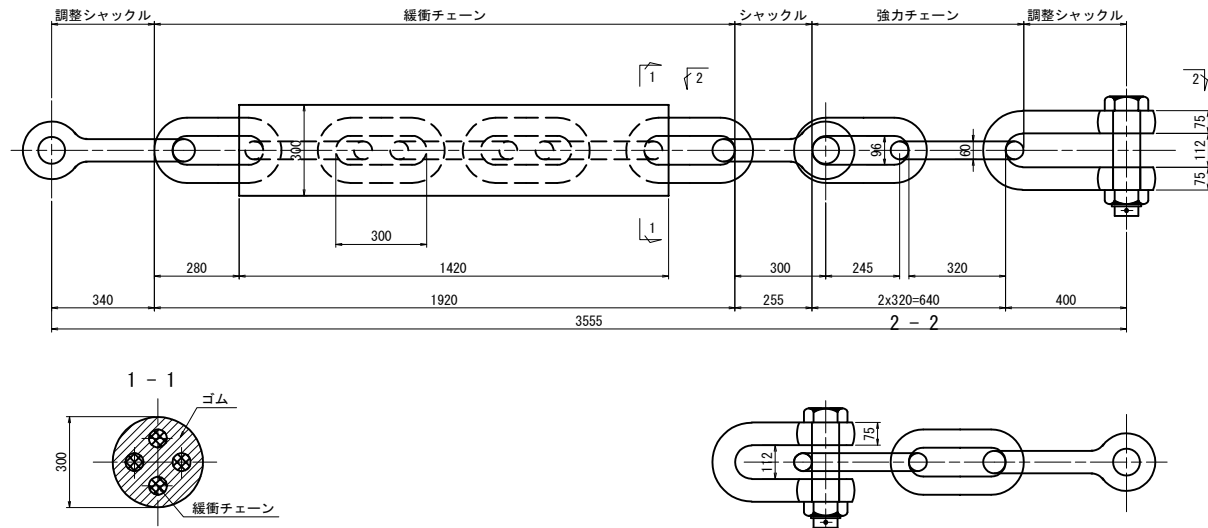
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) 落橋防止構造詳細図(その7)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線P77橋脚

上部エブラケット詳細 製作数:4基
(落橋防止構造 C1-1396)

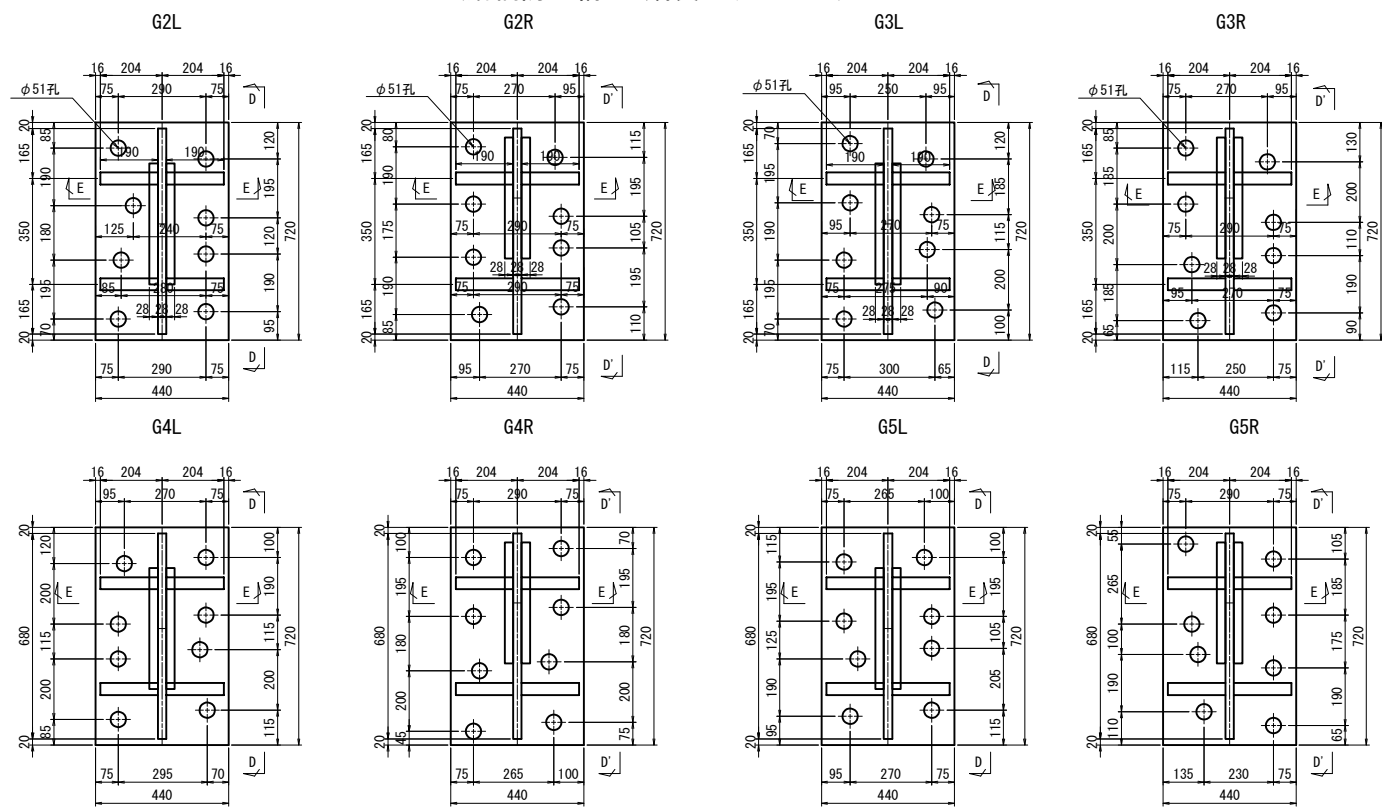


チェーン(参考図)

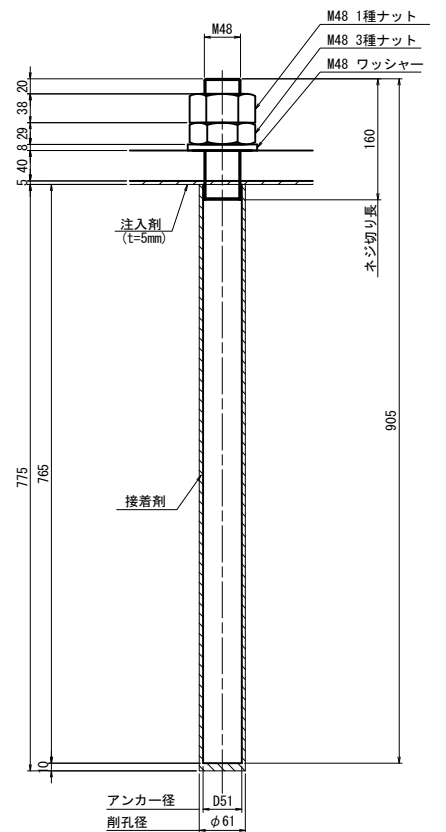


設計地震力	1396kN
設計移動量	671mm
許容耐力	1545kN

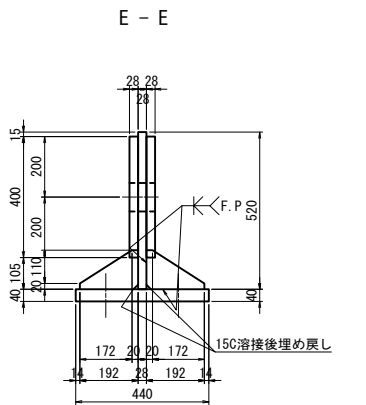
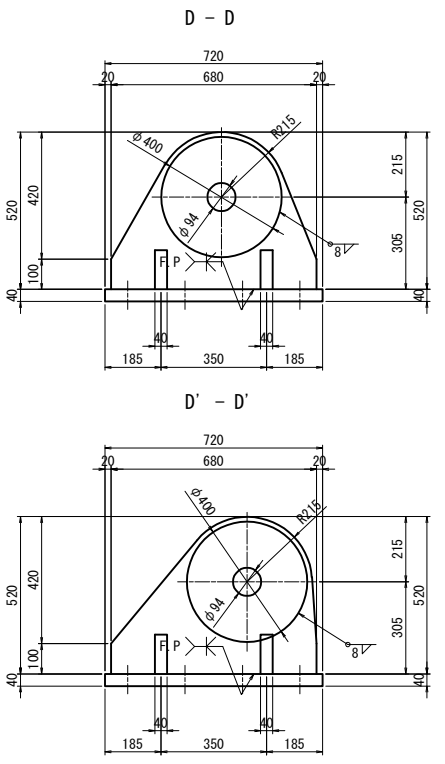
下部エブラケット詳細 製作数:各1基
(落橋防止構造 鋼製ブラケット)



落橋防止構造
アンカーエΦ61・775(下方向) S=1:10



・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
・ブラケット背面はチッピング処理とする。
・ブラケット外周にシールを行う。



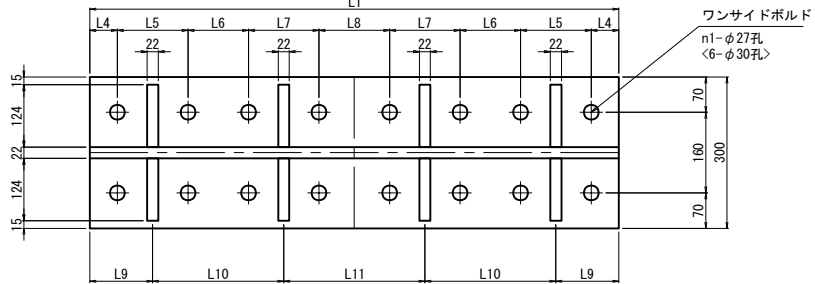
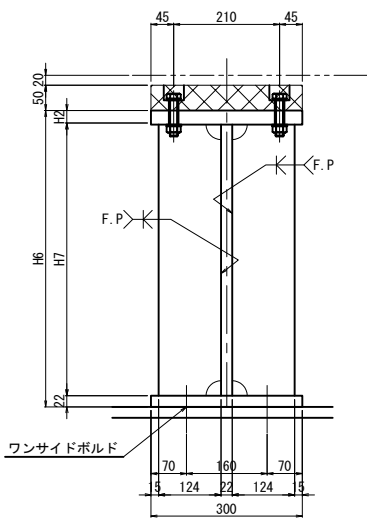
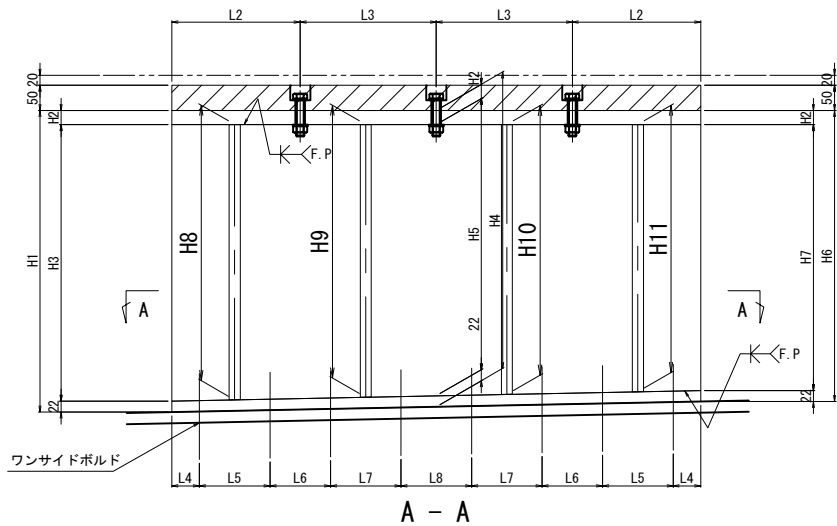
注記:
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、
実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛めっき処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

段差防止構造M 鋼製ブラケットC(夜)

上下線P76橋脚

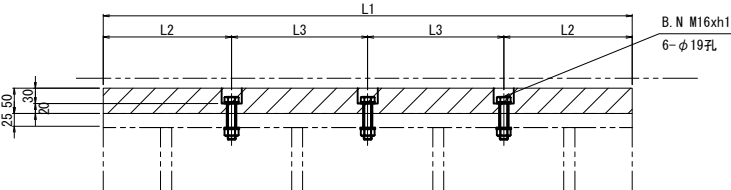
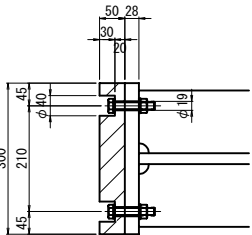
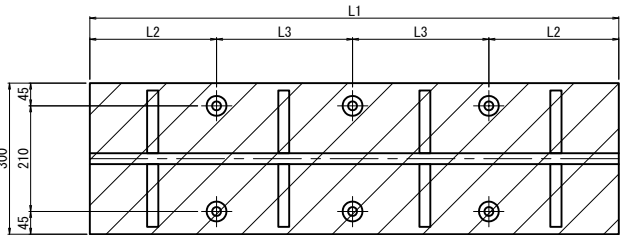
製作数：22



- 1箇所当り:
1-FLG PL 300xt1xL1
1-FLG PL 300x22xL1
1-WEB PL L1x22xH3
2-RIB PL 124x22xH8
2-RIB PL 124x22xH9
2-RIB PL 124x22xH10
2-RIB PL 124x22xH11
n1-ワンサイドボード M24-45 (MUTF)
<6-ワンサイドボード M27-45 (MUTF) >
※ 1-緩衝材 300x50xL1 (クロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
6-BN M16xh1 (SS400) (1-Uナット、2-W付)

< >内は(下り線) P76橋脚起点側を示す。

緩衝材詳細図



P76橋脚		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	t1	n1	h1	
上り線	起点側	G2-G1	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	537	25	490	528	481	519	472	489	483	478	472	25	12	75
		G1-G2	990	185	310	-	115	150	150	160	30	310	310	526	25	479	516	469	506	459	478	472	466	460	25	12	75
		G2-G3	990	185	310	-	115	150	150	160	30	310	310	526	25	479	516	469	506	459	478	472	466	460	25	12	75
		G3-G4	990	185	310	-	115	150	150	160	30	310	310	526	25	479	516	469	506	459	478	472	466	460	25	12	75
		G4-G5	990	185	310	-	115	150	150	160	30	310	310	526	25	479	516	469	506	459	478	472	466	460	25	12	75
	終点側	G1-G2	1050	255	270	55	140	120	140	140	125	260	280	599	28	549	588	538	578	528	546	541	535	530	28	16	75
		G2-G3	1050	255	270	55	140	120	140	140	125	260	280	599	28	549	588	538	578	528	546	541	535	530	28	16	75
		G3-G4	1050	255	270	55	140	120	140	140	125	260	280	599	28	549	588	538	578	528	546	541	535	530	28	16	75
		G4-G5	1050	255	270	55	140	120	140	140	125	260	280	599	28	549	588	538	578	528	546	541	535	530	28	16	75
		G5-G6	1050	255	270	55	140	120	140	140	125	260	280	599	28	549	588	538	578	528	546	541	535	530	28	16	75
下り線	起点側	G1-G2	990	185	310	-	185	-	310	-	30	310	310	533	22	489	524	480	513	469	489	482	476	470	22	6	70
		G2-G3	990	185	310	-	185	-	310	-	30	310	310	533	22	489	524	480	513	469	489	482	476	470	22	6	70
		G3-G4	990	185	310	-	185	-	310	-	30	310	310	533	22	489	524	480	513	469	489	482	476	470	22	6	70
		G4-G5	990	185	310	-	185	-	310	-	30	310	310	533	22	489	524	480	513	469	489	482	476	470	22	6	70
		G3-G2	900	170	280	-	170	-	280	-	30	280	280	532	22	488	523	479	514	470	487	482	476	471	22	6	70
	終点側	G2-G1	900	170	280	-	170	-	280	-	30	280	280	532	22	488	523	479	514	470	487	482	476	471	22	6	70
		G1-G2	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	604	25	557	595	548	586	539	556	550	545	539	25	12	75
		G2-G3	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	604	25	557	595	548	586	539	556	550	545	539	25	12	75
		G3-G4	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	604	25	557	595	548	586	539	556	550	545	539	25	12	75
		G4-G5	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	604	25	557	595	548	586	539	556	550	545	539	25	12	75
		G5-G6	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	604	25	557	595	548	586	539	556	550	545	539	25	12	75
		G6-G7	900	170	280	-	105	130	150	130	30	280	280	604	25	557	595	548	586	539	556	550	545	539	25	12	75

- 注記:
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、
実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 段差防止構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

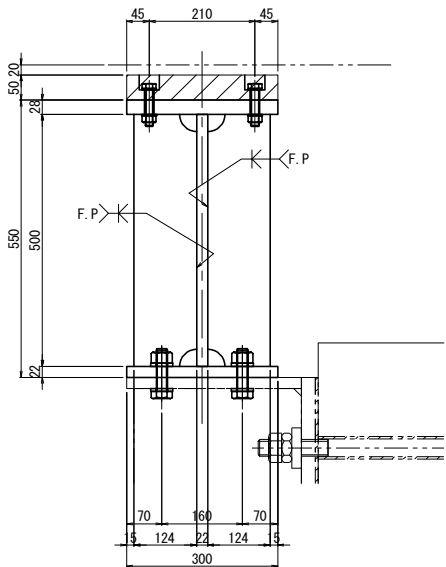
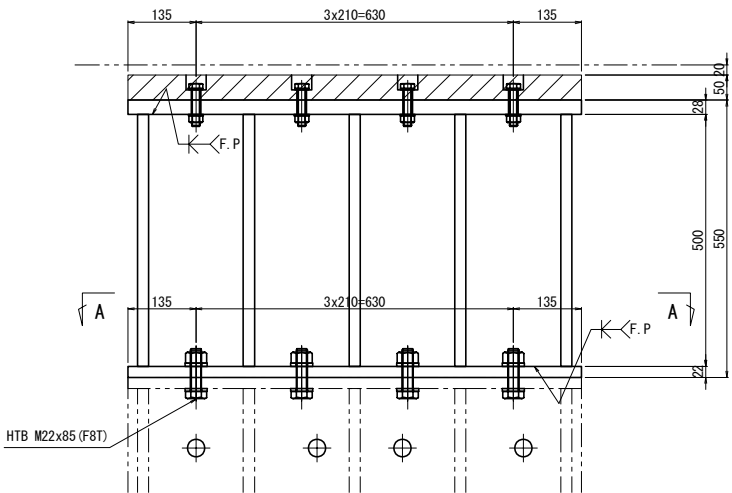
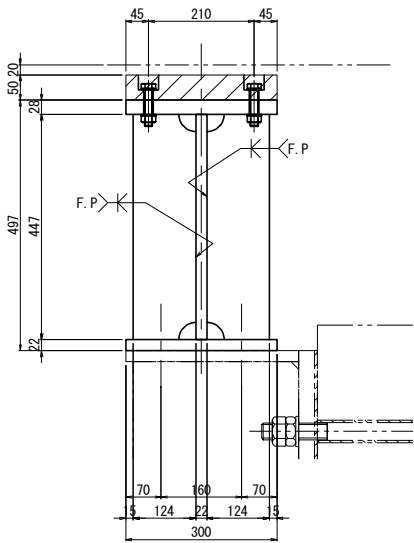
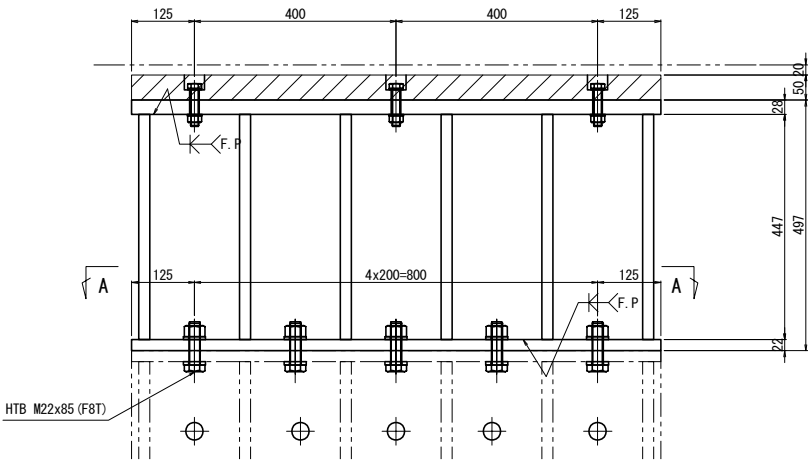
段差防止構造M 鋼製ブラケットB

上り線P77橋脚

製作数：6

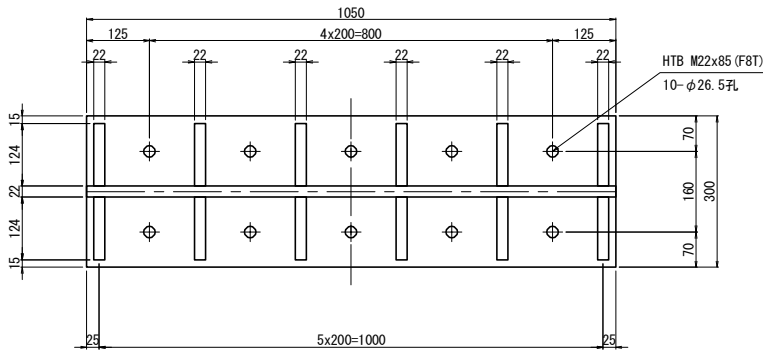
下り線P77' 橋脚

製作数：7

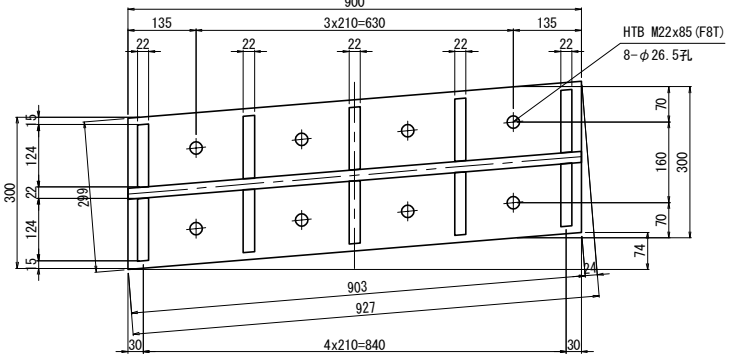


A - A

A - A



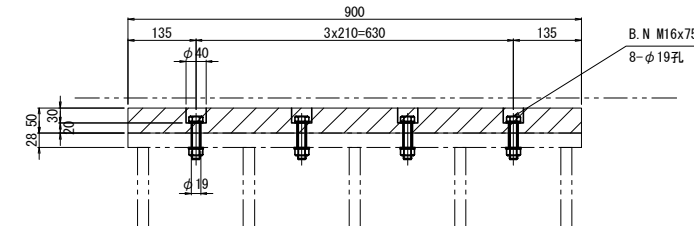
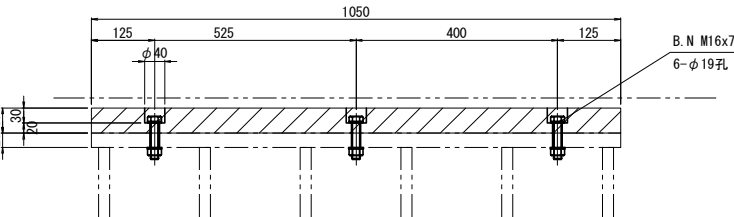
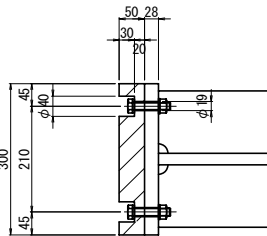
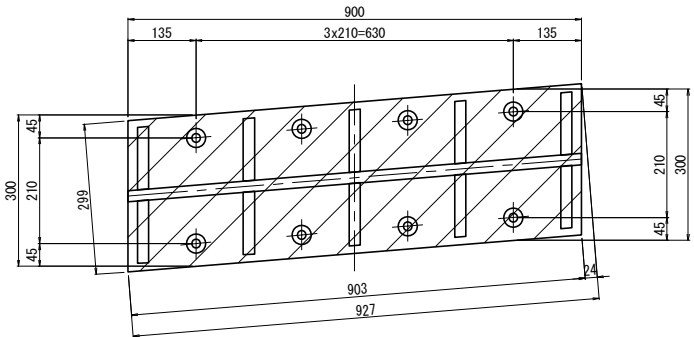
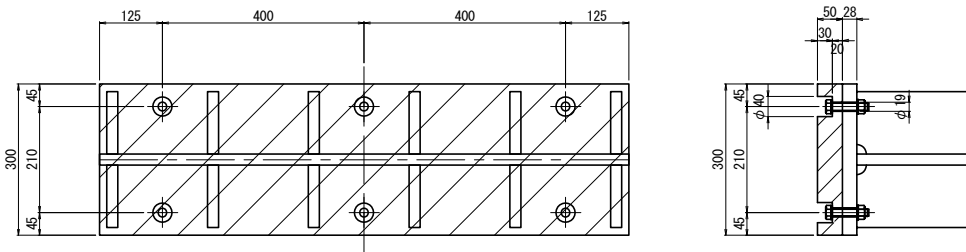
- 1箇所当り：
1-FLG PL 300x28x1050
1-FLG PL 300x22x1050
1-WEB PL 90x22x497
12-R1B PL 124x22x497
10-HTB M22x85 (F8T)
※ 1-緩衝材 299x50x927(クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
6-BN M16x75 (SS400) (1-Uナット、2-W付)



- 1箇所当り：
1-FLG PL 299x28x927
1-FLG PL 299x22x927
1-WEB PL 903x22x500
8-R1B PL 124x22x500
8-HTB M22x85 (F8T)
※ 1-緩衝材 299x50x927(クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
8-BN M16x75 (SS400) (1-Uナット、2-W付)

緩衝材詳細図

緩衝材詳細図



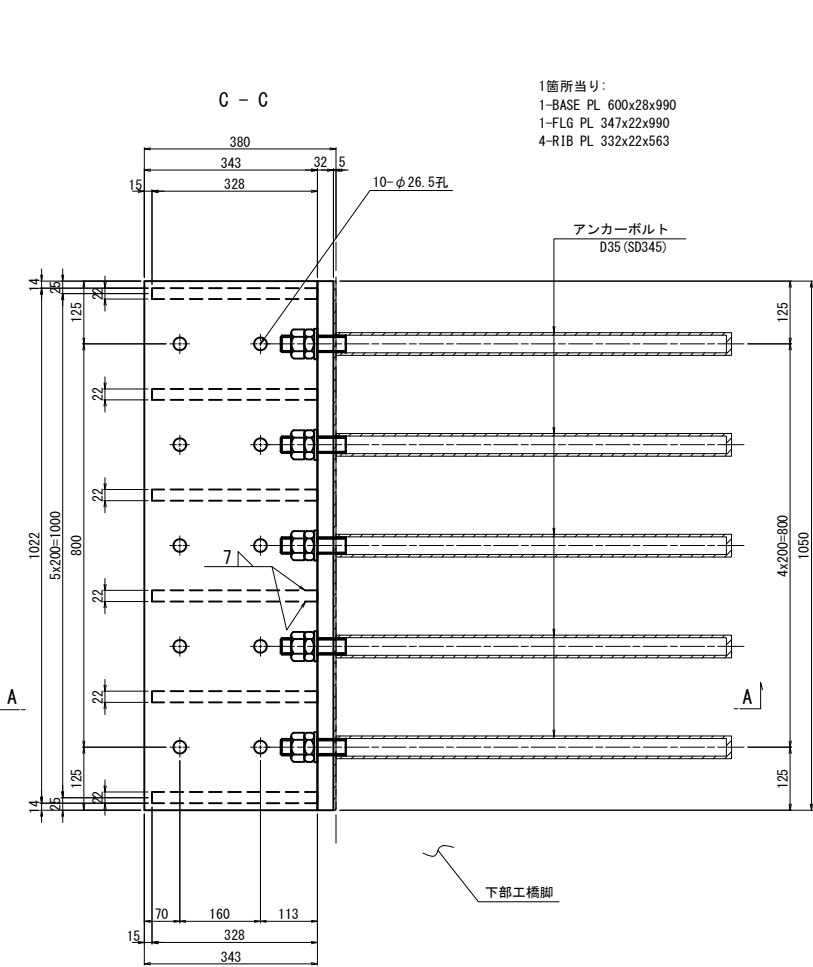
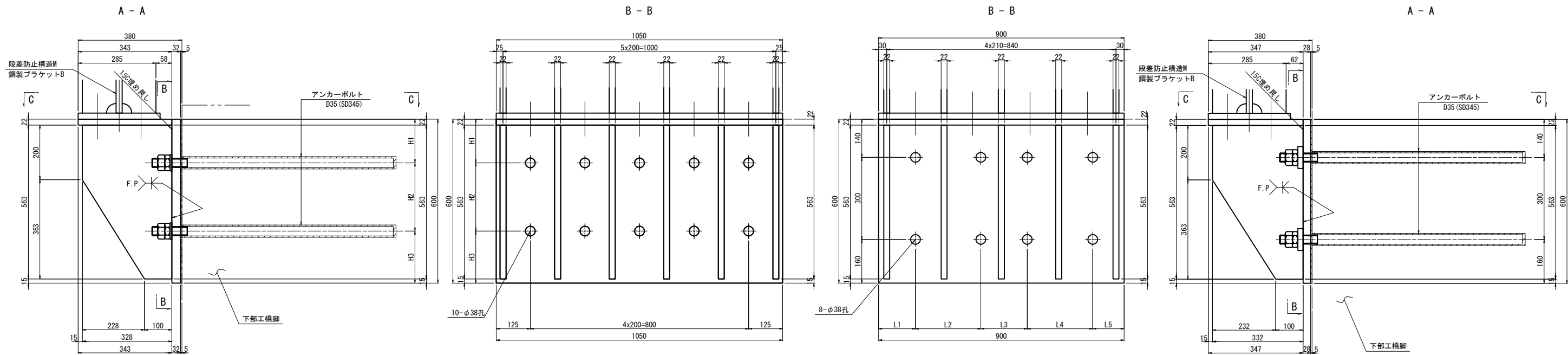
- 注記：
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 段差防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

段差防止構造M 鋼製ブラケットD

上り線P77橋脚 製作数：6

下り線P77' 橋脚 製作数：7

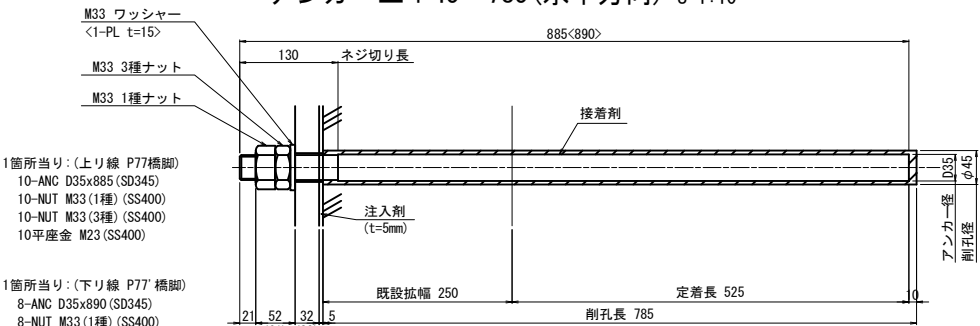


1箇所当り：
1-BASE PL 600x28x990
1-FLG PL 347x22x990
4-RIB PL 332x22x563

		H1	H2	H3
上り線	G1	240	170	190
	G2	160	250	190
	G3	160	250	190
	G4	160	250	190
	G5	240	170	190
	G6	160	250	190

		L1	L2	L3	L4	L5
下り線	G1	135	240	170	240	115
	G2	125	200	200	290	85
	G3	135	180	230	240	95
	G4	135	210	210	220	125
	G5	135	210	210	220	125
	G6	135	210	200	270	85
	G7	85	210	270	250	85

段差防止構造M
アンカーエΦ45・785(水平方向) S=1:10

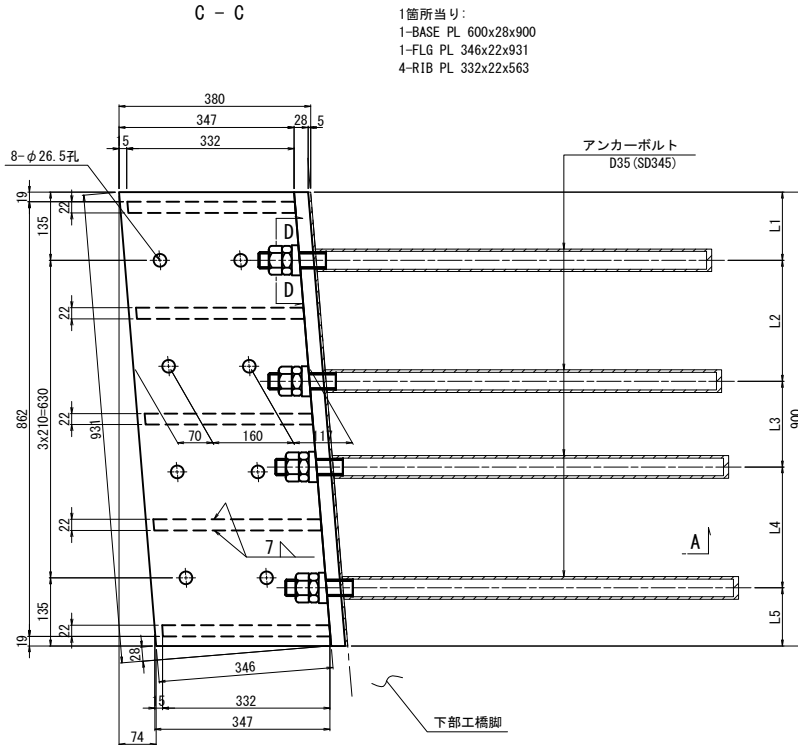


1箇所当り：(上り線 P77橋脚)
10-ANC D35x885(SD345)
10-NUT M33(1種)(SS400)
10-NUT M33(3種)(SS400)
10平座金 M23(SS400)

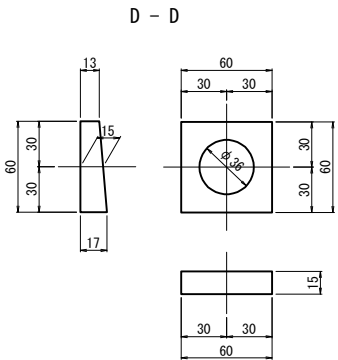
1箇所当り：(下り線 P77' 橋脚)
8-ANC D35x890(SD345)
8-NUT M33(1種)(SS400)
8-NUT M33(3種)(SS400)
8-PL 60x19x60(SS400)

- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。

< >は下り線P77' 橋脚を示す。



1箇所当り：
1-BASE PL 600x28x900
1-FLG PL 346x22x931
4-RIB PL 332x22x563

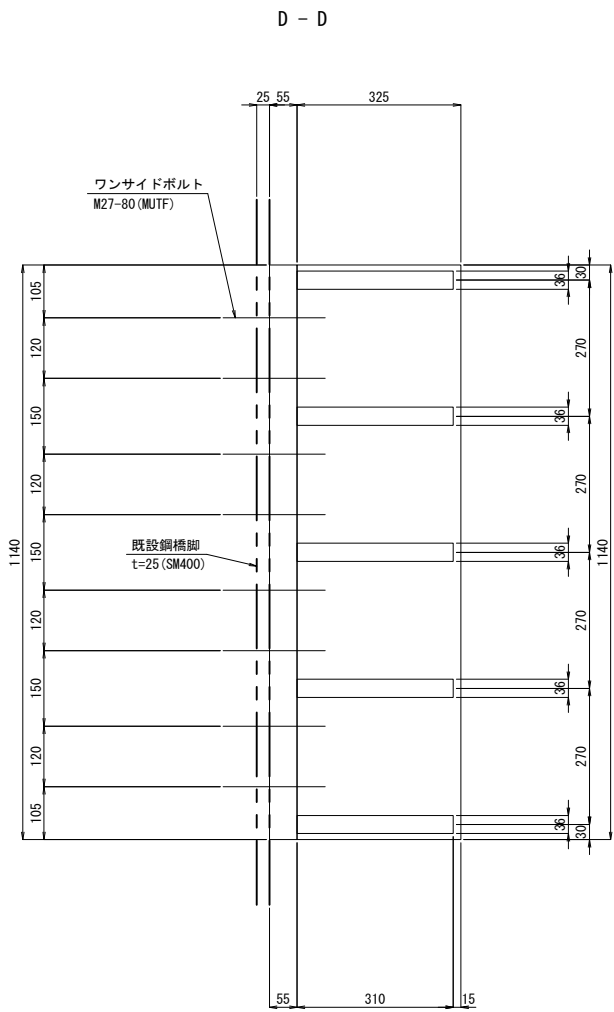
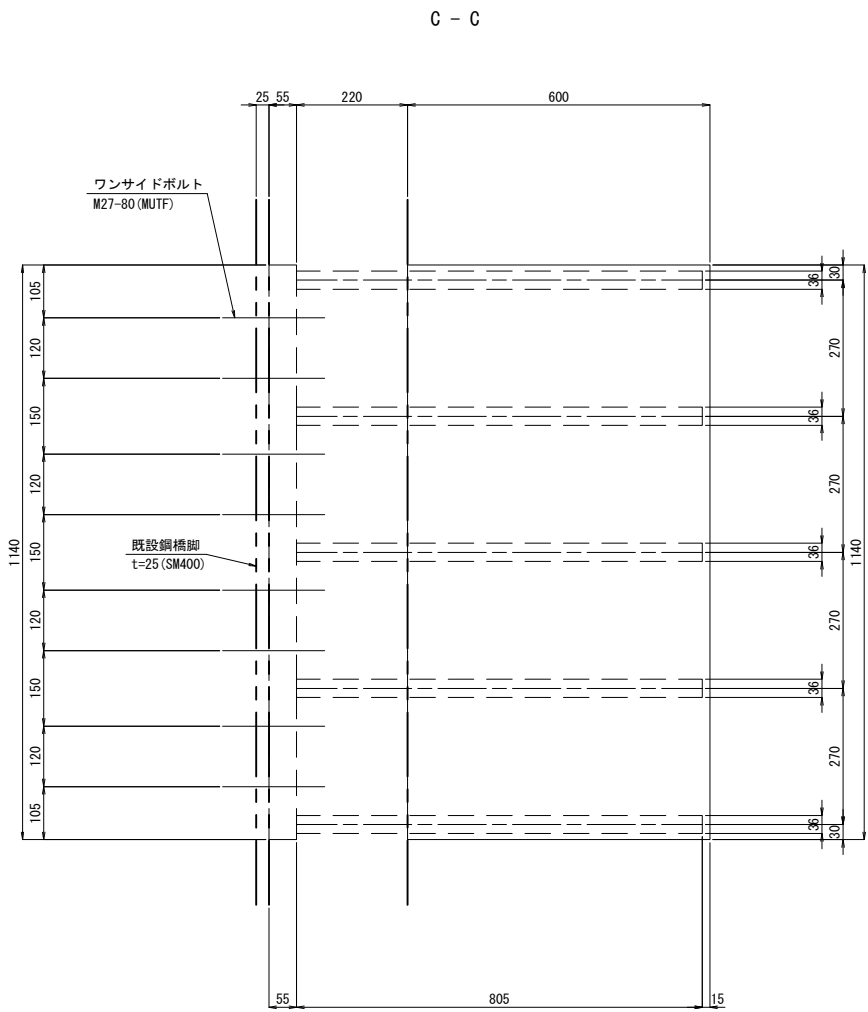
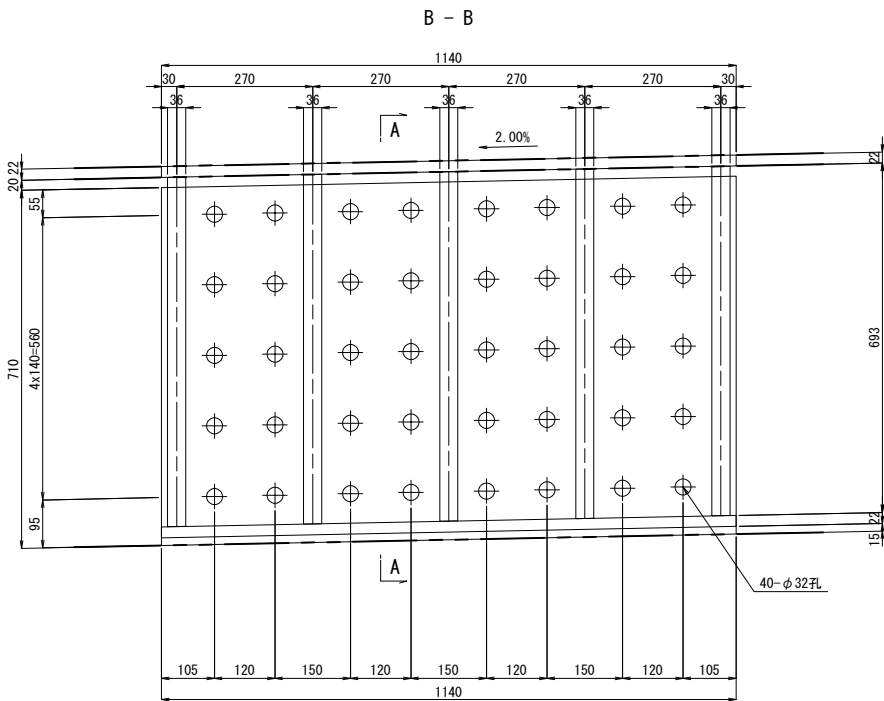
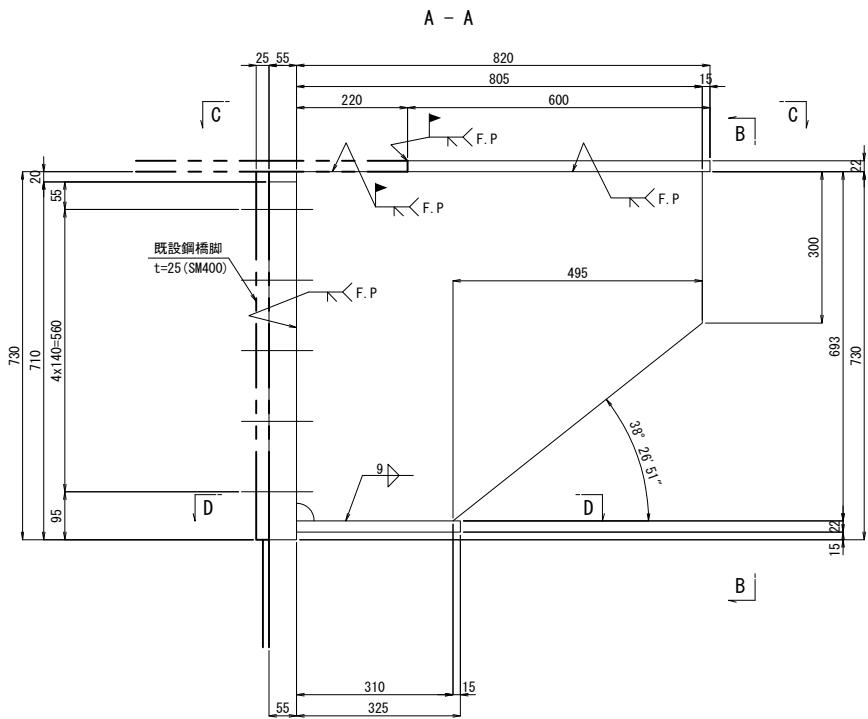


- 注記
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 4. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 段差防止構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

段差防止構造M 鋼製ブラケットE(夜)

P76(終点側) 製作数: 5



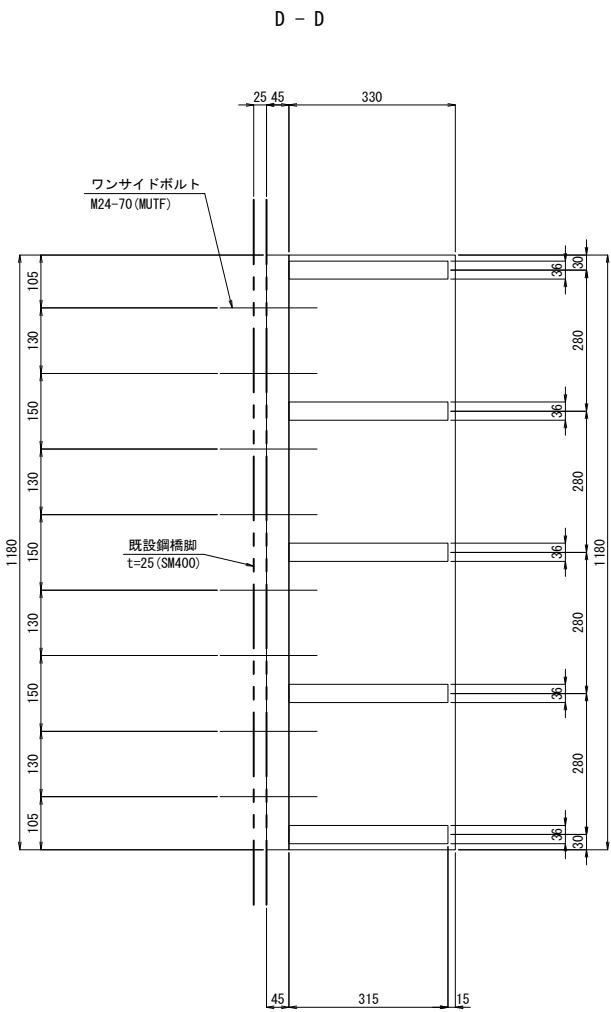
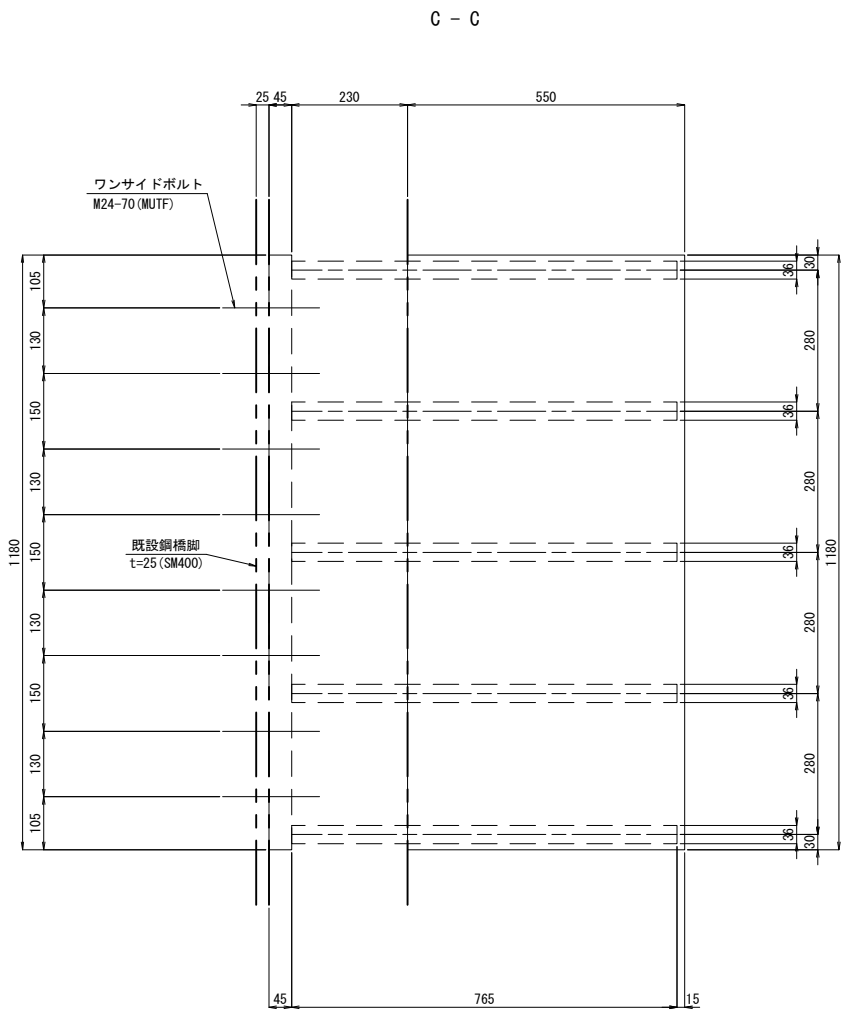
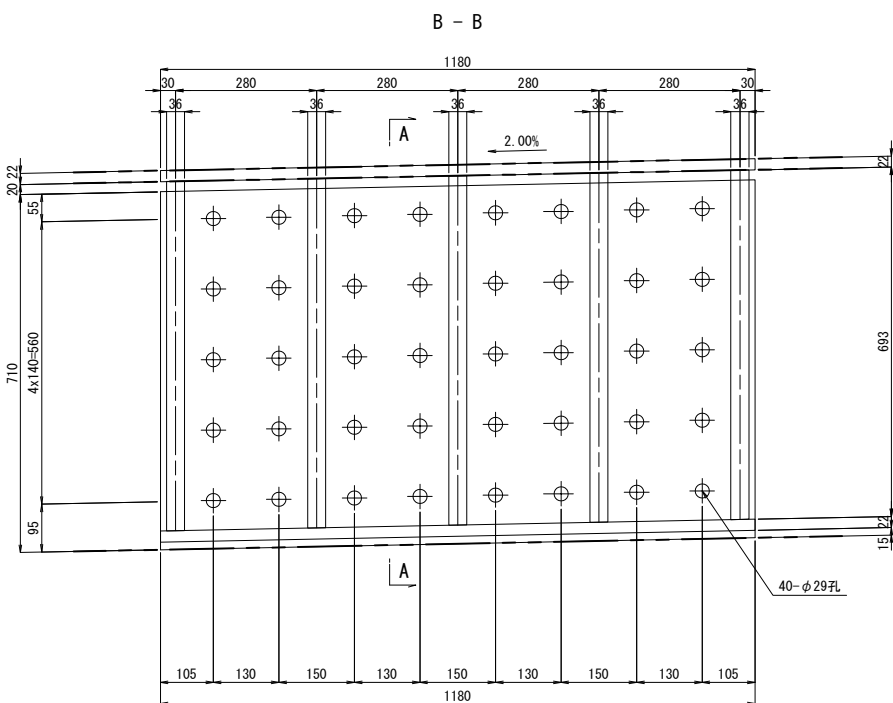
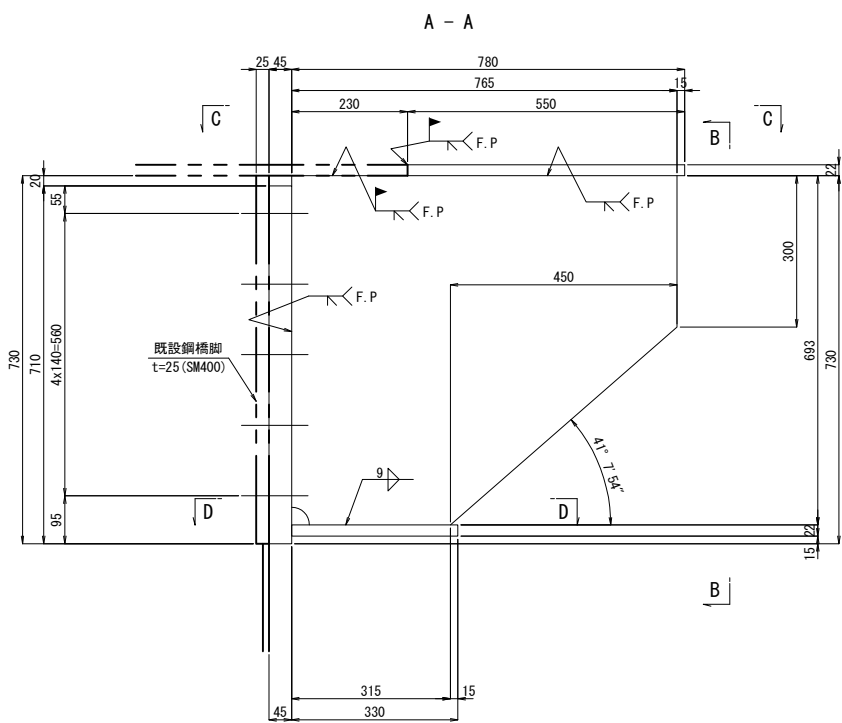
1箇所当り:
1-Base PL 710x55x1155 (SM520C)
1-UF Ig PL 600x22x1140
1-LF Ig PL 325x22x1140
5-Rib PL 693x36x 805 (SM400B)
40-ワンサイドボルト M27-80 (MUTF)

- 注記)
- 部材加工 製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 - ワンサイドボルトの孔明けは、
M22の場合は新設部材φ32孔、既設部材φ30孔を示す。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 既設鋼橋脚の材質は推定とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

段差防止構造M 鋼製ブラケットE(夜)

P76(終点側) 製作数 : 6



1箇所当り:
1-Base PL 710x45x1195 (SM520C)
1-UF Ig PL 600x22x1140
1-LF Ig PL 325x22x1140
5-Rib PL 693x36x 765 (SM400B)
40-ワンサイドボルト M24-70 (MUTF)

- 注記)
- 部材加工 製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 - ワンサイドボルトの孔明けは、
M24の場合は新設部材φ29孔、既設部材φ27孔を示す。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 既設鋼橋脚の材質は推定とする。

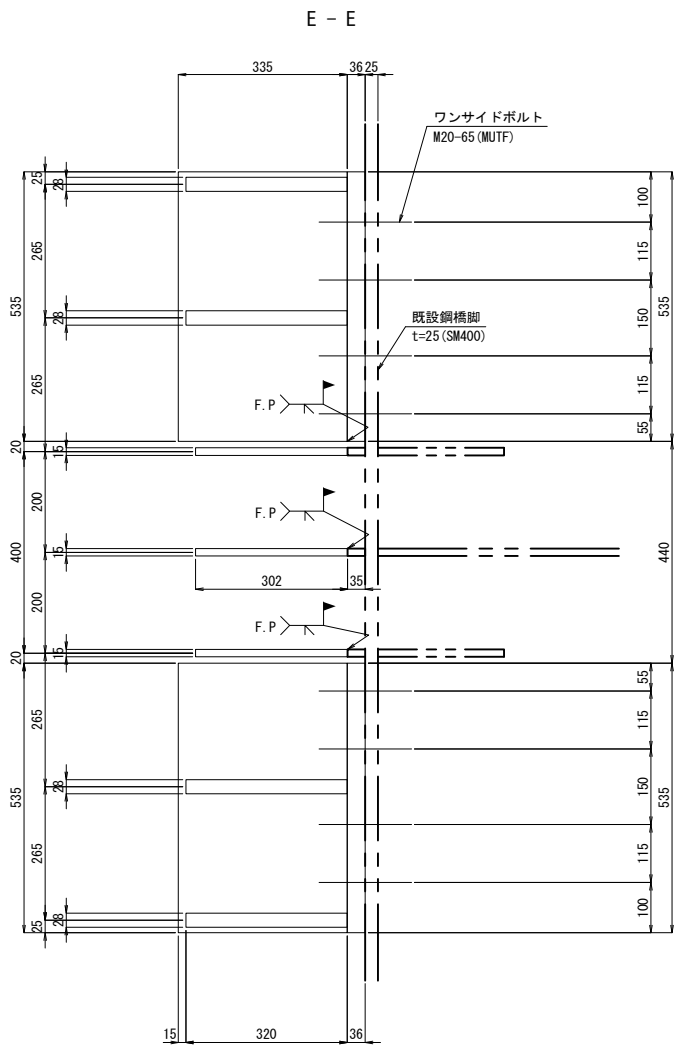
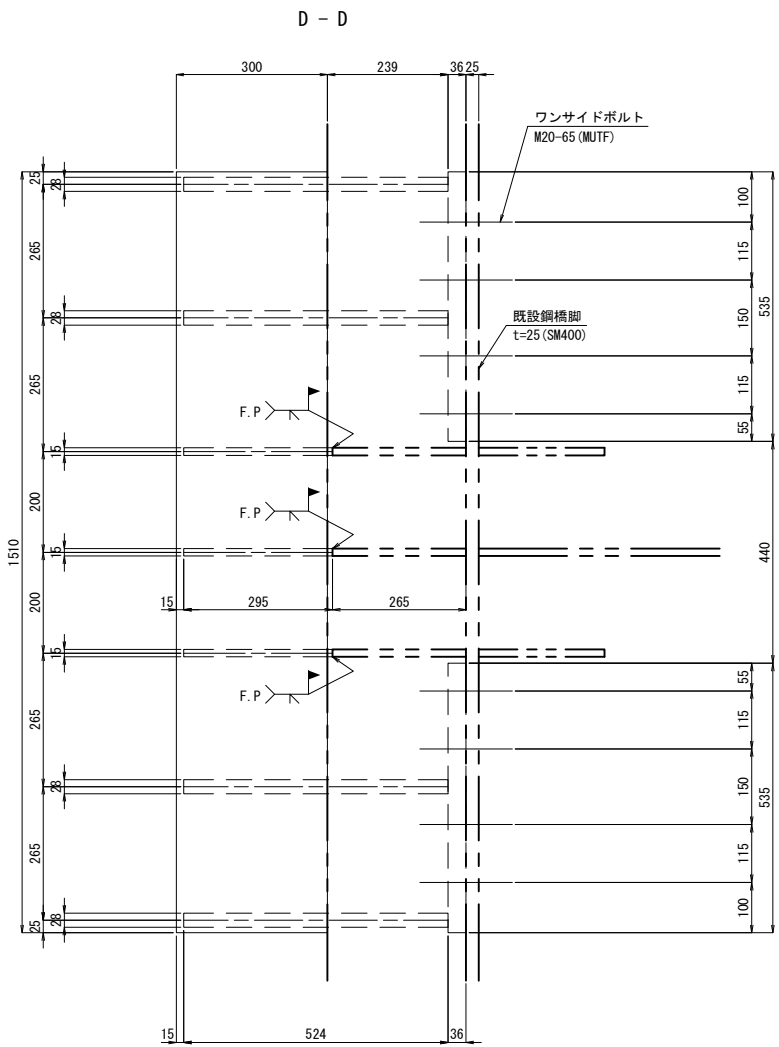
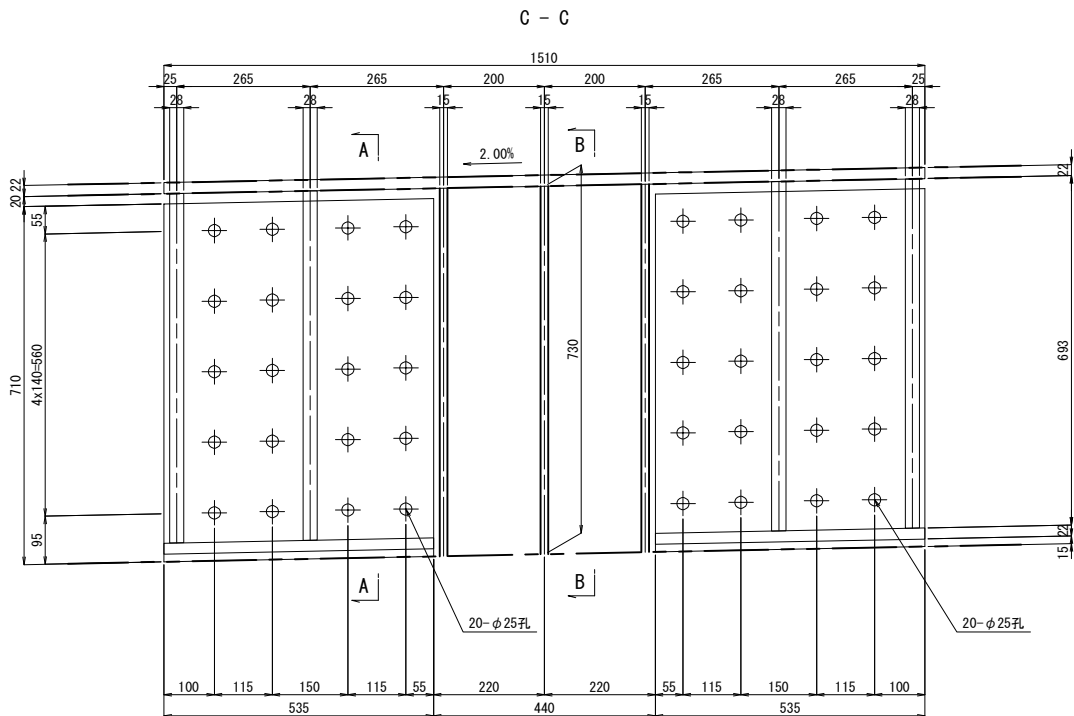
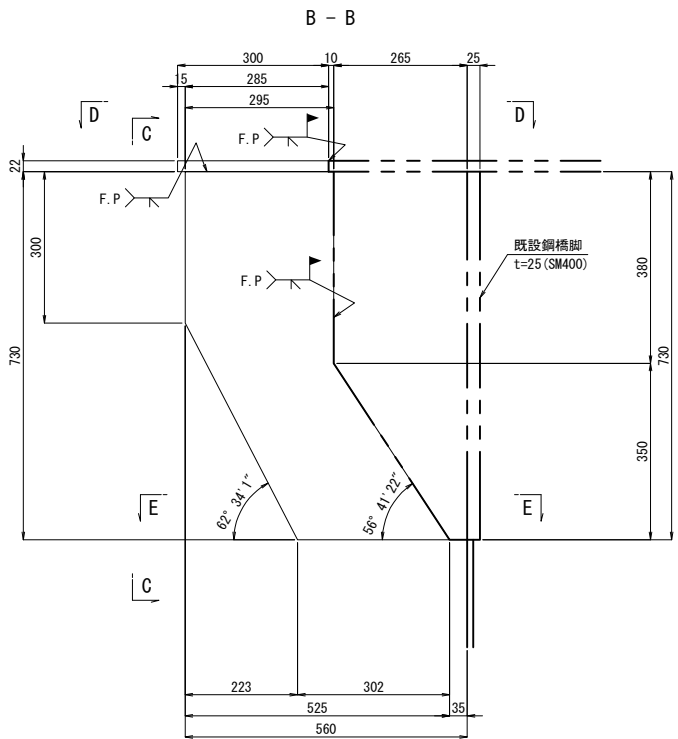
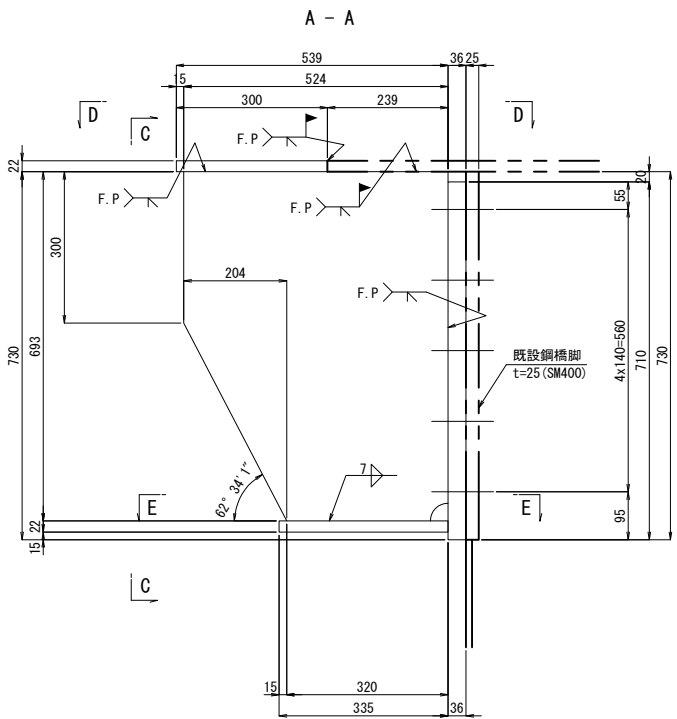
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) 段差防止構造詳細図(その5)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

川崎高架橋(上下線) 鋼製縁端拡幅詳細図

縁端拡幅工M 鋼製ブラケットA(夜)

上下 P76(起点側) 製作数: 各5

S=1:15



1箇所当り:
2-Base PL 535x36x 721 (SM400B)
1-UF lg PL 300x22x1510
2-LF lg PL 335x22x 535
4-Rib PL 524x28x 693
3-Rib PL 400x15x 890
40-ワンサイドボルト M20-65 (MUTF)

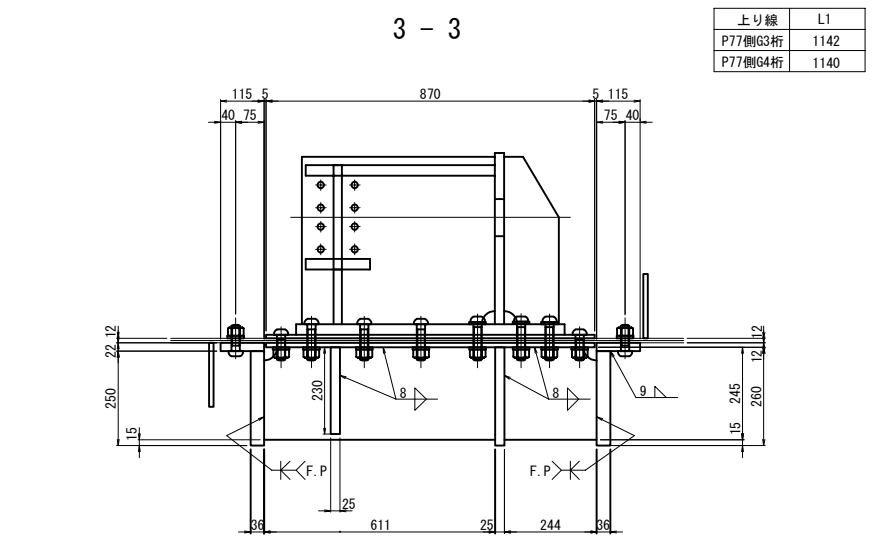
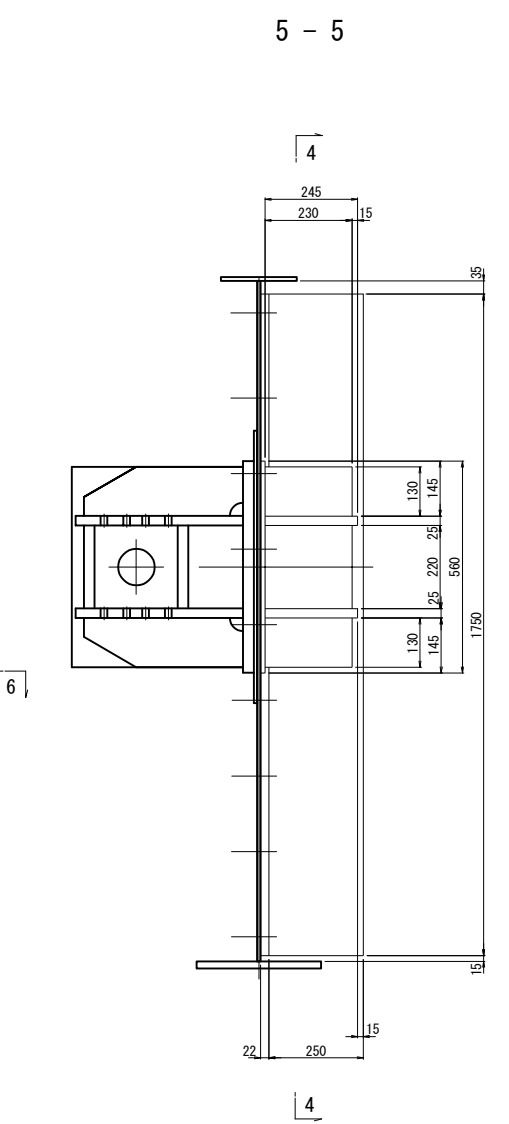
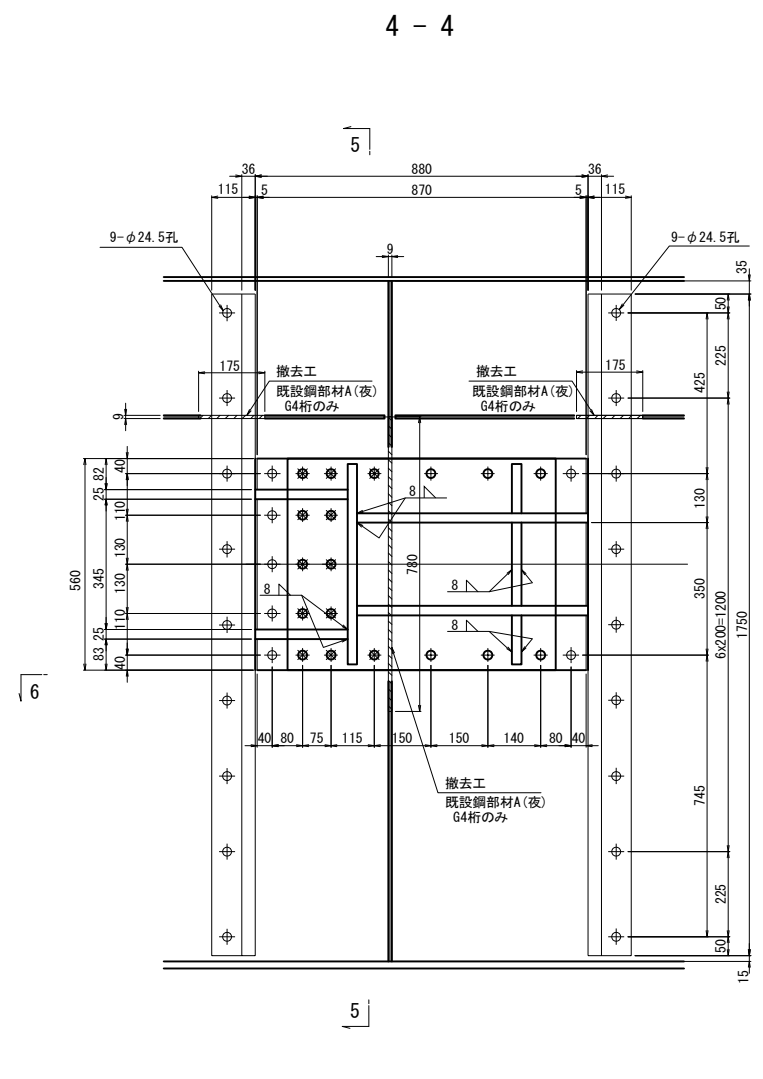
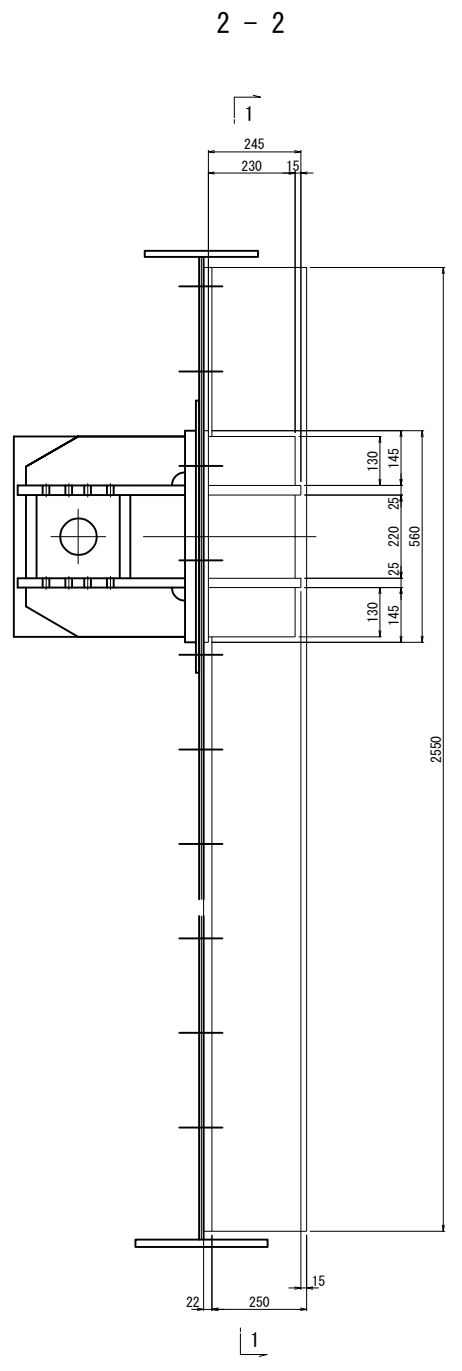
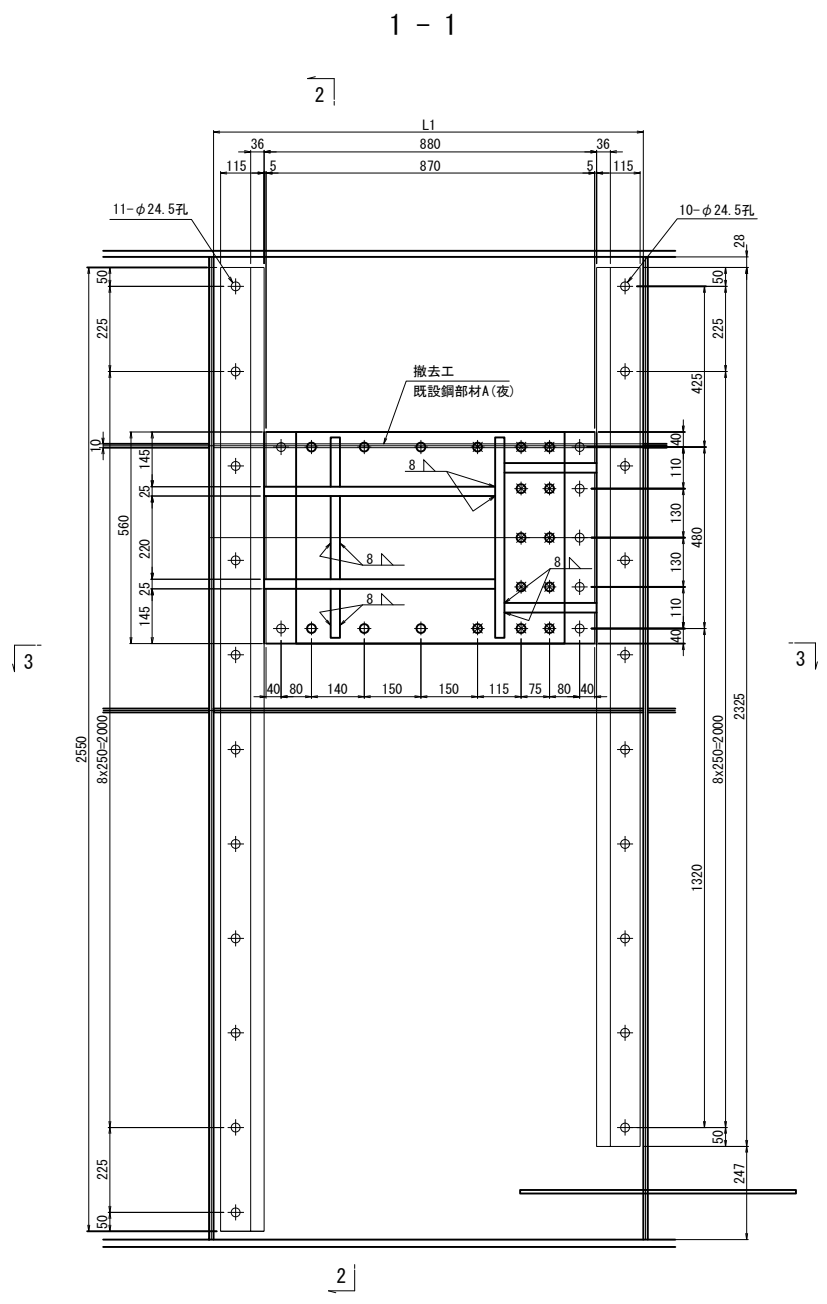
- 注記)
1. 部材加工 製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 3. ワンサイドボルトの孔明けは、
M22の場合は新設部材φ25孔、既設部材φ23孔を示す。
 5. 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 6. 既設鋼橋脚の材質は推定とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 鋼製縁端拡幅詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線 P76橋脚 上部工補強工A(夜)
撤去工 既設鋼部材A(夜)

P77側G3桁, P77側G4桁

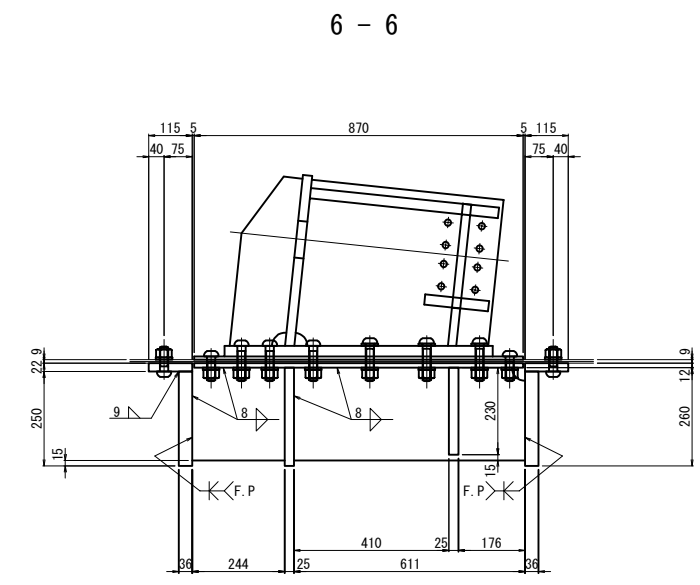
P75側G2桁, P75側G3桁, P75側G4桁



上り線	L1
P77側G3桁	1142
P77側G4桁	1140

- ブラケット1基当り (製作数:各1基)
- 1-PL 115x22x2550 (SM490A)
 - 1-PL 115x22x2325 (SM490A)
 - 1-PL 250x36x2550 (SM490B)
 - 1-PL 250x36x2325 (SM490B)
 - 2-PL 245x25x611 (SM490A)
 - 2-PL 245x25x244 (SM490A)
 - 2-PL 230x25x130 (SM490A)
 - 1-PL 230x25x220 (SM490A)
 - 1-PL 260x25x530 (SM490A)
 - 1-PL 870x12x560 (SM490A)
 - 21-TCB M22x70 (S10T)

- 撤去工 既設鋼部材A(夜)
- P77側G3桁
撤去材料 (撤去数:1)
1-PL 160x10x1142 (SS400)
- P77側G4桁
撤去材料 (撤去数:1)
1-PL 160x10x1140 (SS400)



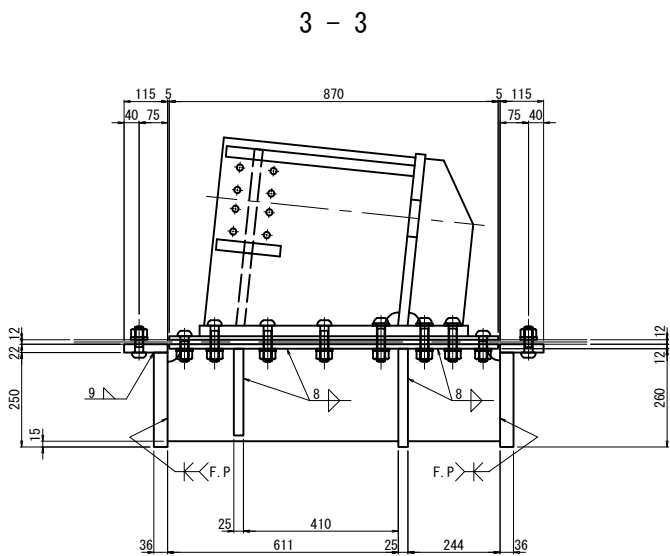
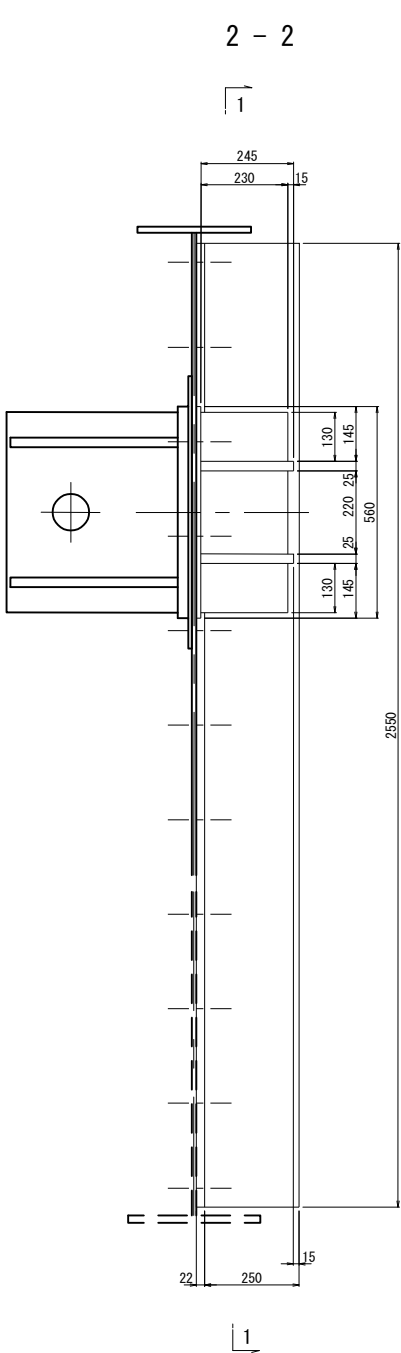
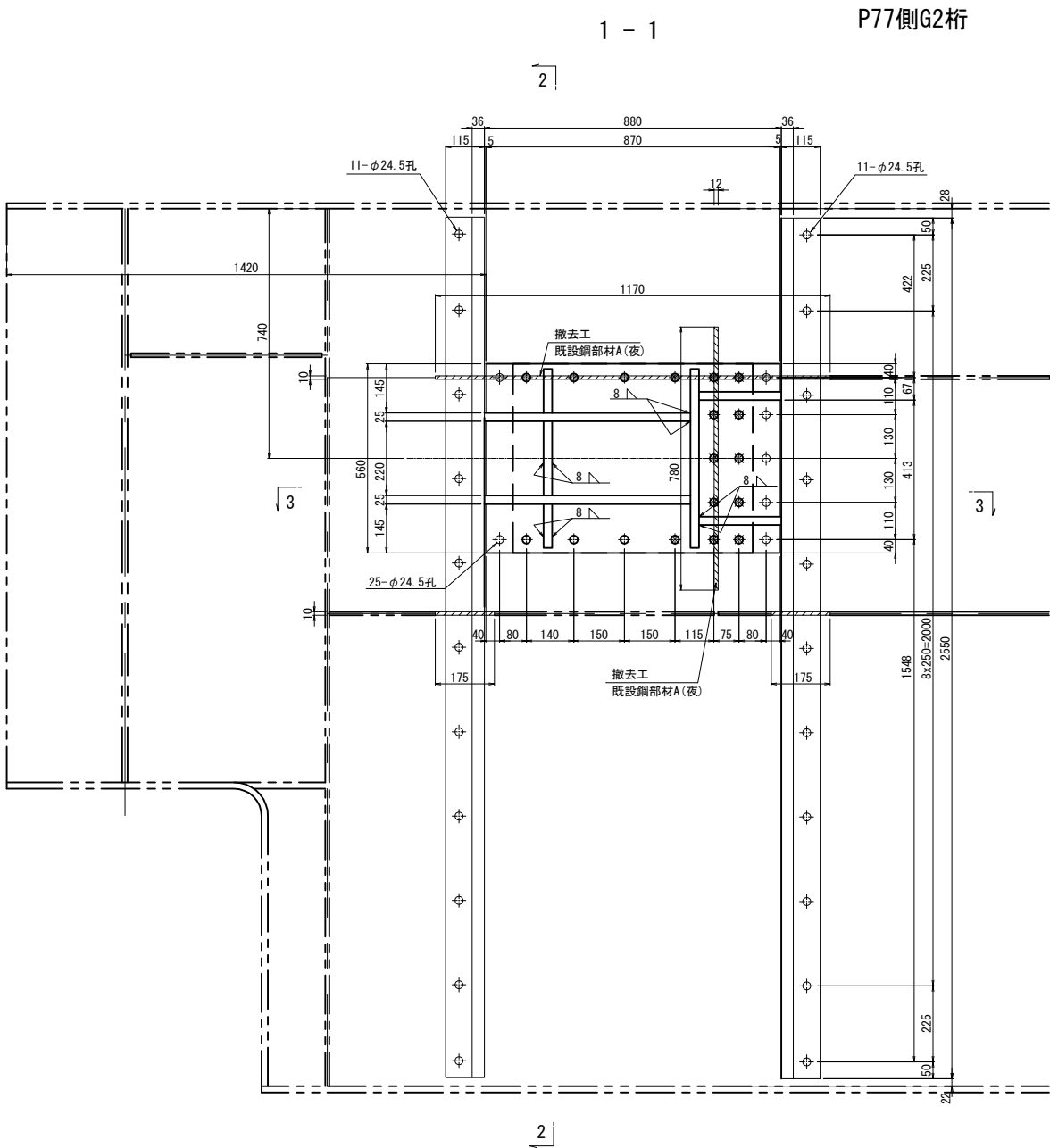
- 撤去工 既設鋼部材A(夜)
- P75側G4桁
撤去材料 (撤去数:1)
2-PL 100x9x175 (SS400)
1-PL 110x9x780 (SS400)

- ブラケット1基当り (製作数:各1基)
- 2-PL 115x22x1750 (SM490A)
 - 2-PL 250x36x1750 (SM490B)
 - 2-PL 245x25x611 (SM490A)
 - 2-PL 245x25x244 (SM490A)
 - 2-PL 230x25x130 (SM490A)
 - 1-PL 230x25x220 (SM490A)
 - 1-PL 260x25x530 (SM490A)
 - 1-PL 870x12x560 (SM490A)
 - 18-TCB M22x70 (S10T)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
 - 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 上部工補強工詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上り線 P76橋脚 上部工補強工A(夜)
撤去工 既設鋼部材A(夜)



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 115x22x2550 (SM490A)
- 2-PL 250x36x2550 (SM490B)
- 2-PL 245x25x611 (SM490A)
- 2-PL 245x25x244 (SM490A)
- 2-PL 230x25x130 (SM490A)
- 1-PL 230x25x220 (SM490A)
- 1-PL 260x25x530 (SM490A)
- 1-PL 870x12x560 (SM490A)
- 22-TCB M22x70 (S10T)

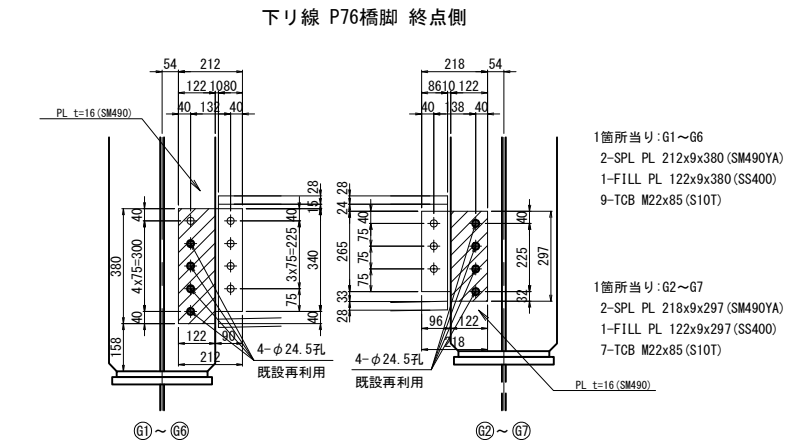
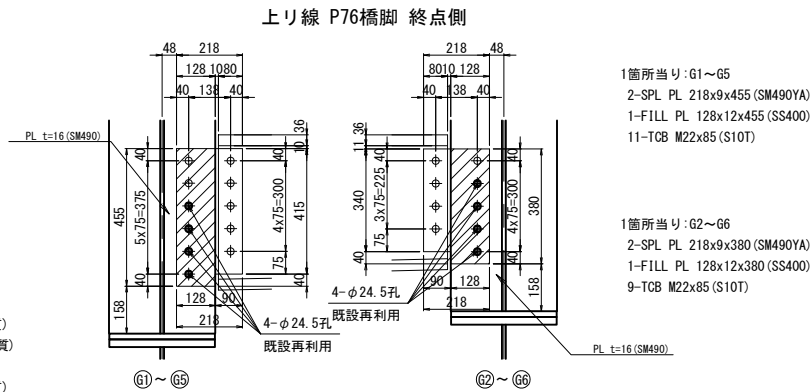
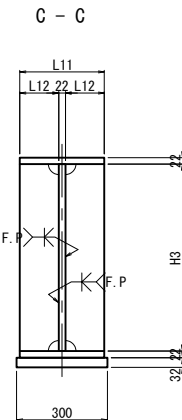
撤去工 既設鋼部材A(夜)

- 撤去材料(撤去数:1)
- 2-PL 160x10x175 (SS400)
- 2-PL 160x10x1170 (SS400)
- 1-PL 170x12x780 (SS400)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
 - 「F.P」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 上部工補強工詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上部工補強工B(夜)



		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	L12	H1	H2	H3	H4	
上り線	起点側	G2-G1	2360	125	2111	636	280	280	606	900	300	1511	280	129	615	609	606	603
		G1-G2	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
		G2-G3	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
		G3-G4	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
		G4-G5	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
	終点側	G1-G2	3710	186	3338	1269	260	280	1144	1050	0	3338	320	149	546	541	538	535
		G2-G3	3710	186	3338	1269	260	280	1144	1050	0	3338	320	149	546	541	538	535
		G3-G4	3710	186	3338	1269	260	280	1144	1050	0	3338	320	149	546	541	538	535
		G4-G5	3710	186	3338	1269	260	280	1144	1050	0	3338	320	149	546	541	538	535
		G5-G6	3708	186	3336	1268	260	280	1143	1050	0	3336	320	149	545	540	537	534
		G1-G2	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
		G2-G3	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
下り線	起点側	G3-G4	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
		G4-G5	3314	135	3045	1058	310	310	1028	990	300	2445	280	129	627	621	618	615
		G3-G2	2360	125	2111	636	280	280	606	900	300	1511	280	129	615	609	607	604
		G2-G1	2360	125	2111	636	280	280	606	900	300	1511	280	129	615	609	607	604
		G1-G2	3278	186	2906	1033	280	280	1003	900	0	2906	300	139	359	353	350	347
	終点側	G2-G3	3278	186	2906	1033	280	280	1003	900	0	2906	300	139	359	353	350	347
		G3-G4	3278	186	2906	1033	280	280	1003	900	0	2906	300	139	359	353	350	347
		G4-G5	3278	186	2906	1033	280	280	1003	900	0	2906	300	139	359	353	350	347
		G5-G6	3278	186	2906	1033	280	280	1003	900	0	2906	300	139	359	353	350	347
		G6-G7	3278	186	2906	1033	280	280	1003	900	0	2906	300	139	359	353	350	347

			H5	H6	H7	LL1	t1	t2	材質
上り線	起点側	G2-G1	597	628	583	2111	22	22	SM400A
		G1-G2	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G2-G3	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G3-G4	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G4-G5	608	648	587	3046	22	22	SM400A
	終点側	G1-G2	530	442	374	3339	36	28	SM490YB
		G2-G3	530	442	374	3339	36	28	SM490YB
		G3-G4	530	442	374	3339	36	28	SM490YB
		G4-G5	530	442	374	3339	36	28	SM490YB
		G5-G6	529	442	374	3337	36	28	SM490YB
下り線	起点側	G1-G2	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G2-G3	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G3-G4	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G4-G5	608	648	587	3046	22	22	SM400A
		G3-G2	598	629	584	2111	22	22	SM400A
	終点側	G2-G1	598	629	584	2111	22	22	SM400A
		G1-G2	342	379	321	2906	28	25	SM490YB
		G2-G3	342	379	321	2906	28	25	SM490YB
		G3-G4	342	379	321	2906	28	25	SM490YB
		G4-G5	342	379	321	2906	28	25	SM490YB
		G5-G6	342	379	321	2906	28	25	SM490YB
		G6-G7	342	379	321	2906	28	25	SM490YB

注記:

1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上下線) 上部工補強工詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

平面図



交通保安要員の配置

配置場所		交通保安要員の種別	配置人数	交替要員
① 市道二子千年線 ・一般道規制(川崎P75)足場施工時	・規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人
② 市道二子千年線側道 ・一般道規制(川崎P75)出入口施工時	・規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人
③ 市道二子千年線側道 ・施工時(川崎P75)	・工事用車両出入口	交通誘導警備員B	1人	-
④ 市道末永17号線 ・通行止め規制(川崎P76)起点側施工時	・規制箇所	交通誘導警備員B(夜)	2人	1人
⑤ 市道末永21号線 ・施工時(川崎P76)自動車教習所	・工事用車両出入口	交通誘導警備員B(夜)	1人	-
⑥ 市道末永21号線 ・一般道規制(川崎P77・P77')出入口施工時	・規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人
⑦ 市道末永21号線 ・施工時(川崎P77・P77')	・工事用車両出入口	交通誘導警備員B	1人	-
⑧ 市道二子千年線 ・一般道規制(川崎P77・P77')足場施工時	・規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人
⑨ 市道末永17号線 ・施工時(川崎P76起点側)	・規制箇所	列車見張員A(夜)	1人	-

立入防止柵撤去設置工

項目		数量表
P75	一般型非積雪地用	延長(m) 6.0
P77	一般型非積雪地用	延長(m) 6.0

防護柵撤去設置工

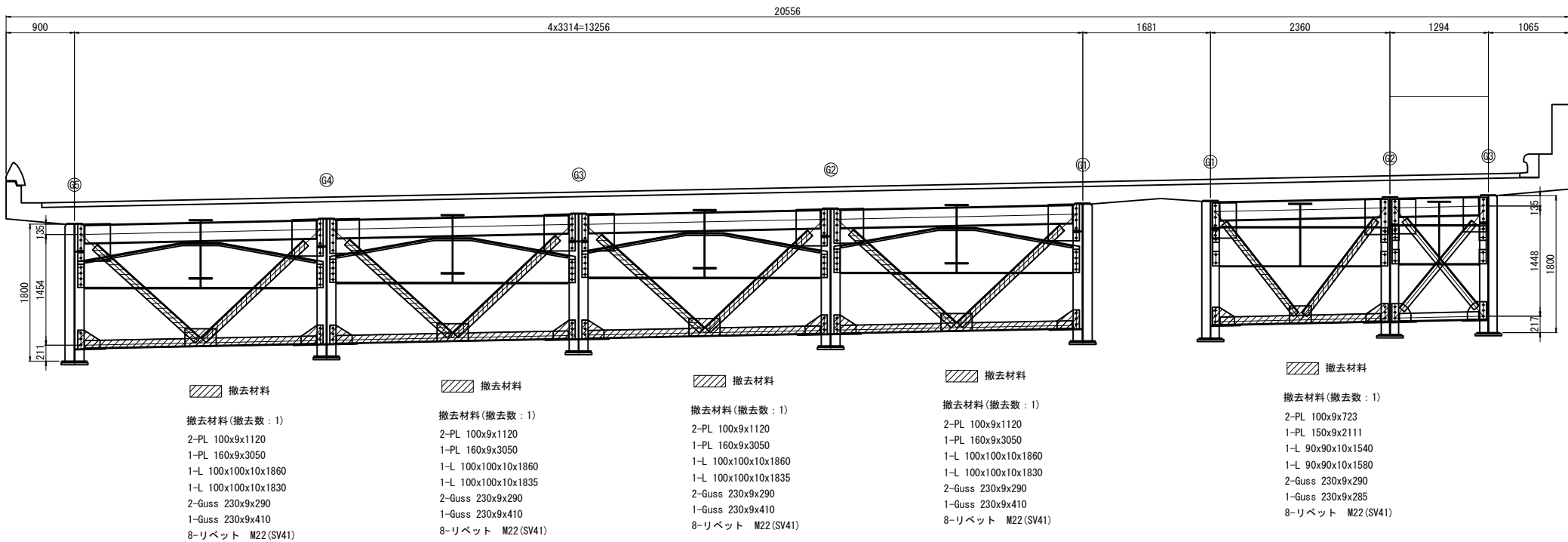
項目		数量表
P75	Gr-C-2E	延長(m) 6.0

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 附帯工		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

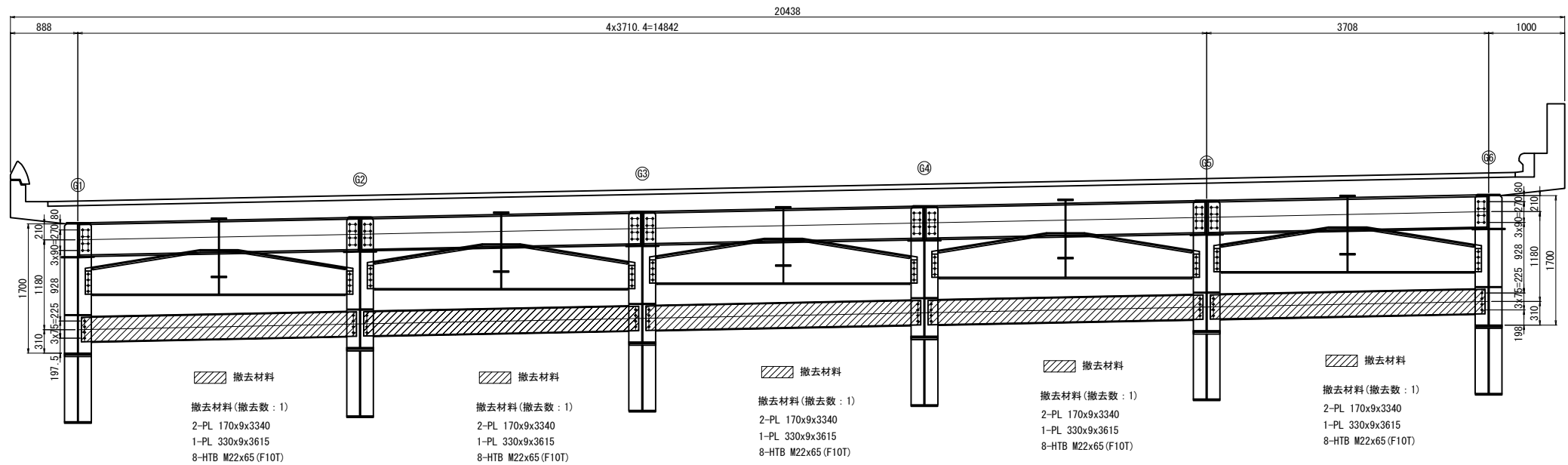
川崎高架橋(上り線) 既設端対傾構撤去図(その1) S=1:75

撤去工 既設鋼部材A(夜)
P76橋脚

起点側



終点側



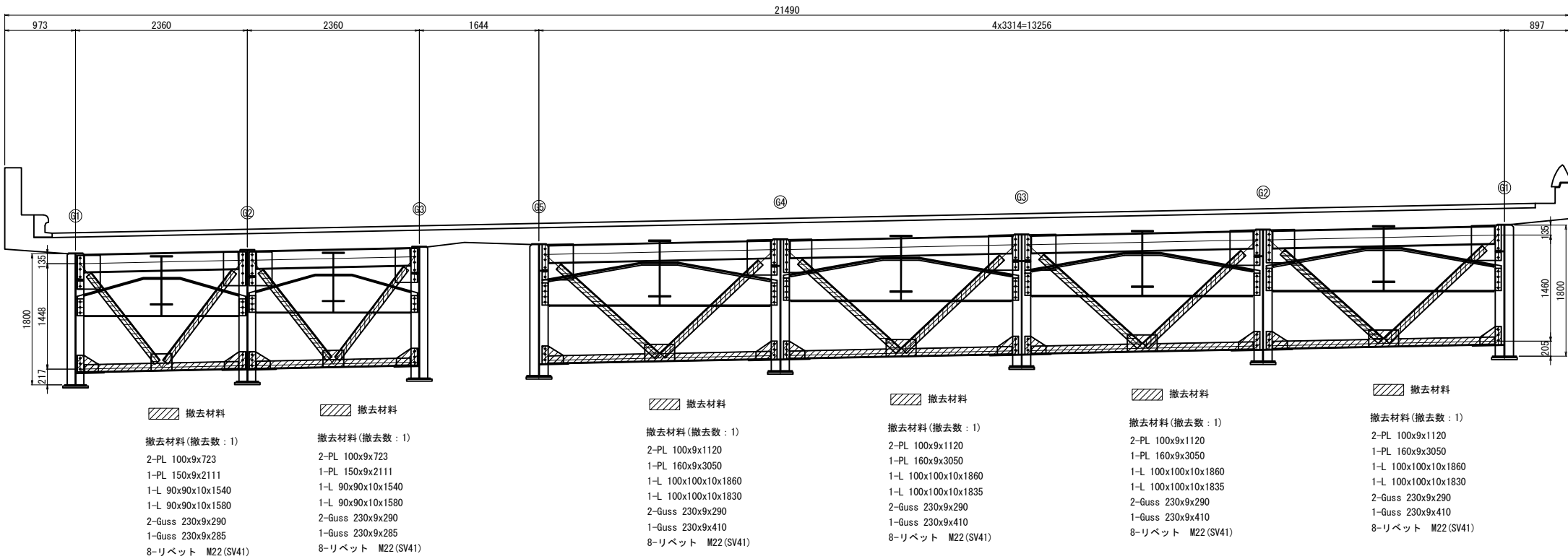
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 既設対傾構撤去図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

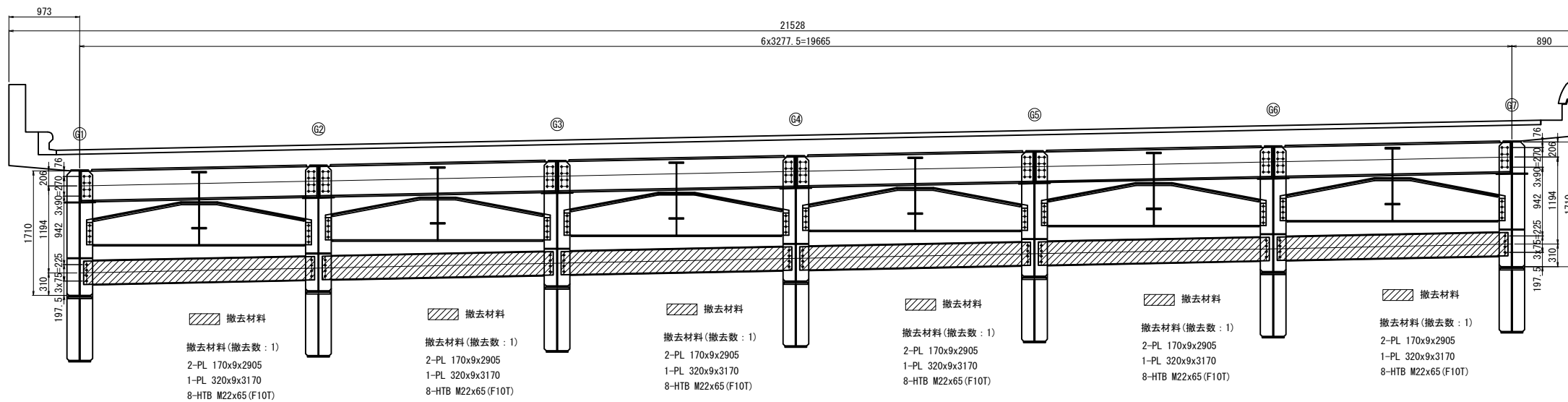
撤去工 既設鋼部材A(夜)

P76橋脚

起点側



終点側



注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

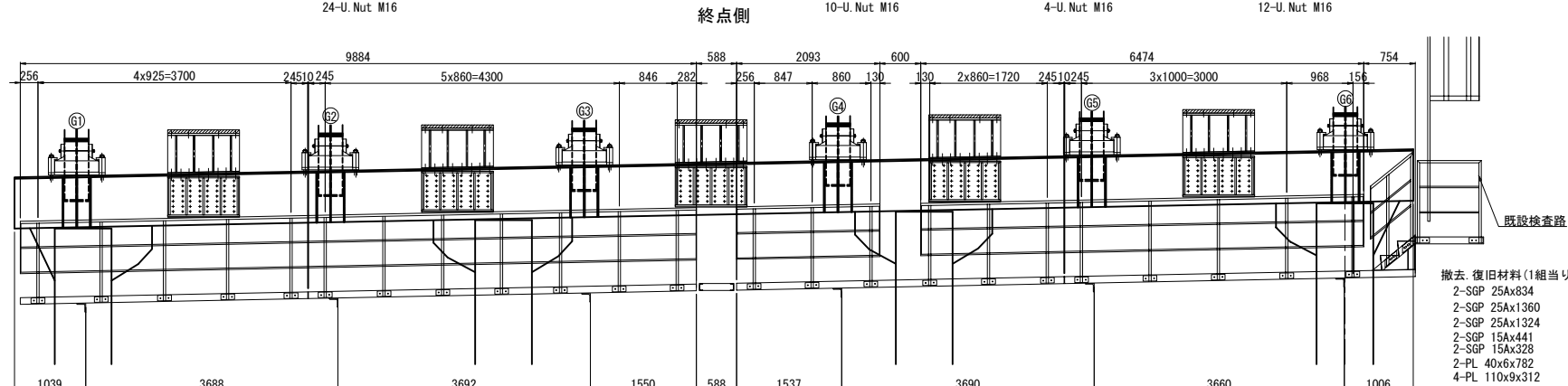
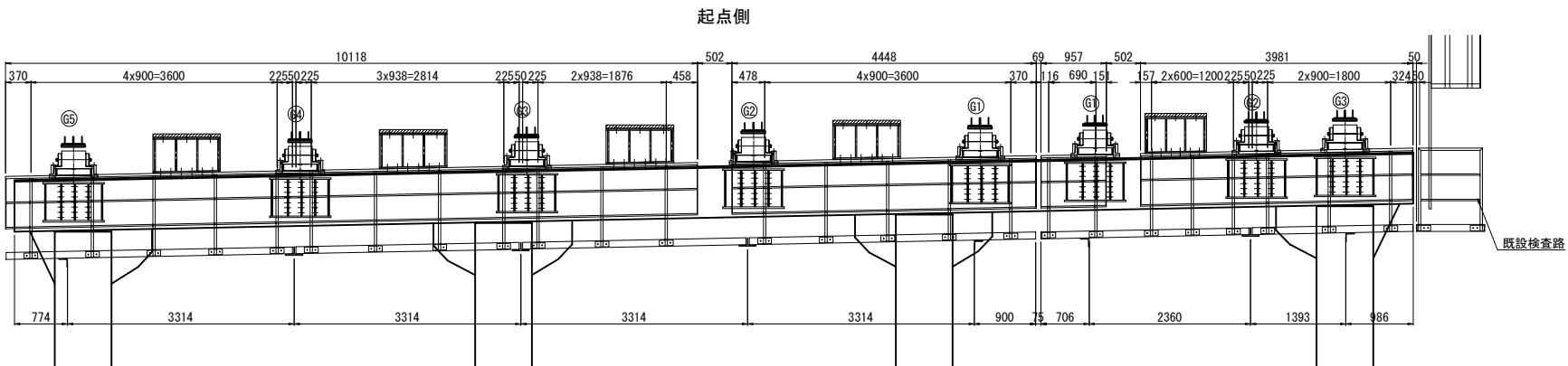
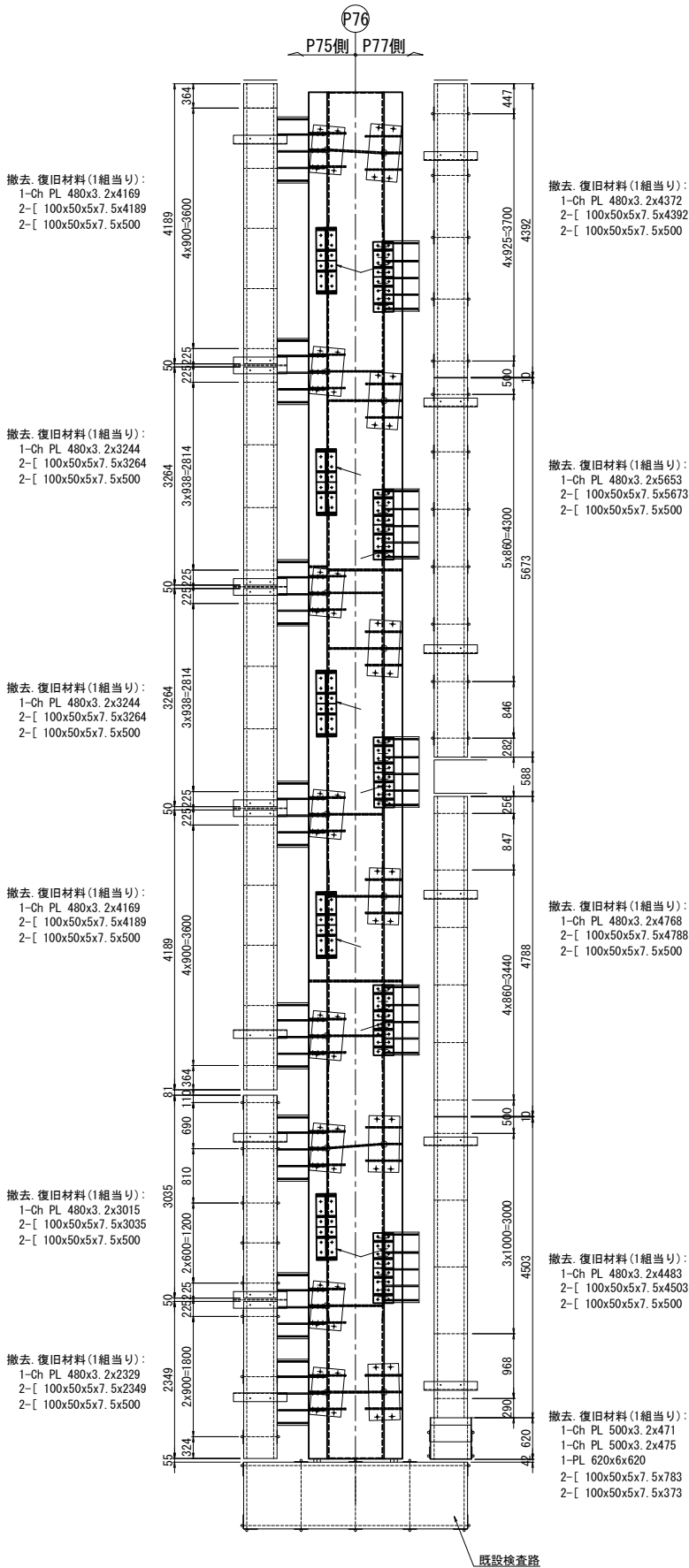
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) 既設端対傾構撤去図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

＜P76橋脚＞

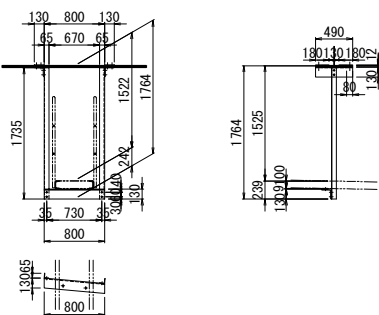
撤去設置工 検査路B(夜)

平面図

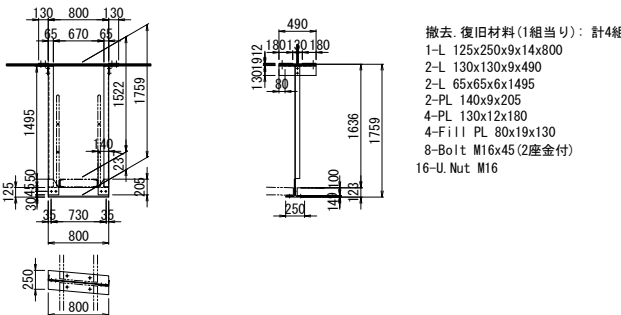
正面図



TYPE-1 (端部用)



TYPE-2 (架違部用)



撤去設置工 数量表

項目	単位	数量	摘要
検査路B(夜)	kg	3,725.0	

AP76

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 表面処理は溶融亜鉛メッキとし、付着量はJIS HB641 HDZ55とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

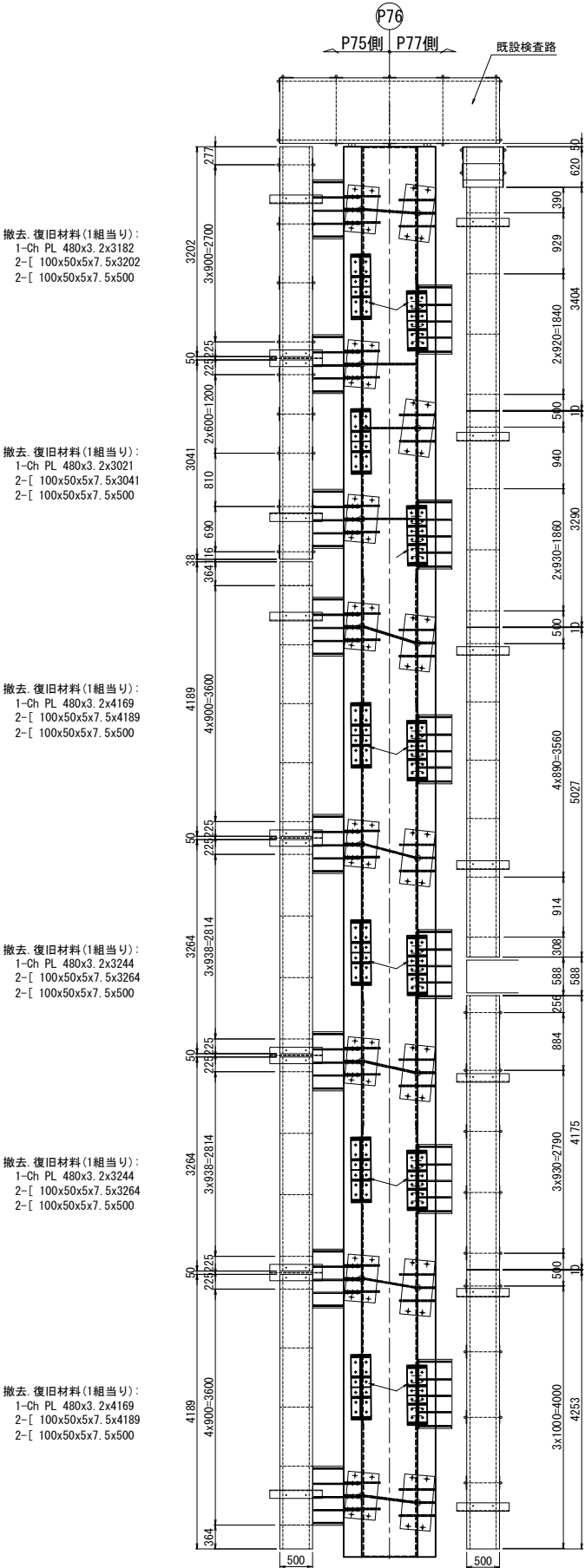
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路撤去復旧図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

＜P76橋脚＞

撤去設置工 検査路B(夜)

正面図

平面図



撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x471
1-Ch PL 500x3. 2x475
1-PL 620x6x20
2-[100x50x5x7. 5x783
2-[100x50x5x7. 5x373

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x3384
2-[100x50x5x7. 5x3404
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x3021
2-[100x50x5x7. 5x3041
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x4169
2-[100x50x5x7. 5x4189
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x3244
2-[100x50x5x7. 5x3264
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x3244
2-[100x50x5x7. 5x3264
2-[100x50x5x7. 5x500

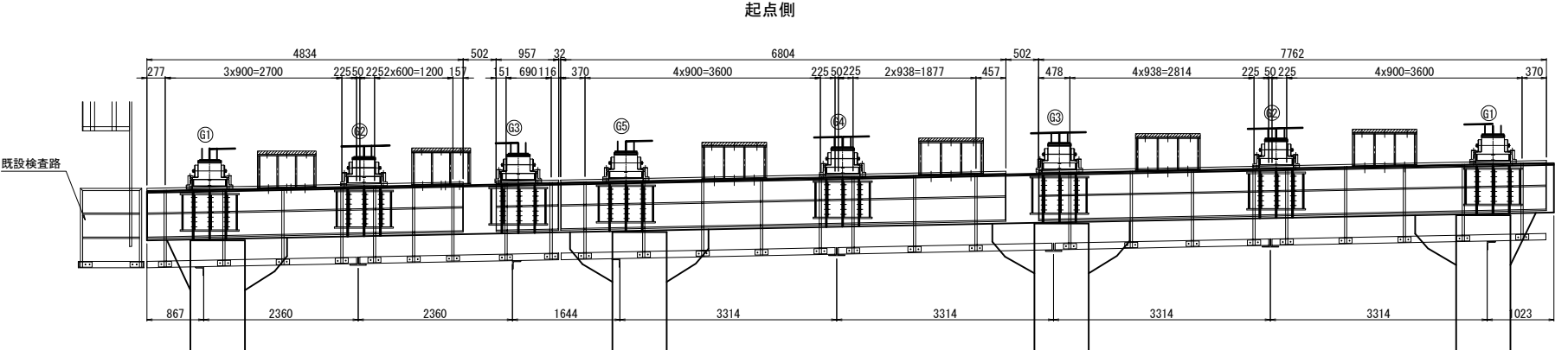
撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x4169
2-[100x50x5x7. 5x4189
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x3270
2-[100x50x5x7. 5x3290
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x5007
2-[100x50x5x7. 5x5027
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x4155
2-[100x50x5x7. 5x4175
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x4233
2-[100x50x5x7. 5x4253
2-[100x50x5x7. 5x500



撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax4834
7-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax4834
7-PL 80x6x200
14-B. N M16x35 (2座金)
14-U. Nut M16

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x3270
2-[100x50x5x7. 5x3290
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x5007
2-[100x50x5x7. 5x5027
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x4155
2-[100x50x5x7. 5x4175
2-[100x50x5x7. 5x500

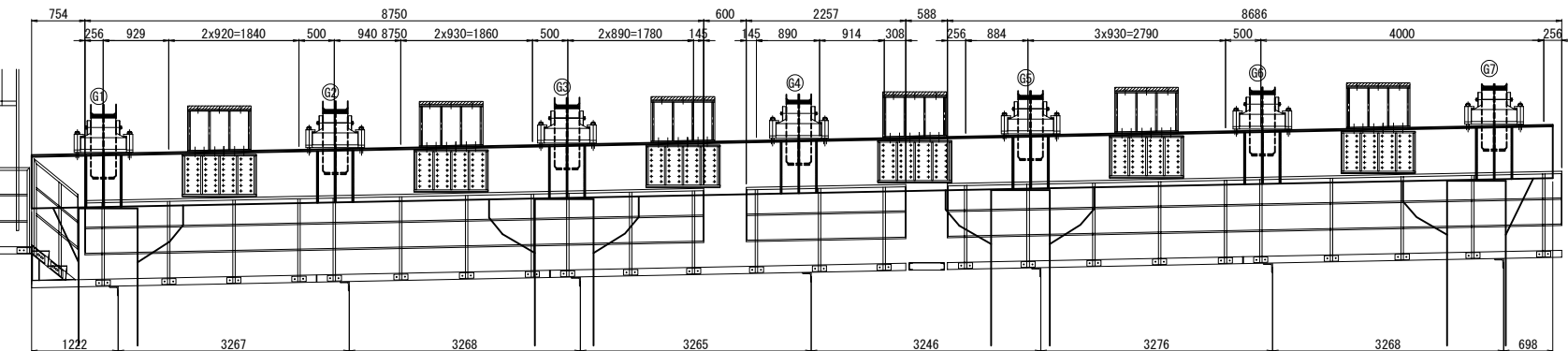
撤去・復旧材料(1組当り):
1-Ch PL 480x3. 2x4233
2-[100x50x5x7. 5x4253
2-[100x50x5x7. 5x500

撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax4834
7-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax4834
7-PL 80x6x200
14-B. N M16x35 (2座金)
14-U. Nut M16

撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax957
2-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax957
2-PL 80x6x200
4-B. N M16x35 (2座金)
4-U. Nut M16

撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax6804
8-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax6804
8-PL 80x6x200
16-B. N M16x35 (2座金)
16-U. Nut M16

撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax7762
9-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax7762
9-PL 80x6x200
18-B. N M16x35 (2座金)
18-U. Nut M16



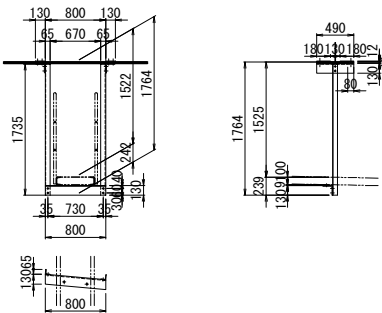
撤去・復旧材料(1組当り):
2-SGP 25Ax834
2-SGP 25Ax1360
2-SGP 25Ax1324
2-SGP 15Ax441
2-SGP 15Ax328
2-PL 40x6x782
4-PL 110x9x312
4-PL 80x6x287
8-B. N M16x35 (2座金)

撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax8750
11-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax8750
11-PL 80x6x200
22-B. N M16x35 (2座金)
22-U. Nut M16

撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax2257
3-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax2257
3-PL 80x6x200
6-B. N M16x35 (2座金)
6-U. Nut M16

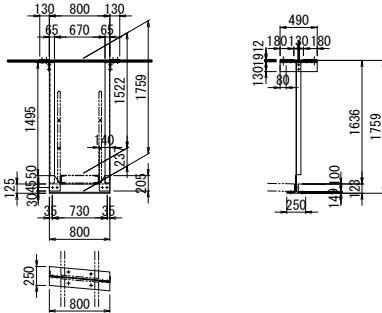
撤去・復旧材料(1組当り):
1-SGP 25Ax8686
10-SGP 25Ax1190
2-SGP 15Ax8686
10-PL 80x6x200
20-B. N M16x35 (2座金)
20-U. Nut M16

TYPE-1 (端部用)



撤去・復旧材料(1組当り): 計11組
1-L 130x130x9x800
2-L 130x130x9x490
2-L 65x65x6x1735
4-PL 130x12x180
4-Fill PL 80x19x130
8-Bolt M16x45 (2座金付)
16-U. Nut M16

TYPE-2 (架違部用)



撤去・復旧材料(1組当り): 計4組
1-L 125x250x9x14x800
2-L 130x130x9x490
2-L 65x65x6x1495
2-PL 140x9x205
4-PL 130x12x180
4-Fill PL 80x19x130
8-Bolt M16x45 (2座金付)
16-U. Nut M16

撤去設置工 数量表

項目	単位	数量	摘要
検査路B(夜)	kg	3,917.0	

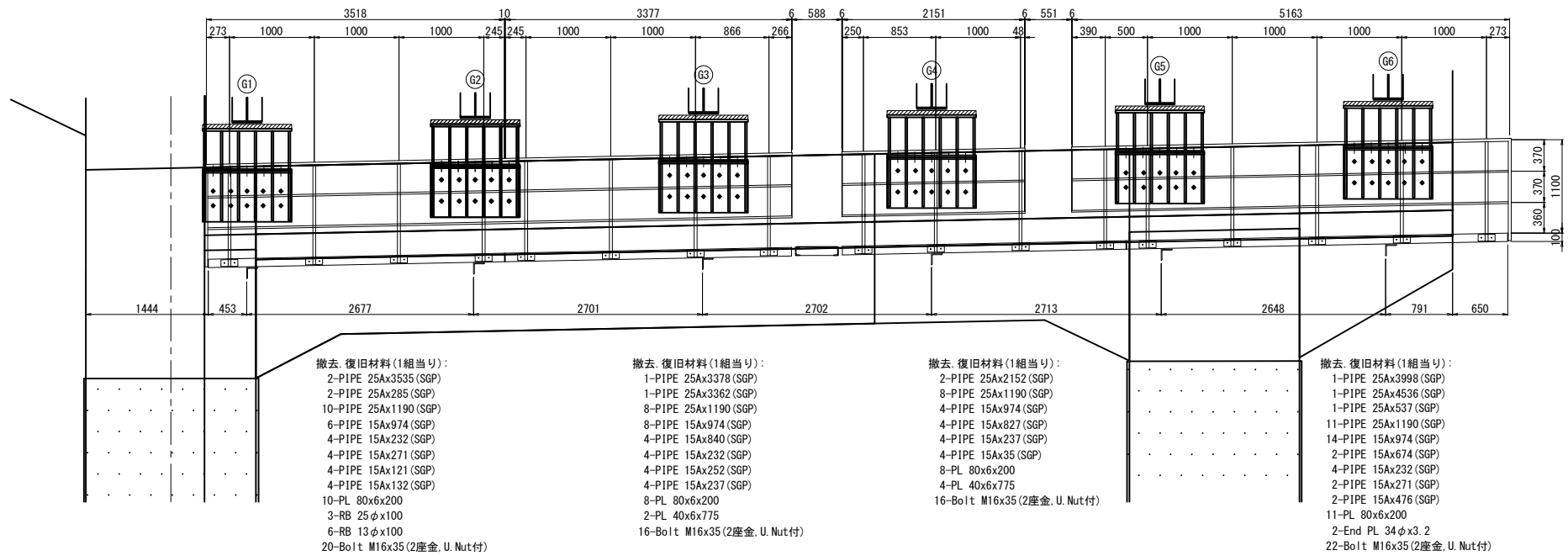
BP76

- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 表面処理は溶融亜鉛メッキとし、付着量はJIS HB641 HDZ55とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) 下部工検査路撤去復旧図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

＜P77橋脚＞
撤去設置工 検査路B

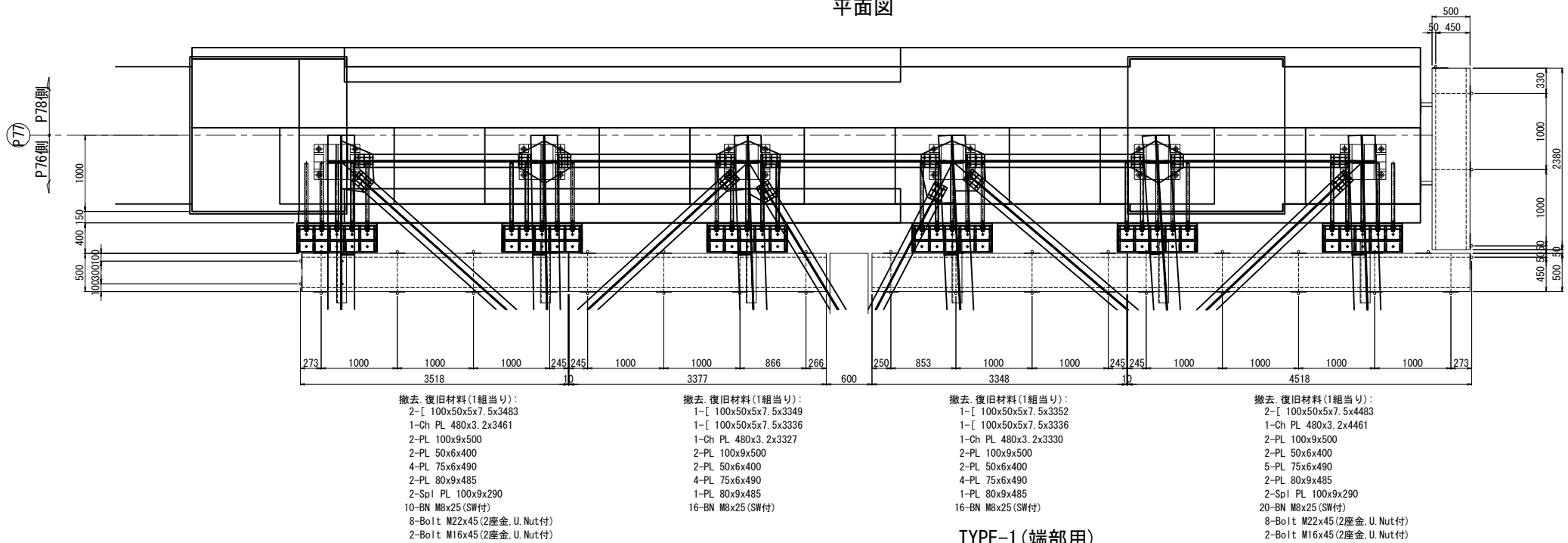
正面図



撤去、復旧材料(1組当り):

- 1-PIPE 25Ax2417 (SGP)
- 1-PIPE 25Ax537 (SGP)
- 4-PIPE 25Ax1190 (SGP)
- 4-PIPE 15Ax974 (SGP)
- 2-PIPE 15Ax351 (SGP)
- 2-PIPE 15Ax471 (SGP)
- 4-PL 80x6x200
- 2-End PL 34φx3, 2
- 16-Bolt M16x35 (2座金, U. Nut付)

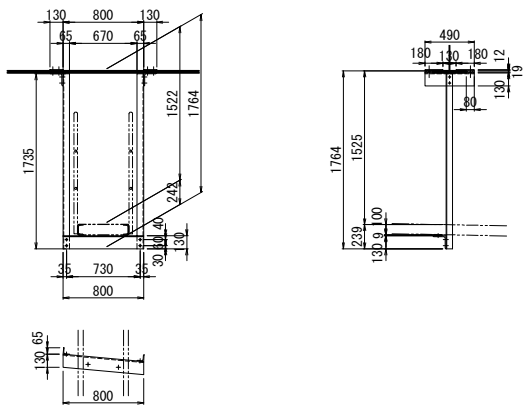
平面図



撤去、復旧材料(1組当り):

- 2-[100x50x5x7, 5x2362
- 1-Ch PL 480x3, 2x2340
- 2-PL 100x9x500
- 2-PL 50x6x400
- 3-PL 75x6x490
- 2-PL 80x9x480
- 12-BN M8x25 (SW付)
- 1-PL 100x6x2342

TYPE-1 (端部用)



注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 表面処理は溶融亜鉛メッキとし、付着量はJIS HB641 HDZ55とする。
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

撤去設置工 数量表

項目	単位	数量	摘要
検査路B	kg	1,375.0	

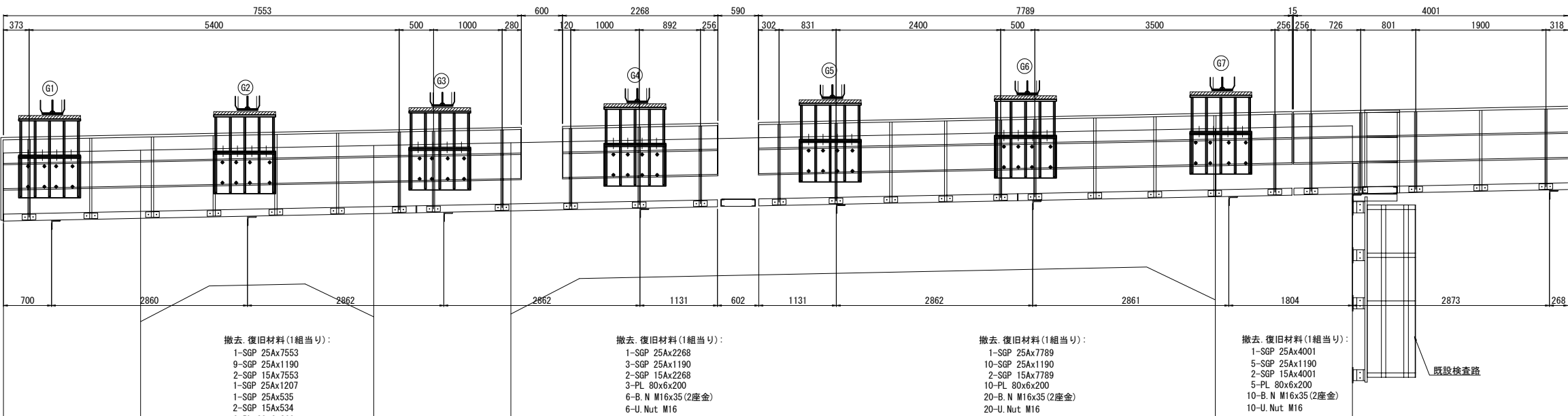
AP77

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路撤去復旧図(その3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

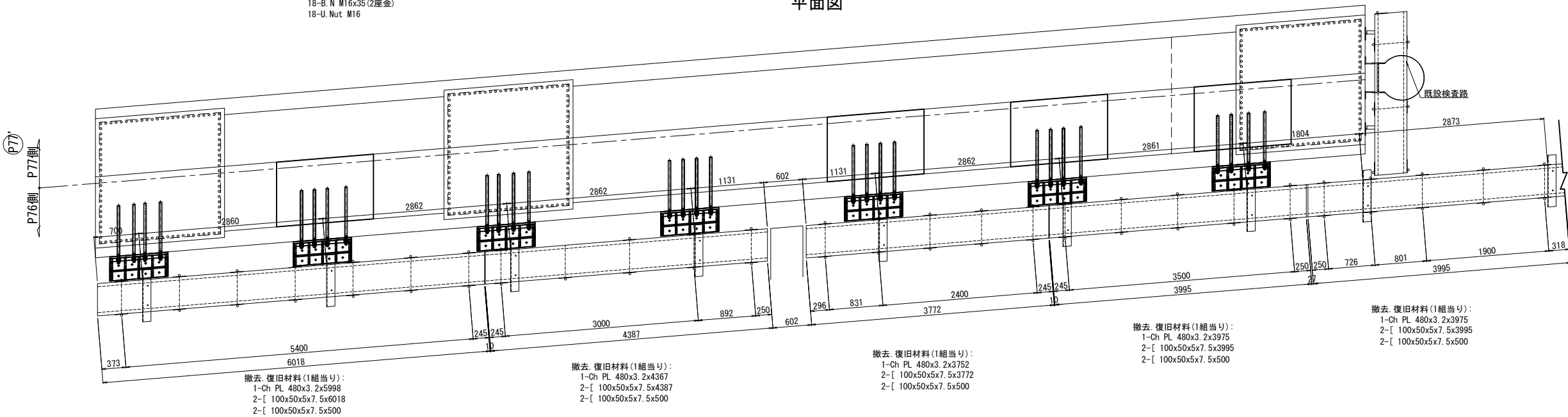
<P77' 橋脚>

撤去設置工 検査路B

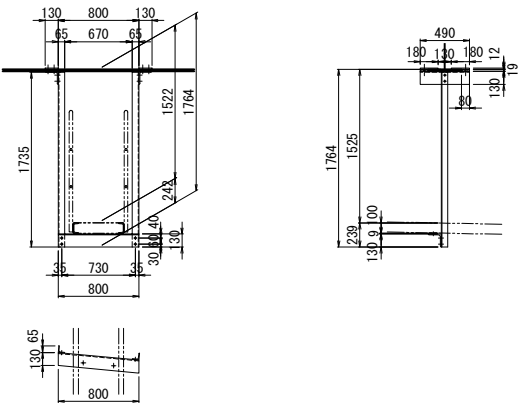
正面図



平面図



TYPE-1(端部用)



撤去設置工 数量表

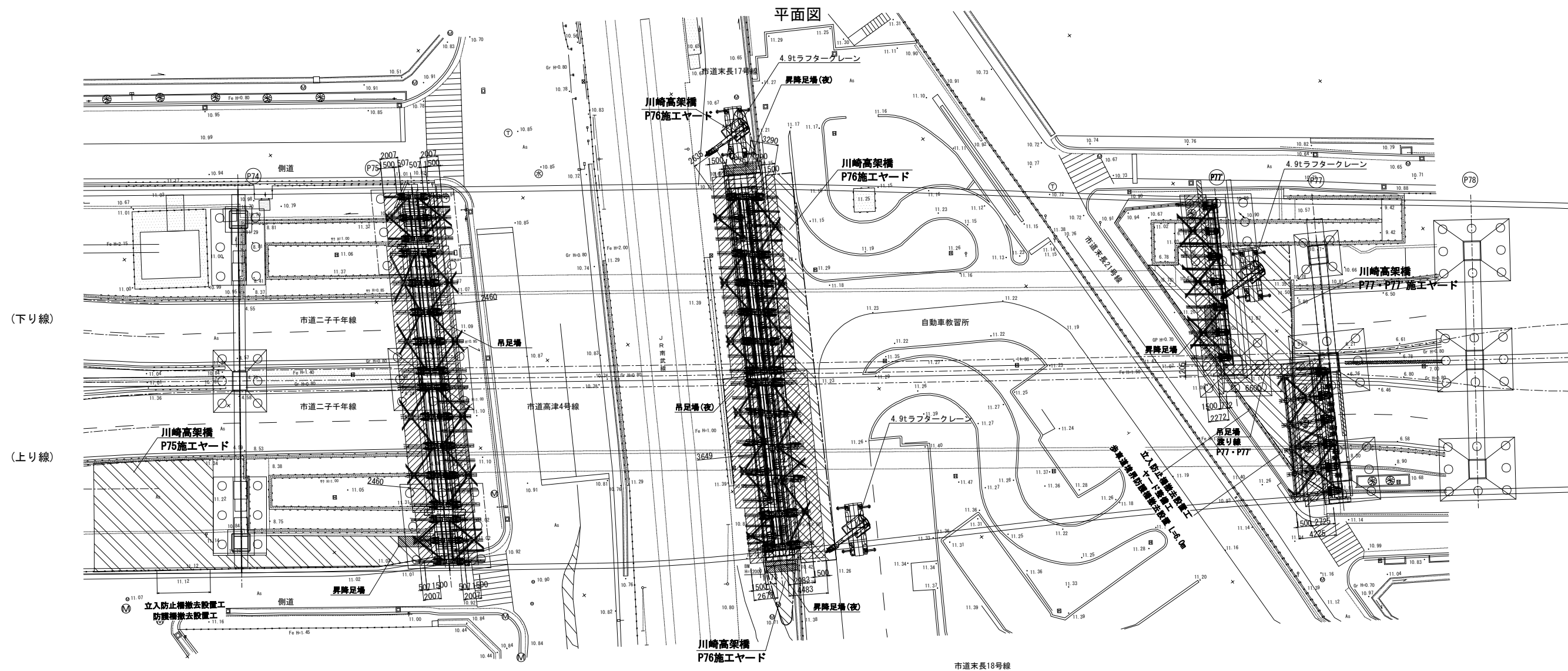
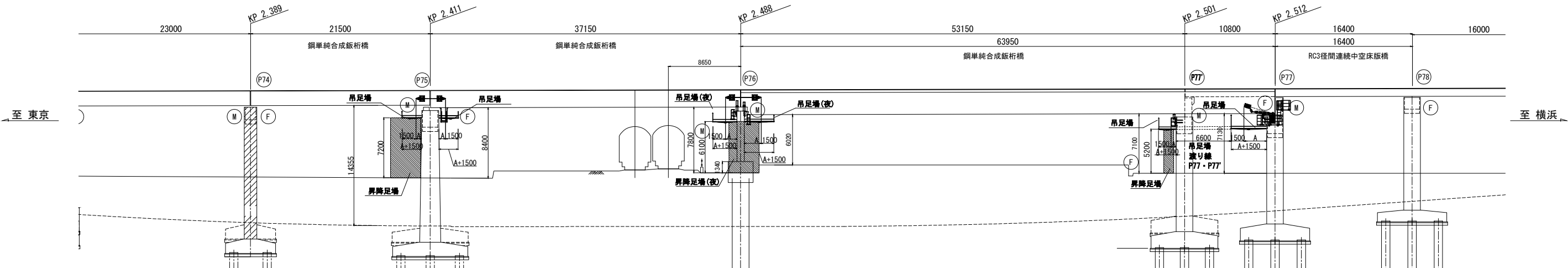
項目	単位	数量	摘要
検査路B	kg	1,899.0	

BP77'

- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 表面処理は溶融亜鉛メッキとし、付着量はJIS HB641 HDZ55とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(下り線) 下部工検査路撤去復旧図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

側面図（参考図）



昇降足場

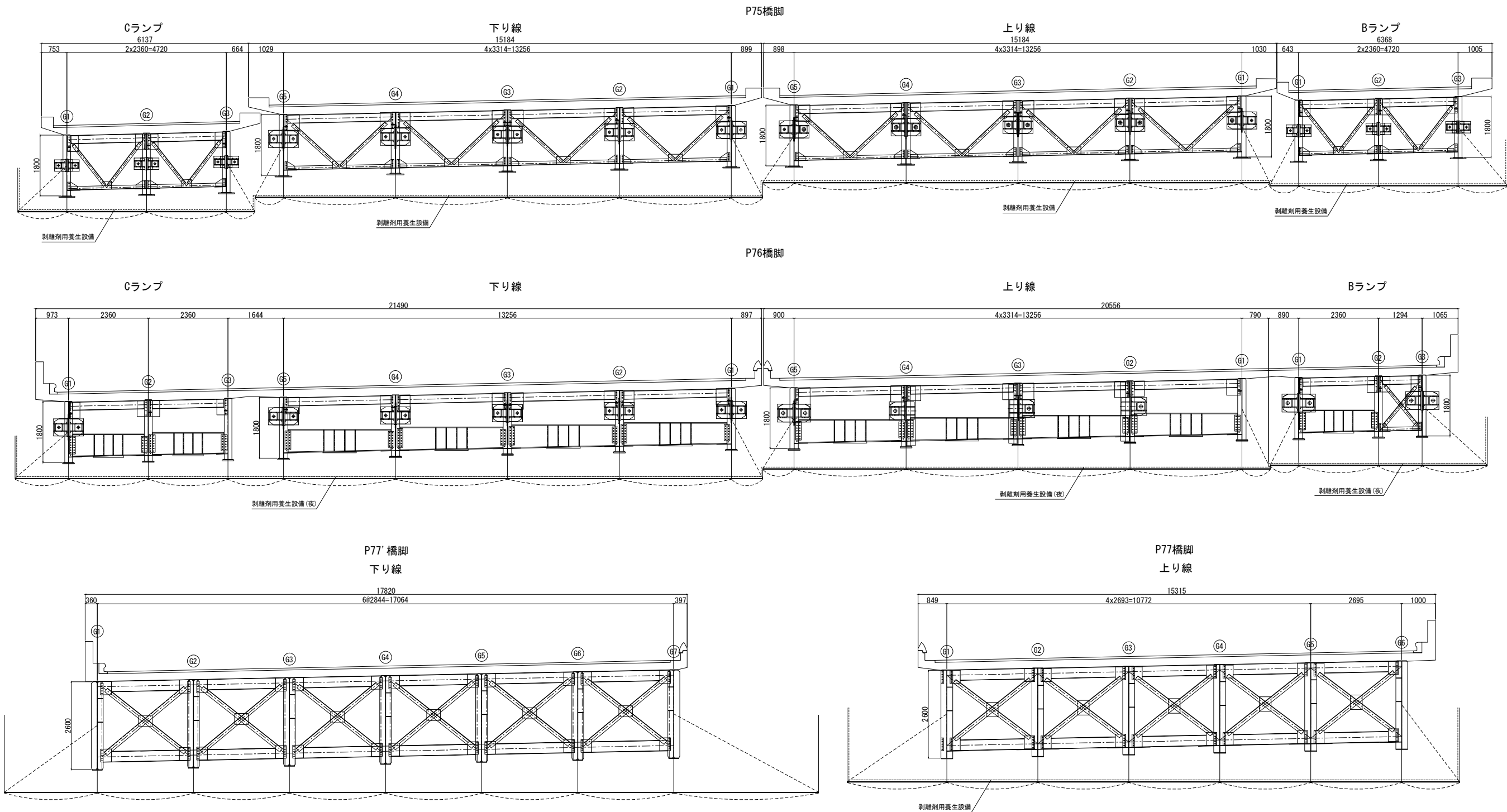
		幅×奥行×高さ	空m3
P75	上	3.6×1.2×7.2	31.1
P76	上	3.6×1.2×6.1	26.4
P76	下	3.6×1.2×6.1	26.4
P77'	下	3.6×1.2×5.2	22.5

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 施工計画(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

川崎高架橋 施工計画（その2）

（参考図）

上部工断面図 S=1:50



吊足場工（防護型側面）

	延長×幅員	m2
上下線 P75 起終点	2.460×15.184×4	149.4
P75 Bランプ 起終点	2.007×6.368×2	25.6
P75 Cランプ 起終点	2.007×6.137×2	24.6
上り線 P76 起点側	3.649×14.946	54.5
上り線 P76 終点側	4.483×14.946	67.0
下り線 P76 起点側	2.635×21.490	56.6
下り線 P76 終点側	3.290×21.490	70.7
上り線 P76 Bランプ	2.673×5.609	15.0
上り線 P77 起点側	4.225×15.315	64.7
下り線 P77' 起点側	2.272×17.820	40.5
渡り線 P77・P77'	6.600×1.200	7.9

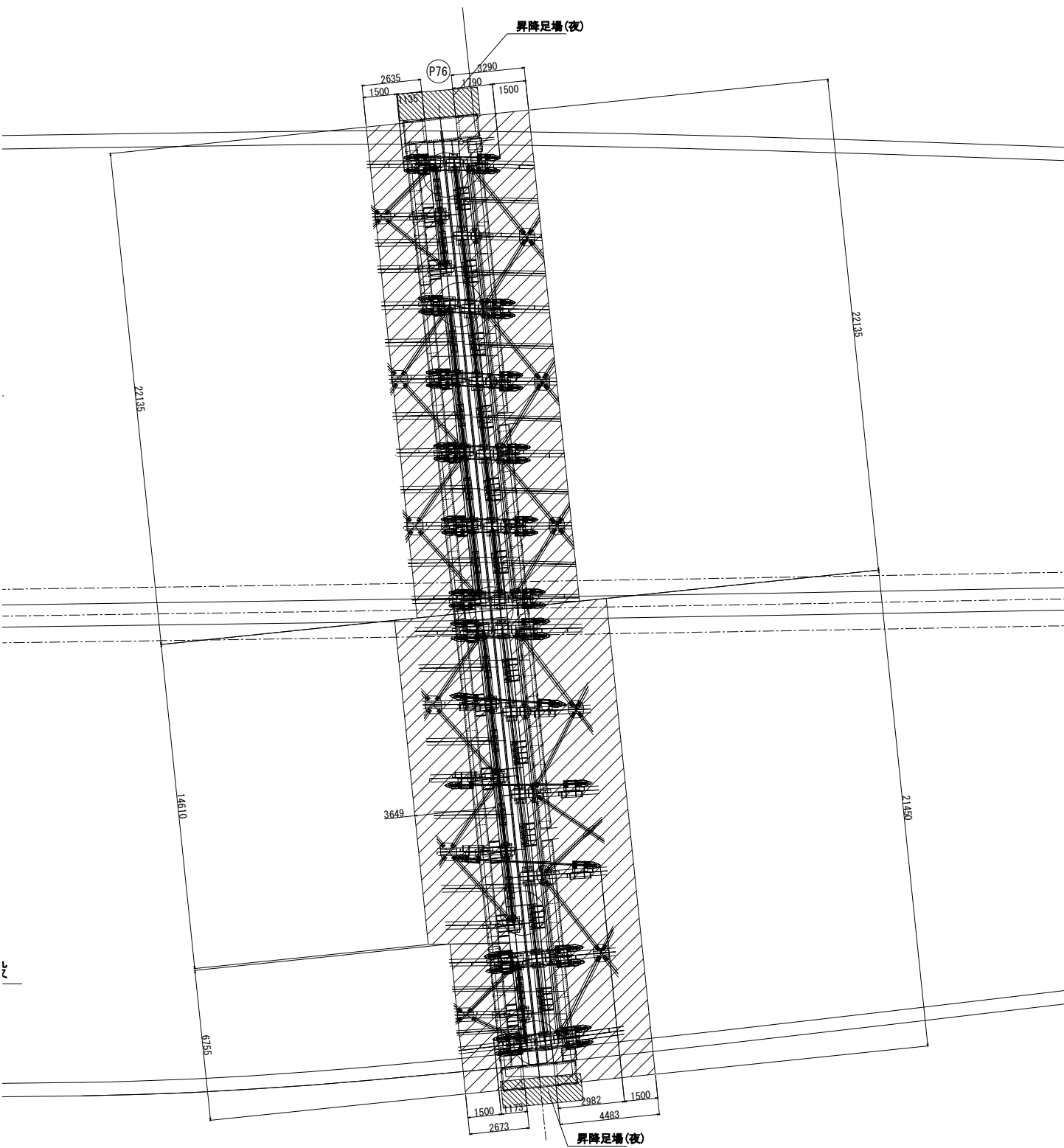
剥離剤用養生設備工

	延長×幅員	m2
上下線 P75 起終点	2.460×15.184×4	149.4
P75 Bランプ 起終点	2.007×6.368×2	25.6
P75 Cランプ 起終点	2.007×6.137×2	24.6
上り線 P76 起点側	3.649×14.946	54.5
上り線 P76 終点側	4.483×14.946	67.0
下り線 P76 起点側	2.635×21.490	56.6
下り線 P76 終点側	3.290×21.490	70.7
上り線 P76 Bランプ	2.673×5.609	15.0
上り線 P77 起点側	4.225×15.315	64.7

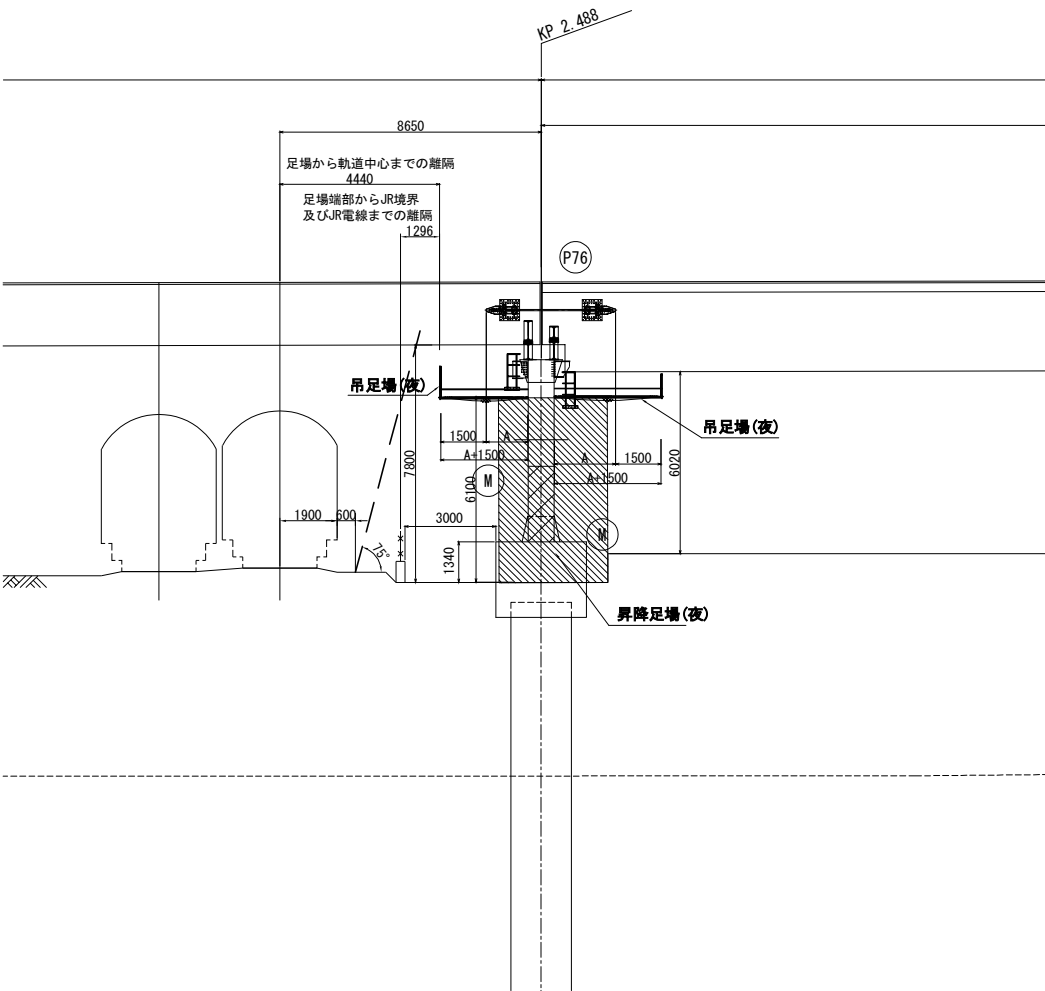
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 施工計画(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

（参考図）

平面図



側面図

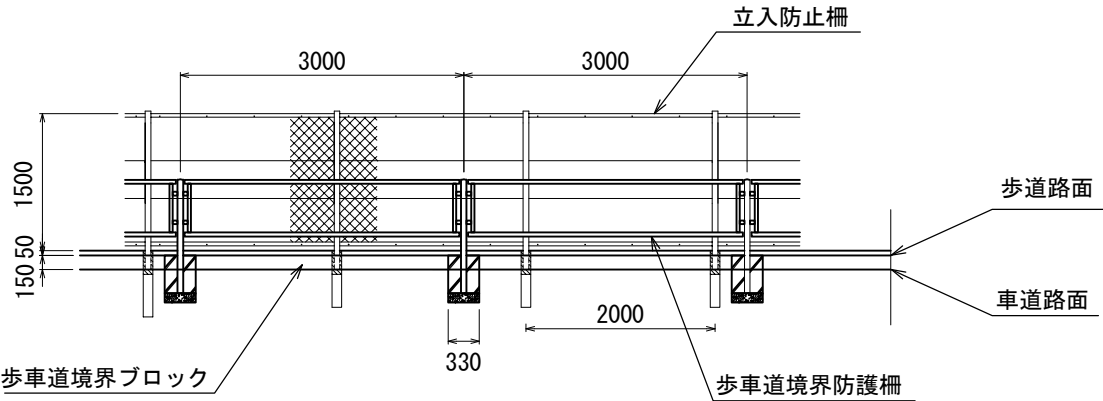


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 施工計画(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

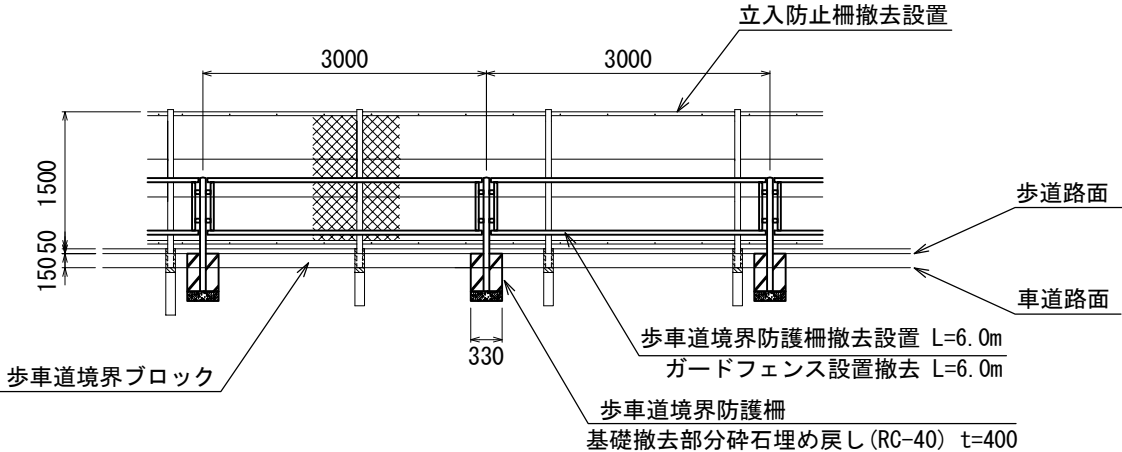
川崎高架橋 P77・P77' ヤード進入路詳細図

ヤード整備工（参考図）

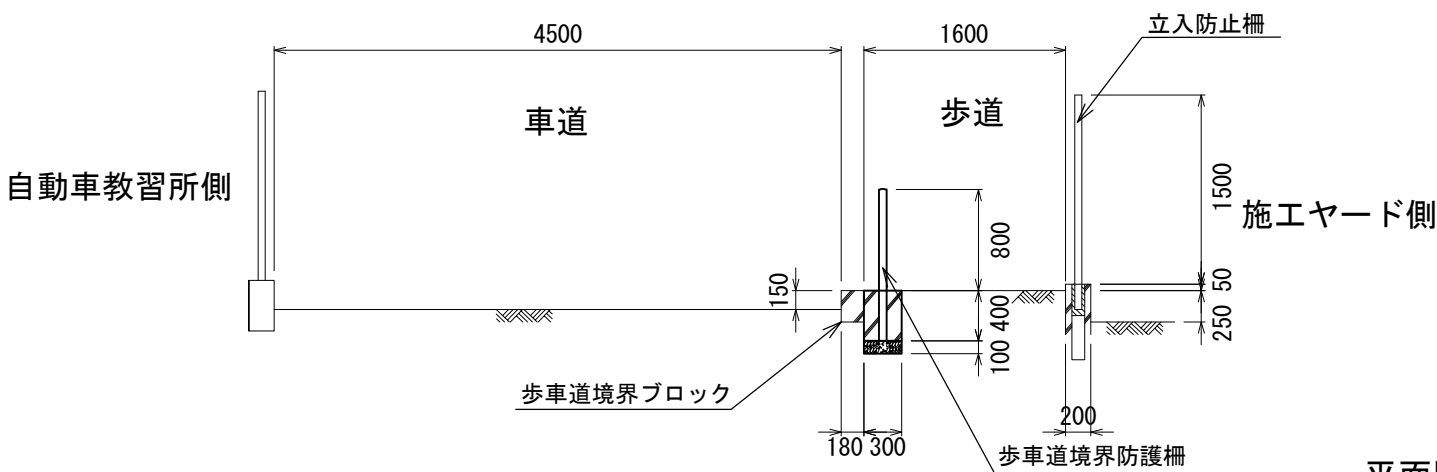
正面図 現況 S=1:80



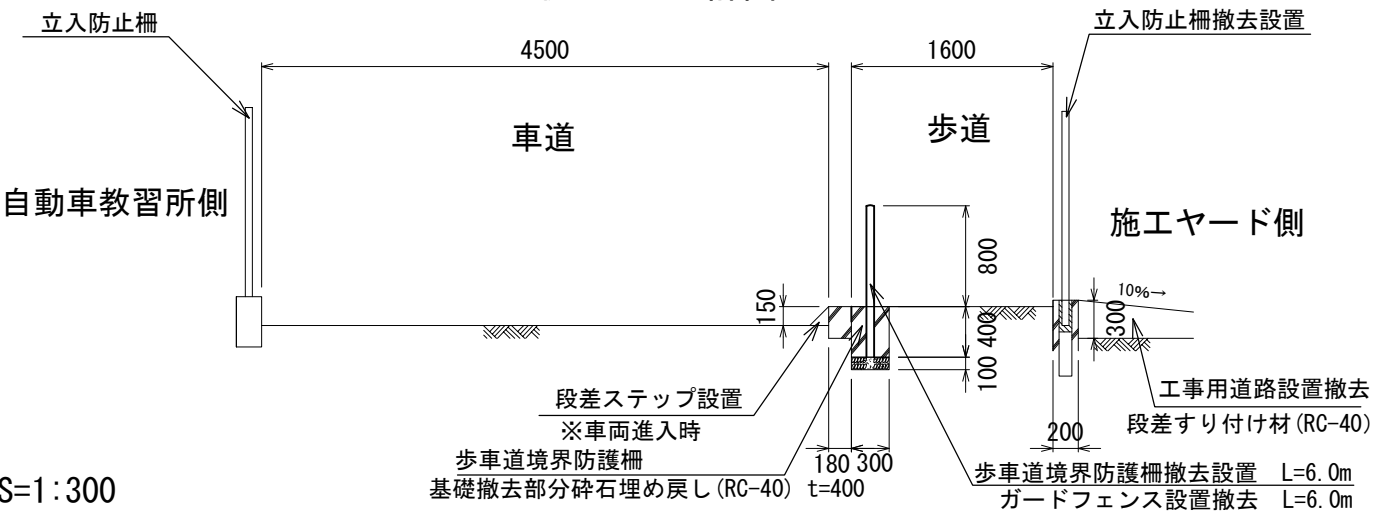
正面図 計画 S=1:80



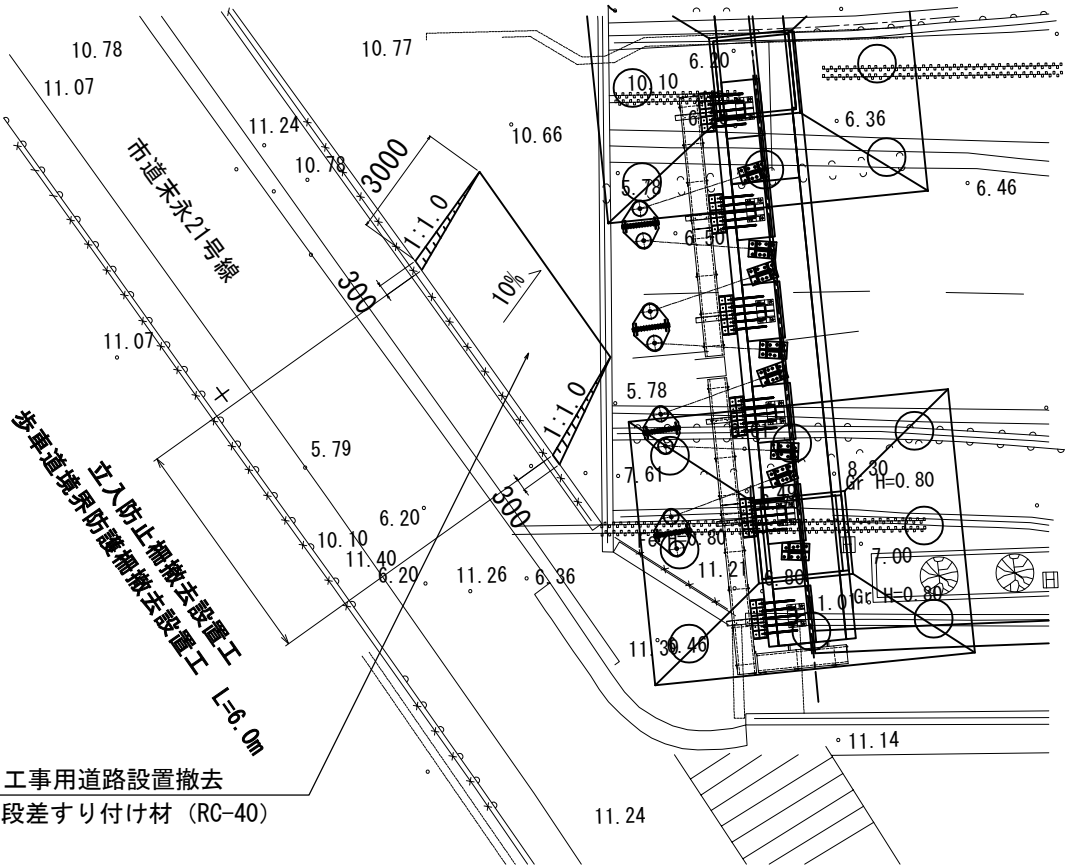
側面図 現況 S=1:60



側面図 計画 S=1:60



平面図 S=1:300



ヤード整備工

一箇所当り

歩車道境界防護柵撤去設置	L= 6.0m
ガードフェンス設置撤去	L= 6.0m
歩車道境界防護柵基礎撤去部分砕石埋め戻し (RC-40) t=400	0.04m3
工事用道路設置撤去 段差すり付け材 (RC-40)	2.7m3

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋		
	P77・P77' ヤード進入路詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【川崎高架橋 P111～P114】

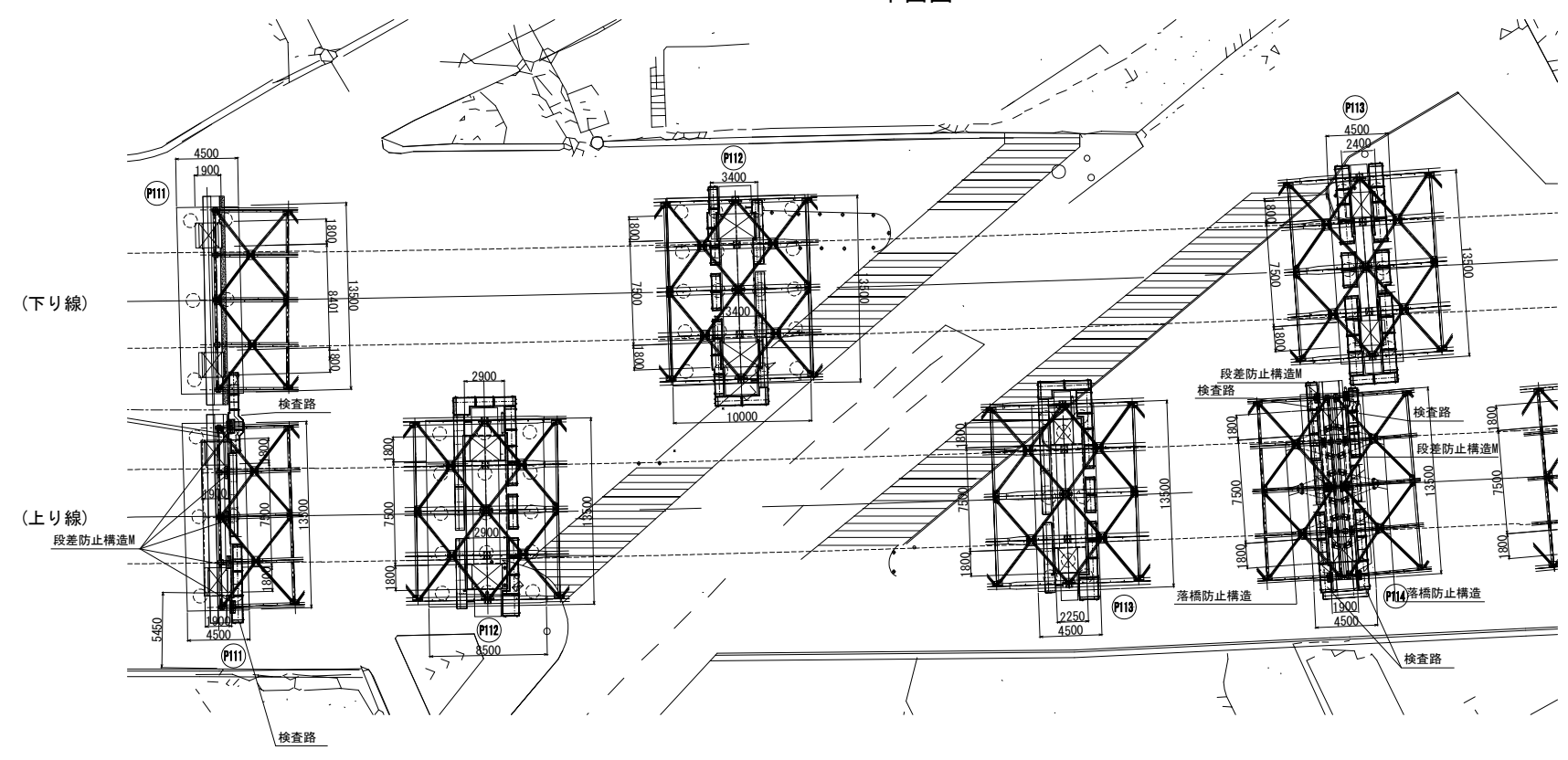
令和 6 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

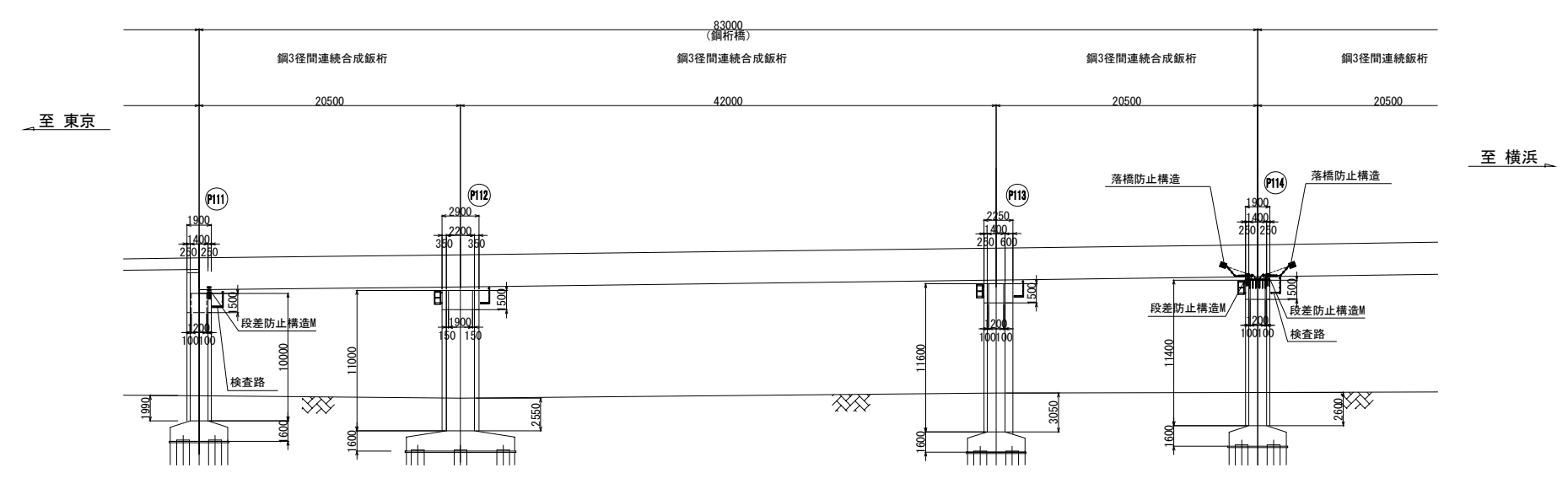
目次

[illegible][illegible]

平面図

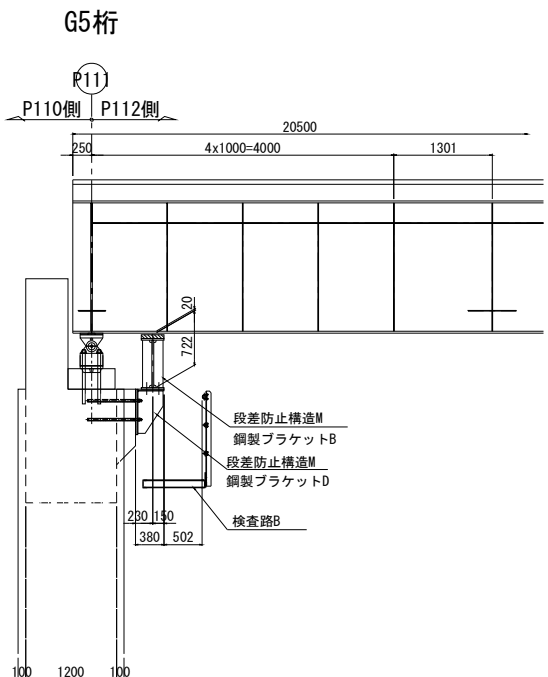
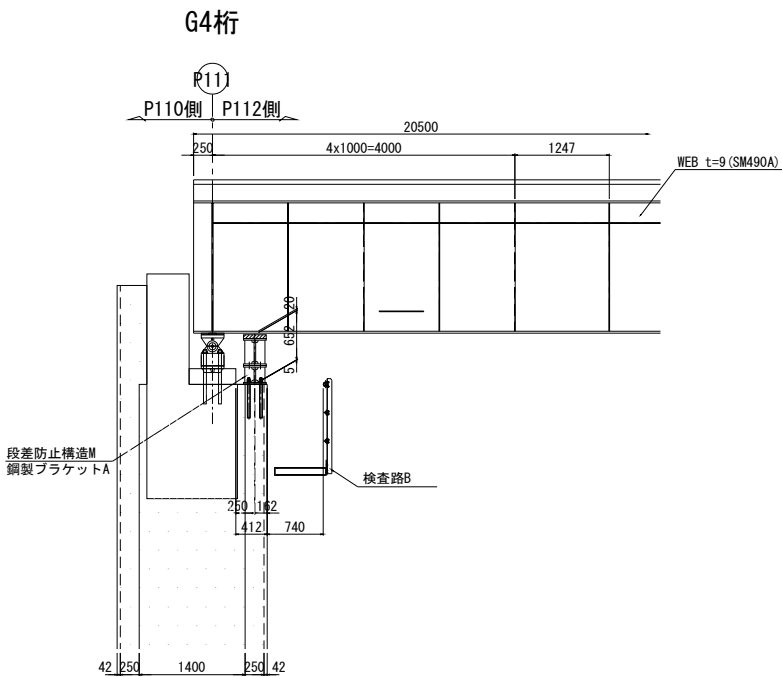
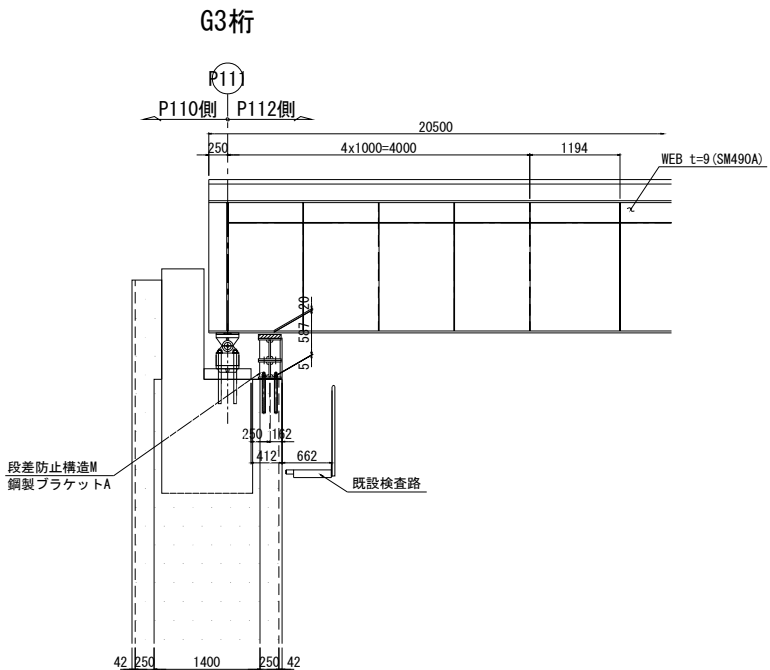
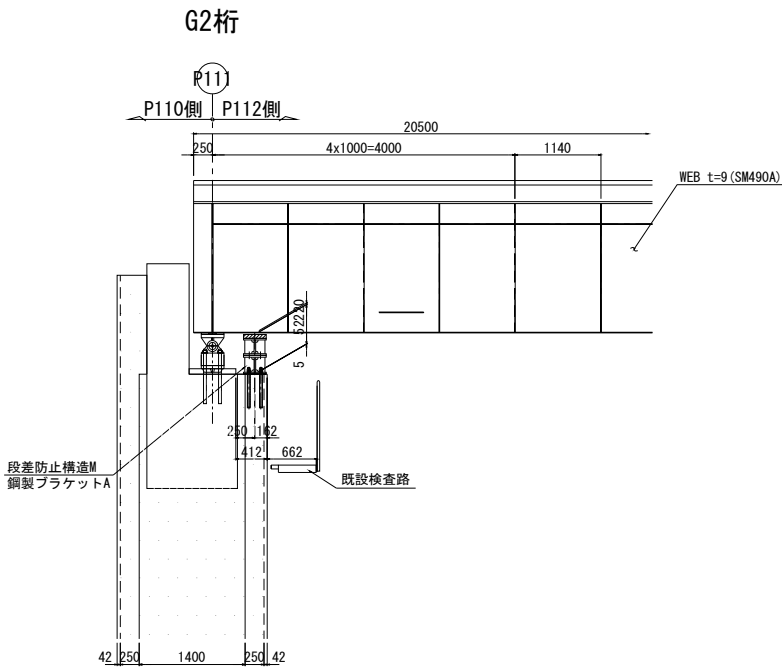


側面図



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 P111・P114 耐震補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

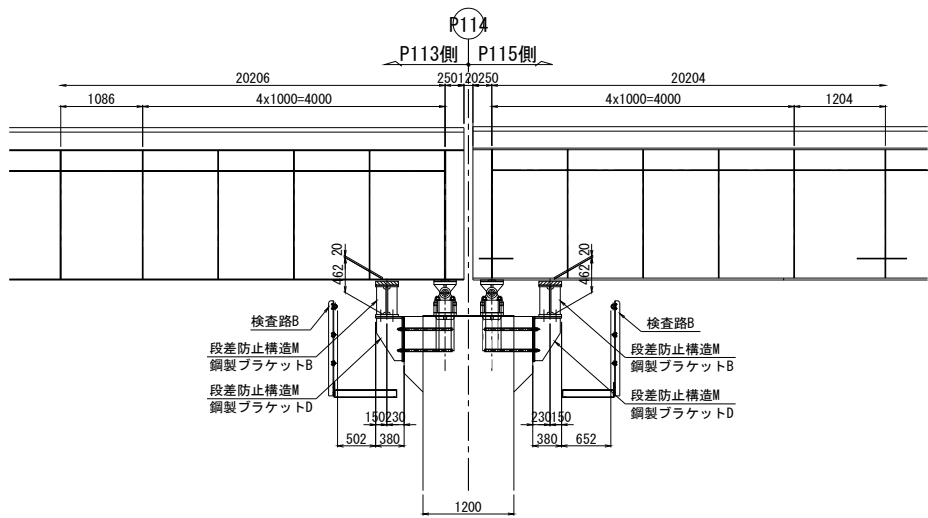
側面図



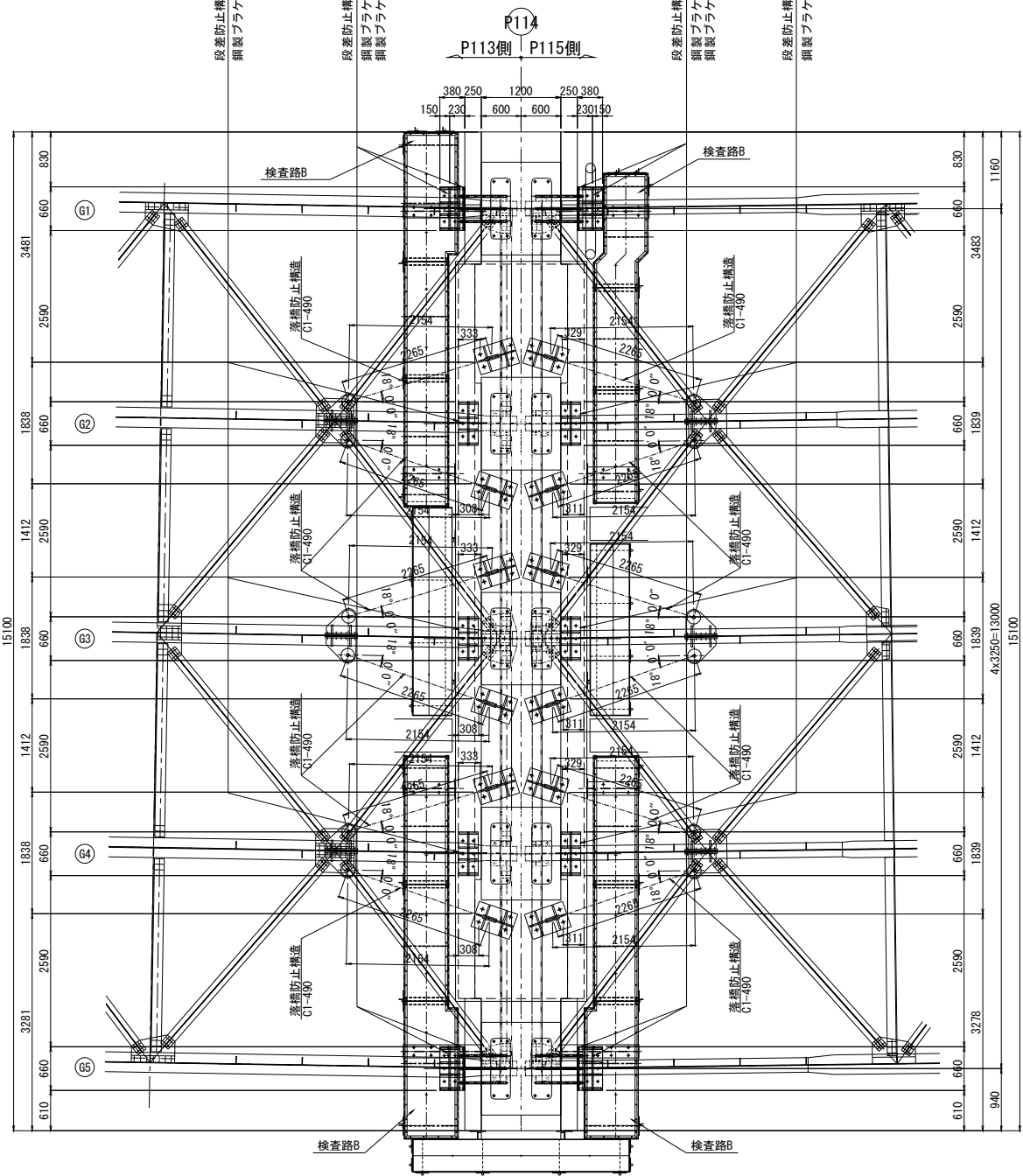
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P111橋脚段差防止システム配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

川崎高架橋(上り線) P114橋脚落橋防止システム配置図(その1) S=1:100

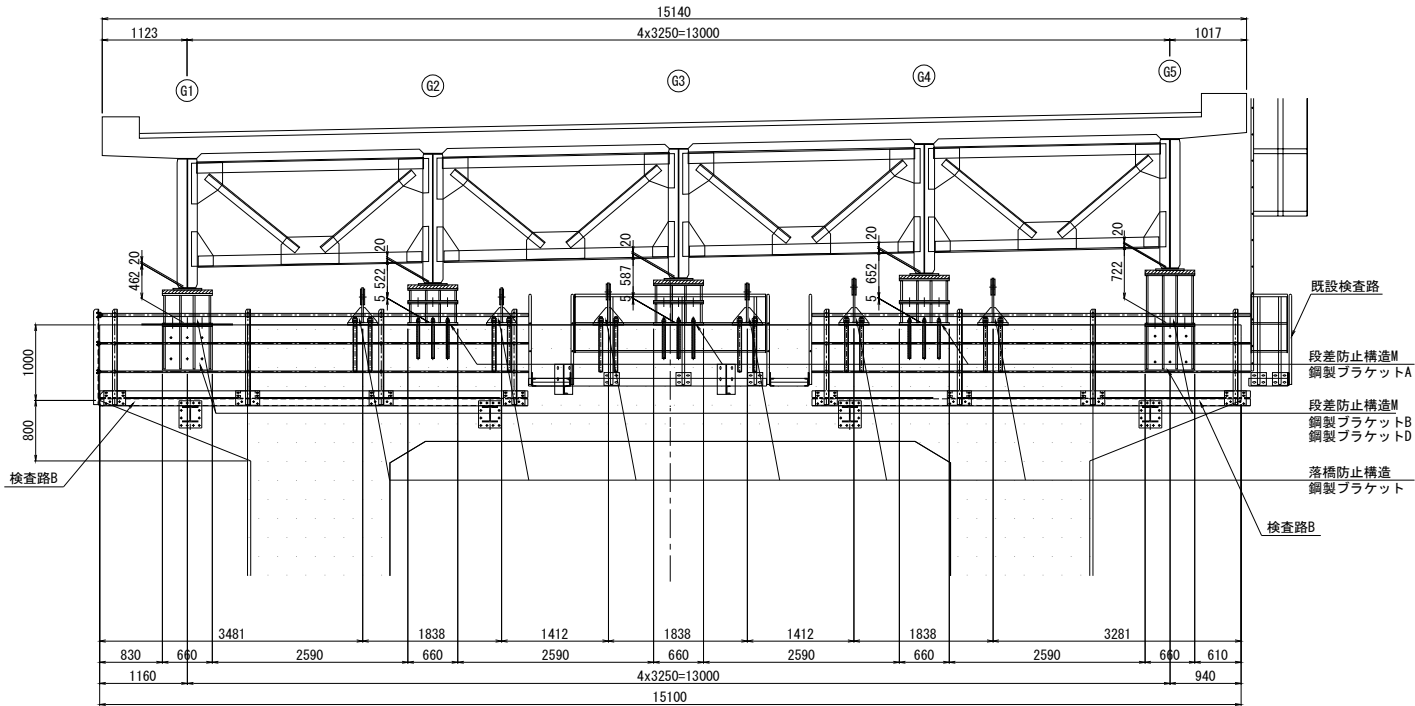
側面図
G1桁



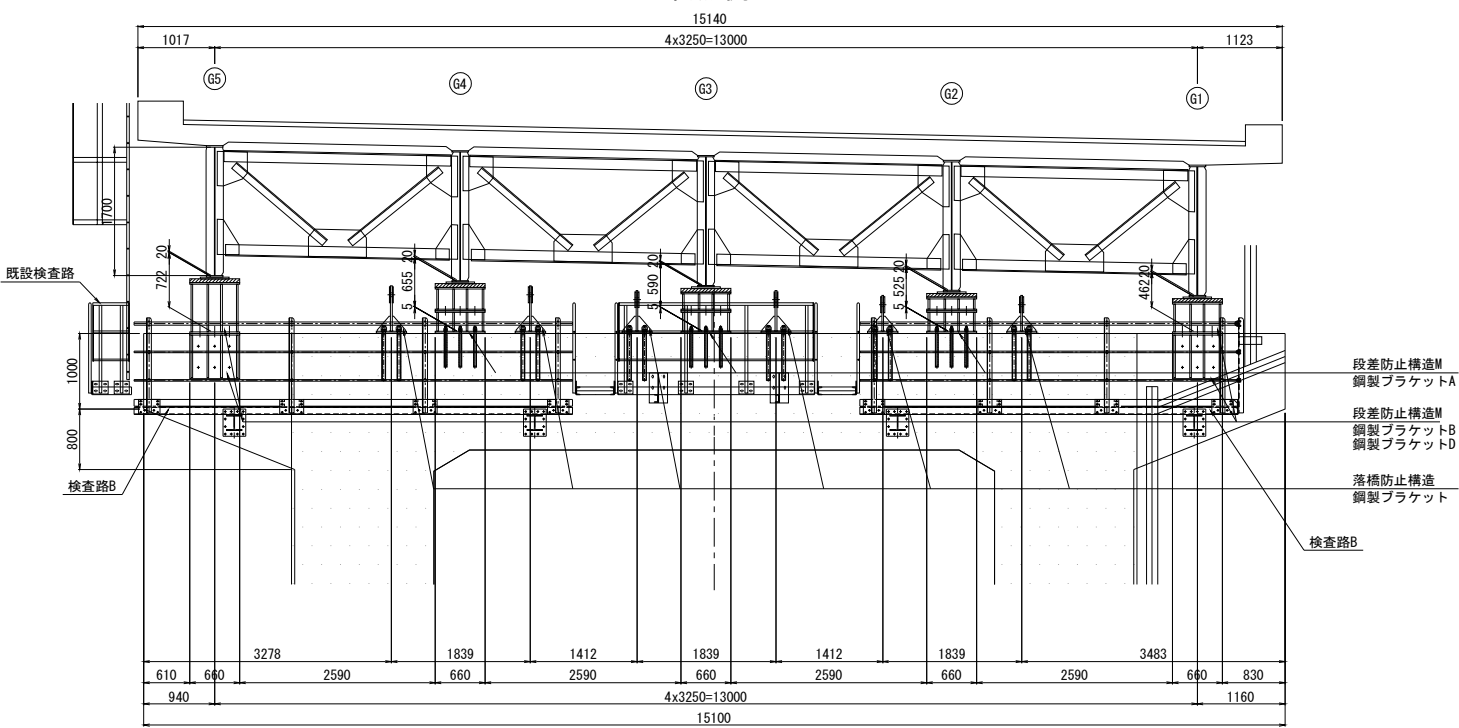
平面図



正面図
起点側

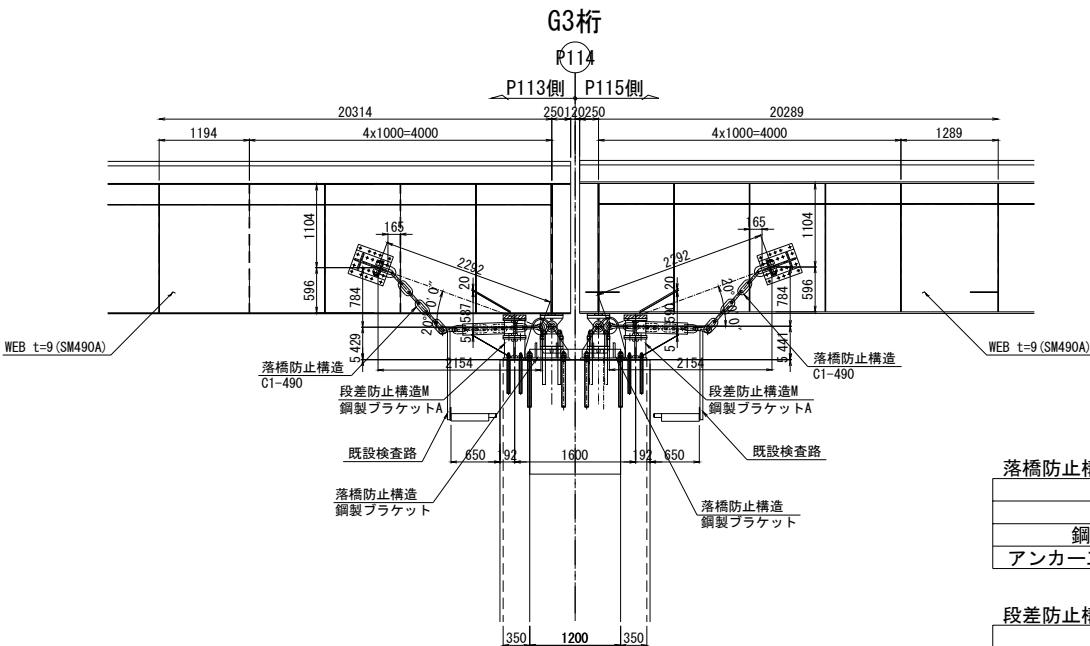
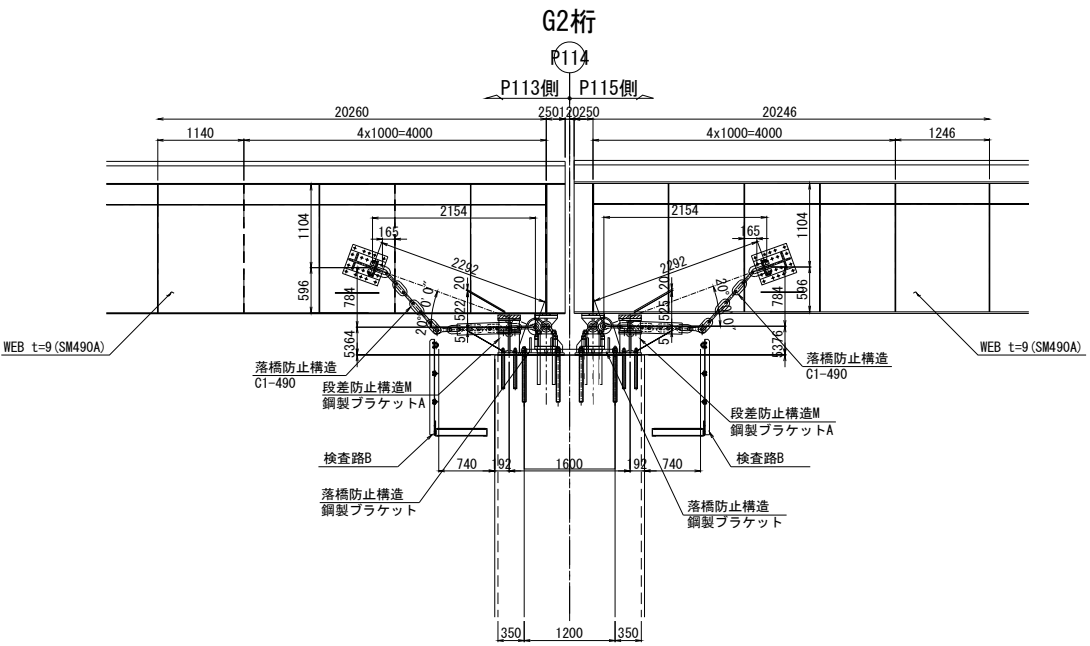


終点側



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類		川崎高架橋(上り線) P114橋脚落橋防止システム配置図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

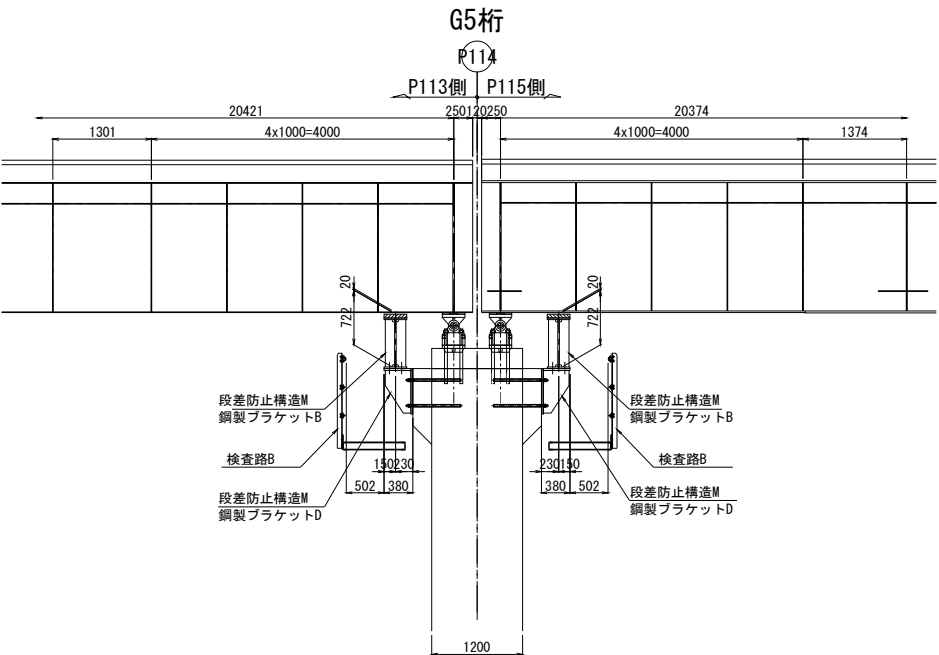
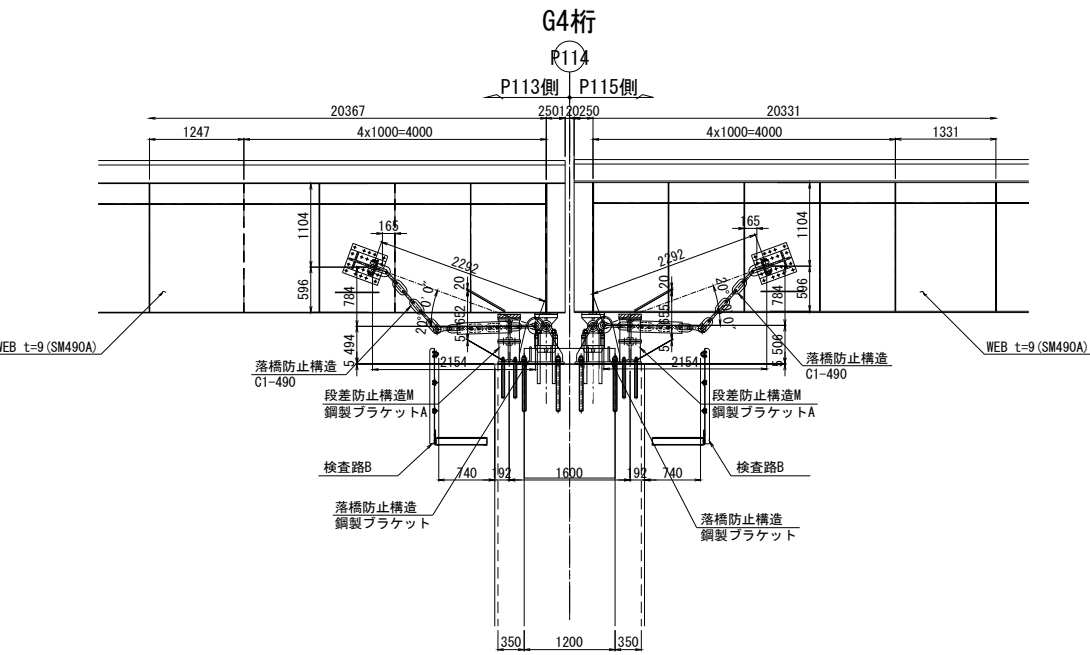
側面図



落橋防止構造 数量表 AP114			
項目	単位	数量	摘要
C1-490	本	12	
鋼製ブラケット	t	1.224	
アンカーエφ51・625(下方向)	本	48	

段差防止構造M 数量表 AP114			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットA	t	1.591	
鋼製ブラケットB	t	0.842	
鋼製ブラケットD	t	0.844	
アンカーエφ39・445(下方向)	本	36	
アンカーエφ35・635(水平方向)	本	24	

塗膜除去工 数量表 AP114			
項目	単位	数量	摘要
A	m2	3.6	

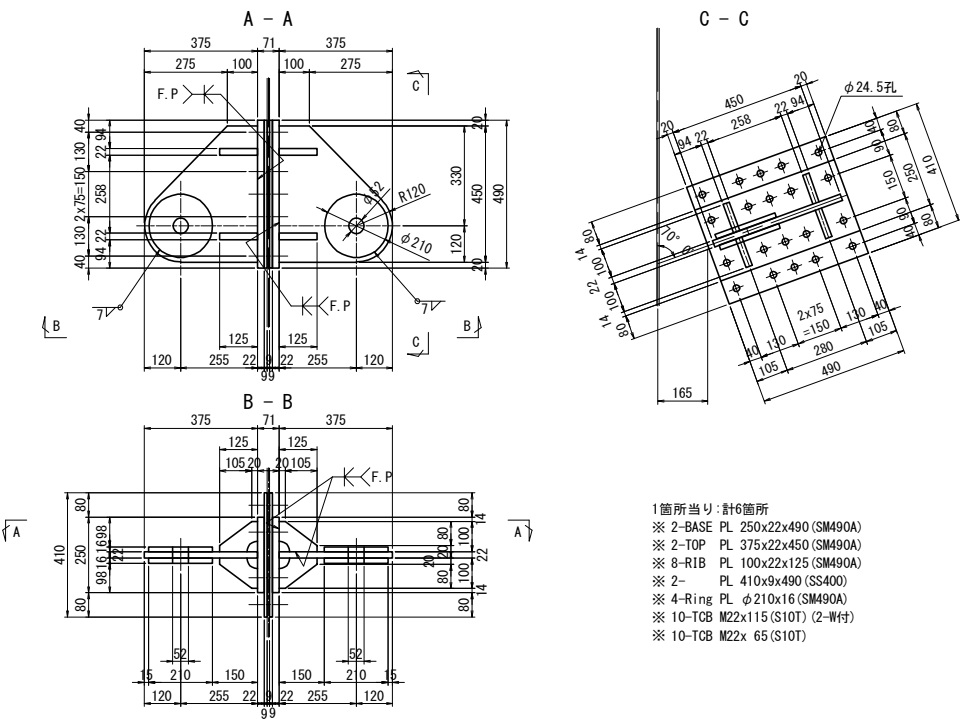


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) P114橋脚落橋防止システム配置図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

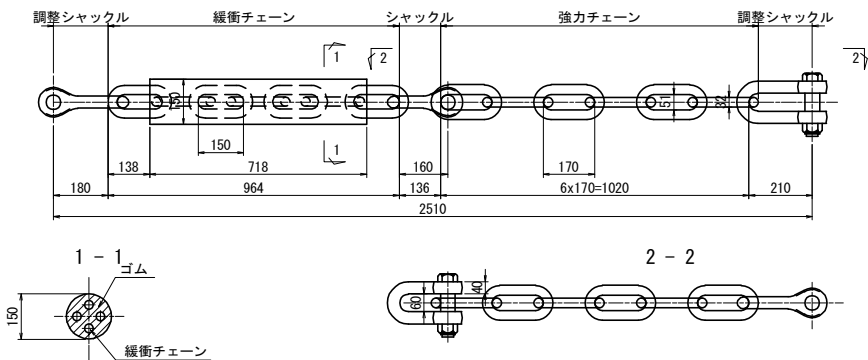
上部エブラケット詳細

(落橋防止構造 C1-490)

製作数：6基



チェーン(参考図)



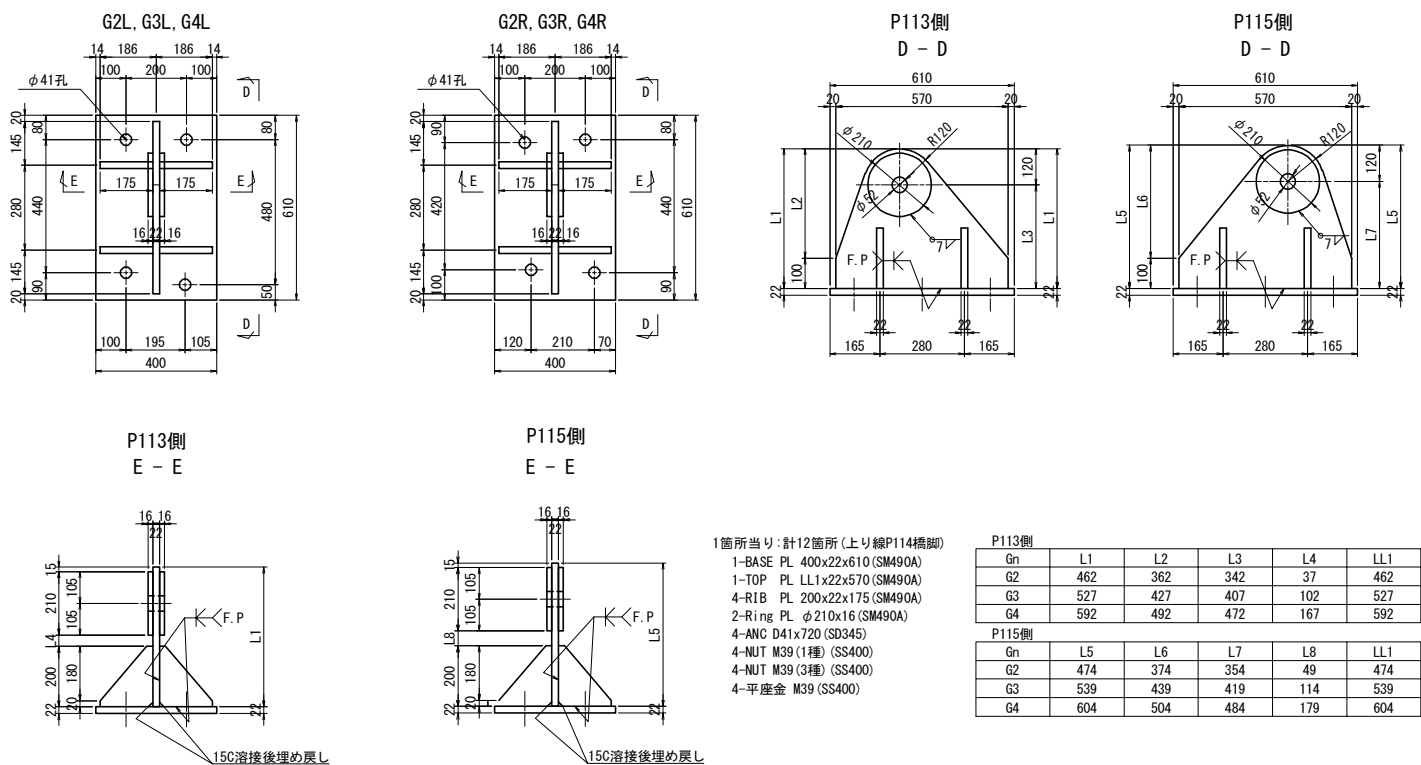
下部エブラケット詳細

(落橋防止構造 鋼製ブラケット)

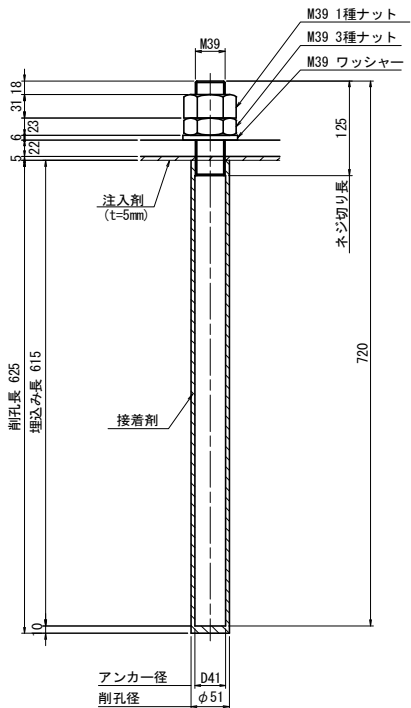
製作数：12基

平面図

上り線P114橋脚



落橋防止構造
アンカーエφ51・625(下方向) S=1:10



- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチップング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。

設計地震力	490kN
設計移動量	257mm
許容耐力	510kN

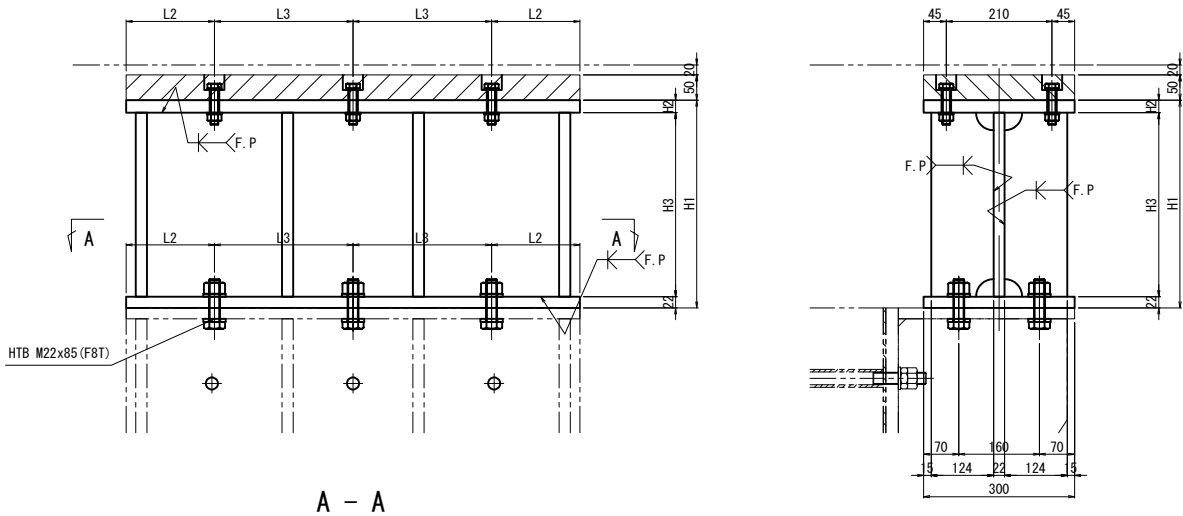
- 注記：
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

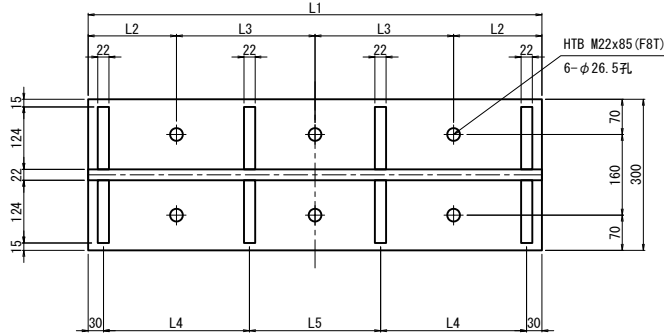
段差防止構造M 鋼製ブラケットB

(上り線) P111, P114橋脚

製作数：各2

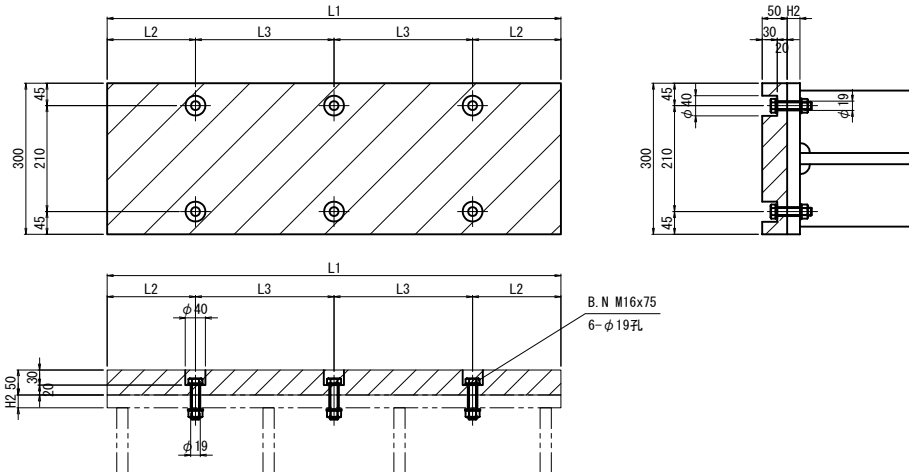


A - A



- 1箇所当り：
1-FLG PL 300xt1xL1
1-FLG PL 300x22xL1
1-WEB PL H3x22xL1
8-R1B PL H3x22x124
6-HTB M22x85 (F8T)
※ 1-緩衝材 300x50xL1 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
6-BN M16xh1 (SS400) (1-Uナット, 2-W付)

緩衝材詳細図



上り線		L1	L2	L3	L4	L5	H1	H2	H3	t1	h1
P111	G1	900	175	275	290	210	412	25	365	25	75
	G5	900	175	275	290	210	672	25	625	25	75
P114 (P113側)	G1	660	135	195	210	180	412	22	368	22	70
	G5	660	135	195	210	180	672	22	628	22	70
P114 (P115側)	G1	660	135	195	210	180	412	22	368	22	70
	G5	660	135	195	210	180	672	22	628	22	70

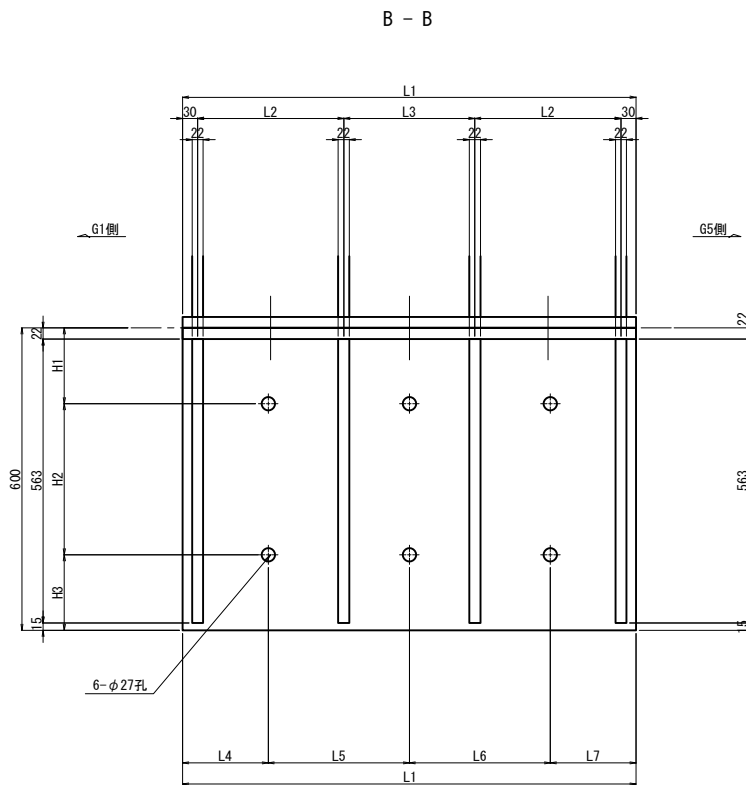
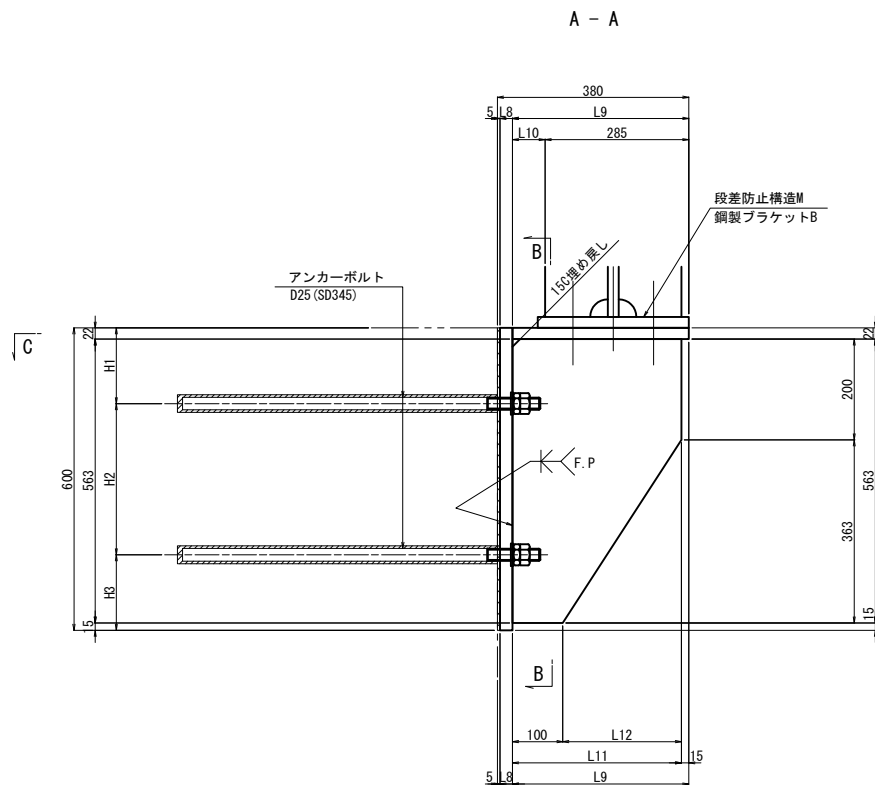
- 注記：
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、
実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

川崎高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その2) S=1:15

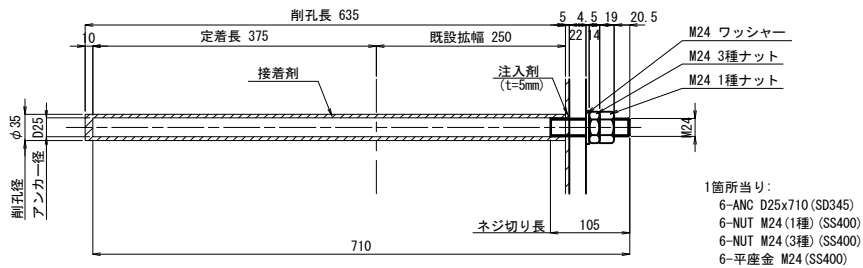
段差防止構造M 鋼製ブラケットD
上り線P111(P114)橋脚 製作数: 2(4)

ブラケット詳細



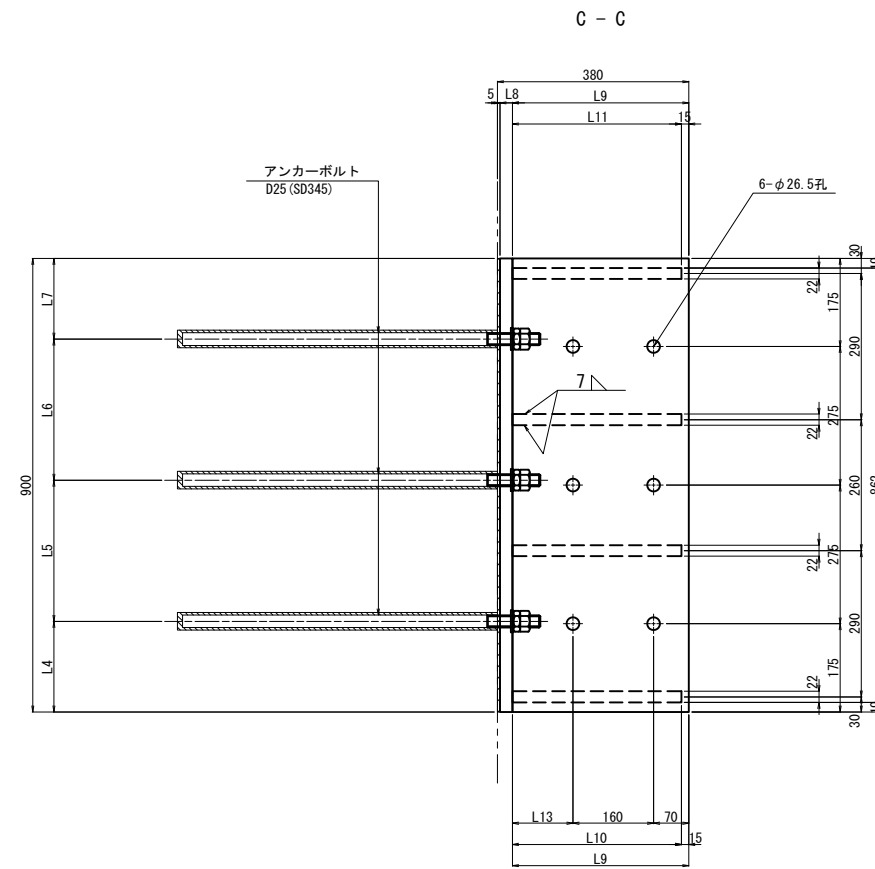
1箇所当り:
1-BASE PL 600x11xL1
1-FLG PL L9x22xL1
4-R1B PL L11x22x563

段差防止構造M
アンカーエφ35・635(水平方向) S=1:10



- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチップング処理とする。
- ・ブラケット外周にシーリングを行う。

1箇所当り:
6-ANC D25x710 (SD345)
6-NUT M24 (1種) (SS400)
6-NUT M24 (3種) (SS400)
6-平座金 M24 (SS400)



		L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11
		G1	900	290	260	175	275	175	25	350	65	335
P111	G5	900	290	260	195	255	275	175	25	350	65	335
P114 (P113側)	G1	660	210	180	145	185	195	135	22	353	68	338
	G5	660	210	180	135	195	215	115	22	353	68	338
P114 (P115側)	G1	660	210	180	145	185	195	135	22	353	68	338
	G5	660	210	180	135	195	215	115	22	353	68	338

		L12	L13	H1	H2	H3	t1
P111	G1	235	120	170	280	150	25
	G5	235	120	150	250	200	25
P114(P113側)	G1	238	123	170	280	150	22
	G5	238	123	150	340	110	22
P114(P115側)	G1	238	123	170	280	150	22
	G5	238	123	150	340	110	22

- 注記
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 4. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

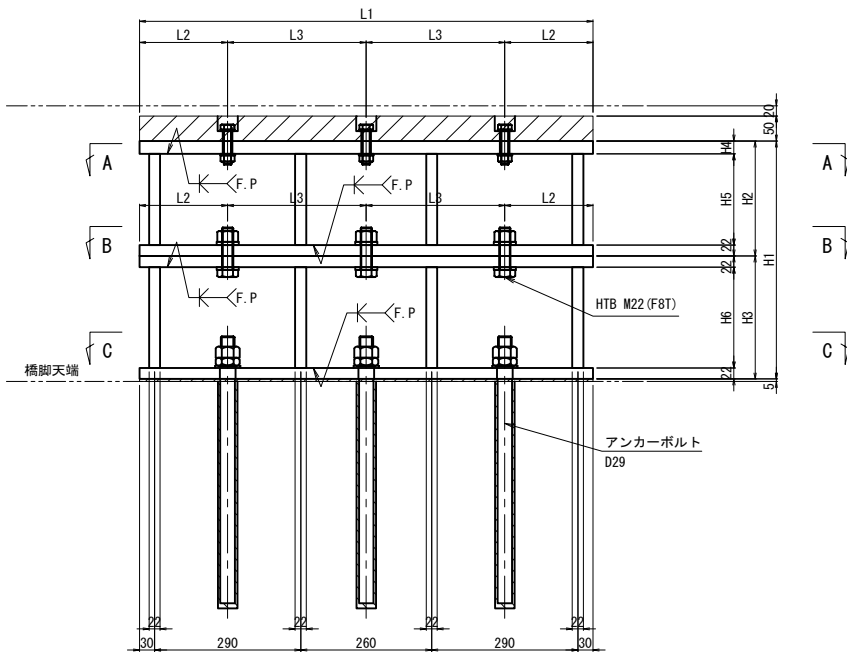
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

段差防止構造M 鋼製ブラケットA

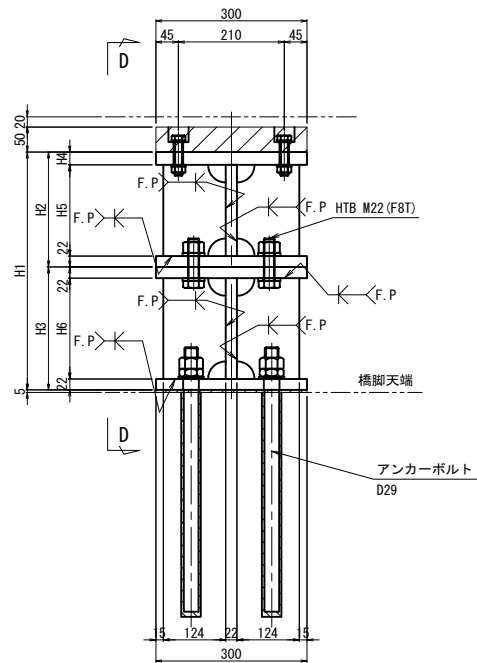
上り線P111(P114)橋脚 製作数: 3(6)

正面図

D - D

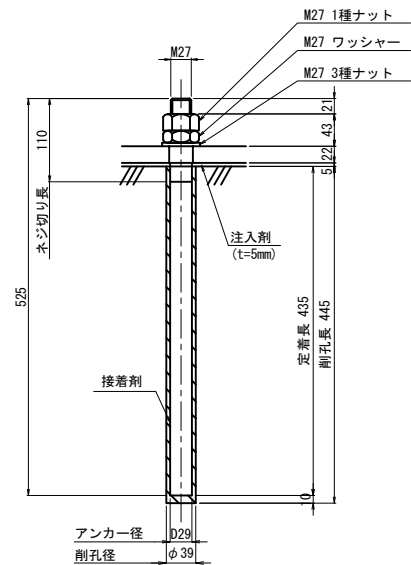


側面図



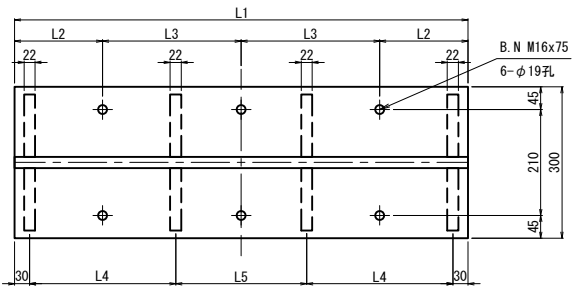
段差防止構造M

アンカーエφ39・445(下方向) S=1:10

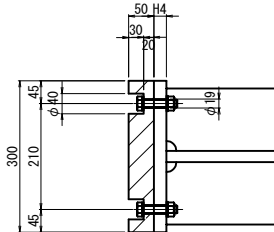
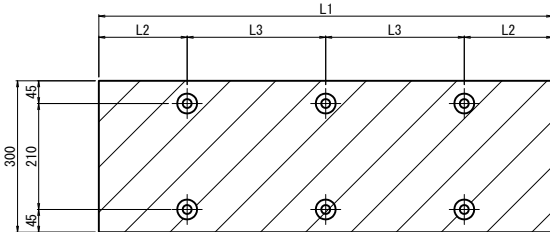


- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。

A - A



緩衝材詳細図

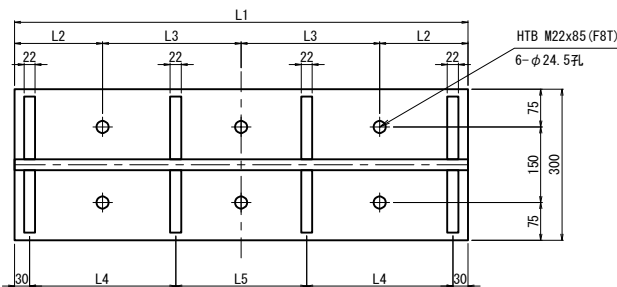


1箇所当り:

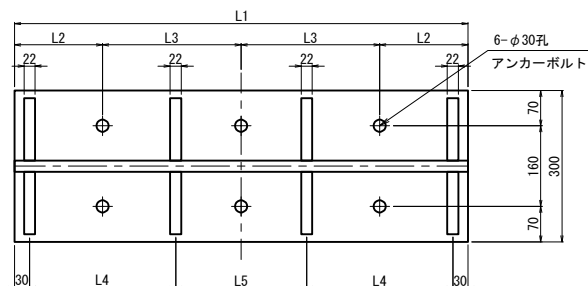
- 1-FLG PL 300x1xL1
- 1-FLG PL 300x22xL1
- 1-WEB PL H5x22xL1
- 8-RIB PL 124x22xH5
- 2-FLG PL 300x22xL1
- 1-WEB PL H6x22xL1
- 8-RIB PL 124x22xH6
- 6-HTB M22x85 (F8T)
- 6-ANC D29x525 (SD345)
- 6-NUT M27 (1種) (SS400)
- 6-NUT M27 (3種) (SS400)
- 6-平座金 M27 (SS400)

※ 1-緩衝材 300x50xL1 (クロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
6-BN M16x75 (SS400) (1-Uナット、2-W付)

B - B



C - C



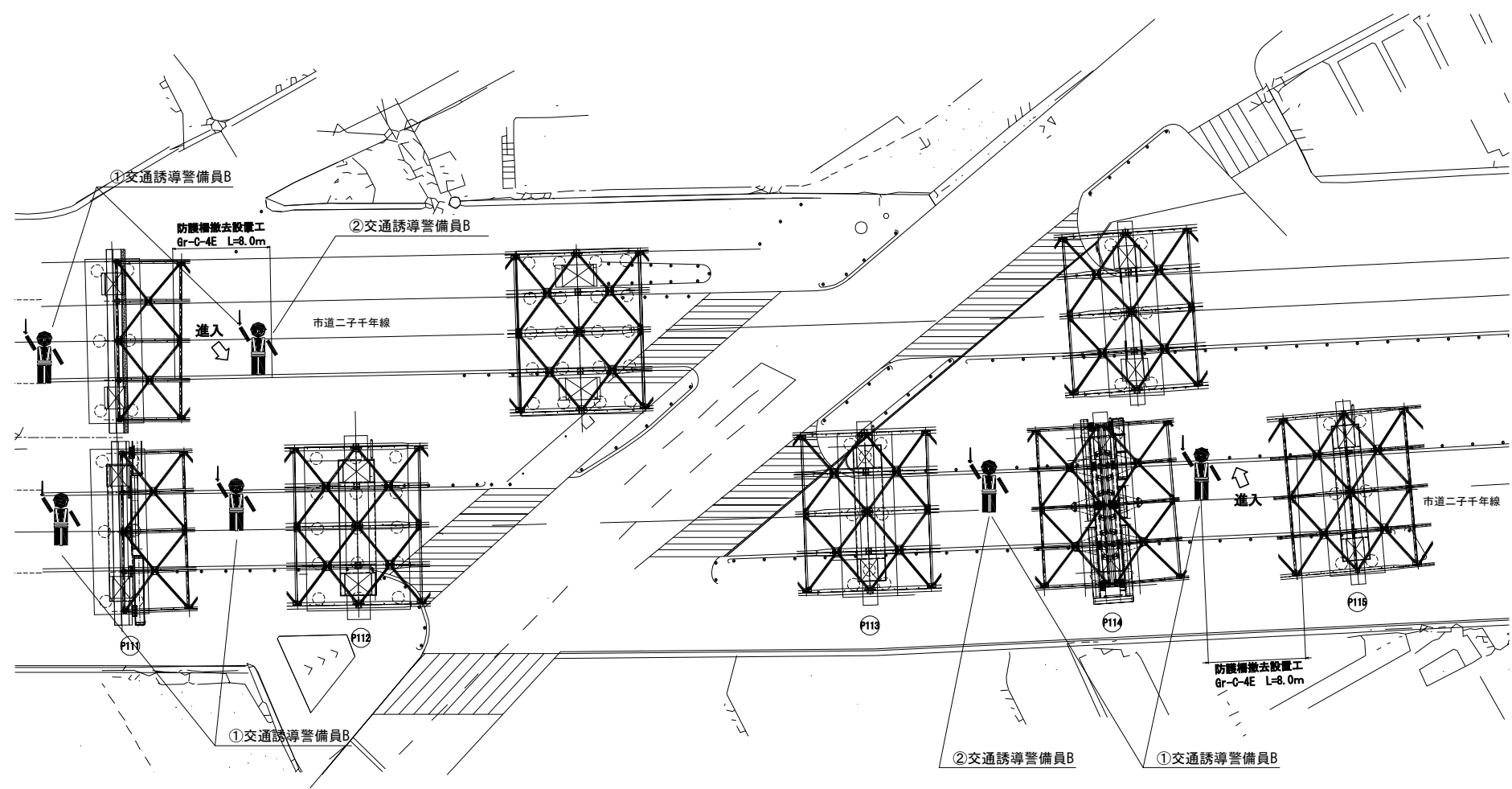
			L1	L2	L3	L4	L5	H1	H2	H3	H4	H5	H6	t1	h1
上り線	P111	G2	900	175	275	290	260	472	228	244	25	181	200	25	75
		G3	900	175	275	290	260	537	293	244	25	246	200	25	75
		G4	900	175	275	290	260	602	358	244	25	311	200	25	75
	P114 (P113側)	G2	660	135	195	210	180	472	178	294	22	134	250	22	70
		G3	660	135	195	210	180	537	243	294	22	199	250	22	70
		G4	660	135	195	210	180	602	308	294	22	264	250	22	70
	P114 (P115側)	G2	660	135	195	210	180	475	181	294	22	137	250	22	70
		G3	660	135	195	210	180	540	246	294	22	202	250	22	70
		G4	660	135	195	210	180	605	311	294	22	267	250	22	70

注記:

1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

平面図



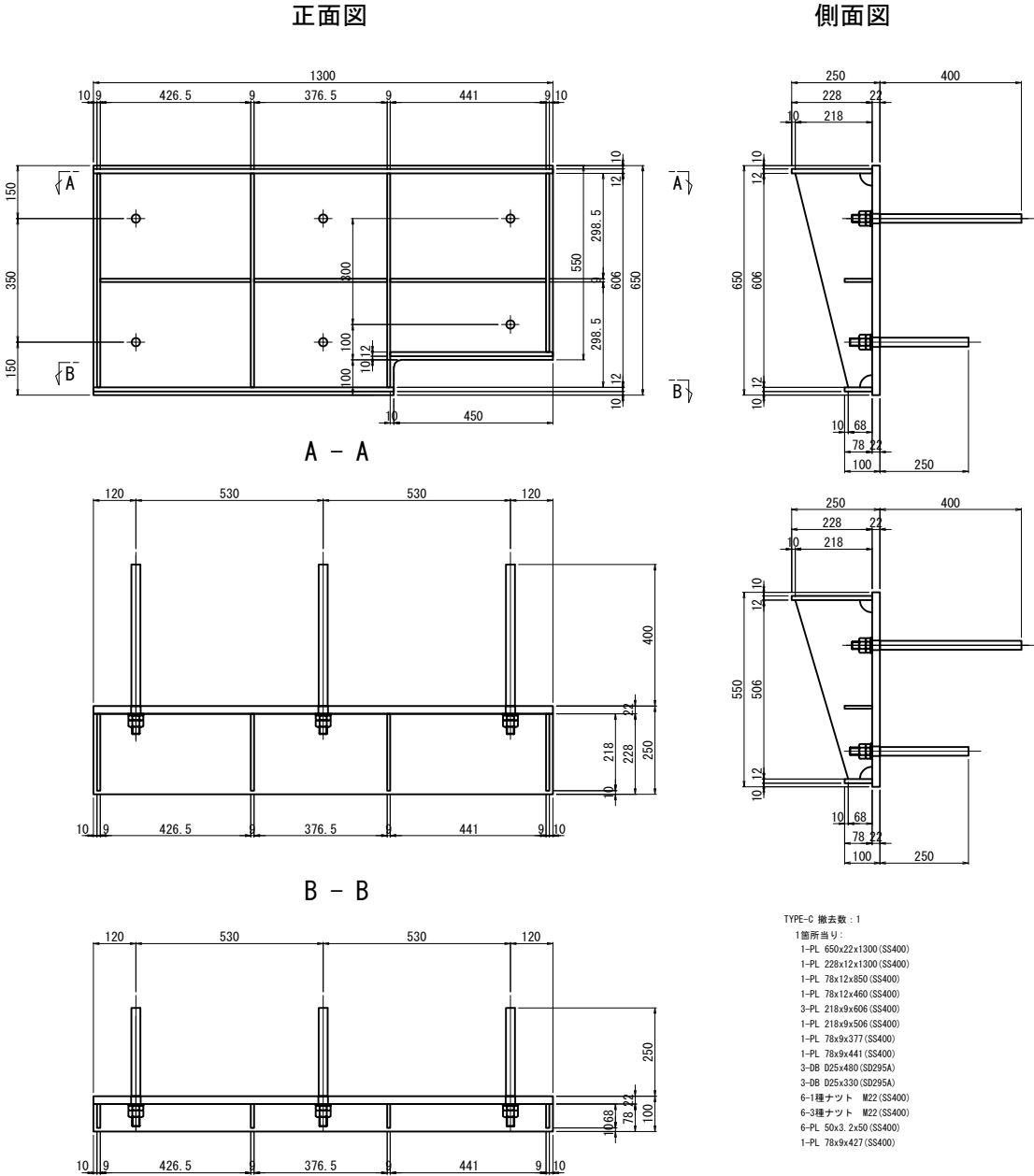
交通保安要員の配置				
配置場所		交通保安要員の種別	配置人数	交替要員
①	市道二子千年線 ・一般道規制足場施工時	規制箇所	交通誘導警備員B	2人
				1人
②	市道二子千年線 ・施工時	工事用車両出入口	交通誘導警備員B	1人
				-

防護柵撤去設置工		数量表
項 目		延長 (m)
P111	Gr-C-4E	8.0
P114	Gr-C-4E	8.0

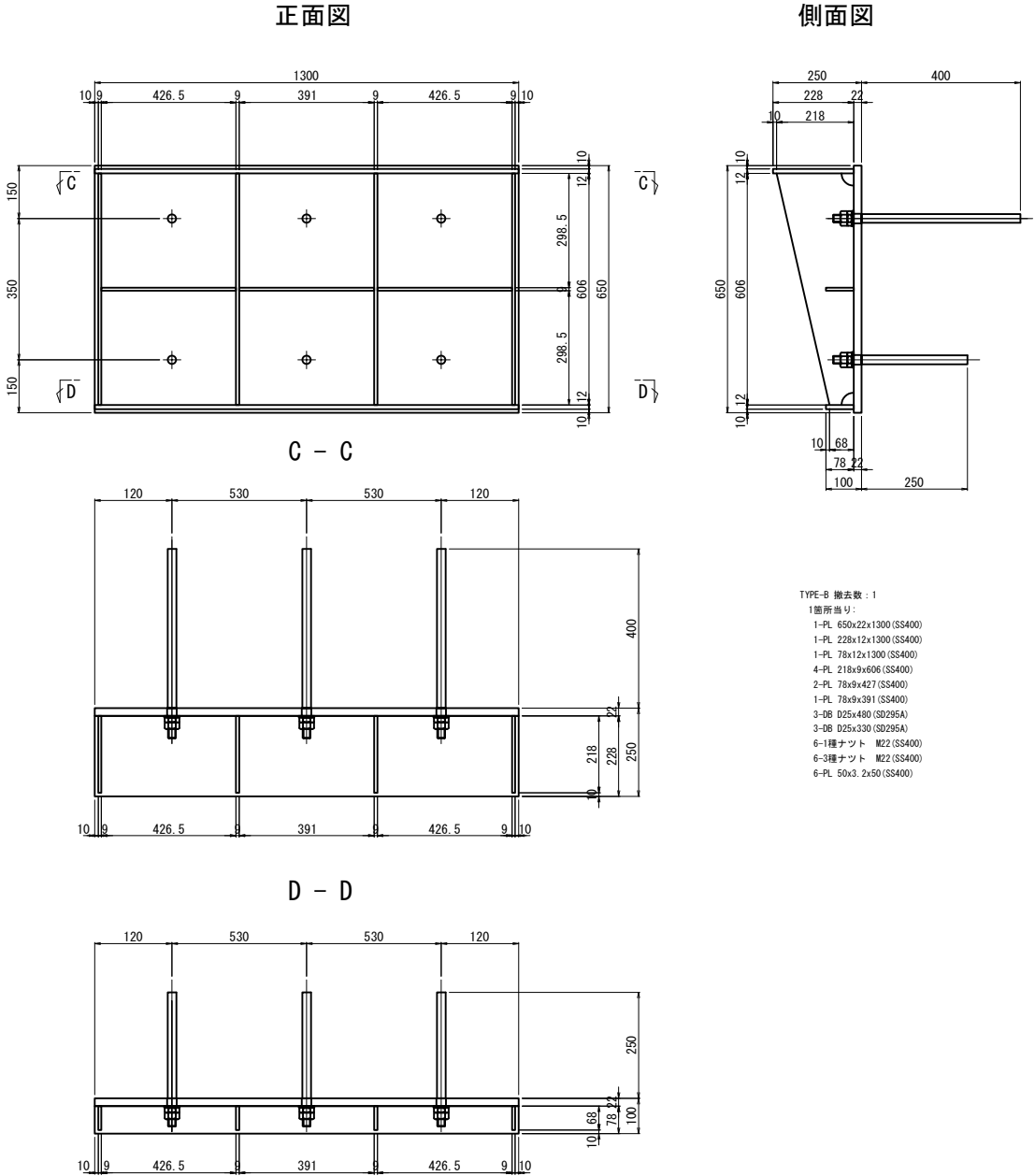
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 附帯工		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

撤去工 既設鋼部材B

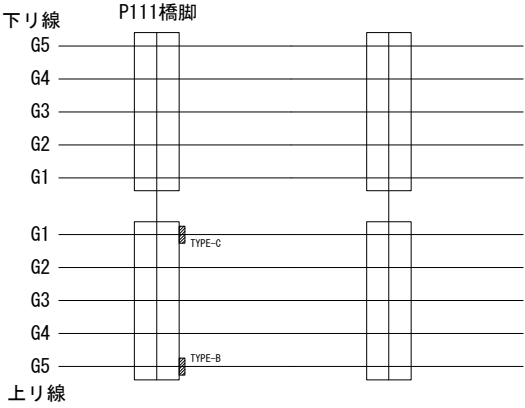
P111橋脚 TYPE-C



P111橋脚 TYPE-B



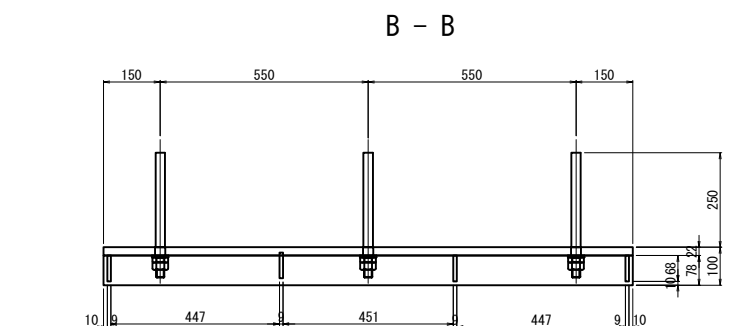
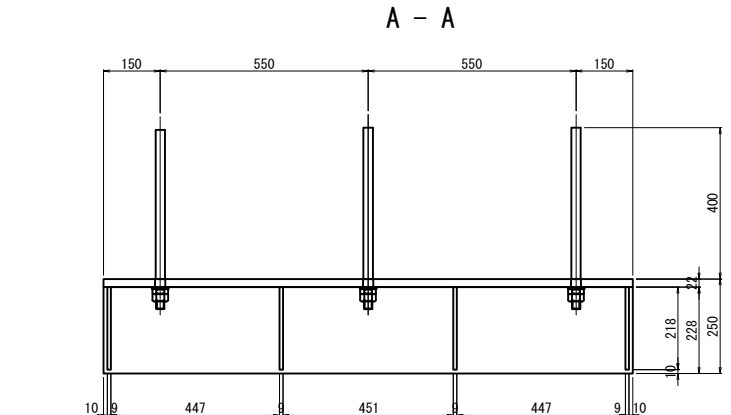
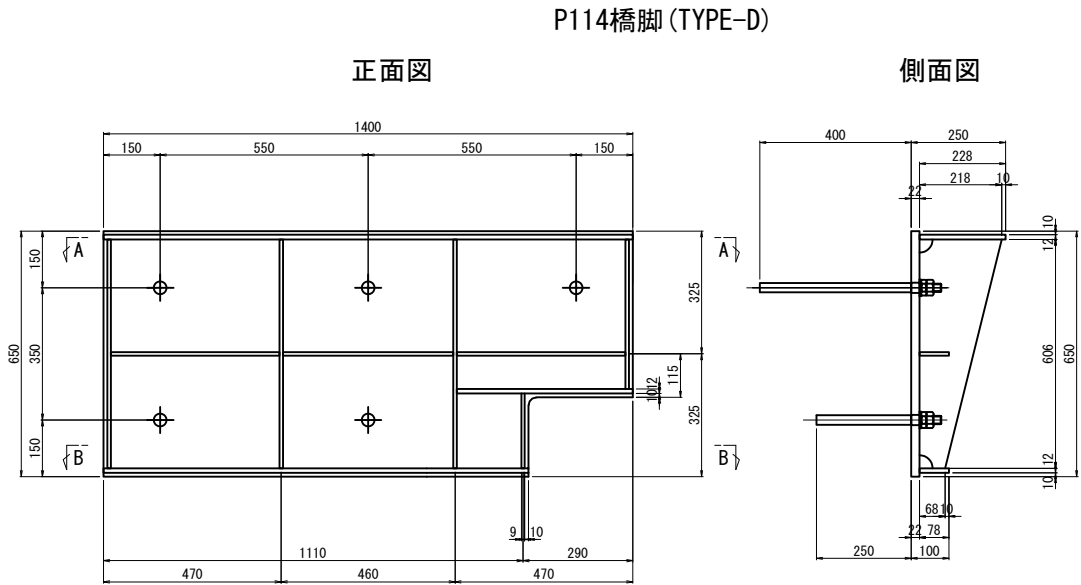
配置図



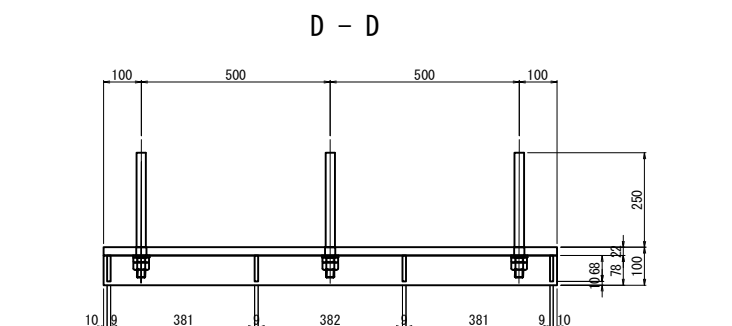
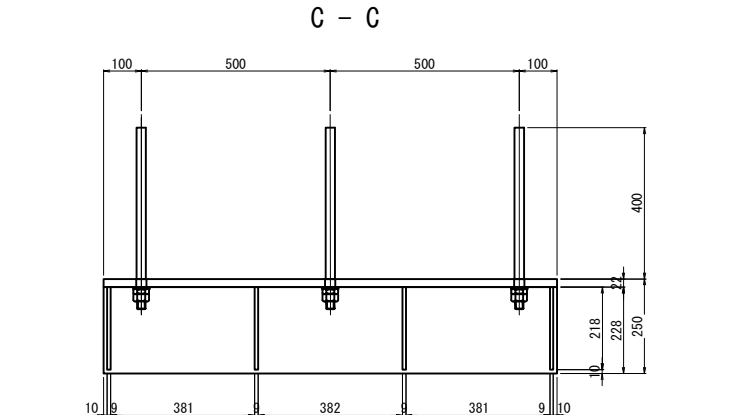
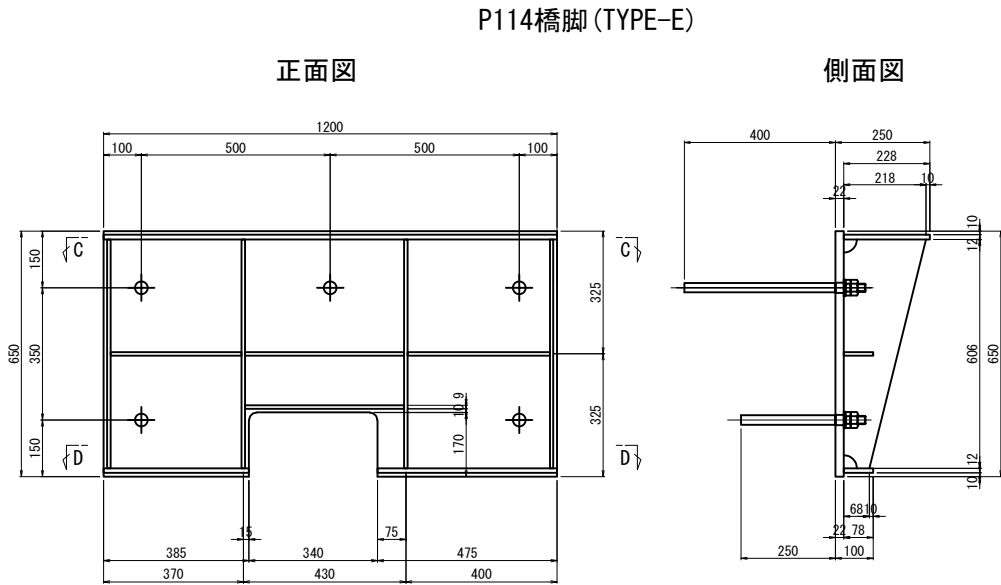
撤去工 数量表		AP111		
項目	単位	数量	摘要	
既設鋼部材B	t	0.430		

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 既設下部エブラケット撤去図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

川崎高架橋(上り線) 既設下部エブラケット撤去図(その2) S=1:20
撤去工 既設鋼部材B

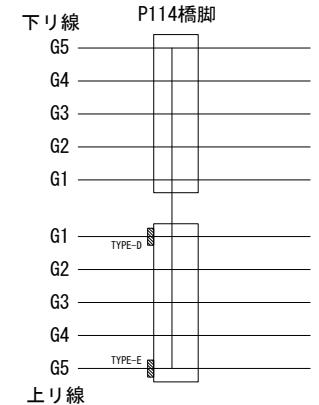


- TYPE-D 撤去数: 1
- 1箇所当り:
- 1-PL 650x22x1400 (SS400)
 - 1-PL 228x12x1400 (SS400)
 - 1-PL 78x12x1110 (SS400)
 - 1-PL 78x12x467 (SS400)
 - 3-PL 218x9x606 (SS400)
 - 1-PL 218x9x396 (SS400)
 - 2-PL 78x9x447 (SS400)
 - 1-PL 78x9x451 (SS400)
 - 1-PL 68x9x198 (SS400)
 - 3-DB 025x480 (SD295A)
 - 2-DB 025x330 (SD295A)
 - 5-1種ナット M22 (SS400)
 - 5-3種ナット M22 (SS400)
 - 5-PL 50x3. 2x50 (SS400)



- TYPE-E 撤去数: 1
- 1箇所当り:
- 1-PL 650x22x1200 (SS400)
 - 1-PL 228x12x1200 (SS400)
 - 1-PL 78x12x385 (SS400)
 - 1-PL 78x12x475 (SS400)
 - 4-PL 218x9x606 (SS400)
 - 1-PL 78x9x347 (SS400)
 - 2-PL 78x9x421 (SS400)
 - 1-PL 78x9x377 (SS400)
 - 3-DB 025x480 (SD295A)
 - 2-DB 025x330 (SD295A)
 - 5-1種ナット M22 (SS400)
 - 5-3種ナット M22 (SS400)
 - 5-PL 50x3. 2x50 (SS400)

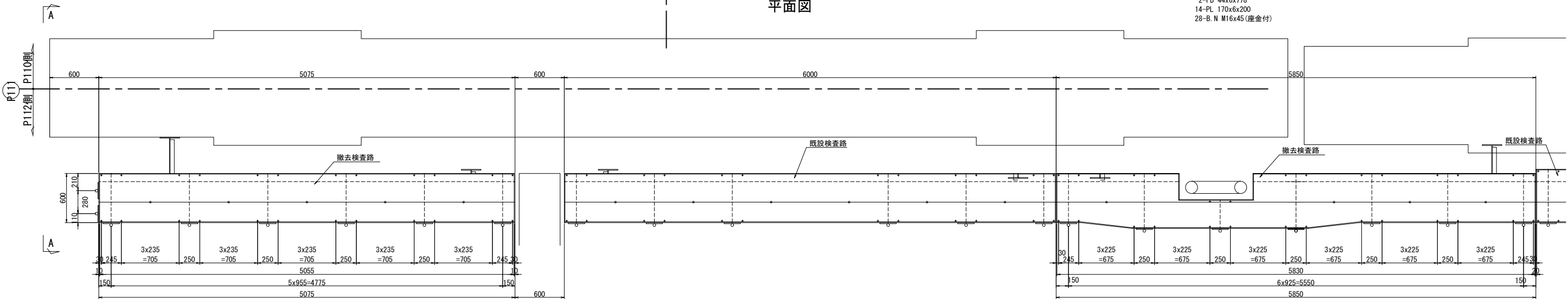
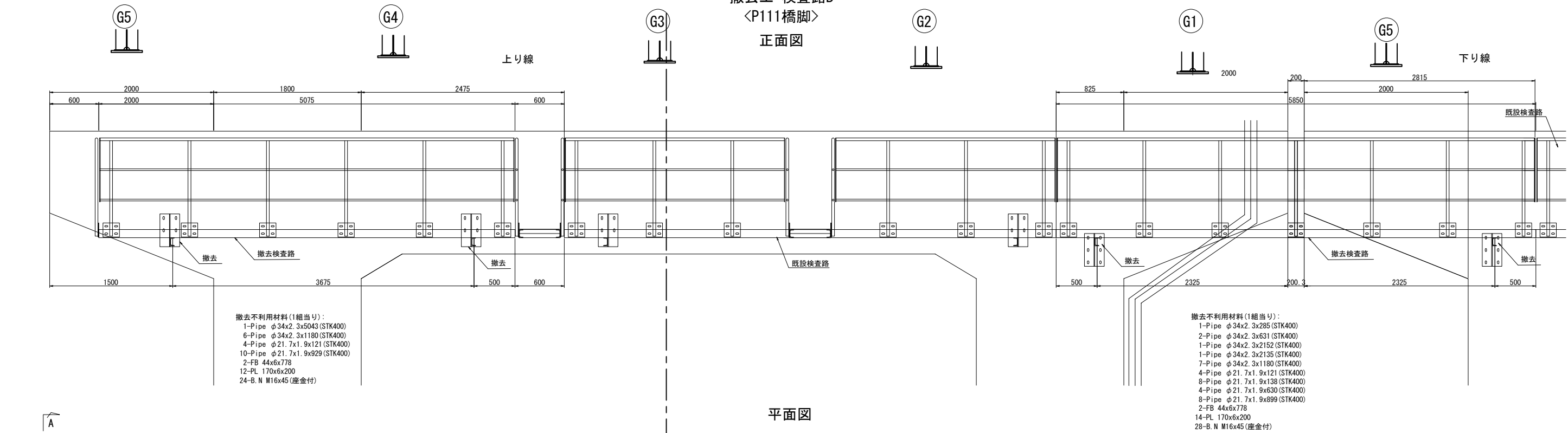
配置図



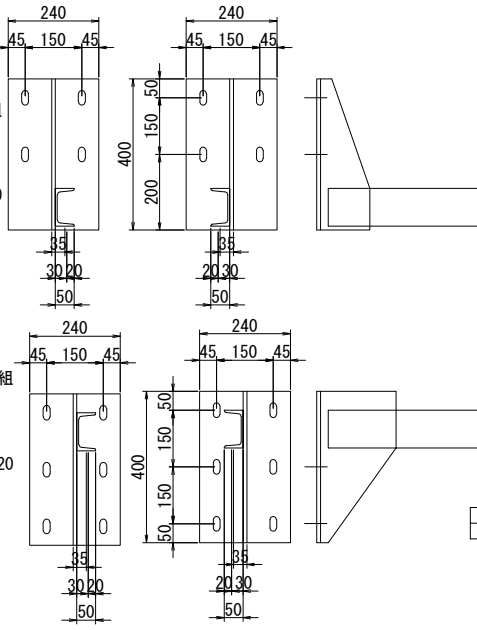
撤去工 数量表		AP114		
項目	単位	数量	摘要	
既設鋼部材B	t	0.428		

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 既設下部エブラケット撤去図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

撤去工 検査路B
＜P111橋脚＞
正面図



ブラケット詳細 S=1:25



- 撤去不利用材料(1組当り):
- 1-Ch PL 660x3. 2x5830
 - 1-FB 50x6x900
 - 2-FB 50x6x3440
 - 54-B. N M10x30 (テーバー座金付)
 - 1-PL 100x8x480
 - 1-PL 100x8x508

- 撤去不利用材料(1組当り):
- 1-Ch PL 590x3. 2x5055
 - 2-[100x50x5x7. 5x5075
 - 2-[100x50x5x7. 5x490
 - 6-FB 50x6x490
 - 44-B. N M10x30 (テーバー座金付)
 - 2-FB 50x6x5055
 - 6-FB 50x6x94
 - 2-PL 100x8x480

- 撤去不利用材料(1組当り):
- 1-Pipe φ34x2. 3x578 (STK400)
 - 2-Pipe φ34x2. 3x1180 (STK400)
 - 2-Pipe φ21. 7x1. 9x191 (STK400)
 - 2-Pipe φ21. 7x1. 9x254 (STK400)
 - 2-Pipe φ21. 7x1. 9x81 (STK400)
 - 2-FB 44x6x778 (STK400)
 - 4-PL 170x6x200
 - 8-B. N M16x45 (座金付)

- 撤去不利用材料(1組当り): 計2組
- 1-PL 240x10x400
 - 1-PL 130x10x400
 - 1-[100x50x5x7. 5x1012
 - 4-コンクリートアンカー M16x120
 - 2-BN M16x40 (座金付)

- 撤去不利用材料(1組当り): 計2組
- 1-PL 240x10x400
 - 1-PL 200x10x400
 - 1-[100x50x5x7. 5x920
 - 6-コンクリートアンカー M16x120
 - 2-BN M16x40 (座金付)

注記)

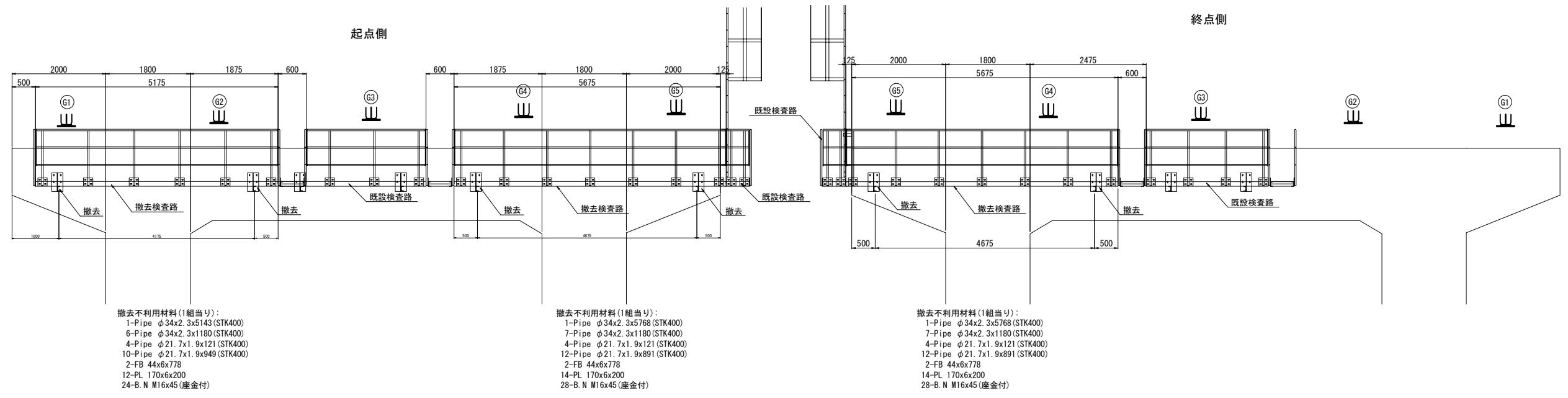
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 表面処理は溶融亜鉛メッキとし、付着量はJIS HB641 HD255とする。
- 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

撤去工 数量表				AP111
項目	単位	数量	摘要	
検査路B	kg	710.0		

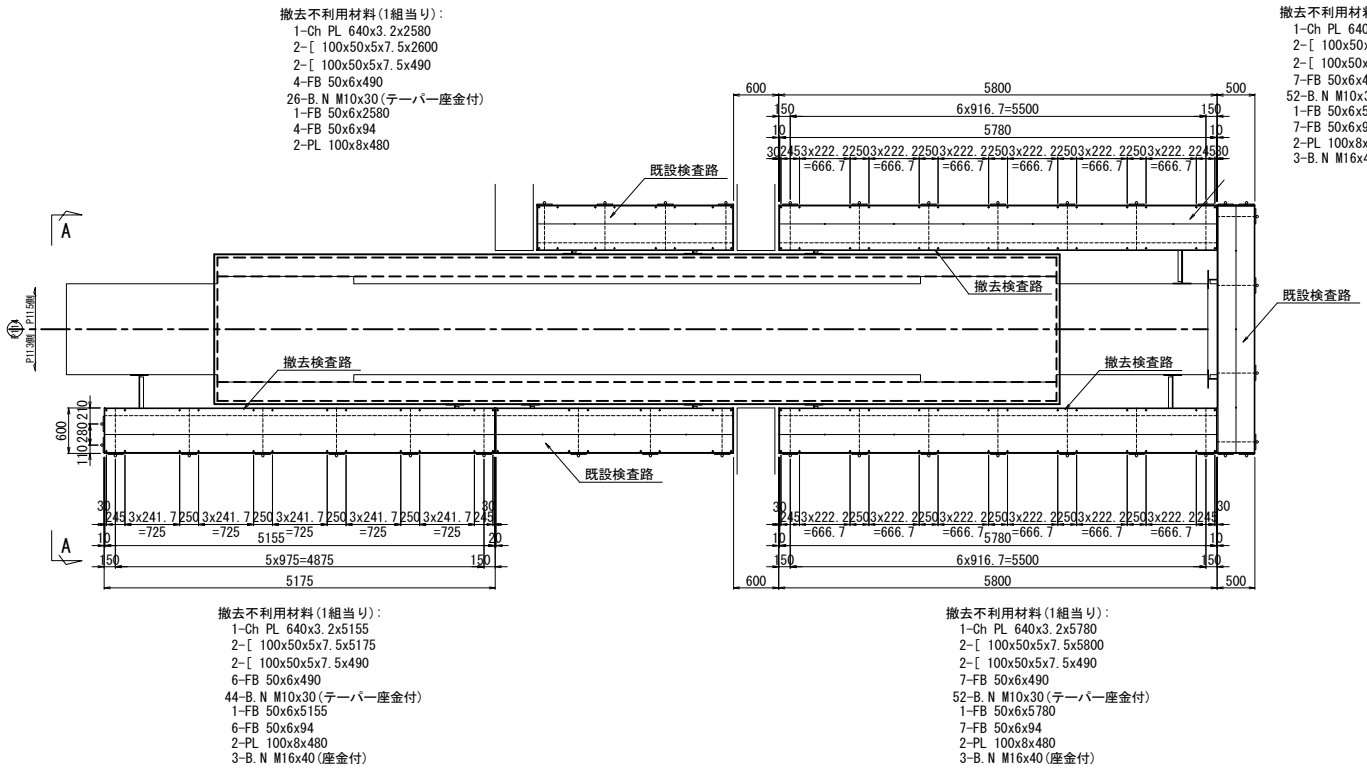
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その1)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

撤去工 検査路B
〈P114橋脚〉

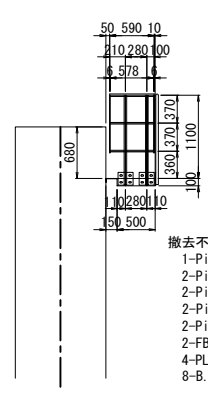
正面図



平面図

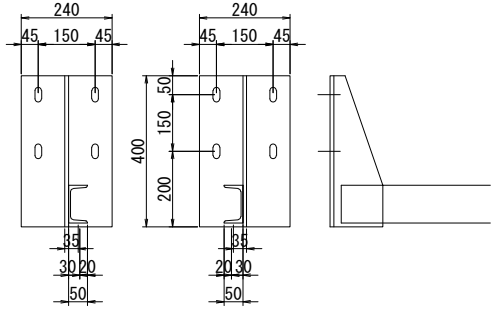


A - A



- 撤去不利用材料(1組当り):
- 1-Pipe φ34x2. 3x5780 (STK400)
 - 2-Pipe φ34x2. 3x1180 (STK400)
 - 2-Pipe φ21. 7x1. 9x191 (STK400)
 - 2-Pipe φ21. 7x1. 9x254 (STK400)
 - 2-Pipe φ21. 7x1. 9x81 (STK400)
 - 2-FB 44x6x778 (STK400)
 - 4-PL 170x6x200
 - 8-B. N M16x45 (座金付)

ブラケット詳細 S=1:25



- 撤去不利用材料(1組当り): 計6組
- 1-PL 240x10x400
 - 1-PL 130x10x400
 - 1-[100x50x5x7. 5x1012
 - 4-コンクリートアンカー M16x120
 - 2-BN M16x40 (座金付)

撤去工 数量表

項目	単位	数量	摘要
検査路B	kg	1,153.0	

AP114

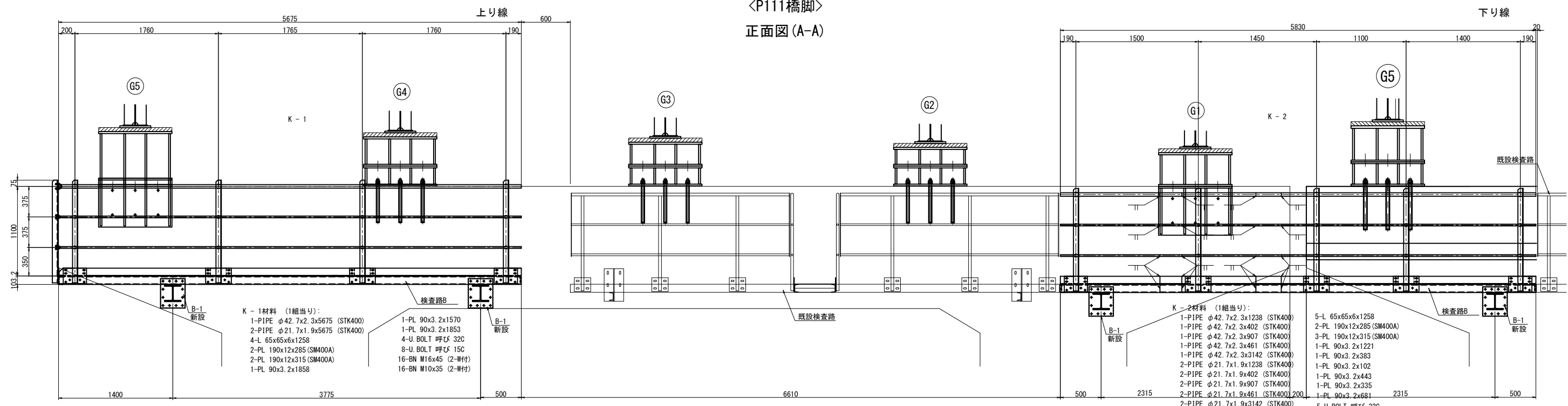
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 表面処理は溶融亜鉛メッキとし、付着量はJIS HB641 HD255とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

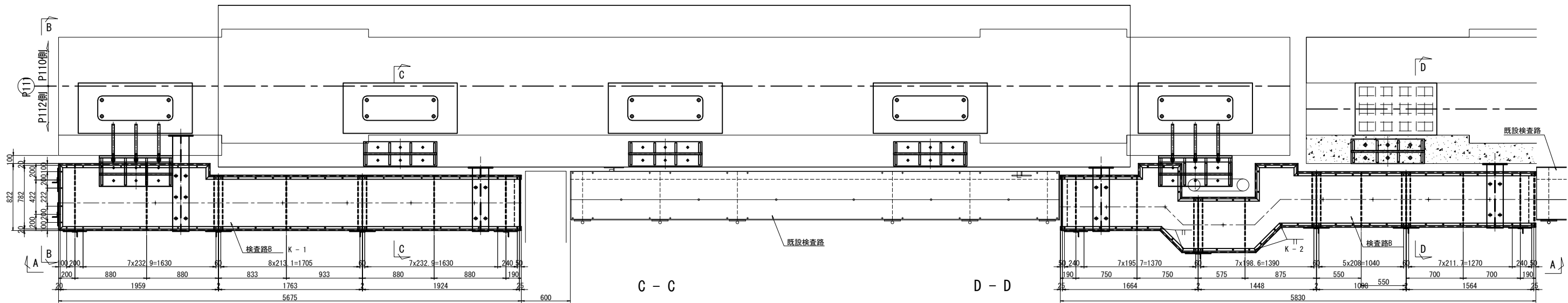
検査路B

<P111橋脚>

正面図(A-A)



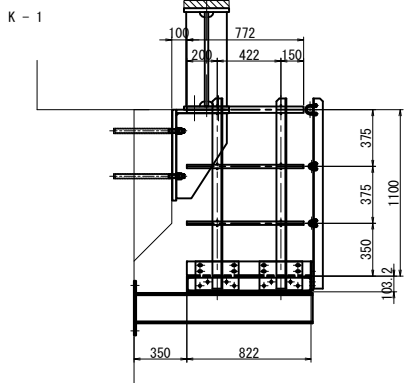
平面図



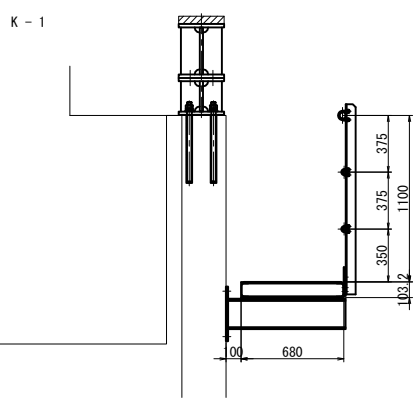
K - 1材料 (1組当り):
1-Ch PL 782x3. 2x1959
1-Ch PL 640x3. 2x1763
1-Ch PL 640x3. 2x1924
1-CH 100x50x5x7. 5x5675
1-CH 100x50x5x7. 5x822
1-CH 100x50x5x7. 5x1858
1-CH 100x50x5x7. 5x192
1-CH 100x50x5x7. 5x3867
4-L 50x50x6x70
1-L 75x75x6x70
2-FB 90x9x812
3-FB 90x9x670
60-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 200x9x660 (SM400A)
1-PL 200x9x660 (SM400A)

K - 1材料 (1組当り):
1-PIPE φ42. 7x2. 3x772 (STK400)
2-PIPE φ21. 7x1. 9x772 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3. 2x819
2-U. BOLT 呼び 32C
4-U. BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

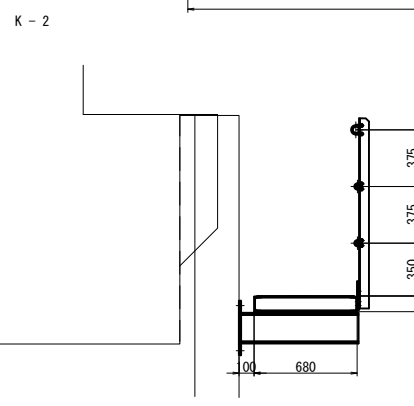
B - B



C - C



D - D



K - 2材料 (1組当り):
1-Ch PL 1052x3. 2x1664
1-Ch PL 1052x3. 2x1448
1-Ch PL 640x3. 2x1098
1-Ch PL 640x3. 2x1564
1-CH 100x50x5x7. 5x1241
1-CH 100x50x5x7. 5x406
1-CH 100x50x5x7. 5x907
1-CH 100x50x5x7. 5x462
1-CH 100x50x5x7. 5x3142
1-CH 100x50x5x7. 5x1007
1-CH 100x50x5x7. 5x192
1-CH 100x50x5x7. 5x533
2-CH 100x50x5x7. 5x462
1-CH 100x50x5x7. 5x1000
1-CH 100x50x5x7. 5x525
1-CH 100x50x5x7. 5x1950
1-CH 100x50x5x7. 5x2965
6-L 50x50x6x70
2-L 75x75x6x70
6-FB 90x9x670
65-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 200x9x660 (SM400A)

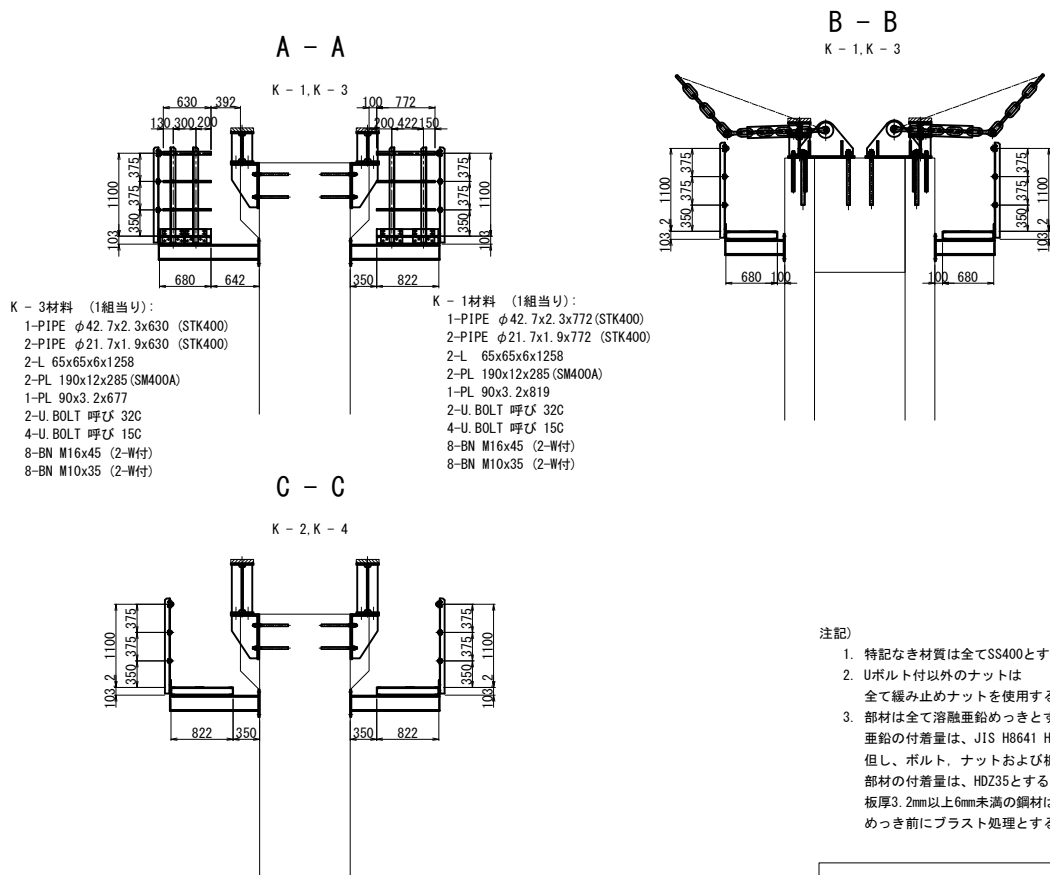
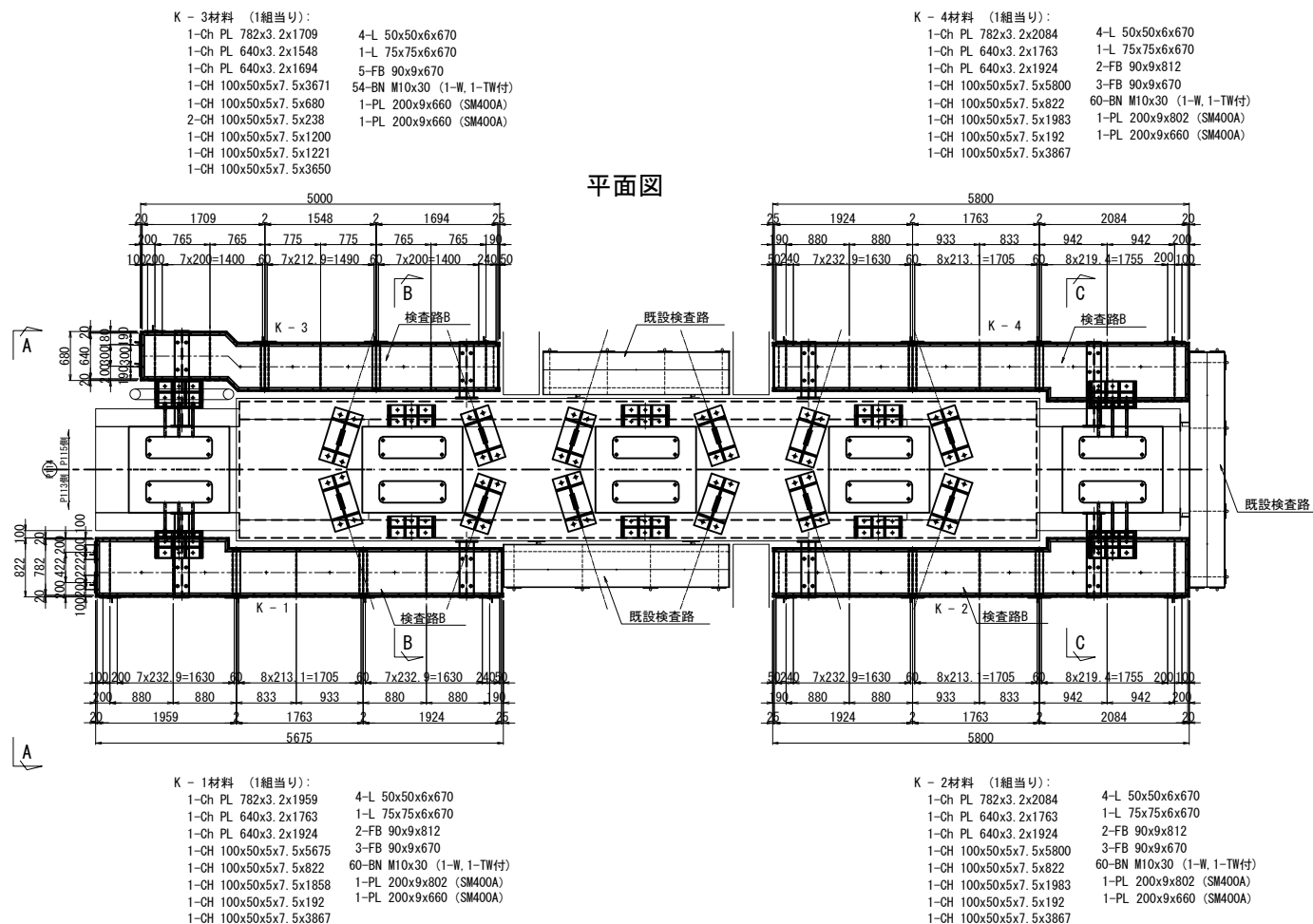
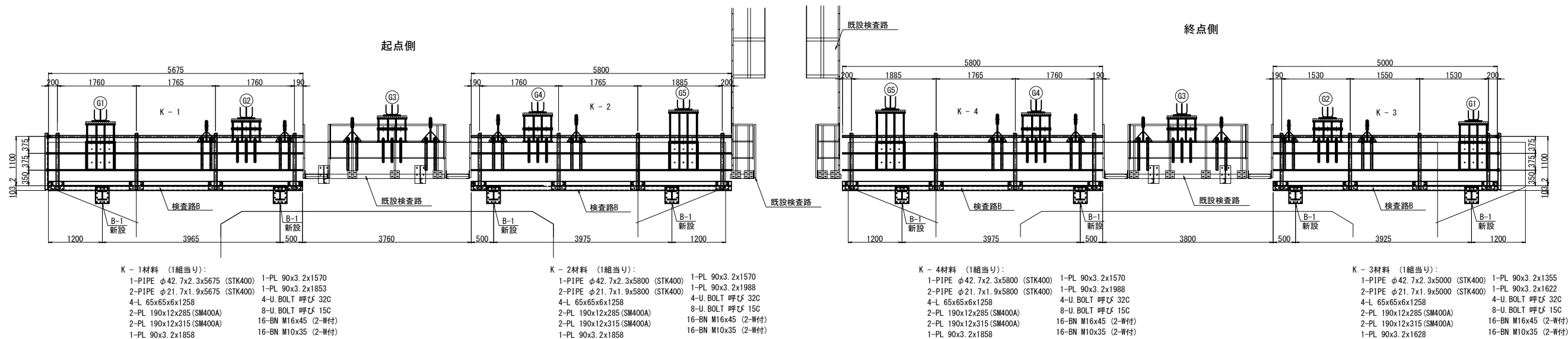
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

検査路 数量表			
項目	単位	数量	摘要
B	kg	1,041.0	AP111

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

検査路B
〈P114橋脚〉

正面図



注記)

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

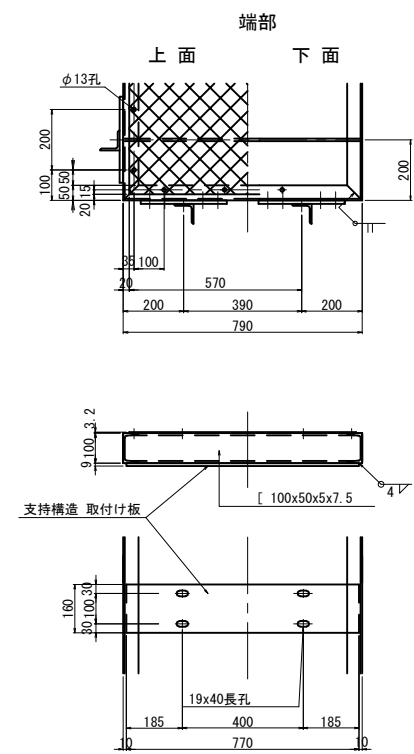
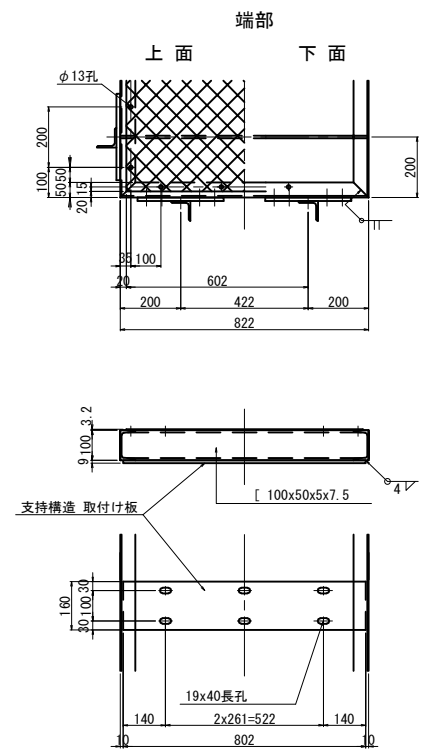
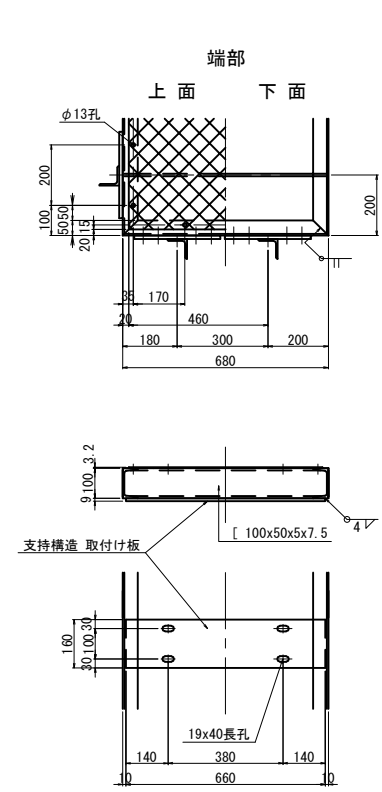
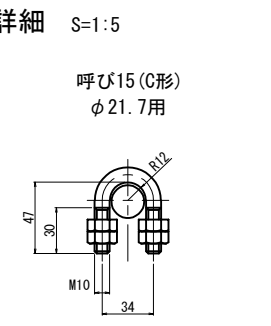
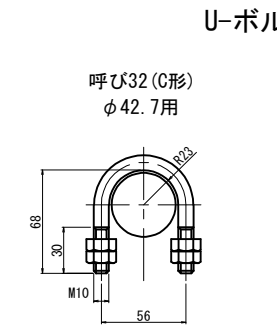
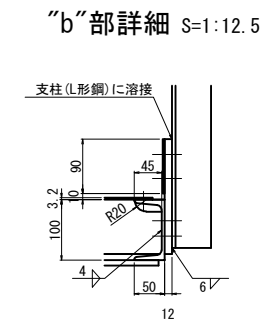
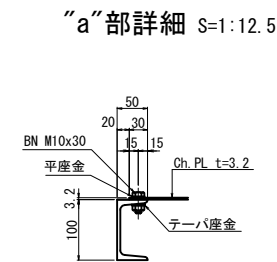
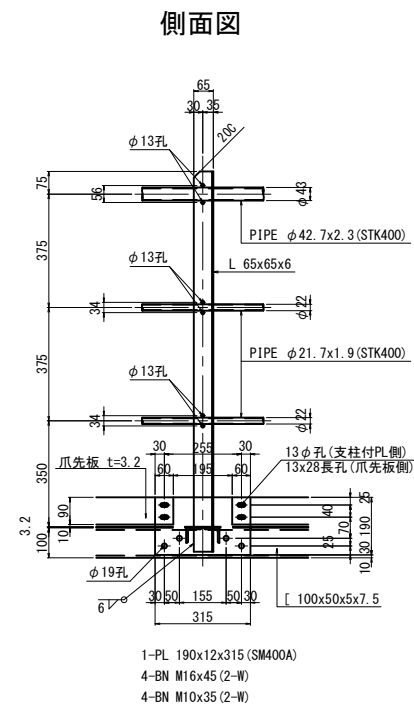
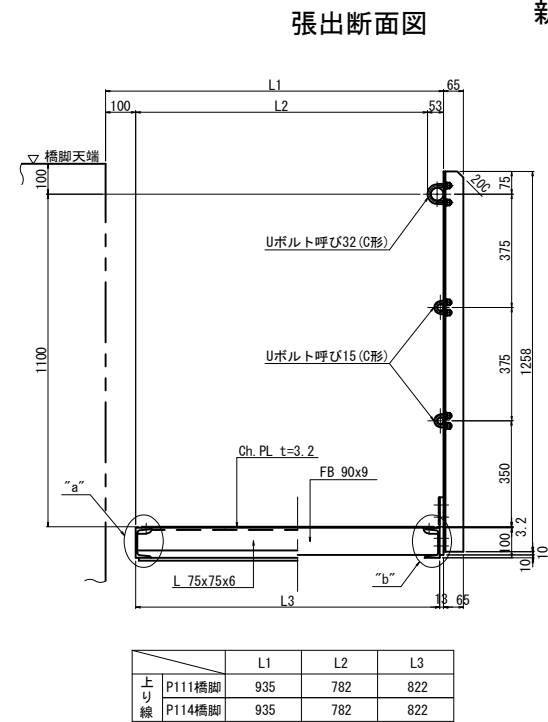
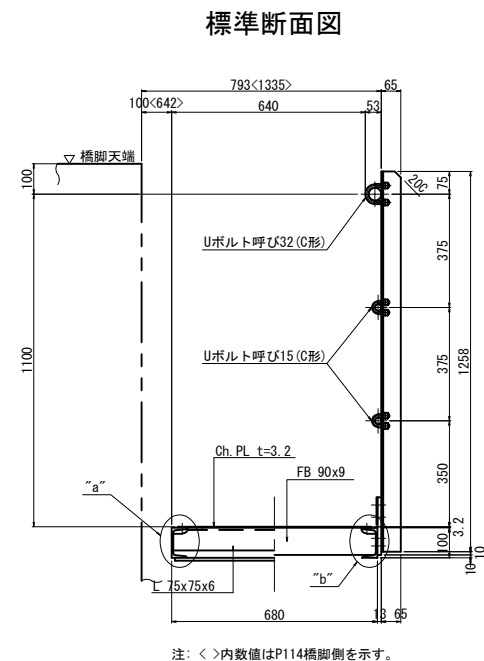
検査路 数量表

項目	単位	数量	摘要
B	kg	2,032.0	

AP114

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

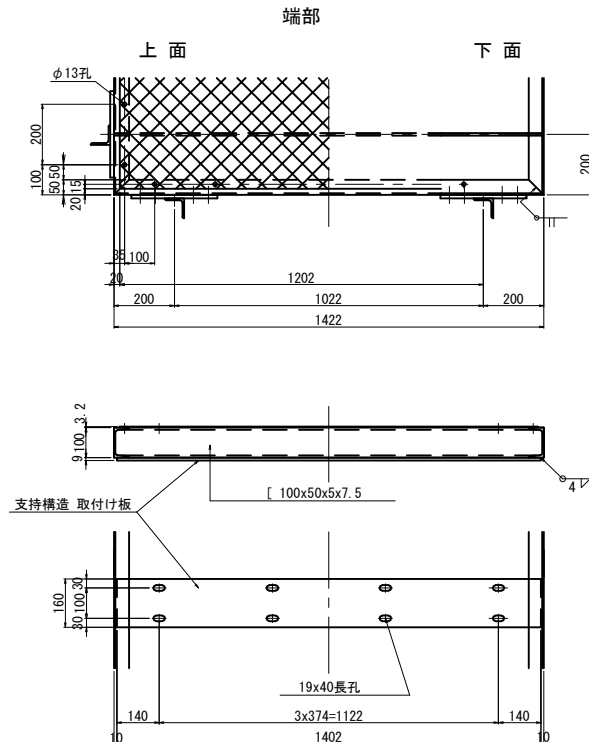
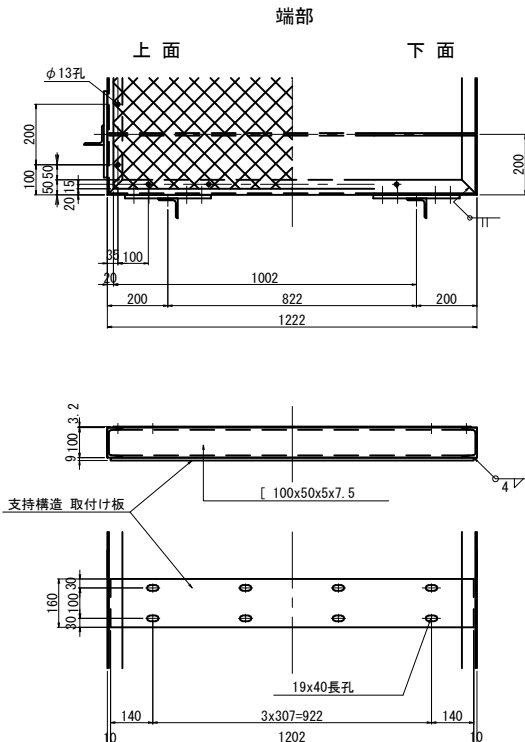
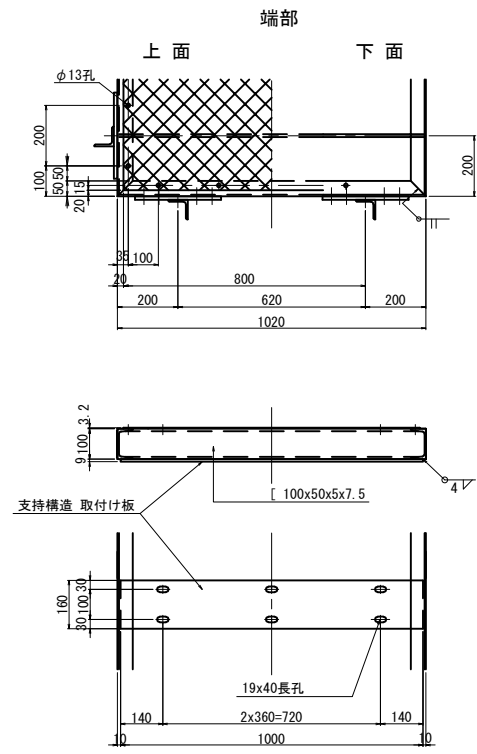
検査路B
新規検査路各部詳細



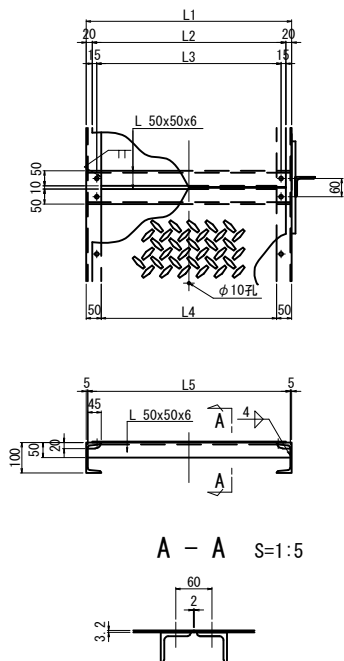
注記:
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
4. 工場製作は、現場実測確認の上行うこと。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その3)		
縮 尺	1:25	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

検査路B
新規検査路各部詳細

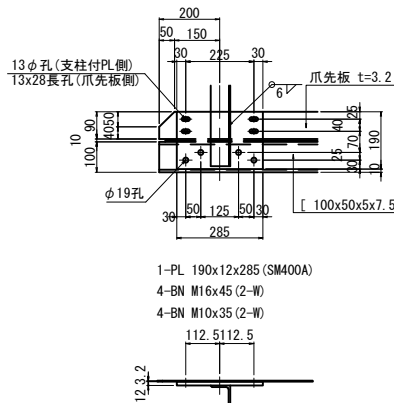


歩廊中間部詳細図



	L1	L2	L3	L4	L5
上り線 P111橋脚	680	640	610	580	670
上り線 P114橋脚	680	640	610	580	670

爪先板端部詳細

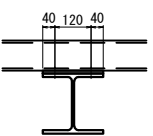
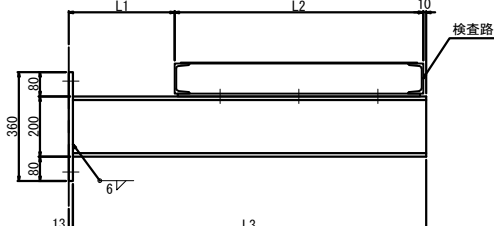
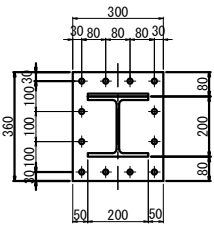


- 注記:
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
 - 工場製作は、現場実測確認の上行うこと。

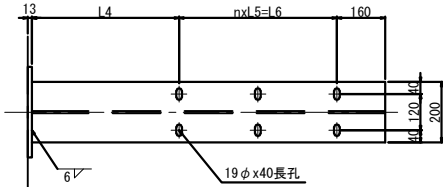
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その4)		
縮尺	1:25	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

検査路B
〈新設ブラケット詳細〉

端部ブラケット
B-1
製作数:12

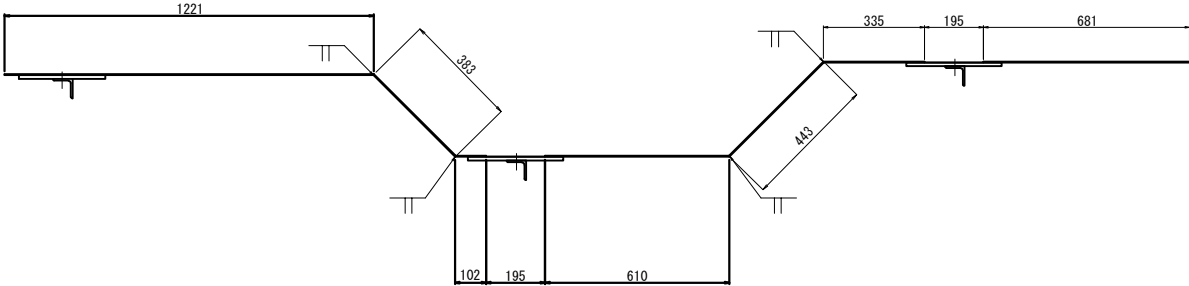


新設材料(1組当り):
1-H 200x200x8x12xL3
1-PL 300x14x360 (SM400A)
n1-BN M16x50 (2W付)
12-打込式アンカー M16x125

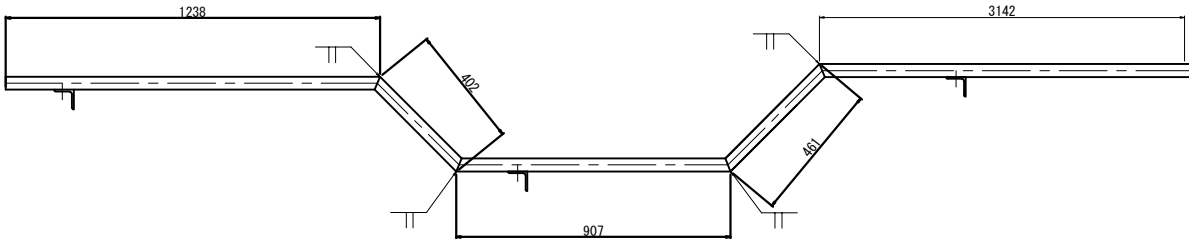


		L1	L2	L3	L4	L5	L6	n	n1	製作数
上 り 線	P111橋脚	350	822	1169	487	261	522	2	6	1
		100	680	777	237	380	380	1	4	3
	P114橋脚	642	680	1319	779	380	380	1	4	1
		350	822	1169	487	261	522	2	6	3
		100	680	777	237	380	380	1	4	4

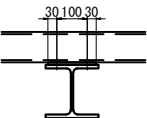
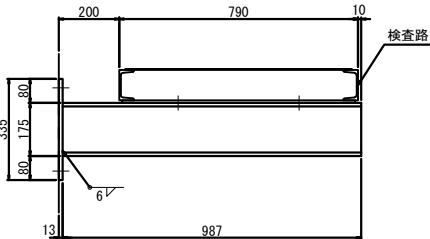
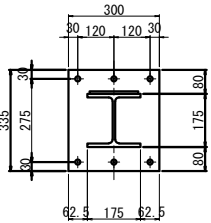
P111橋脚
爪先板詳細
K-2側



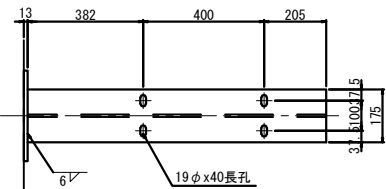
手摺り詳細
K-2側



端部ブラケット
B-2
製作数:2
P114橋脚下り線



新設材料(1組当り):
1-H 175x175x7.5x11x987
1-PL 300x13x335 (SM400A)
4-BN M16x50 (2W付)
6-打込式アンカー M16x125

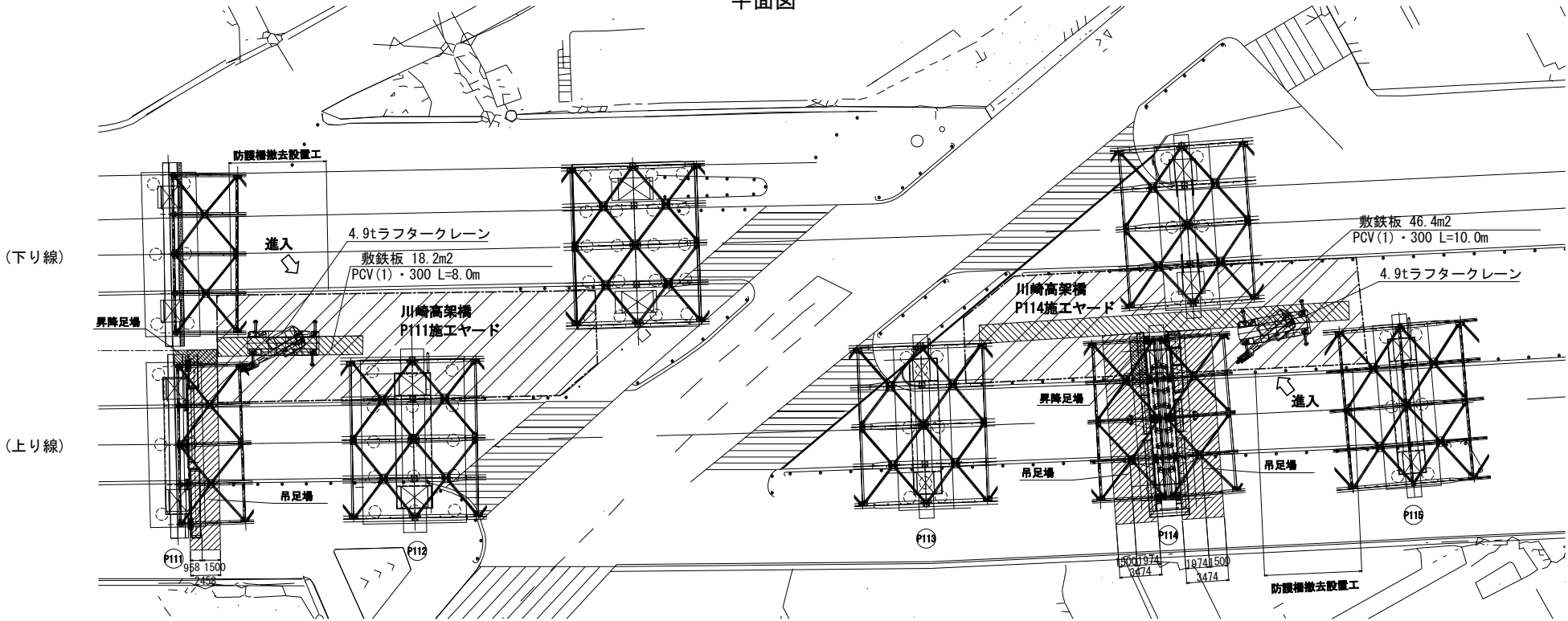


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

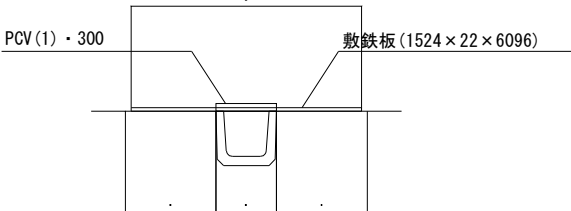
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類		川崎高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その5)		
縮	尺	1:25	図面番号	/
設計会社名		株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

川崎高架橋 施工計画（その1）
（参考図）
S=1:500

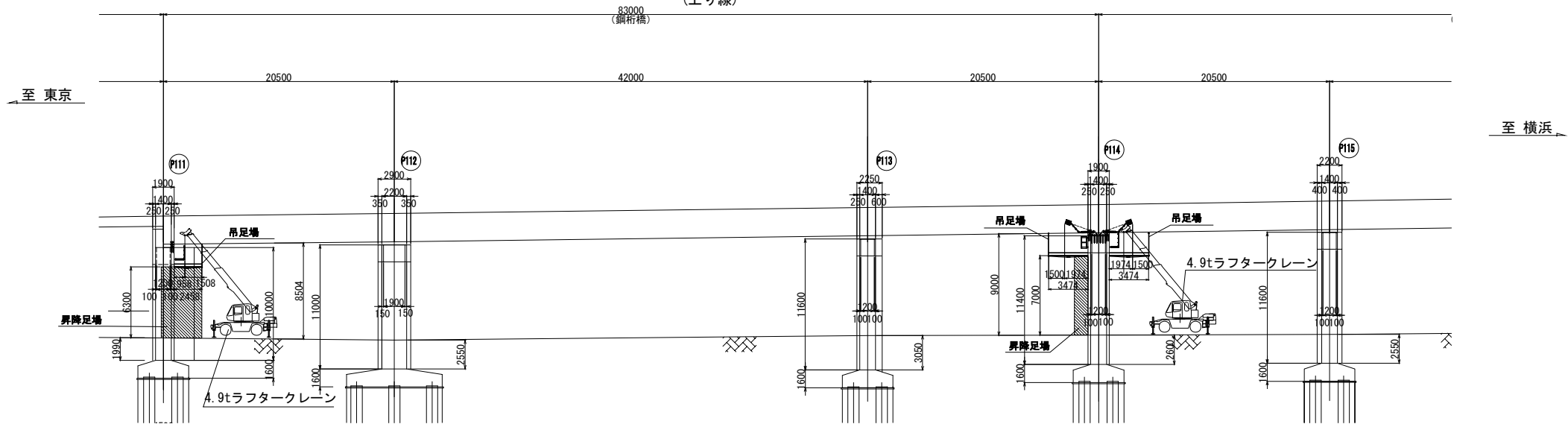
平面図



ヤード整備工 断面図 S=1:20



側面図
（上り線）



昇降足場

	幅×奥行×高さ	空m3
P111 上	3.6×1.2×6.3	27.2
P114 上	3.6×1.2×7.0	30.2

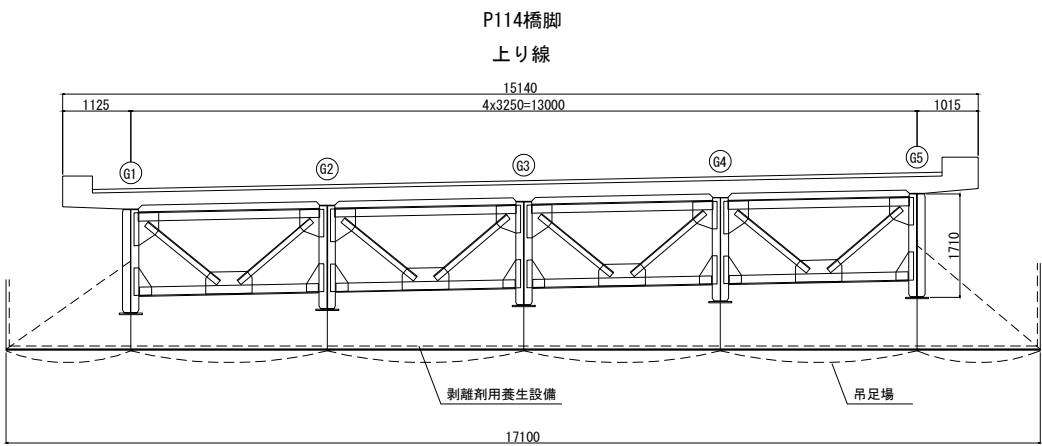
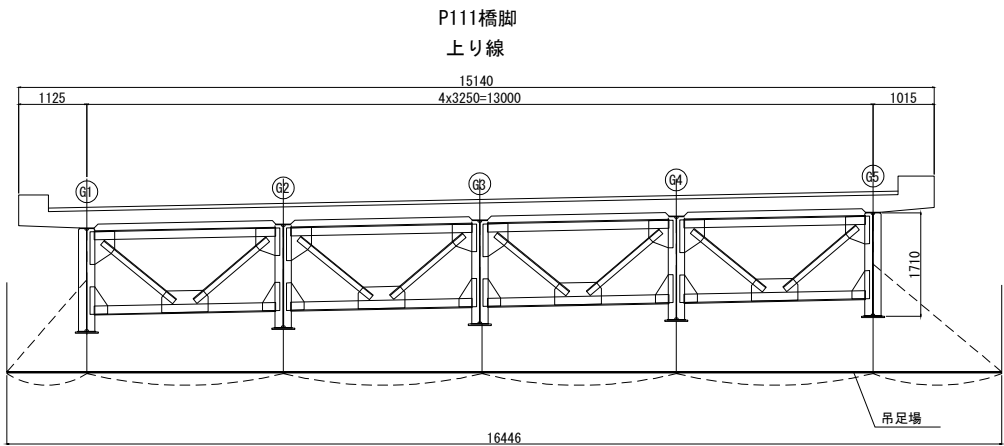
ヤード整備工

	P111	P114
敷鉄板設置・撤去	18.2m2	46.4m2
PCV(1)・300撤去・復旧	8.0m	10.0m

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 施工計画（その1）		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

(参考図)

上部工断面図 S=1:50



吊足場工（防護型側面）

		延長×幅員	m2
P111 終点側	上	2.458×15.140	37.2
P114 起点側	上	3.474×15.140	52.6
P114 終点側	上	3.474×15.140	52.6

剥離剤用養生設備工

		延長×幅員	m2
上り線 P114 起点側		3.474×15.140	52.6
上り線 P114 終点側		3.474×15.140	52.6

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	川崎高架橋 施工計画(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【東山田高架橋】

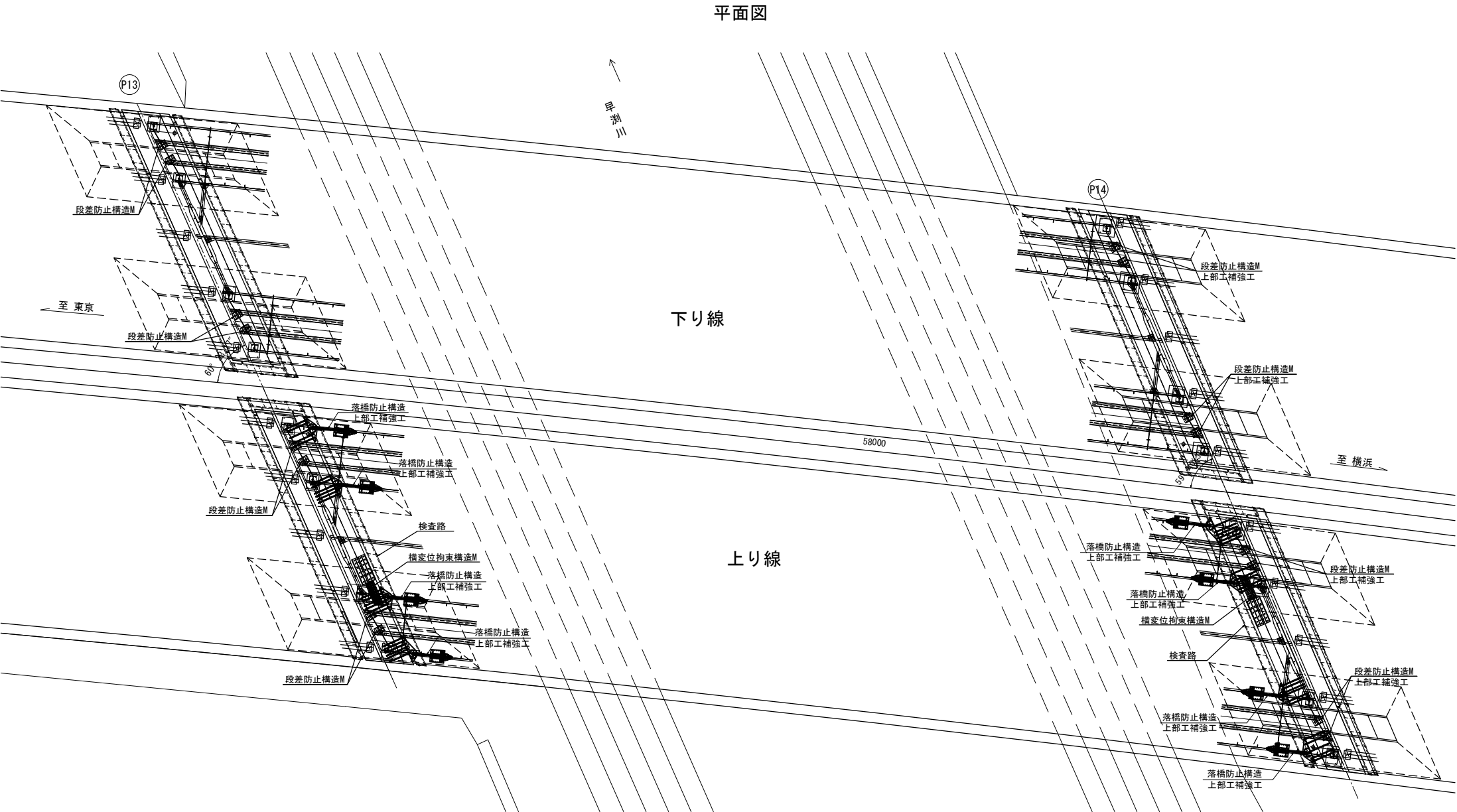
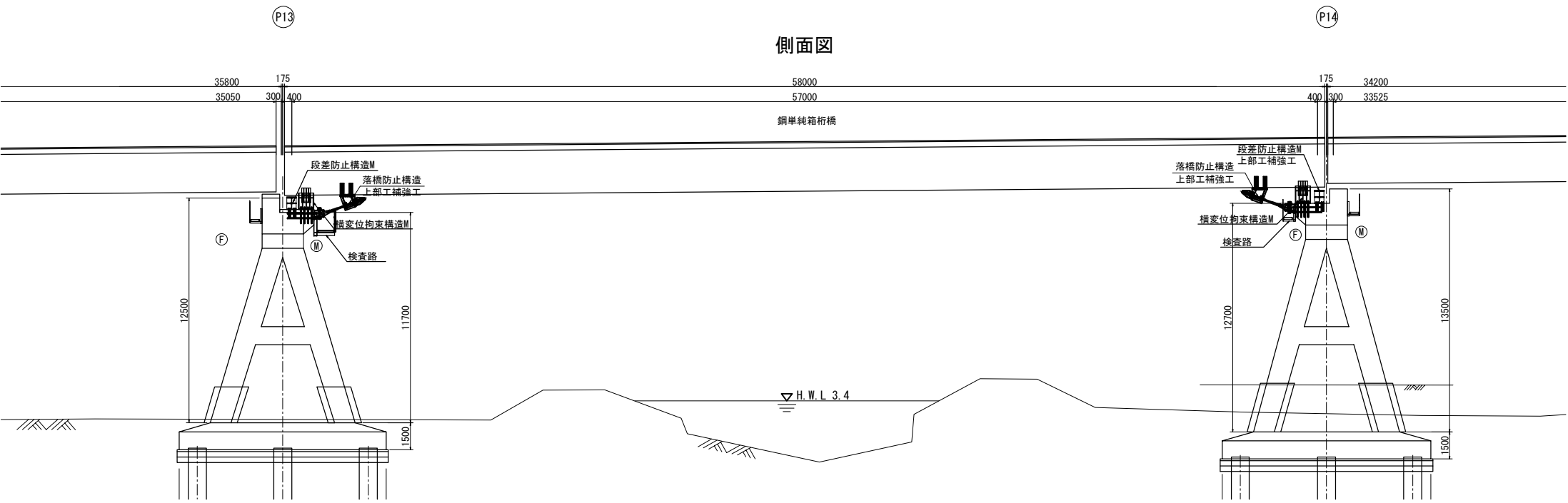
令和 6 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目次

番号	設計図名称
1	東山田高架橋 耐震補強一般図
2	東山田高架橋(上り線) P13橋脚落橋防止システム配置図
3	東山田高架橋(上り線) P14橋脚落橋防止システム配置図
4	東山田高架橋(下り線) P13橋脚段差防止システム配置図
5	東山田高架橋(下り線) P14橋脚段差防止システム配置図
6～8	東山田高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図(その1)～(その3)
9	東山田高架橋(上下線) 段差防止構造詳細図
10～11	東山田高架橋(上り線) 横変位拘束構造詳細図(その1)～(その2)
12～13	東山田高架橋(上下線) 上部工補強工詳細図(その1)～(その2)
14	東山田高架橋 附帯工
15	東山田高架橋(上り線) 垂直補剛材撤去図
16	東山田高架橋(下り線) 連結板撤去詳細図
17～18	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その1)～(その2)
19～22	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その1)～(その4)
23	東山田高架橋 施工計画

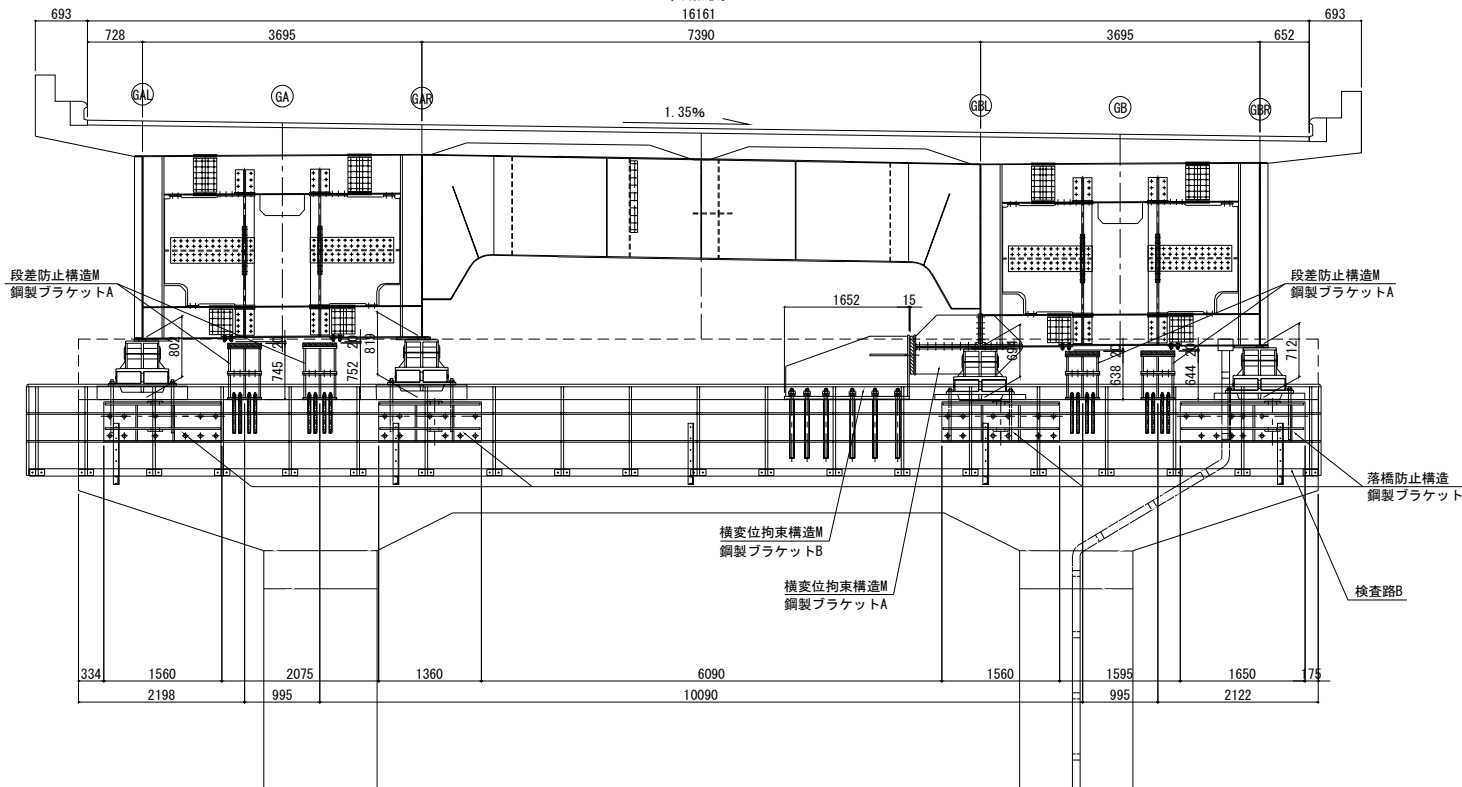
[illegible]



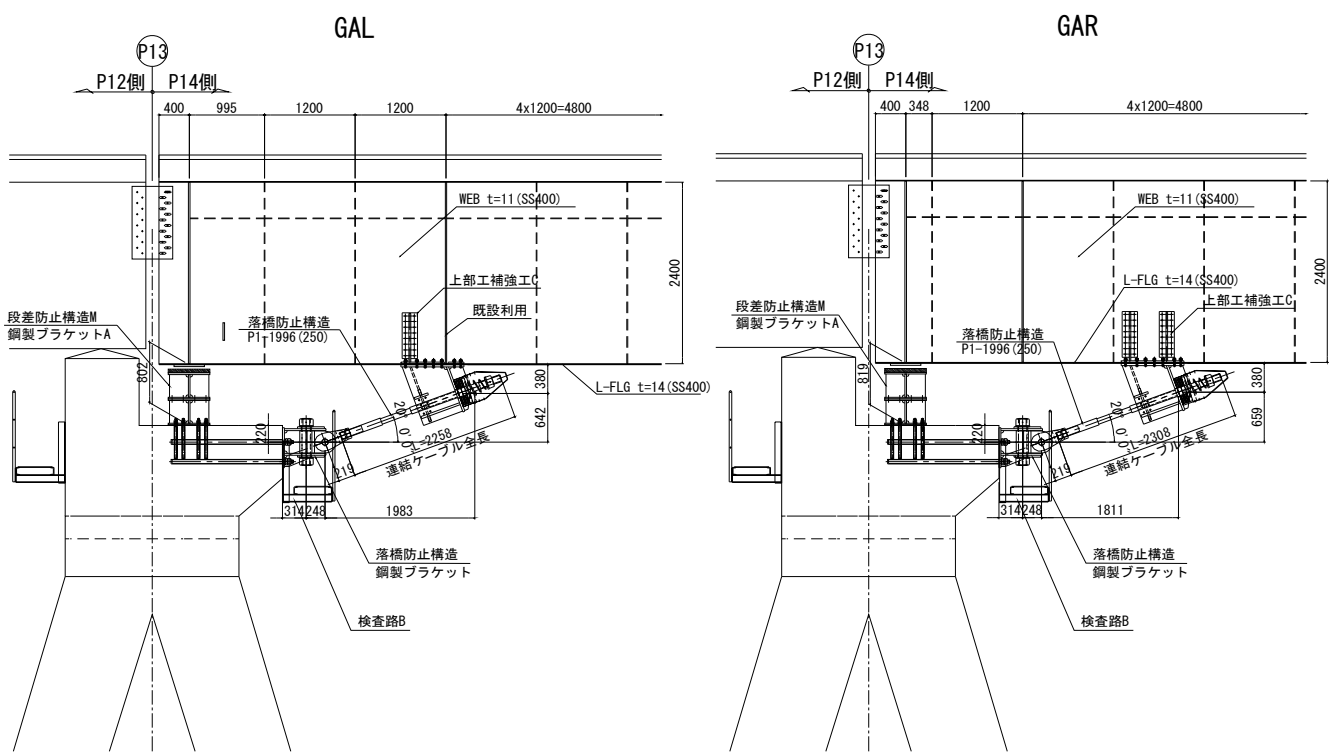
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋 耐震補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

東山田高架橋(上り線) P13橋脚落橋防止システム配置図 S=1:100

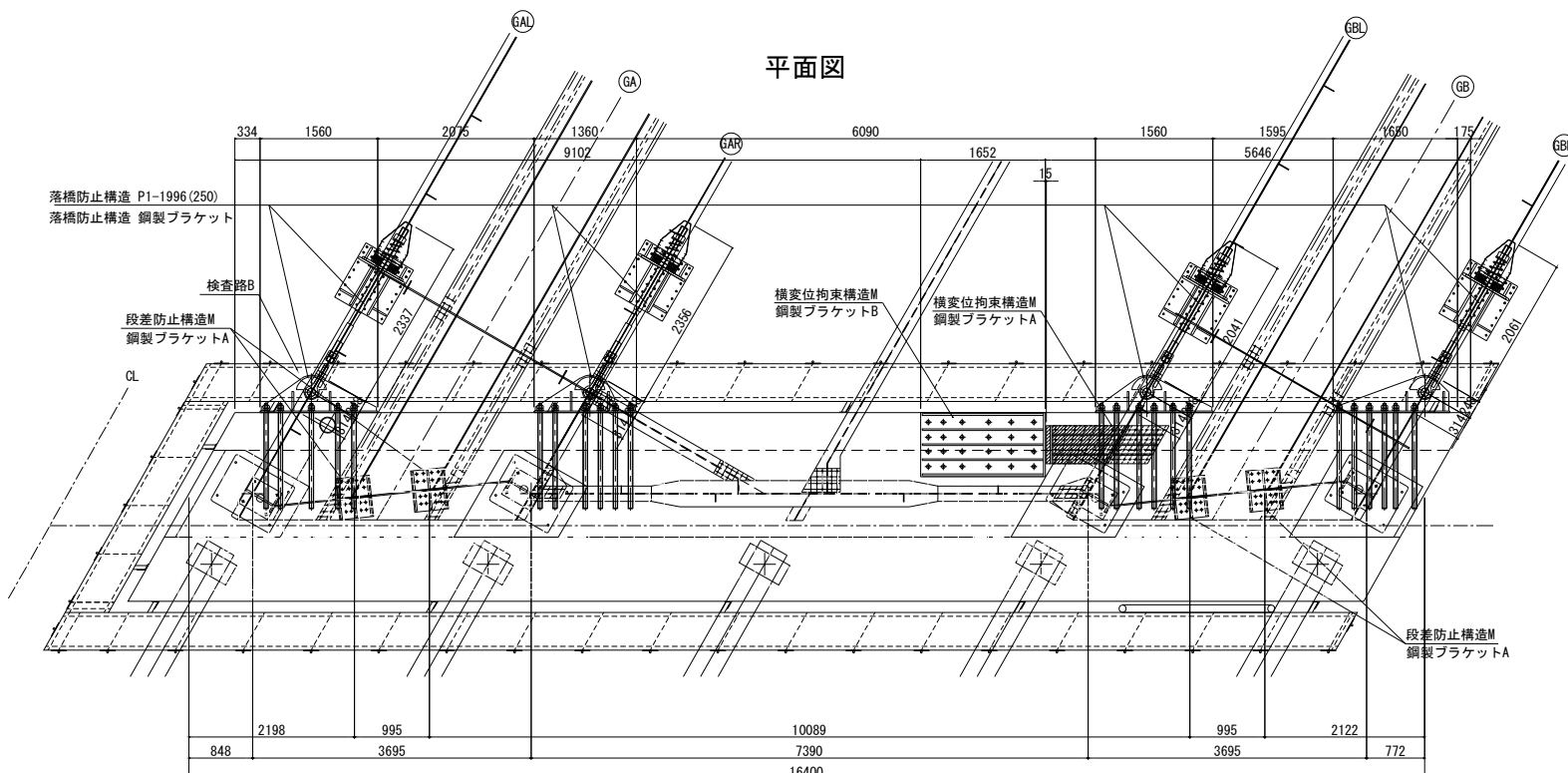
正面図
終点側



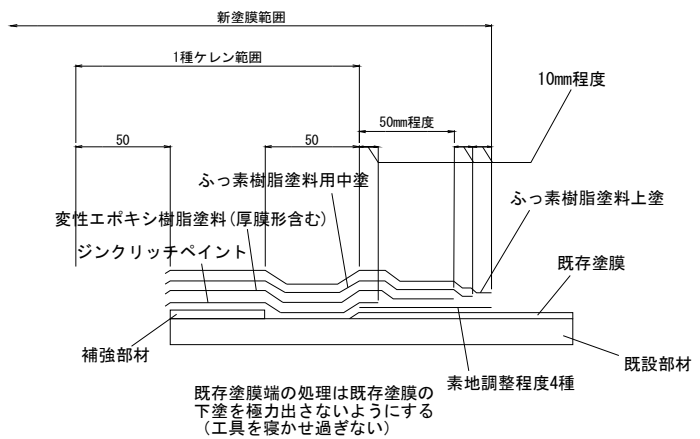
側面図



平面図



塗装境界部詳細図 S=1:4



注記)
1. 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
2. コンクリート削孔は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
3. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

落橋防止構造 数量表				AP13
項目	単位	数量	摘要	
P1-1996 (250)	本	4		
鋼製ブラケット	t	1.599		
アンカーエφ61・1275 (水平方向)	本	43		

横変位拘束構造M 数量表				AP13
項目	単位	数量	摘要	
鋼製ブラケットA	t	0.825		
鋼製ブラケットB	t	1.564		
アンカーエφ61・775 (下方向)	本	24		

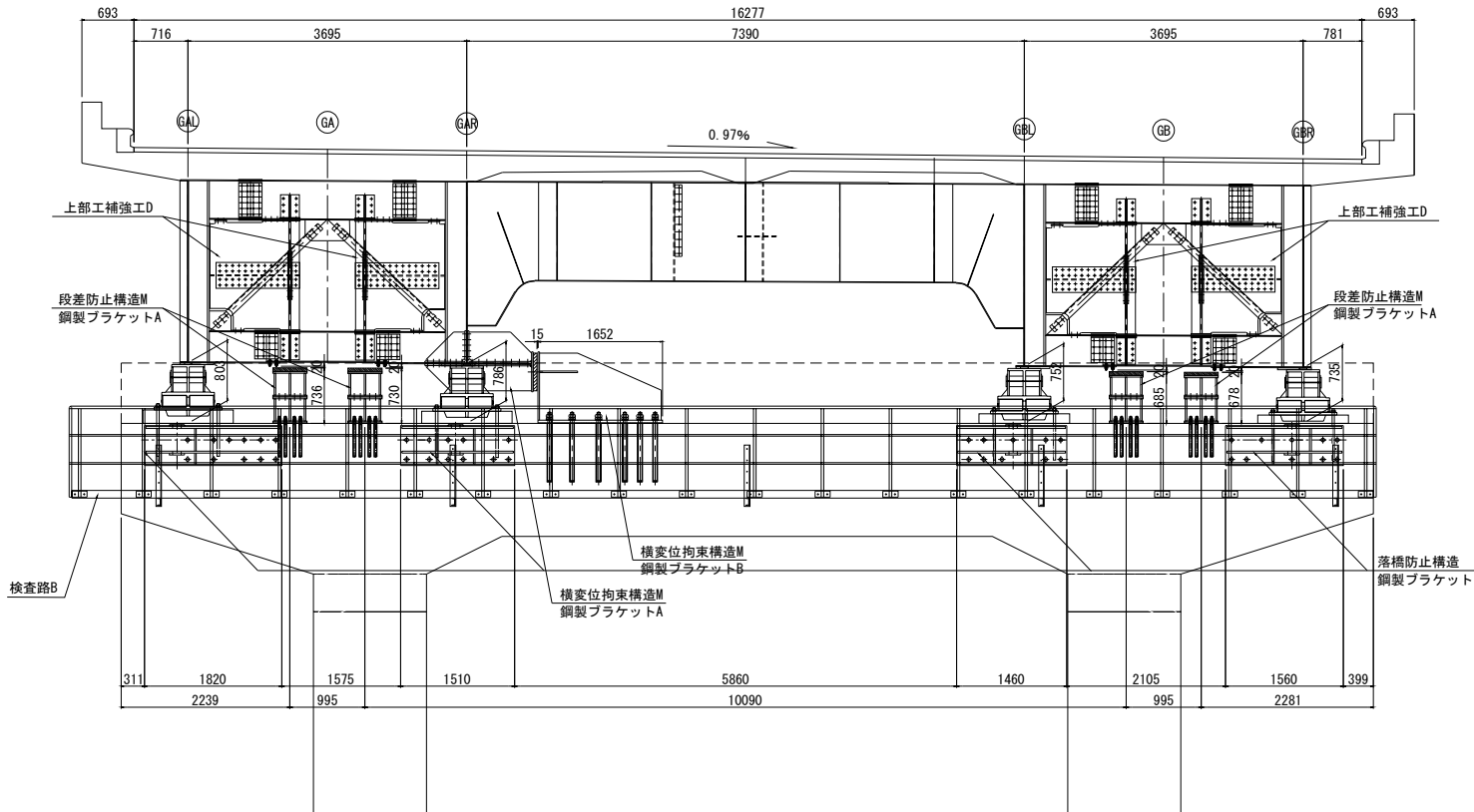
段差防止構造M 数量表				AP13
項目	単位	数量	摘要	
鋼製ブラケットA	t	1.427		
アンカーエφ39・445 (下方向)	本	64		

上部工補強工 数量表				AP13
項目	単位	数量	摘要	
C	t	1.074		

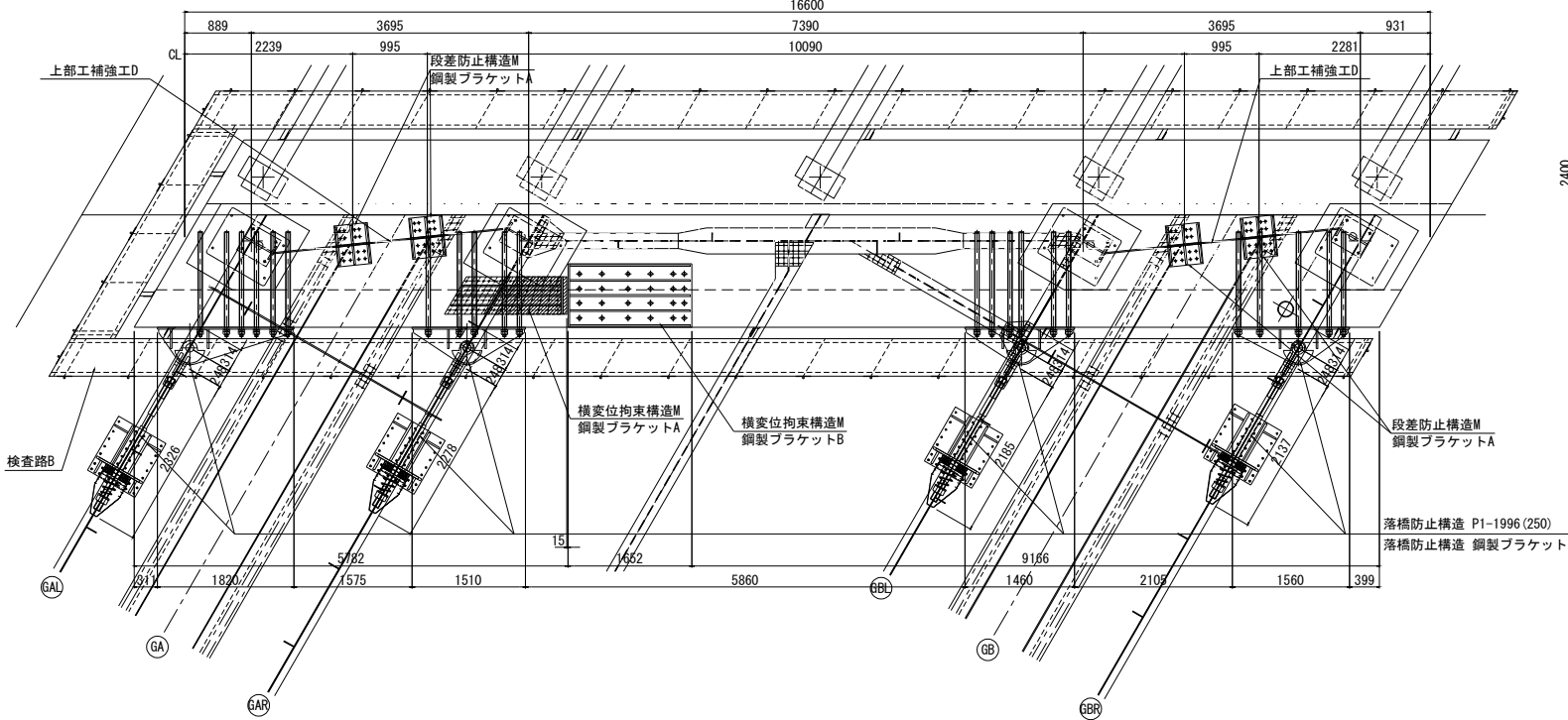
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) P13橋脚落橋防止システム配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

東山田高架橋(上り線) P14橋脚落橋防止システム配置図 S=1:100

正面図
起点側



平面図



落橋防止構造 数量表

AP14

項目	単位	数量	摘要
P1-1996 (250)	本	4	
鋼製ブラケット	t	1.648	
アンカーエφ61・1275(水平方向)	本	42	

段差防止構造M 数量表

AP14

項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットA	t	1.443	
アンカーエφ39・445(下方向)	本	64	

横変位拘束構造M 数量表

AP14

項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットA	t	0.827	
鋼製ブラケットB	t	1.564	
アンカーエφ61・775(下方向)	本	24	

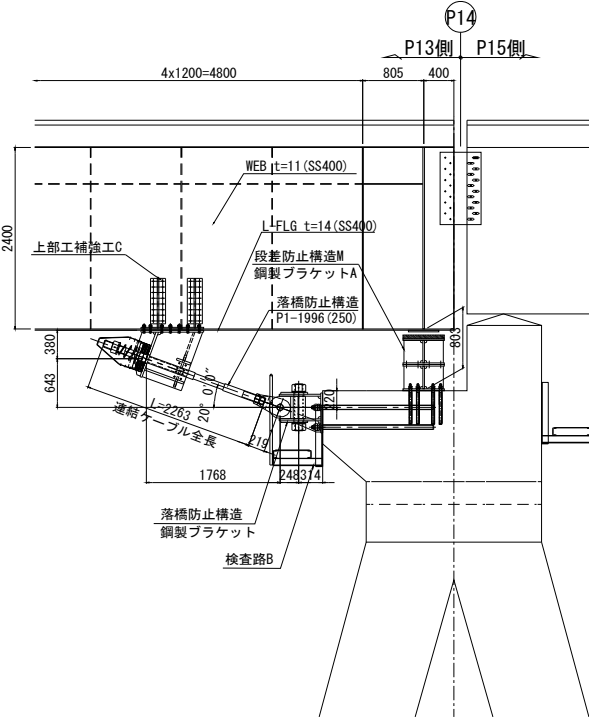
上部工補強工 数量表

AP14

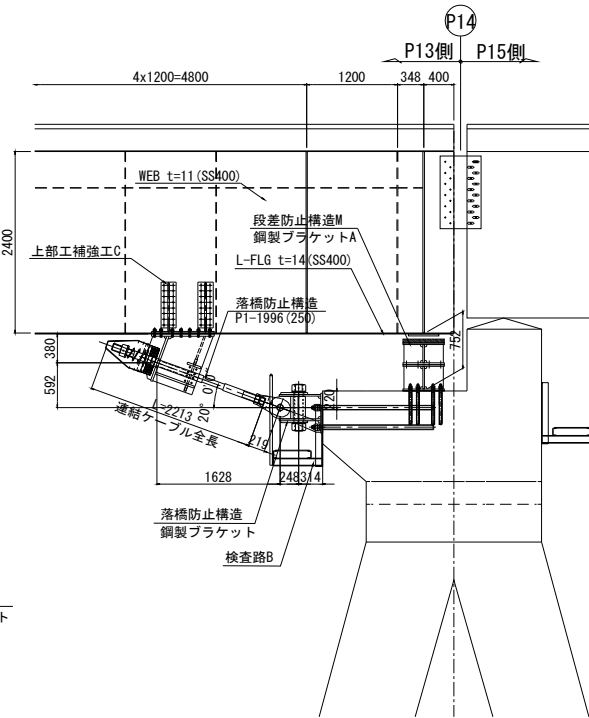
項目	単位	数量	摘要
C	t	1.173	
D	t	2.562	

側面図

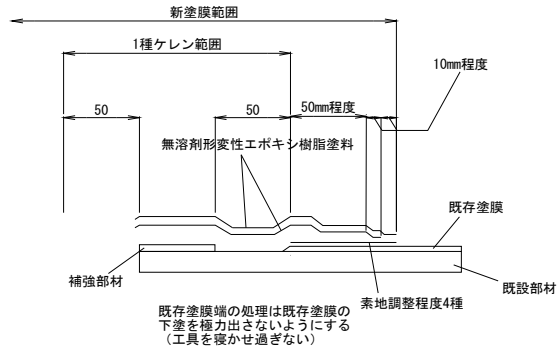
GAL



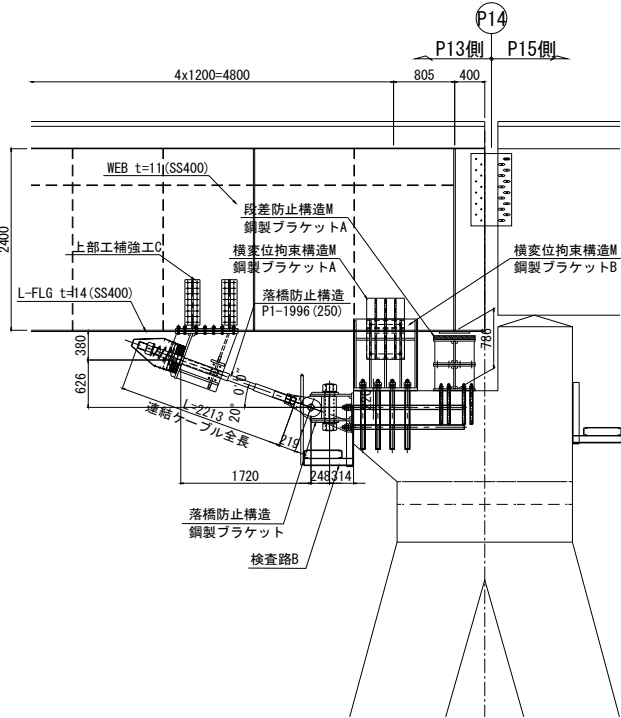
GBL



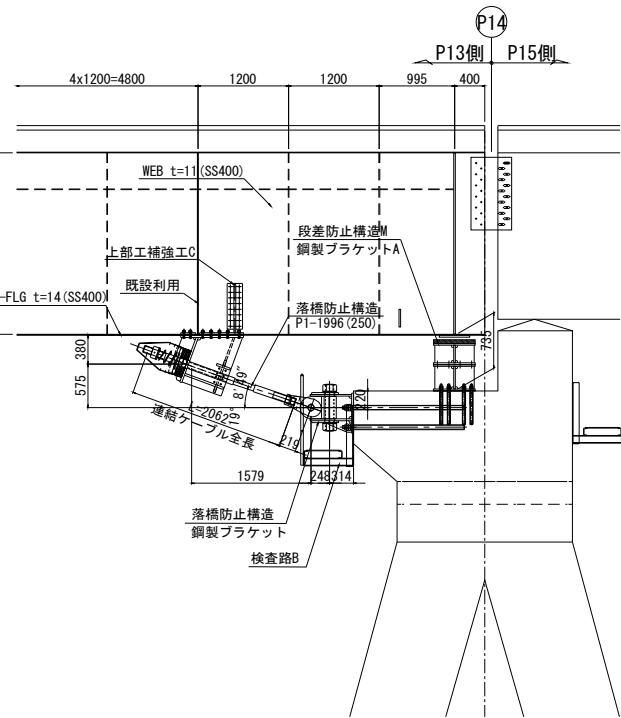
塗装境界部詳細図(箱桁内面) S=1:5



GAR



GBR



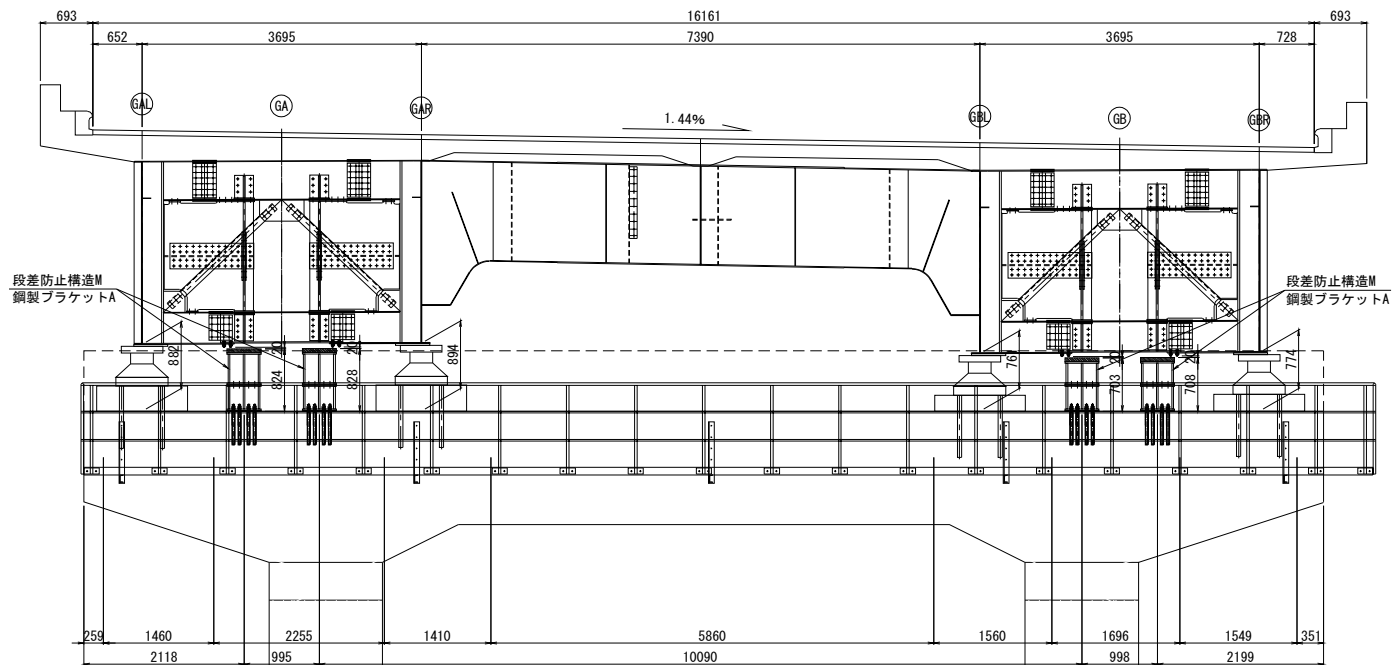
- 注記)
1. 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 2. コンクリート削孔は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 3. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) P14橋脚落橋防止システム配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

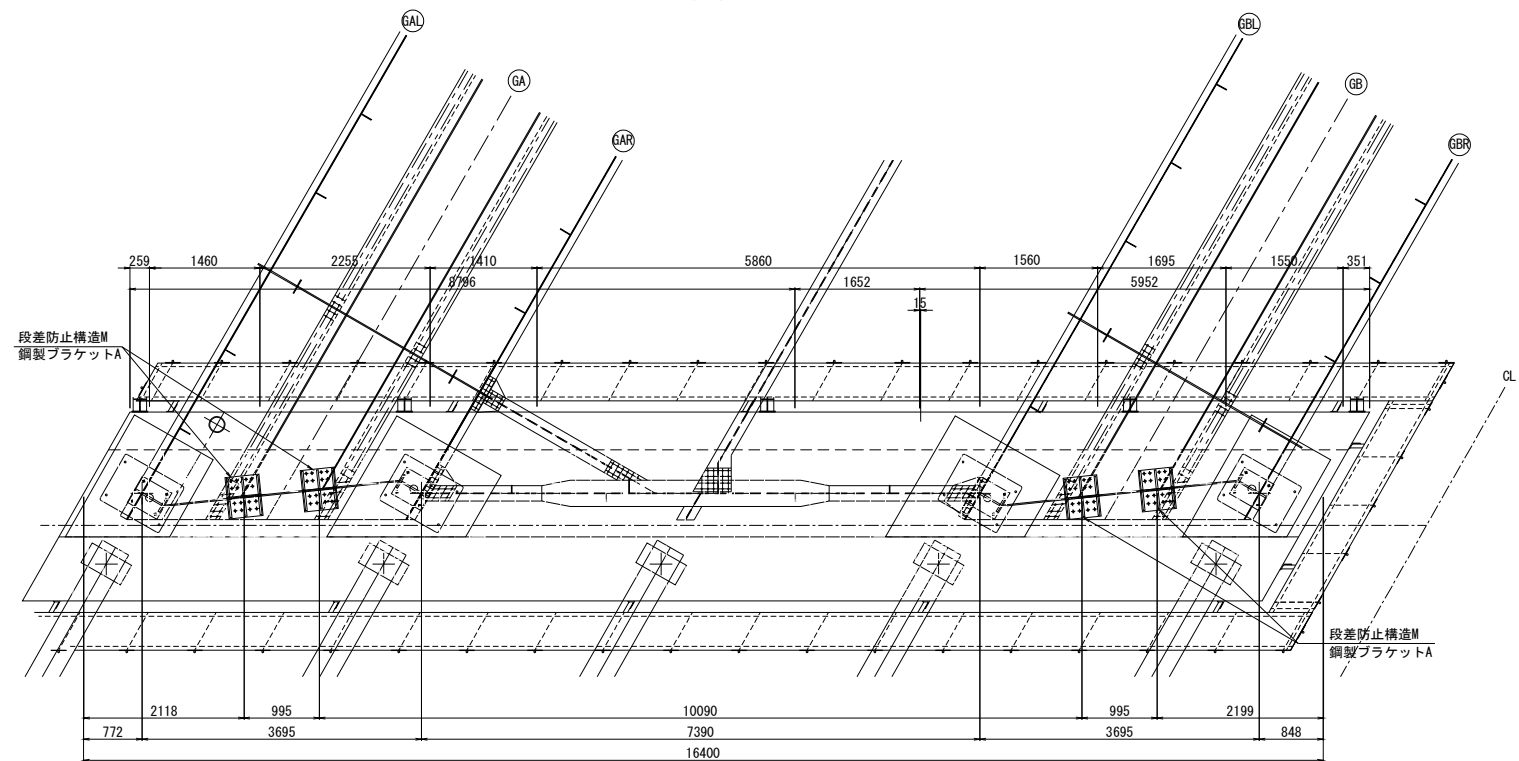
東山田高架橋(下り線) P13橋脚段差防止システム配置図 S=1:100

正面図
終点側

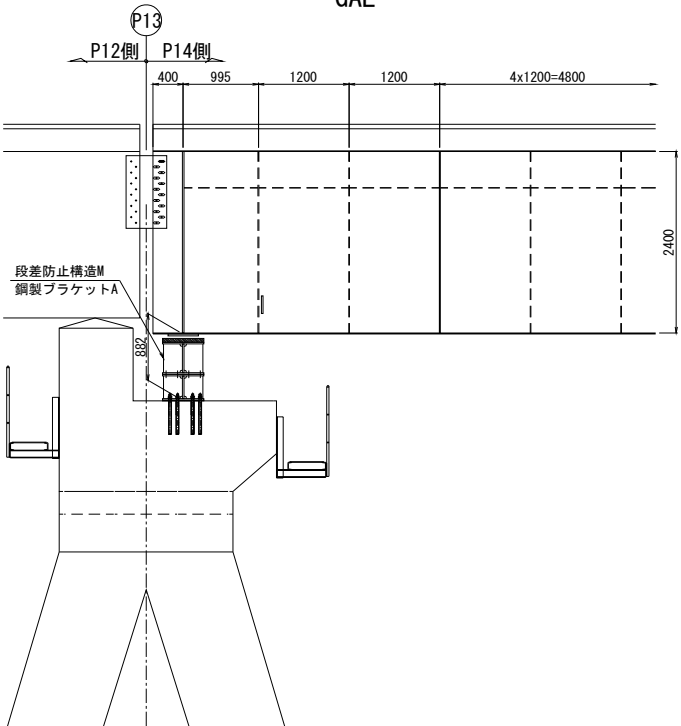
側面図



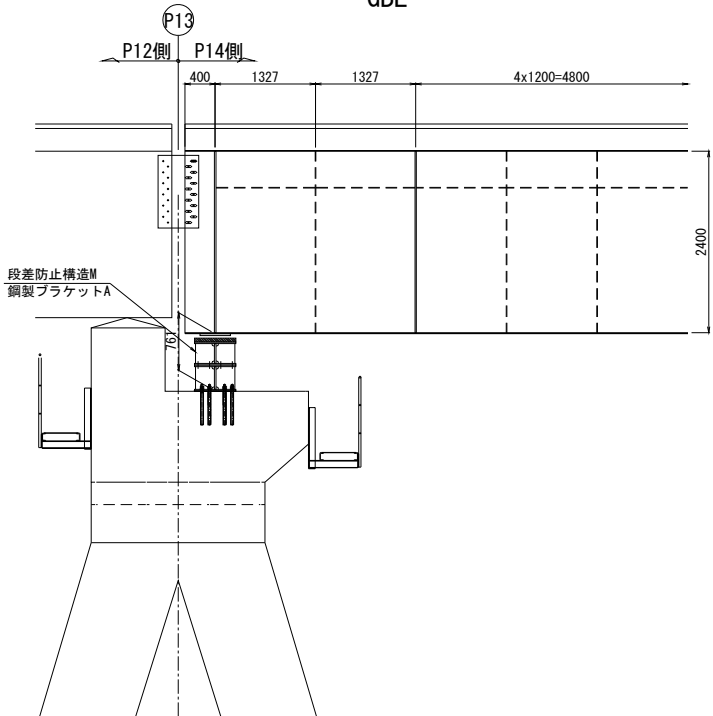
平面図



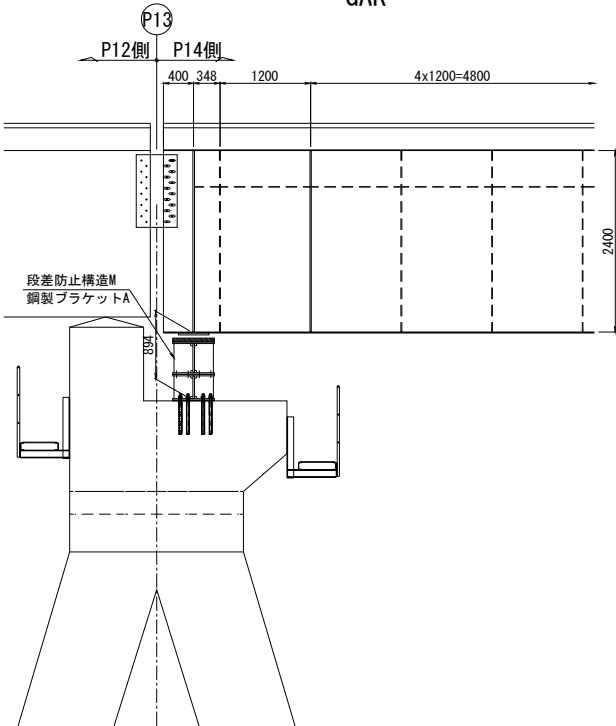
GAL



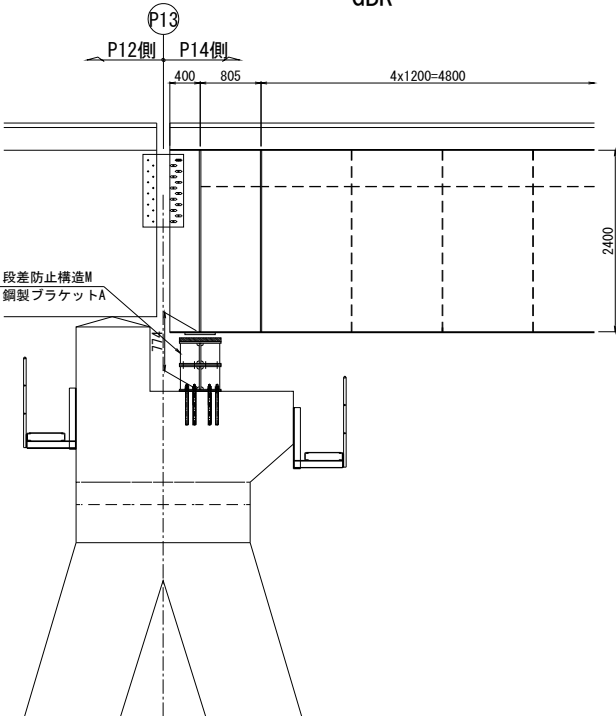
GBL



GAR



GBR



- 注記)
1. 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 2. コンクリート削孔は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 3. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

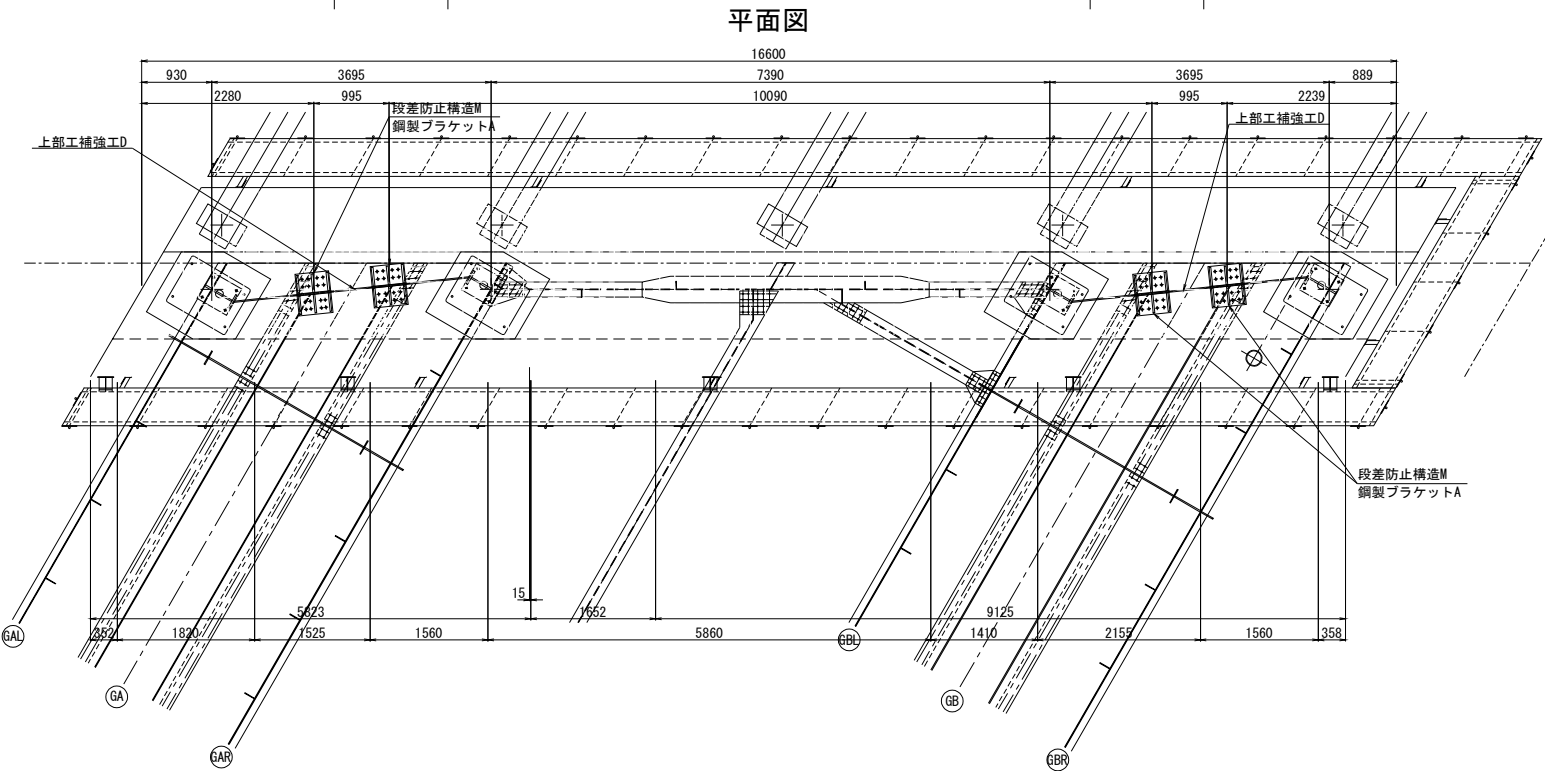
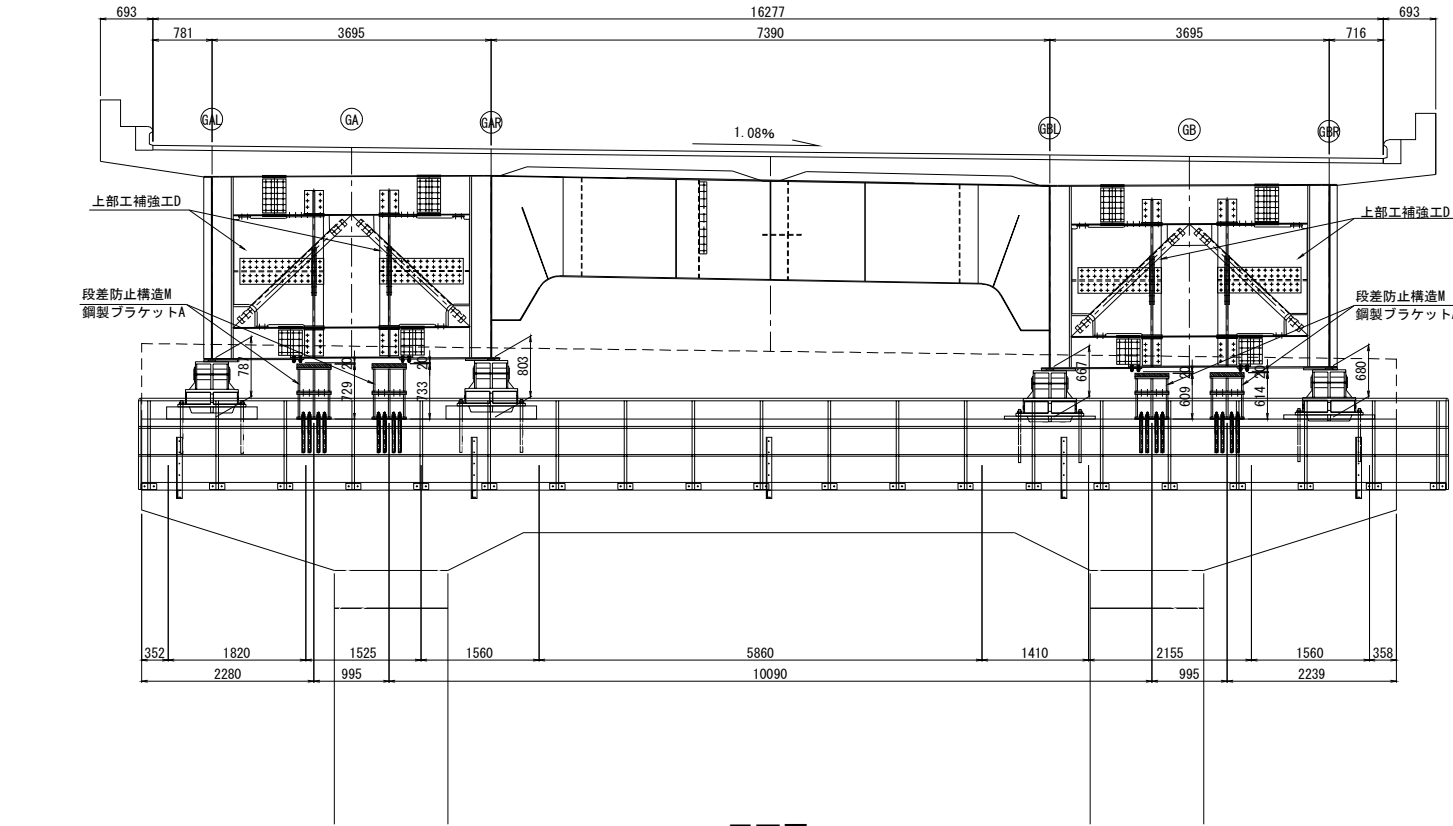
段差防止構造M 数量表				BP13
項目	単位	数量	摘要	
鋼製ブラケットA	t	1.522		
アンカーエ φ39・445(下方向)	本	64		

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(下り線) P13橋脚段差防止システム配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

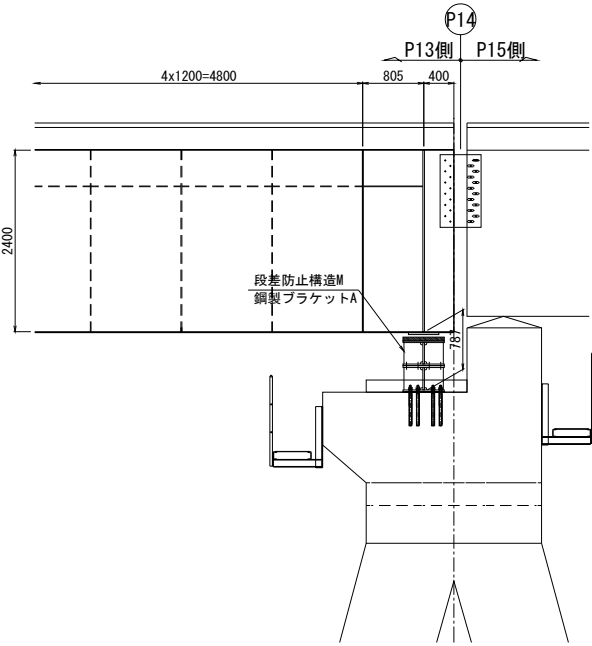
東山田高架橋(下り線) P14橋脚段差防止システム配置図 S=1:100

正面図
起点側

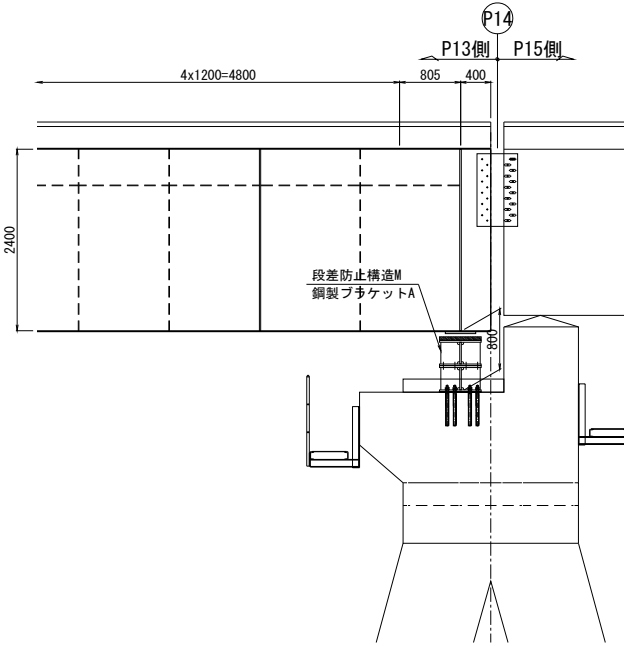
側面図



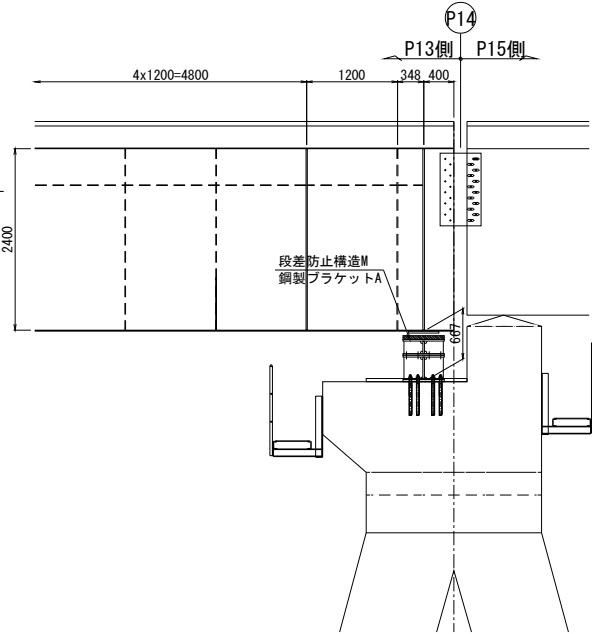
GAL



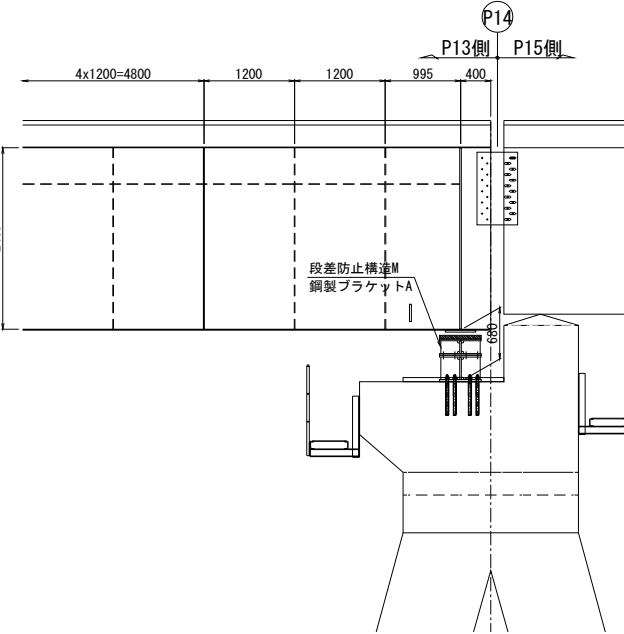
GAR



GBL



GBR



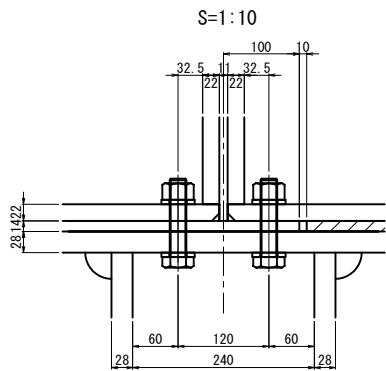
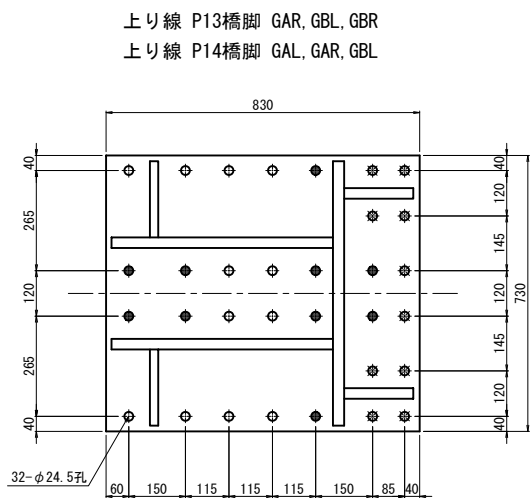
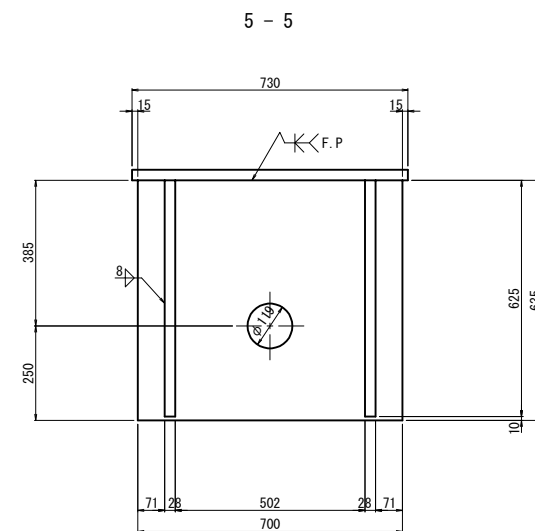
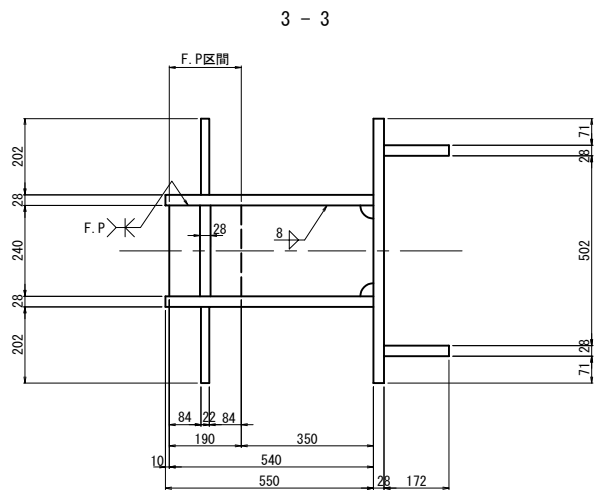
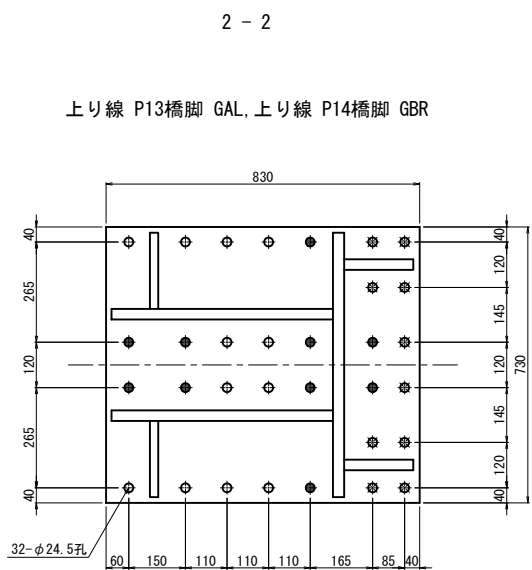
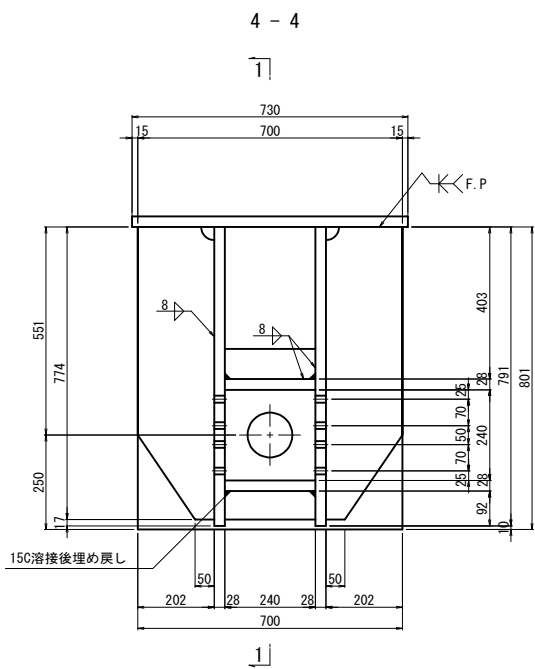
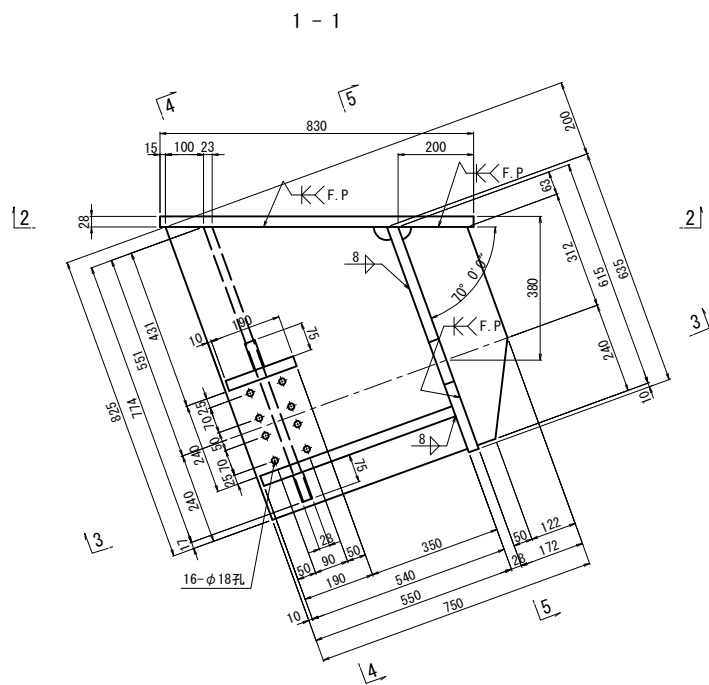
段差防止構造M 数量表 BP14			
項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットA	t	1.395	
アンカーエφ39・445(下方向)	本	64	

上部工補強工 数量表 BP14			
項目	単位	数量	摘要
D	t	2.562	

- 注記)
1. 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 2. コンクリート削孔は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 3. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(下り線) P14橋脚段差防止システム配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

落橋防止構造 P1-1996 (250)
P13, P14橋脚 上部工付ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:n)

- 2-PL 172x28x615 (SM490YB)
- 2-PL 550x28x825 (SM490YB)
- 2-PL 202x22x774 (SM490YB)
- 2-PL 75x28x240 (SM490YB)
- 1-PL 240x28x540 (SM490YB)
- 1-PL 240x28x190 (SM490YB)
- 1-PL 635x28x700 (SM490YB)
- 1-PL 830x28x730 (SM490YB)
- 10-TCB M22x105 (S10T) (2-W付)
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 10-HTB M22x105 (F10T)

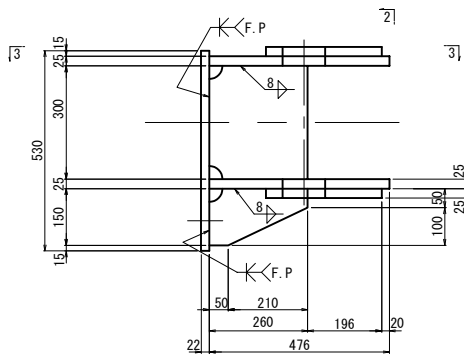
製作数:n	上り線							
	P13				P14			
	GAL	GAR	GBL	GBR	GAL	GAR	GBL	GBR
	1	1	1	1	1	1	1	1

- 注記:
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 印のボルトは、TCB M22を示す。
印のボルトは、TCB M22 (2-W付)を示す。
印のボルトは、HTB M22を示す。

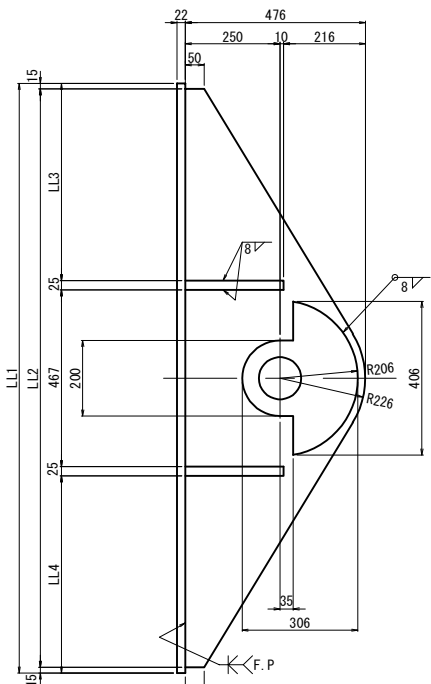
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

落橋防止構造 鋼製ブラケット

1 - 1

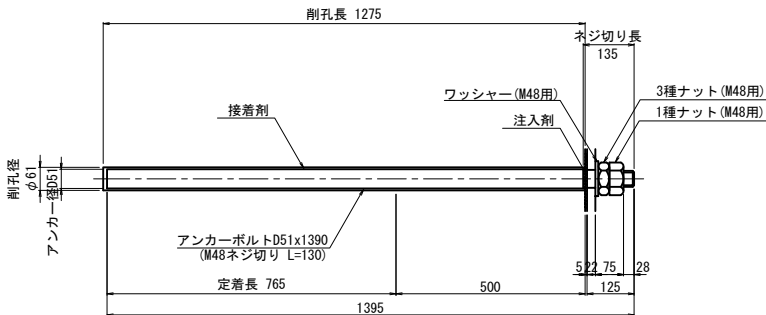


3 - 3



注：() 内はP13橋脚上り線_GBR側寸法を示す。

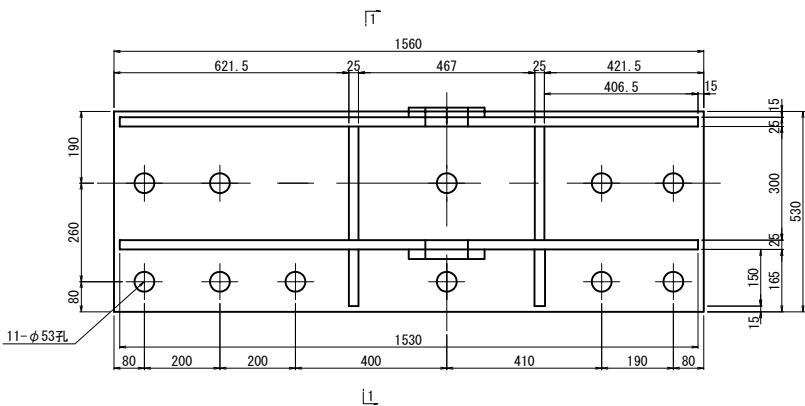
落橋防止構造
アンカーエφ61・1275(水平方向)



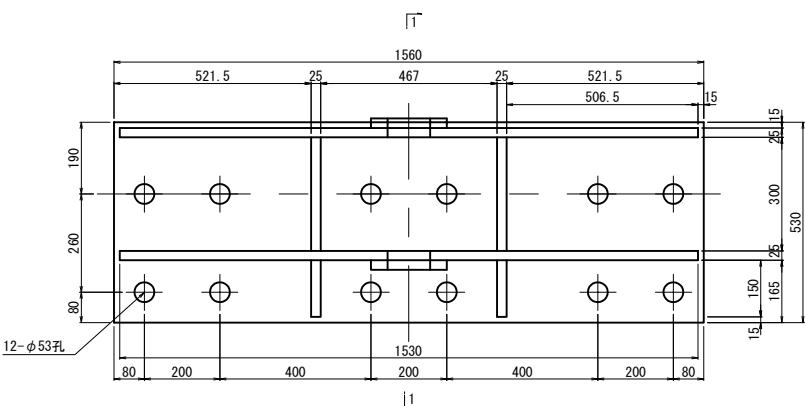
- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。

2 - 2

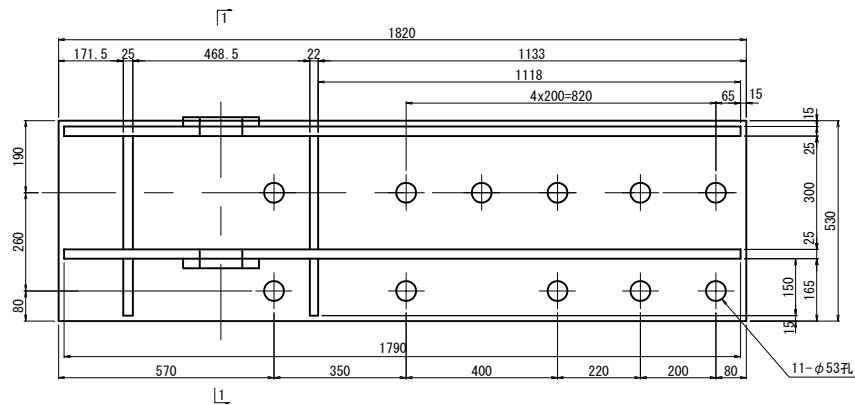
P13橋脚上り線 (GAL)



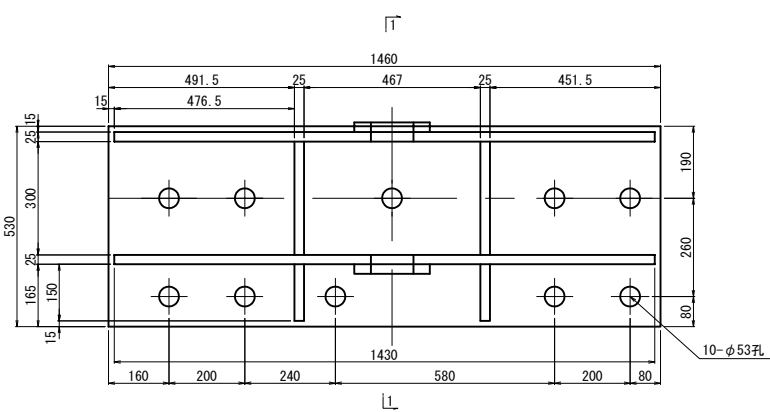
P13橋脚上り線 (GBL)



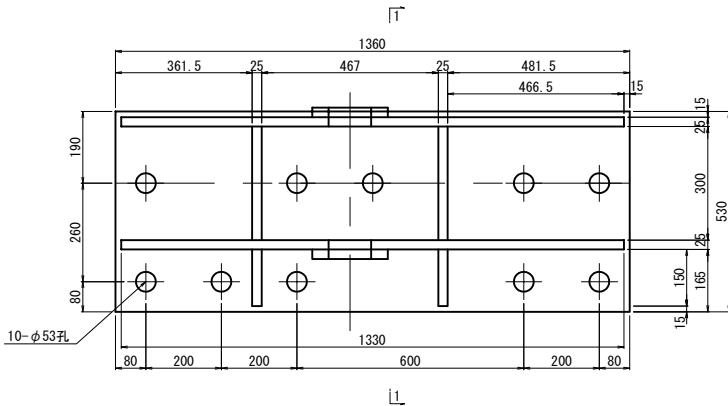
P14橋脚上り線 (GAL)



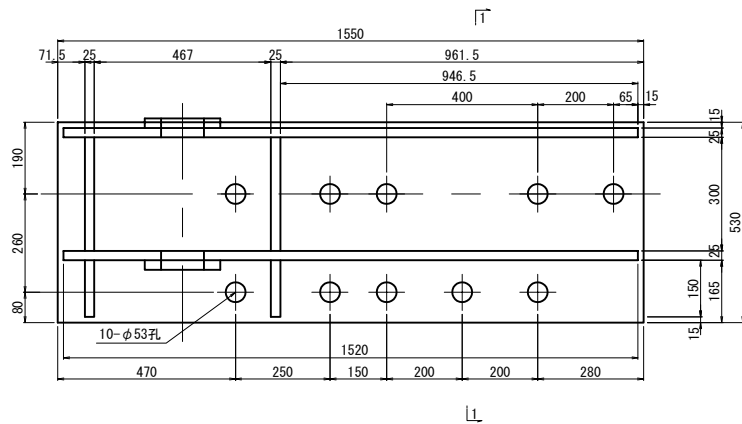
P14橋脚上り線 (GBL)



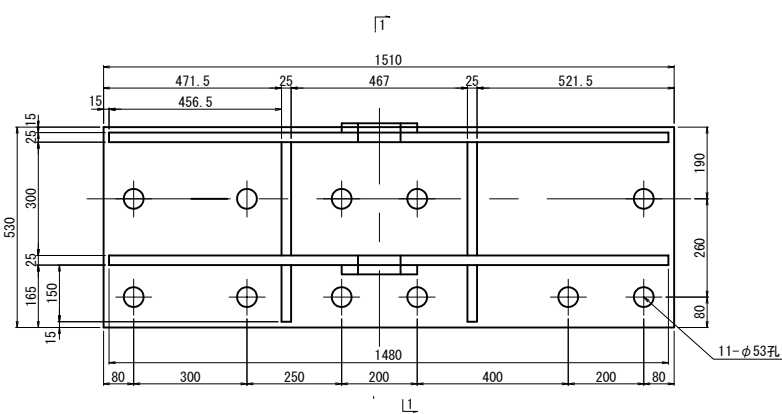
P13橋脚上り線 (GAR)



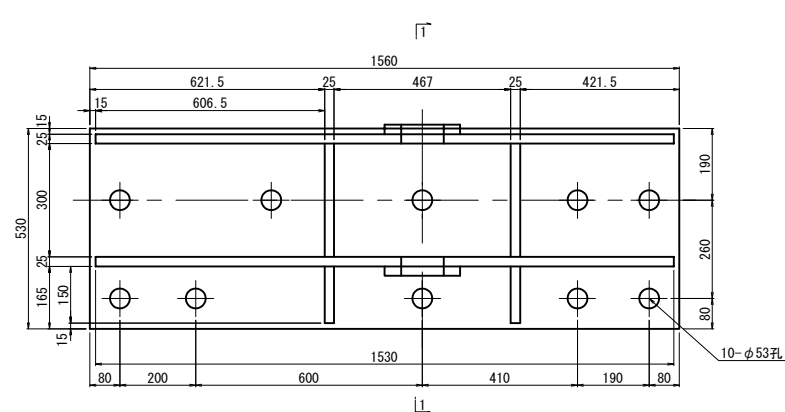
P13橋脚上り線 (GBR)



P14橋脚上り線 (GAR)



P14橋脚上り線 (GBR)



	P13橋脚上り線			
	GAL	GAR	GBL	GBR
LL1	1560	1360	1560	1550
LL2	1530	1330	1530	1520
LL3	421.5	481.5	521.5	961.5
LL4	621.5	361.5	521.5	71.5
n	11	10	12	10

	P14橋脚上り線			
	GAL	GAR	GBL	GBR
LL1	1820	1510	1460	1560
LL2	1790	1480	1430	1530
LL3	1131.5	521.5	451.5	421.5
LL4	171.5	471.5	491.5	621.5
n	11	11	10	10

ブラケット1基当り (製作数:各1)

- 2-PL 306x25x406 (SM490A)
- 2-PL 476x25xLL2 (SM490A)
- 2-PL 260x25x300 (SM490A)
- 2-PL 150x25x260 (SM490A)
- 1-PL 530x22xLL1 (SM490A)
- n-Anc Bolt D51x1395 (SD345)
- n-1種 Nut M48用 (SS400)
- n-3種 Nut M48用 (SS400)
- n-Washer M48用 (SS400)

注記:

- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
- ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
- 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)					全8組
名 称		規 格	単位	数量	摘 要
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	許容耐力2242KN L=L1mm	本	1	PC鋼より線、ポリエチレン被覆	SOM435、ネジきり標準 ケーブルに組込
	許容耐力2242KN 標準	個	2		
	許容耐力2242KN 700mm	本	1	ポリエチレン ケーブルに組込	
ナット	許容耐力2242KN	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)	
止めプレート	許容耐力2242KN	個	1	SS400、亜鉛めっき (HDZ55)	
スプリング	許容耐力2242KN L=400	個	1	SW-C、亜鉛めっき、クロメート処理	
異型緩衝具	許容耐力2242KN	個	1	SS400、亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム	
偏向具 (取付ボルト)	許容耐力2242KN	個	1	ポリエチレン	
保護キャップ ブラケットピン 止めナット ワッシャー アイバー フォークエンド エンドピン (止めプレート)	M16x55 1W付	本	16	SS400相当品、亜鉛めっき (HDZ35) 接着剤付	
	許容耐力2242KN	組	1	ポリエチレン:6-止めビス付	
	許容耐力2242KN	本	1	SOM435、ダクロダイズ処理、DMコート	
	許容耐力2242KN	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)	
	許容耐力2242KN	個	2	SS400、亜鉛めっき (HDZ55)	
	許容耐力2242KN	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)	
ユニバサルシステム	許容耐力2242KN	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)	
	許容耐力2242KN	本	1	SOM435、ダクロダイズ処理、DMコート	
	許容耐力2242KN	個	1	SS400、亜鉛めっき	

保護チューブはぎ取り

設計地震力	1996kN
設計遊間量	250mm
許容耐力	2242kN

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

東山田高架橋(上下線) 段差防止構造詳細図

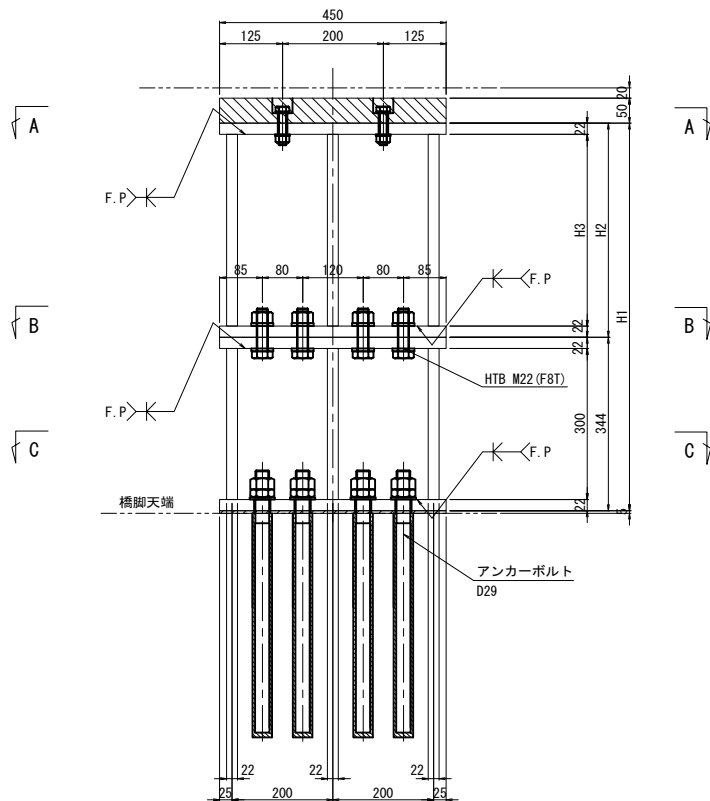
S=1:15

段差防止構造M 鋼製ブラケットA

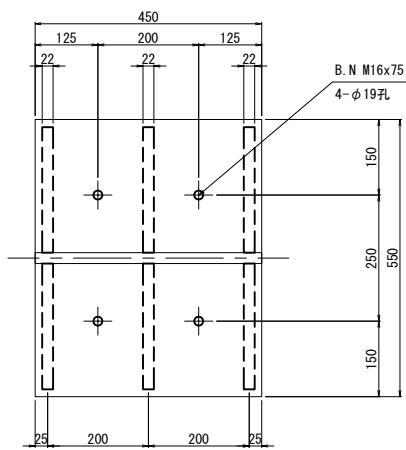
上下P13, P14橋脚 製作数: 各4

正面図

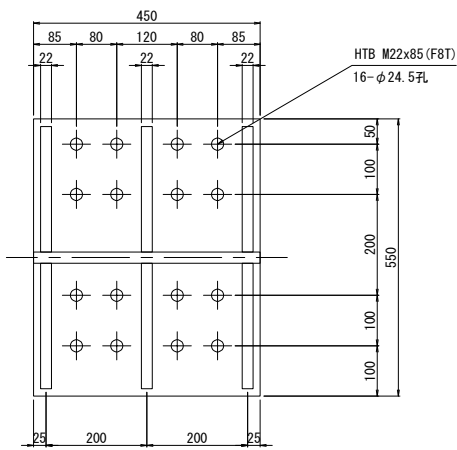
D - D



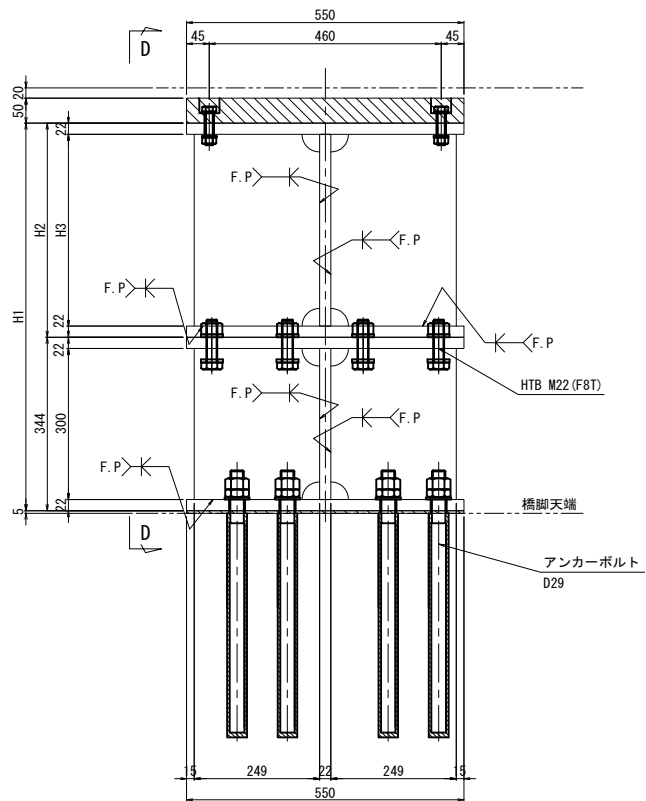
A - A



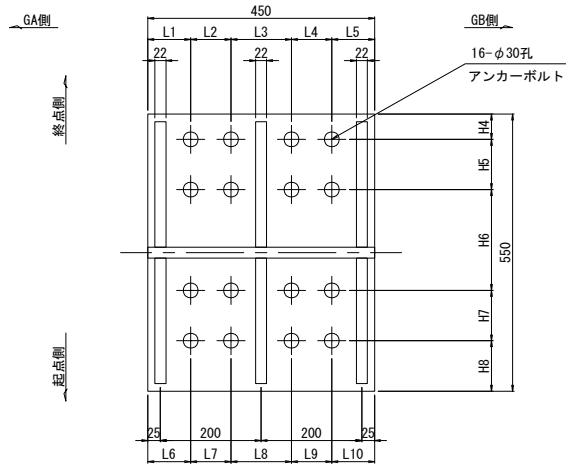
B - B



側面図

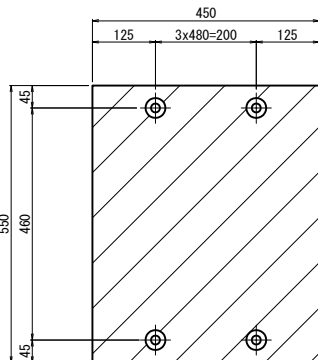
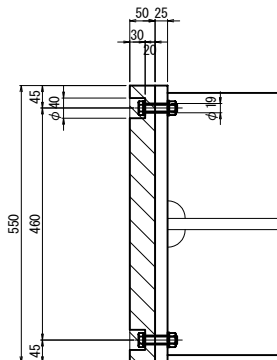


C - C



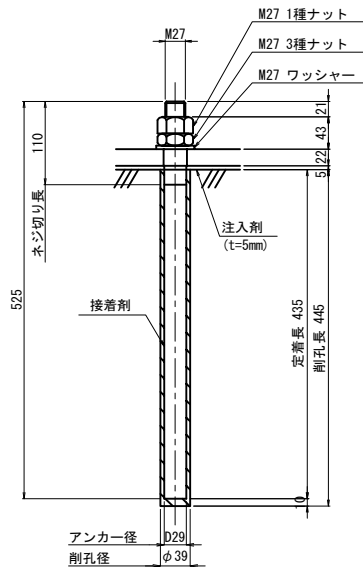
- 1箇所当り:
- 2-FLG PL 550x22x450
 - 1-WEB PL H3x22x450
 - 6-R1B PL 249x22xH3
 - 2-FLG PL 550x22x450
 - 1-WEB PL 300x22x450
 - 6-R1B PL 249x22x300
 - 16-HTB M22x85 (F8T)
 - 16-ANC D29x525 (SD345)
 - 16-NUT M27 (1種) (SS400)
 - 16-NUT M27 (3種) (SS400)
 - 16-平座金 M27 (SS400)
- ※ 1-緩衝材 500x50x450 (クロロブレンゴム、硬度55° ±5° 程度)
- 4-BN M16x70 (SS400) (1-Uナット、2-W付)

緩衝材詳細図

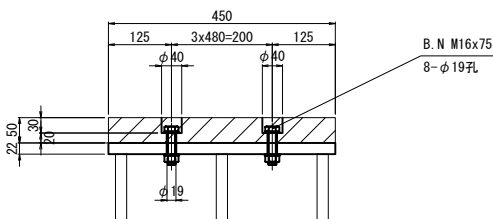


段差防止構造M

アンカーエφ39・445(下方向) S=1:10



- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。



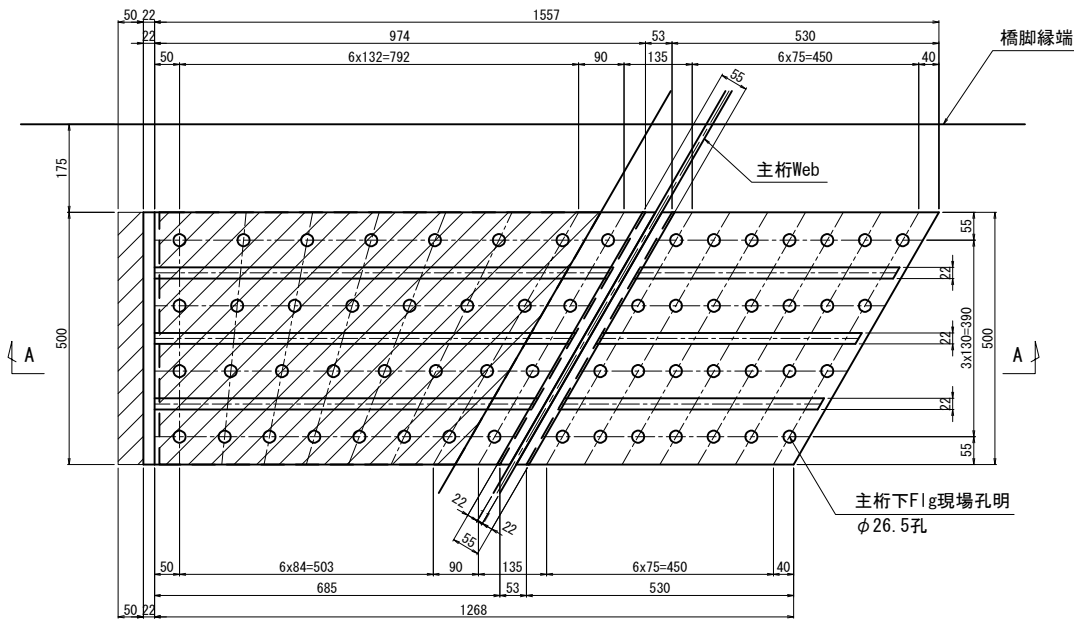
		P13橋脚				P14橋脚			
		GAL	GAR	GBL	GBR	GAL	GAR	GBL	GBR
上り線	L1	75	75	75	75	70	75	75	75
	L2	90	90	90	90	60	90	90	90
	L3	110	110	110	110	140	140	140	140
	L4	90	90	90	90	60	60	60	60
	L5	85	85	85	85	120	120	120	120
	L6	95	95	95	95	85	85	85	85
	L7	70	70	70	70	90	90	90	90
	L8	130	130	130	130	110	110	110	110
	L9	70	70	70	70	85	85	85	85
	L10	85	85	85	85	80	80	80	80
下り線	H1	690	697	583	589	681	675	630	623
	H2	346	353	239	245	337	331	286	279
	H3	302	309	195	201	293	287	242	235
	H4	50	50	50	50	75	75	75	75
	H5	100	100	100	100	100	100	100	100
	H6	200	200	200	200	200	200	200	200
	H7	100	100	100	100	100	100	100	100
	H8	100	100	100	100	75	75	75	75
	L1	75	75	75	75	85	85	85	85
	L2	75	75	75	75	80	80	80	80
下り線	L3	125	125	125	125	120	120	120	120
	L4	75	75	75	75	80	80	80	80
	L5	100	100	100	100	85	85	85	85
	L6	90	90	90	90	100	75	75	75
	L7	85	85	85	85	65	90	90	90
	L8	110	110	110	110	140	110	110	110
	L9	90	90	90	90	60	90	90	90
	L10	75	75	75	75	85	85	85	85
	H1	769	773	648	653	674	678	554	559
	H2	425	429	304	309	330	334	210	215
下り線	H3	381	385	260	265	286	290	166	171
	H4	50	50	50	50	75	75	75	75
	H5	100	100	100	100	100	100	100	100
	H6	200	200	200	200	200	200	200	200
	H7	100	100	100	100	100	100	100	100
	H8	100	100	100	100	75	75	75	75
	H9	100	100	100	100	75	75	75	75
	H10	100	100	100	100	75	75	75	75

- 注記:
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 - ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

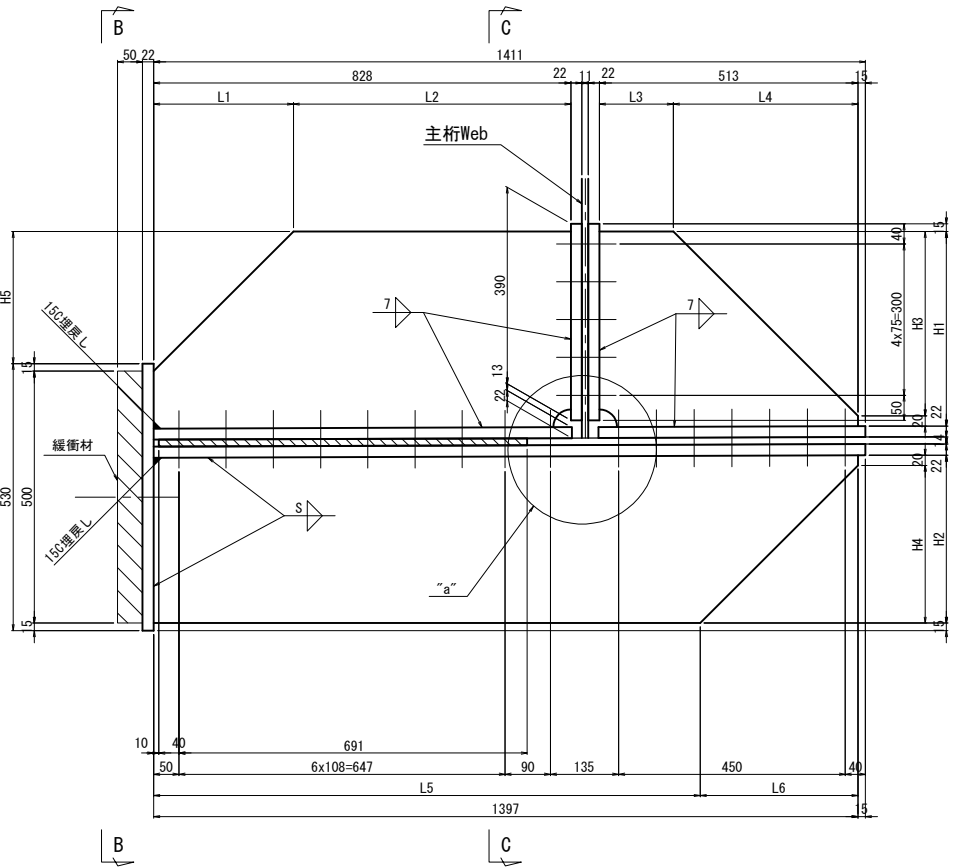
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上下線) 段差防止構造詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

横変位拘束構造M 鋼製ブラケットA
上り線P13, P14橋脚

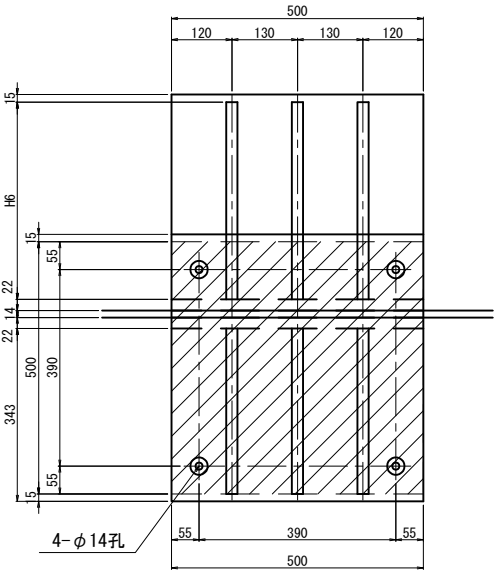
平面図



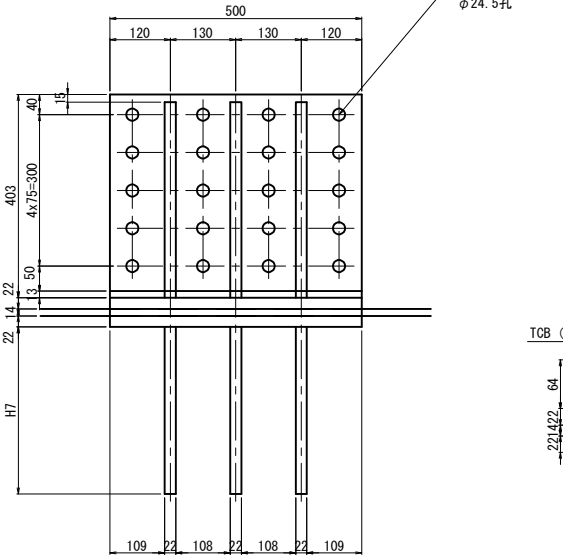
A - A



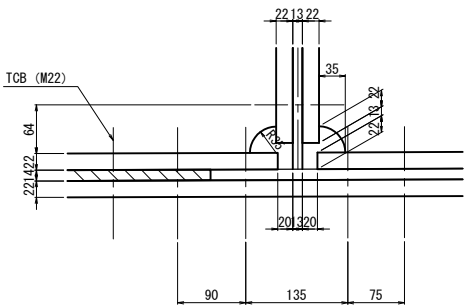
B - B



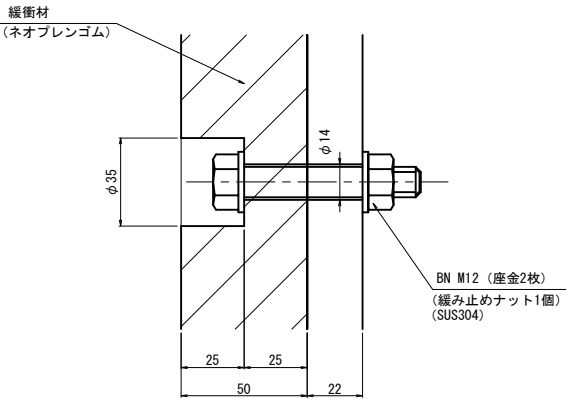
C - C



“a”部詳細図 S=1:10



緩衝材取付図 S=1:3



	L1	L2	L3	L4	L5	L6	H1	H2
(上り線) P13	278	550	148	365	1083	314	385	334
(上り線) P14	278	550	148	365	1075	322	386	334

	H3	H4	H5	H6	H7	S
(上り線) P13	365	314	278	392	331	9
(上り線) P14	366	314	278	395	335	7

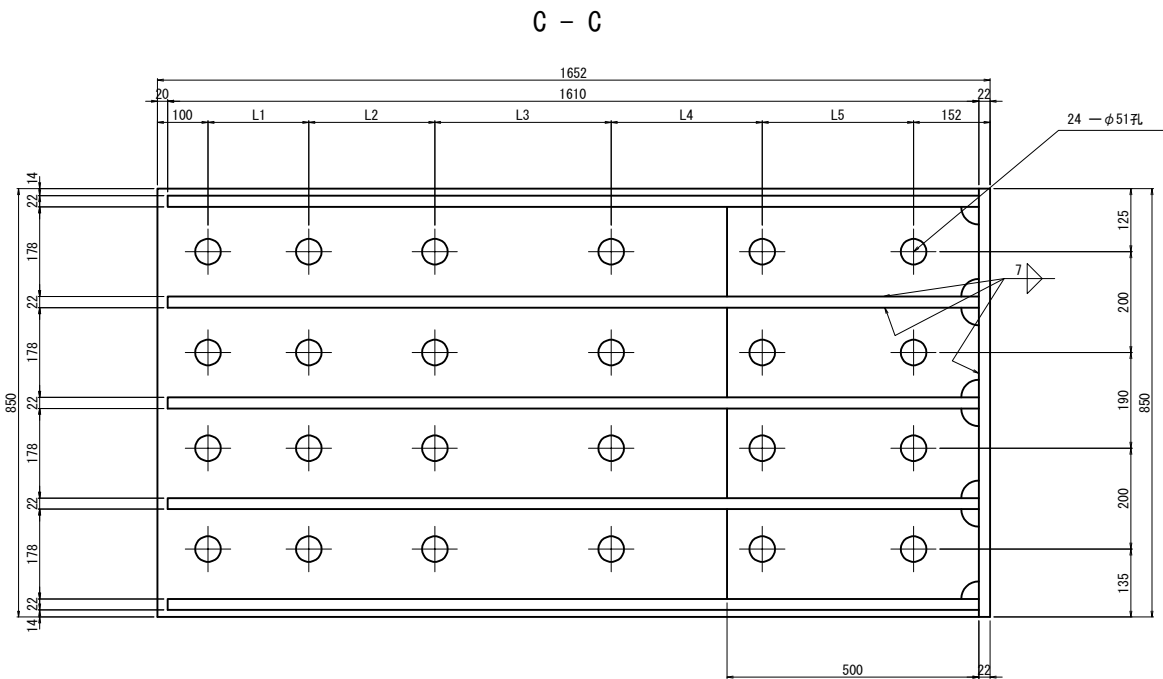
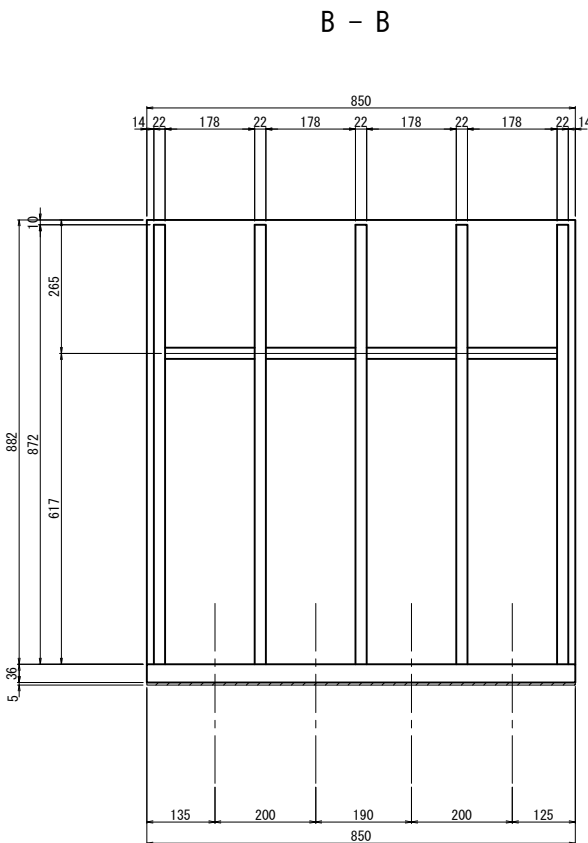
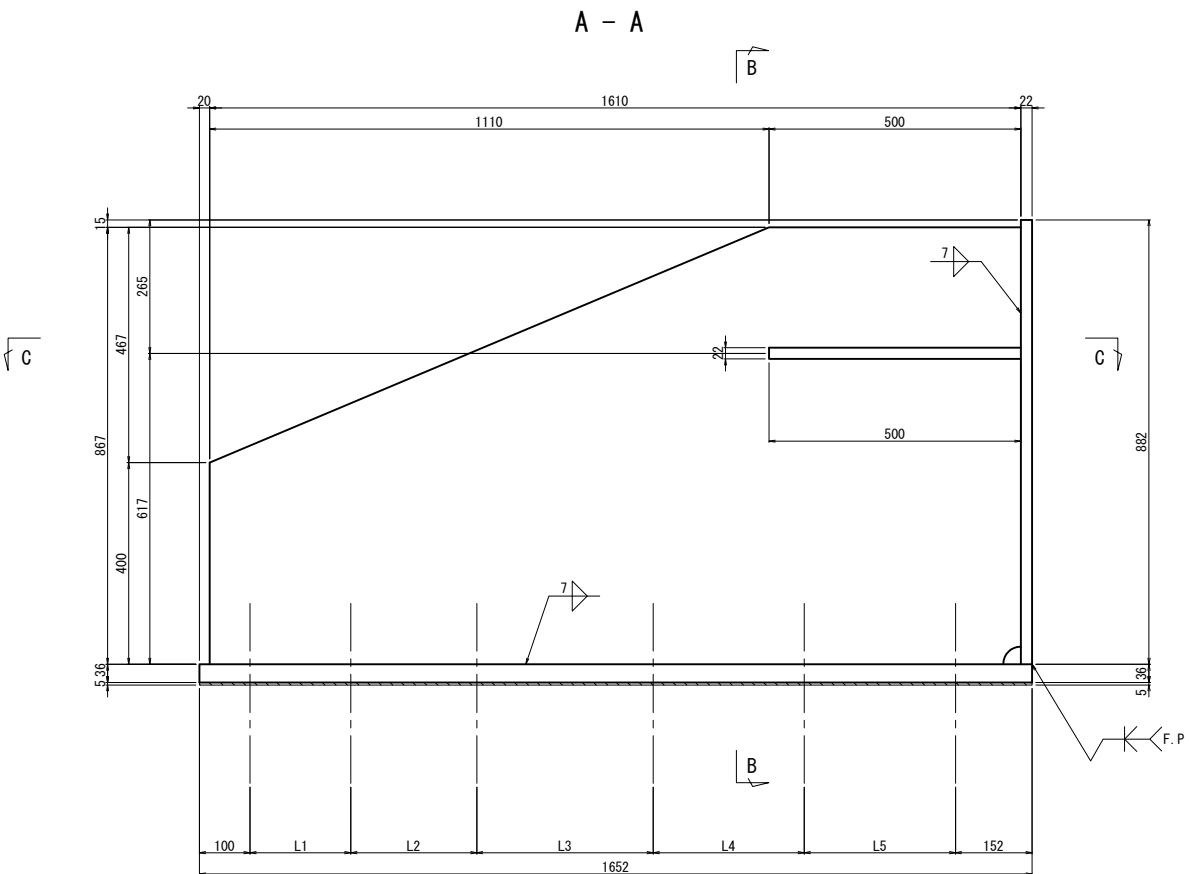
1箇所当り：(製作数：各1組)

- 箱外側材料
- 1-PL 530x22x500
 - 1-PL 390x22x500
 - 1-PL 974x22x500
 - 1-PL 1557x22x500
 - 1-Rib PL 905x22xH6
 - 1-Rib PL 830x22xH6
 - 1-Rib PL 755x22xH6
 - 1-Rib PL 1472x22xH2
 - 1-Rib PL 1397x22xH2
 - 1-Rib PL 1322x22xH2
 - 1-FILL PL 876x14x500
 - 1-ゴム 500x50x500 (ネオブレンゴム)
 - 4-BN M12x70 (1-Uナット、2-ワ付) (SUS304)
 - 60-TCB M22x95 (S10T)
- 箱内側材料
- 1-PL 390x22x500
 - 1-PL 819x22x500
 - 3-Rib 515x22xH1
 - 20-TCB M22x95 (S10T)

- 注記：
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 横変位拘束構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

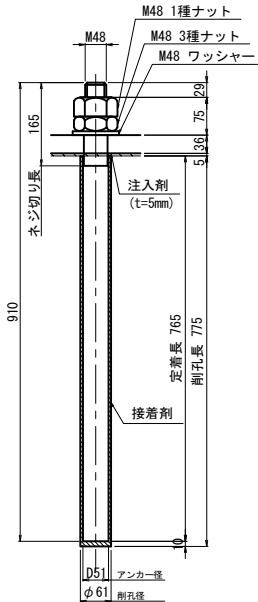
横変位拘束構造M 鋼製ブラケットB
上り線P13, P14橋脚



1箇所当り (製作数: 2箇所)
1-BASE PL 1652x36x850 (SM490YB)
1-WEB PL 850x22x882
5-RIB PL 1610x22x867
4-RIB PL 178x22x500
24-ANC D51x910 (SD345)
24-Nut M48 (1種) (SS400)
24-Nut M48 (3種) (SS400)
24-Washer M48用 (SS400)

		L1	L2	L3	L4	L5
上り線	P13橋脚	200	250	350	300	300
	P14橋脚	150	300	300	350	300

横変位拘束構造M
アンカーエ φ61・775(下方向)



- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はテッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。

- 注記:
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 4. ※印以外の部材は、全て溶融垂鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)
 5. 「F.P.」の表示のある箇所は、完全溶込み溶接を用いる。

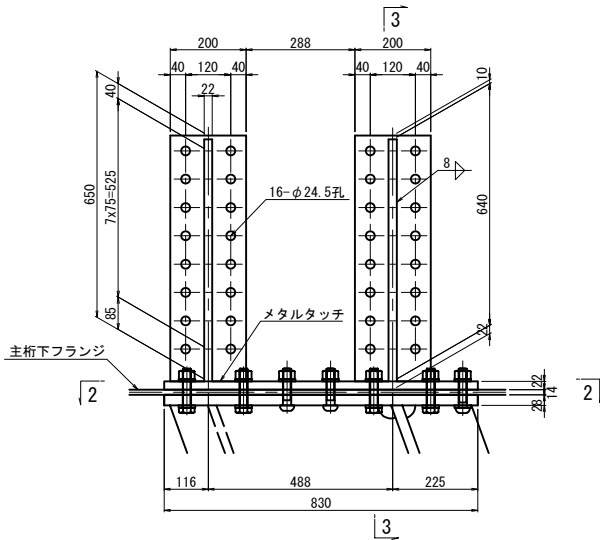
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 横変位拘束構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上部工補強工C

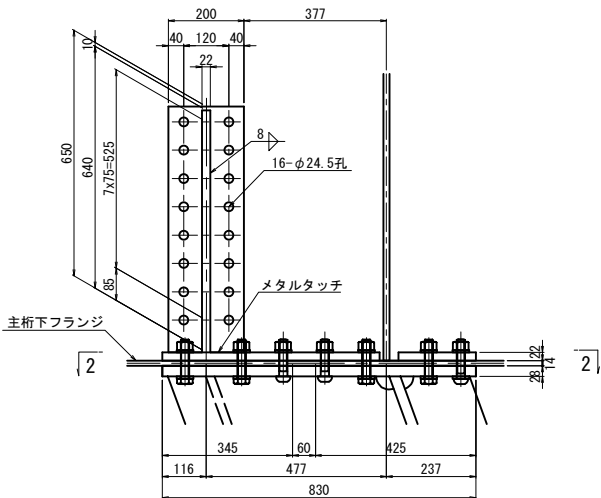
P13, P14橋脚

1 - 1

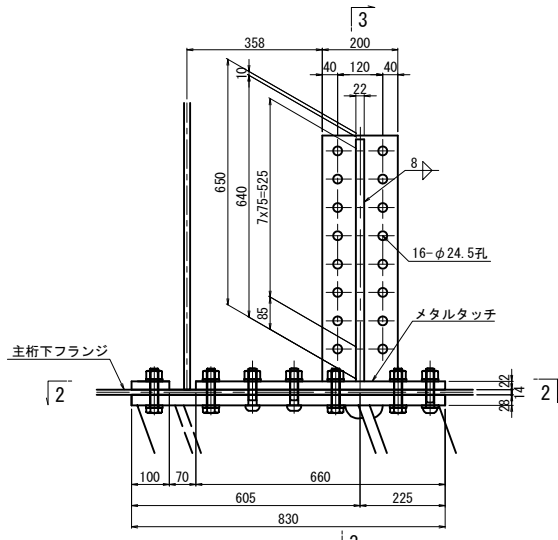
上り線 P13橋脚 GAR, GBR
上り線 P14橋脚 GAL, GAR, GBL



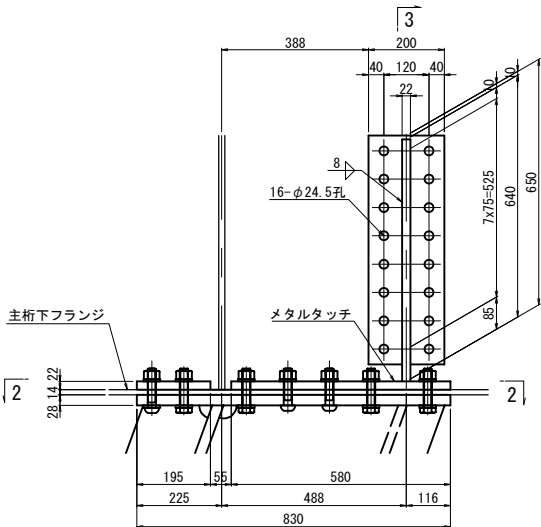
上り線 P13橋脚 GAL



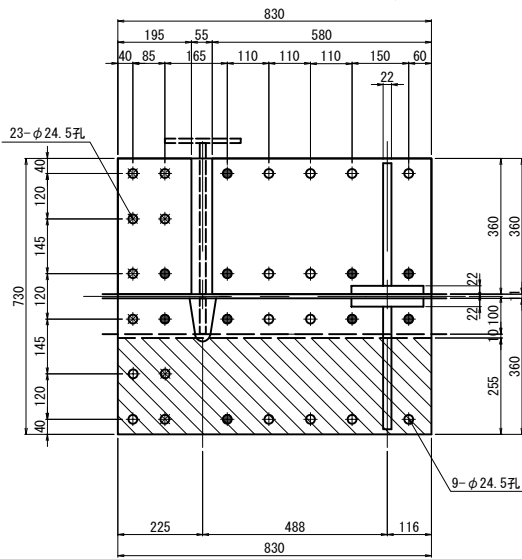
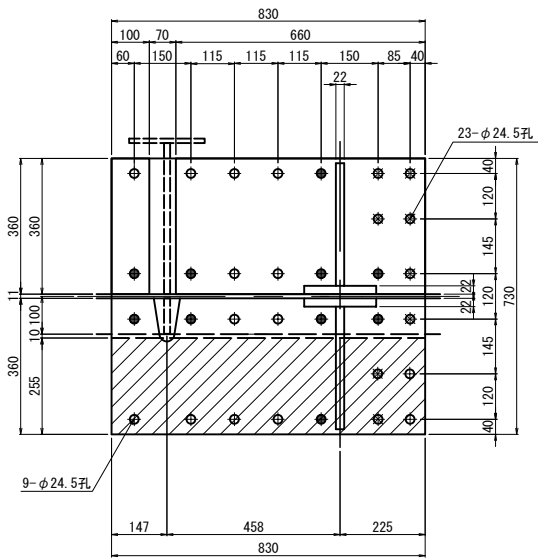
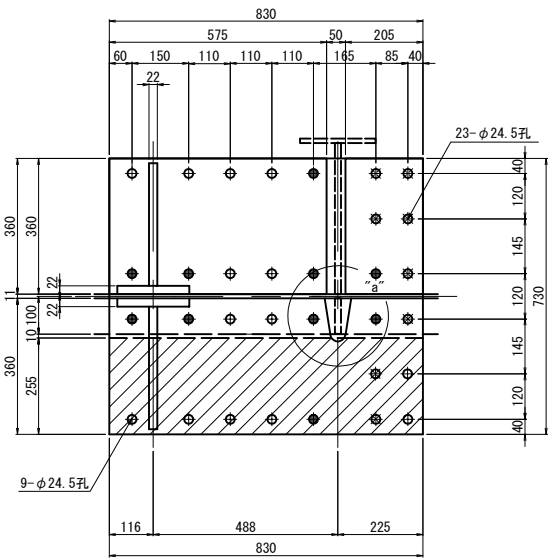
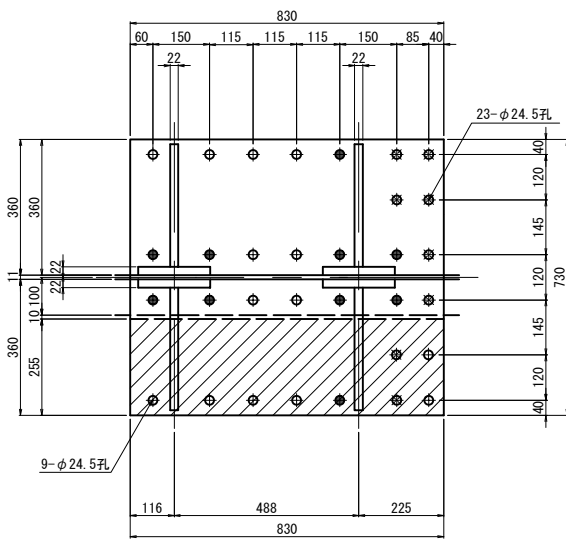
上り線 P13橋脚 GBL



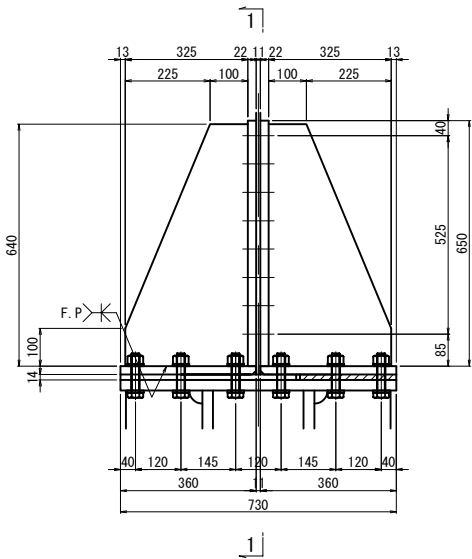
上り線 P14橋脚 GBR



2 - 2



3 - 3



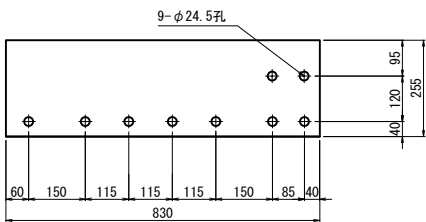
ブラケット1基当り(製作数:各1)
2-PL 360x22x830
4-PL 325x22x640
4-PL 200x22x650
32-TGB M22x90(S10T)
1-Fill PL 255x14x830(SS400)

ブラケット1基当り(製作数:1)
1-PL 360x22x575
1-PL 360x22x205
1-PL 360x22x830
2-PL 325x22x640
2-PL 200x22x650
16-TGB M22x90(S10T)
1-Fill PL 255x14x830(SS400)

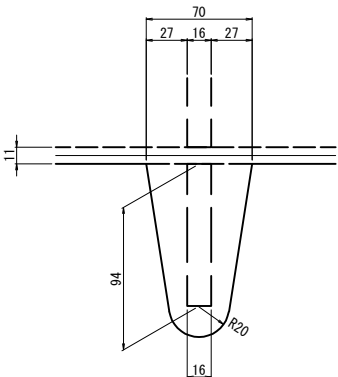
ブラケット1基当り(製作数:1)
1-PL 360x22x100
1-PL 360x22x660
1-PL 360x22x830
2-PL 325x22x640
2-PL 200x22x650
16-TGB M22x90(S10T)
1-Fill PL 255x14x830(SS400)

ブラケット1基当り(製作数:1)
1-PL 360x22x580
1-PL 360x22x195
1-PL 360x22x830
2-PL 325x22x640
2-PL 200x22x650
16-TGB M22x90(S10T)
1-Fill PL 255x14x830(SS400)

フィラープレート詳細図



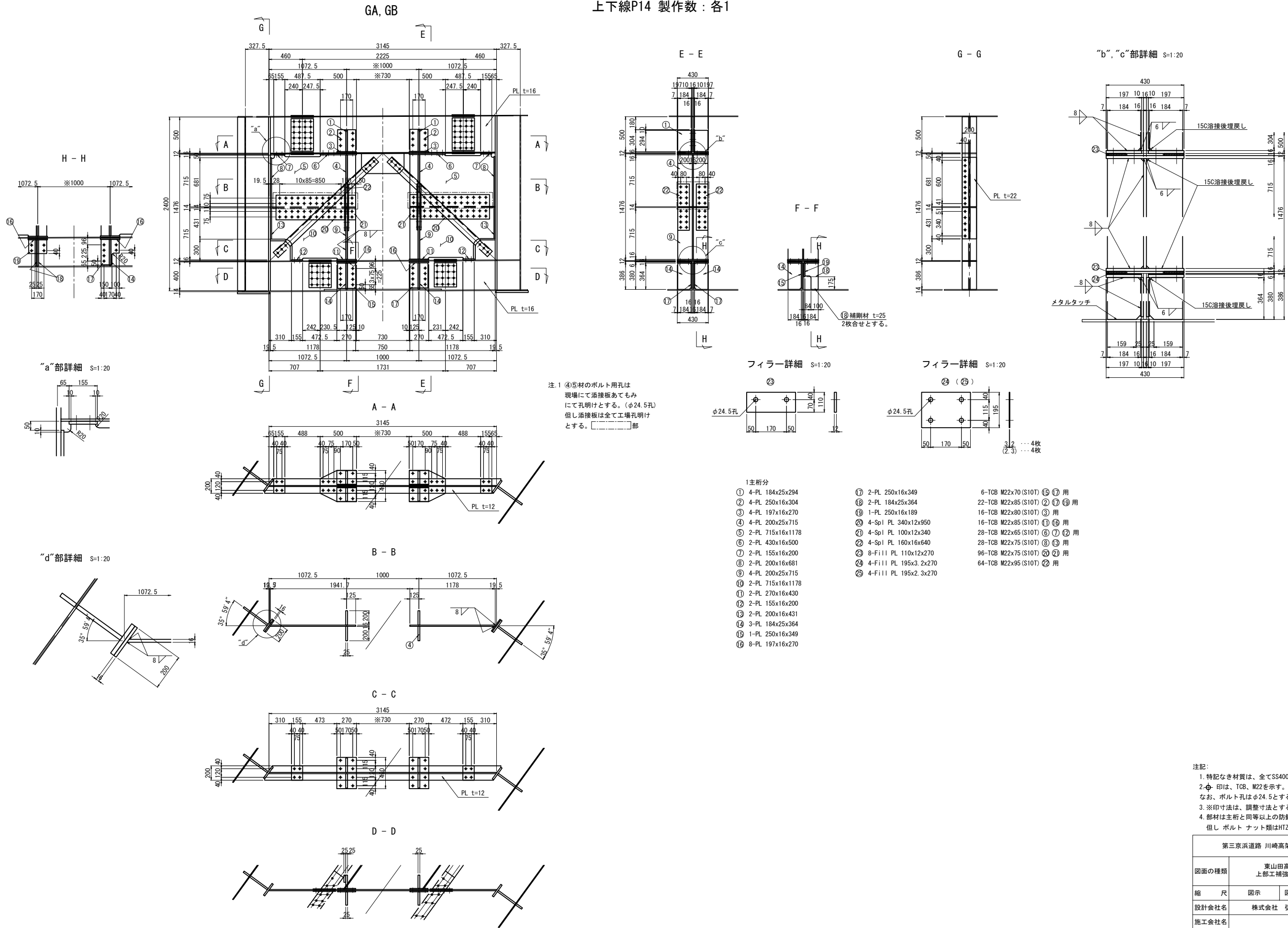
"a"部詳細図 S=1:5



- 注記:
- 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 - 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 - 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 印のボルトは、TGB M22を示す。
※ 印のボルトは、TGB M22 (2-W付)を示す。
◆ 印のボルトは、HTB M22を示す。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 上部工補強工詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

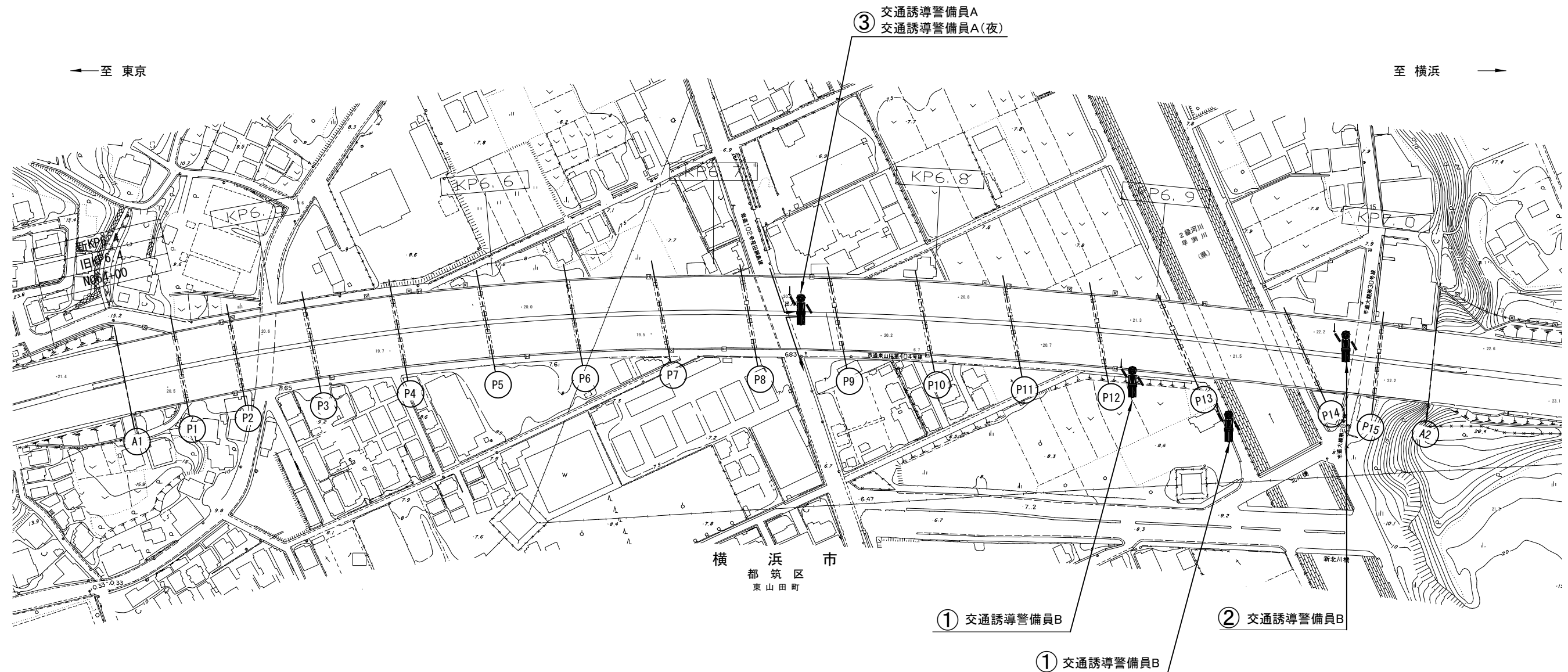
上部工補強工D
上下線P14 製作数：各1



注記:
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 印は、TCB、M22を示す。
なお、ボルト孔はφ24.5とする。
3. ※印寸法は、調整寸法とする。
4. 部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上下線) 上部工補強工詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

東山田高架橋 附帯工

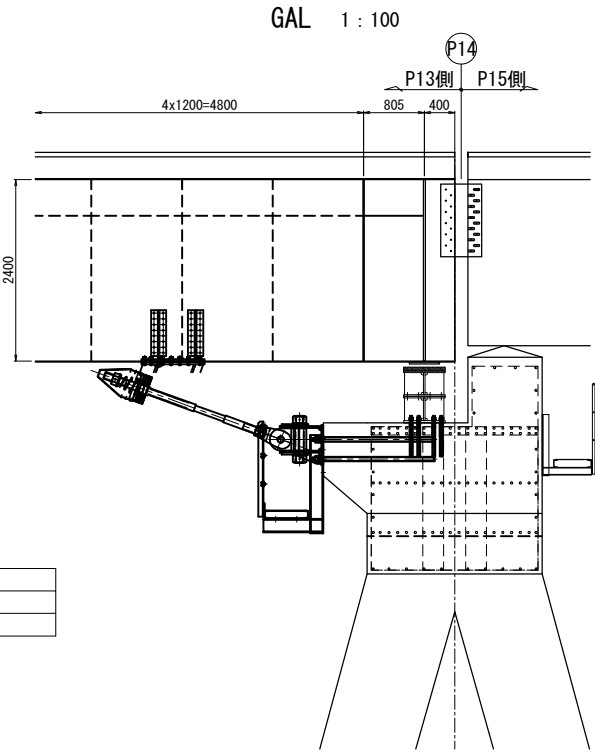
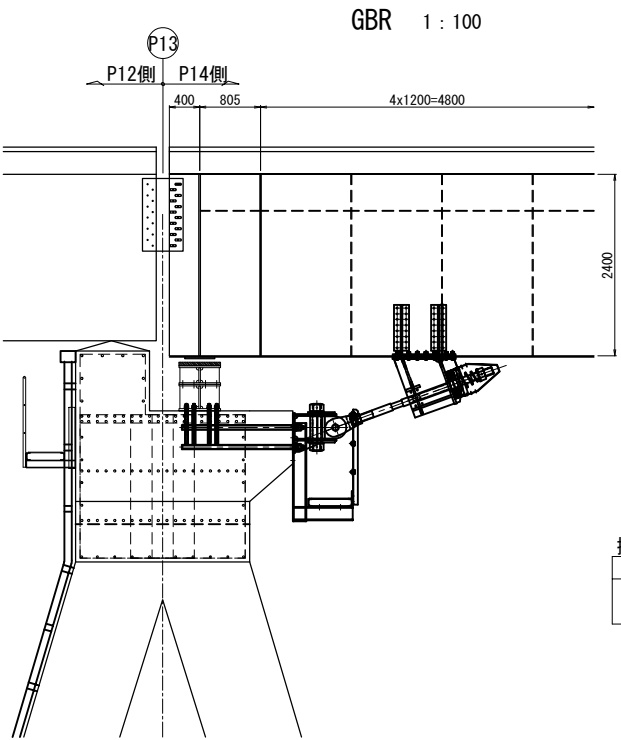
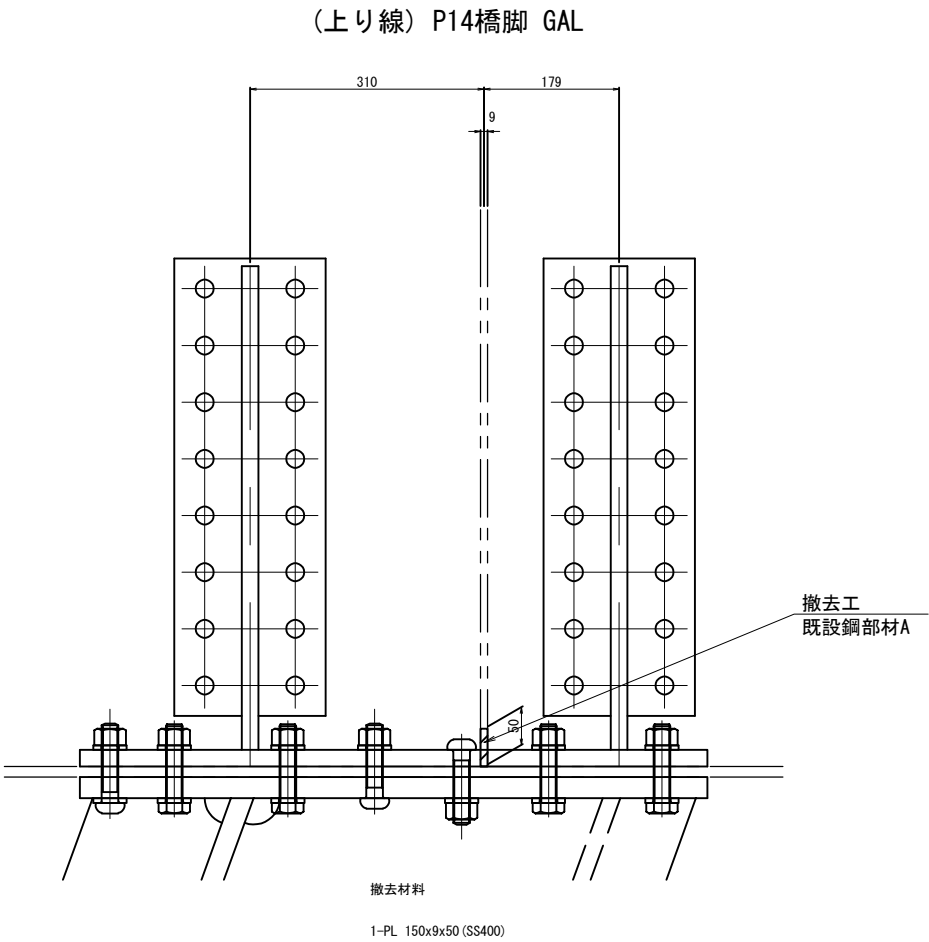
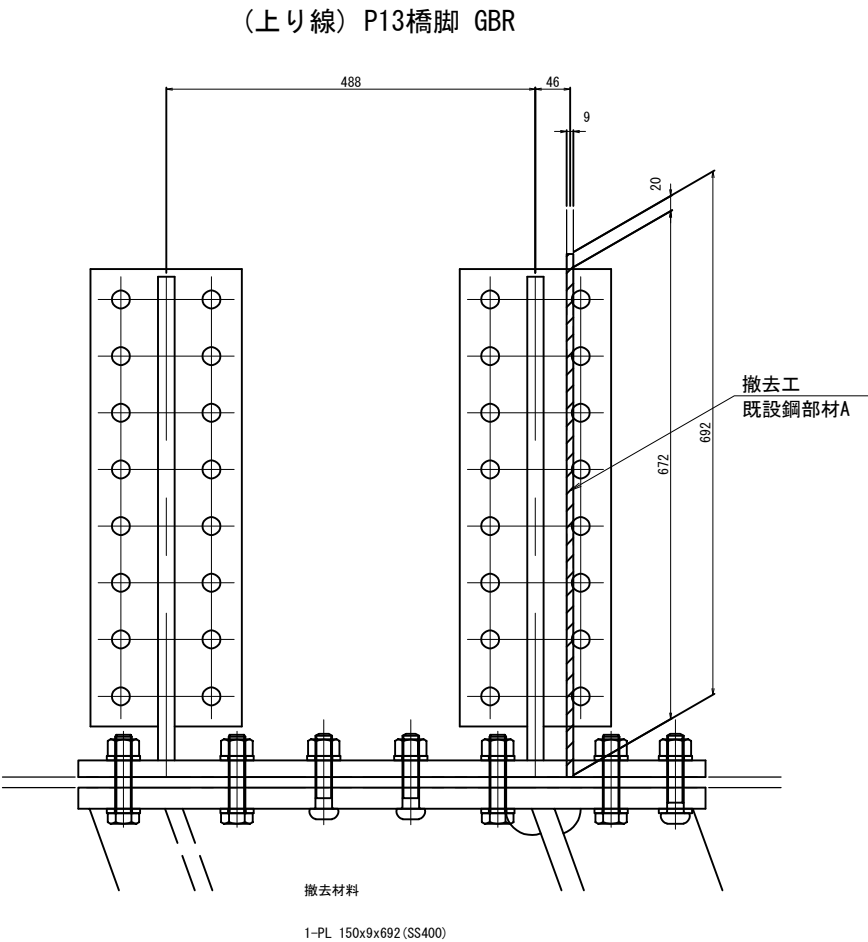


交通保安要員の配置

配置場所		交通保安要員の種別	配置人数	交替要員
① 市道東山田第404号線 ・一般道規制(東山田高架橋P13)足場施工時	・規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人
② 市道大柵第30号線 ・施工時(東山田高架橋P14)	・工事用車両出入口	交通誘導警備員B	1人	-
③ 県道102号荏田綱島線 ・東山田高架橋下仮置き場	・工事用車両出入口	交通誘導警備員A	1人	-
		交通誘導警備員A(夜)	1人	-

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋 附帯工		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路 株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

撤去工 既設鋼部材A
P13, P14橋脚



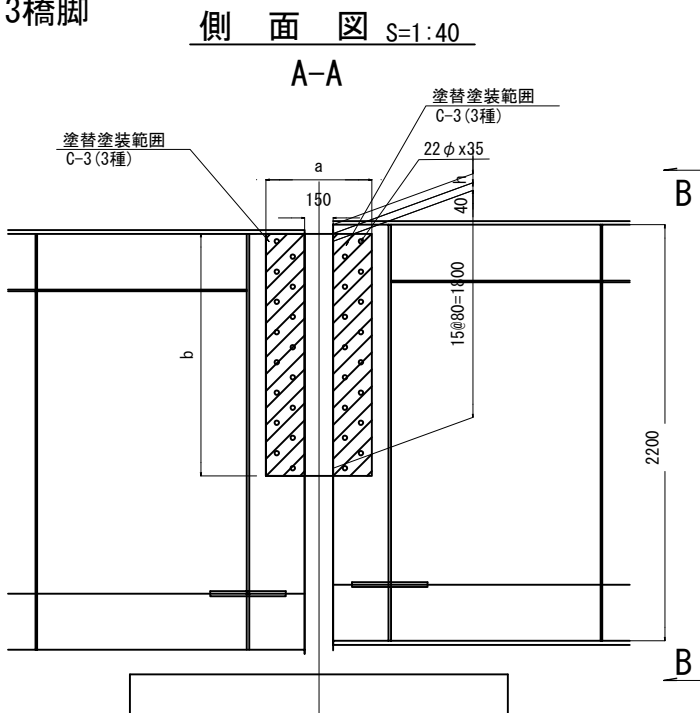
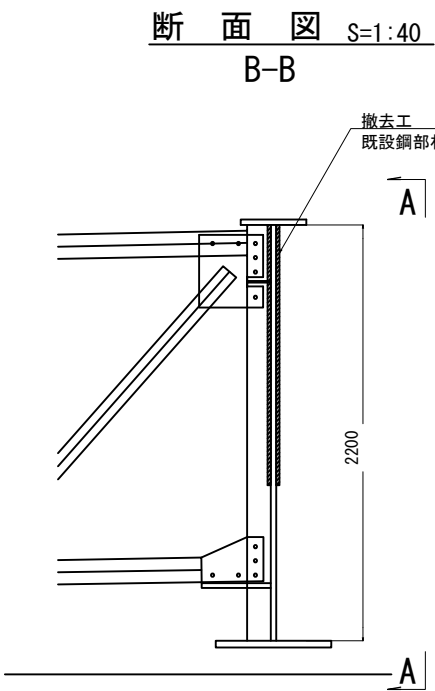
撤去工 数量表

項目	単位	数量	摘要
既設鋼部材A	t	0.007	AP13
		0.001	AP14

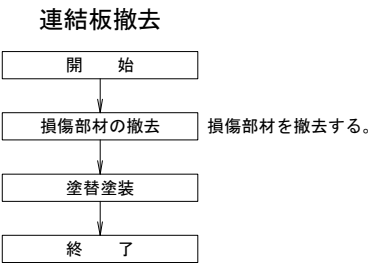
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 垂直補剛材撤去図			
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

東山田高架橋（下り線）連結板撤去詳細図

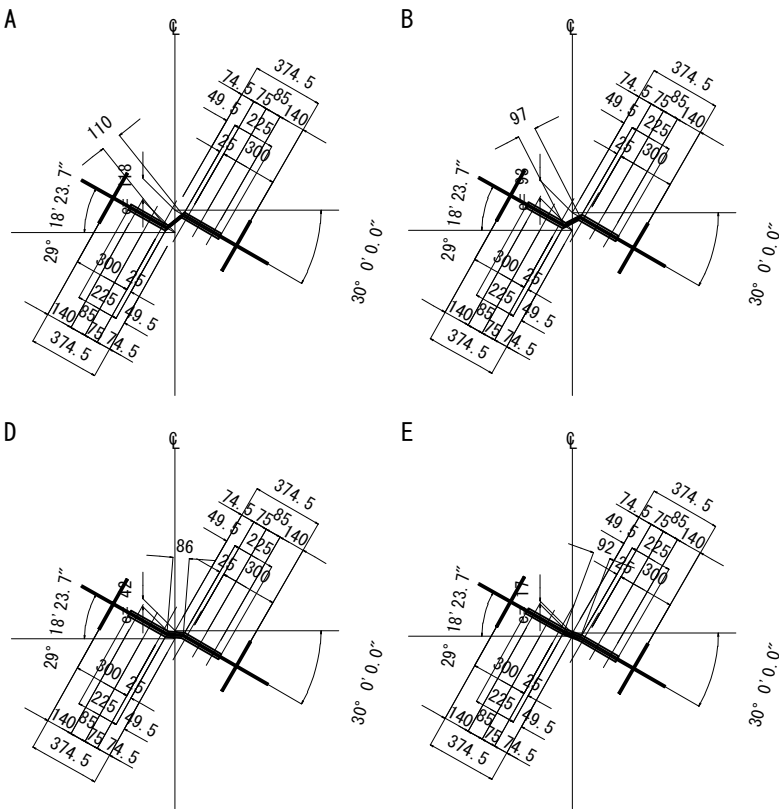
撤去工 既設鋼部材C
P13橋脚



施工手順（参考）

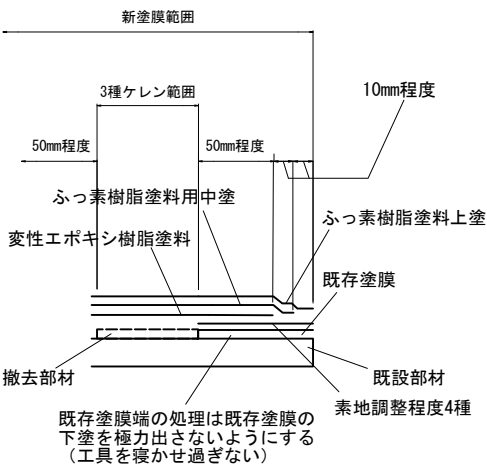


平面図 S=1:40



- 撤去部材
- A 2-PL 560x11x1280 (SM490B)
32-ボルト 22φ×35
 - B 2-PL 547x11x1280 (SM490B)
32-ボルト 22φ×35
 - D 2-PL 536x11x1280 (SM490B)
32-ボルト 22φ×35
 - E 2-PL 542x11x1280 (SM490B)
32-ボルト 22φ×35

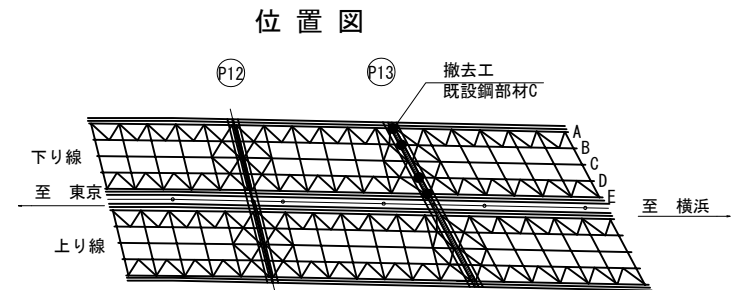
塗装境界部詳細図 S=1:5



<注記>
1: 補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。

下り線

橋脚	番号	θ1	θ2	e	h	a×b
P13	A	29 18 23.7	30 00 00.0	118	1	560×1280
	B			93	23	550×1280
	C			42	68	540×1280
	D			17	91	545×1280
	E					



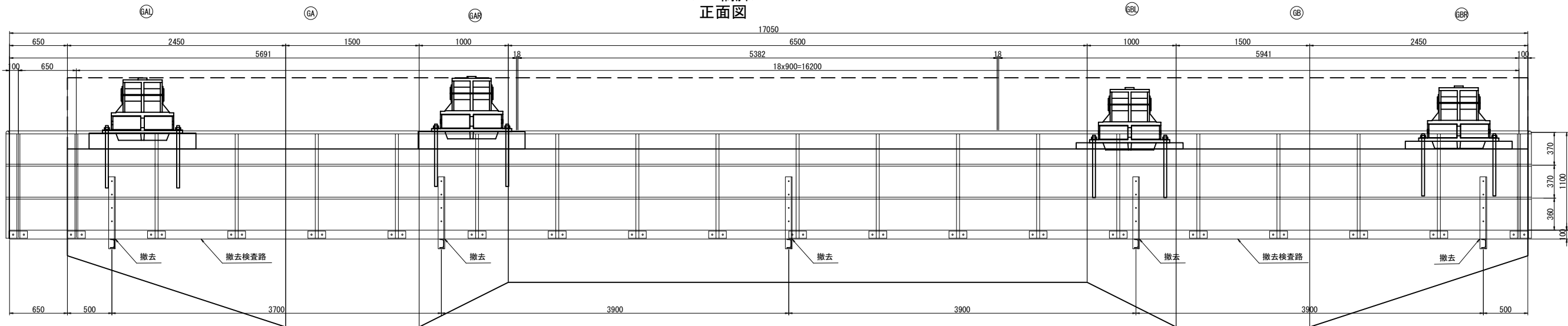
撤去工 数量表

項目	単位	数量	摘要
既設鋼部材C	t	0.241	

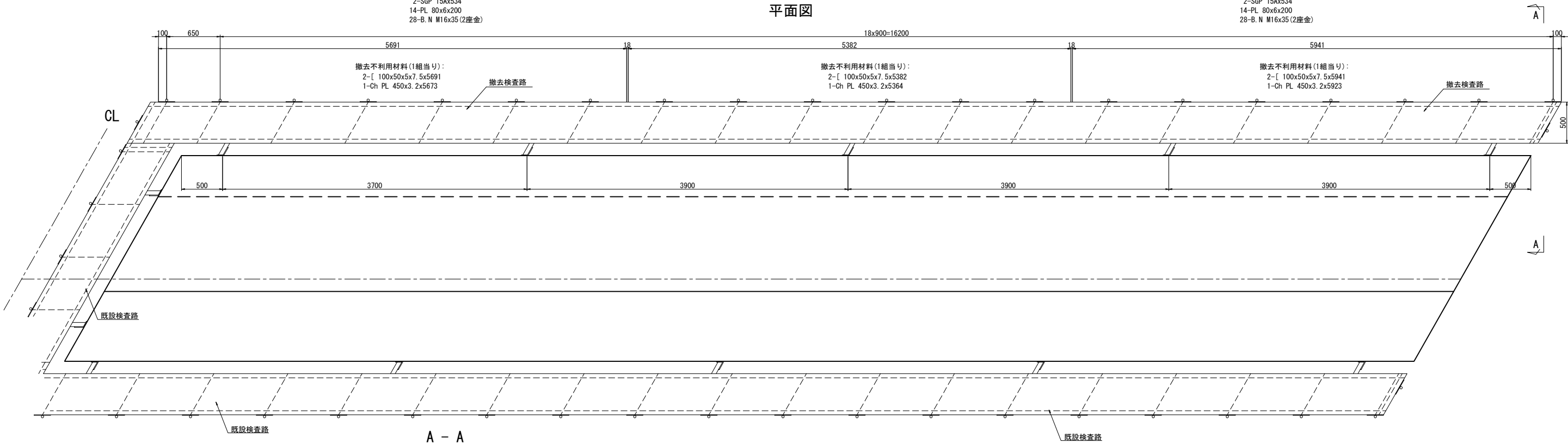
BP13

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋（下り線） 連結板撤去詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 櫻エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

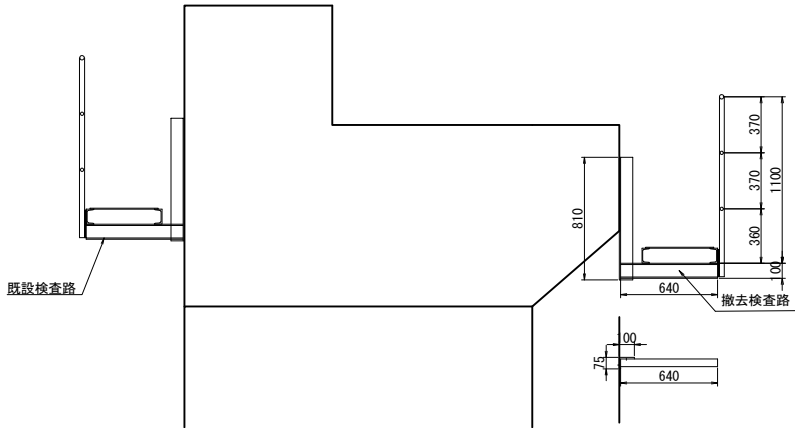
撤去工 検査路B
<P13橋脚>
正面図



平面図



A - A



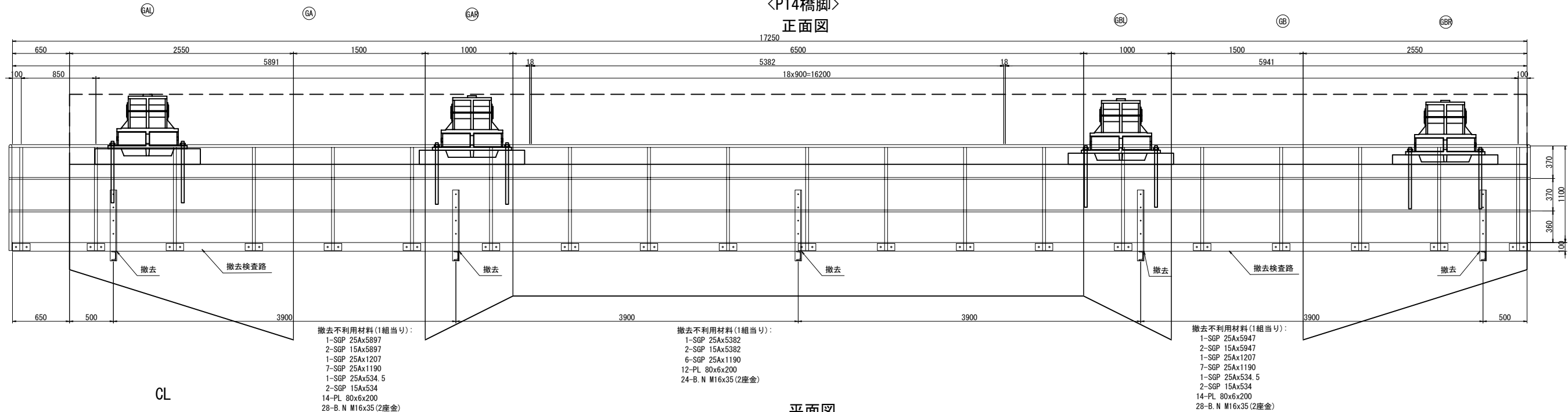
撤去工 数量表				AP13
項目	単位	数量	摘要	
検査路B	kg	785.0		

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

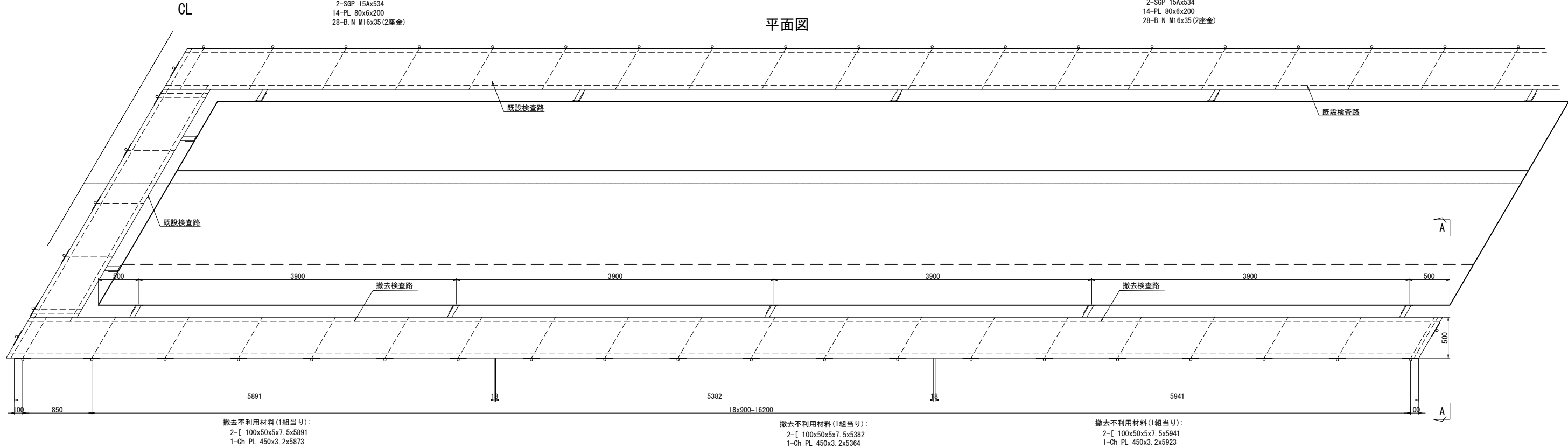
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

撤去工 検査路B
<P14橋脚>

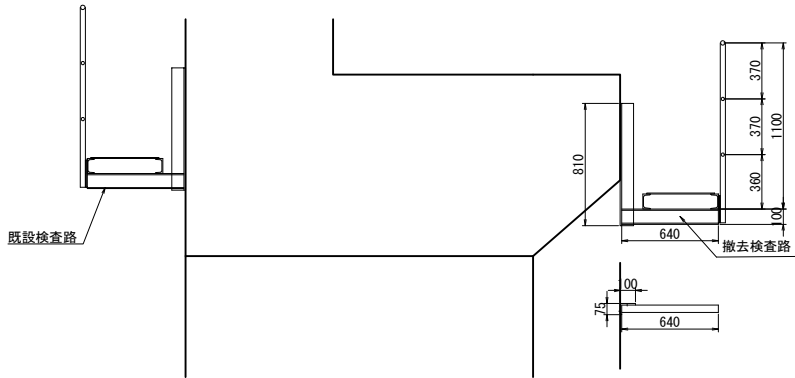
正面図



平面図



A - A



撤去工 数量表

項目	単位	数量	摘要
検査路B	kg	790. 0	

AP14

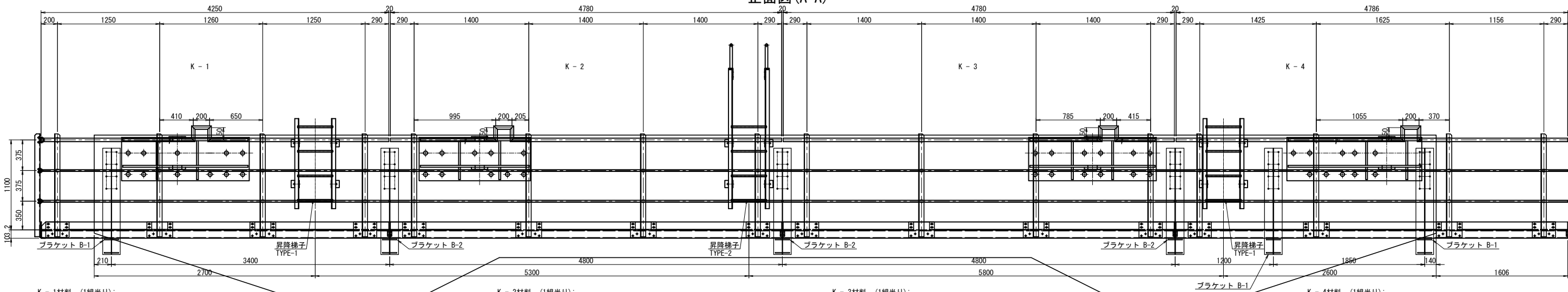
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

検査路B

<P13橋脚>

正面図 (A-A)



K - 1材料 (1組当り):

1-PIPE φ42.7x2.3x1881 (STK400)
2-PIPE φ42.7x2.3x193 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x243 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x2211 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x4250 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
2-PL 190x12x315 (SM400A)

1-PL 90x3.2x1348
1-PL 90x3.2x1065
1-PL 90x3.2x1443
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C
16-BN M16x45 (2-W付)
16-BN M10x35 (2-W付)

K - 1材料 (1組当り):

1-CH PL 1000x3.2x1429
1-CH PL 1000x3.2x1258
1-CH PL 1000x3.2x1514
1-CH 100x50x5x7.5x4250
1-CH 100x50x5x7.5x980
1-CH 100x50x5x7.5x635
1-CH 100x50x5x7.5x110
4-CH 100x50x5x7.5x150
1-CH 100x50x5x7.5x350
1-CH 100x50x5x7.5x3150

1-CH 100x50x5x7.5x165
4-L 50x50x6x1030
1-L 75x75x6x930
1-FB 90x9x970
1-FB 90x9x930
3-FB 90x9x1030
49-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 160x9x920 (SM400A)
1-PL 60x9x920 (SM400A)

K - 2材料 (1組当り):

1-PIPE φ42.7x2.3x1306 (STK400)
2-PIPE φ42.7x2.3x193 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x243 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x3316 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x4780 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
2-PL 190x12x315 (SM400A)

2-PL 90x3.2x1593
1-PL 90x3.2x1205
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C
16-BN M16x45 (2-W付)
16-BN M10x35 (2-W付)

K - 2材料 (1組当り):

2-CH PL 1000x3.2x1664
1-CH PL 1000x3.2x1398
1-CH 100x50x5x7.5x4780
2-CH 100x50x5x7.5x165
2-CH 100x50x5x7.5x150
1-CH 100x50x5x7.5x4550
4-L 50x50x6x1030
2-L 75x75x6x930

K - 3材料 (1組当り):

1-PIPE φ42.7x2.3x3896 (STK400)
2-PIPE φ42.7x2.3x193 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x243 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x726 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x4780 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
2-PL 190x12x315 (SM400A)

2-PL 90x3.2x1593
1-PL 90x3.2x1205
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C
16-BN M16x45 (2-W付)
16-BN M10x35 (2-W付)

K - 3材料 (1組当り):

2-CH PL 1000x3.2x1664
1-CH PL 1000x3.2x1398
1-CH 100x50x5x7.5x4780
2-CH 100x50x5x7.5x165
2-CH 100x50x5x7.5x150
1-CH 100x50x5x7.5x4550
4-L 50x50x6x1030
2-L 75x75x6x930

5-FB 90x9x1030
58-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 60x9x920 (SM400A)

5-FB 90x9x1030
58-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
2-PL 60x9x920 (SM400A)

K - 4材料 (1組当り):

1-PIPE φ42.7x2.3x2791 (STK400)
2-PIPE φ42.7x2.3x193 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x243 (STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x1837 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x4786 (STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
2-PL 190x12x315 (SM400A)

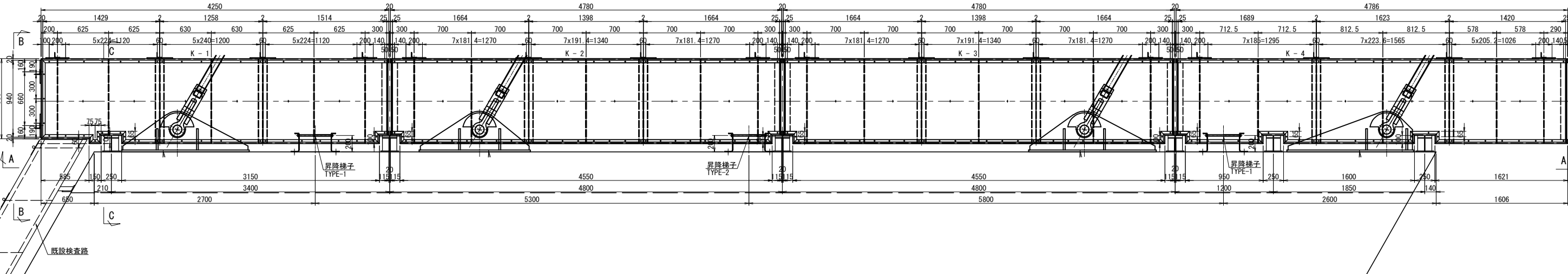
1-PL 90x3.2x1618
1-PL 90x3.2x1430
1-PL 90x3.2x1349
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C
16-BN M16x45 (2-W付)
16-BN M10x35 (2-W付)

K - 4材料 (1組当り):

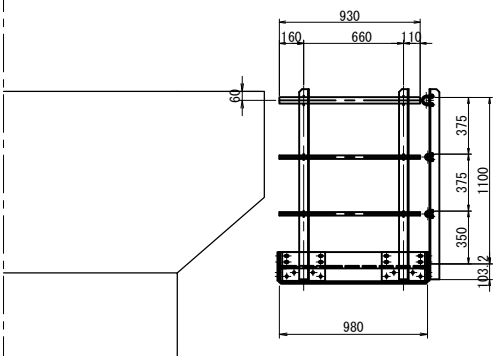
1-CH PL 1000x3.2x1689
1-CH PL 1000x3.2x1623
1-CH PL 1000x3.2x1420
1-CH 100x50x5x7.5x4786
1-CH 100x50x5x7.5x165
5-CH 100x50x5x7.5x150
1-CH 100x50x5x7.5x950
2-CH 100x50x5x7.5x350
1-CH 100x50x5x7.5x1600
1-CH 100x50x5x7.5x1621

4-L 50x50x6x1030
1-L 75x75x6x930
1-L 75x75x6x1030
5-FB 90x9x1030
57-BN M10x30 (1-W, 1-TW付)
1-PL 60x9x920 (SM400A)
2-PL 160x9x920 (SM400A)

平面図



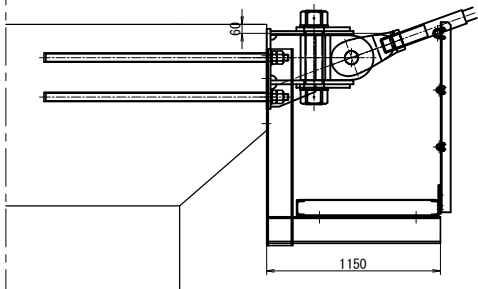
B - B



K - 1材料 (1組当り):

1-PIPE φ42.7x2.3x930 (STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x930 (STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 190x12x285 (SM400A)
1-PL 90x3.2x970
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C
8-BN M16x45 (2-W付)
8-BN M10x35 (2-W付)

C - C



検査路 数量表

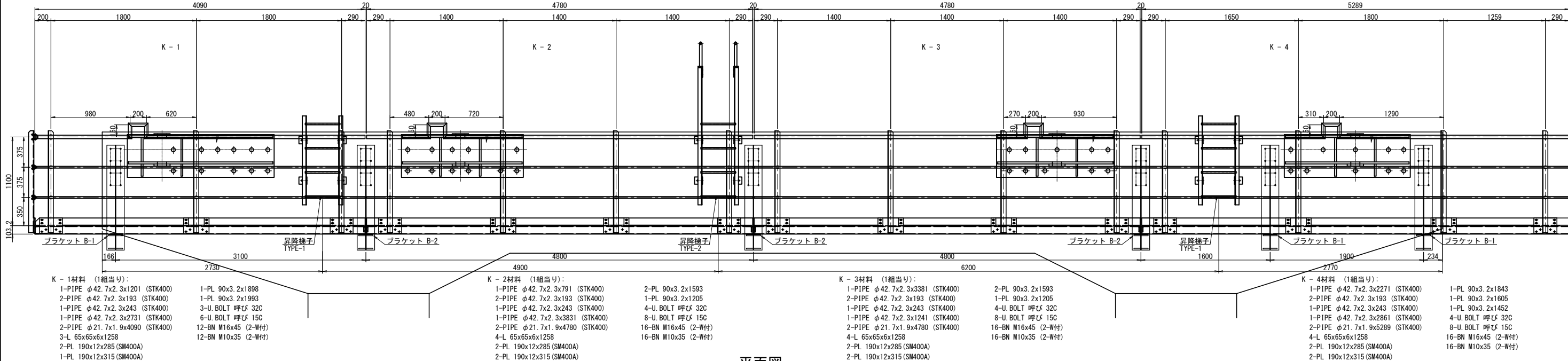
項目	単位	数量	摘要
B	kg	2,345.0	AP13

注記)

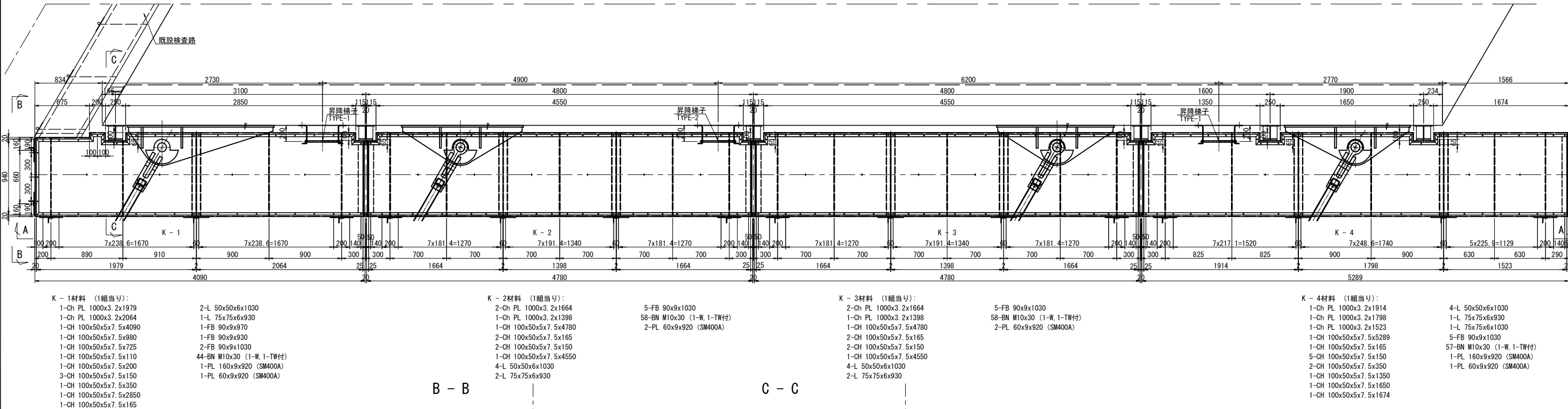
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

検査路B
〈P14橋脚〉
正面図(A-A)



平面図



B - B

C - C

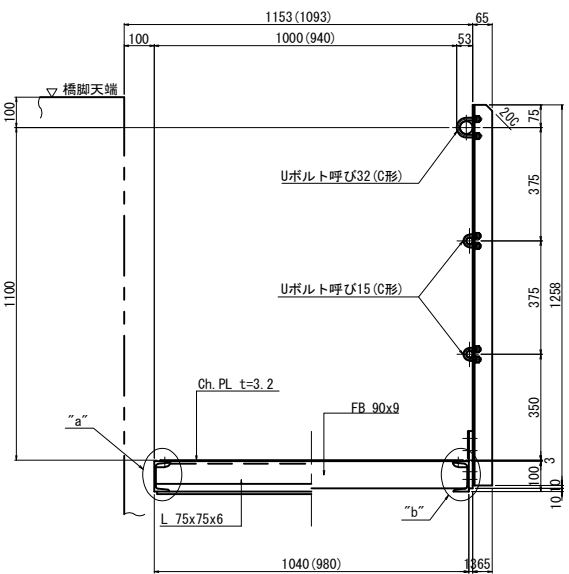
検査路 数量表			
項目	単位	数量	摘要
B	kg	2,322.0	AP14

- 注記
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

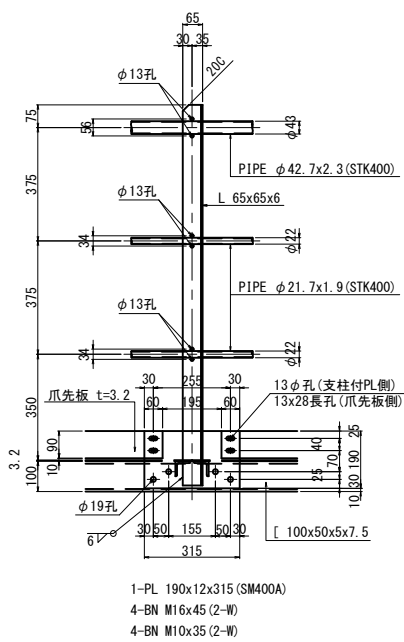
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

検査路B
＜新規検査路各部詳細＞

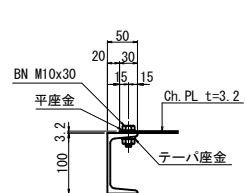
歩廊断面図



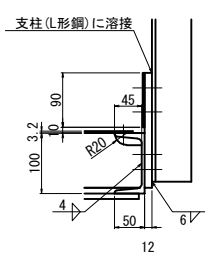
側面図



"a"部詳細 S=1:12.5

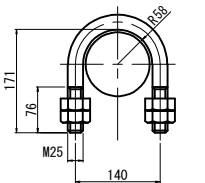


"b"部詳細 S=1:12.5

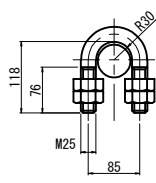


U-ボルト詳細 S=1:5

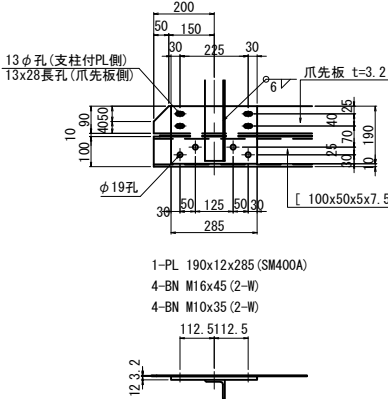
呼び32 (C形)
 $\phi 42.7$ 用



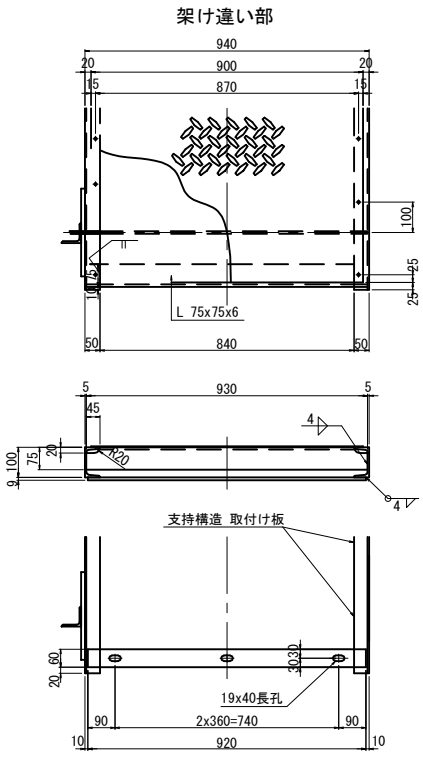
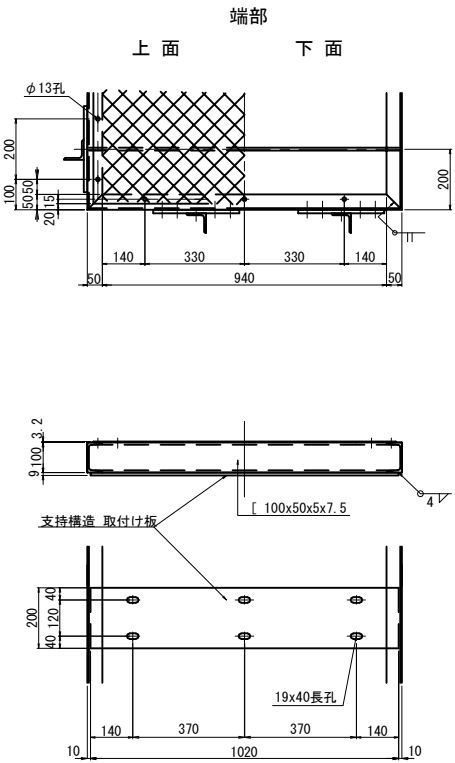
呼び15 (C形)
 $\phi 21.7$ 用



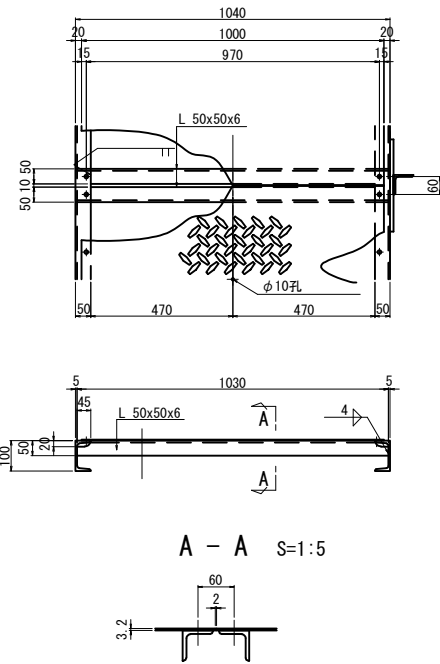
爪先板端部詳細



歩廊詳細



歩廊中間部詳細図



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

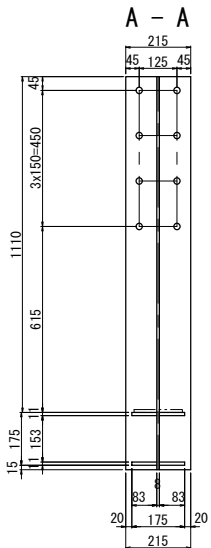
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その3)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

検査路B

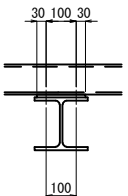
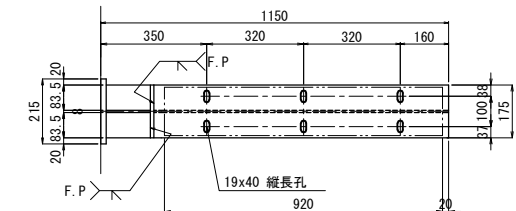
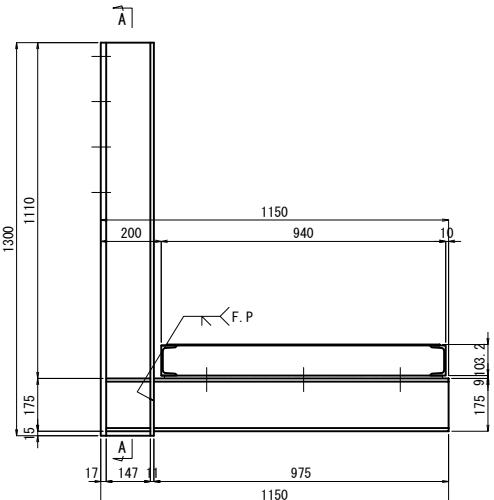
端部ブラケット

B-1

製作数:6



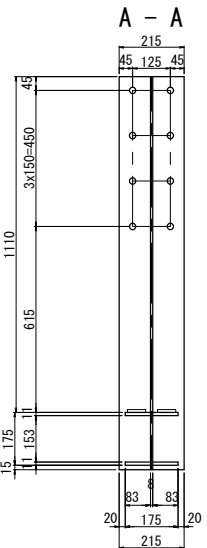
1組当たり材料
1-H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 975
1-PL 215 x 17 x 1300 (SM400A)
1-PL 147 x 8 x 1300 (SM400A)
1-PL 175 x 11 x 1300 (SM400A)
4-RIB PL 84 x 11 x 147 (SM400A)
6-BN M16 x 50 (2-W付)
8-打込式アンカー M24x200



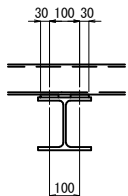
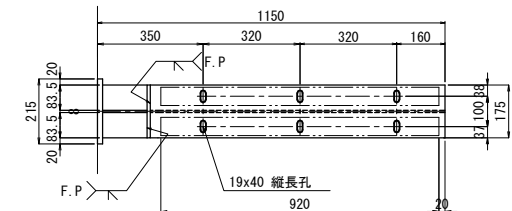
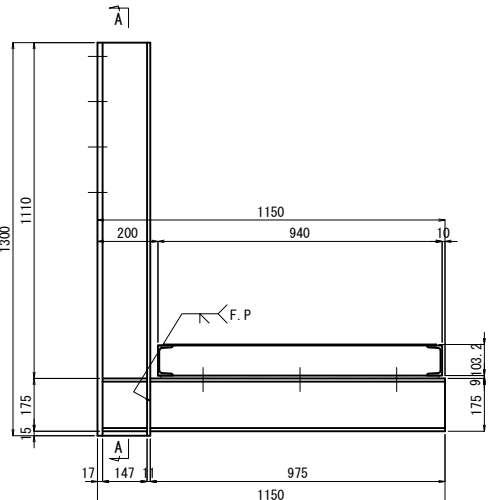
掛違部ブラケット

B-2

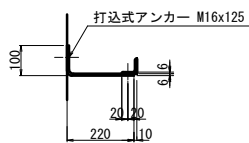
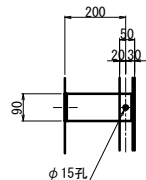
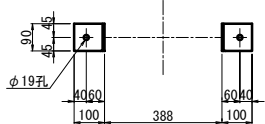
製作数:6



1組当たり材料
1-H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 975
1-PL 215 x 17 x 1300 (SM400A)
1-PL 147 x 8 x 1300 (SM400A)
1-PL 175 x 11 x 1300 (SM400A)
4-RIB PL 84 x 11 x 147 (SM400A)
6-BN M16 x 50 (2-W付)
8-打込式アンカー M24x200



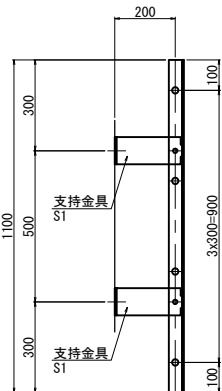
梯子支持金具S1



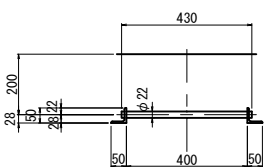
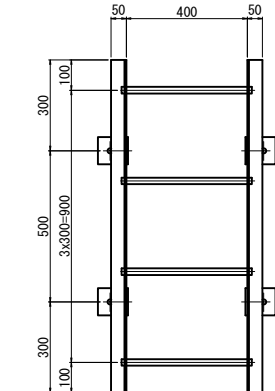
昇降梯子

TYPE-1

製作数:4



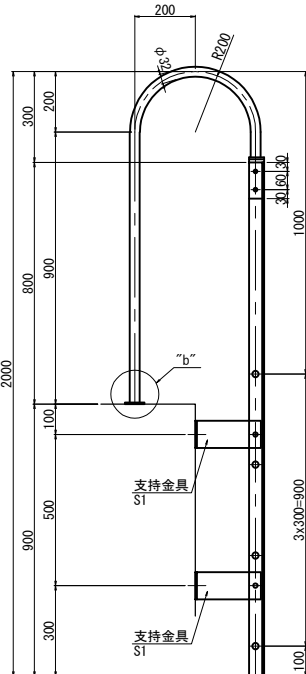
1組当たり材料
梯子
2-L 50x50x6x1100
4-RB φ22x430
支持金具S1
4-FB 90x6x320
4-BN M12x35 (2-W付)
4-打込式アンカー M16x125



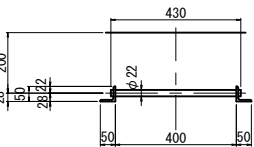
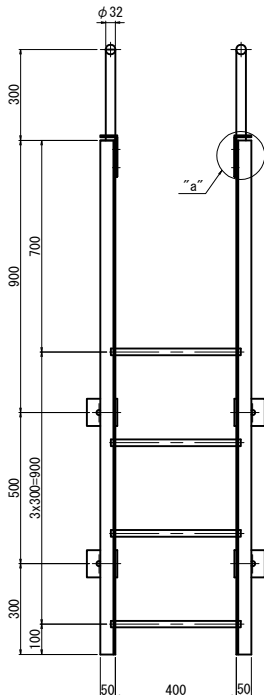
昇降梯子

TYPE-2

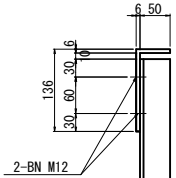
製作数:2



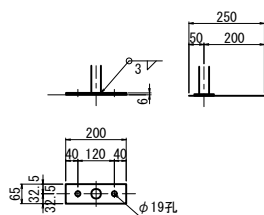
1組当たり材料
梯子
2-L 50x50x6x1700
4-RB φ22x430
2-RB φ32x1828
2-FB 50x6x192
4-BN M12x35 (2-W付)
2-FB 65x6x200
4-打込式アンカー M16x125
支持金具S1
4-FB 90x6x320
4-BN M12x35 (2-W付)
4-打込式アンカー M16x125



“a”部詳細 S=1:12.5



“b”部詳細 S=1:12.5



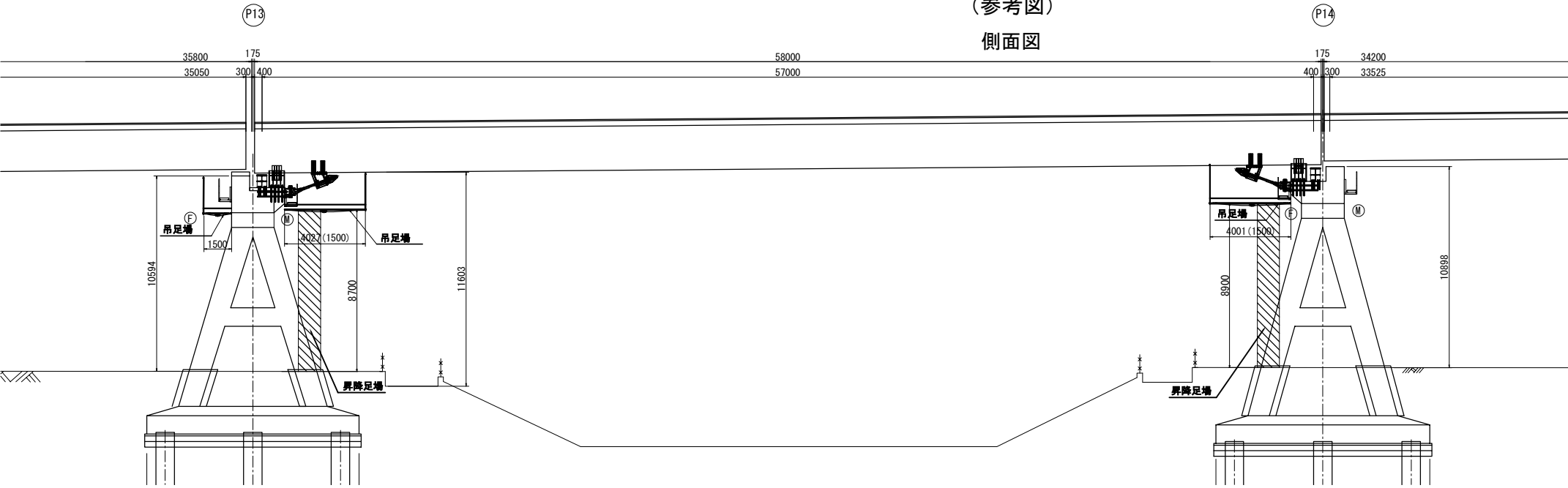
注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付以外のナットは全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但し、ボルト、ナットおよび板厚3.2mm未満の部材の付着量は、HDZ35とする。
板厚3.2mm以上6mm未満の鋼材は、めっき前にプラスト処理とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋(上り線) 下部工検査路詳細図(その4)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

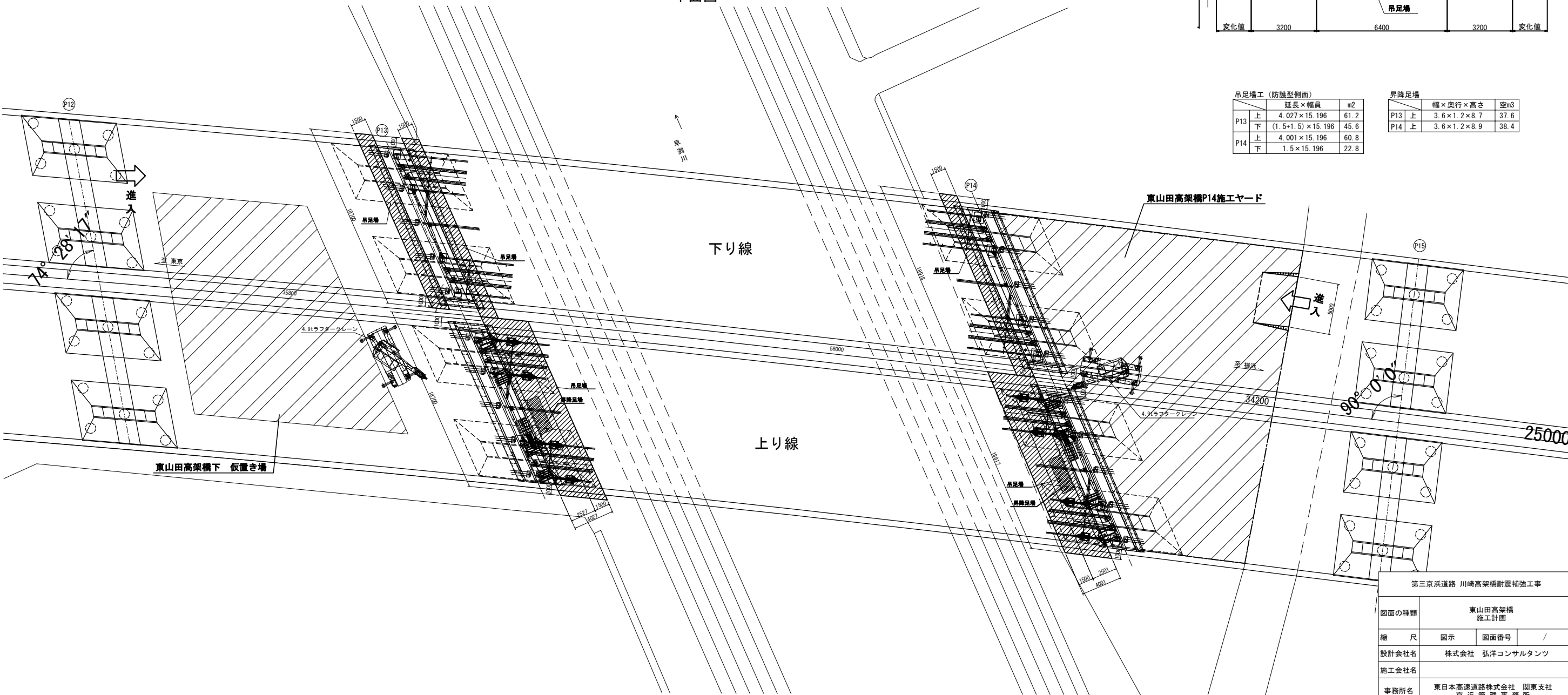
東山田高架橋 施工計画
(参考図)

S=1:300

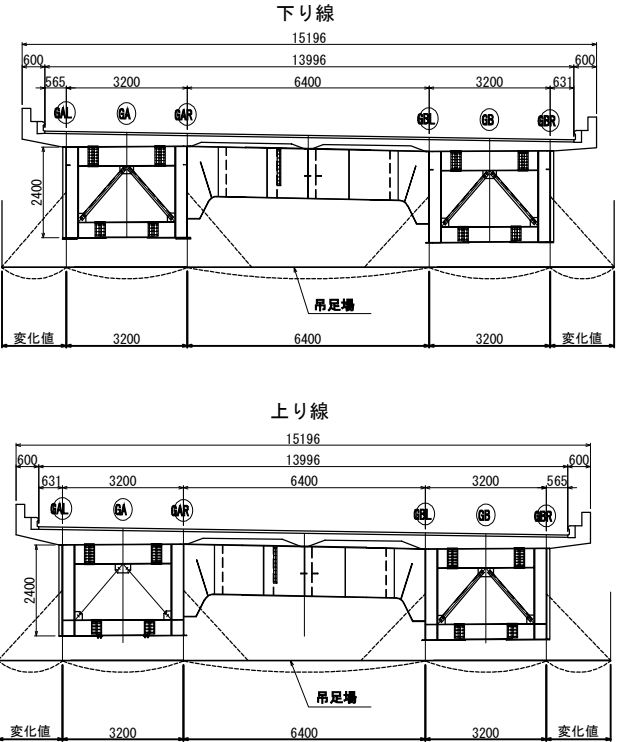
側面図



平面図 1:400



上部工断面図 S=1:200



吊足場工 (防護型側面)		
	延長×幅員	m2
P13 上	4.027×15.196	61.2
P13 下	(1.5+1.5)×15.196	45.6
P14 上	4.001×15.196	60.8
P14 下	1.5×15.196	22.8

昇降足場		
	幅×奥行×高さ	空m3
P13 上	3.6×1.2×8.7	37.6
P14 上	3.6×1.2×8.9	38.4

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東山田高架橋 施工計画		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【東前田高架橋】

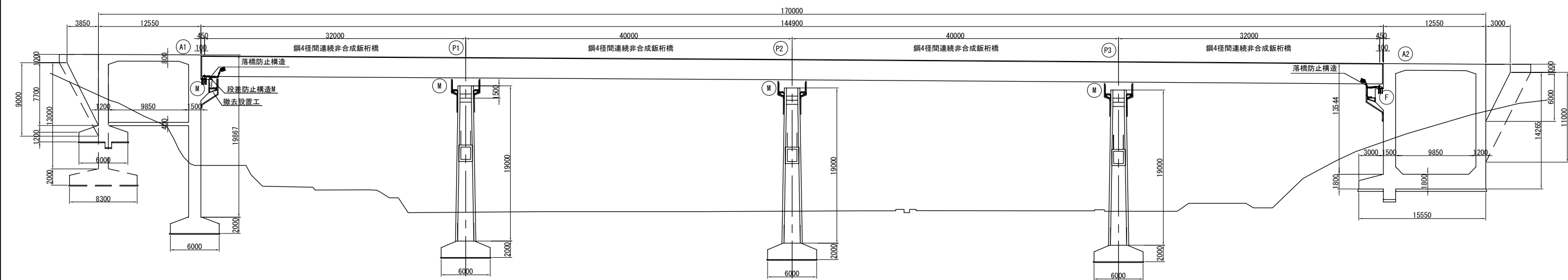
令和 6 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

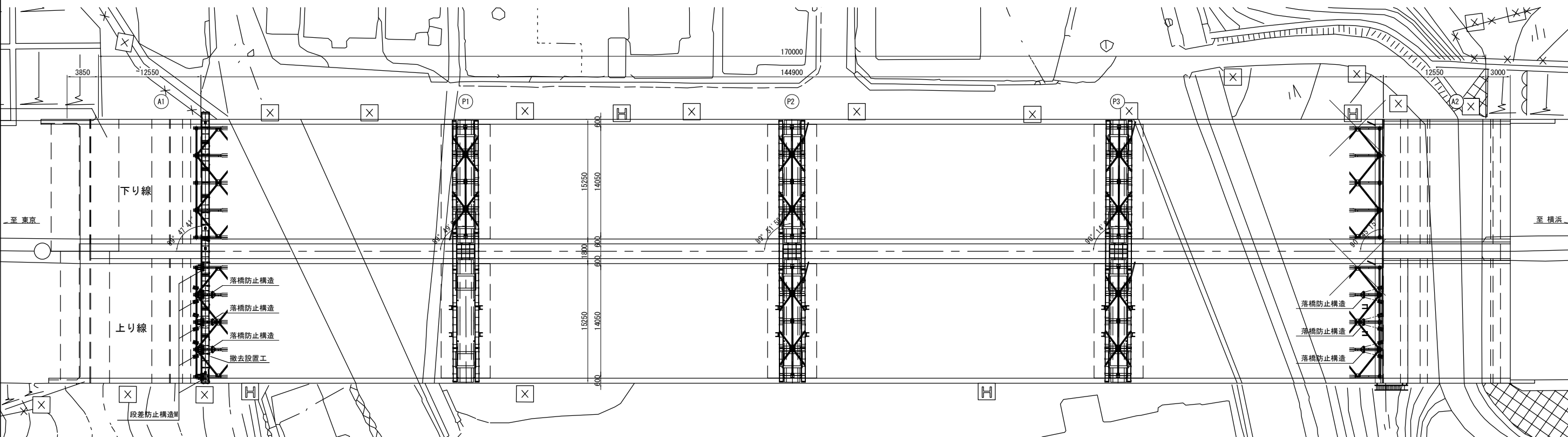
目次

[illegible][illegible]

側面図

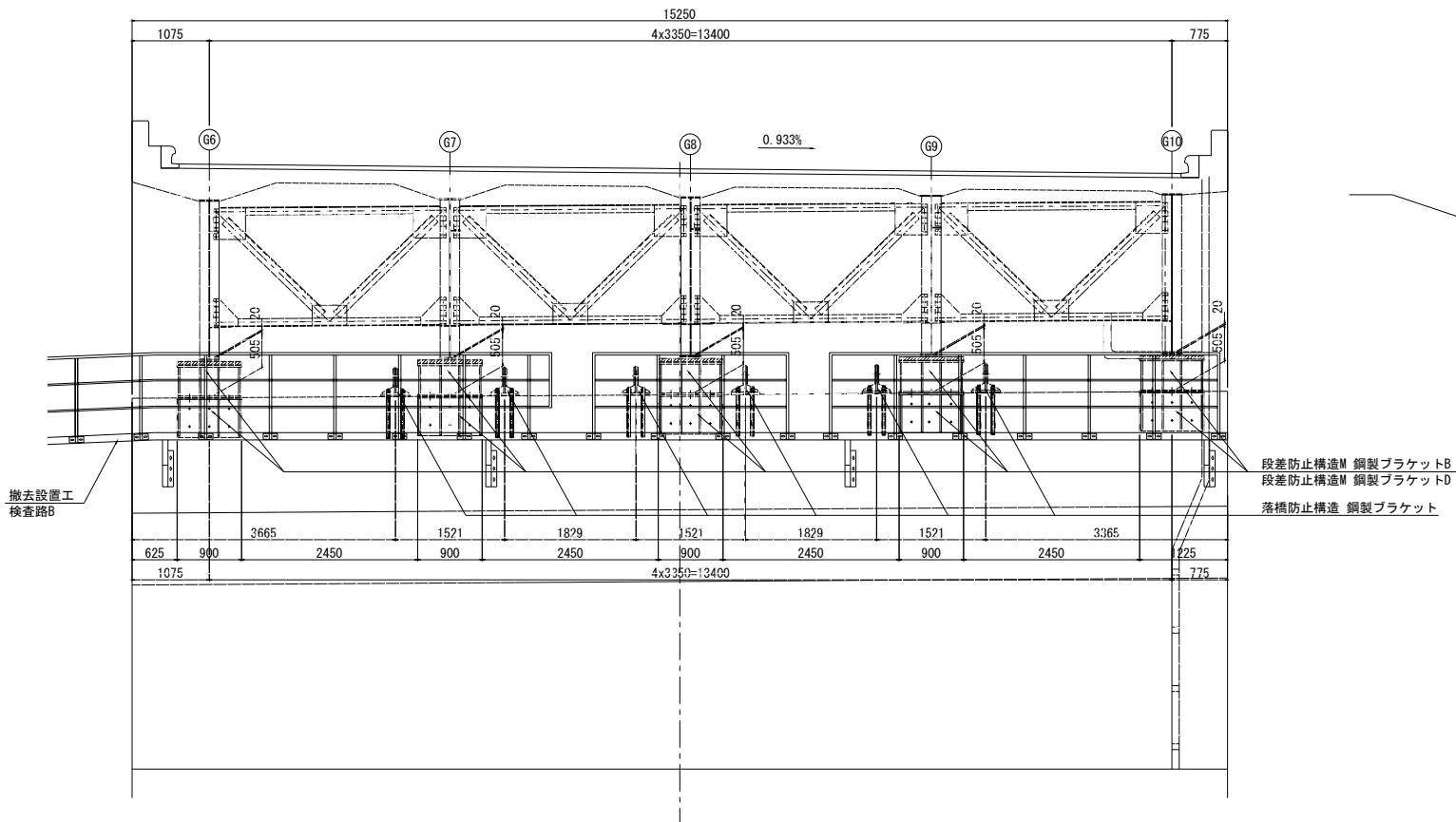


平面図

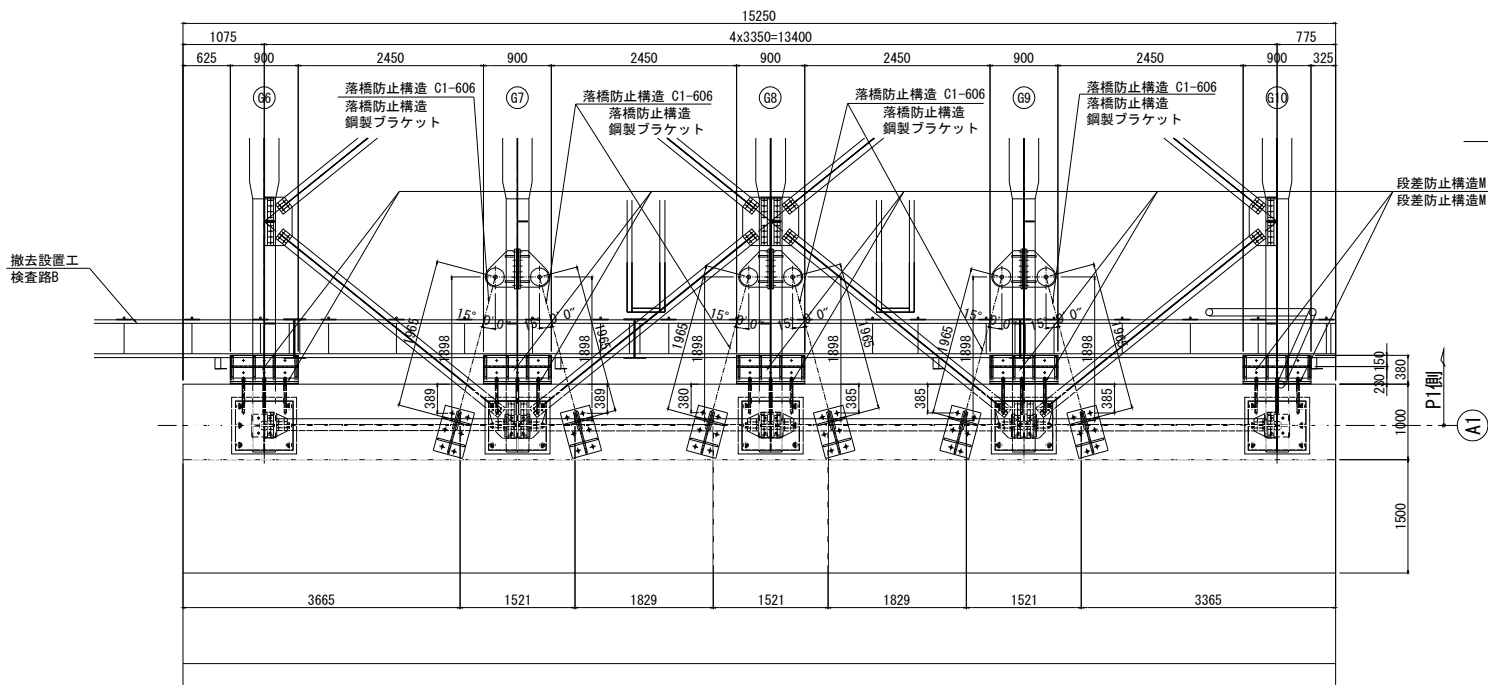


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋 耐震補強一般図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

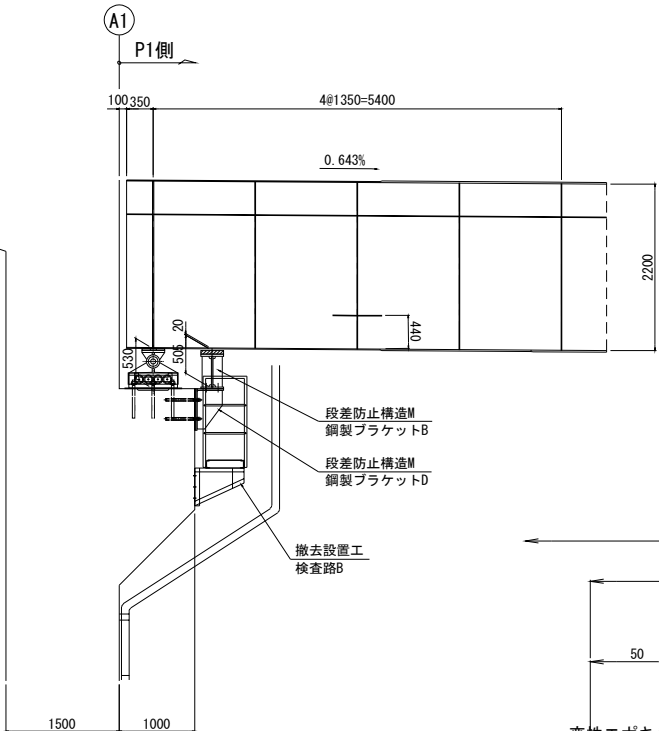
正面図



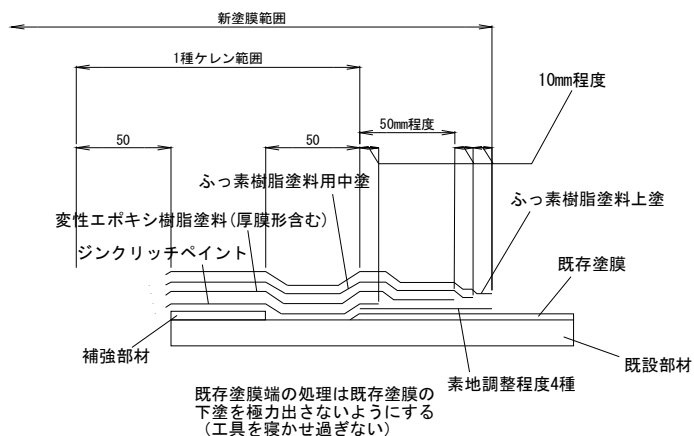
平面図



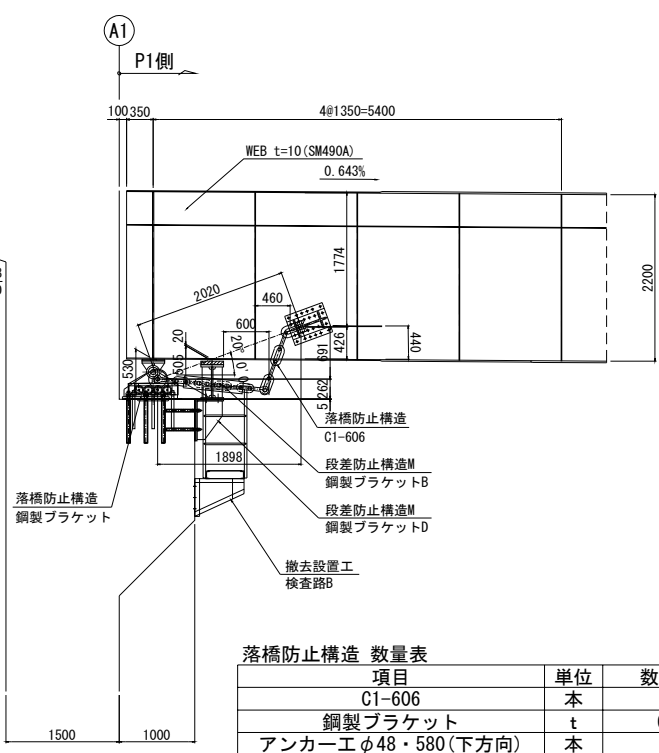
側面図
G6, G10桁



塗装境界部詳細図 S=1:4



G7~G9桁



落橋防止構造 数量表 AA1

項目	単位	数量	摘要
C1-606	本	6	
鋼製ブラケット	t	0.618	
アンカーエφ48・580(下方向)	本	36	

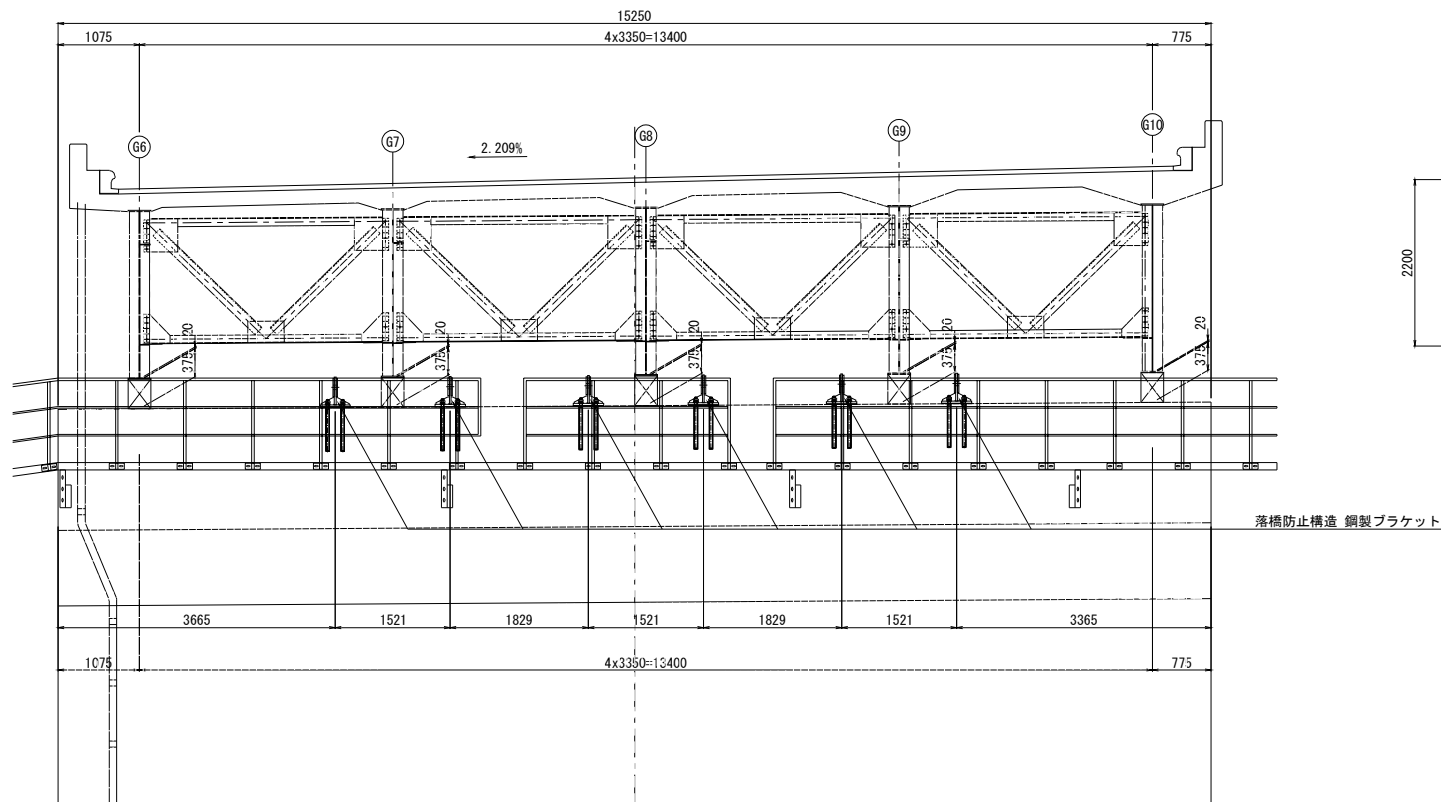
段差防止構造M 数量表 AA1

項目	単位	数量	摘要
鋼製ブラケットB	t	1.190	
鋼製ブラケットD	t	1.170	
アンカーエφ35・385(水平方向)	本	30	

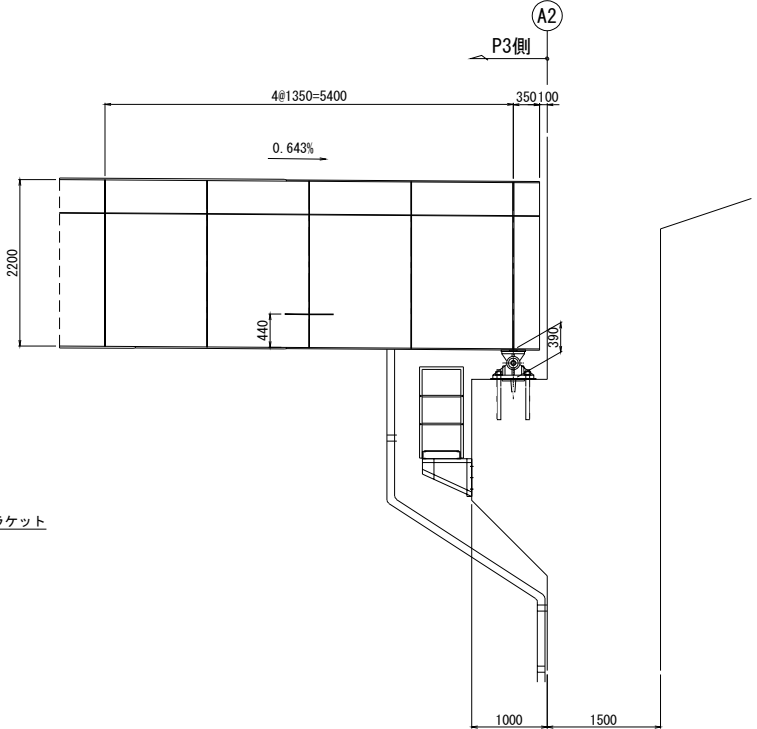
- 注記)
1. 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
 2. コンクリート削孔は鉄筋探索等を行い、既設鉄筋を切断しないように留意すること。
 3. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) A1橋台落橋防止システム配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

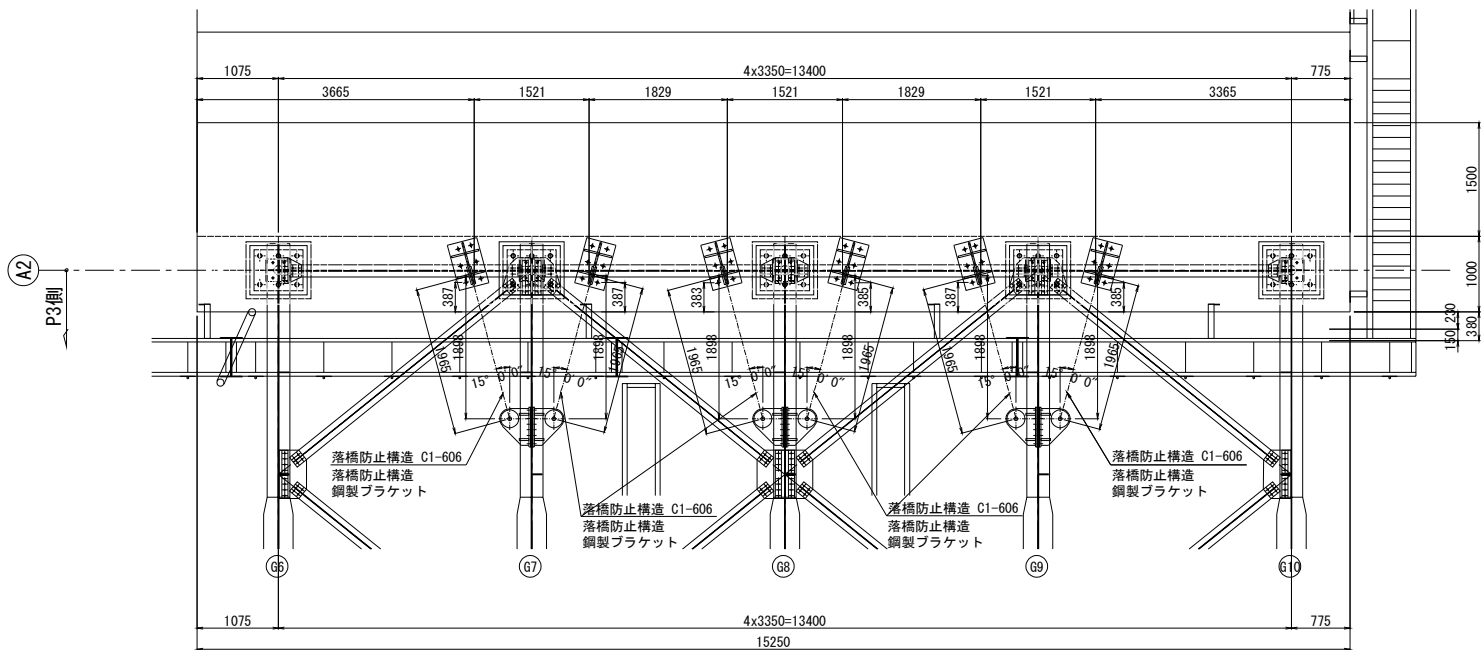
正面図



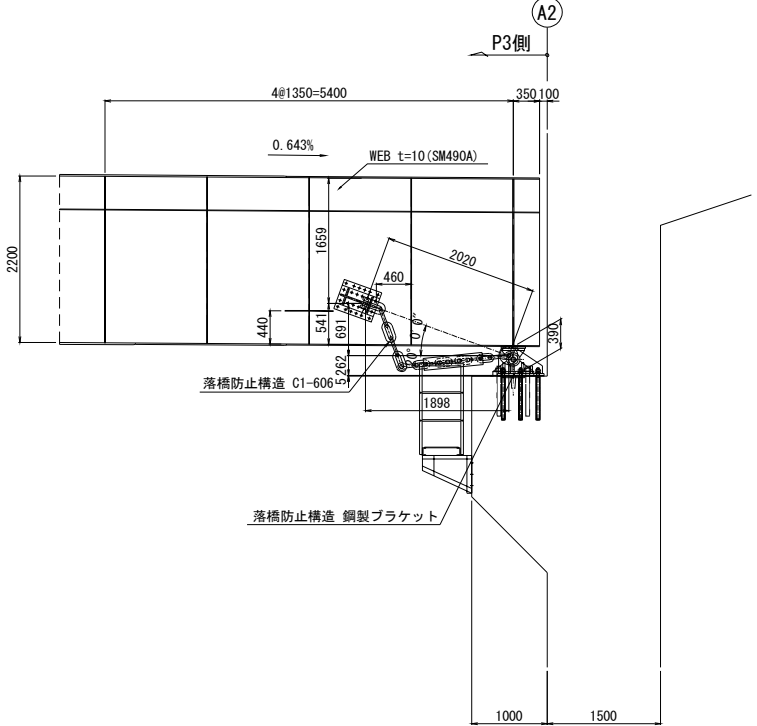
側面図
G6, G10桁



平面図



G7~G9桁



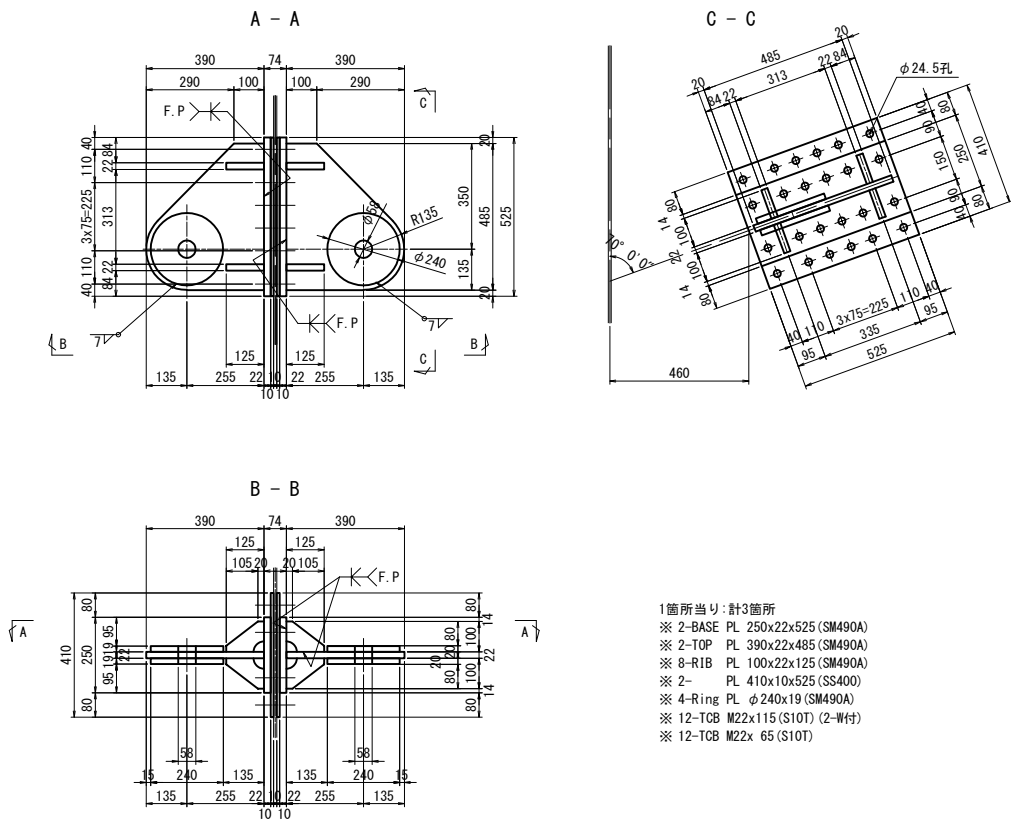
注記)
1. 図中詳細寸法は、足場架設後現地実測の上決定のこと。
2. コンクリート削孔は鉄筋探索等を行い、
既設鉄筋を切断しないように留意すること。
3. 工場製作は現地実測の上、製作を行うこと。

落橋防止構造 数量表				AA2
項目	単位	数量	摘要	
C1-606	本	6		
鋼製ブラケット	t	0.618		
アンカーエφ48・580(下方向)	本	36		

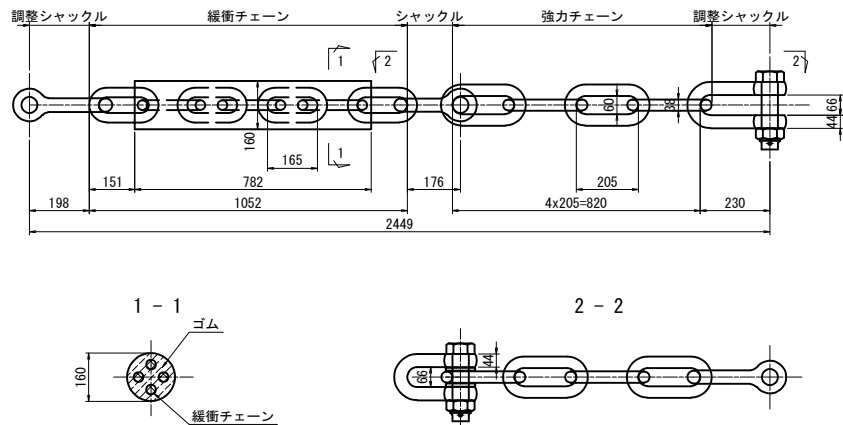
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) A2橋台落橋防止システム配置図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

上部エブラケット詳細

(落橋防止構造 C1-606)



チェーン (参考図)

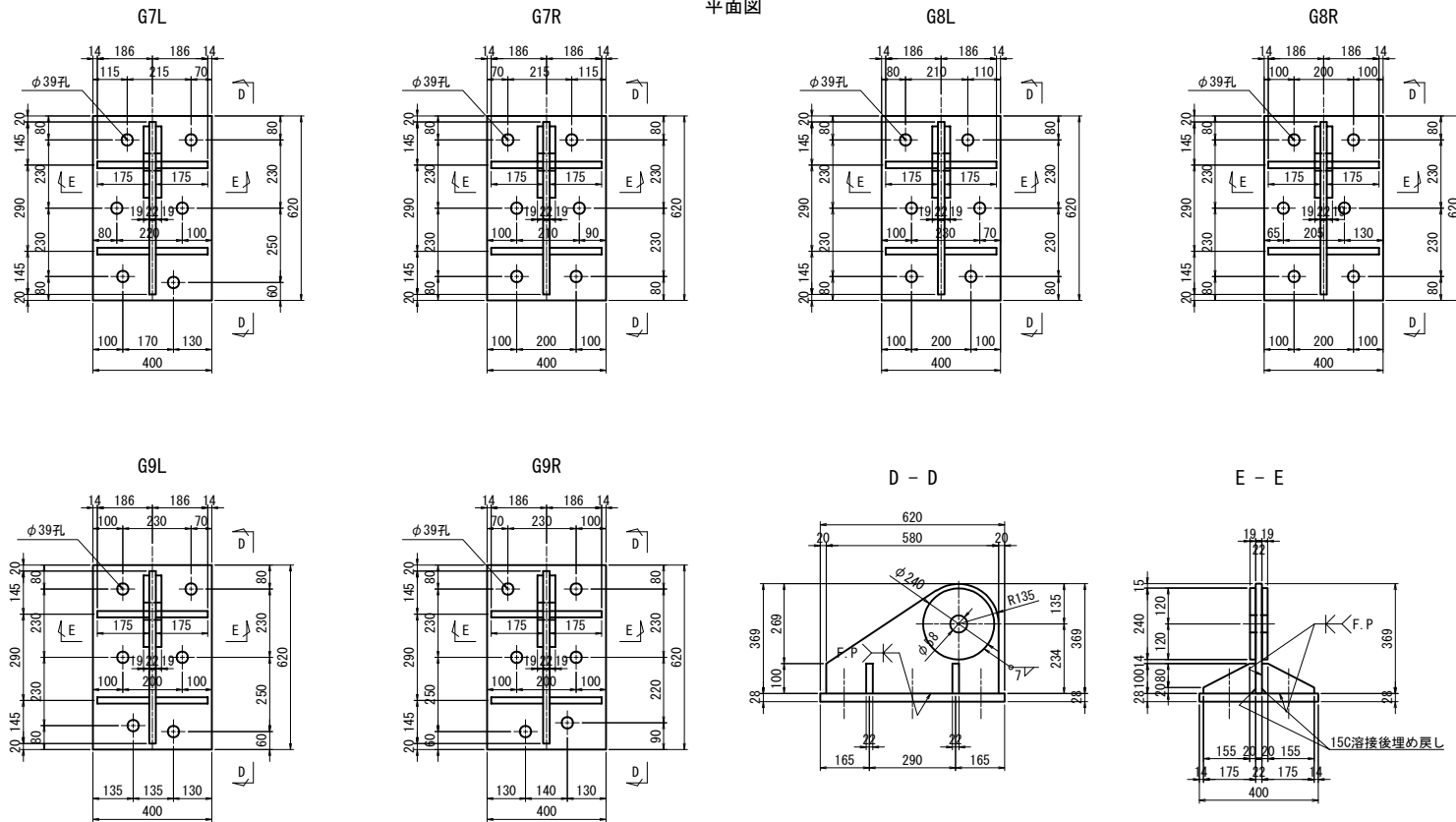


設計地震力	606kN
設計移動量	545mm
許容耐力	615kN

下部エブラケット詳細

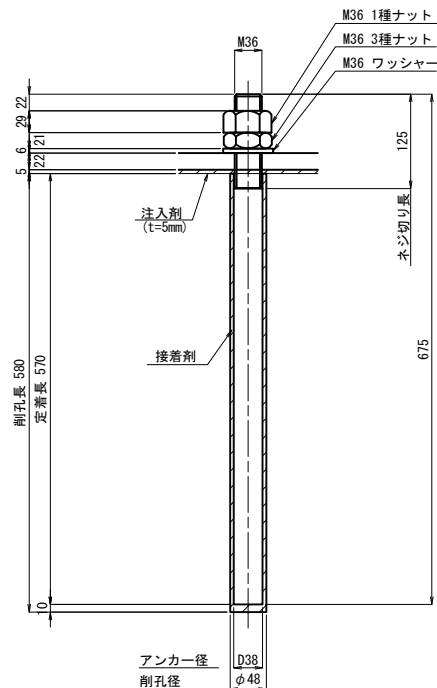
(落橋防止構造 鋼製ブラケット)

平面図



落橋防止構造

アンカーエφ48・580(下方向) S=1:10

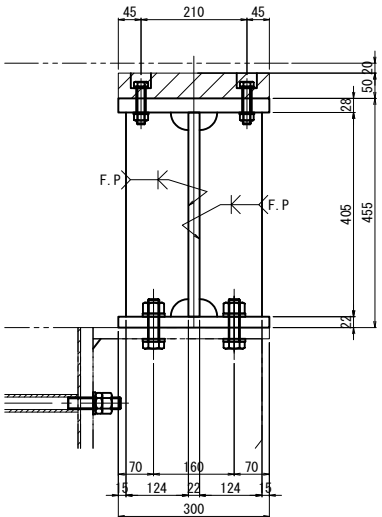
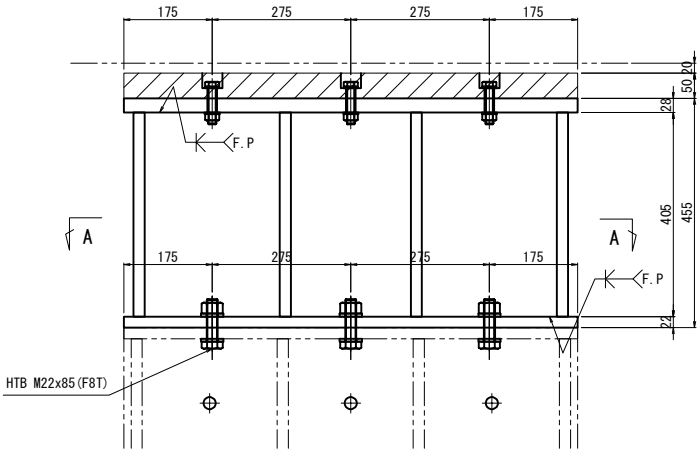


- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシーリングを行う。

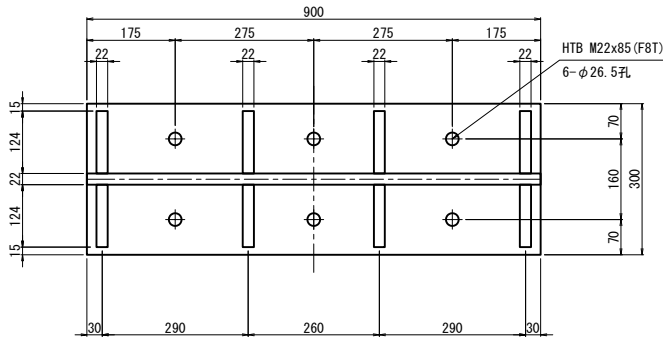
- 注記:
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
 4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛めっき処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) 落橋防止構造詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

(上り線) A1橋台
製作数 : 5

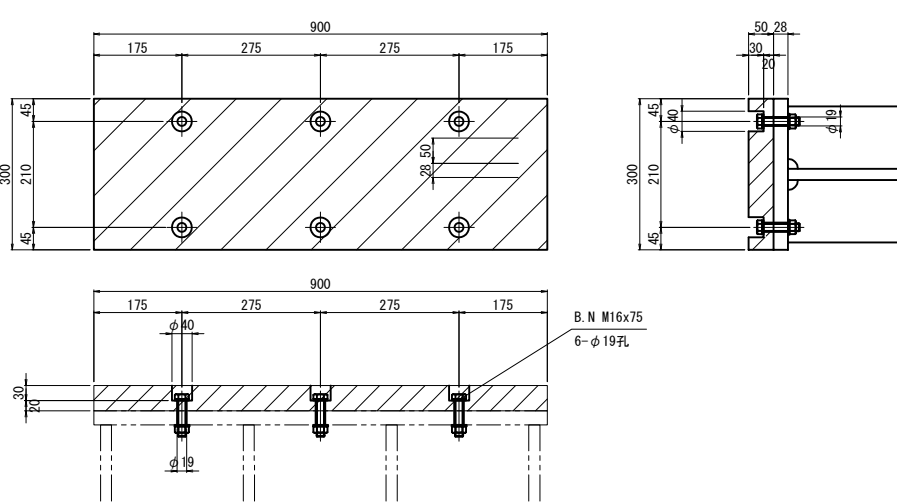


A - A



- 1箇所当り:
1-FLG PL 300x28x900
1-FLG PL 300x22x900
1-WEB PL 405x22x900
8-RIB PL 405x22x124
6-HTB M22x85 (F8T)
※ 1-緩衝材 300x50x900 (クロロプレングム、硬度55° ±5° 程度)
6-BN M16x75 (SS400) (1-Uナット、2-W付)

緩衝材詳細図



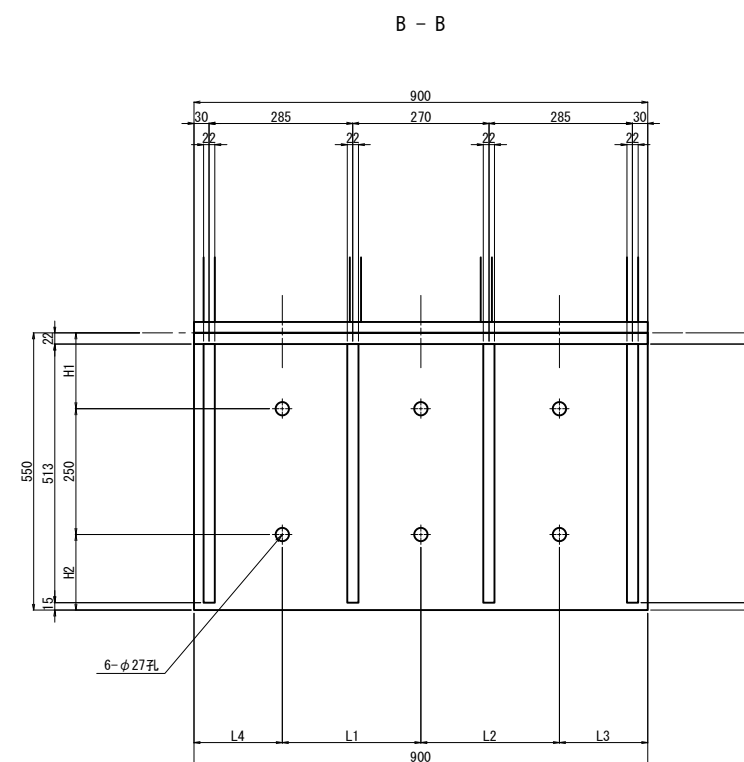
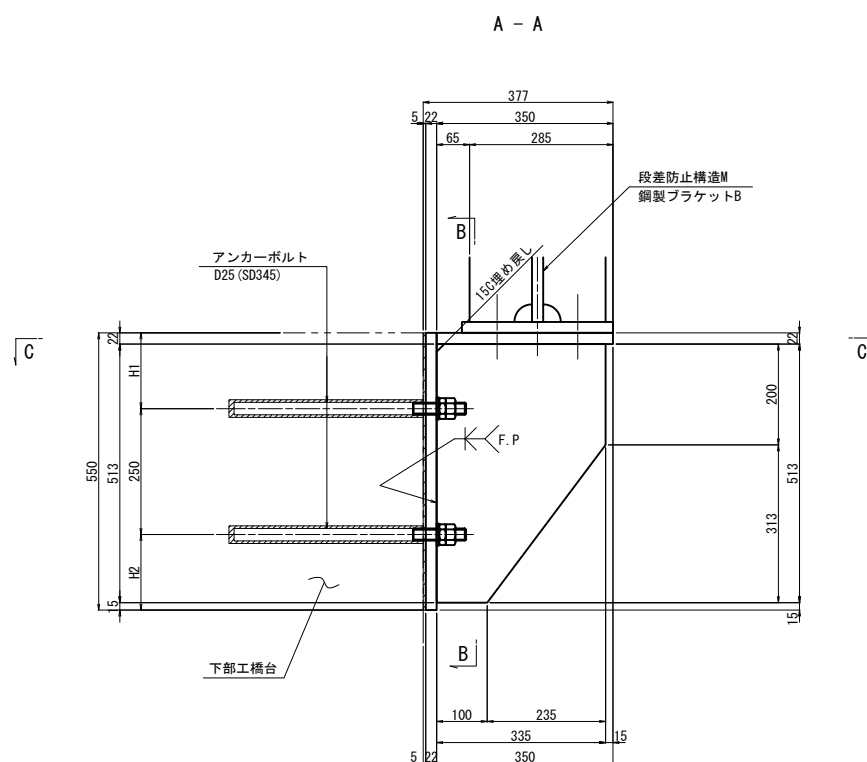
- 注記:
1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、
実測結果を反映のこと。
2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
但し ボルト ナット類はHTZ35とする。
4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HDZ55とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

東前田高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その2) S=1:15

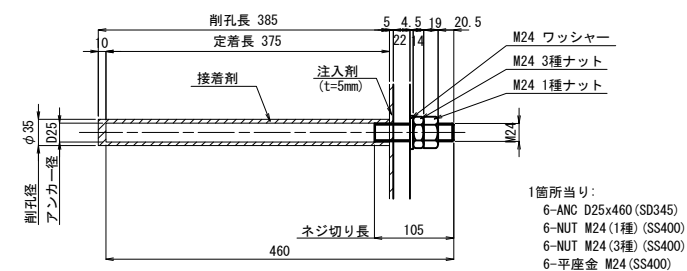
段差防止構造M 鋼製ブラケットD

上り線A1橋台 製作数：5



1箇所当り:
1-BASE PL 550x22x900
1-FLG PL 350x22x900
4-RIB PL 335x22x513

段差防止構造M
アンカー工 $\phi 35 \cdot 385$ (水平方向) S=1:10



- ・アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。
- ・ブラケット背面はチッピング処理とする。
- ・ブラケット外周にシールを行う。

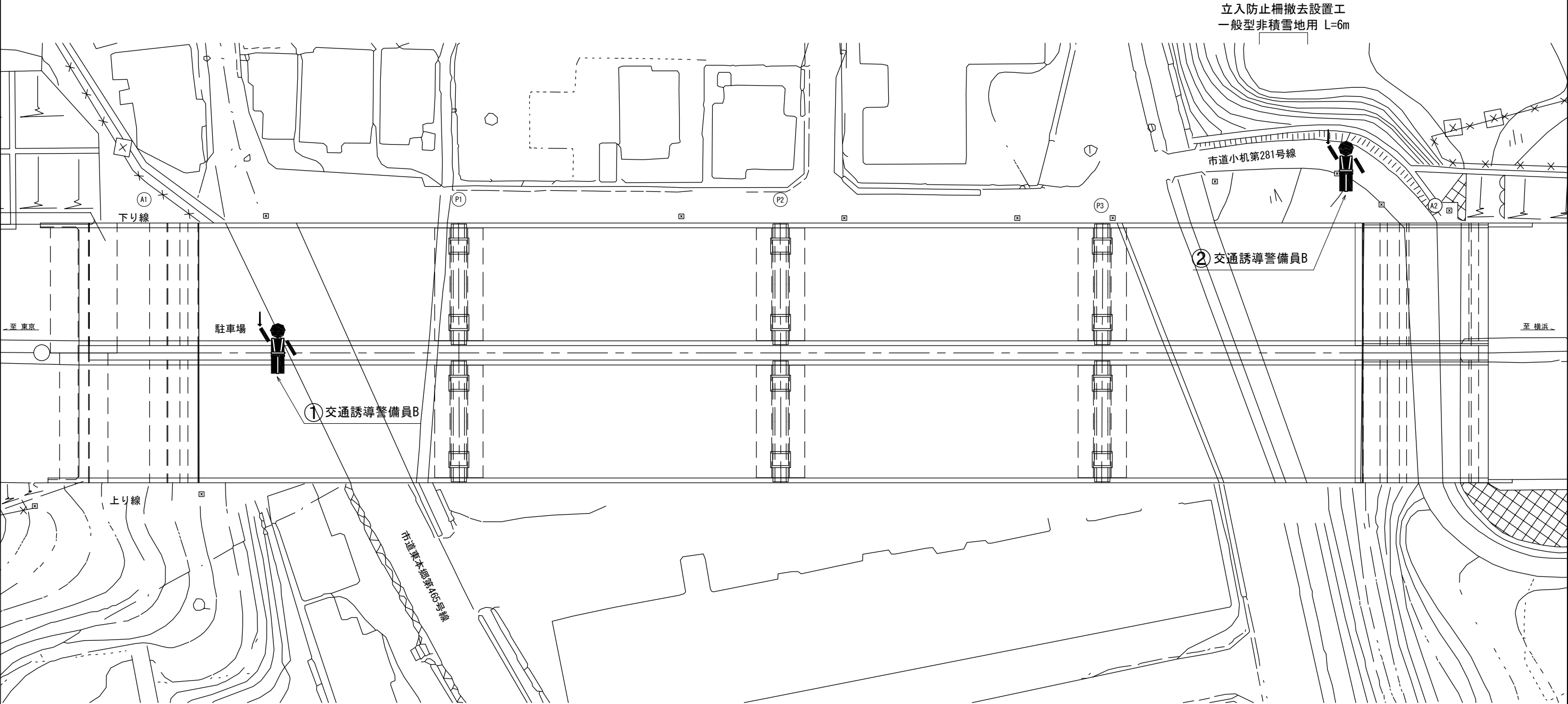
上り線	A1橋台				
	66	67	68	69	610
L1	275	275	275	305	275
L2	275	275	275	245	275
L3	175	175	175	175	175
L4	175	175	175	175	175
H1	150	150	150	150	150
H2	150	150	150	150	150

注記)

- 1. 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映のこと。
- 2. 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
- 3. 特記なきスカーラップは全てR35とする。
- 但し ボルト ナット 類はHTZ35とする。
- 4. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量は、JIS H8641 HD25とする。
但しボルトナットの付着量は、HDZ35とする。)

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) 段差防止構造詳細図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

平面図



交通安全要員の配置

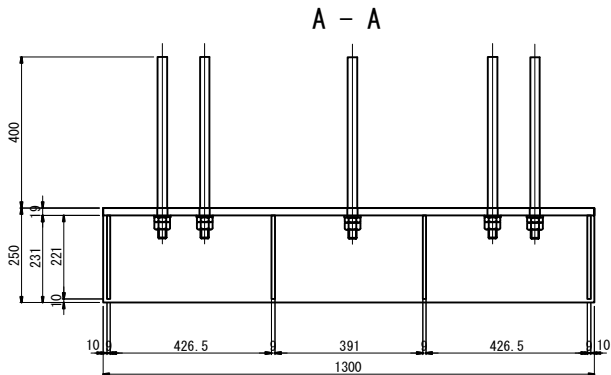
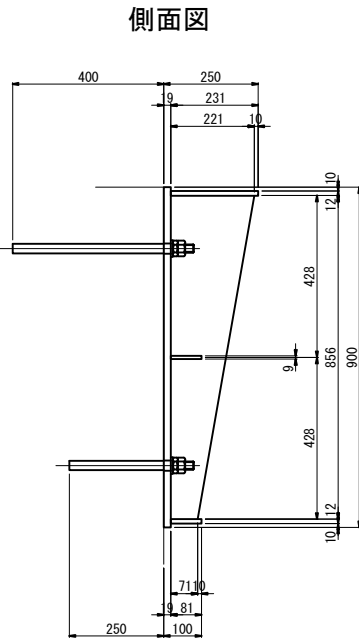
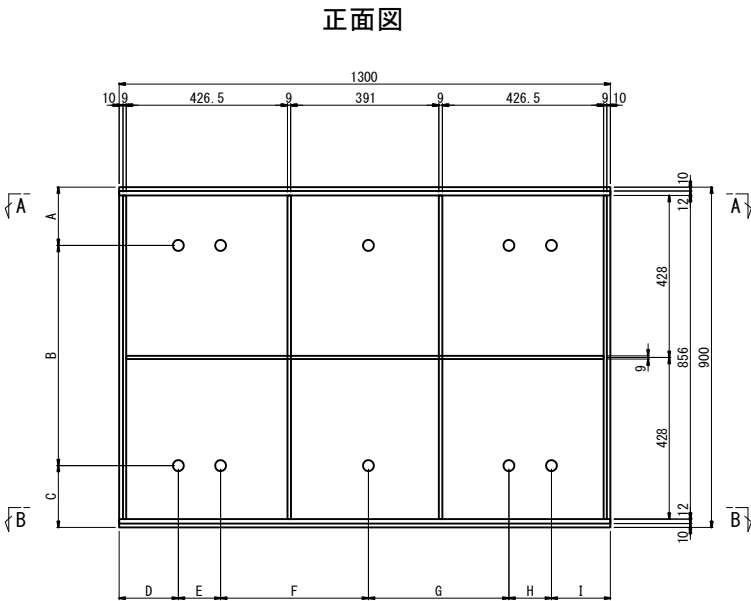
配置場所		交通安全要員の種別	配置人数	交替要員
① 市道東本郷第465号線 ・施工時(東前田高架橋)	・工事用車両出入口	交通誘導警備員B	1人	-
② 市道小机第281号線 ・施工時(東前田高架橋)	・工事用車両出入口	交通誘導警備員B	1人	-

立入防止柵撤去設置工		数量表
項 目		延長 (m)
A2	一般型非積雪地用	6.0

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋 附帯工		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

東前田高架橋(上り線) 既設下部エブラケット撤去図 S=1:20
撤去工 既設鋼部材B

上り線 A1橋台

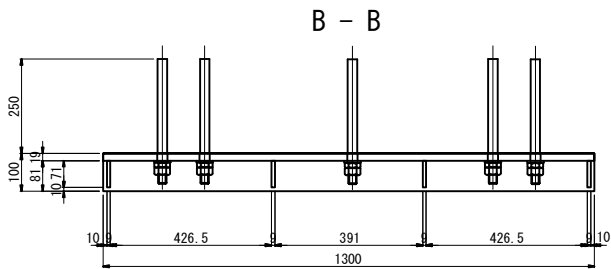


	G1	G2	G3	G4	G5
A	186	203	198	302	153
B	564	547	615	450	600
C	150	150	87	148	147
D	48	252	100	49	47
E	302	73	175	100	203
F	300	325	375	501	400
G	402	378	250	252	297
H	149	275	100	100	201
I	99	100	300	298	152

撤去数 : 5
1箇所当り :
1-FLG PL 231x12x1300 (SS400)
1-WEB PL 900x19x1300 (SS400)
1-FLG PL 81x12x1300 (SS400)
4-FLG PL 221x 9x 856 (SS400)
2-FLG PL 81x 9x 427 (SS400)
2-FLG PL 81x 9x 391 (SS400)
10-1種ナット M22 (SS400)
10-3種ナット M22 (SS400)
10-座金 M22 (SS400)

撤去工 数量表 AA1			
項目	単位	数量	摘要
既設鋼部材B	t	1.555	

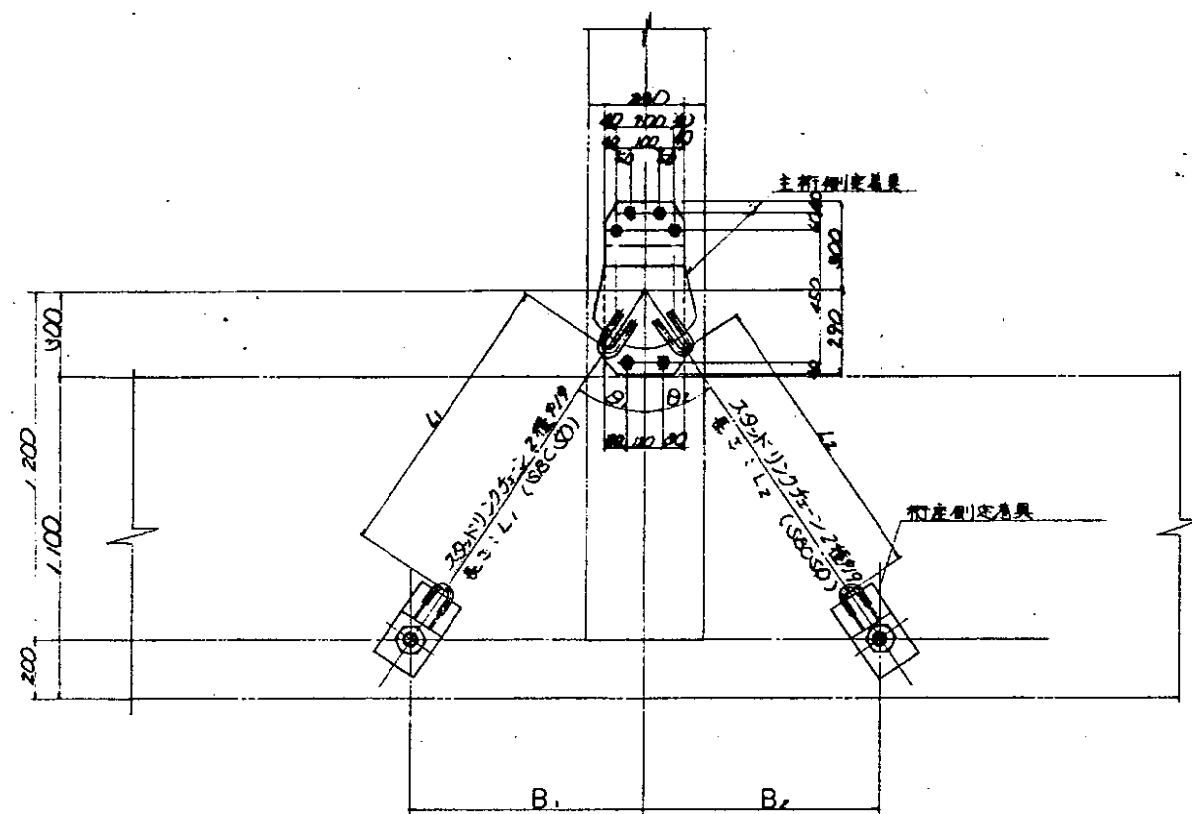
配置図



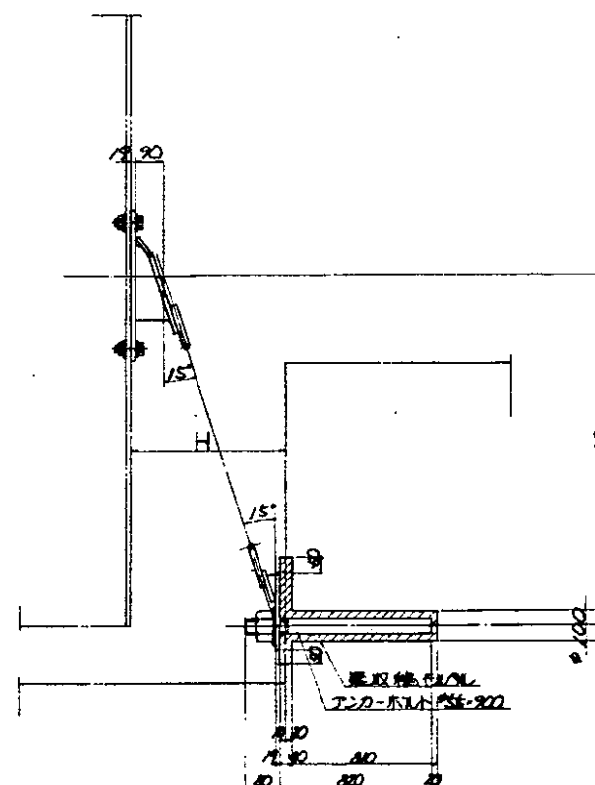
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) 既設下部エブラケット撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

撤去工 既設鋼部材B

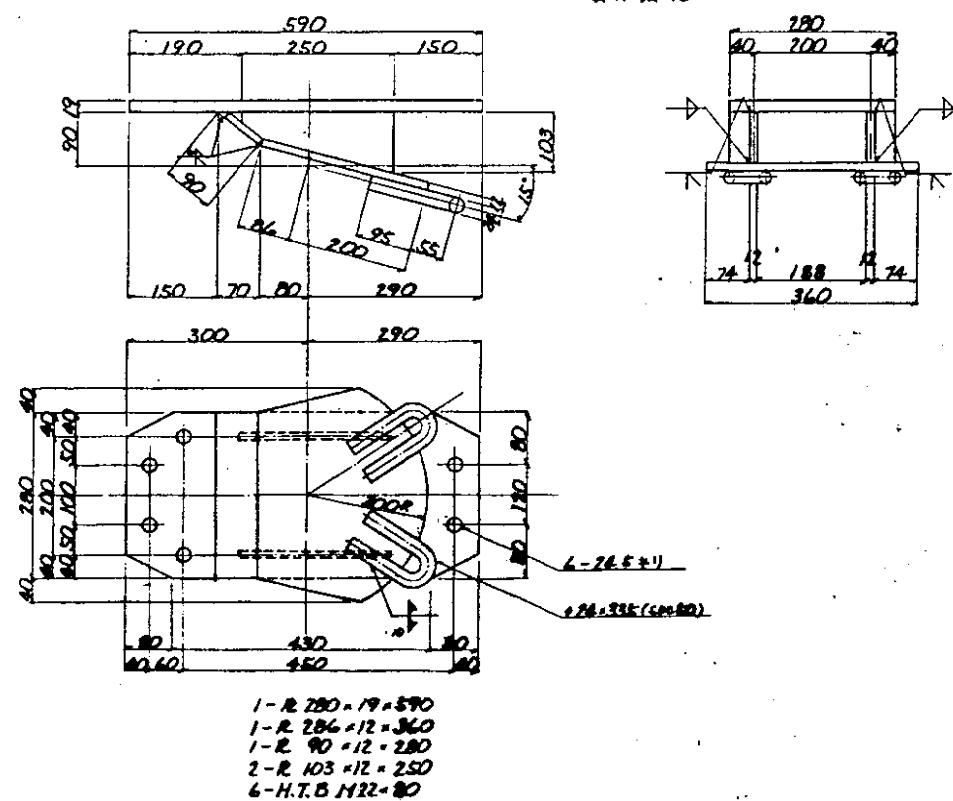
应付早回款相图



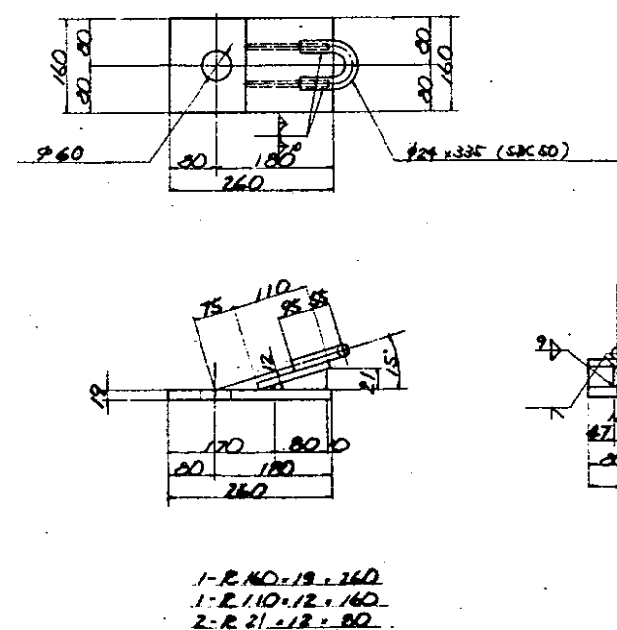
取付側面詳細図



主析側定著具 5:1:5
製作數 10



財產創定義員 $S = 1:5$



A1橋台総括表

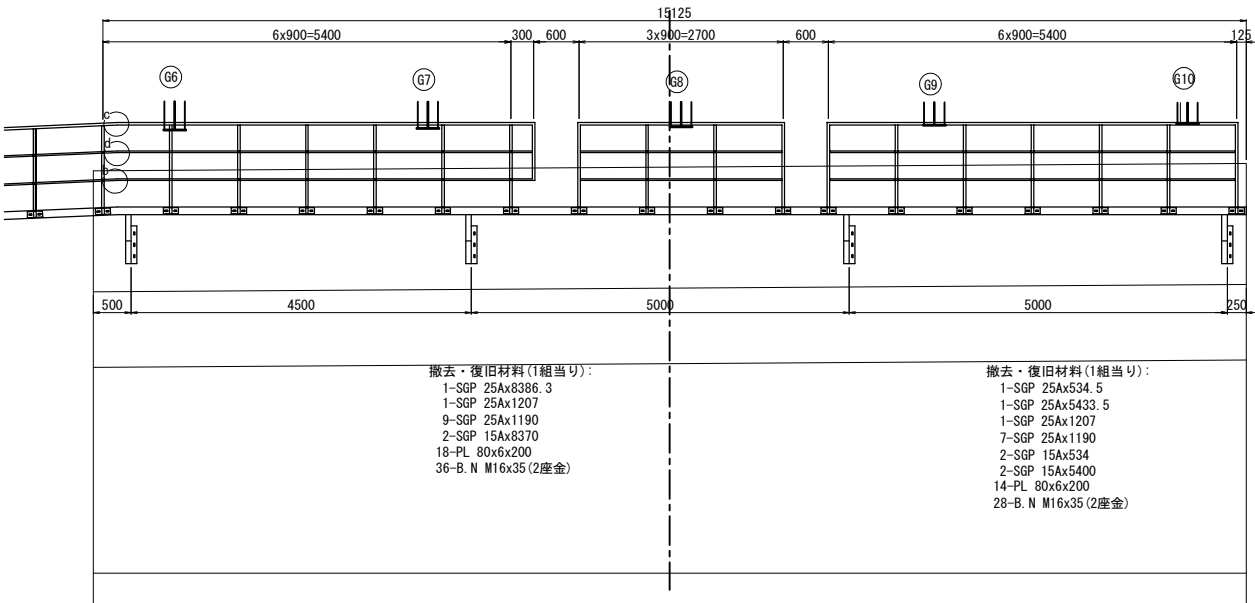
項目	G ₆	G ₇	G ₈	G ₉	G ₁₀
B ₁	200	200	200	200	60
B ₂	200	200	200	200	20
B ₃	93.7°	93.7°	93.7°	93.7°	26
B ₄					93
H ₁	525	525	520	520	
L ₁	1140	1140	1140	1140	115
L ₂	1140	1140	1140	1140	116

撤去設置工 検査路B

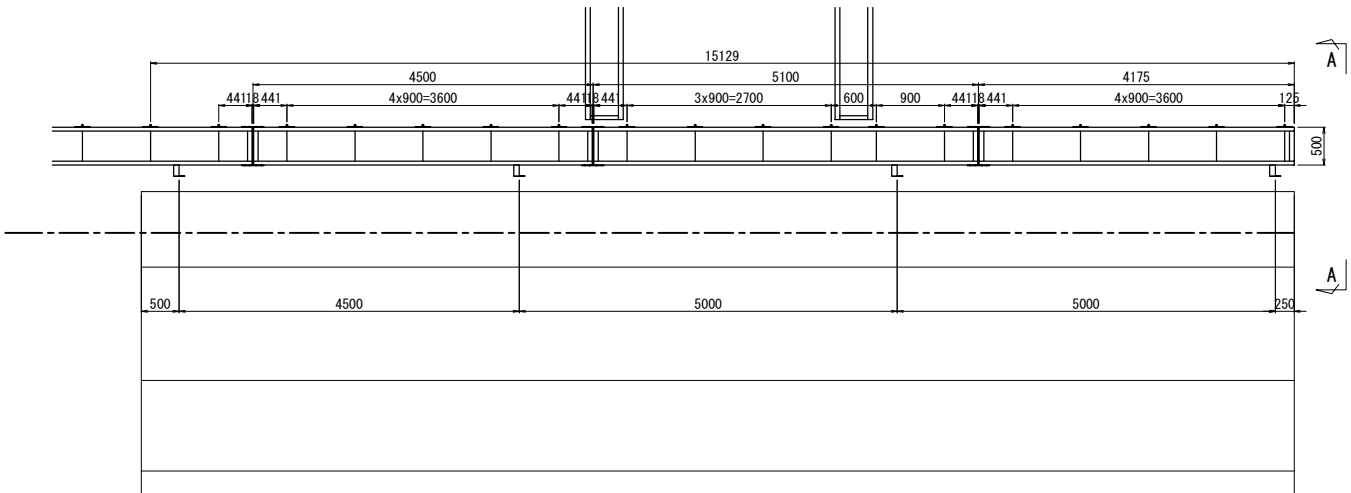
〈A1橋台〉

正面図

上り線

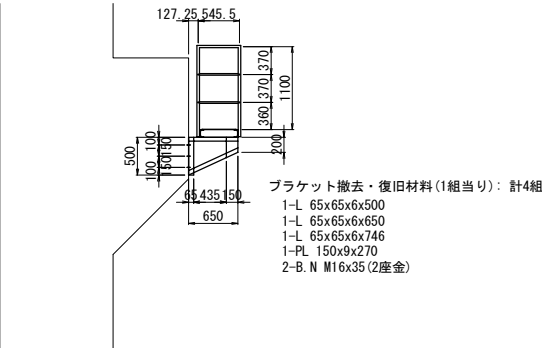


平面図

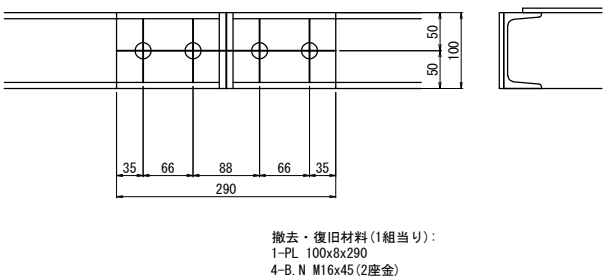


撤去設置工 数量表 AA1			
項目	単位	数量	摘要
検査路B	kg	1,297.0	

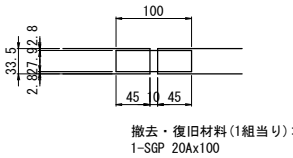
A - A



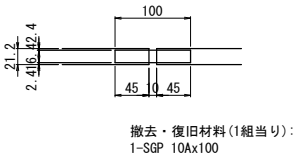
b部詳細図 S=1:10



c部詳細図 S=1:10



d部詳細図 S=1:10



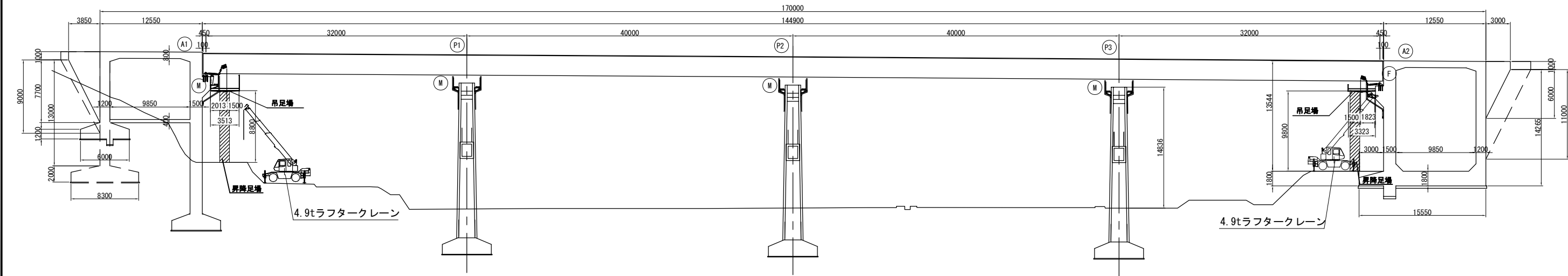
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 施工にあたっては現地測量を行い、既設構造寸法を再確認すること。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋(上り線) 下部工検査路撤去復旧図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

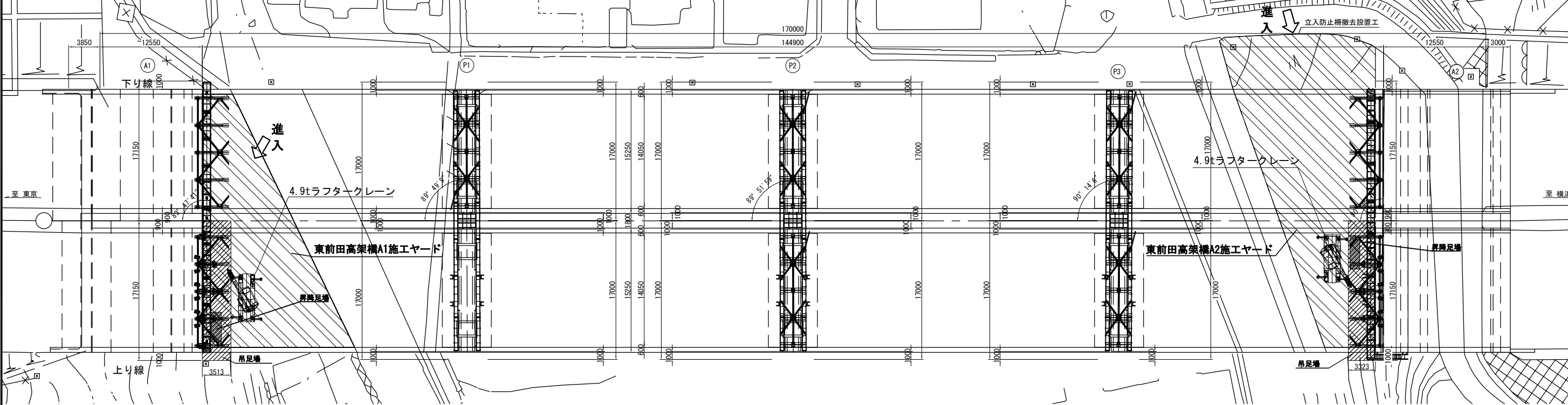
東前田高架橋 施工計画
(参考図)

S=1:500

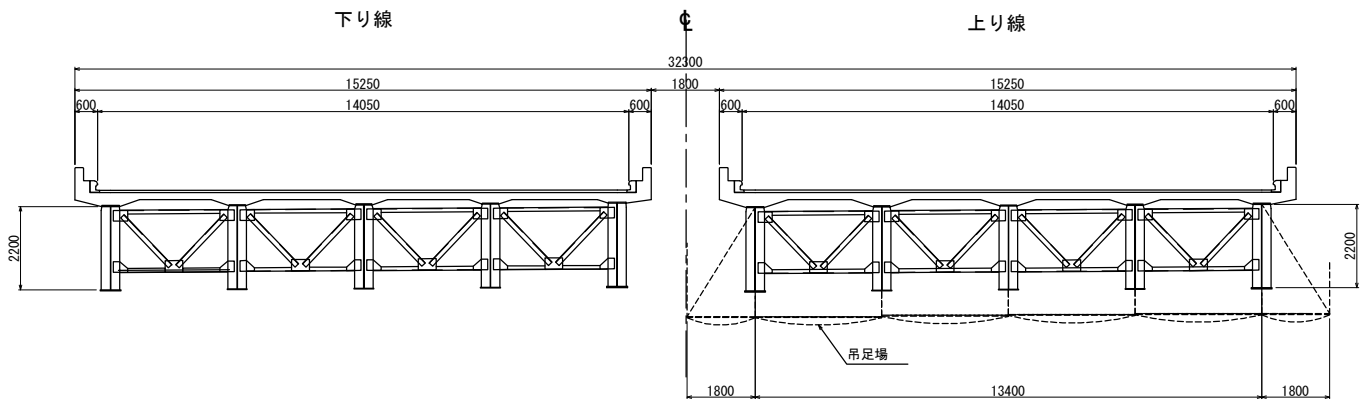
側面図



平面図



上部工断面図 S=1:200



吊足場工 (標準型側面)			
		延長×幅員	m2
A1	上	3.513×15.250	53.6
A2	上	3.323×15.250	50.7

昇降足場			
		幅×奥行×高さ	空m3
A1	上	3.6×1.2×8.8	38.0
A2	上	3.6×1.2×9.8	42.3

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	東前田高架橋 施工計画		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【三枚町高架橋】

令和 6 年 1 0 月

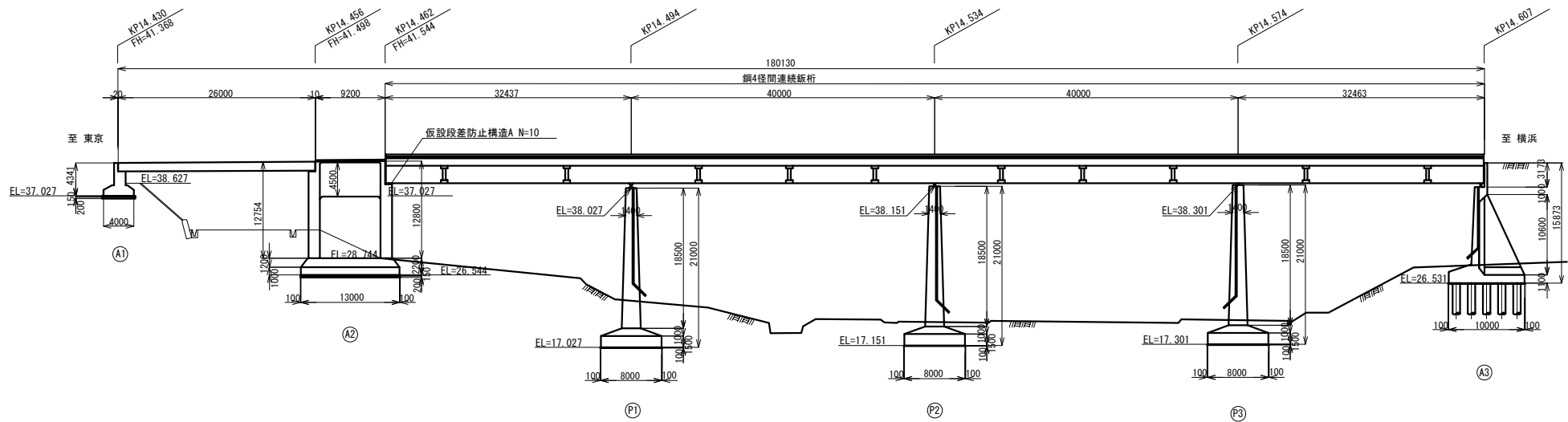
東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目次

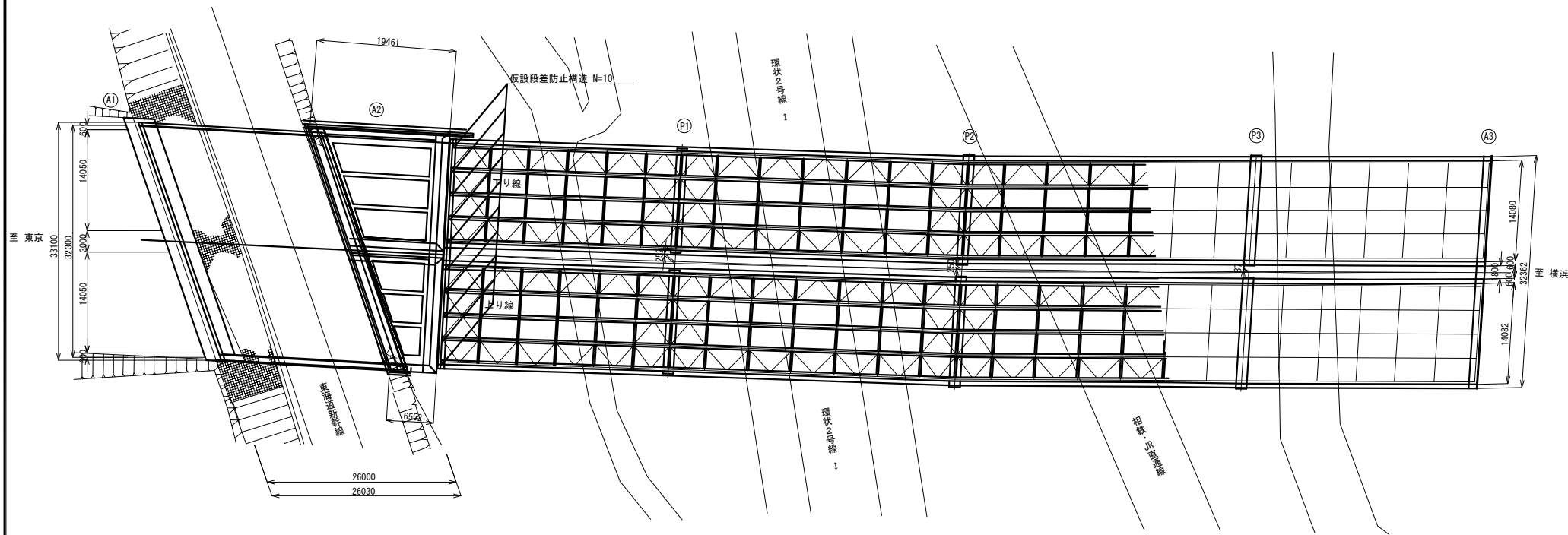
[illegible][illegible]

三枚町高架橋 耐震補強一般図

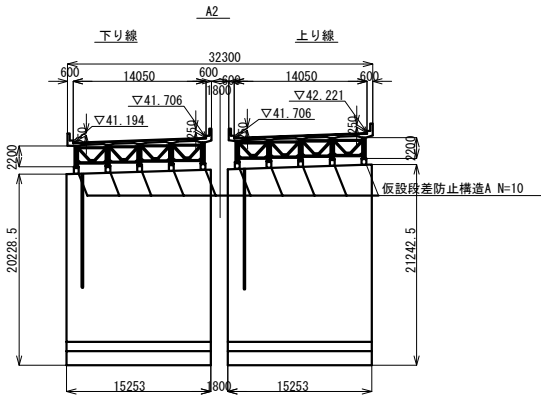
側面図 S=1 : 800



平面図 S=1 : 800



断面図 S=1 : 800



仮設段差防止構造 数量表

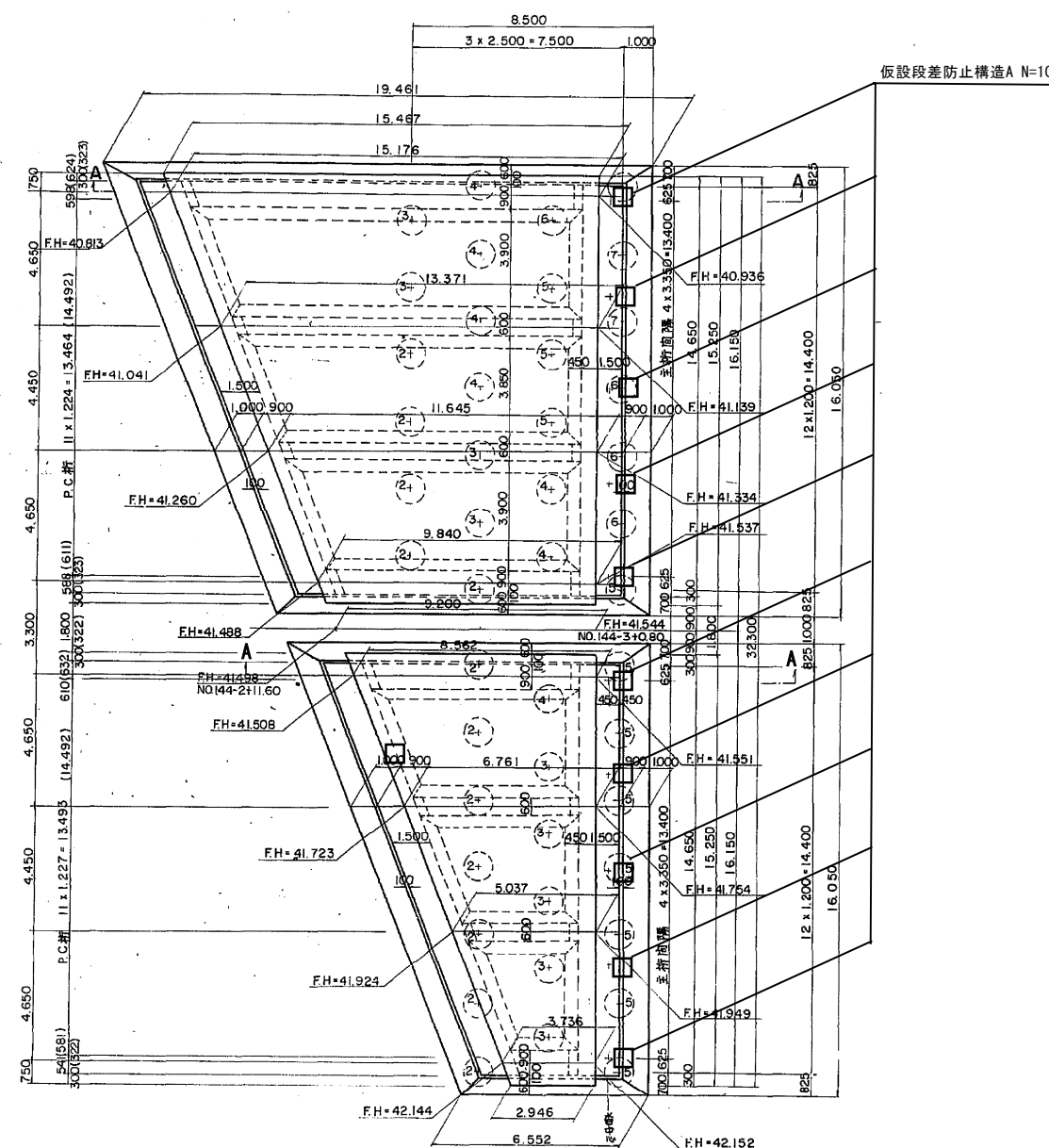
項目	単位	数量	摘要
A	箇所	5	AA2
		5	BA2

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事

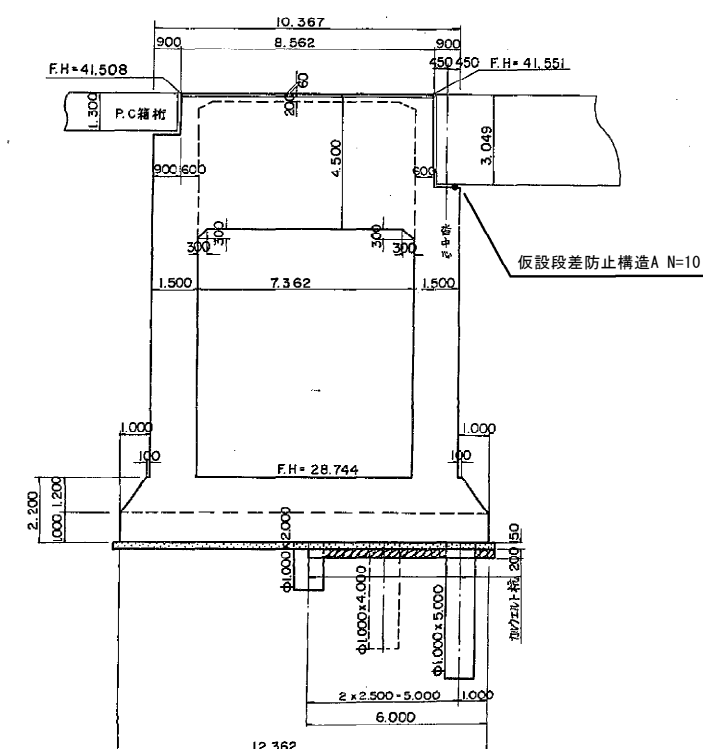
図面の種類	三枚町高架橋 耐震補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

三枚町高架橋 A2橋台構造図

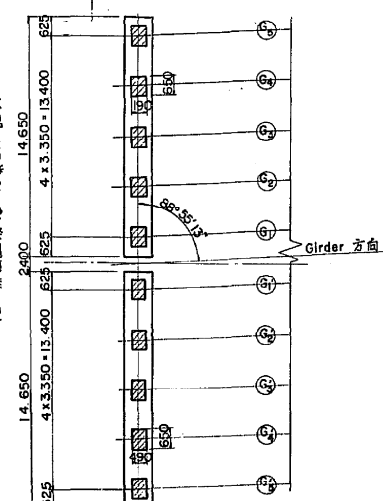
平面图



標準断面

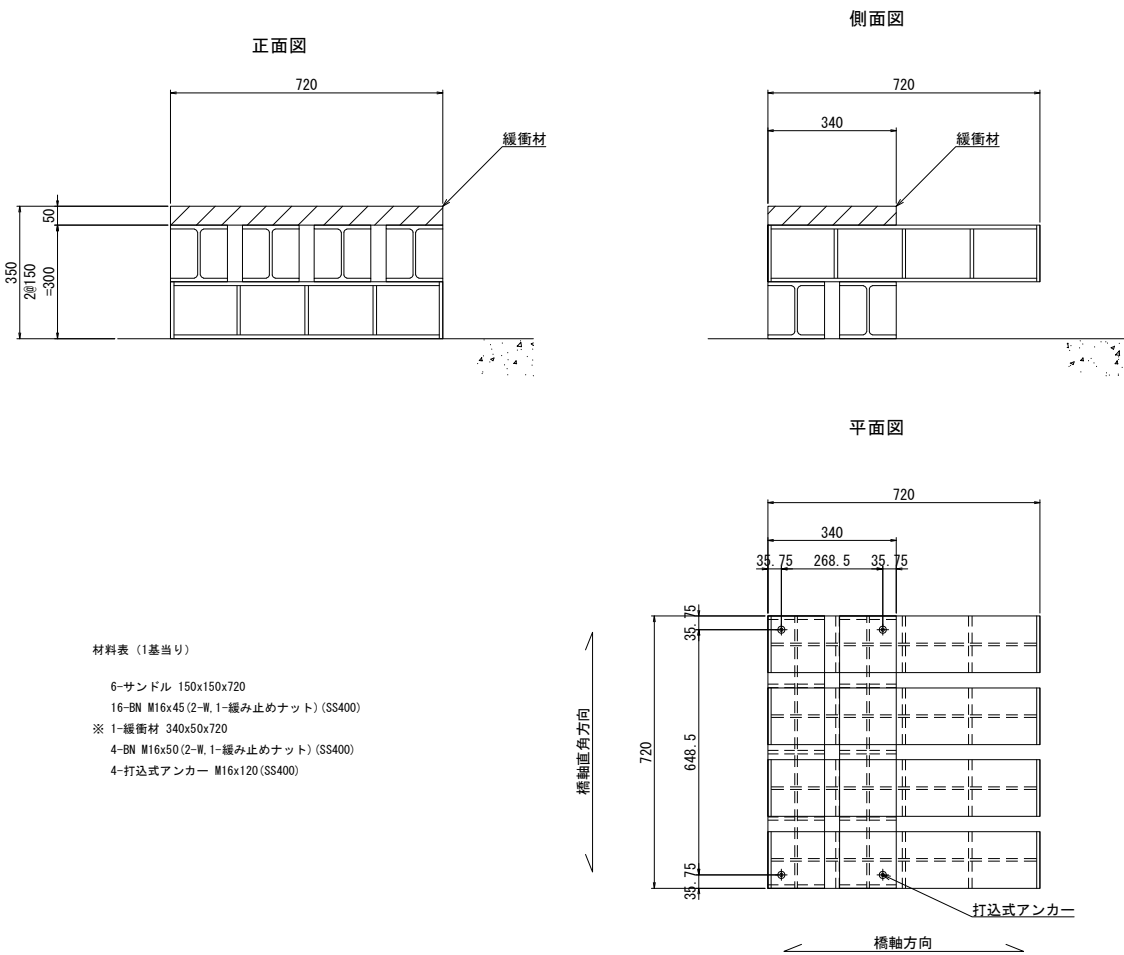


各位置詳細 $s = 1/200$
(巻下欄埋配筋は43巻21に配す)

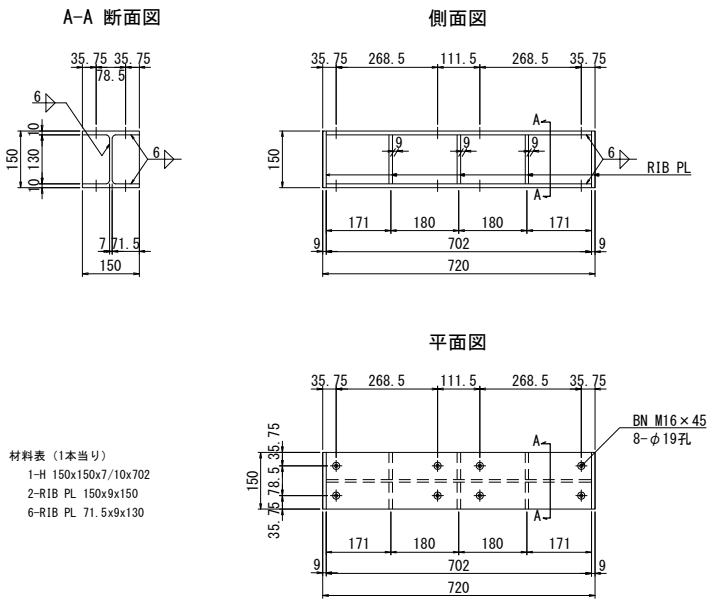


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の分類	三枚町高架橋 A2橋台構造図		
縮尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

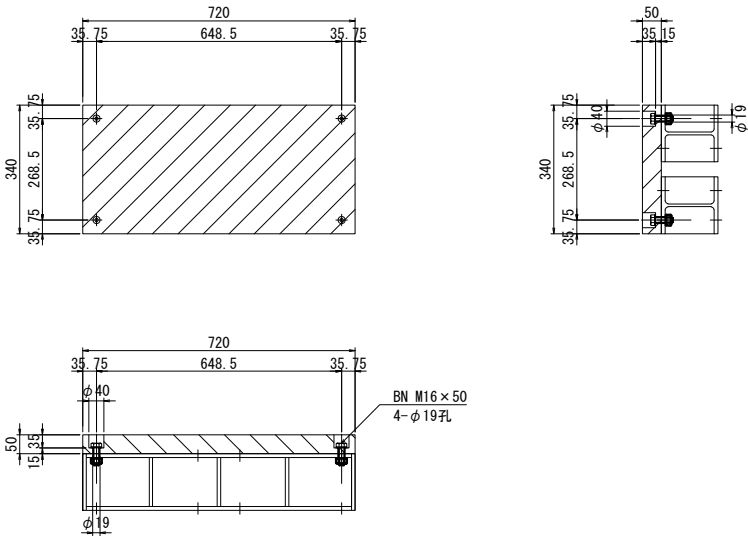
列数：2



サンドル 詳細図



緩衝材 詳細図



注記

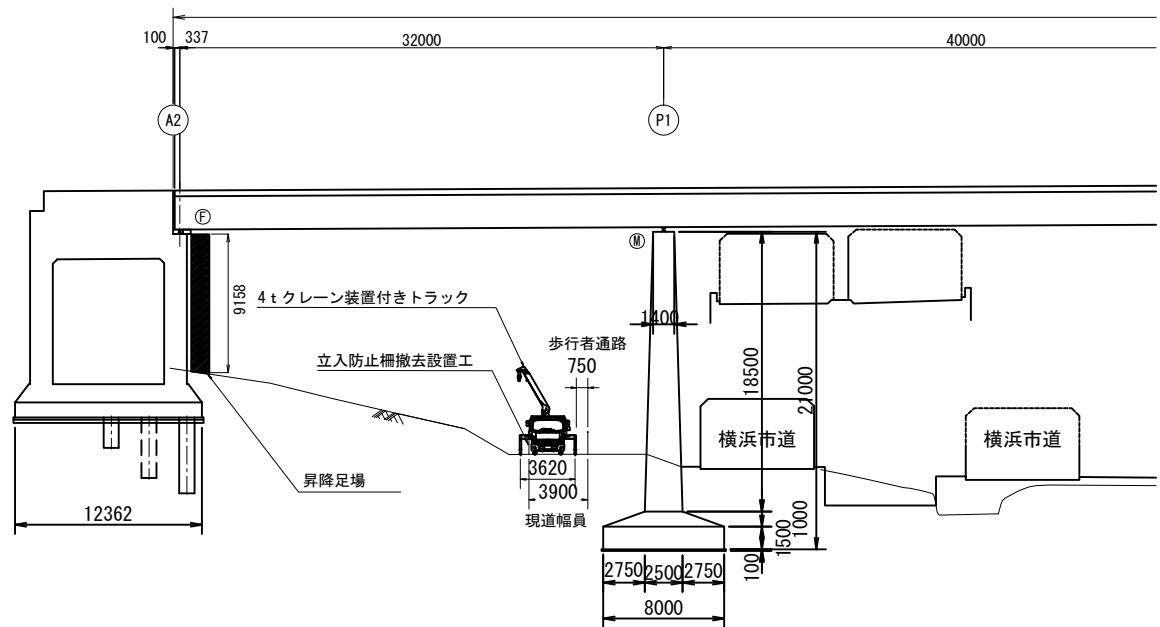
- 1) 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映すること。
- 2) 特記なき材質はSM400とする。但し、〈 >はSM490Yを用いる。
- 3) ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量はJIS H8641 HDZT77とする。但し、3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等はHDZT49とする。)
- 4) 緩衝材の規格はクロロプレンゴム、硬度55° ±5° 程度とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	三枚町高架橋 仮設段差防止構造 標準図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

三枚町高架橋 施工計画
(参考図)

S=1:500

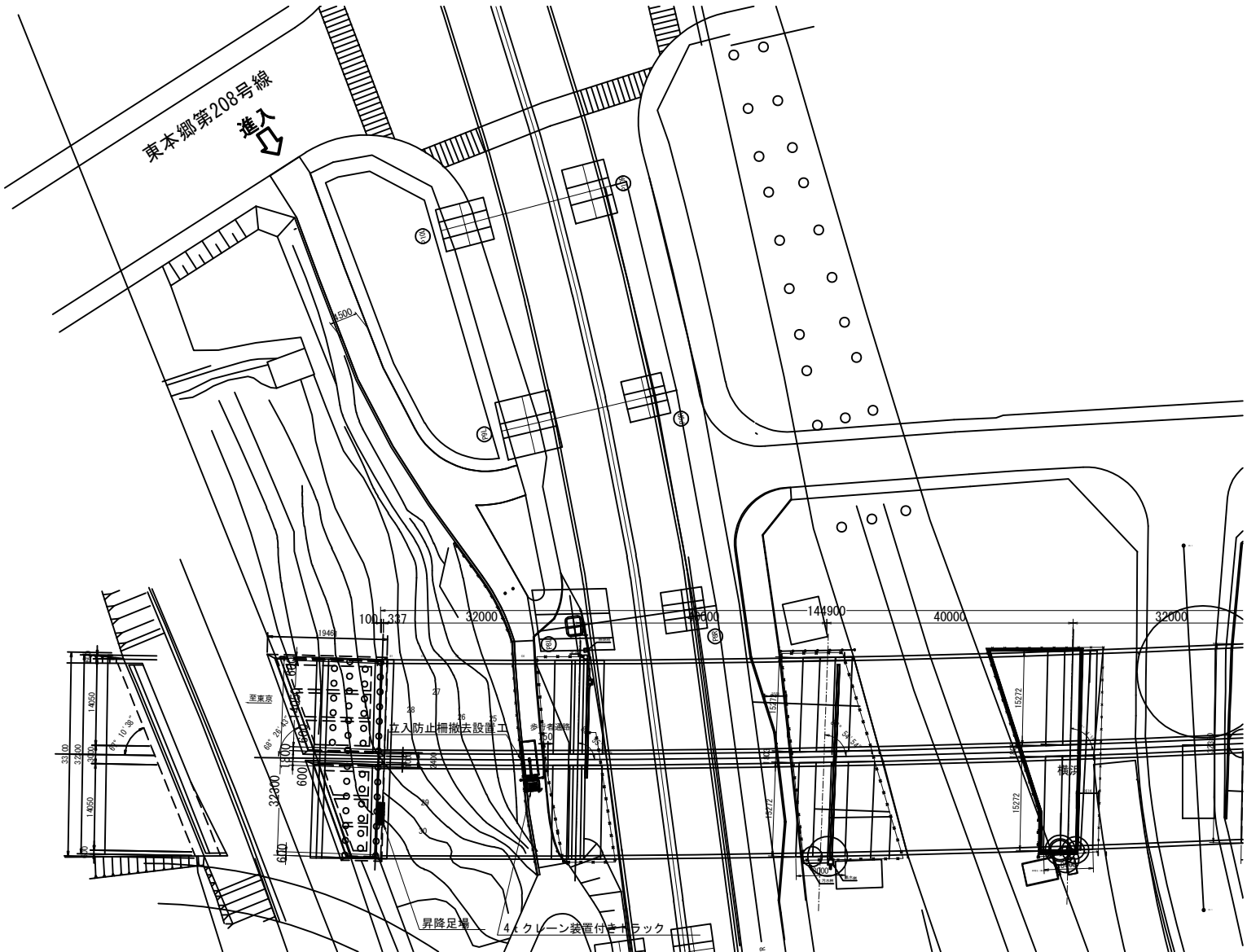
側面図 S=1:500



昇降足場 数量表

		幅×奥行×高さ	空m3
A2	上	3.6×1.2×9.2	39.7

平面図 S=1:1000



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	三枚町高架橋 施工計画		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【保土ヶ谷高架橋】

令和 6 年 1 0 月

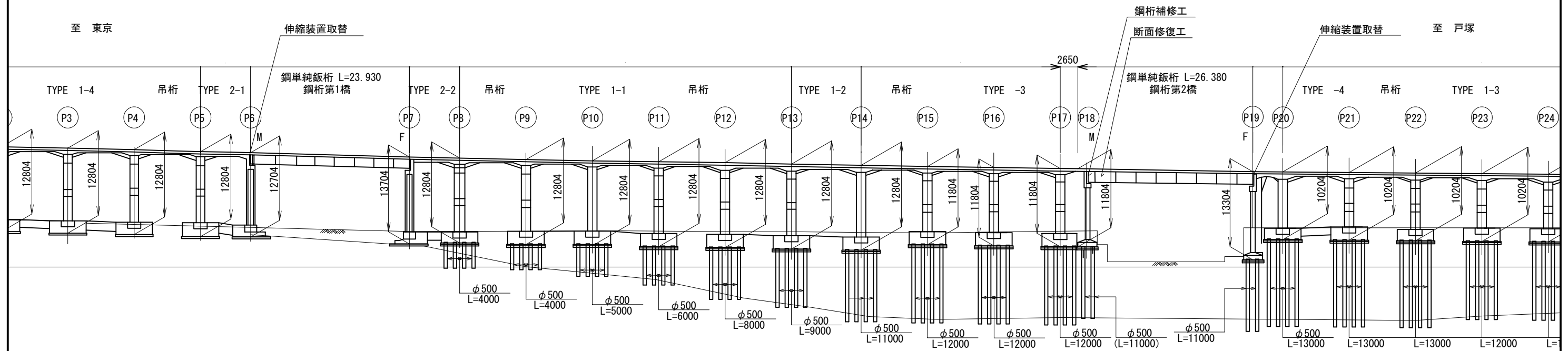
東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目次

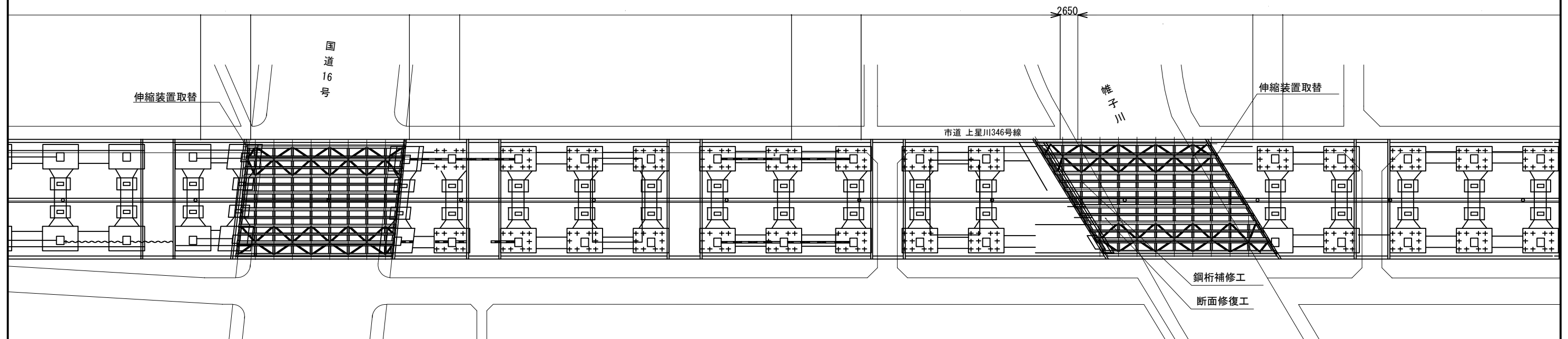
[illegible][illegible]

保土ヶ谷高架橋 補修一般図

側 面 図 S = 1 : 600



平 面 図 S = 1 : 600



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類	保土ヶ谷高架橋 補修一般図			
縮尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

保土ヶ谷高架橋(下り線) 伸縮装置補修図(1)

P6橋脚

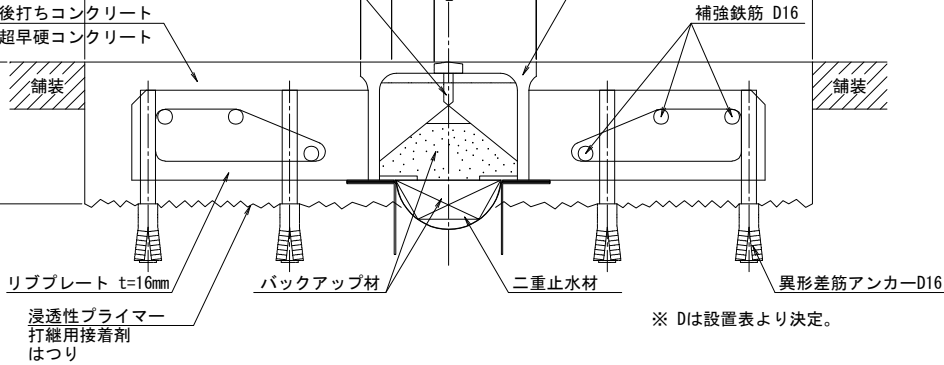
伸縮装置取替 E (S=60mm) (夜)

地覆端部詳細図 S=1:

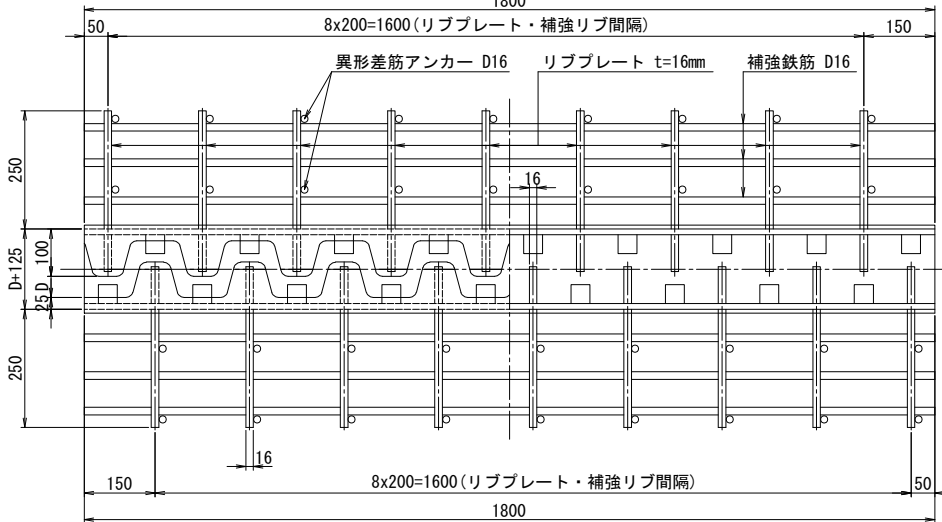
P6

伸縮装置断面図 S=1:4
伸縮量60mmタイプE (S=60mm) (参考図)

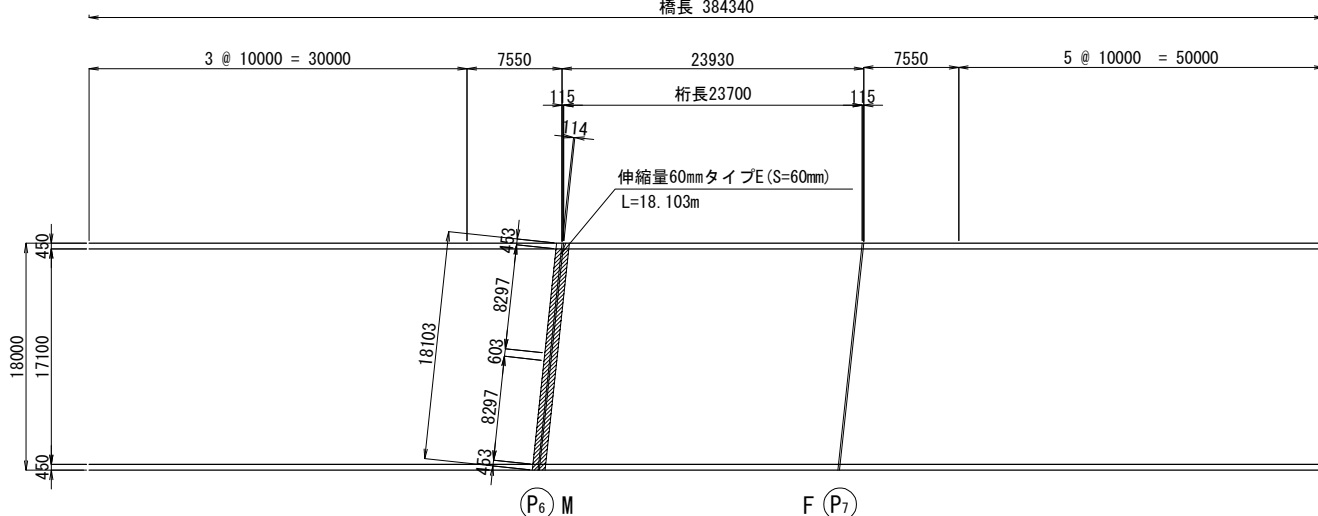
P6



伸縮装置拡大図 S=1:8

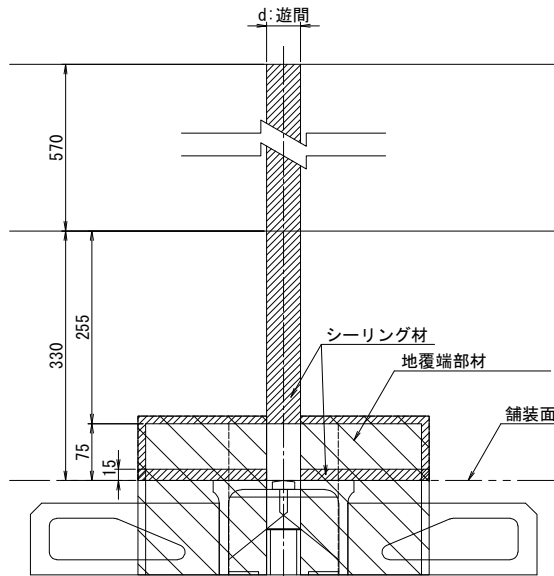
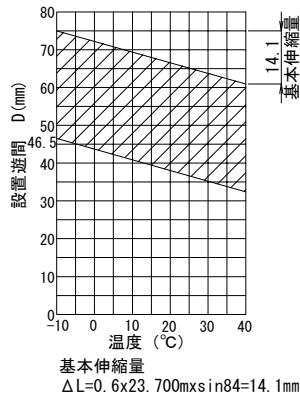



位置図 S=1:300

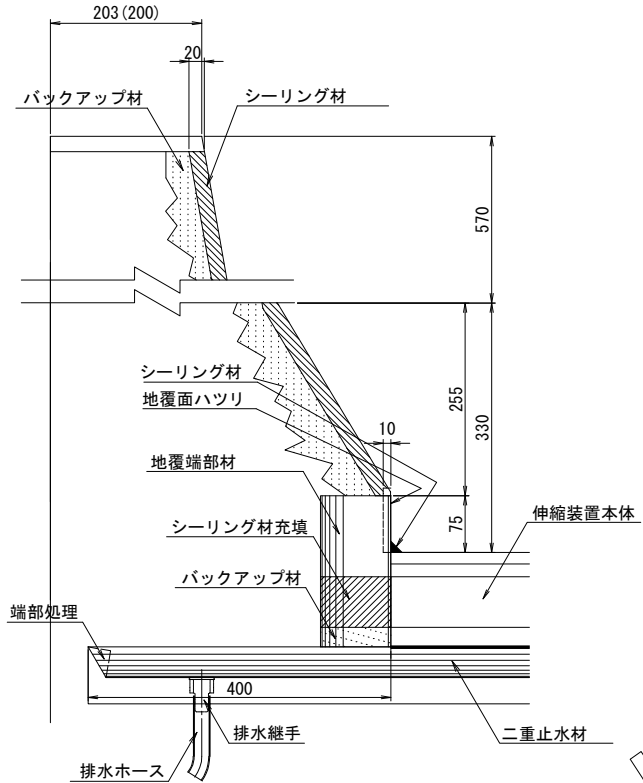


設置表

P6

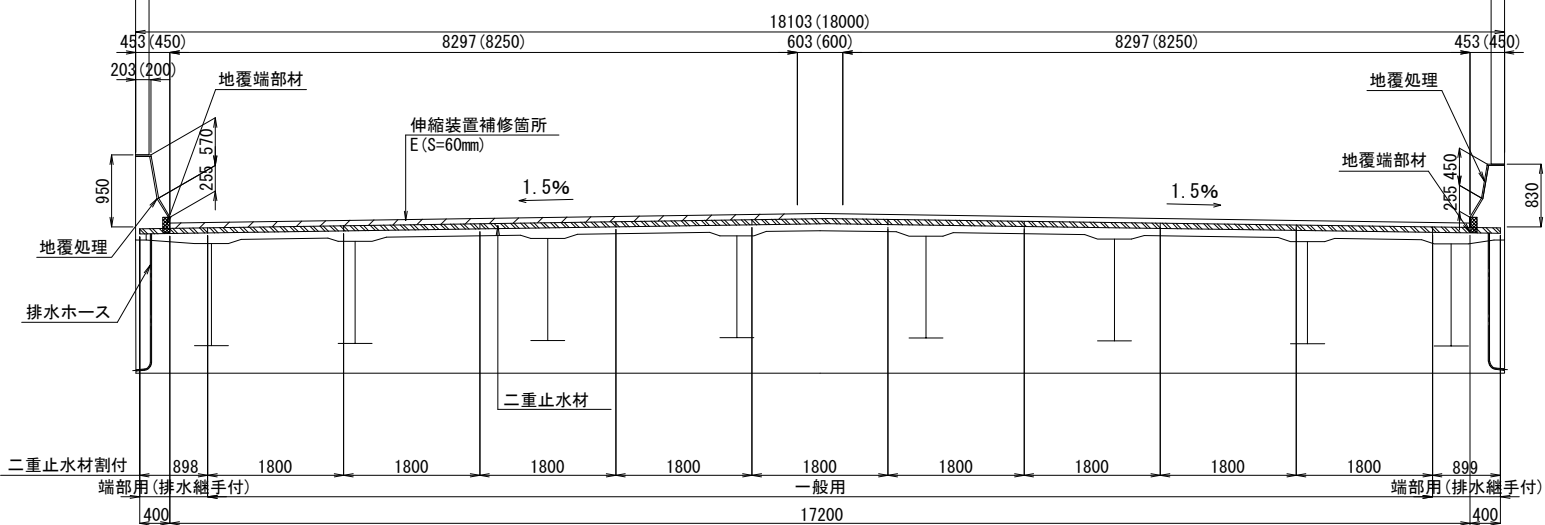


- ※1 地覆ハツリ部は設置完了後シーリング材にて仕上げを行う。
- ※2 シーリング材充填部。 
- ※3 排水ホースは勾配の低い側に設置すること。
- ※4 現地検測の上施工すること。



断面図 S=1:50

P



伸縮裝置取替 數量表

項目	単位	数量	摘要
E(S=60mm)(夜)	m	18.1	

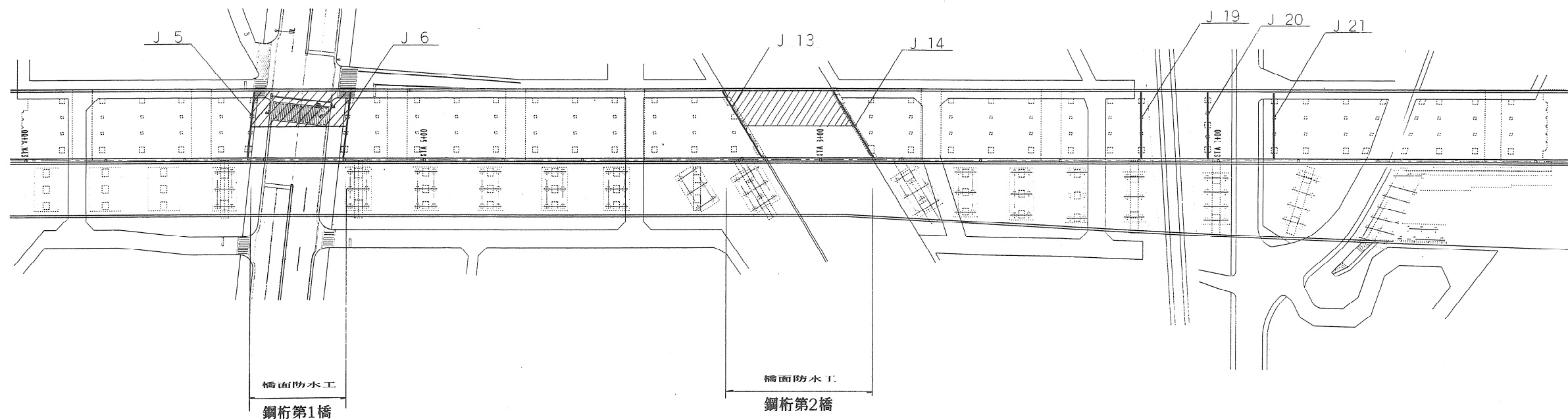
- ※5 排水ホースは、支承廻り、コンクリート天端部、第三者に水がかららない位置まで、支持金具などで固定し延長すること。
- ※6 排水ホースの取り付けかない端部用二重止水材の排水孔は、テープ等でふさぐこと。
- ※7 現地検測の上施工すること。
- ※8 ()内は道路断面寸法を示す。
- ※9 この図面は製品を指定するものではない。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋(下り線) 伸縮装置補修図(Ⅰ)		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

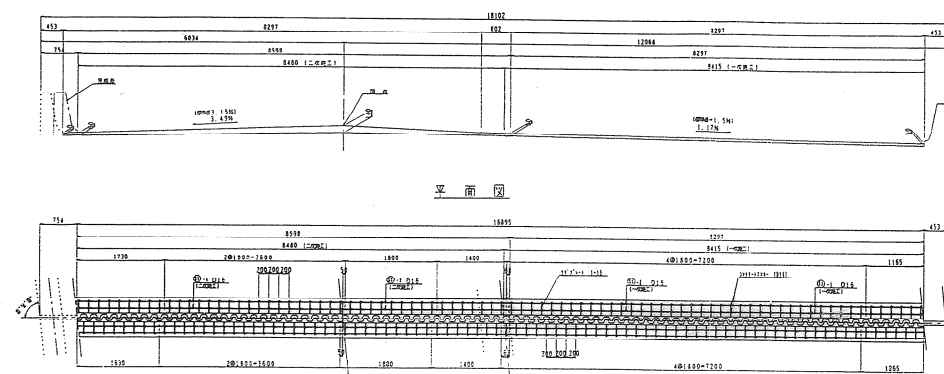
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋(下り線) 伸縮装置補修図(2)		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社櫻エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

保土ヶ谷高架橋 伸縮装置撤去図

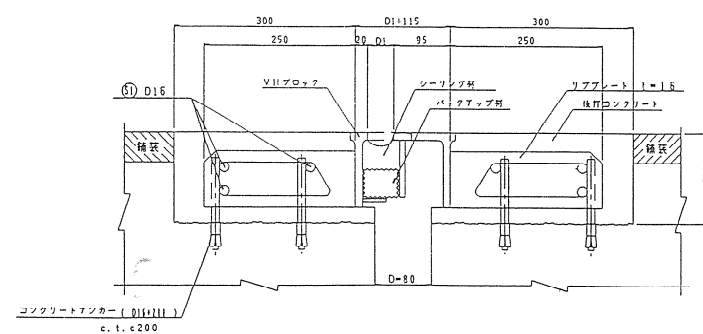
平 面 図 S=1/500



伸縮継手 一般図
断面図 S=1/0



伸縮継手 断面図 S=1/5

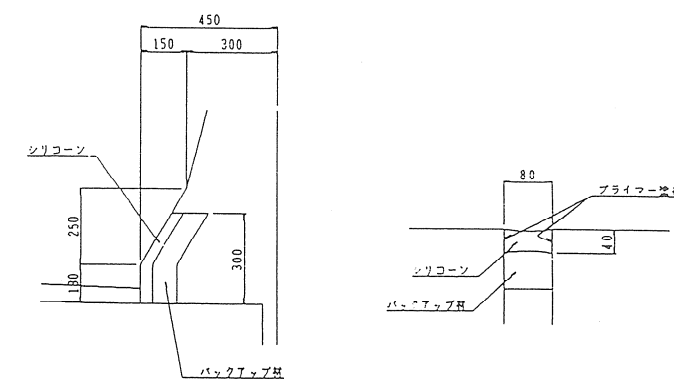


既設伸縮装置撤去重量

P6=1242kg

P19=849kg

伸縮部止水工 S=1/10



鉄筋加工図

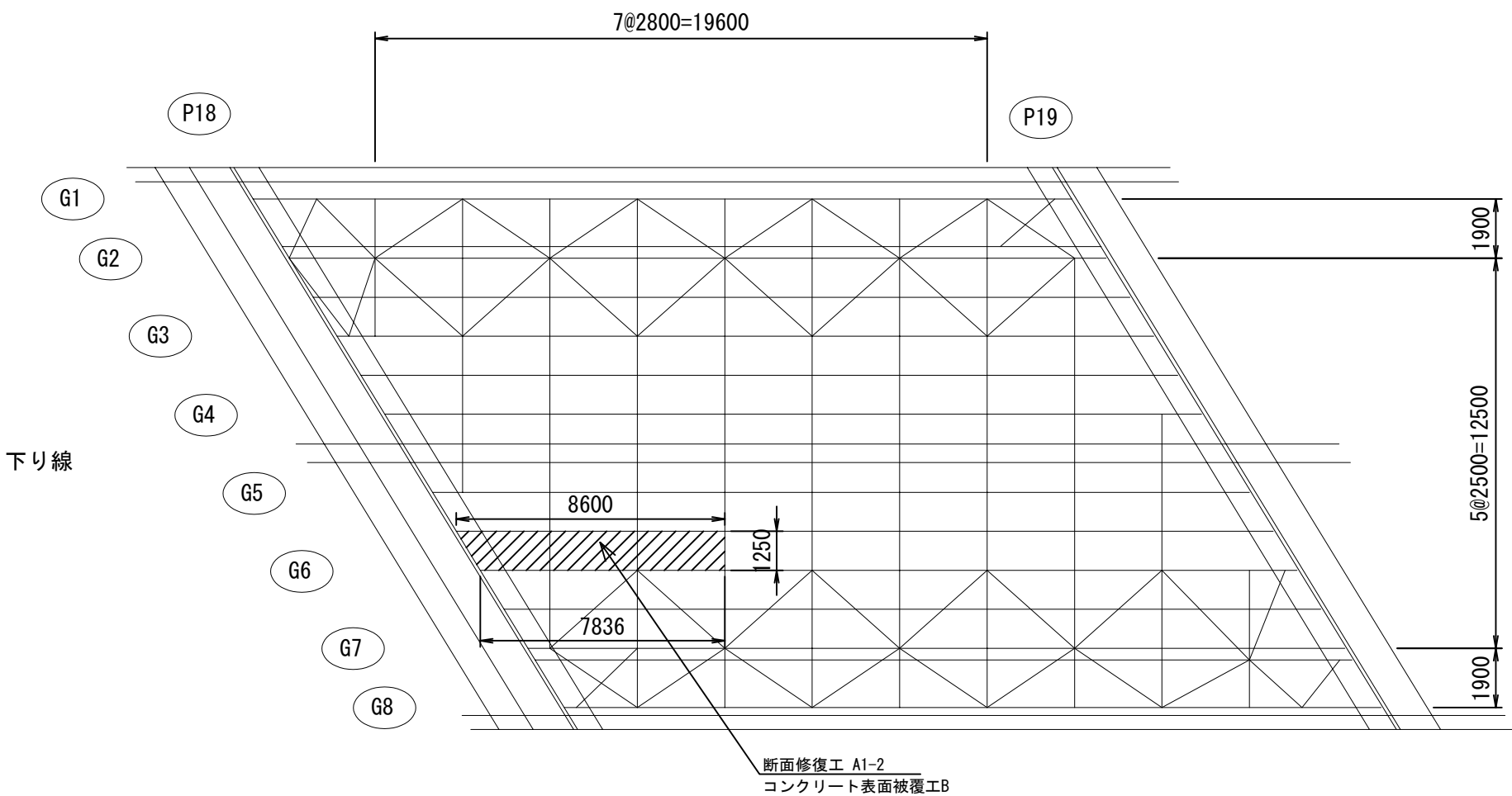


※既設伸縮装置の撤去重量は参考とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋 伸縮装置撤去図		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

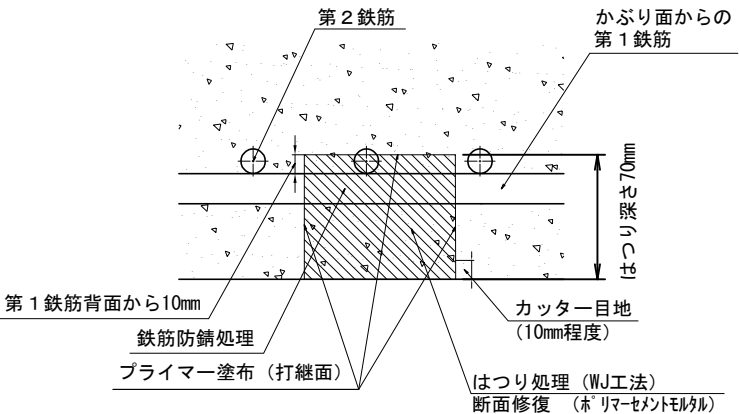
保土ヶ谷高架橋(下り線) 断面修復工

断面修復工 A1-2
表面保護工 コンクリート表面被覆工B
1 : 200



断面修復工 標準断面図

数量表		BP18～BP19	
項目	種別	単位	数量
断面修復工	A1-2	L	721.0
表面保護工	コンクリート表面被覆工B	m2	10.3



- 【 施工手順 (参考) 】
- はつり処理 (WJ工法)
 - ↓
 - (鉄筋の錆除去)
 - ↓
 - 防錆材塗布
 - ↓
 - 断面修復材充填
 - ↓
 - 表面被覆
 - ↓
 - 完了

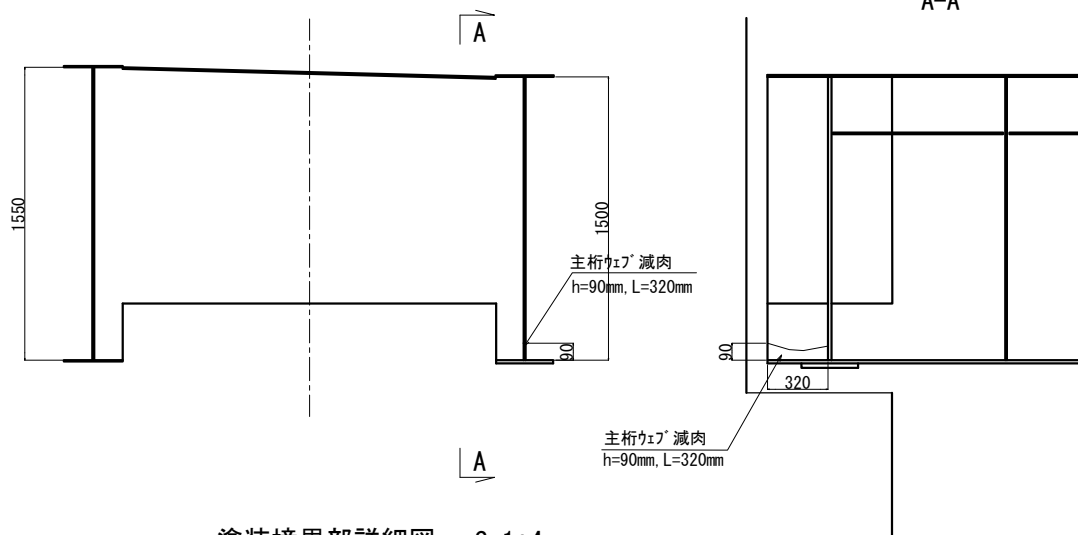
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋(下り線) 断面修復工		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

保土ヶ谷高架橋(下り線) 鋼桁補修詳細図

P18橋脚
鋼桁補修工A 塗膜除去工B

損傷図

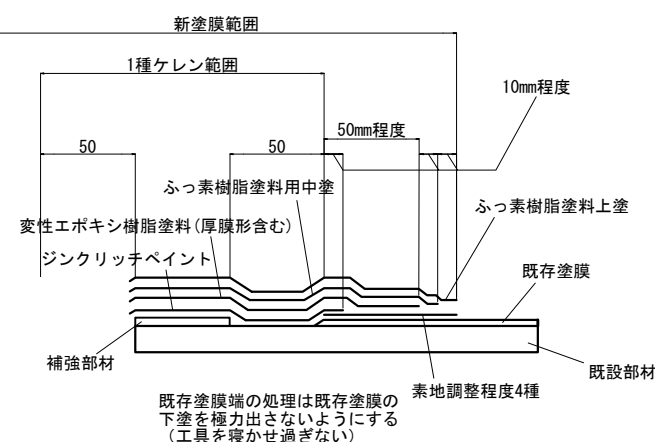
断面图 S=1:20



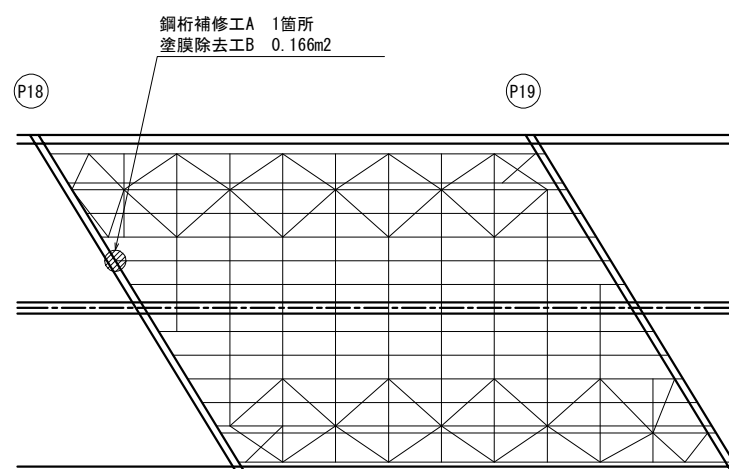
側 面 図 S=1:20



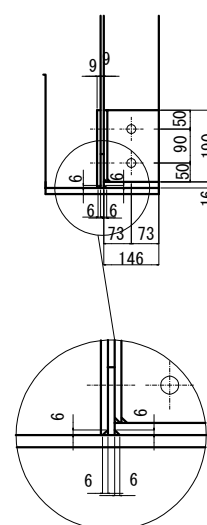
塗装境界部詳細図 S=1:4



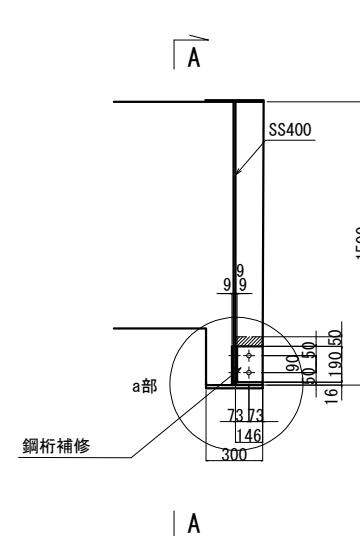
位置図 S=1:200



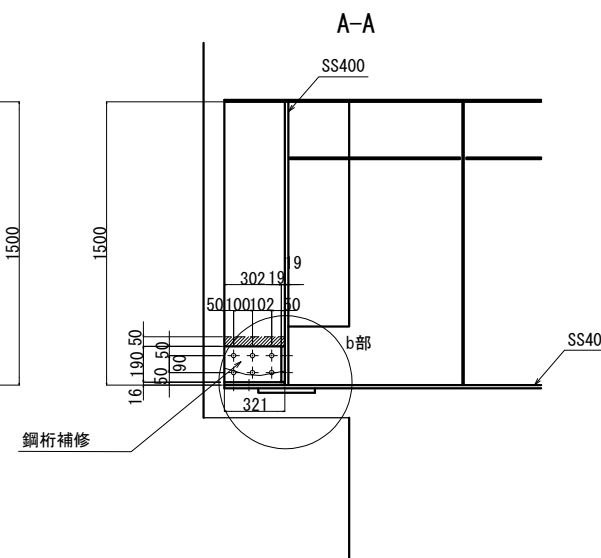
a部 詳細図 S=1:10



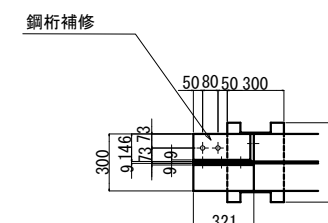
断面图 S=1:20



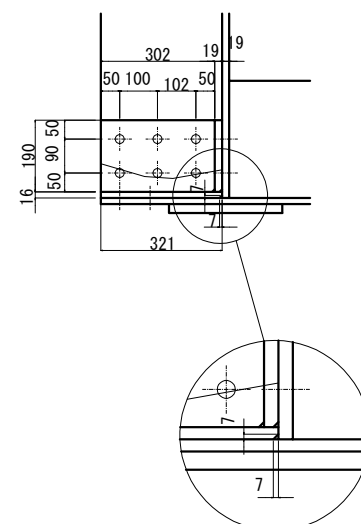
側 面 図 S=1:20



平面图 S=1:20



b部 詳細図 S=1:10



鋼桁補修工

- ①下フランジ部
1-PL 146x16x321 (SS400)
2-Bolt M22x70 (S10T)
- ②垂直補鋼材部
1-PL 146x19x190 (SS400)
2-Bolt M22x75 (S10T)
- ③ウェブ部
1-PL 190x9x302 (SS400)
6-Bolt M22x60 (S10T)
- ④ウェブ部 (背面)
1-PL 206x9x321 (SS400)

鋼桁補修工 数量表 BP18

項目	單位	數量	摘要
A	箇所	1	

塗膜除去工 数量表 BP18

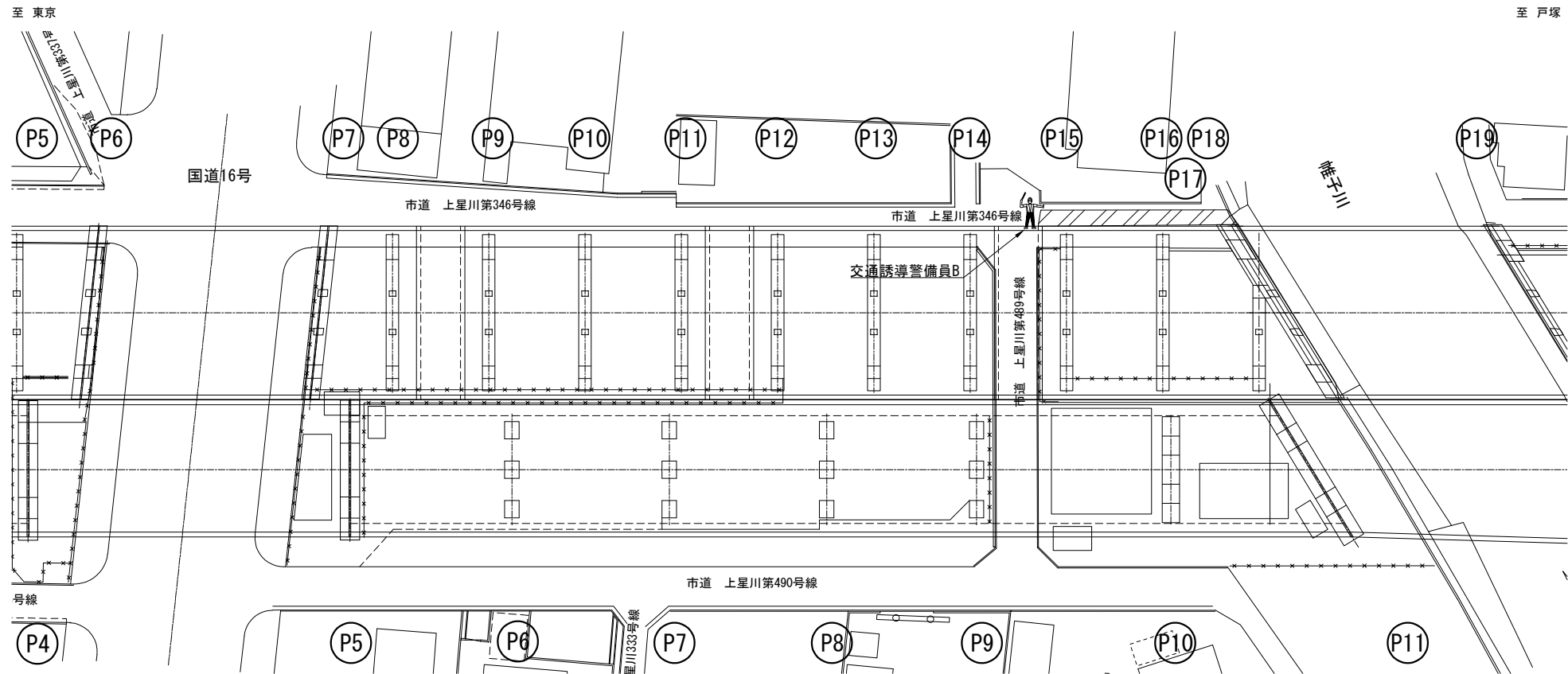
項目	單位	數量	摘要
B	m2	0.166	

〈注記〉

- 1：補修箇所は、必ず現場実測確認の上で施工を行うこと。
- 2：部材は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4：表記なきものはSM400Aとする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋 鋼桁補修詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社横エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

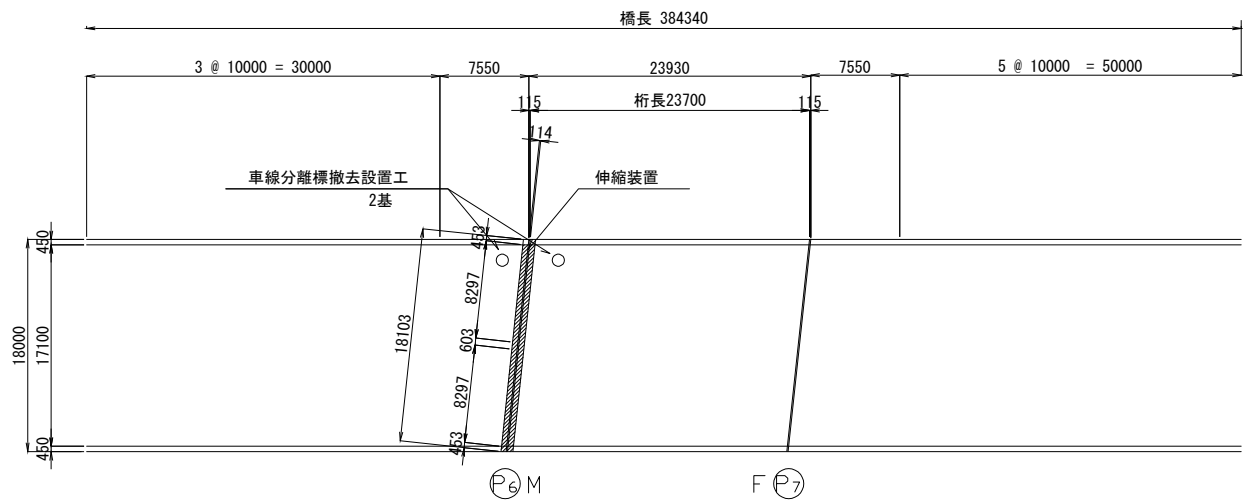
平面図 S=1:1000



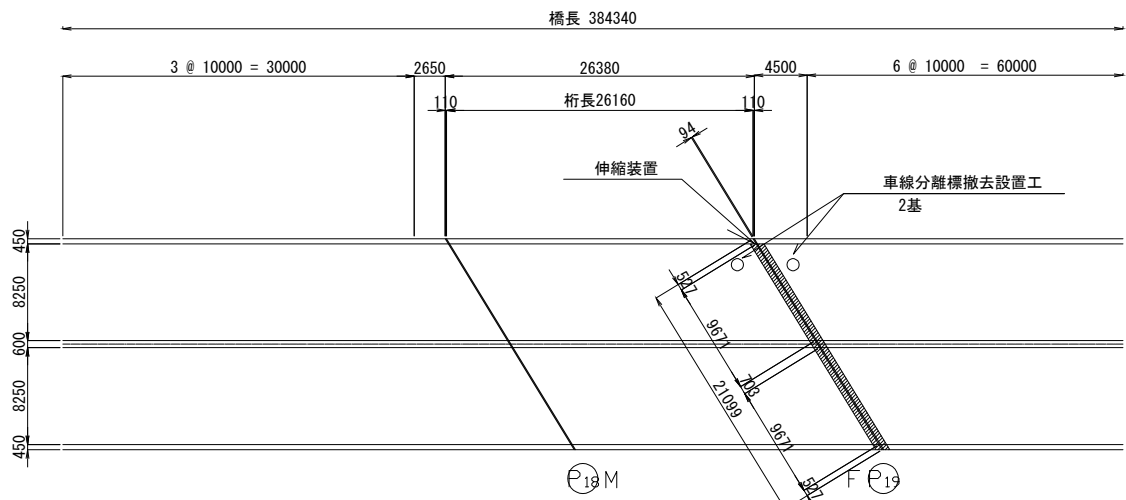
交通保安要員の配置

配置場所	交通保安要員の種別	配置人数	交替要員
市道 上星川第346号線 ・一般道規制(保土ヶ谷高架橋)	・規制箇所 交通誘導警備員B	1人	1人

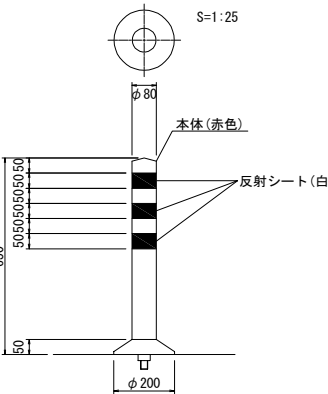
位置図 S=1:250
本線上(下り線)P6



位置図 S=1:250
本線上(下り線)P19



車線分離標撤去設置工
ポール(H=650mm)(夜)



数量表

項目	種別	単位	数量	摘要
車線分離標撤去設置工	ポール(H=650mm)(夜)	基	2	BP6
			2	BP19

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事

図面の種類	保土ヶ谷高架橋 附帯工		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 弘洋コンサルタンツ		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

中央分離帯

追越車線 ←

第一走行 ←

路 肩

お礼看板

工事箇所

交通監視員A
(別途検測)

防護車両*3

交通監視員
(規制費に含む)

標識車

工事車両入口

50m以上

ラバーコーン10～20m毎
工事箇所は10m毎

100m以上

50m

200m

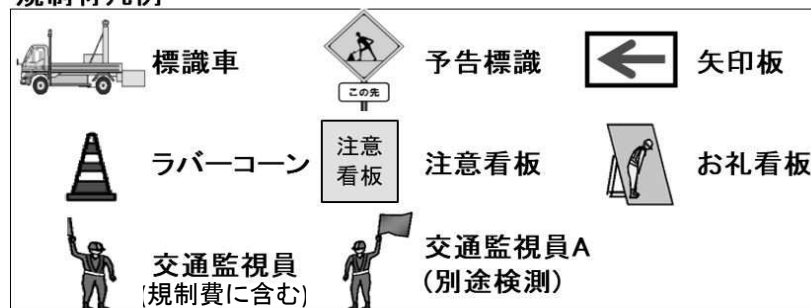
300m

テーパ部 矢印板6枚
(10m間隔)

数量表 路肩規制 I × 1 1回当たり

項目	単位	数量	備考
予告標識	枚	2	貸与品
矢印板	枚	6	貸与品
ラバーコーン	本	50	貸与品
安全太郎	台	0	貸与品
赤色回転灯	台	0	貸与品
お礼・注意看板	枚	1	貸与品
標識車	台	0	貸与品
標識車	台	1	受注者所有
防護車両	台	1	受注者所有(※3)
交通監視員	人	1	規制保守(規制費に含む)
交通監視員(交替)	人	1	規制保守(規制費に含む)
交通監視員A	人	1	別途検測(※1)
発煙筒(15分)	本	6	受注者所有(テーパ設置撤去時)(※2)

規制材凡例



- ・(※1)交通監視員Aは、工事箇所に配置する
- ・(※2)発煙筒は設置・撤去各3本の使用を基本とする
- ・(※3)工事(作業)箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する
- ・テーパ部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式又は自発光式とする
- ・工事箇所付近ではラバーコーンの設置間隔を10mとし、保安等を設置して注意喚起する
- ・危険車両が接近した際に規制内作業員へ警告する遠隔操作式サイレンや大音量電子ホイッスル等の警報装置を使用する
- ・状況に応じ、テーパ終了部に「赤色回転灯」を設置する。
- ・路肩が狭い区間は、駐車帯・バス停等を利用し標識車を配置する。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
区画の名称	保土ヶ谷高架橋 規制図(1)		
縮尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

保土ヶ谷高架橋 規制図(2)

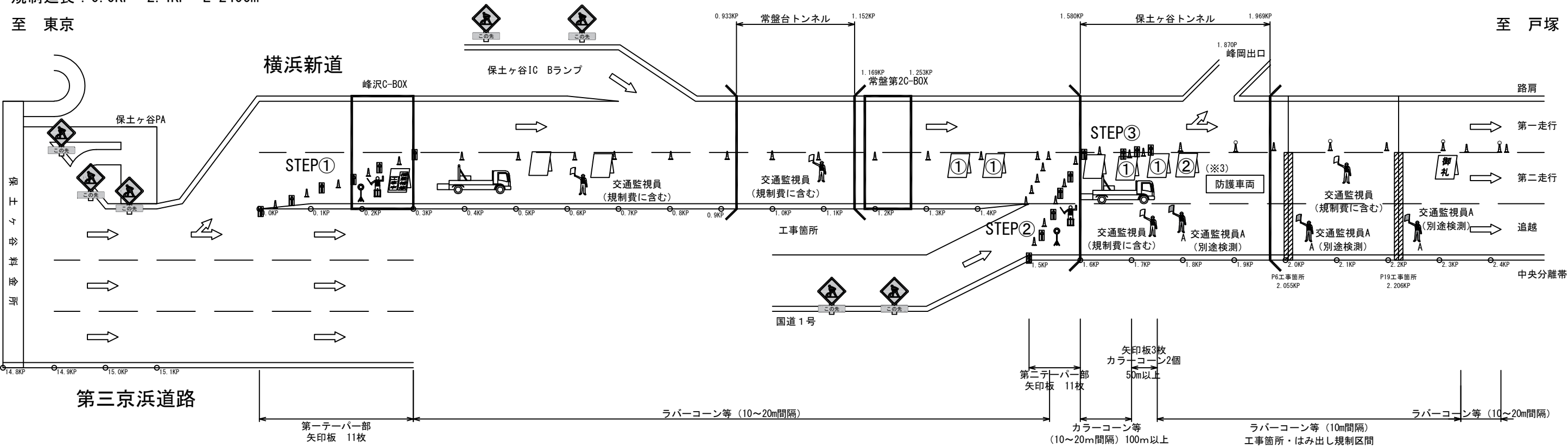
規制箇所：横浜新道（下り線）第二走行・追越

交通規制工 車線規制 Ⅲ×1×0×2・A1（夜）

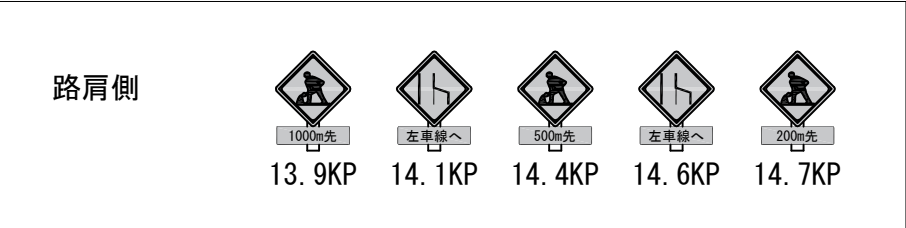
規制延長：0.0KP～2.4KP L=2400m

至 東京

至 戸塚



予告標識設置位置（第三京浜道路）

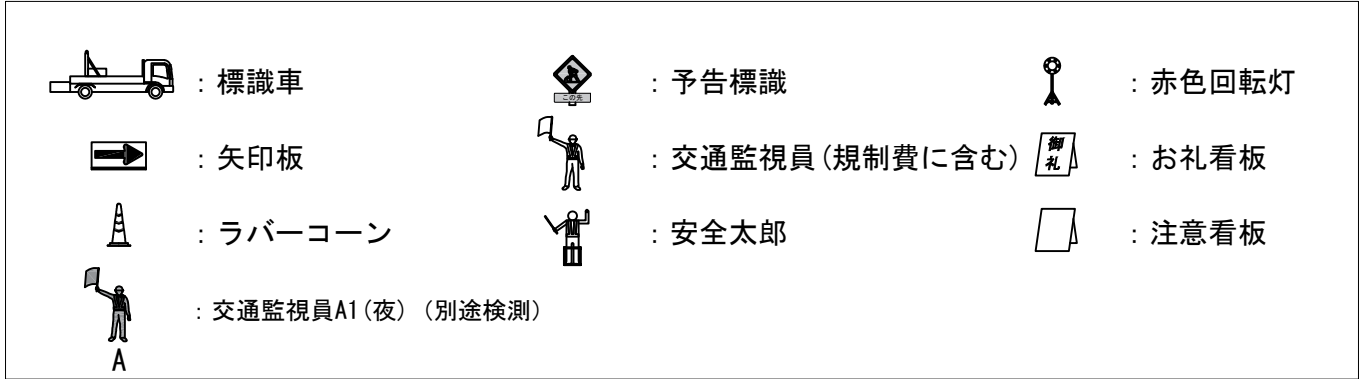


数量表 1 規制当り

項目	単位	数 量	備 考
予告標識	枚	12	貸与品
矢印板	枚	25	貸与品
ラバーコーン	本	134	貸与品
安全太郎	台	2	貸与品
赤色回転灯	台	2	貸与品
お礼・注意・案内看板	枚	10	貸与品
標識車	台	0	貸与品
標識車	台	2	受注者所有
防護車両	台	1	受注者所有※3
交通監視員	人	4	規制保守（規制費に含む）
交通監視員（交替）	人	1	規制保守（規制費に含む）
交通監視員A1（夜）	人	3	別途検測※1
発炎筒（15分）	本	12	受注者所有（テーパー設置撤去時）※2

- ・（※1）交通監視員Aは、工事箇所・工事車両出入口に配置する
- ・（※2）発炎筒は、設置・撤去各3本の使用を基本とする
- ・（※3）工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する
- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式又は自発光式とする
- ・工事箇所付近ではラバーコーンの設置間隔を10mとし、保安等を設置して注意喚起する
- ・危険車両が接近した際に規制内作業員へ警告する遠隔操作式サイレンや大音量電子ホイッスル等の警報装置を使用する

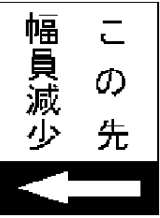
規制材凡例



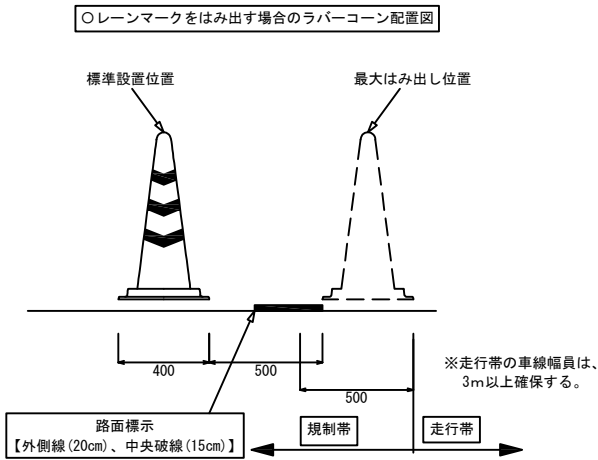
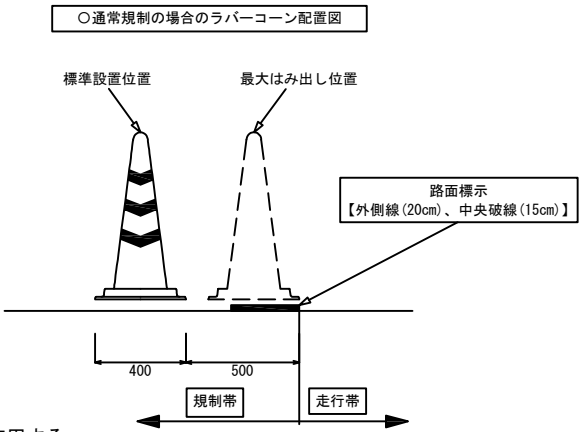
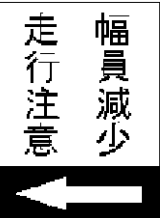
施工ステップ

STEP① 20:00～
STEP② STEP①設置完了次第
STEP③ 22:00～

注意看板①



注意看板②



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋 規制図(2)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

保土ヶ谷高架橋 規制図(3)

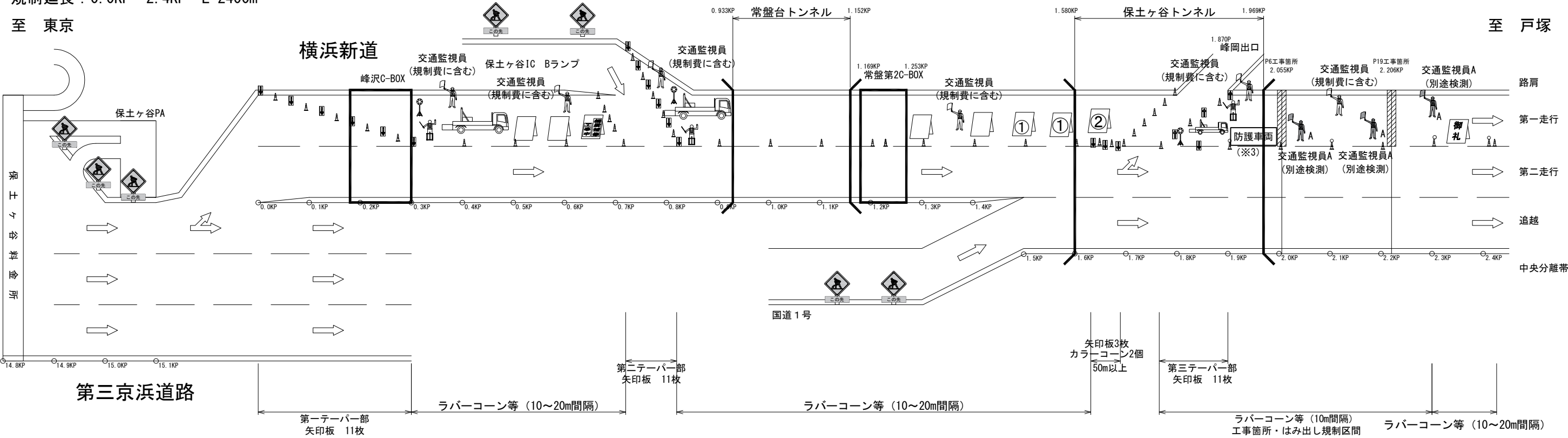
規制箇所：横浜新道（下り線）第一走行

交通規制工 車線規制 Ⅲ×1×0×3・A1（夜）

規制延長：0.0KP～2.4KP L=2400m

至 東京

至 戸塚



規制材凡例

：標識車

：矢印板

：ラバーコーン

：交通監視員A1（夜）（別途検測）

：予告標識

：交通監視員（規制費に含む）

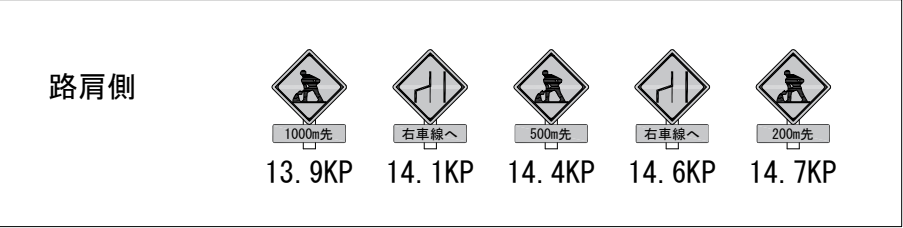
：安全太郎

：赤色回転灯

：お礼看板

：注意看板

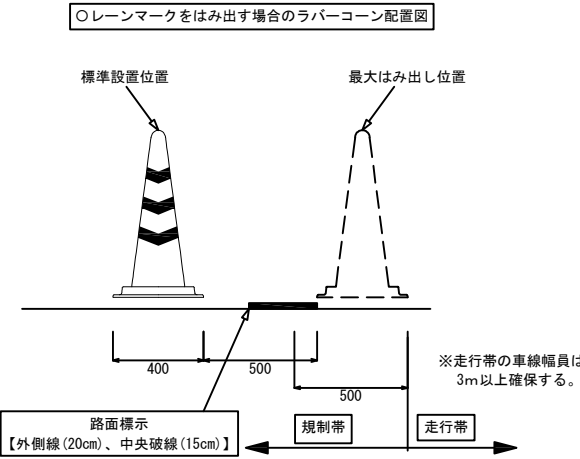
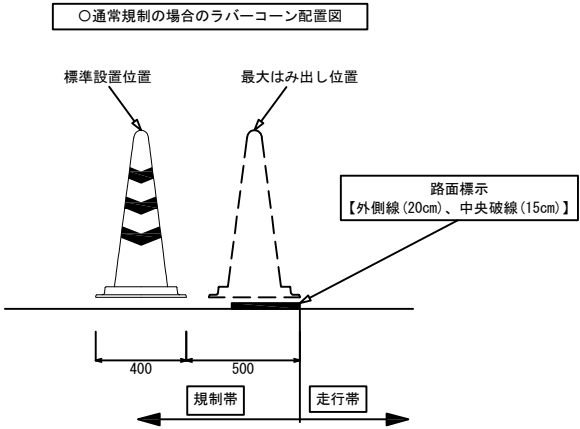
予告標識設置位置（第三京浜道路）



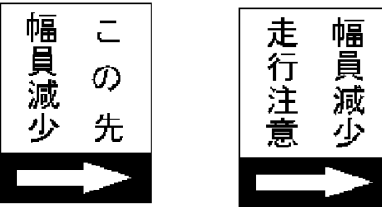
数量表 1 規制当り

項 目	単位	数 量	備 考
予告標識	枚	12	貸与品
矢印板	枚	36	貸与品
ラバーコーン	本	141	貸与品
安全太郎	台	3	貸与品
赤色回転灯	台	3	貸与品
お礼・注意・案内看板	枚	9	貸与品
標識車	台	0	貸与品
標識車	台	3	受注者所有
防護車両	台	1	受注者所有※3
交通監視員	人	6	規制保守（規制費に含む）
交通監視員（交替）	人	1	規制保守（規制費に含む）
交通監視員A1（夜）	人	3	別途検測※1
発炎筒（15分）	本	18	受注者所有（テーパー設置撤去時）※2

- ・（※1）交通監視員Aは、工事箇所・工事車両出入口に配置する
- ・（※2）発炎筒は、設置・撤去各3本の使用を基本とする
- ・（※3）工事（作業）箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する
- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式又は自発光式とする
- ・工事箇所付近ではラバーコーンの設置間隔を10mとし、保安等を設置して注意喚起する
- ・危険車両が接近した際に規制内作業員へ警告する遠隔操作式サイレンや大音量電子ホイッスル等の警報装置を使用する



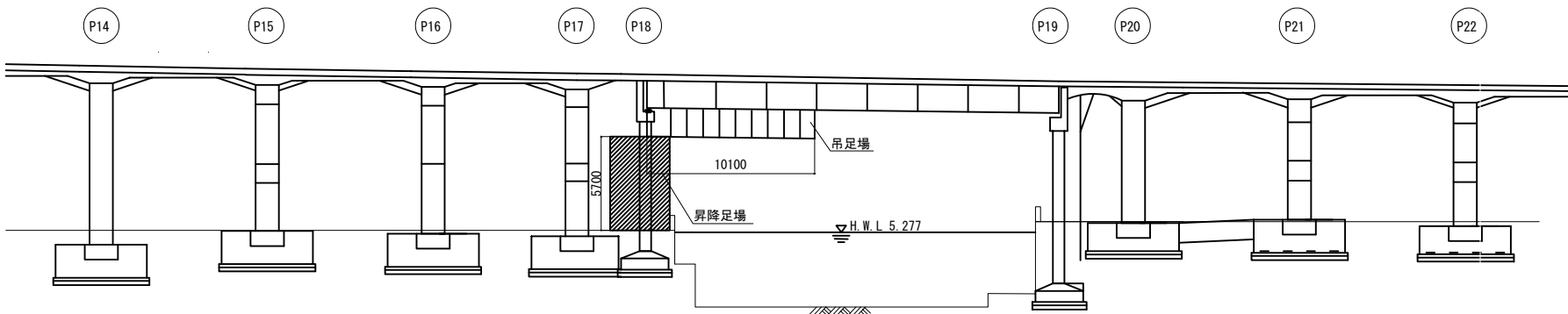
注意看板① 注意看板②



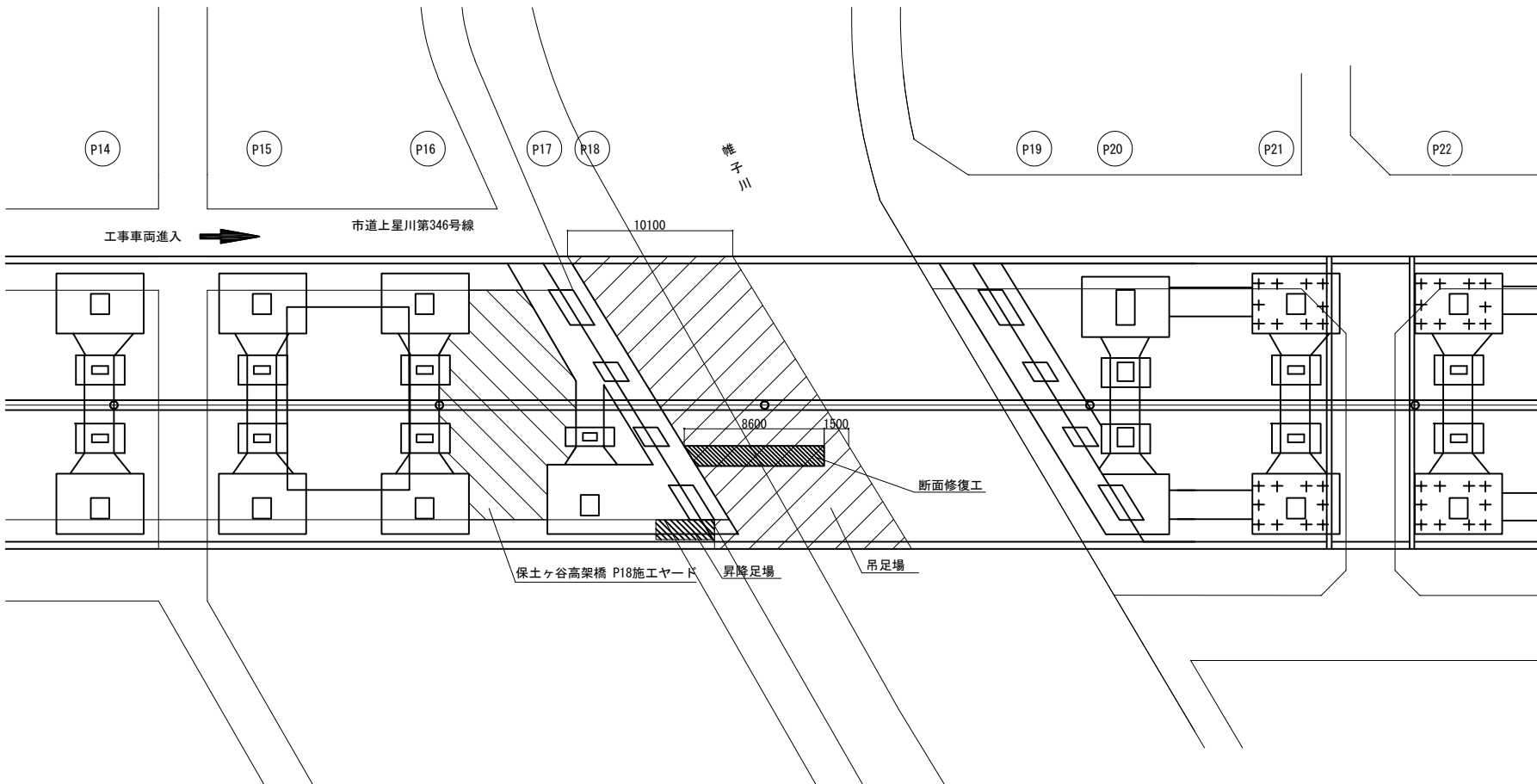
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋 規制図(3)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

保土ヶ谷高架橋 施工計画
(参考図)

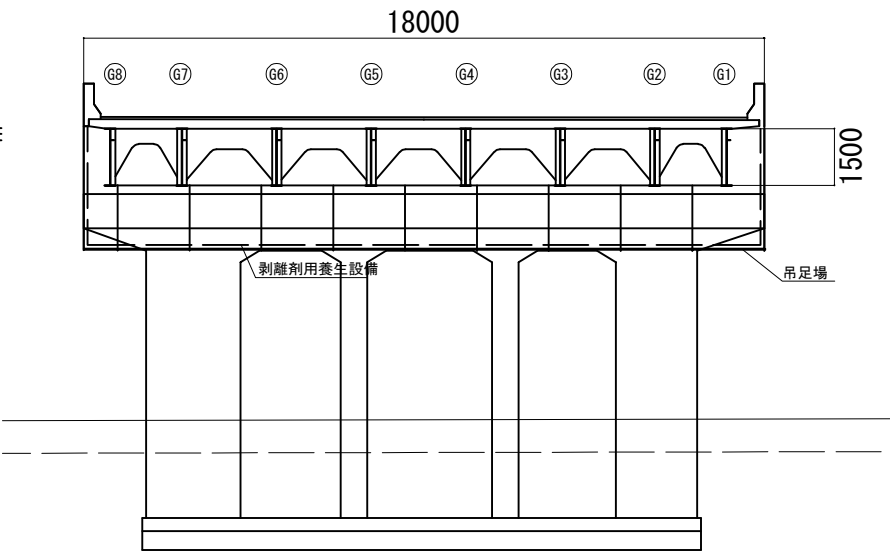
側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



断面図



吊足場工（防護型側面） 数量表

	延長×幅員	m2
下り線 P18 終点側	10.100×18.000	181.8

剥離剤用養生設備工 数量表

	延長×幅員	m2
下り線 P18 終点側	10.100×18.000	181.8

昇降足場 数量表

	幅×奥行×高さ	空m3
P18 下	3.6×1.2×5.7	24.6

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	保土ヶ谷高架橋 施工計画		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社横エンジニアリング		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【法泉高架橋】

令和 6 年 1 0 月

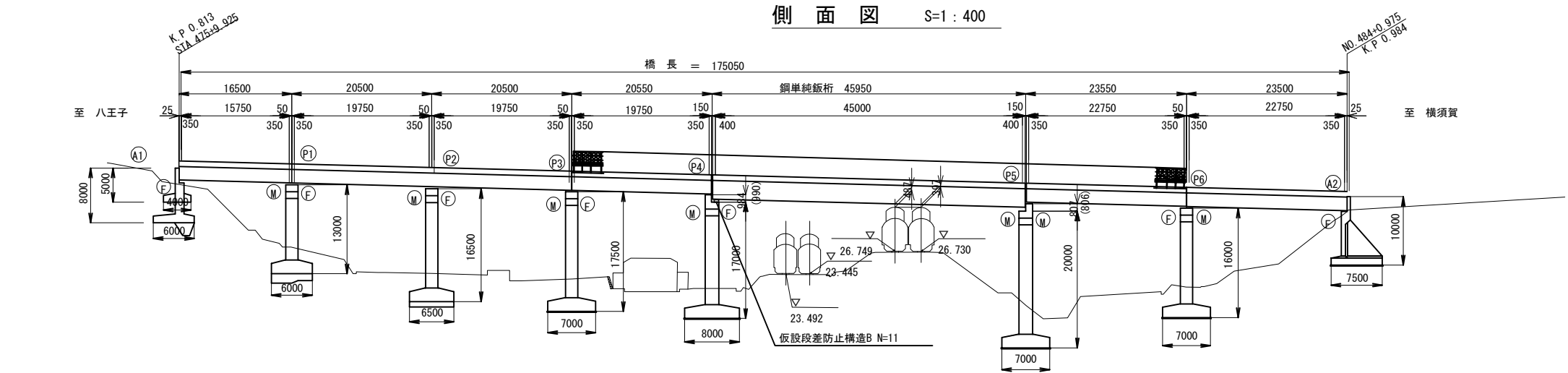
東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目 次

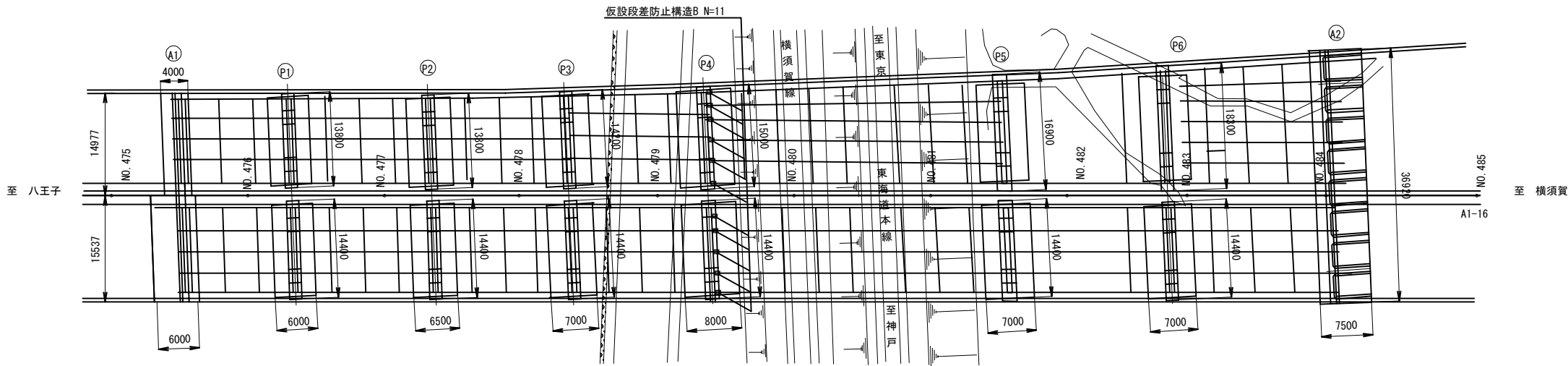
[illegible][illegible]

法泉高架橋 耐震補強一般図

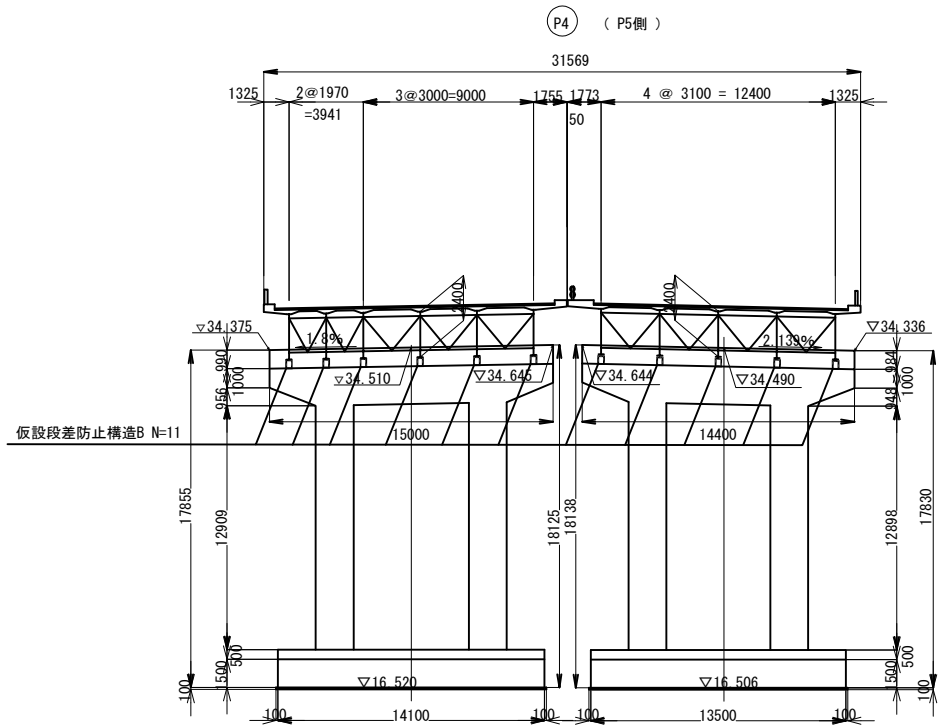
側面図 S=1:400



平面図 S=1:400



断面図 S=1:200

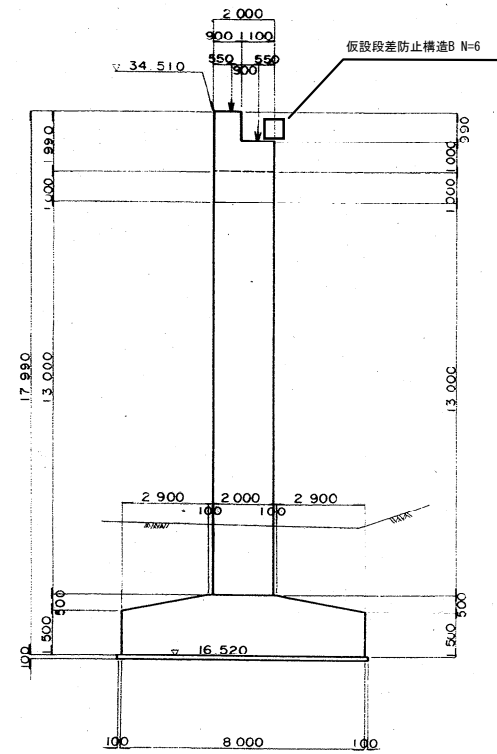


仮設段差防止構造 数量表			
項目	単位	数量	摘要
B	箇所	5	AP4
		6	BP4

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	法泉高架橋 耐震補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

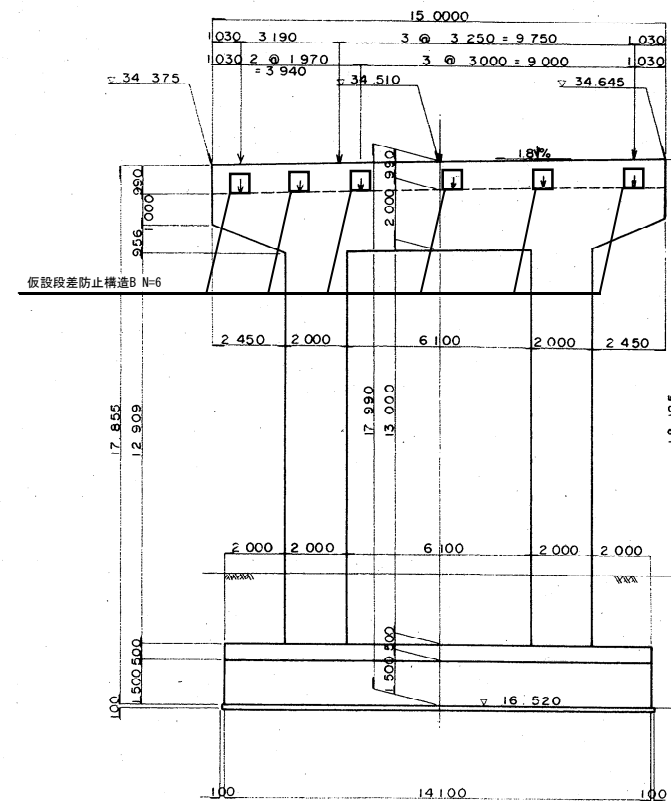
法泉高架橋 P4橋脚構造図

側面図
(下り線)

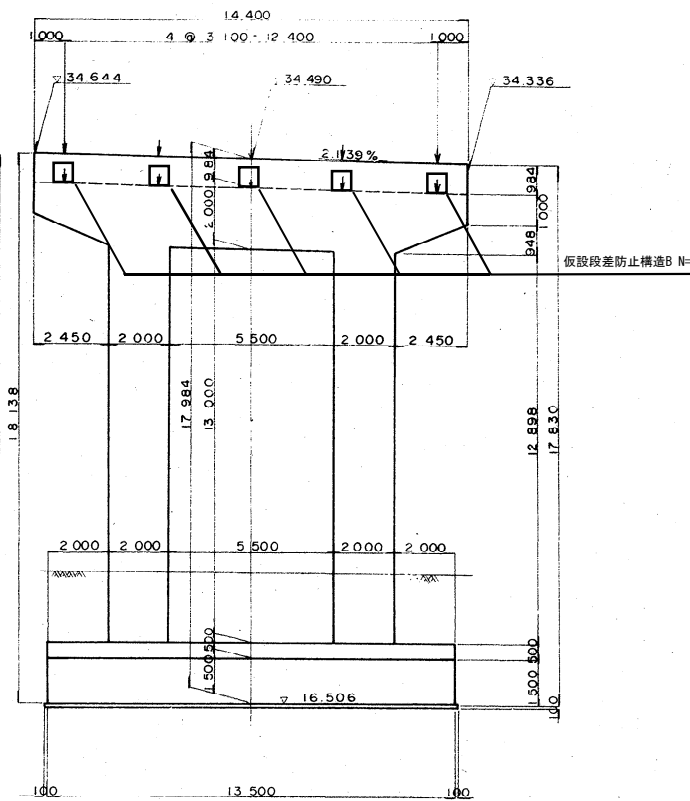


正面図

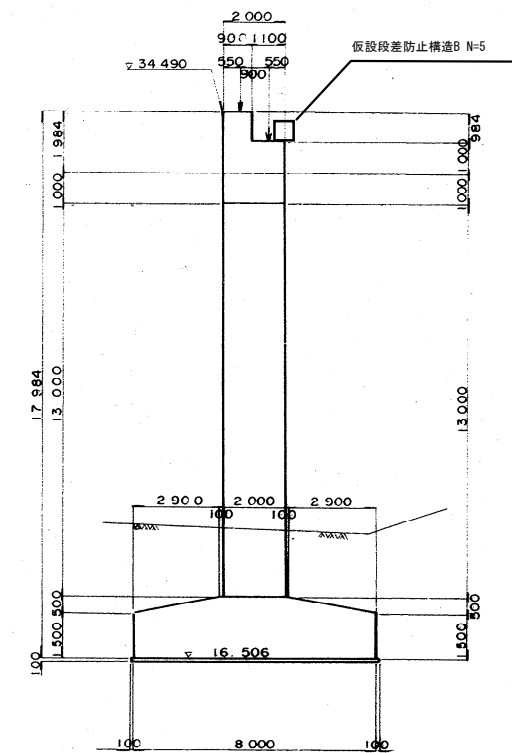
下り線



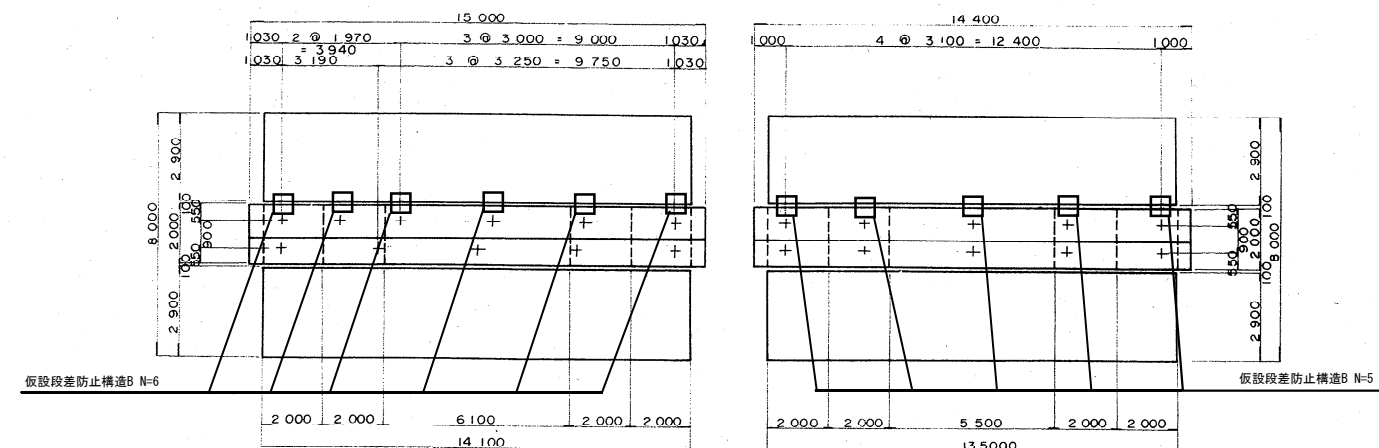
上り線



側面図
(上り線)

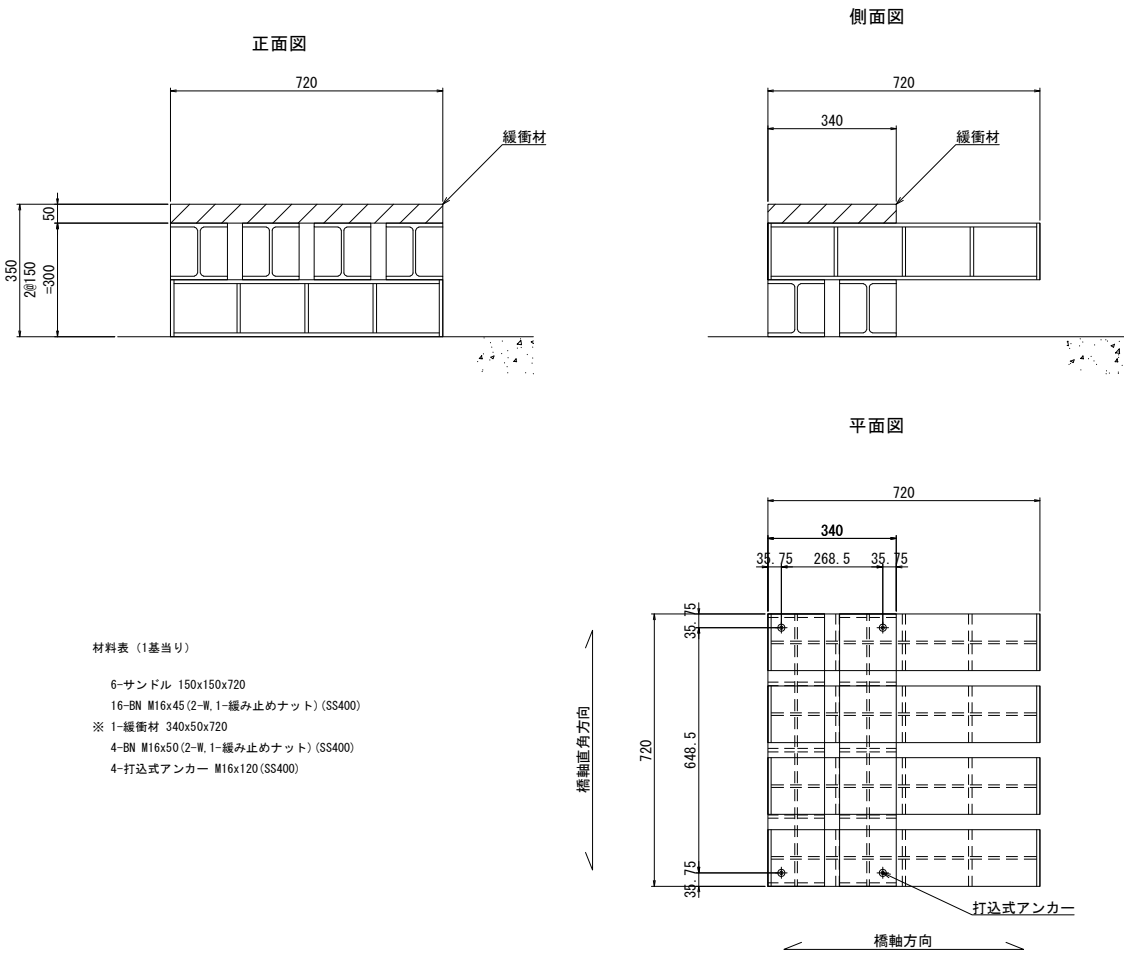


平面図

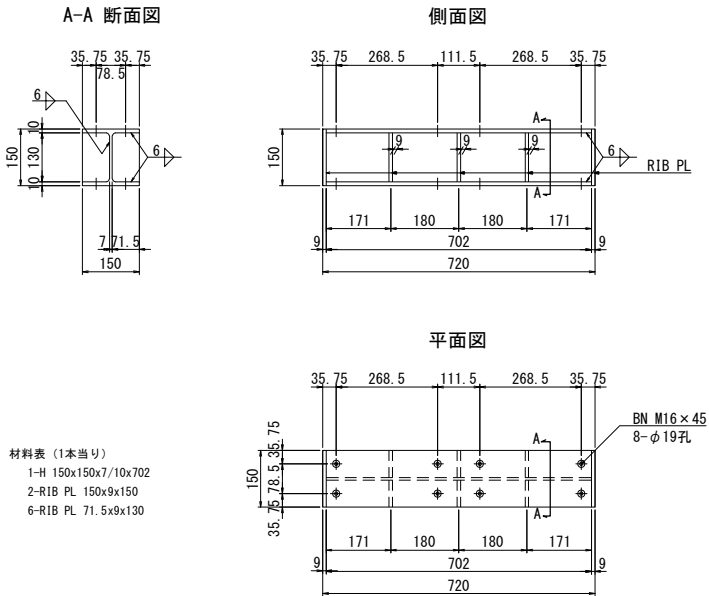


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	法泉高架橋 P4橋脚構造図		
縮尺		図面番号	/
設計者			
施工会社			
事務所	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

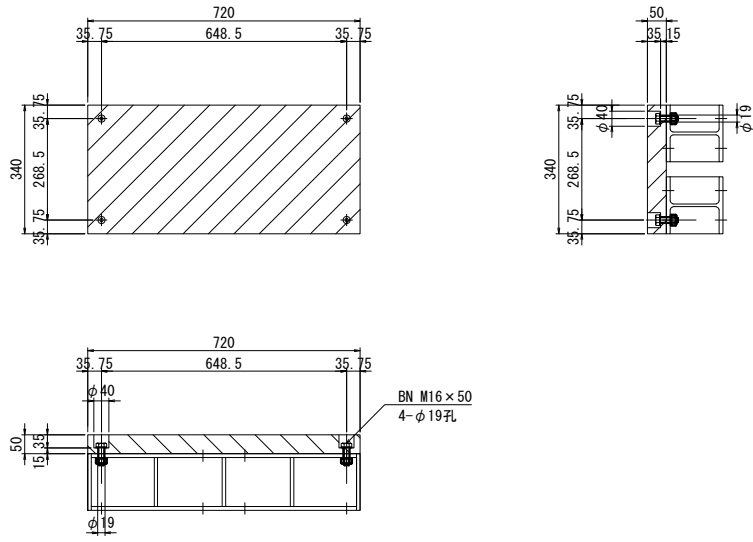
列数：2



サンドル 詳細図



緩衝材 詳細図



注記

1) 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映すること。

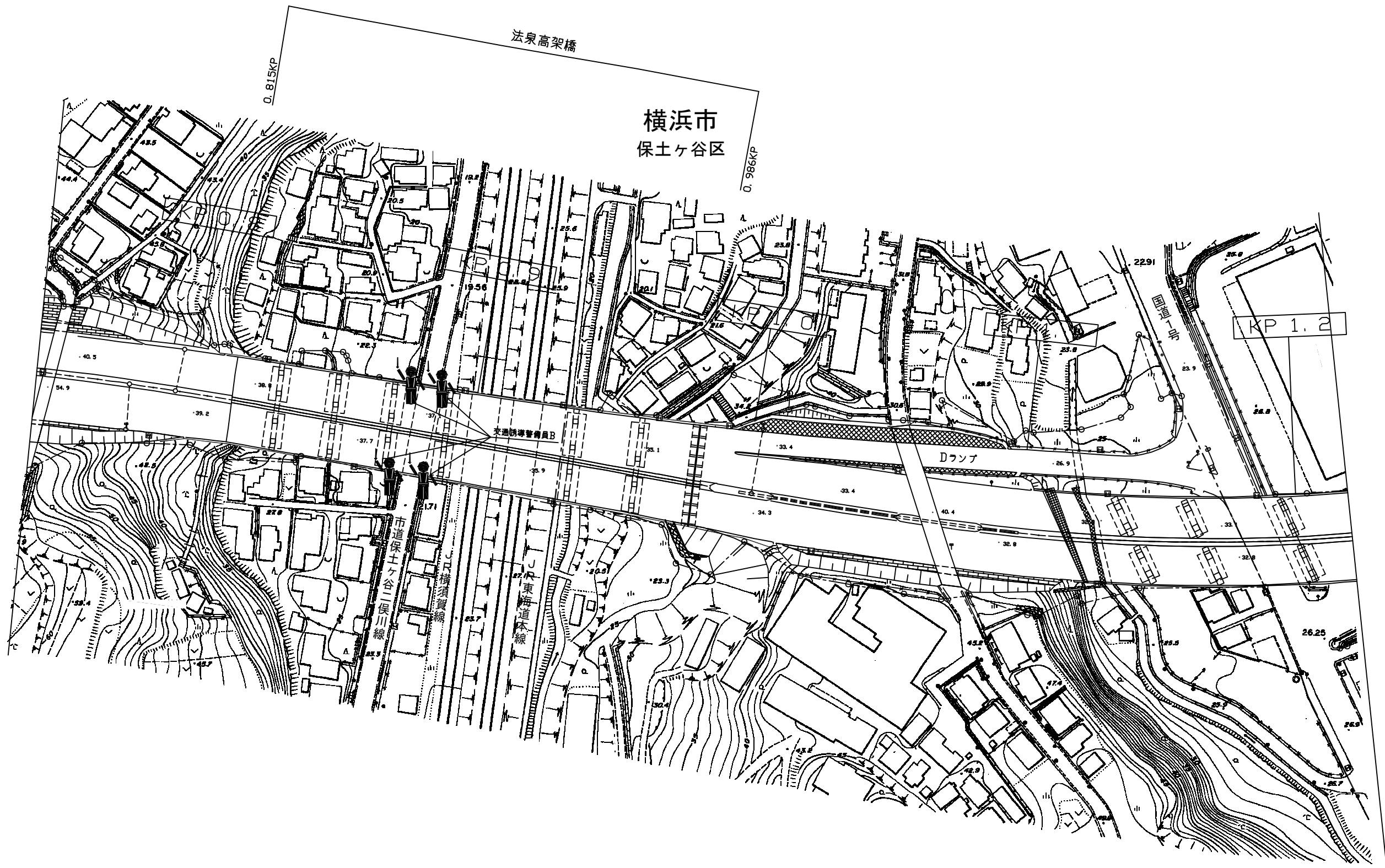
2) 特記なき材質はSM400とする。但し、< >はSM490Yを用いる。

3) ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量はJIS H8641 HDZT77とする。但し、3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等はHDZT49とする。)

4) 緩衝材の規格はクロロプレンゴム、硬度55° ±5° 程度とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	法泉高架橋 仮設段差防止構造 標準図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

法泉高架橋 附帯工 S=1:1500



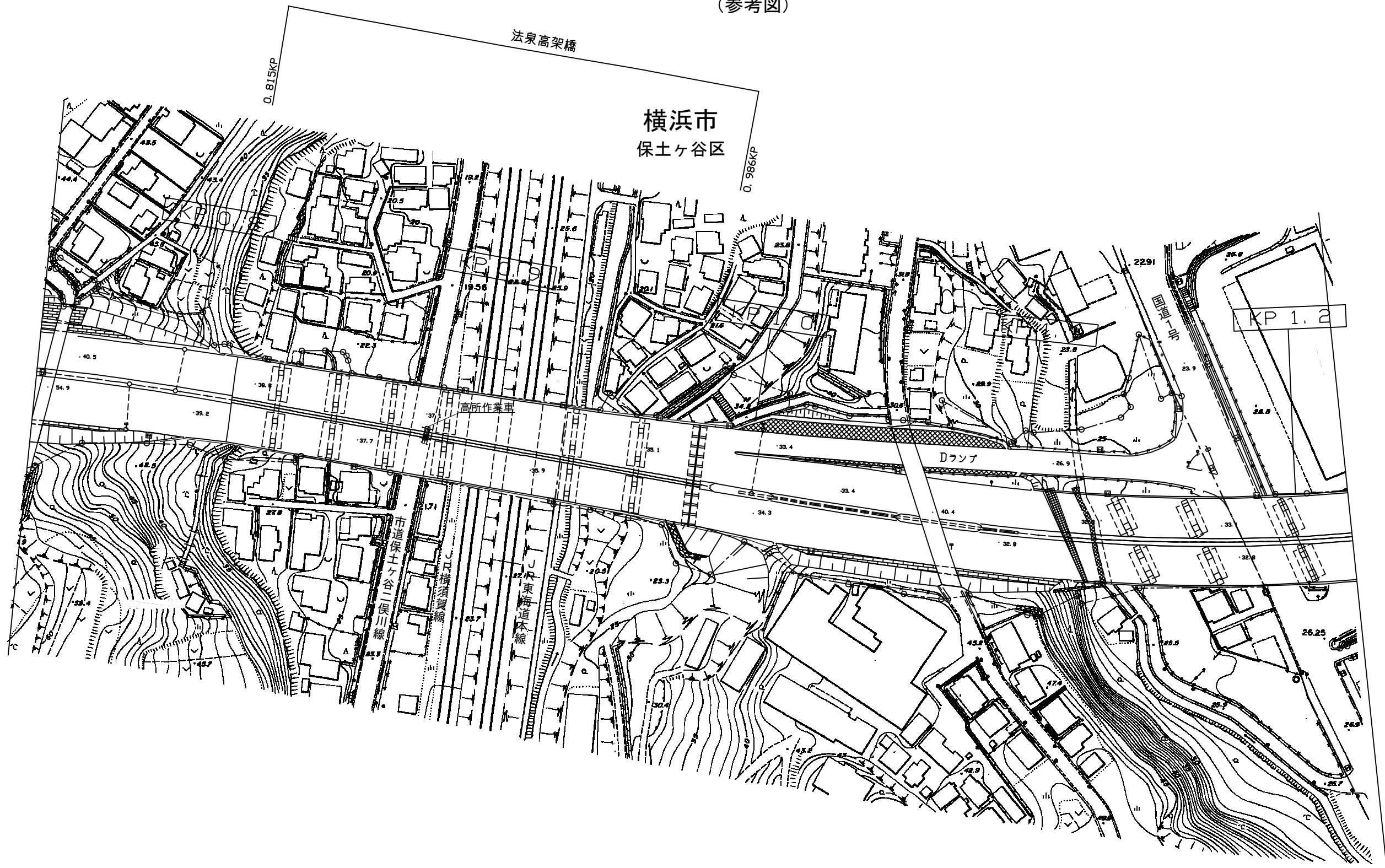
交通保安要員の配置

配置場所		交通保安要員の種別	配置人数	交替要員
市道保土ヶ谷二俣川線 ・片側交互通行規制	規制箇所	交通誘導警備員B	4人	1人

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類		法泉高架橋 附帯工		
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

法泉高架橋 施工計画 S=1:1500

(参考図)



移動足場工 数量表

	機種	台
P4	トラック架装リフト(テッキ旋回・フーム型) 揚程12m～15m未満	7

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類		法泉高架橋 施工計画		
縮 尺	図示	図面番号	/	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【六ツ川第二高架橋】

令和 6 年 1 0 月

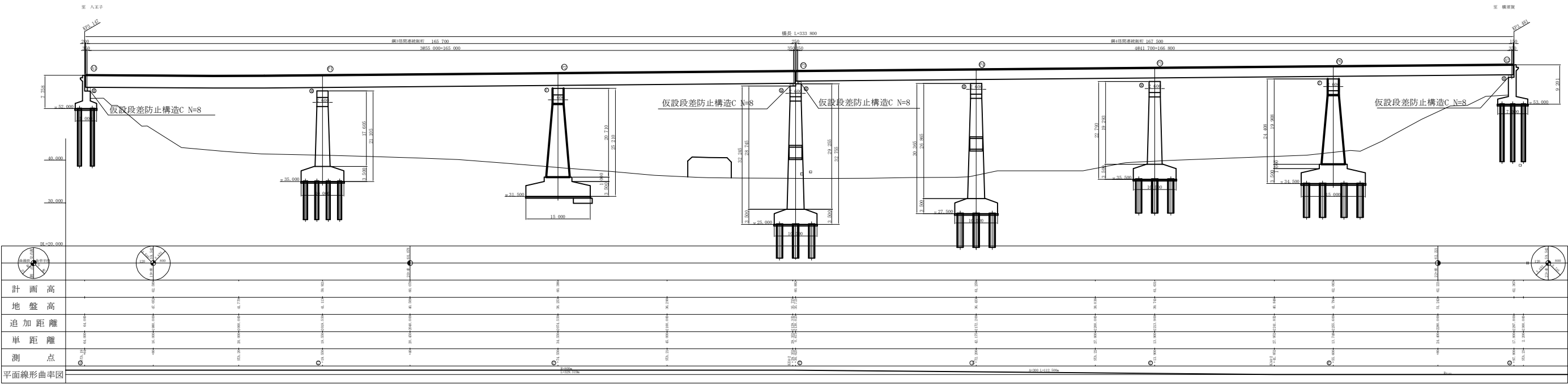
東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目次

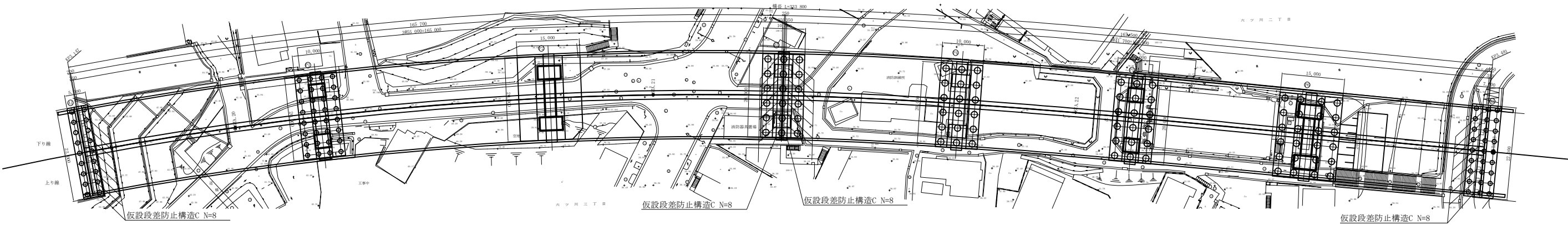
[illegible][illegible]

六ツ川第二高架橋 耐震補強一般図 S=1:1000

側面図



平面図



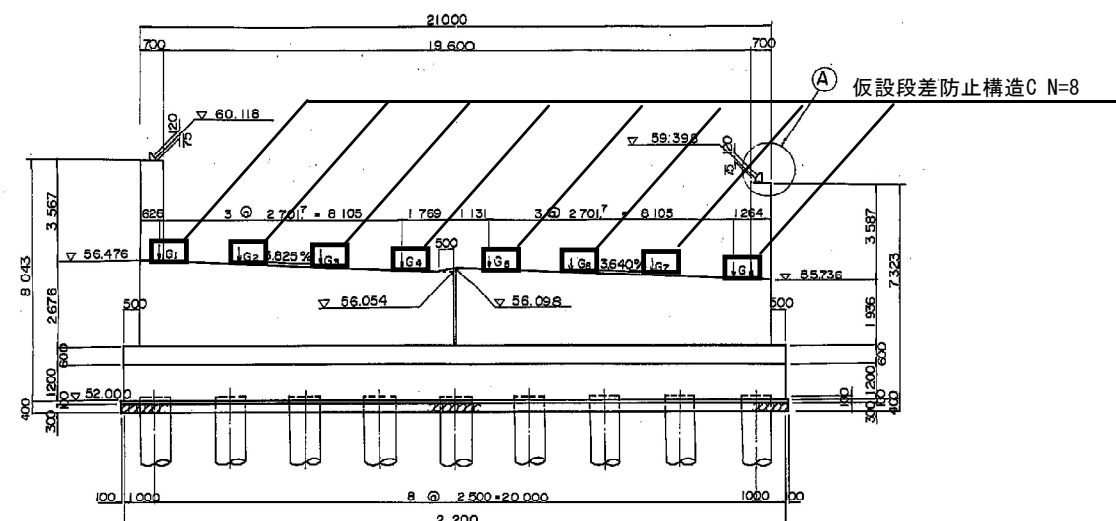
仮設段差防止構造 数量表

項目	単位	数量	摘要
C	箇所	4	AA1
		8	AP3
		4	AA2
		4	BA1
		8	BP3
		4	BA2

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	六ツ川第二高架橋 耐震補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

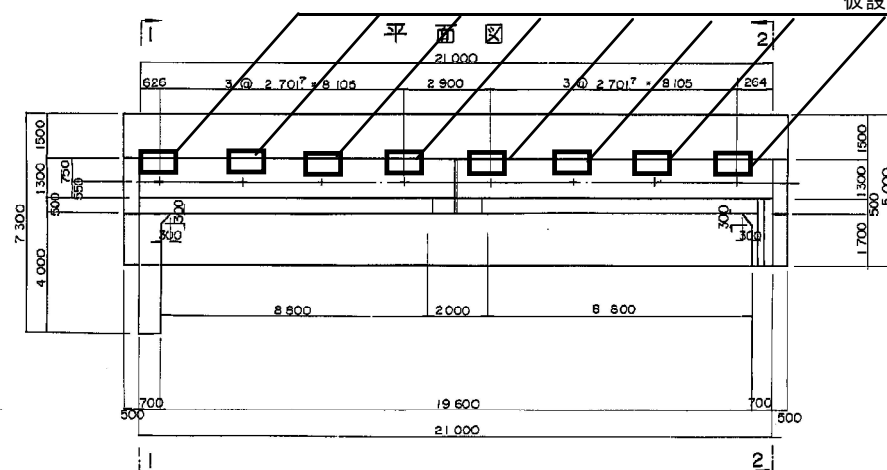
六ツ川第二高架橋 A1橋台構造図

正面図

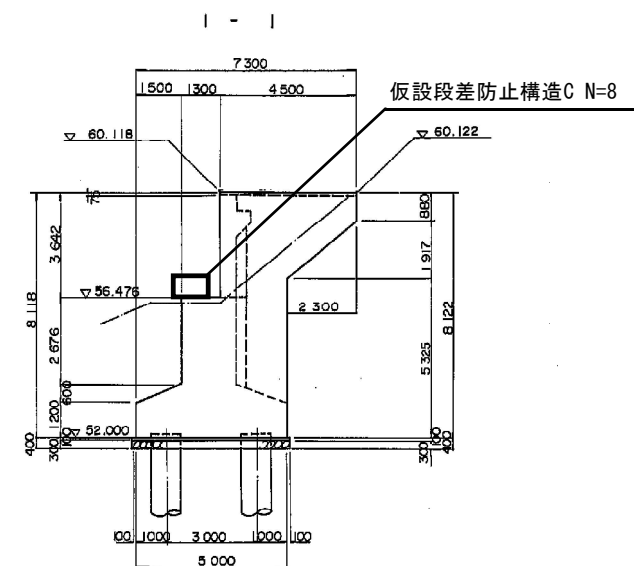


仮設段差防止構造C N=8

平面図

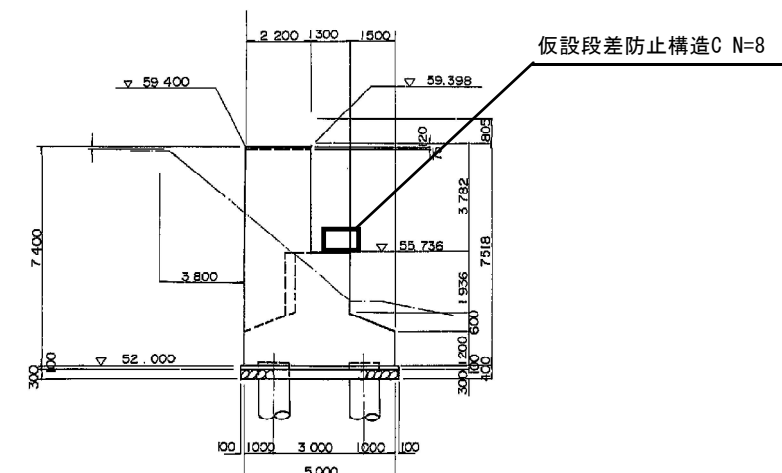


仮設段差防止構造C N=8



2 - 2

仮設段差防止構造C N=8

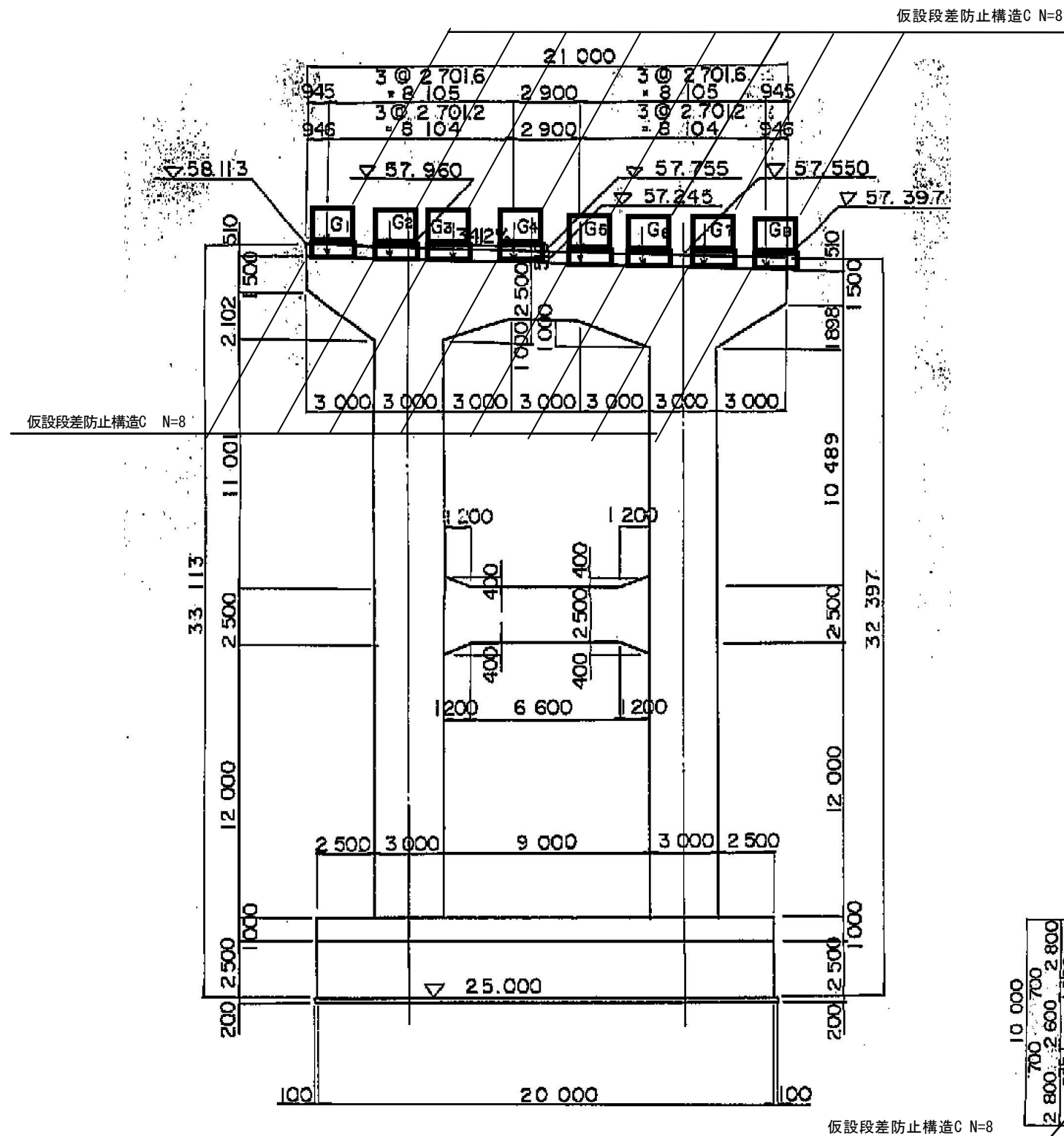


第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事

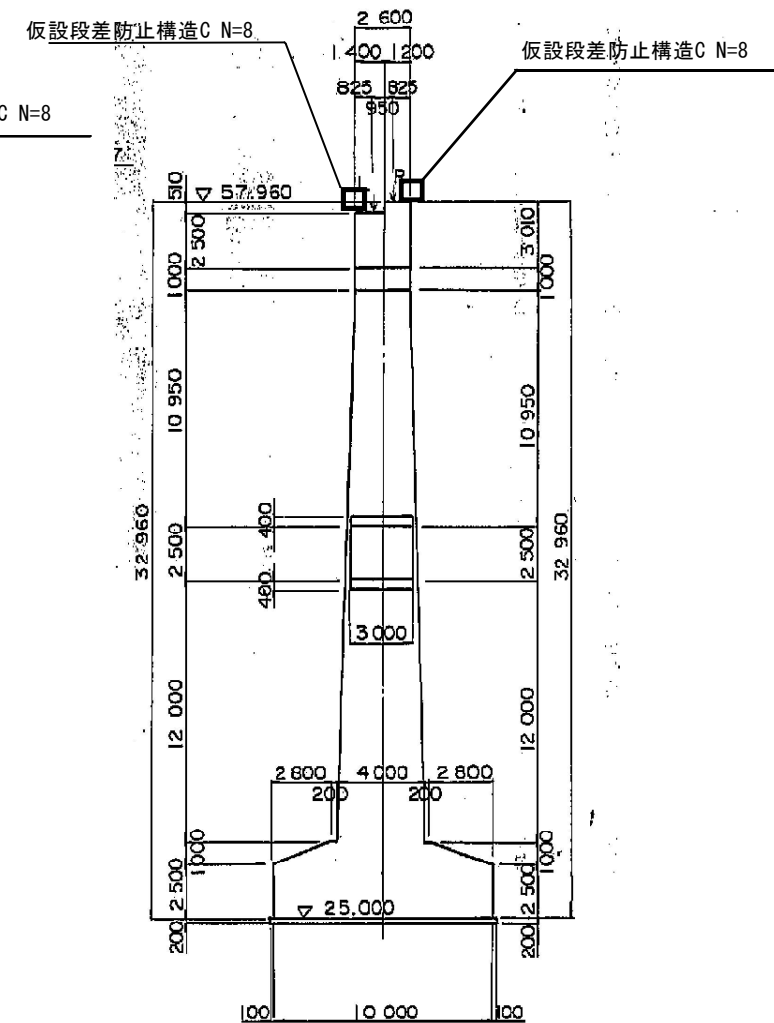
図面の種類	六ツ川第二高架橋 A1橋台構造図		
縮尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

六ツ川第二高架橋 P3橋脚構造図

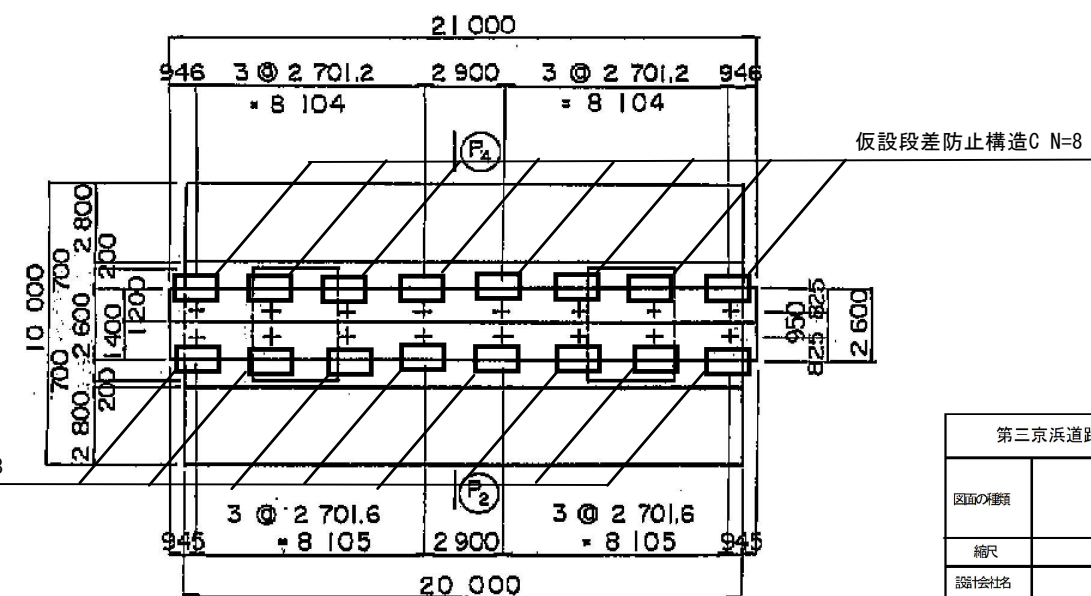
正面図



側面図



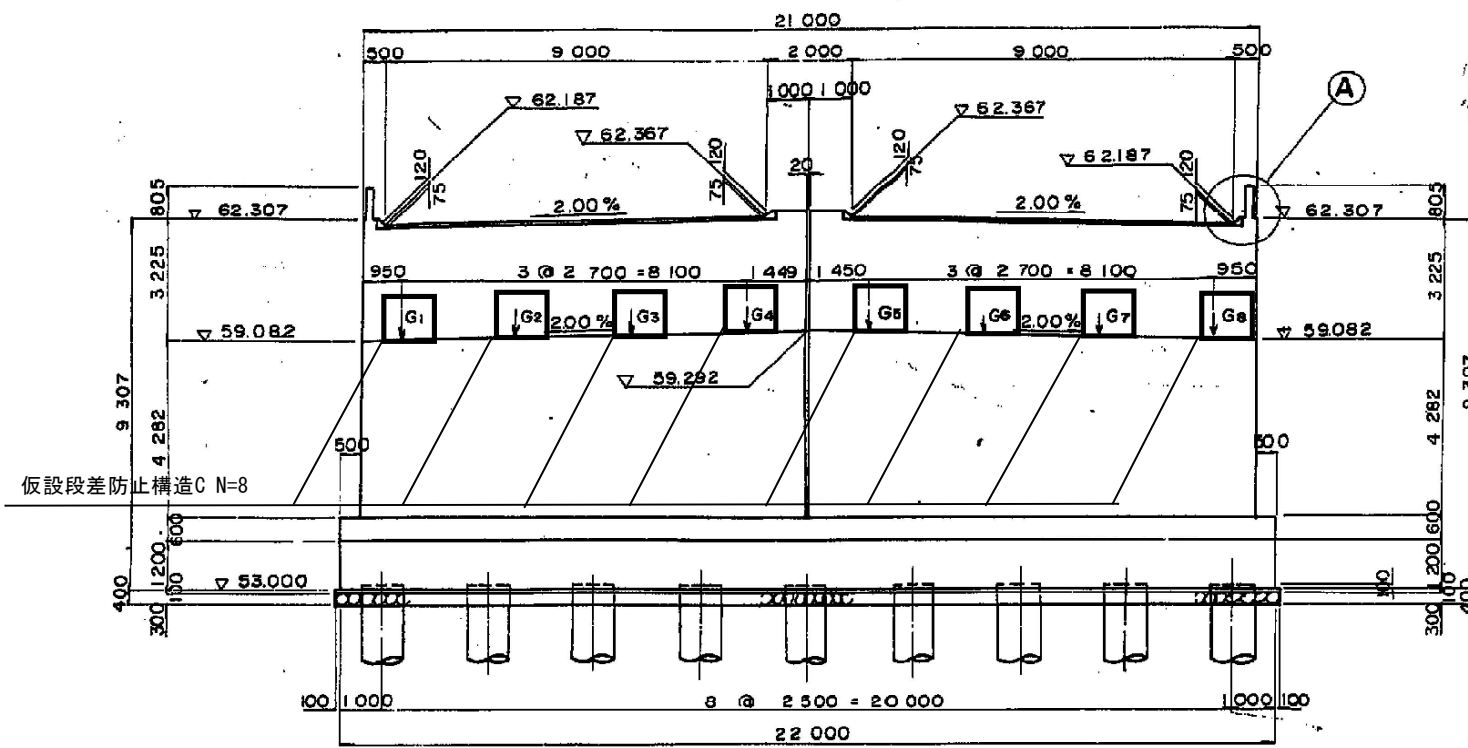
平面図



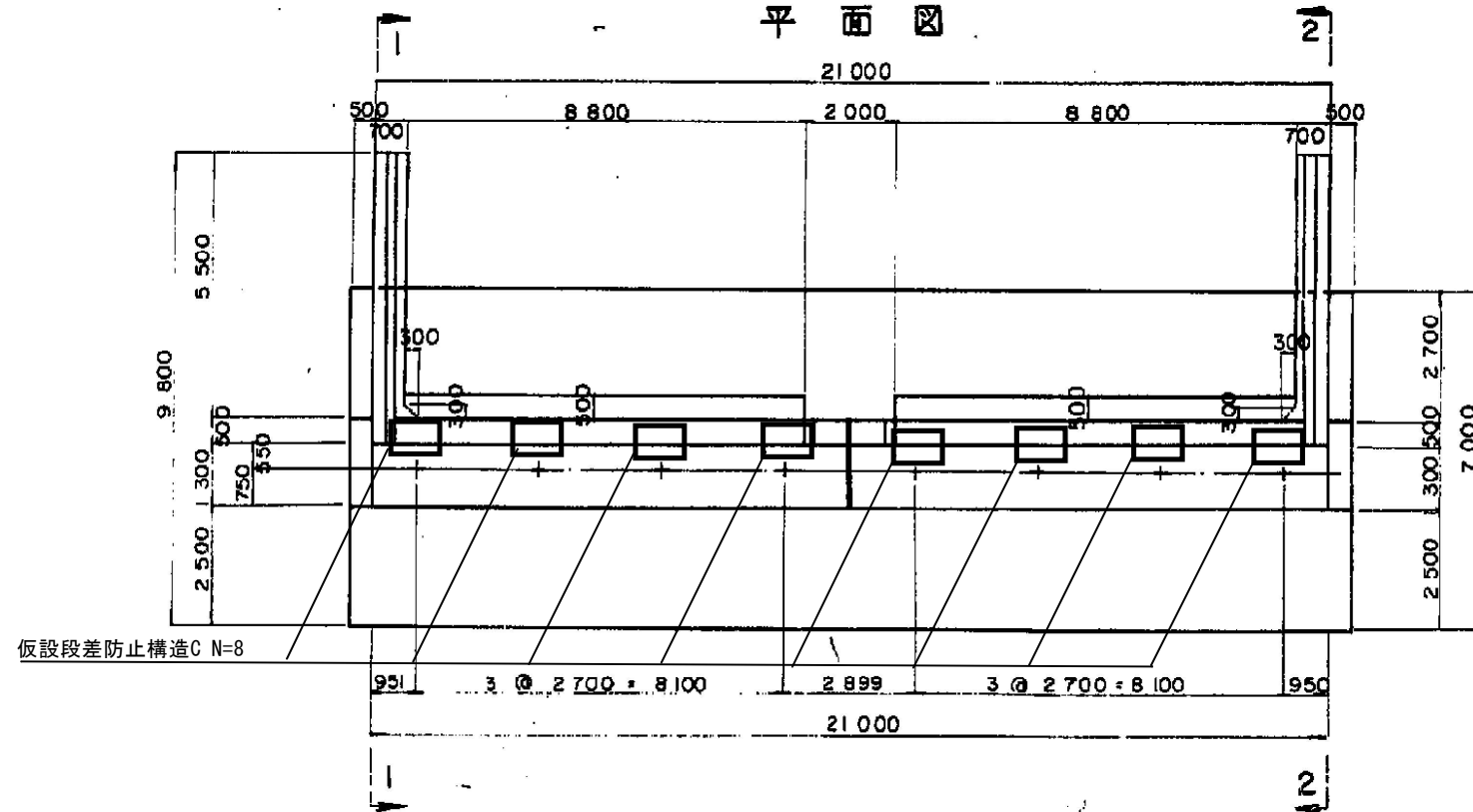
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	六ツ川第二高架橋 P3橋脚構造図		
縮尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

六ツ川第二高架橋 A2橋台構造図

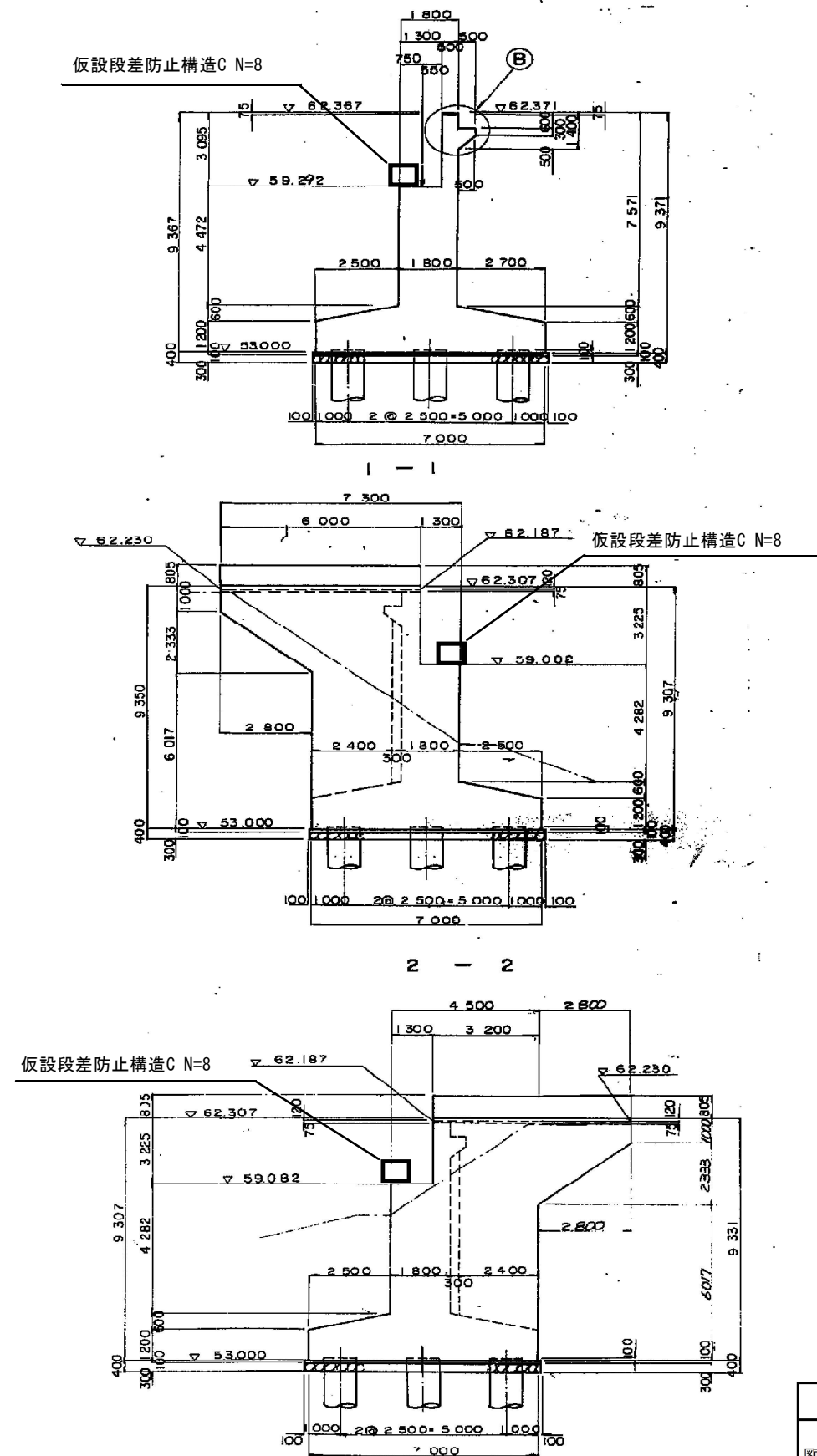
正面図



平面図



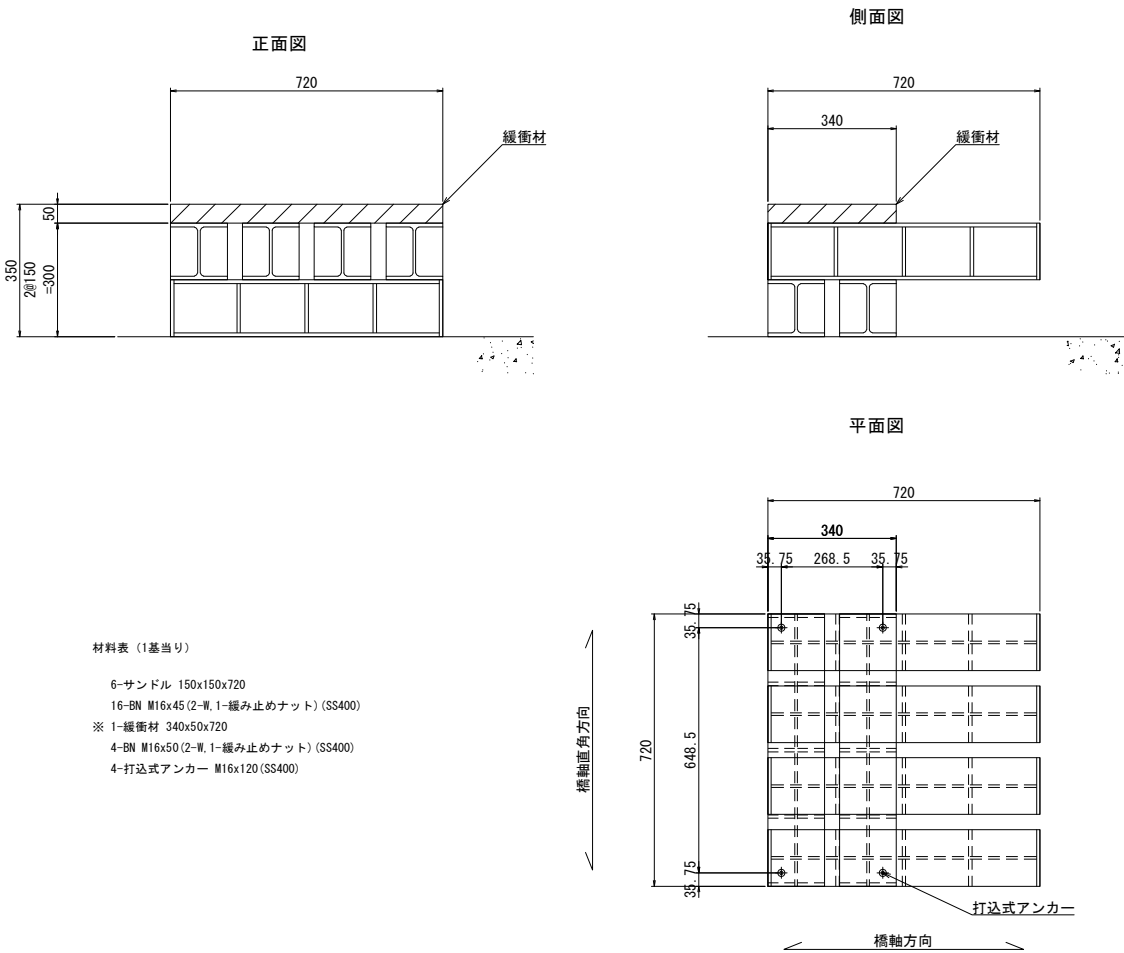
側面図



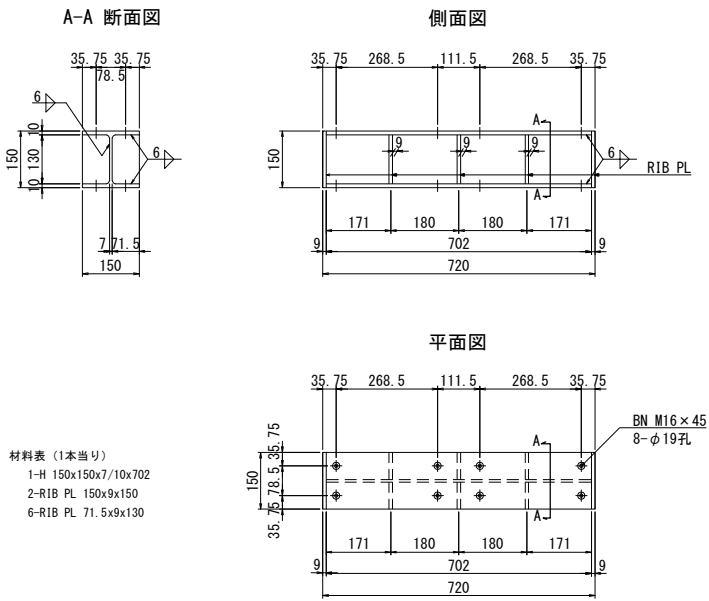
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	六ツ川第二高架橋 A2橋台構造図		
縮尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

六ツ川第二高架橋 仮設段差防止構造 標準図 S=1:20
仮設段差防止構造C

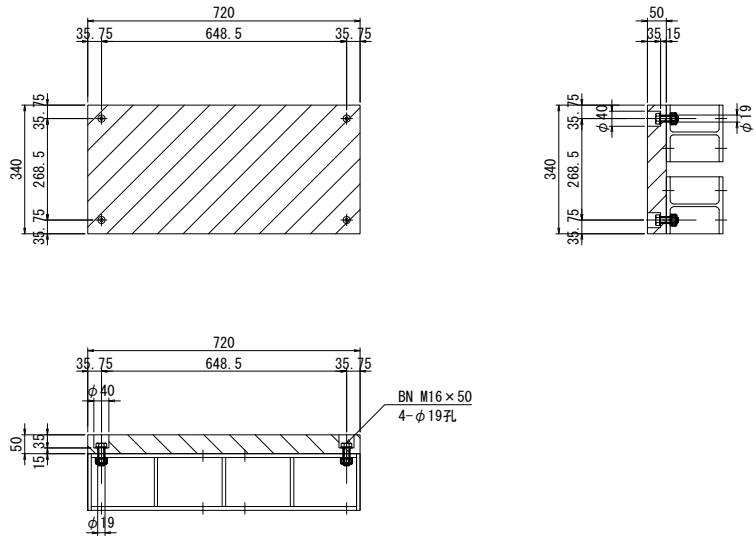
列数：2



サンドル 詳細図



緩衝材 詳細図



注記

1) 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映すること。

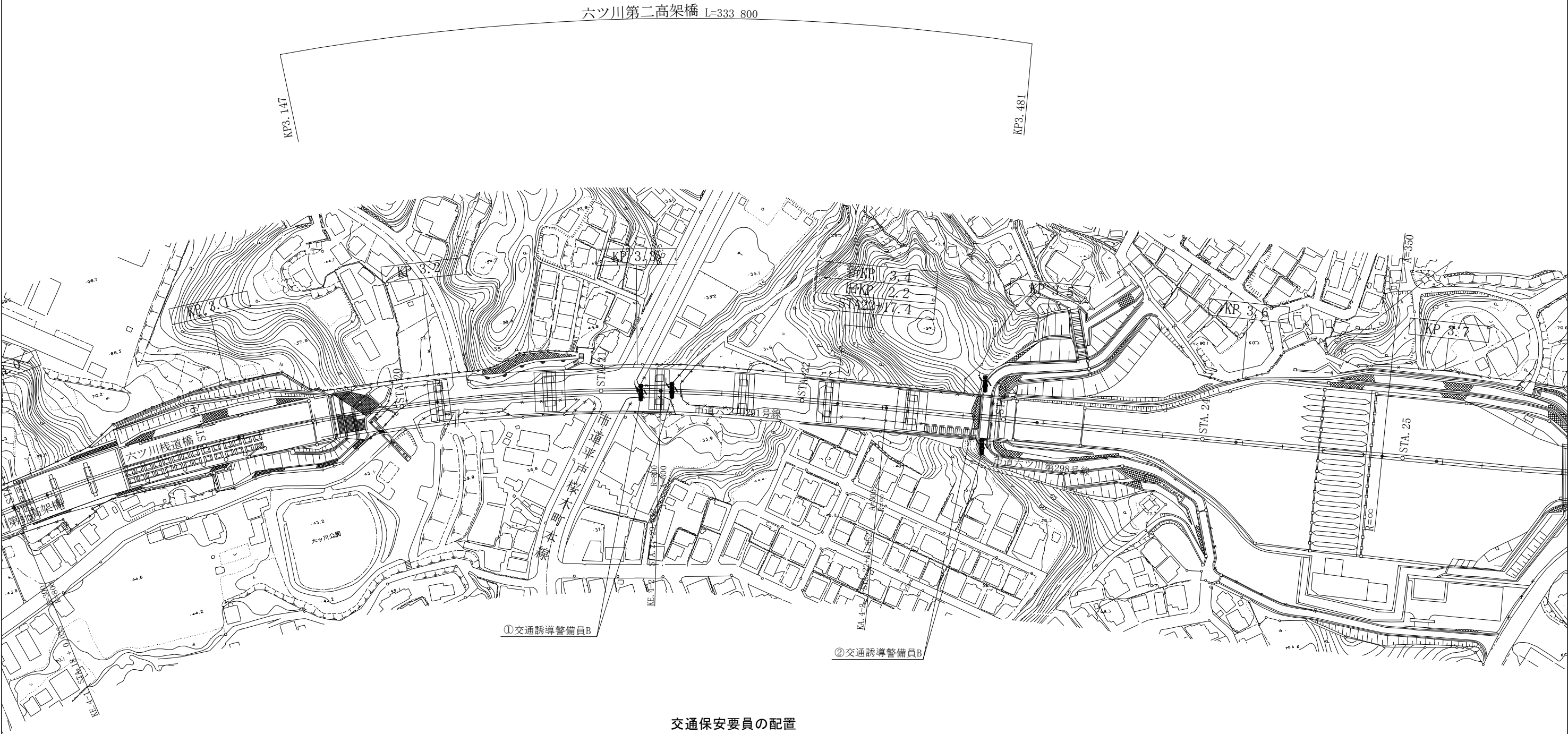
2) 特記なき材質はSM400とする。但し、〈 >はSM490Yを用いる。

3) ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量はJIS H8641 HDZT77とする。但し、3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等はHDZT49とする。)

4) 緩衝材の規格はクロロプレンゴム、硬度55° ±5° 程度とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	六ツ川第二高架橋 仮設段差防止構造 標準図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

六ツ川第二高架橋 附帯工 S=1:2000



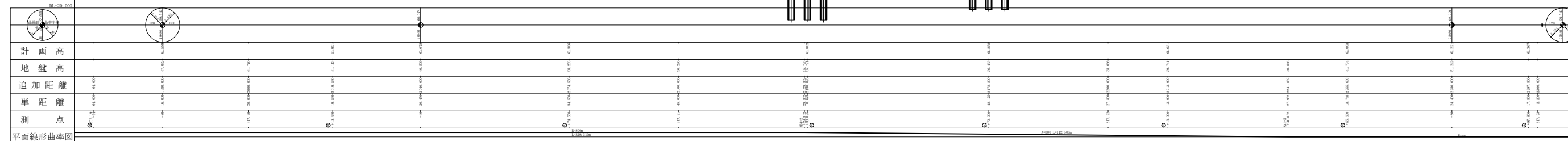
交通保安要員の配置

配置場所		交通保安要員の種別	配置人数	交替要員
① 市道六ツ川第291号線・通行止め規制	規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人
② 市道六ツ川第298号線・片側交互通行規制	規制箇所	交通誘導警備員B	2人	1人

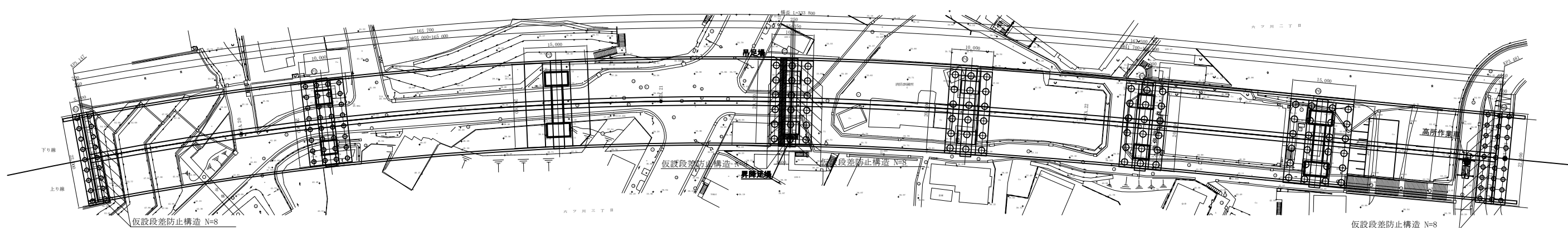
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事				
図面の種類	六ツ川第二高架橋 附帯工			
縮 尺	図 示	図面番号	/	
設計会社名				
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所			

(参考図)

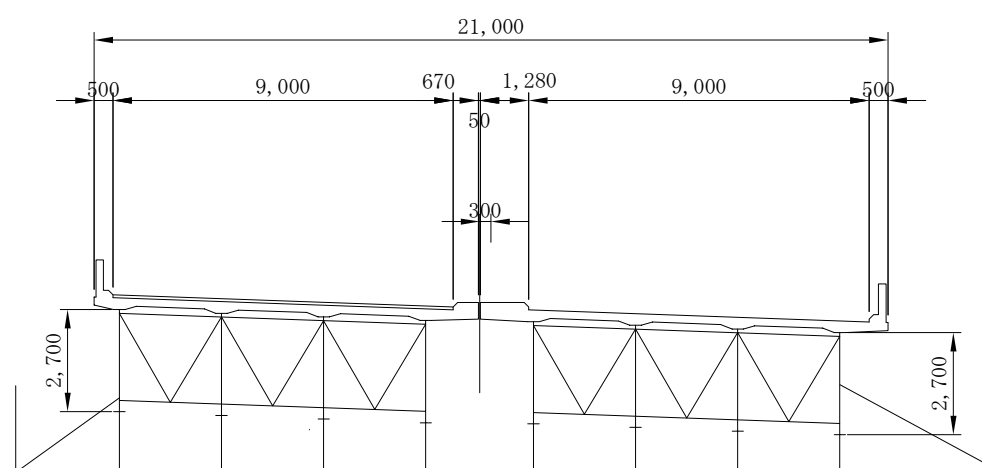
側面図



平面图



上部工断面図 S=1:200



吊足場工（防護型側面） 数量表

	延長×幅員	m2
P3 起点側	1.500×21.000	31.5

昇降足場 数量表

		幅×奥行×高さ	空m
P3	上	3.6×1.2×20.3	87.1

移動足場工 数量表

	機種	台
A2	トラック架装リフト(デッキ旋回・ブーム型) 揚程8m～10m未満	5

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	六ツ川第二高架橋 施工計画		
縮尺	図 示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

第三京浜道路
川崎高架橋耐震補強工事

設 計 図
【野庭第一高架橋】

令和 6 年 1 0 月

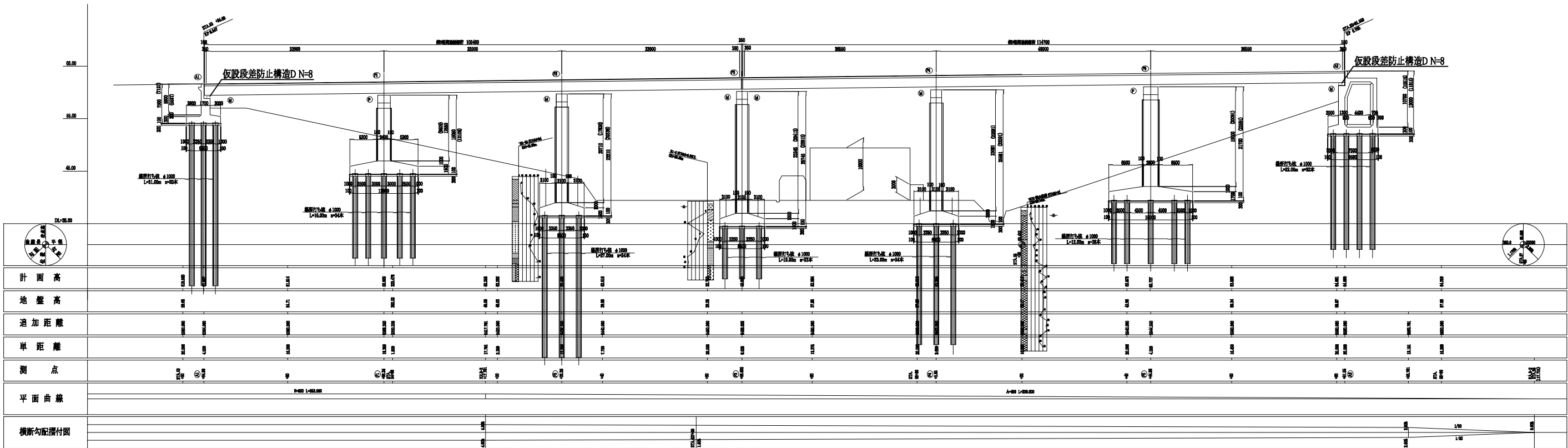
東日本高速道路株式会社 関東支社
京浜管理事務所

目 次

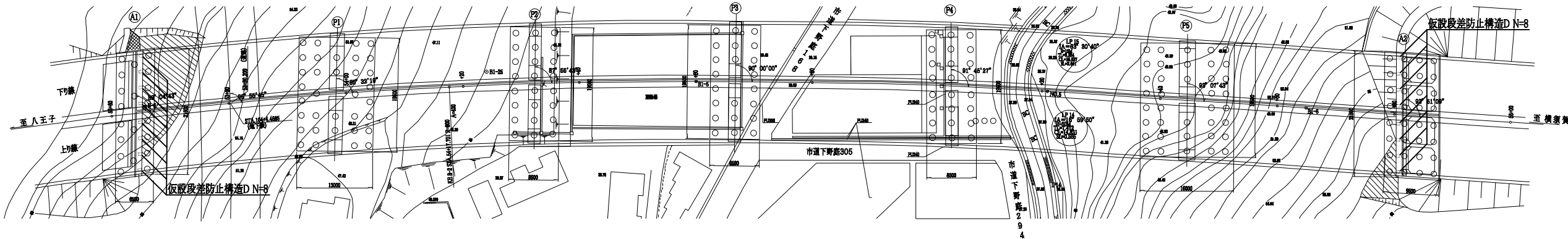
[illegible][illegible]

野庭第一高架橋 耐震補強一般図

側面図 9=1:800



平面図 9=1:800

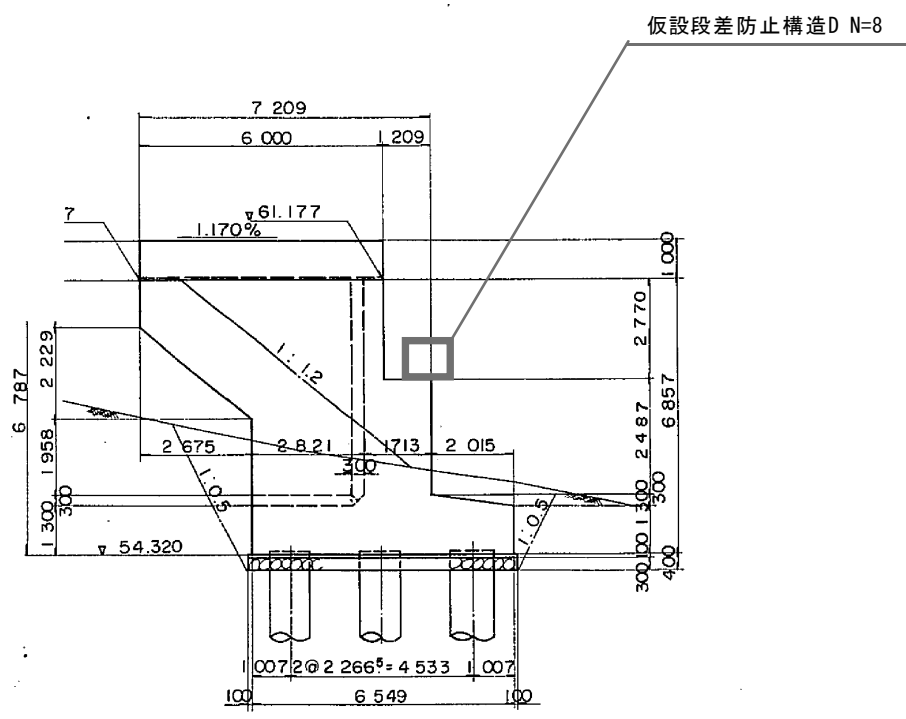
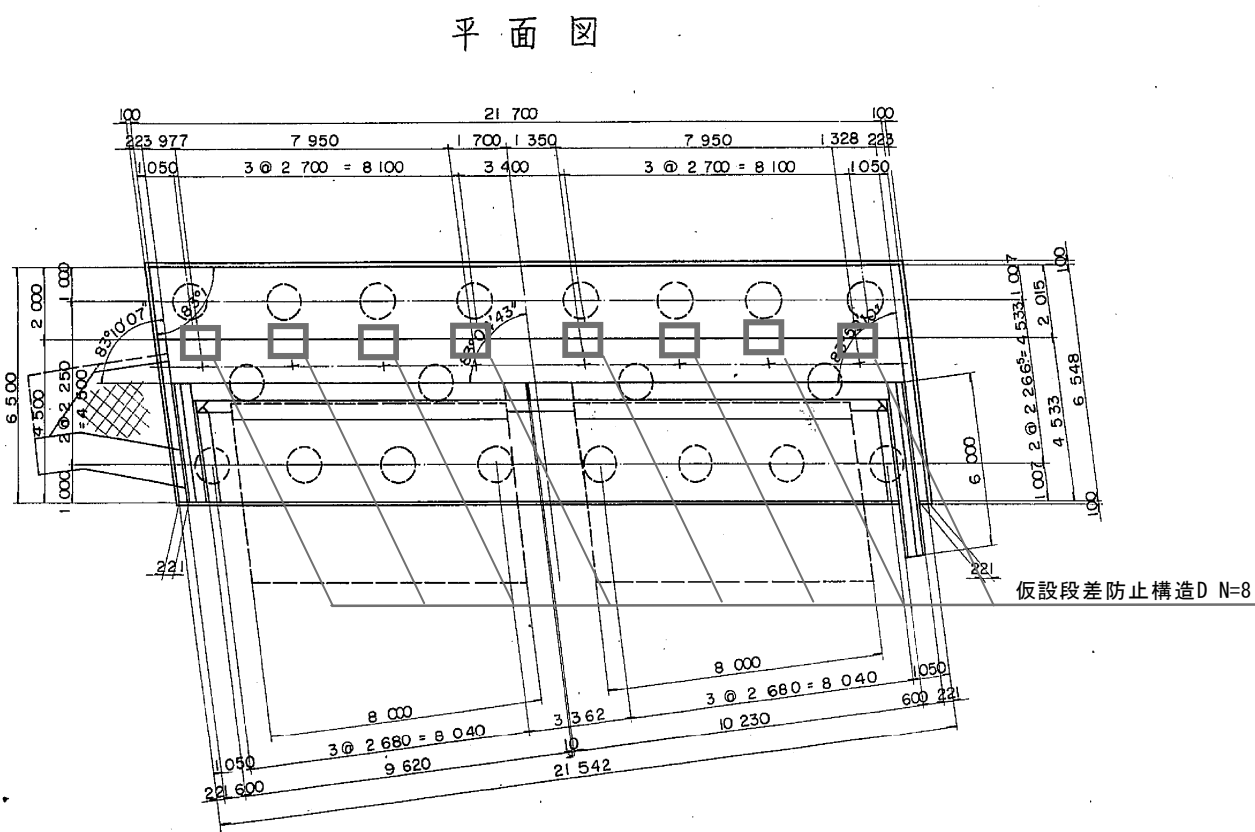
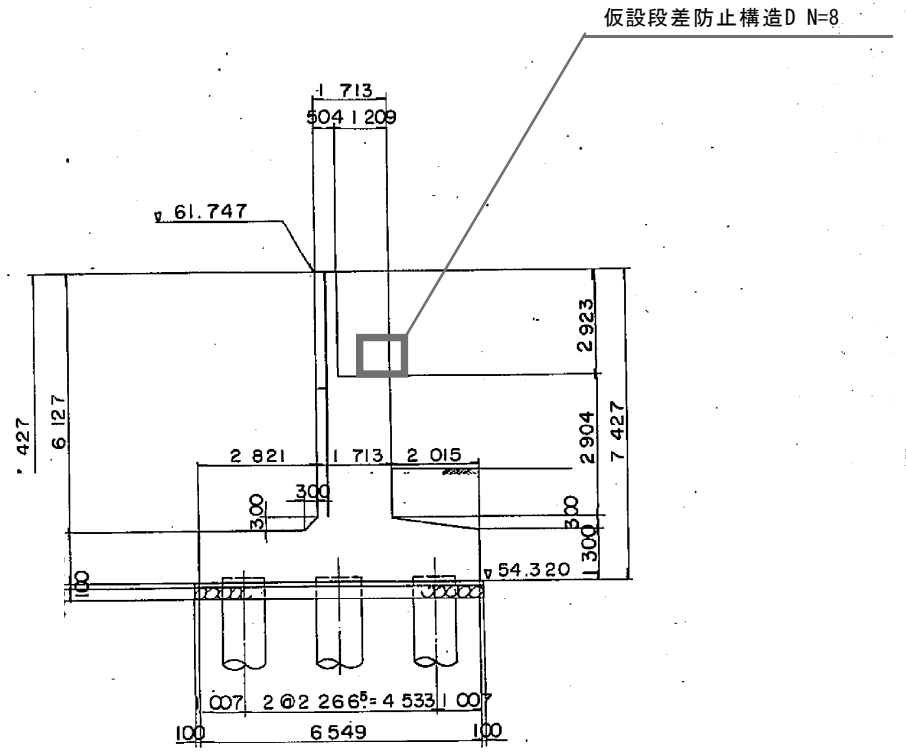
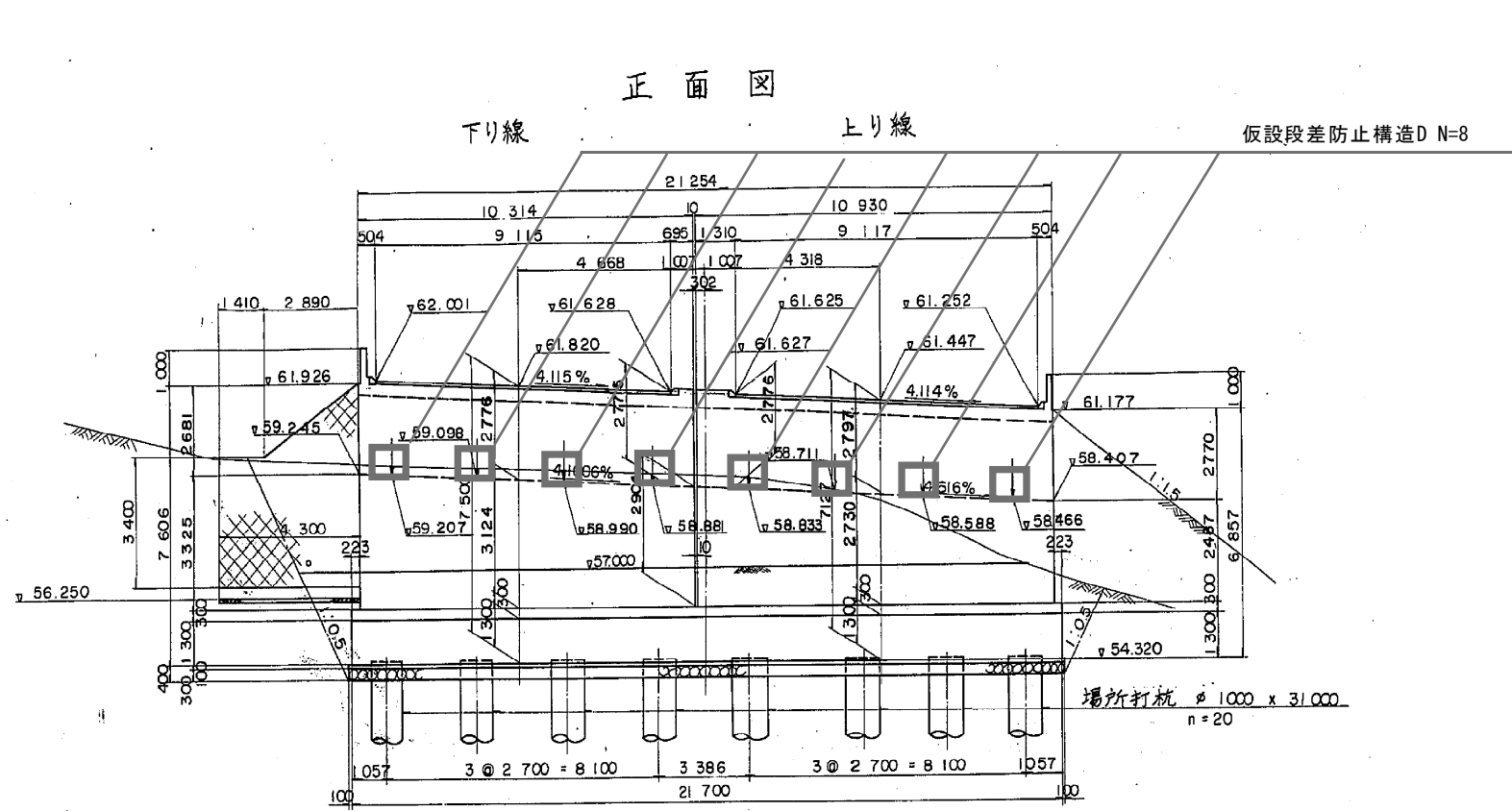


仮設段差防止構造 数量表

項目	単位	数量	摘要
D	箇所	4	AA1
		4	AA2
		4	BA1
		4	BA2

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	野庭第一高架橋 耐震補強一般図		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

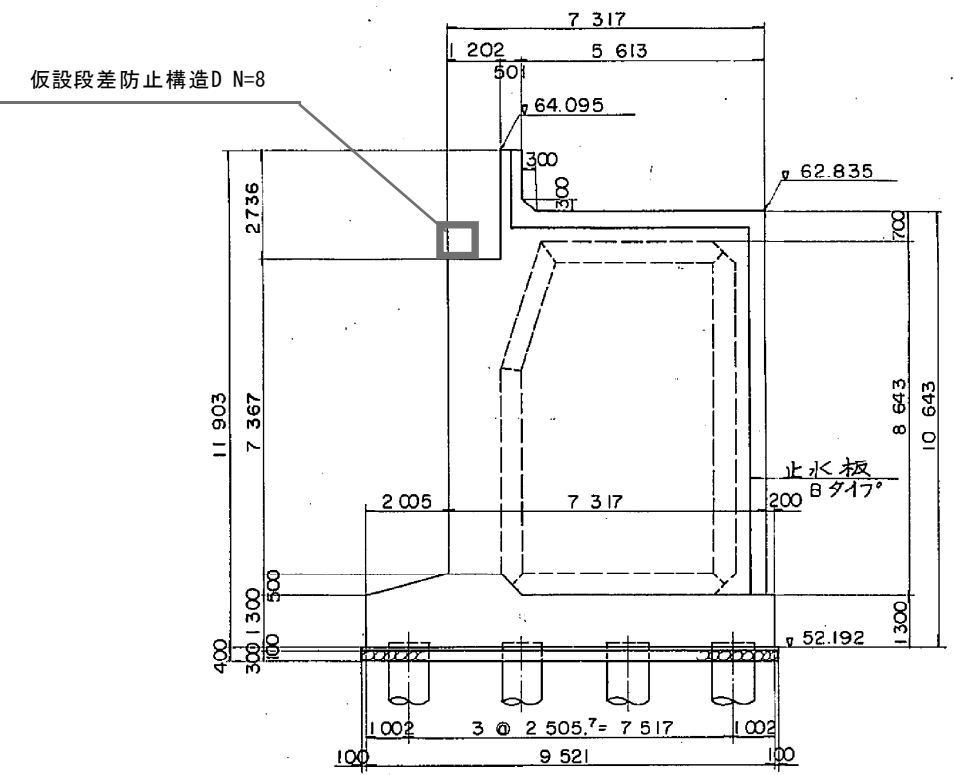
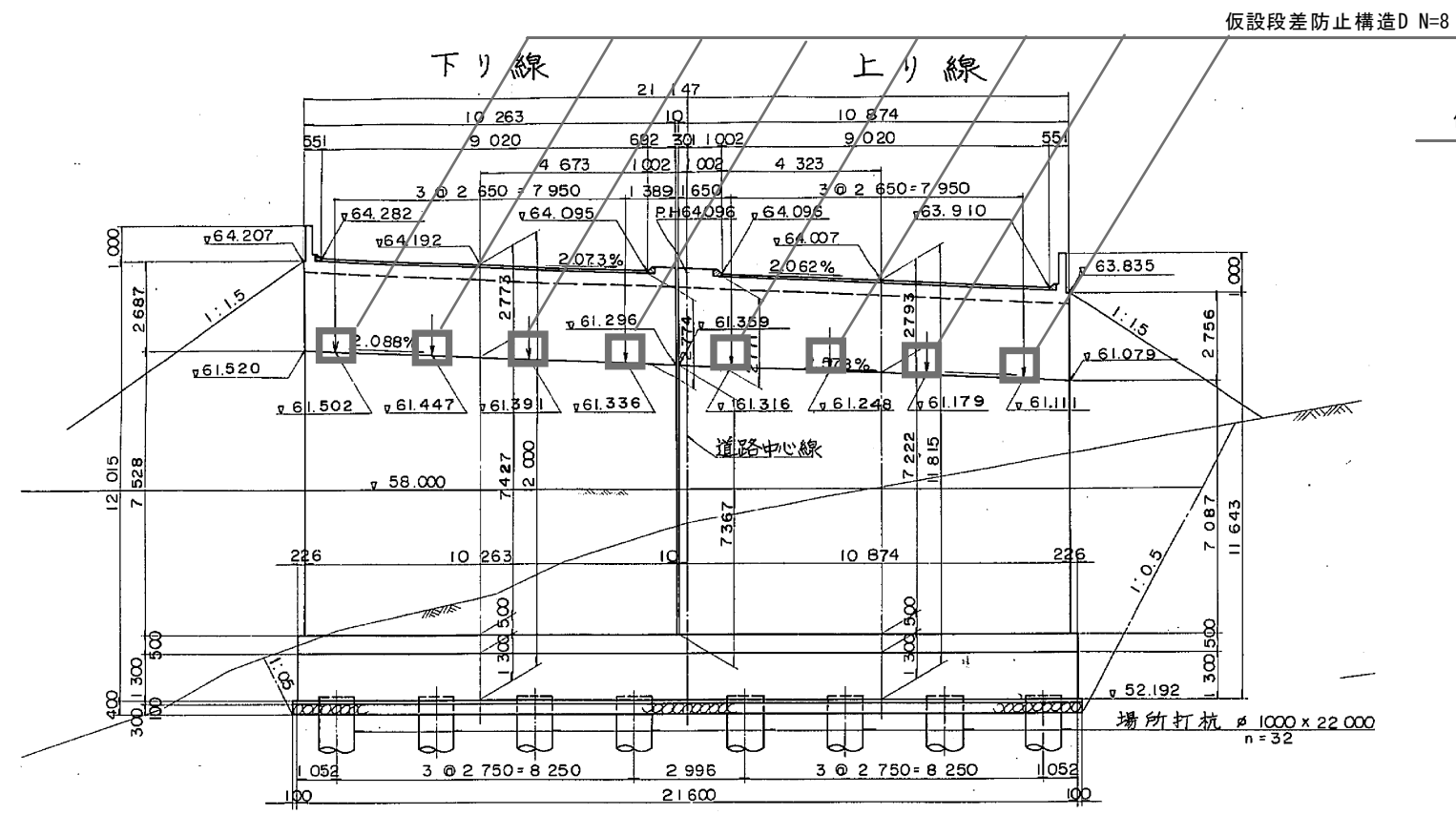
野庭第一高架橋 A1橋台構造図



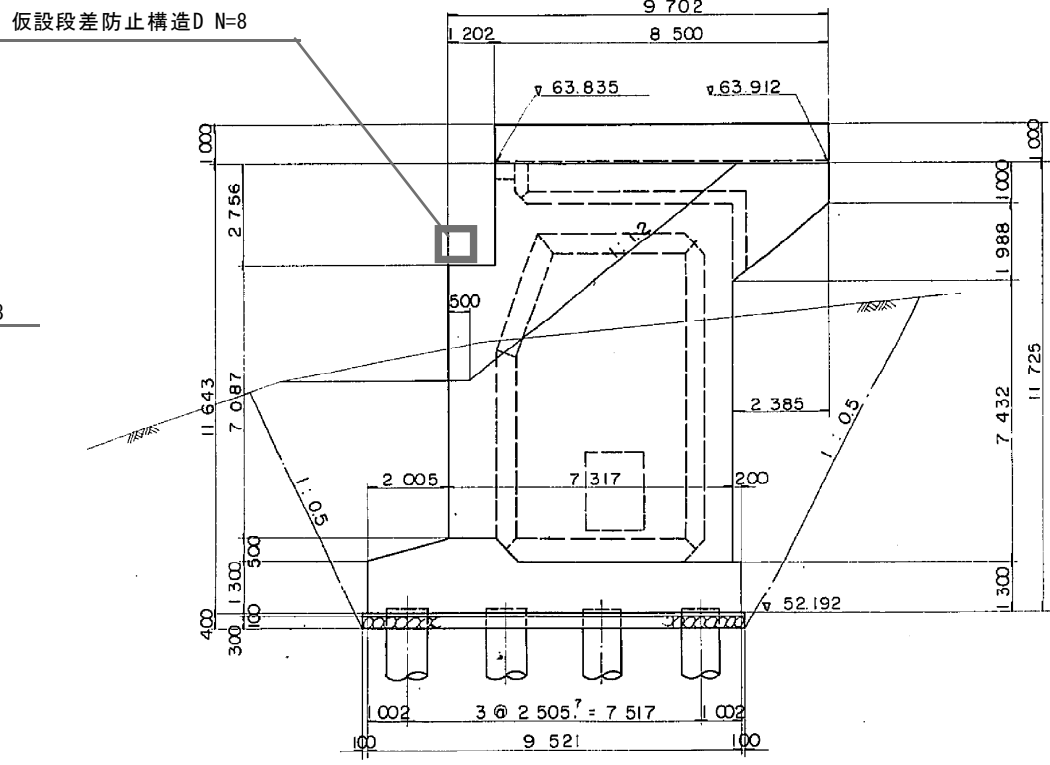
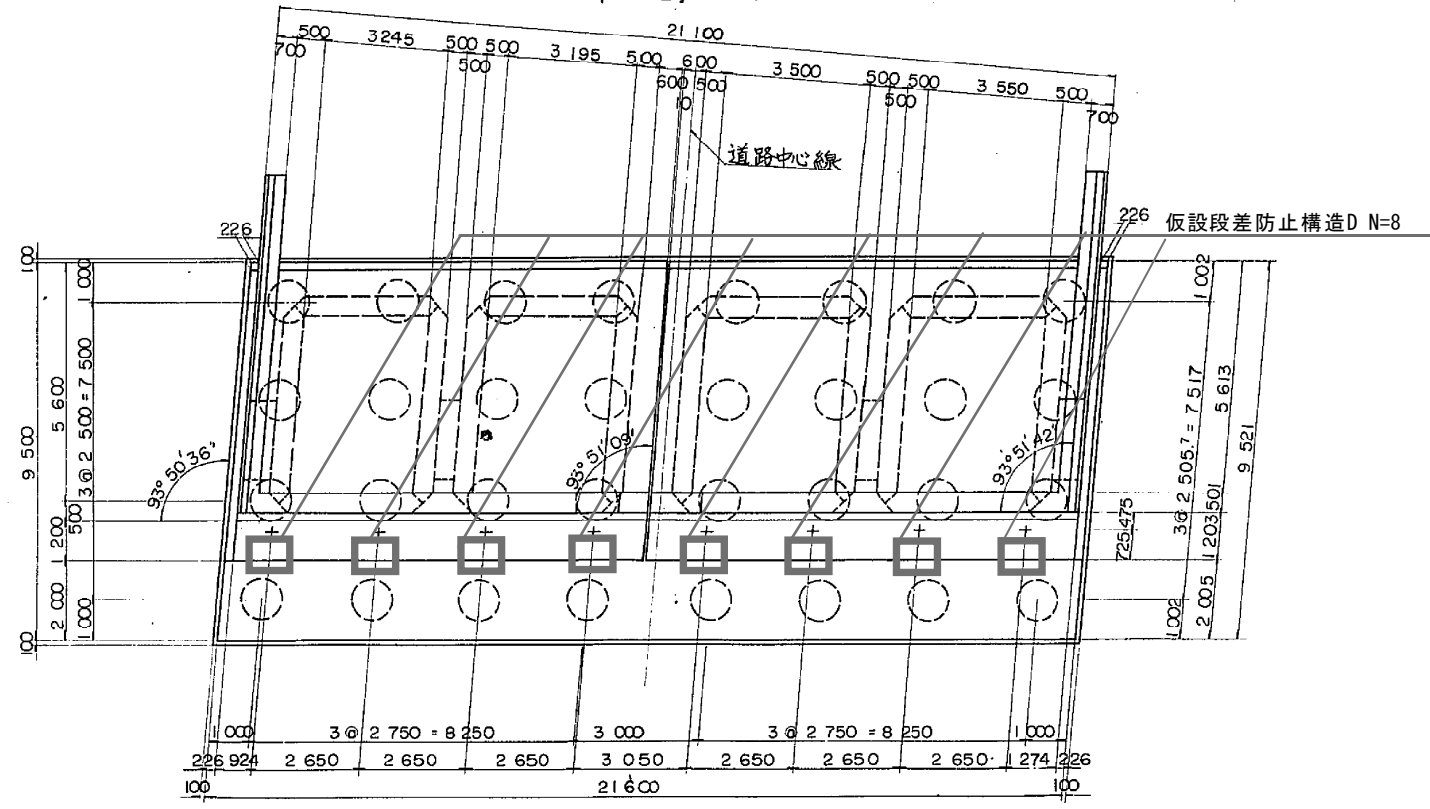
第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面名称	野庭第一高架橋 A1橋台構造図		
縮尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

野庭第一高架橋 A2橋台構造図

正面図



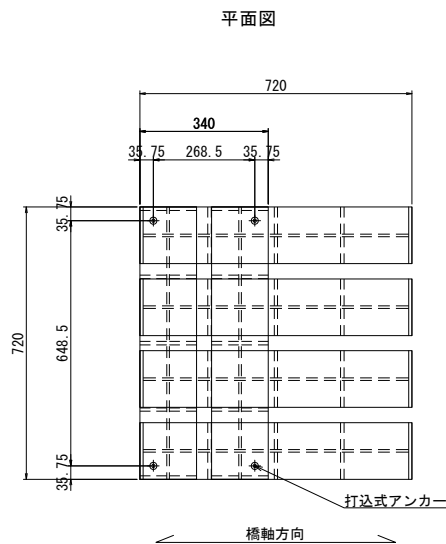
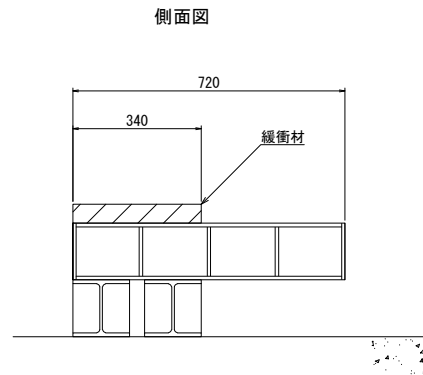
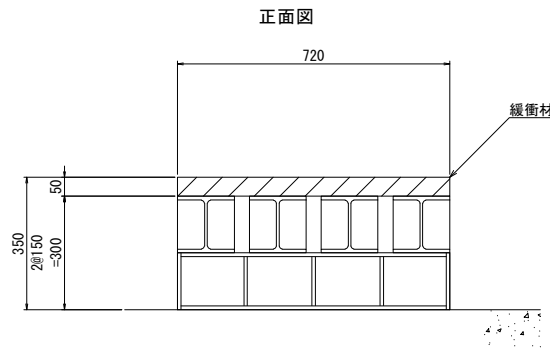
平面図



第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面種類	野庭第一高架橋 A2橋台構造図		
縮尺	—	図面番号	—
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		

野庭第一高架橋 仮設段差防止構造 標準図 S=1:20
仮設段差防止構造D

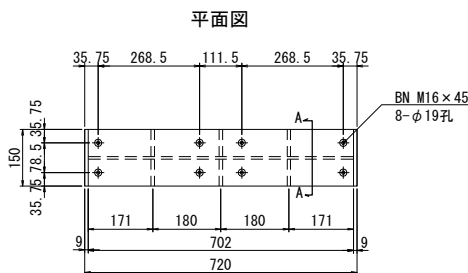
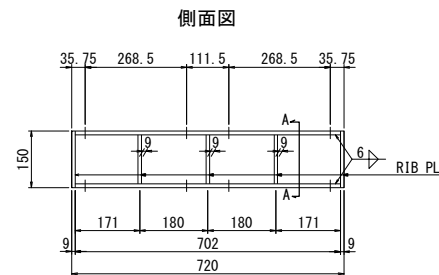
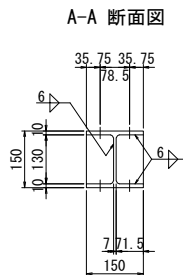
列数：2



材料表 (1基当り)

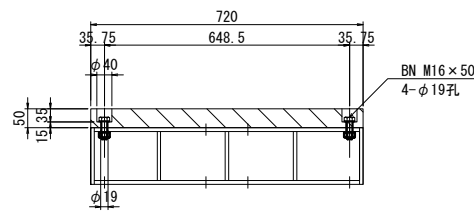
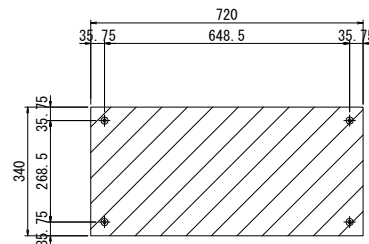
- 6-サンドル 150x150x720
- 16-BN M16x45 (2-#、1-緩み止めナット) (SS400)
- ※ 1-緩衝材 340x50x720
- 4-BN M16x50 (2-#、1-緩み止めナット) (SS400)
- 4-打込式アンカー M16x120 (SS400)

サンドル 詳細図



- 材料表 (1本当り)
- 1-H 150x150x7/10x702
 - 2-R1B PL 150x9x150
 - 6-R1B PL 71.5x9x130

緩衝材 詳細図



注記

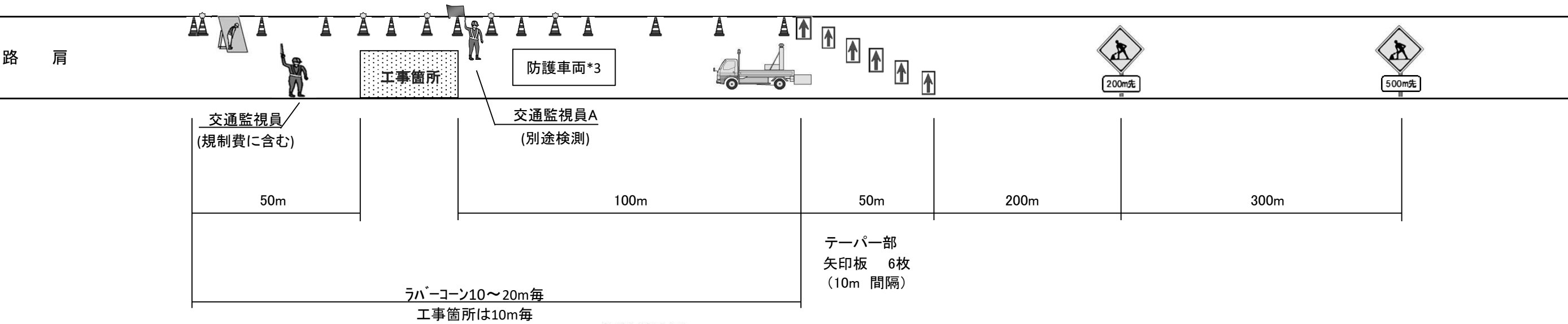
- 1) 部材加工・製作に際しては現地計測を行い、実測結果を反映すること。
- 2) 特記なき材質はSM400とする。但し、< >はSM490Yを用いる。
- 3) ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
(付着量はJIS H8641 HDZT77とする。但し、3.2mm未満の鋼材及び普通ボルト等はHDZT49とする。)
- 4) 緩衝材の規格はクロロプレンゴム、硬度55° ±5° 程度とする。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	野庭第一高架橋 仮設段差防止構造 標準図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京 浜 管 理 事 務 所		

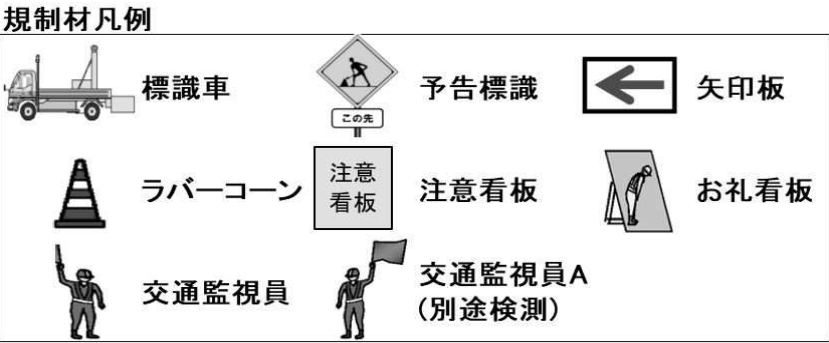
中央分離帯

追越車線 ←

走行車線 ←



数量表 路肩規制 I × 1 1回当たり			
項目	単位	数量	備考
予告標識	枚	2	貸与品
矢印板	枚	6	貸与品
ラバーコーン	本	50	貸与品
安全太郎	台	0	貸与品
赤色回転灯	台	0	貸与品
お礼・注意看板	枚	1	貸与品
標識車	台	0	貸与品
標識車	台	1	受注者所有
防護車両	台	1	受注者所有(※3)
交通監視員	人	1	規制保守(規制費に含む)
交通監視員(交替)	人	1	規制保守(規制費に含む)
交通監視員A	人	1	別検測(※1)
発煙筒(15分)	本	6	受注者所有(テーパー設置撤去時)(※2)



- ・(※1) 交通監視員Aは、工事箇所に配置する
- ・(※2) 発炎筒は設置・撤去各3本の使用を基本とする
- ・(※3) 工事(作業)箇所手前に進入車両強制停止装置又は防護車両を設置する
- ・テーパー部に設置する矢印板についてはすべて高輝度反射式又は自発光式とする
- ・工事箇所付近ではラバーコーンの設置間隔を10mとし、保安等を設置して注意喚起する
- ・危険車両が接近した際に規制内作業員へ警告する遠隔操作式サイレンや大音量電子ホイッスル等の警報装置を使用する
- ・状況に応じ、テーパー終了部に「赤色回転灯」を設置する。
- ・路肩が狭い区間は、駐車帯・バス停等を利用し標識車を配置する。

第三京浜道路 川崎高架橋耐震補強工事			
図面の種類	野庭第一高架橋 規制図		
縮尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 京浜管理事務所		